

IM-BIS ビギナーズガイド

- 1. 改訂情報
- 2. はじめてご利用の方へ
 - 2.1. IM-BIS ビギナーズガイドとは
 - 2.2. IM-BIS に関するドキュメントの読み進め方
 - 2.3. 本書の構成
- 3. まずはワークフローを使ってみよう
 - 1. 事前準備
 - 2. 研修報告フローを作成しよう
 - 3. 作成したフローを実行しよう
- 4. intra-martのテナント管理者の初期設定作業を行う
 - 1. intra-martで最初に必要な作業の概要
 - 2. 会社の情報を登録する
 - 3. 組織（部門）の情報を登録する
 - 4. 役職の情報を登録する
 - 5. ロール（権限管理単位）の情報を登録する
 - 6. ユーザをマスタに登録する
- 5. ワークフローを導入しよう
 - 1. ワークフロー・業務プロセスの管理者を登録する
 - 2. 勤怠管理のワークフローを作成するための準備
 - 3. 勤怠管理のワークフローを作成しよう（ワークフロー）
 - 4. 勤怠管理のワークフローを実行してみよう
 - 5. 問い合わせ対応の業務プロセスを作成するための準備
 - 6. 問い合わせ対応の業務プロセスを作成しよう（BISフロー）
 - 7. 問い合わせ対応の業務プロセスを実行してみよう

改訂情報

変更年月日	変更内容
2014-12-01	初版
2016-08-01	第2版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none">IM-BPM のリリースに伴い、BIS作成種別「BPM」を「BISフロー」に変更
2017-04-01	第3版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none">「勤怠管理のワークフローを作成するための準備」の人件費マスタの一覧画面の表示に関する登録内容を追加
2017-08-01	第4版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none">機械翻訳による可読性向上のため、全体的に内容の見直しを行いました。
2017-12-01	第5版 下記を変更しました <ul style="list-style-type: none">機械翻訳による可読性向上のため、以下の章に対する見直しを行いました。<ul style="list-style-type: none">ワークフローを導入しよう

はじめてご利用の方へ

IM-BIS ビギナーズガイドとは

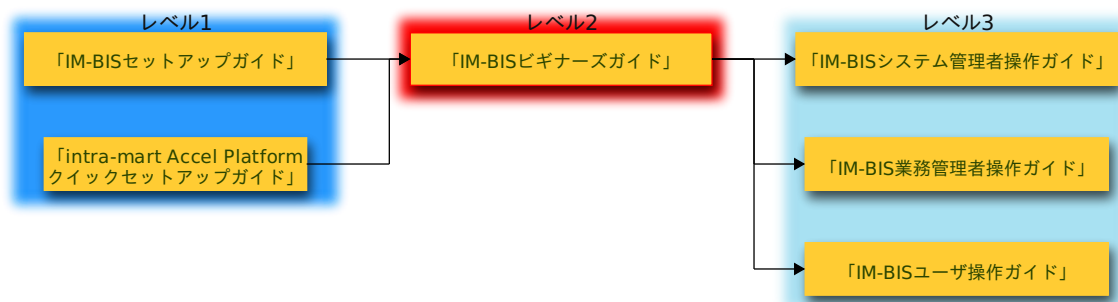
この「IM-BIS ビギナーズガイド」は、初めて IM-BIS を導入いただいたユーザのみなさまが、ご自分で必要な設定やワークフローの作成をするための支援を目的としたドキュメントです。

このドキュメントのための仮想の会社や組織を想定した各種業務に基づくシナリオを行っていただくと、その業務に必要な作業の流れ、必要な機能が何かをご理解いただくことができます。

IM-BIS に関するドキュメントの読み進め方

「IM-BIS ビギナーズガイド」は、「IM-BIS セットアップガイド」で環境構築（テナント環境セットアップ）後の、実際の運用前に必要な準備や運用中に発生する作業の基本操作について、説明しています。

本書での操作に当たっては、「IM-BIS セットアップガイド」で環境構築（テナント環境セットアップ）まで完了している必要があります。環境構築が終わっていない場合には、先に「IM-BIS セットアップガイド」の作業を完了してください。



本書で、IM-BIS の基本操作をご理解いただいた後は、実際の業務要件にあわせた開発を行う際に、各種操作ガイドを参照してください。

本書の構成

本書の構成は以下の通りです。

- 改訂情報

本書の初版発行以降の改訂履歴情報を掲載しております。

- まずはワークフローを使ってみよう

intra-mart の特徴であるワークフローの作成や実行に関しての一連の操作を体験できるハンズオンシナリオです。最初にワークフローの機能の概要を把握したい場合にご利用ください。

- intra-mart のテナント管理者の初期設定作業を行う

intra-mart Accel Platform での環境構築（テナント環境セットアップ）後から、実際にワークフローの作成を含めた運用を行うまでに必要な作業について説明しております。環境構築後の作業について確認・実施したい場合にご利用ください。

- ワークフローを導入しよう

実際に IM-BIS を利用してワークフローや業務プロセス（BIS フロー）を作成し、導入後のフローの運用方法を実践しながら確認することができます。

まずはワークフローを使ってみよう

IM-BIS を利用したワークフローの作成方法について、以下のハンズオンを通して確認してみましょう。

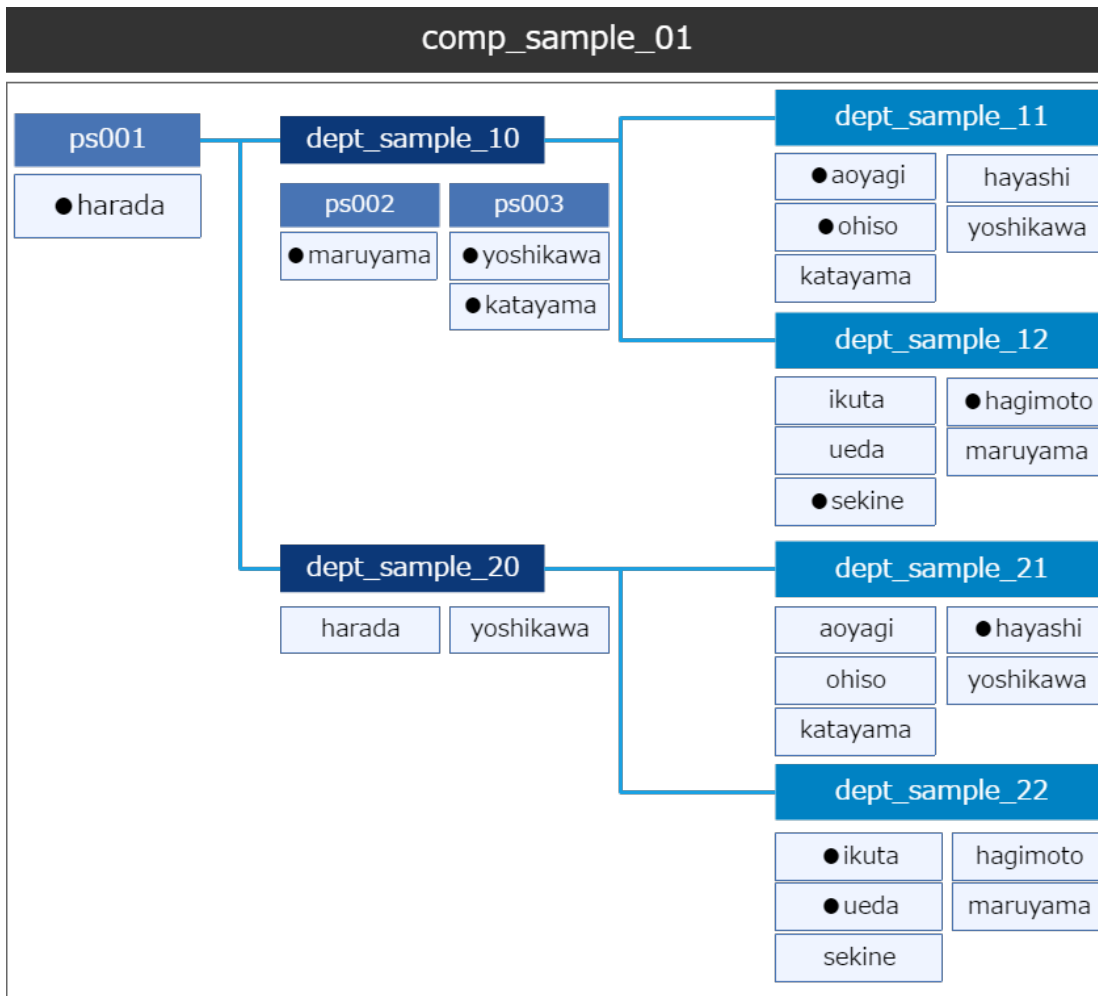
- 簡単なフローの作成と実行
 今回のハンズオンでは、研修受講時の報告書を回覧するためのフローを作成します。
 このハンズオンを実行していただくと、フローの作成・利用方法の概要を理解することができます。

i コラム

このハンズオンは、サンプルデータインポートが実行されている環境で実行することができます。
 サンプルデータインポートを行っていない場合には、事前に必要なマスタデータの登録をしてください。

■ 登場人物

本章で扱う会社・組織・登場人物（社員）は、以下の図の通りです。
 以下の組織・ユーザは、「サンプルデータセットアップ」で登録されるデータと同じ内容です。
 本章で説明する手順は、以下の図に合わせて記述しております。



図中の組織コード、ユーザIDに対応する名称は以下の表の通りです。
 図中の“●”は主所属を表します。

組織コード	組織名	役職コード	役職名	ユーザID	ユーザ名
comp_sample_01	サンプル会社	ps001	社長	harada	原田浩二
dept_sample_10	サンプル部門01	ps002	部長	maruyama	円山益男
		ps003	課長	yoshikawa	吉川一哉
		—	—	katayama	片山聡
dept_sample_20	サンプル部門02	—	—	harada	原田浩二
		—	—	yoshikawa	吉川一哉
dept_sample_11	サンプル課11	—	—	aoyagi	青柳辰巳
		—	—	ohiso	大磯博文
		—	—	katayama	片山聡
		—	—	hayashi	林政義

組織コード	組織名	役職コード	役職名	ユーザID	ユーザ名
		—	—	yoshikawa	吉川一哉
dept_sample_12	サンプル課12	—	—	ikuta	生田一哉
		—	—	ueda	上田辰男
		—	—	sekine	関根千香
		—	—	hagimoto	萩本順子
		—	—	maruyama	円山益男
dept_sample_21	サンプル課21	—	—	aoyagi	青柳辰巳
		—	—	ohiso	大磯博文
		—	—	katayama	片山聡
		—	—	hayashi	林政義
		—	—	yoshikawa	吉川一哉
dept_sample_22	サンプル課22	—	—	ikuta	生田一哉
		—	—	ueda	上田辰男
		—	—	sekine	関根千香
		—	—	hagimoto	萩本順子
		—	—	maruyama	円山益男

コラム

「IM-共通マスタ 組織図」を導入済みの場合、右上のメニューから「組織図」をクリックして同様の図を表示できます。
詳細は「[IM-共通マスタ 組織図 管理者操作ガイド](#)」を参照してください。

事前準備

ハンズオンを実行するにあたって、事前に IM-BIS を利用するためのロールの設定を行います。

また、ハンズオン実行にあたって、実際に処理中のユーザの画面を識別しやすくするために、ユーザのテーマ（画面レイアウトの色）を変更しましょう。

事前準備

- [IM-BIS で提供している製品標準のロール](#)
- [ロールの設定](#)
- [テーマの設定](#)

IM-BIS で提供している製品標準のロール

IM-BIS では、製品標準のロール（権限をまとめたもの）として、以下の4つを提供しています。
対象のユーザの業務に合わせて、必要なロールを付与するようにしてください。

BIS管理者（ロール名：bis_manager）

IM-BIS で作成したフローの詳細設定やカスタマイズを行うことができるユーザです。

その他、IM-Workflow や IM-FormaDesigner の機能の利用、外部連携を行うための設定（データソース定義）、BIS業務管理者・BIS監査者の管理グループの設定などを行います。

BIS業務管理者（ロール名：bis_business_manager）

IM-BIS でワークフローやBISフローのフローを作成することができるユーザです。

作成したフローに対する履歴設定やBAMの設定を行うことができます。

ただし、一度作成したフローの変更に関しては、BIS業務管理者が作成、またはBIS管理者が編集権限を付与したものに限定されます。

BIS監査者（ロール名：bis_auditor）

監査を目的とした、IM-BIS で実行されたワークフローやBISフローの履歴を参照することができるユーザです。

あくまで、ワークフローやBISフローを実行した履歴情報を参照することを目的としたユーザであるため、フローを新規に作成することはできません。

BIS担当者（ロール名：bis_user）

IM-BIS のワークフローやBISフローのフローで申請・承認・処理などを行うことができるユーザです。

IM-BIS を利用するユーザには、このロールを設定します。

ロールの設定

ユーザの画面上部に表示するメニュー（グローバルナビ）に IM-BIS のメニューを表示するために、ロールを設定しましょう。
この設定を行うと、以下のようにログイン時のユーザのメニューの表示が変わります。

■ 設定前

以下の図の赤枠部分を「グローバルナビ」と呼びます。



■ 設定後

ユーザにロールを付与すると、グローバルナビの「Workflow」の隣に「IM-BIS」が表示されます。



メニューの設定を始める

最初にテナント管理者でロールの管理画面を表示します。

1. テナント管理者でログインしましょう。
2. メニュー（グローバルナビ）のテナント管理から「ロール」のメニューを表示するには以下の手順で操作してください。



1. グローバルナビの「テナント管理」にマウスカーソルを重ねてください。（マウスオーバーしてください。）
2. テナント管理の下に表示されたメニューから「ロール」をクリックしてください。

BIS担当者ロールをユーザに設定する

ロールの管理画面からユーザにBISを利用するためのロールを設定します。

1. ロール一覧から「BIS担当者」の「ユーザコード一覧」をクリックしましょう。



2. 「ユーザ追加」をクリックして、ユーザ検索画面を表示しましょう。



3. 「ユーザ検索」では以下の手順でロールの付与対象ユーザを検索してください。



1. 「検索」をクリックして登録されているユーザを検索してください。
 2. 1番上の「全てのユーザを選択済みにする」アイコンをクリックしてください。
 3. 選択済みユーザが右の欄に表示されたら「決定」をクリックしてください。
4. これで、すべてのユーザが IM-BIS でワークフローやBISフローの申請や処理を実行できるように設定できました。



テーマの設定

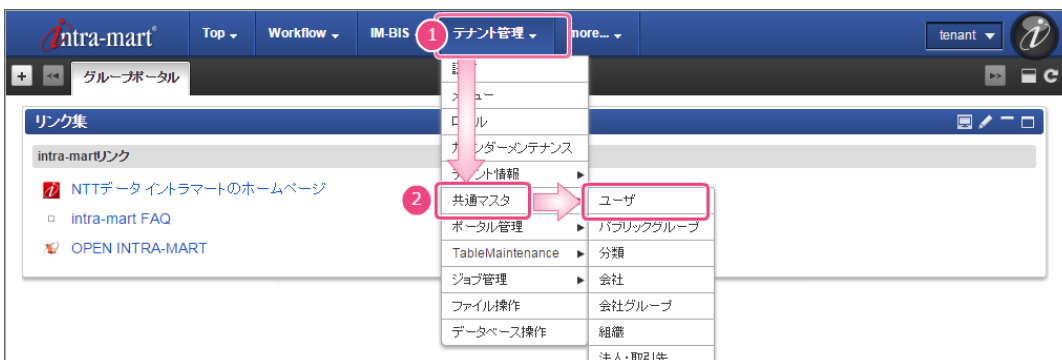
今回のハンズオンでは、操作中のユーザを識別しやすくするためにテーマを変更しましょう。

ハンズオンでは、サンプルユーザの青柳辰巳さん、吉川一哉さん、円山益男さんで申請や承認を行いますので、3人のユーザにテーマを設定します。

ユーザの設定を始める

最初にユーザの管理画面を表示しましょう。

1. 先の手順に引き続き、テナント管理者で操作しましょう。
2. メニュー（グローバルナビ）のテナント管理から共通マスタの「ユーザ」のメニューを表示するには以下の手順で操作してください。



1. グローバルナビの「テナント管理」にマウスカーソルを重ねてください。（マウスオーバーしてください。）
2. テナント管理の下に表示されたメニューから「共通マスタ」-「ユーザ」の順にクリックしてください。
3. ユーザ「青柳辰巳」のテーマを設定するために以下の手順で青柳辰巳の編集画面を表示してください。



1. キーワードに「青柳」を入力してください。

- 「検索」をクリックしてください。
- 検索結果から青柳辰巳の「編集」をクリックしてください。

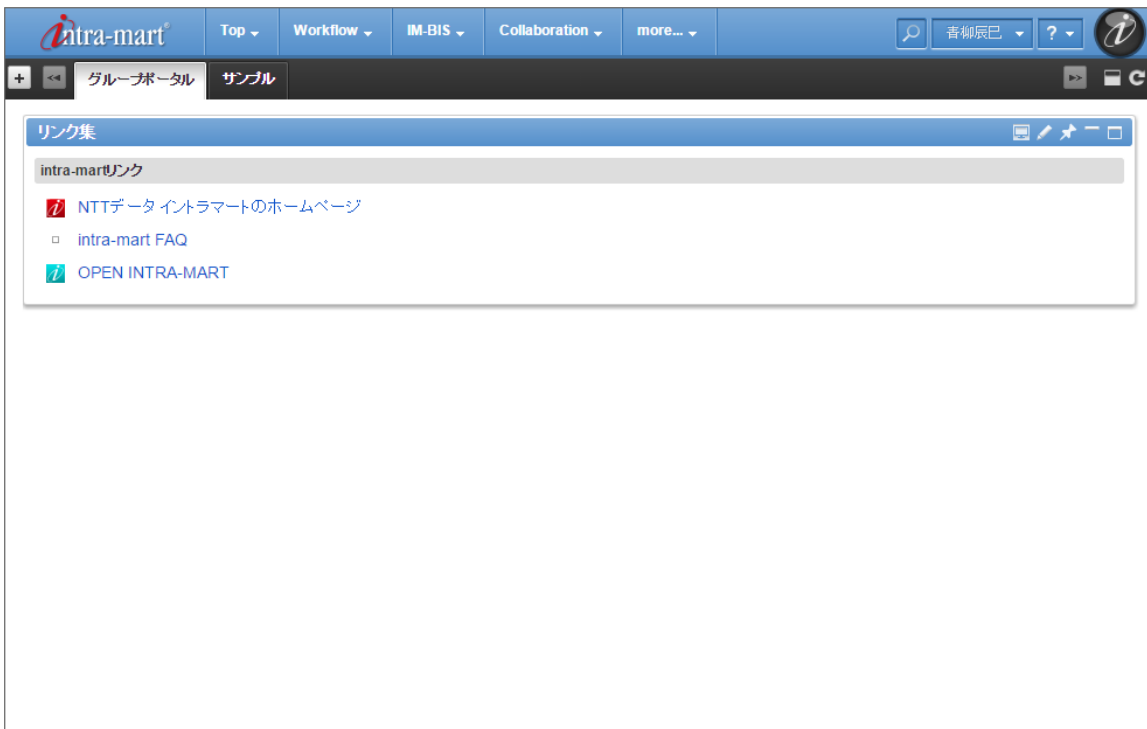
ユーザのテーマを変更する

ユーザの管理画面からテーマを変更しましょう。

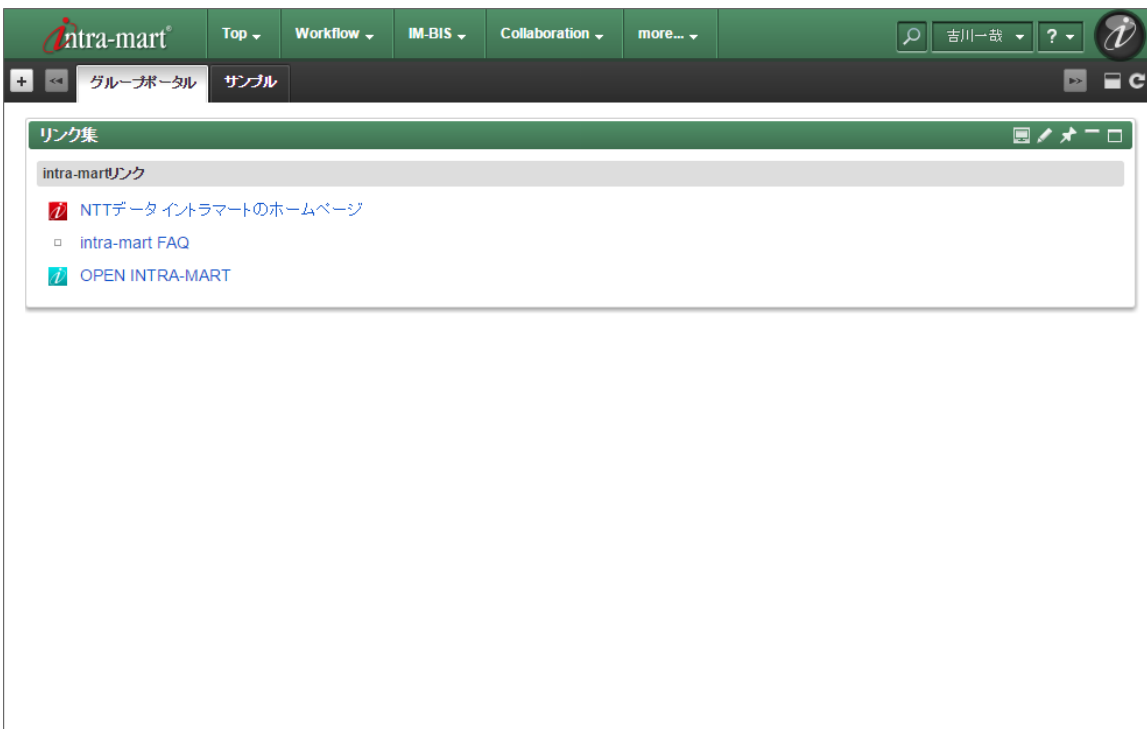
- 「アカウント」タブをクリックして、テーマを変更する画面を表示しましょう。
- 以下の手順でテーマを設定してください。

The screenshot shows the 'アカウント' (Account) tab for user '青柳辰巳'. The 'テーマ' (Theme) dropdown menu is highlighted with a red box and a red arrow pointing to the '更新' (Update) button. The selected theme is 'ヒアシンスブルーを基調色としたドロップダウンメニューのテーマです。'. The '更新' button is also highlighted with a red box and a red arrow.

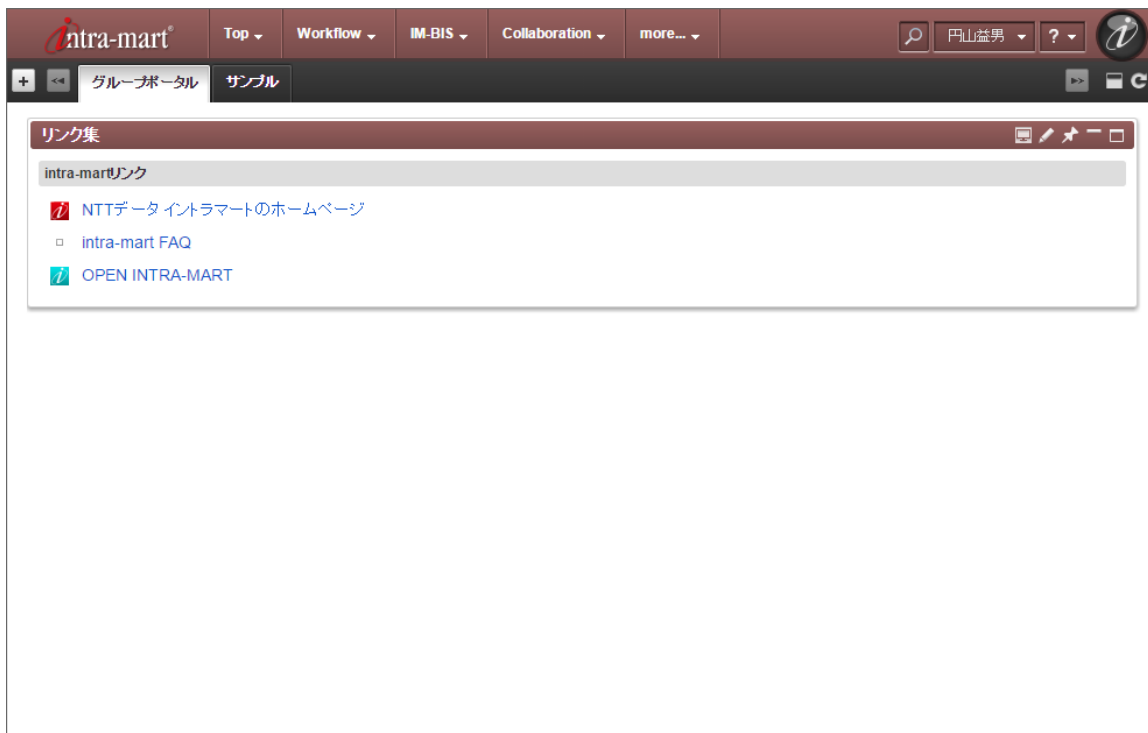
- テーマのドロップダウンから「ヒアシンスブルーを基調色としたドロップダウンメニューのテーマです。」を選択してください。
- 「更新」をクリックして設定内容を保存してください。
- これで青柳さんのテーマを水色（ヒアシンスブルー）に変更することができました。同じ手順で、吉川さん、円山さんのテーマを以下のように設定しましょう。
 - 青柳さんでログインすると以下のように表示されます。



- 吉川さんは「緑色を基調としたドロップダウンメニューのテーマです。」を選択してください。テーマ設定後にログインすると以下のように表示されます。



- 円山さんは「ココアブラウンを基調としたドロップダウンメニューのテーマです。」を選択してください。テーマ設定後にログインすると以下のように表示されます。



4. 以上で、ハンズオンの実行に必要な設定が完了しましたので、ハンズオンのシナリオを実行していきましょう。

研修報告フローを作成しよう

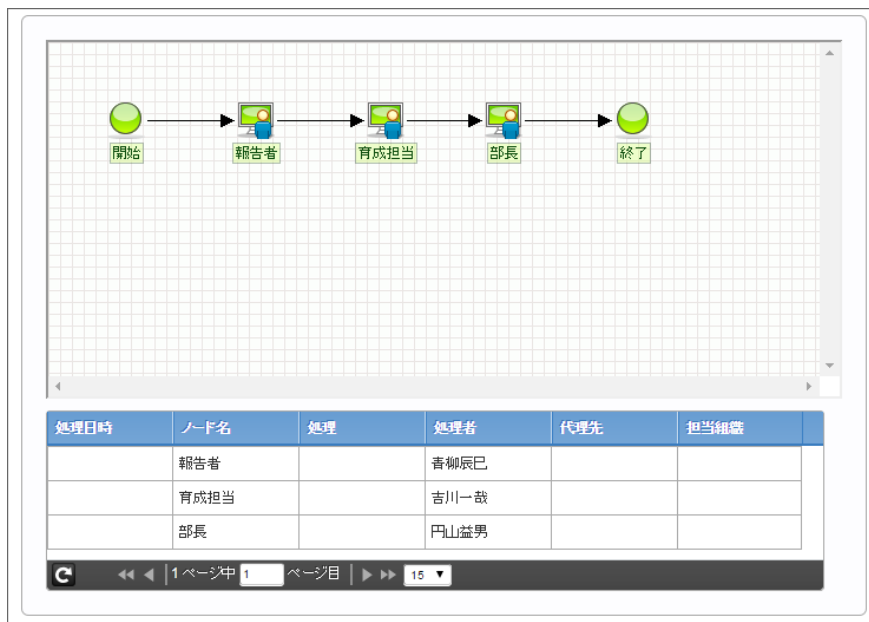
IM-BIS では、一連の操作でワークフローを簡単に作成できます。

このハンズオンでは、研修受講の報告書を育成担当や上長に送るためのフローを作成して、ワークフローの作成方法を体験することができます。

ワークフローを作成する手順

- フローの基本設定
 - 経路情報（ルート）の設定
 - 入力画面（アプリケーション）の設定
- 作成するワークフローの内容
 - 入力画面

- 経路情報（ルート）



フローの基本設定

テナント管理者でログインし、ワークフローの作成を進めましょう。

フローの登録を始める

1. 「IM-BIS」の「IM-BIS 作成」配下にある「IM-BIS」をクリックします。



コラム

サイトマップの展開と折りたたみアイコン

サイトマップの左上に表示されるアイコンでメニューグループの展開と折り畳み表示を切り替えることができます。



1. ...メニューグループをすべて折り畳んで表示します。
2. ...メニューグループをすべて展開して表示します。

サイトマップ（メニュー）の各メニューグループのアイコンは該当のメニューグループの表示の展開と折りたたみができます。

2. IM-BIS - 更新履歴が表示されます。
「新規作成」をクリックして、ワークフローを新規に登録しましょう。



ワークフローの名前を登録する

最初にフローの種類と名称を設定しましょう。

1. 以下の手順でフローの基本情報を登録しましょう。



1. 「BIS作成種類」の「ワークフロー（WF）」を選択してください。

i コラム

BIS作成種類（BISフローとワークフロー）

BISの作成種類「BISフロー」、「ワークフロー」は、選択した種類によって実行時の操作や作成できるルートに違いがあります。

- BISフローは、基本的に一方通行を想定したプロセスで利用します。ルート（経路）の設定で利用できないタイプのノードがあります。
- ワークフローは、申請・承認を伴うワークフローで利用します。否認や差戻しを含め、柔軟にルート（経路）を作成できます。

2. BIS名には「研修受講報告」と入力してください。

i コラム

BIS名

実際に申請者が申請を行う時に選択するためのフローの名称です。申請者がフローを選択する画面に表示される名前となるため、実際の申請者が判別できるような名称を設定します。

3. 「登録」をクリックしてください。

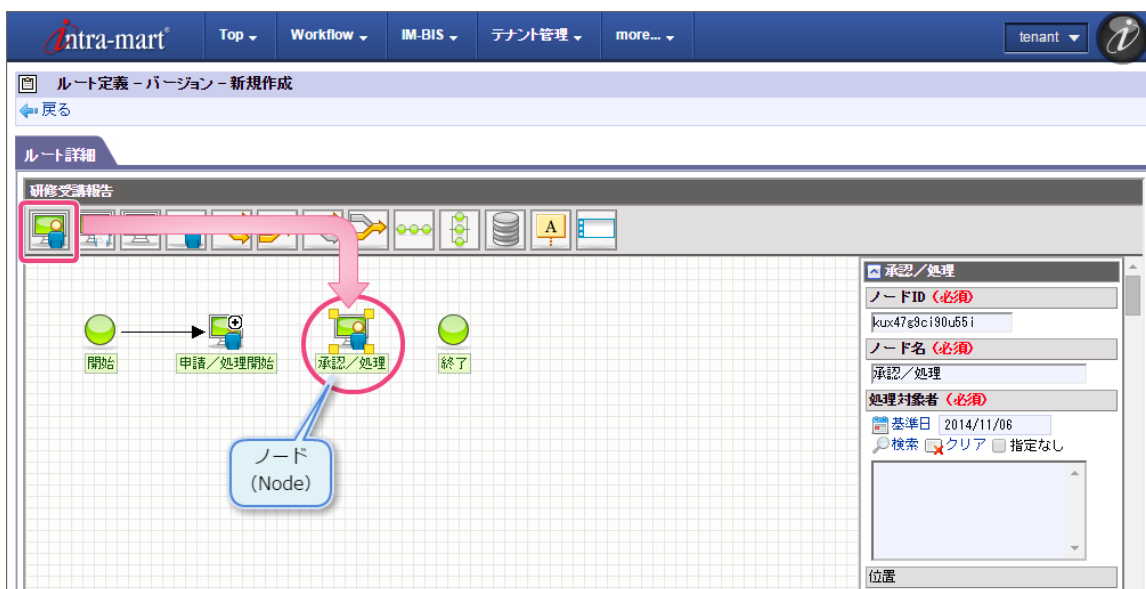
経路情報（ルート）の設定

経路情報（ルート）を設定する

報告書を回覧するための経路情報（ルート）を設定します。

このハンズオンでは、報告者・育成担当・部長が回覧するための経路を設定していきましょう。

1. 一番左の「承認／処理」アイコンをドラッグ&ドロップで配置しましょう。



コラム

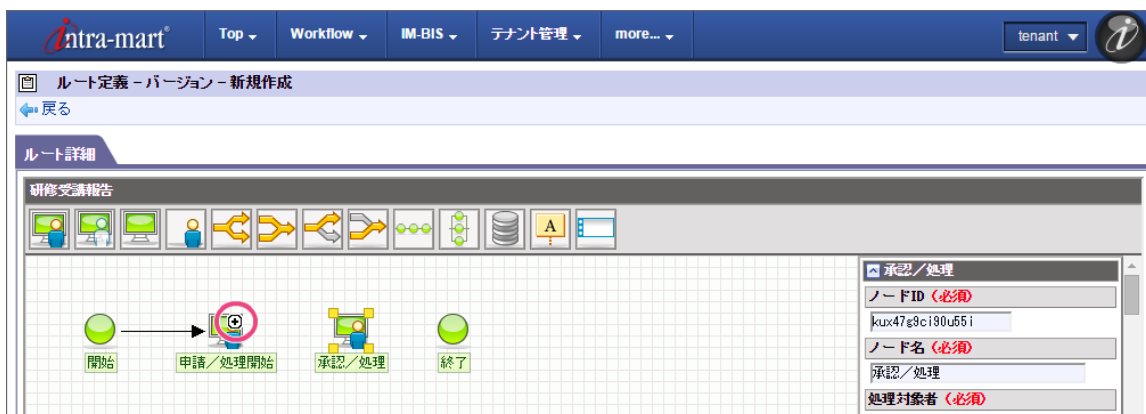
ノード

申請経路（ルート）に配置するアイコンのことを「ノード」といいます。

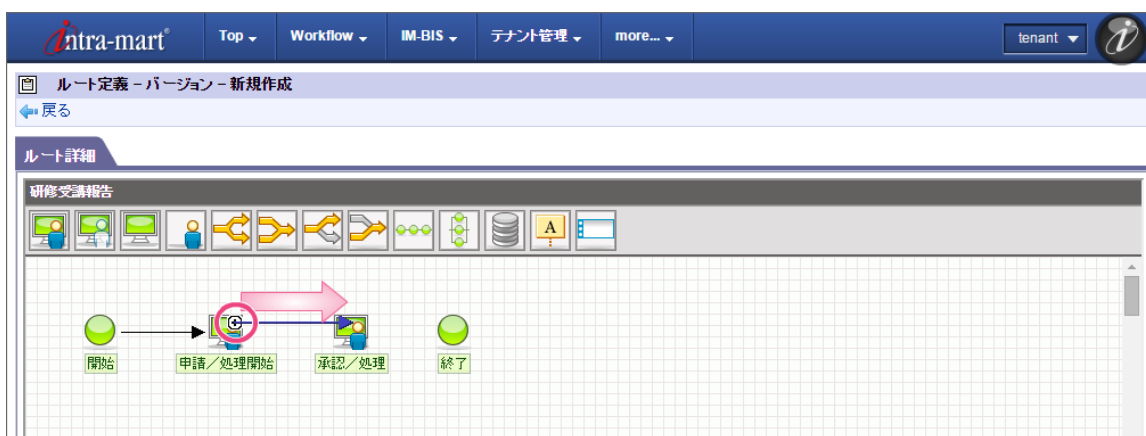
開始、終了、申請/処理開始は必ず初めから配置されていますが、その他のノードは上のパレット部分からドラッグ&ドロップで自由に配置することができます。

IM-BIS では、BIS作成種類によっては利用できるノードの種類に制限があります。

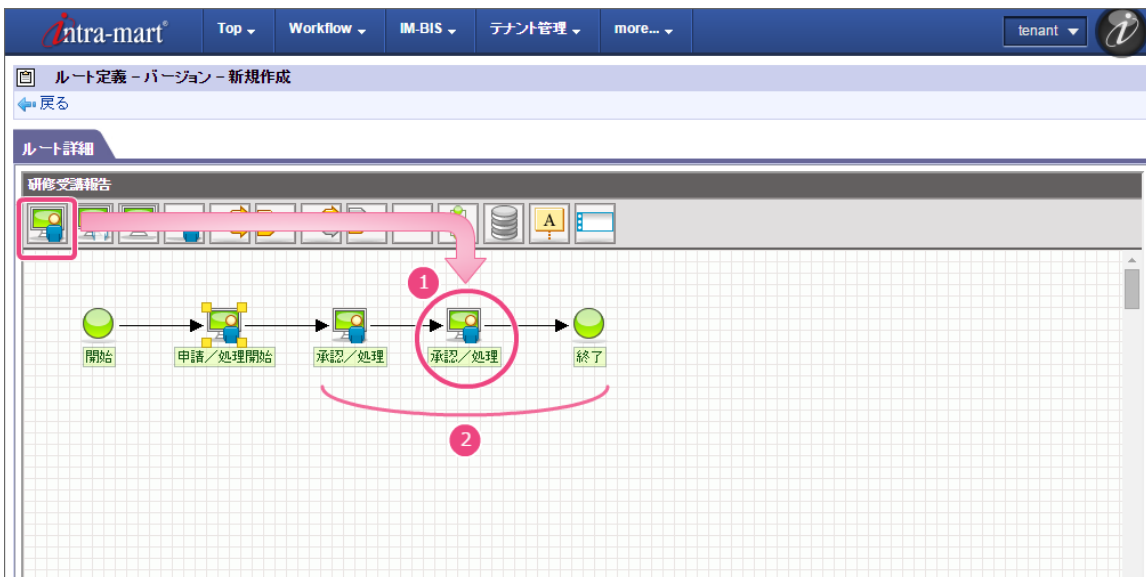
2. 配置した各アイコン同士を接続するために、アイコンの右上にマウスを重ねて「+」を表示してください。



3. 「+」アイコンから次のアイコンまでドラッグすると、アイコン同士を接続することができます。



4. 同じようにして、以下の手順で終了までのアイコンをすべて接続しましょう。



1. 上のパレットから「承認/処理」アイコンをドラッグ&ドロップでルート上に配置してください。
2. ルート2番目の「承認/処理」と3番目の「承認/処理」の間、3番目の「承認/処理」と終了ノードの間を接続してください。

i コラム

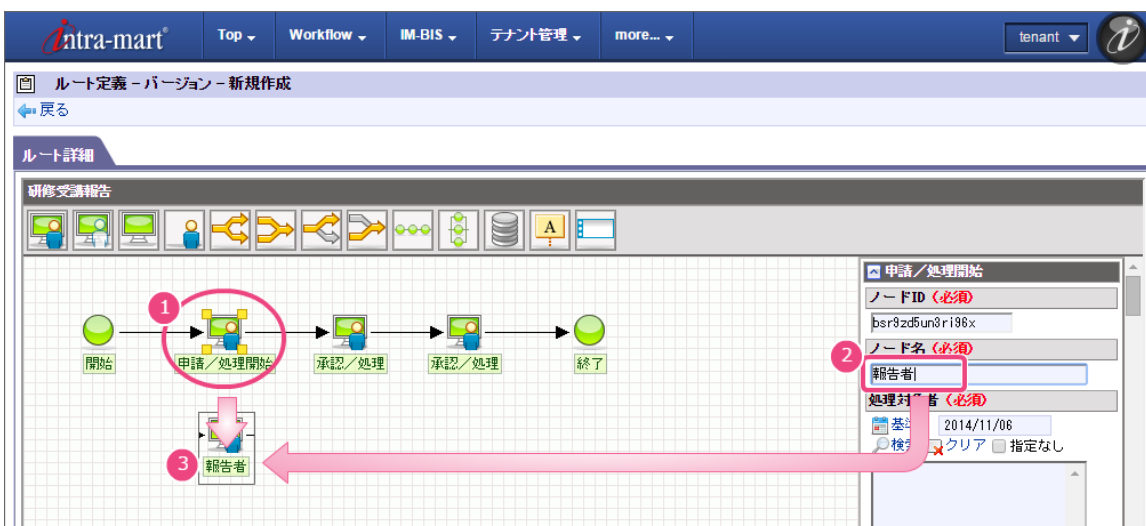
ルートの編集では、アイコンをドラッグ&ドロップすると、レイアウトを調整することができます。必要に応じて、位置を調整して見やすいルートを作成しましょう。



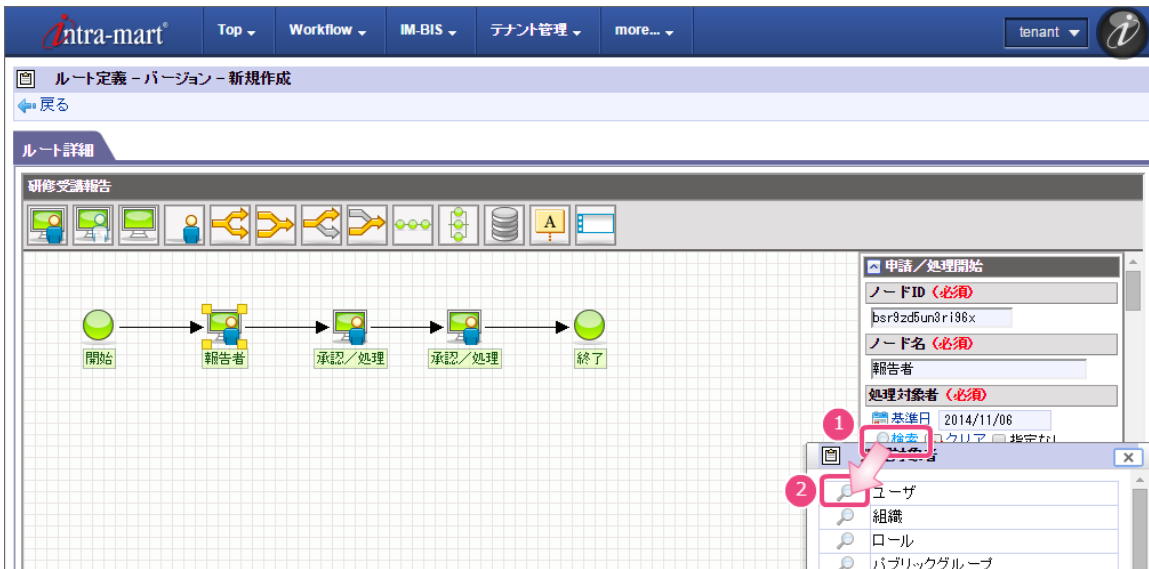
経路情報（ルート）の名前、対象者を設定する


各アイコンの業務ができるユーザを設定していきましょう。

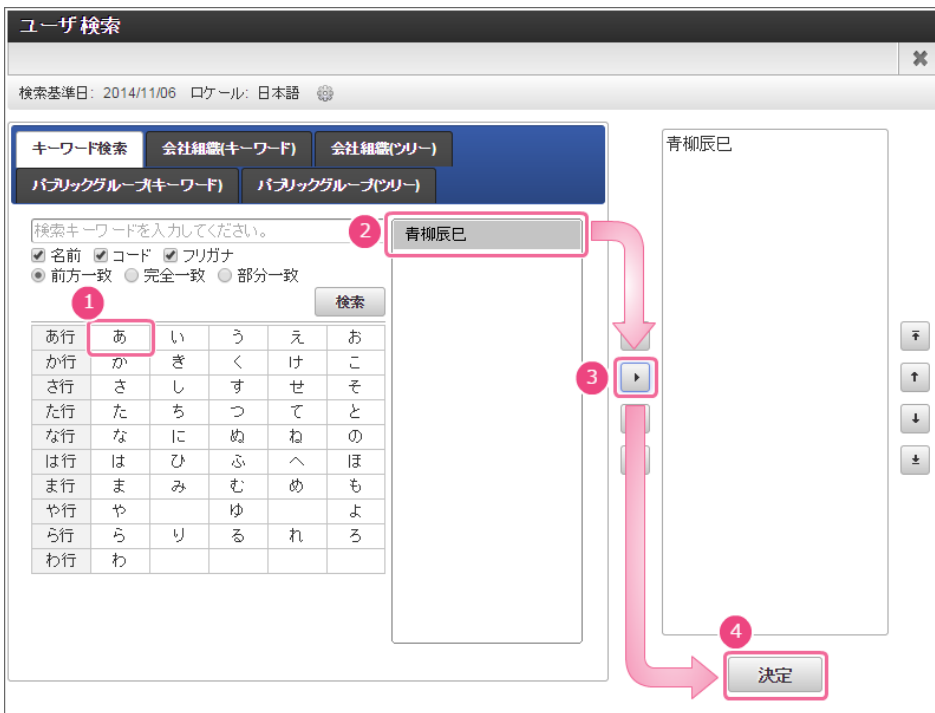
1. 「申請/処理開始」アイコンをクリックします。
2. 以下の手順で最初のノードの名称を変更してください。



1. 「申請/処理開始」アイコンをクリックしてください。
 2. 「ノード名」に「報告者」と入力してください。
 3. 入力後にフォーカスアウトすると、ルート図上の名称の表示が変わることが確認できます。
3. 続いて、以下の手順で処理対象者のユーザを検索しましょう。



1. 「処理対象者」の下にある「検索」をクリックしてください。
2. ユーザの  をクリックしてください。
4. 以下の手順で「青柳辰巳」を検索結果から選択してください。



1. 「あ」（日本語以外のロケールでは「A」）をクリックしてください。
2. 検索結果から「青柳辰巳」をクリックしてください。
3. 選択のボタンをクリックしてください。
右の選択内容に「青柳辰巳」が表示されることが確認できます。
4. 決定をクリックしてください。
5. これで、青柳辰巳さんから受講報告を送ることができるようになりました。

コラム

処理対象者

申請経路（ルート）で申請や承認を行えるユーザの条件を表します。

例では、ユーザの名前を指定していますが、組織や役職、申請者の所属組織の役職（部長）など複雑な条件を指定することができます。

- 同じ手順で育成担当、部長のアイコンを以下のように設定していきます。
部長まで設定したら、「登録」をクリックして保存してください。

- 育成担当の設定

- 部長の設定

入力画面（アプリケーション）の設定

入力画面（アプリケーション）を作成する

報告内容を入力するための画面を作成していきましょう。

1. 一番左の「報告者」アイコンをダブルクリックして、入力項目の編集画面を表示しましょう。

ノード名	設定内容
開始	-
報告者	
育成担当	
部長	
終了	

2. フォーム名に「報告内容入力フォーム」と入力し、「登録」をクリックしましょう。

フォーム登録

フォーム名 * 報告内容入力フォーム

説明

他のロケール

登録

3. 新しくポップアップで表示された画面の右上の「ヘッダーとフッター」をクリックしましょう。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター

アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

4. 「ヘッダーとフッター」は以下の通りに入力したら「設定」をクリックしてください。

ヘッダーとフッター

ヘッダー設定 フッター設定

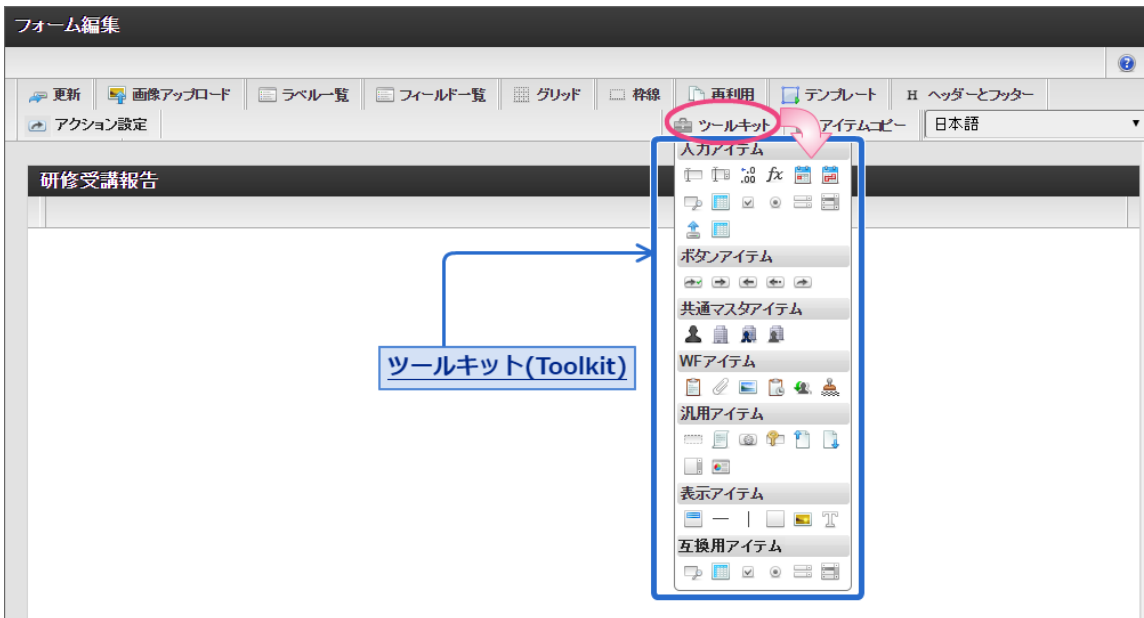
ヘッダー設定 a

タイトル名 * b 研修受講報告

戻るリンクを表示

設定

- a. ヘッダー設定
チェックボックスをオンにしてください。
- b. タイトル名
「研修受講報告」と入力してください。
5. 画面の右上の「ツールキット」をクリックして、ツールキットを表示しましょう。

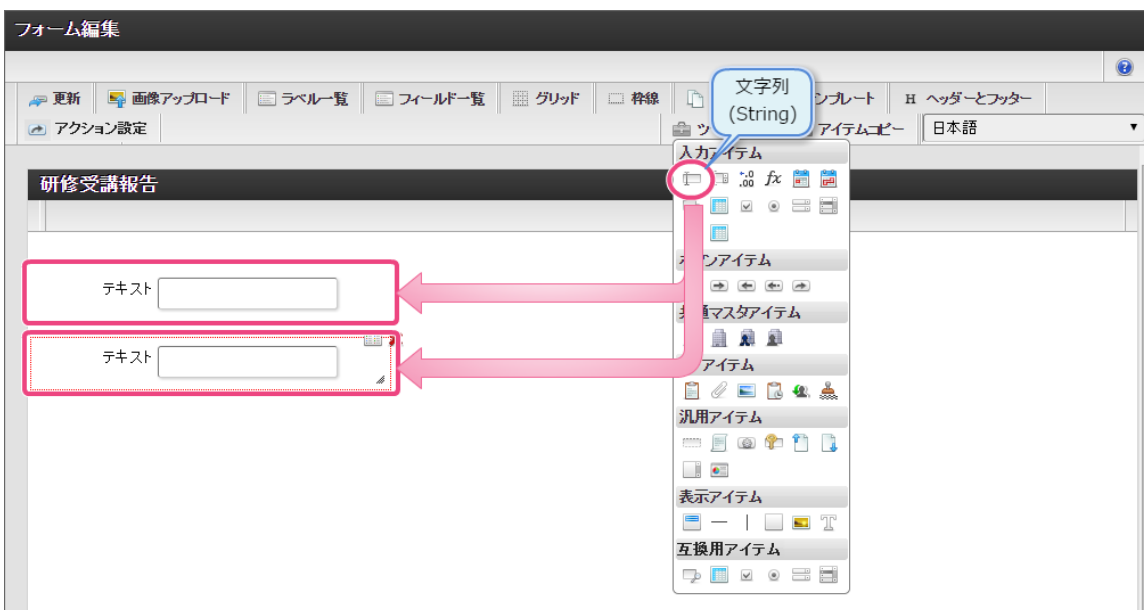


コラム

ツールキット

IM-FormaDesigner で作成する画面の項目となる部品を格納したパレット。
画面のすべての項目はこのツールキットというパレットからドラッグ&ドロップで配置します。

6. 「文字列」を2つドラッグ&ドロップで配置しましょう。

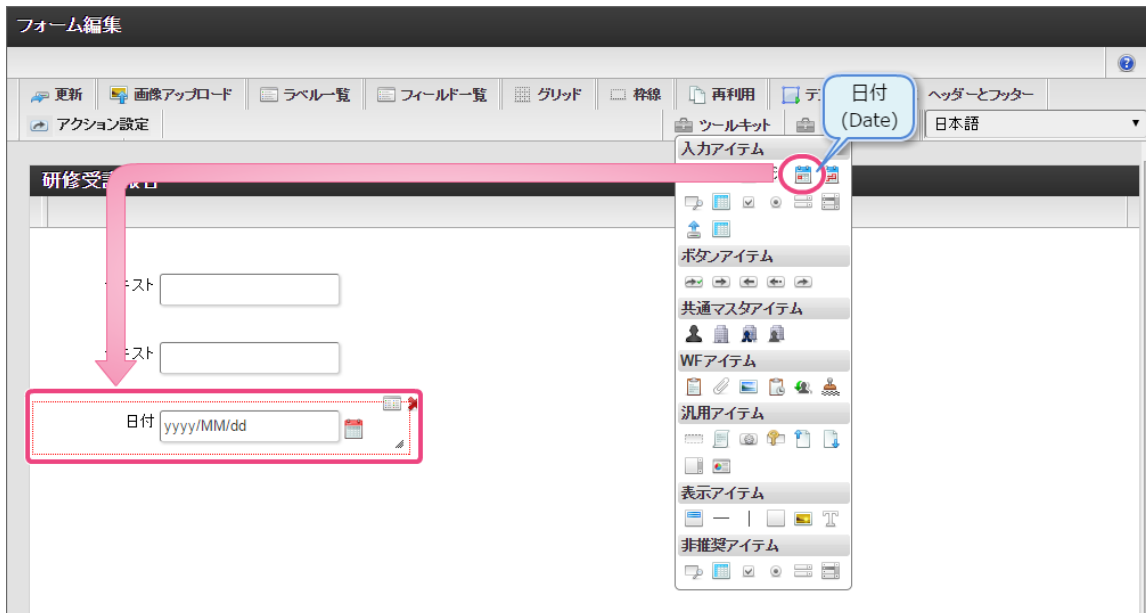


コラム

文字列

名前やコードなどの文字を入力するためのアイテム。
改行には対応しないため、短い文言の入力に向いています。

7. 「日付」をドラッグ&ドロップで配置しましょう。



コラム

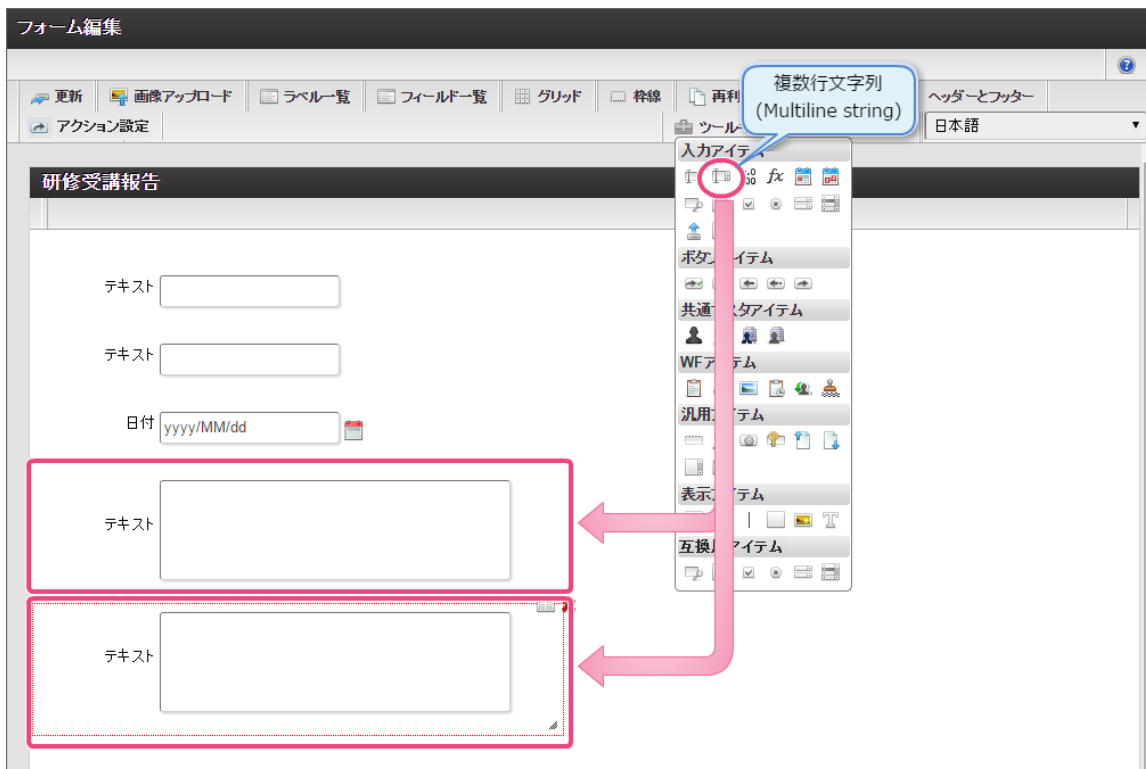
日付

日付を入力するためのアイテム。

1つの日付を入力する場合に向いています。

特定の開始日から終了日などの2つの日付を入力する場合は、「期間」を利用します。

8. 「複数行文字列」を2つドラッグ&ドロップで配置しましょう。



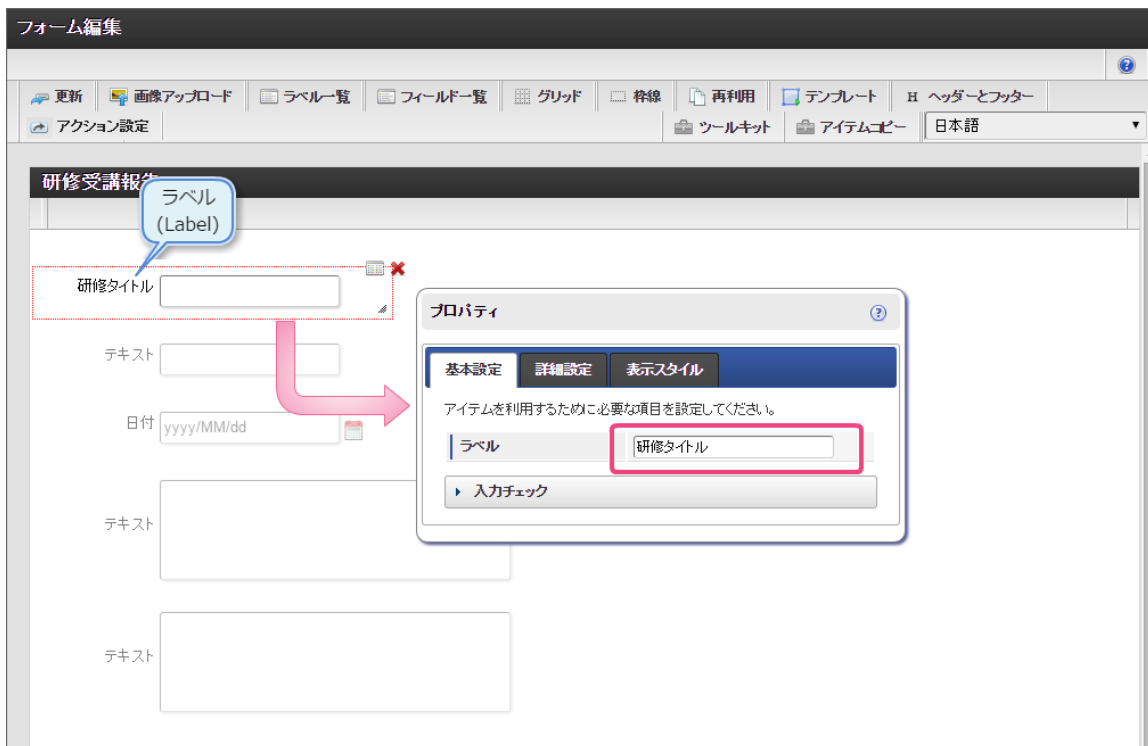
コラム

複数行文字列

コメントや備考などの文字を入力するためのアイテム。

改行にも対応しているため、長い文章の入力に向いています。

9. 一番上に配置したアイテムをダブルクリックし、プロパティを表示しましょう。
ラベルに「研修タイトル」と入力しましょう。



i コラム

ラベル

ほとんどのアイテムに設定できる項目。

多くがアイテム自体の左上に表示されます。

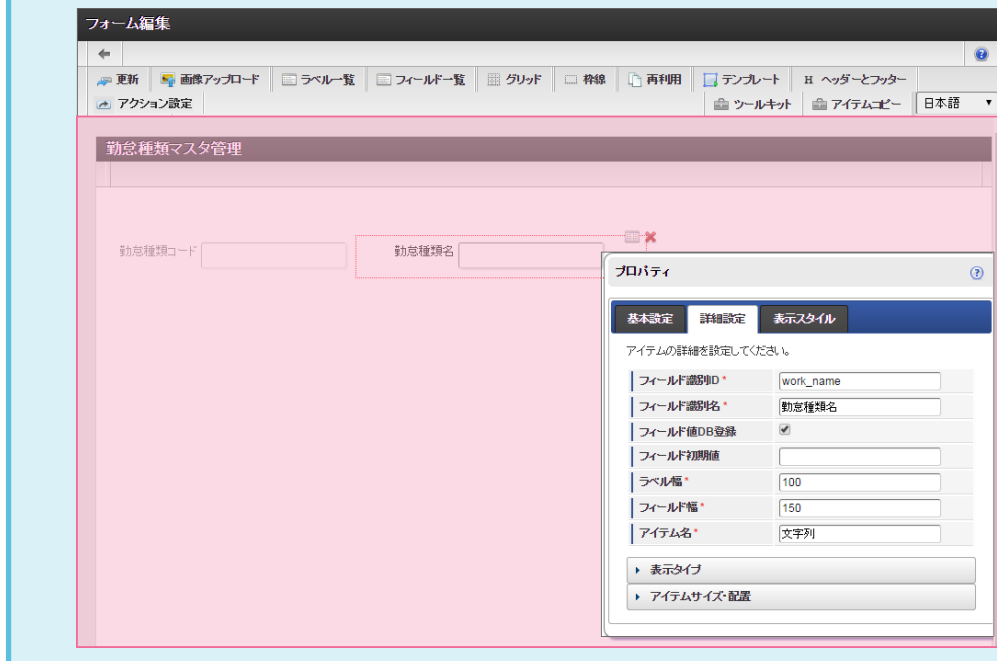
必須項目ではないため、レイアウトによっては削除して表示させないこともできます。

i コラム

アイテムのプロパティを閉じる

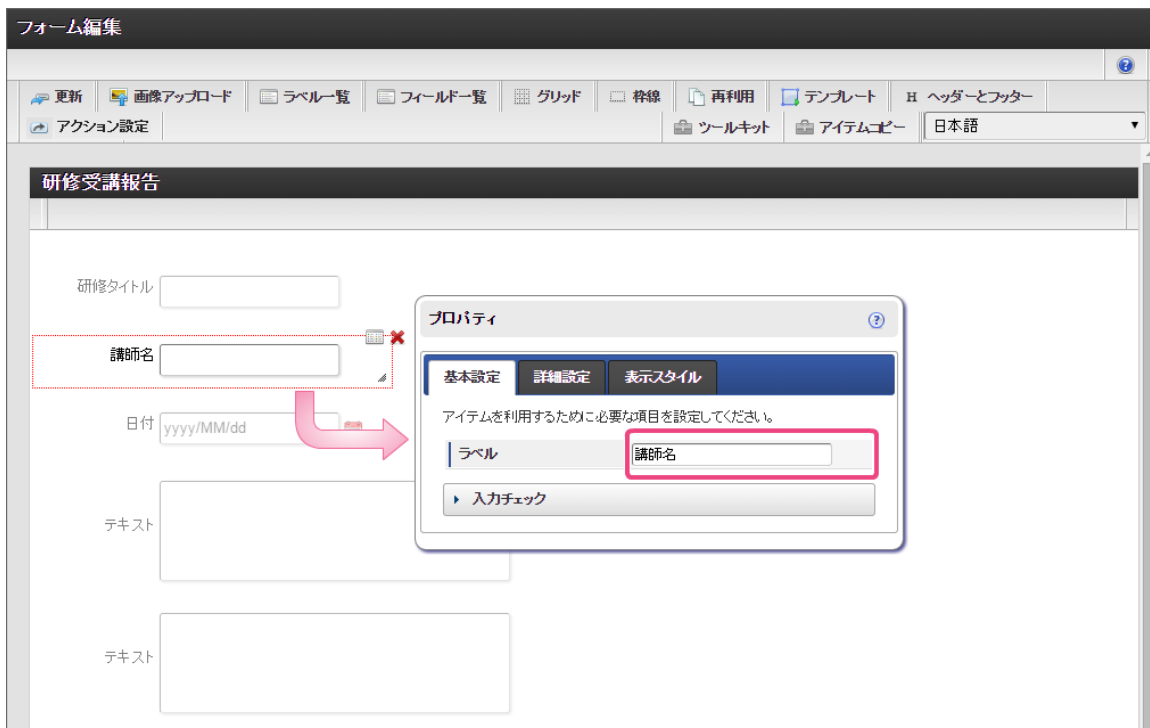
アイテムのプロパティは、プロパティの外側をクリックすると閉じることができます。

以下の図ではプロパティ画面の外側のピンクの部分をクリックすると、プロパティ画面を閉じることができます。

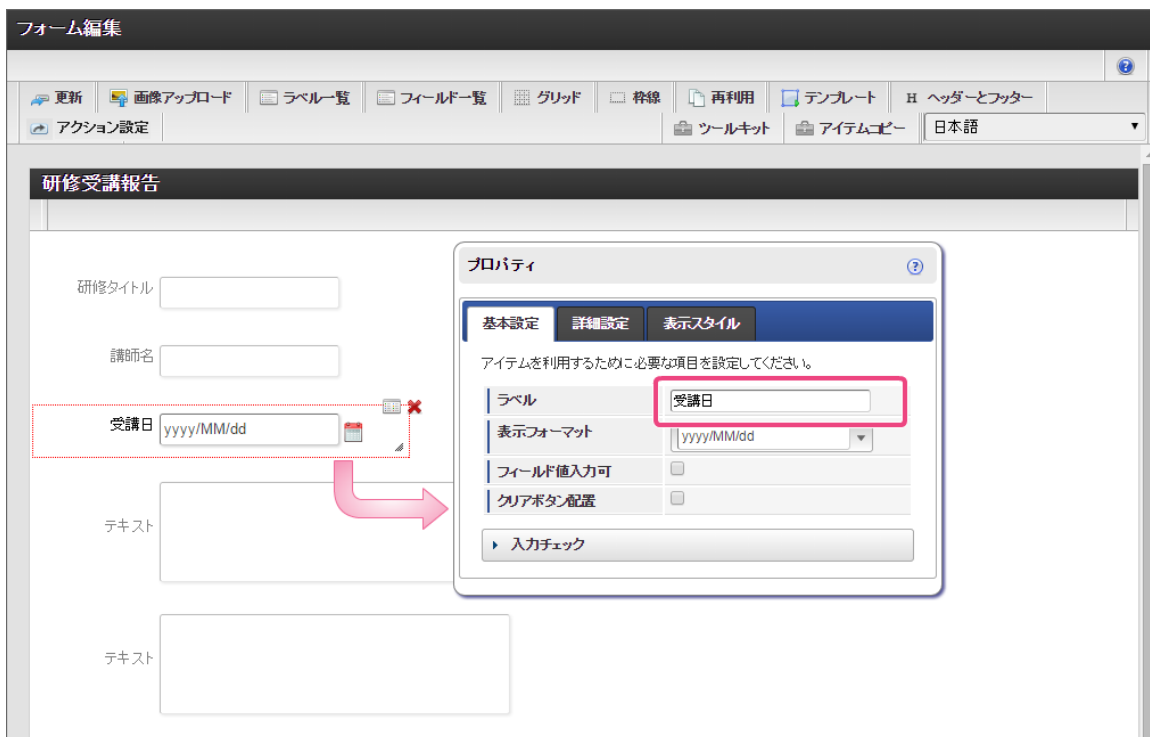


10. 同様の手順で、配置した入力項目のラベルをそれぞれ、「講師名」「受講日」「研修内容」「所感」に変更します。

- 講師名



- 受講日



- 研修内容

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムゴースト 日本語

研修受講報告

研修タイトル

講師名

受講日 yyyy/MM/dd

研修内容

テキスト

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル

入力チェック

- 所感

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムゴースト 日本語

研修受講報告

研修タイトル

講師名

受講日 yyyy/MM/dd

研修内容

所感

プロパティ

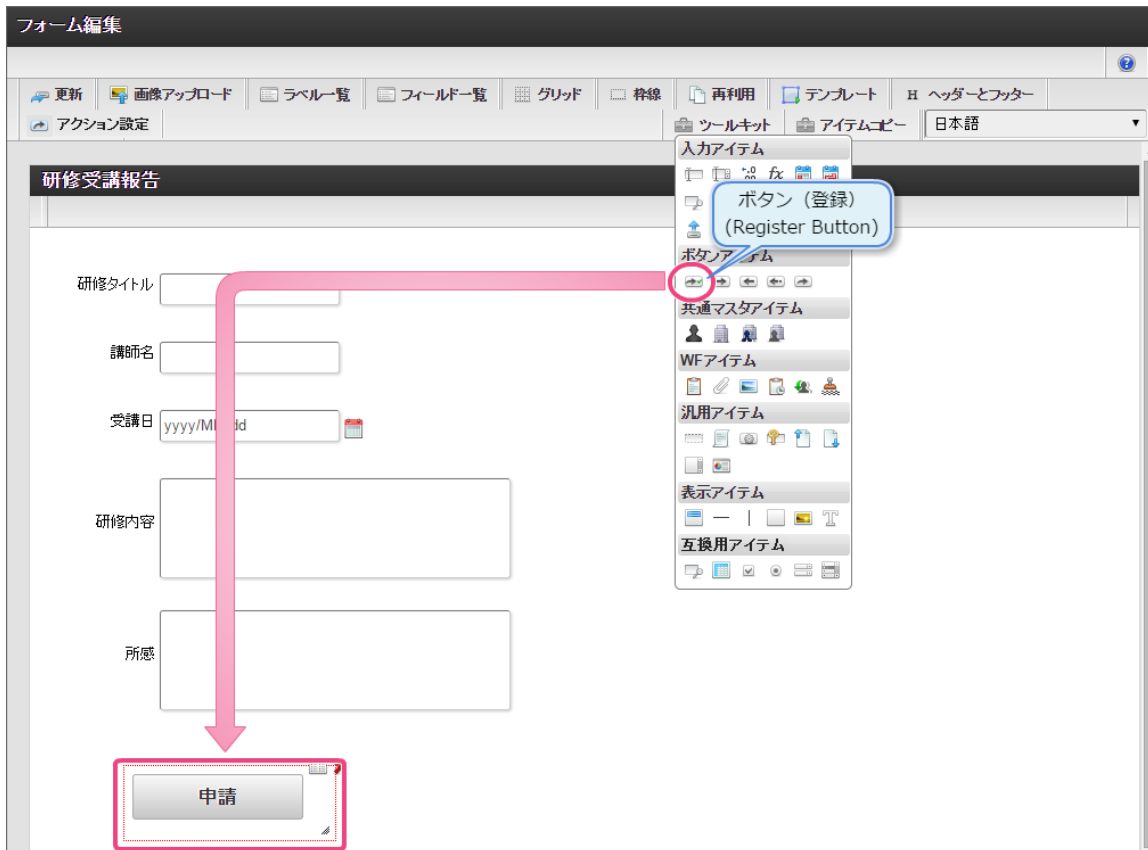
基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル

入力チェック

11. ツールキットから「ボタン（登録）」をドラッグ&ドロップで配置しましょう。



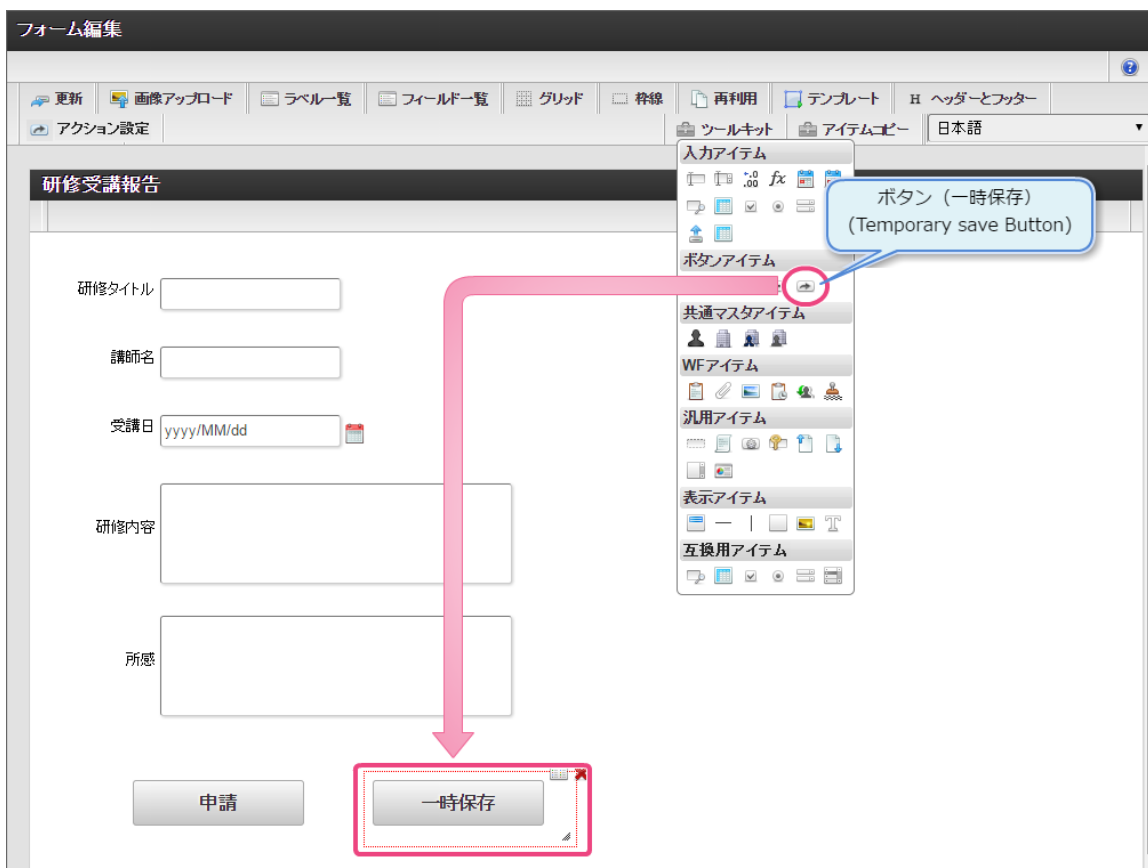
i コラム

ボタン (登録)

申請や承認を行うためのアイテム。

申請画面の時は「申請」、承認画面の時には「承認」と切り替えて表示されるため、画面に1つだけ配置すればOKです。


12. ツールキットから「ボタン (一時保存)」をドラッグ&ドロップで配置しましょう。



コラム

ボタン（一時保存）

一時保存（下書きとして保存）を行うためのアイテム。

13. 「更新」をクリックして、フォームを保存しましょう。
 フォーム編集画面を右上の「」をクリックして、画面を閉じます。

コラム

更新

作成した画面（フォーム）を保存するためのボタン。

セッションが切れた際などには保存内容が消えてしまう場合があるため、長時間の編集の場合にはこまめにクリックして画面を保存しましょう。

入力画面（アプリケーション）を他の処理と共有設定をする

ここまでの手順で作成した画面を、育成担当者や部長の確認時にも参照できるように設定します。

1. 一番左の「報告者」アイコンを右クリックして、「共有」をクリックしましょう。

i コラム

共有

フローで同じ画面を申請や承認などで共通して設定するための機能。

この機能で設定された画面は共通の内容となるため、1つのノードで変更した内容は、共有を設定した他のノードにも反映されます。

- 隣の「育成担当」アイコンを右クリックして、「貼り付け」をクリックしましょう。

- 同様の手順で部長のアイコンでも「貼り付け」をクリックしましょう。



4. 最後に「定義の反映」をクリックしたら、ワークフローは完成です。



i コラム

定義の反映

フローの作成の最後に必要な処理を実行します。
この処理を行わないと、申請や承認を実行したときにエラーが発生する場合があります。
また、作成後に変更を行った場合も必ず最後に「定義の反映」を実行するようにしてください。

作成したフローを実行しよう

先のハンズオンで作成したフローを実際に使ってみましょう。

ワークフローを実行する手順

- 報告者（青柳辰巳）の申請
- 育成担当者（吉川一哉）の承認
- 部長（円山益男）の承認

報告者（青柳辰巳）の申請

1. 報告者に設定した「青柳辰巳」（ユーザコード：aoyagi）でログインしましょう。
2. 上部のメニューの「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「申請」をクリックしましょう。



3. 「研修受講報告」の「申請／処理開始」をクリックしてください。



4. 画面の各項目の内容を入力してください。
入力が終わったら、「申請」をクリックしましょう。

研修タイトル

講師名

受講日

研修内容
IM-BISの導入からワークフローや業務フローの作成を
実践を交えて説明。
その他にIM-BISによる事例紹介が行われた。

所感
初めてIM-BISの製品を扱ったが、非常に簡単な操作で
ワークフローを作成することができ、満足のいく内容で
あった。
今後の○○案件での提案に利用したい。

5. 案件名を入力したら、申請を完了するために「申請／処理開始」をクリックしてください。

申請／処理開始 [報告者]

案件名*

申請／処理開始者 香柳辰巳

申請／開始基準日 2014/11/06

担当組織* サンプル課11 ▼

優先度 通常 ▼

+ コメント

+ 添付ファイル

+ 根回し

6. この時点のフローを確認すると、以下のように表示されます。
次は、育成担当の吉川さんに切り替えて操作しましょう。

処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織
2014/11/06 21:02	報告者	申請/処理開始	青柳辰巳		サンプル課11
▽処理中	育成担当		吉川一哉		
	部長		田山益夫		

- a. 処理が完了したノードは背景色が青で表示されます。
- b. 一覧の処理日時が「処理中」の行に表示されたユーザが次の処理者（承認者）です。

コラム

このフローの進行状況は、ワークフローの「処理済」のフローから確認することができます。

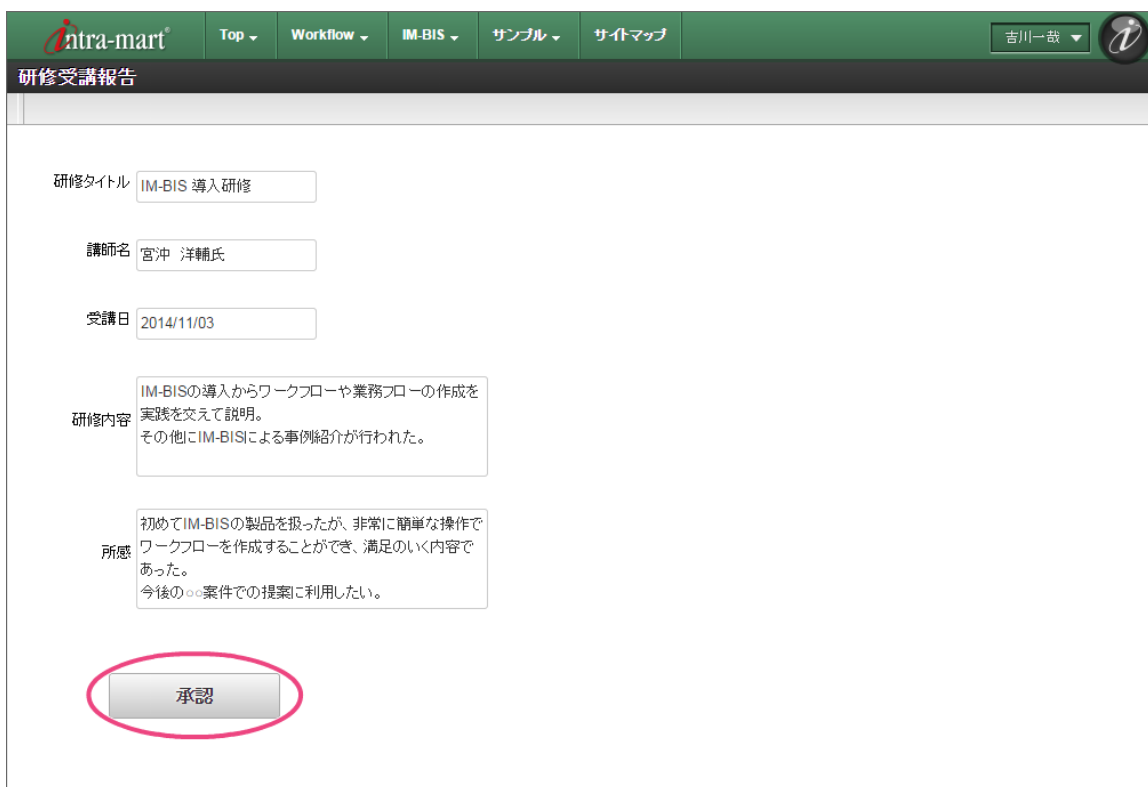
育成担当者（吉川一哉）の承認

1. 次の育成担当者に設定した「吉川一哉」（ユーザコード：yoshikawa）でログインしましょう。
2. 上部のメニューの「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。

3. 青柳さんが申請した案件の「処理」をクリックしてください。



4. 内容を確認し、「承認」をクリックしましょう。



5. 吉川さんの承認を完了するために「承認/処理」をクリックしてください。



i コラム

フローを否認する場合は、この画面で処理種別を切り替えます。
処理種別の選択内容に応じて画面下部のボタンのラベルが切り替わります。

処理種別*	承認/処理
承認/処理	承認/処理
否認/取止め	
保留	
差戻し	
申請/処理開始情報	申請/処理開始者 青柳辰巳 (導入研修)
申請/開始基準日	2014/11/06
申請/処理開始日	2014/11/06
処理者*	吉川一哉
担当組織*	サンプル部門01
+ コメント	
+ 撤回し	

6. この時点のフローを確認すると、以下のように表示されます。
次は、部長の円山さんに切り替えて操作しましょう。

案件番号	0000000001
案件名	研修受講報告<IM-BIS導入研修>
申請/処理開始者	青柳辰巳

処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織
21:43					
2014/11/06 21:05	育成担当	承認/処理	吉川一哉		サンプル部門01
▽処理中	部長		円山益男		

- a. 処理が完了したノードは背景色が青で表示されます。
b. 一覧の処理日時が「処理中」の行に表示されたユーザが次の処理者（承認者）です。

部長（円山益男）の承認

- 最後の部長に設定した「円山益男」（ユーザコード：maruyama）でログインしましょう。
- 上部のメニューの「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。

- 青柳さんが申請した案件の「処理」をクリックしてください。

処理	振替	優先度	案件番号	案件名	申請/開	申請/処	申請/宛	フロー名	ノード名	状態	到達日	処理期限	処理権限	フロー	履歴
			000000 0001	研修受講報告 (IM-BIS 導入研修)	2014/11/6	2014/11/6	青柳辰巳	研修受講報告	部長		2014/11/6				

4. 内容を確認し、「承認」をクリックしましょう。

研修タイトル

講師名

受講日

研修内容
IM-BISの導入からワークフローや業務フローの作成を
実践を交えて説明。
その他にIM-BISによる事例紹介が行われた。

所感
初めてIM-BISの製品を扱ったが、非常に簡単な操作で
ワークフローを作成することができ、満足のいく内容で
あった。
今後の○○案件での提案に利用したい。

5. 「承認/処理」をクリックすると、円山さんの承認が完了します。
円山さんはこのフローの最後の処理となるため、これで案件が完了しました。

処理種別*

案件番号

案件名

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	青柳辰巳
申請/開始基準日	2014/11/06
申請/処理開始日	2014/11/06

処理者*

担当組織*

6. 完了時点のフローを確認すると、以下のように表示されます。

案件番号	0000000001
案件名	研修受講報告(IM-BIS導入研修)
申請/処理開始者	青柳辰巳

処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組織
2014/11/06 21:02	報告者	申請/処理開始	青柳辰巳		サンプル課11
2014/11/06 21:05	育成担当	承認/処理	吉川一哉		サンプル部門01

i コラム

完了したフローの進行状況は、メニューのワークフローの「処理済」の「完了案件」から確認することができます。処理済一覧は、「未完了案件」「完了案件」のタブによって表示対象の案件を切り替えることができます。

The screenshot shows the 'Intra-mart' interface with the 'Workflow' menu open. The 'Completed Cases' (完了案件) tab is highlighted with a red circle. Below the tabs, there are buttons for 'Application Completed' (申請済) and 'Processing Completed' (処理済) for both 'Self Cases' (自案件) and 'Other Cases' (他者案件). A table below displays a list of cases, with the first case highlighted.

優先度	案件番号	案件名	申請/開始日	申請/処理日	申請/処理日	フロー名	案件終了日	完了状態	フロー	履歴
●	0000000001	研修受講報告(IM-BIS導入研修)	2014/11/06	2014/11/06	青柳辰巳	研修受講報告	2014/11/06	●		

intra-martのテナント管理者の初期設定作業を行う

テナント管理者は、最初に会社の社員にintra-martを利用するために必要な設定を行います。

株式会社ナガハマでは、情報システム部門の浅野さんが下記の流れに沿って、営業部をはじめとした社員が利用するための準備作業を行います。

intra-martで最初に必要な作業の概要

intra-martのシステム管理者となった浅野さんは、株式会社ナガハマの社員や会社、組織の情報を登録し、利用者がすぐに使える環境を整える必要があります。

まずは各種マスタの登録やポータルの設定を行い、初期設定の流れと基本操作を理解しましょう。

会社や組織全体でintra-martを利用するために必要な設定とは

- 会社や組織、ユーザの登録
- 権限の設定
- ポータル（最初に表示する画面）の設定

作業前の準備

登録対象の会社、組織、ユーザを整理する

intra-martを利用する会社や組織、ユーザの情報を確認します。

今回のシナリオでは、intra-martの管理者（情報システム部の浅野さん）が「（リンク）組織図」のうち、「株式会社ナガハマ」と配下の組織、社員を登録します。

ユーザに付与する権限の方法を決める

intra-martでは、各種機能やワークフローをどのユーザに利用させるかを設定することを「権限を付与する」、「認可を設定する」といいます。

権限や認可は、対象となるユーザ自身に直接設定することもできますが、組織変更や人事異動時のメンテナンス時を考慮しながら、組織やロールなど、どのしくみを利用するかを決めます。

今回のシナリオでは、権限・認可を「ロール」のしくみを利用して設定します。

最初に表示する情報を決める

ユーザ（社員）がログインした後に表示する画面にどんな情報を表示するかを決めます。

今回は、役職者（部長）と一般社員で異なる画面を表示するように、ポータルを設定します。

マスタ情報（共通マスタ）へのアクセス

intra-martを利用するために必要なマスタ情報は「共通マスタ」に登録します。

共通マスタへは、以下の手順でアクセスします。

1. intra-martにテナント管理者のIDとパスワードでログインしましょう。
2. トップページグローバルナビから「サイトマップ」をクリックします。
3. 「テナント管理」-「共通マスタ」から対象のマスタ名をクリックします。

会社の情報を登録する

intra-martを利用する会社の情報を登録しましょう。

会社の登録を始める

1. 「共通マスタ」の「会社」をクリックします。
2. 会社一覧が表示されます。
「新規作成」をクリックして、会社を新規に登録しましょう。

会社の情報を入力する

1. 会社の名称や住所などの基本情報を入力しましょう。
複数のロケール（言語）が利用できる環境の場合には、すべてのロケール分の情報を入力します。

- a. 会社の基本情報
会社の名称や住所などの会社に関する情報です。
- b. ロケール別の設定
intra-mart Accel Platform で複数の言語（ロケール）が利用可能な場合、すべてのロケールに対して情報を登録する必要があります。

i コラム

マスタの登録について

intra-mart Accel Platform の環境で利用できる言語（ロケール）が複数ある場合には、すべてのロケールに情報を入力してください。言語によってマスタの登録内容に不足している情報があると、ワークフローの利用時にエラーが発生します。

2. 最後に「登録」をクリックし、会社の情報を登録しましょう。

会社の情報を参照するための権限を設定する

1. 作成した会社に所属するユーザ（社員）は、設定を行わないと、ワークフローの承認者の設定などでユーザの検索を行ってもユーザの情報が参照できず、ユー

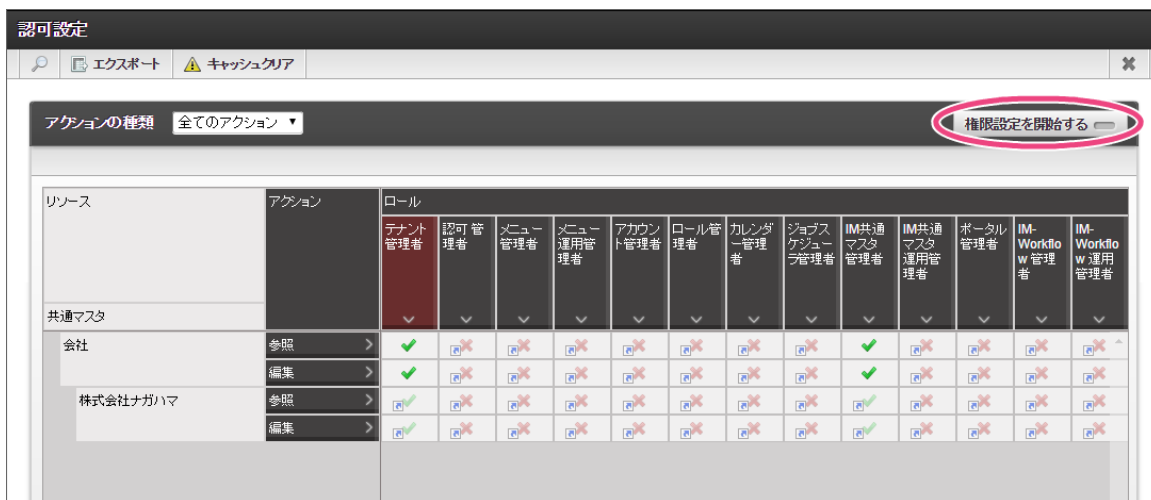
ザを検索することができません。

会社の社員であれば、その会社に所属するすべてのユーザ（社員）を検索できるように参照権限を設定しましょう。

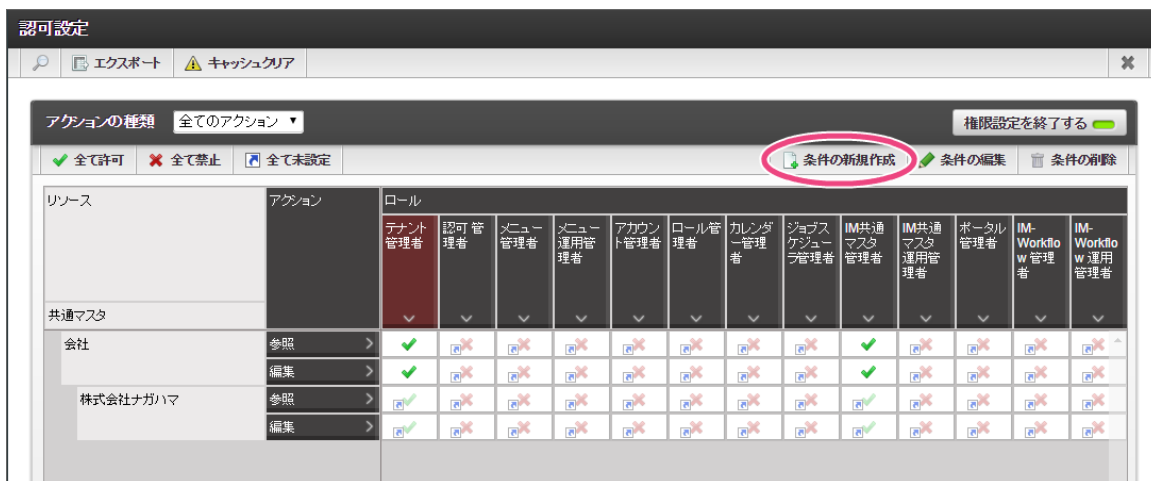
- 会社一覧から「認可設定」をクリックしましょう。



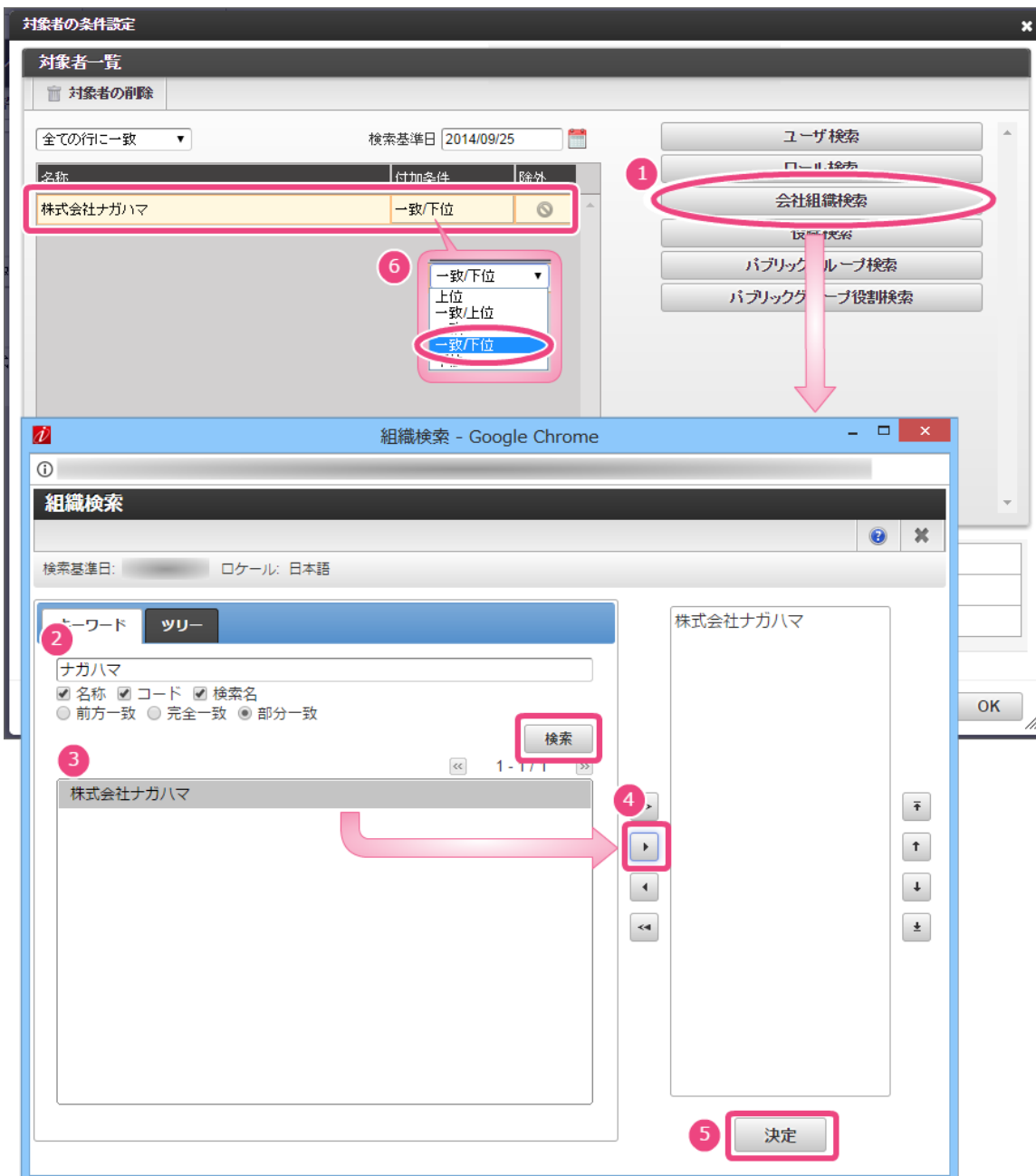
- 「権限設定を開始する」をクリックしましょう。



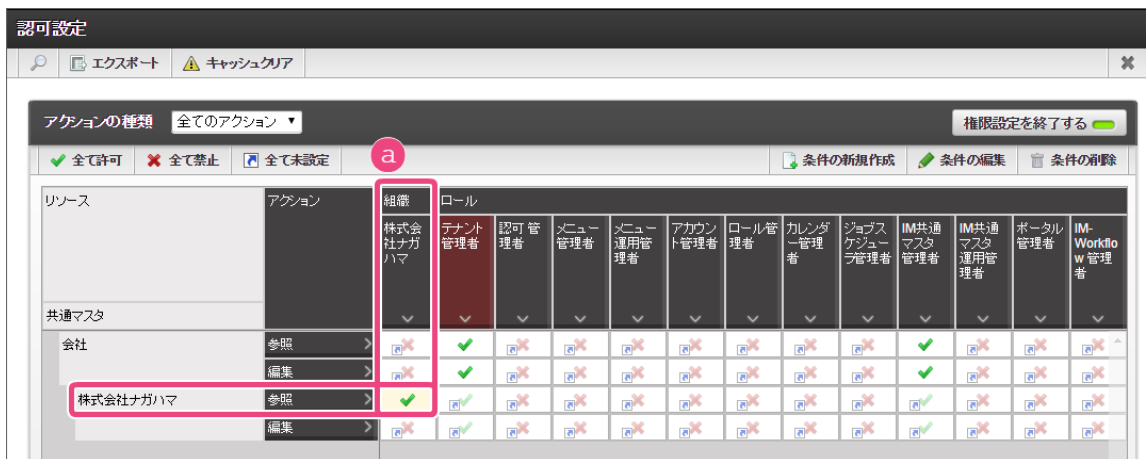
- 権限を付与するためには、対象のユーザが所属する会社を横軸（条件）に追加する必要がありますので、「条件の新規作成」をクリックしましょう。



- 以下の手順で「認可設定画面」の条件（対象者）に「株式会社ナガハマ」を追加しましょう。



1. 「会社組織検索」をクリックしてください。
 2. 株式会社ナガハマの検索条件を入力して「検索」をクリックしてください。
この例では会社名の一部である「ナガハマ」を入力し、検索方法を「部分一致」として検索を実行しています。
 3. 検索結果から「株式会社ナガハマ」をクリックして選択してください。
 4. 選択結果に追加するためにこのボタン（上から2つめのボタン）をクリックしてください。
 5. 「決定」をクリックして対象者一覧に選択した会社を反映させます。
 6. 追加された「株式会社ナガハマ」の付加条件を「一致/下位」に変更してください。
最後に「OK」をクリックして設定を完了してください。
6. 横軸のリソースで作成した会社（株式会社ナガハマ）の「参照」と、先の手順で追加した横軸（条件）の会社（株式会社ナガハマ）が交差する部分をクリックして、 になるようにしましょう。



a. 「条件の新規作成」で追加した対象者です。

- ここまで設定できたら「権限設定を終了する」をクリックして、権限設定の画面を閉じましょう。

組織（部門）の情報を登録する

intra-martを利用する組織（部門）の情報を登録しましょう。

組織（部門）の登録を始める

- 「共通マスタ」の「組織」をクリックします。
- 会社の組織情報が表示されます。
会社を右クリックして、「配下に新規組織を登録」をクリックしましょう。



組織（部門）の情報を入力する

- 組織（部門）の名称や住所などの基本情報を入力しましょう。
複数のロケール（言語）が利用できる環境の場合には、すべてのロケール分の情報を入力します。

- 他ロケール情報を登録する場合には、まず「他ロケール設定」をクリックしましょう。

- 設定する言語の右のチェックボックスをクリックした後、「日本語からコピー」をクリックしてください。
日本語からのコピーを行わない場合には、チェックボックスをクリックした後に、必要な情報を入力していきましょう。

- 日本語で設定した内容を、他の言語（図では英語）にコピーすることができました。

- 中国語など他の言語も利用できる場合には、同様にチェックボックスをオンにした上でコピーや、必要な情報を入力しましょう。
- 最後に「決定」をクリックすると、言語別の情報の登録は完了です。

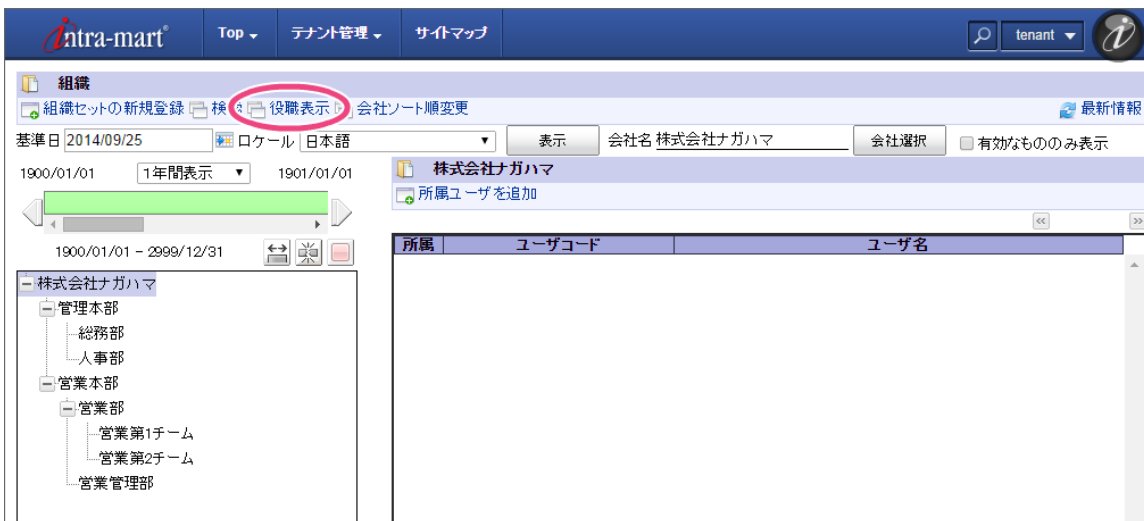
- 最後に「登録」をクリックし、組織（部門）の情報を登録しましょう。
- 同じ手順を繰り返し、以下の図のように必要な組織をすべて登録しましょう。

役職の情報を登録する

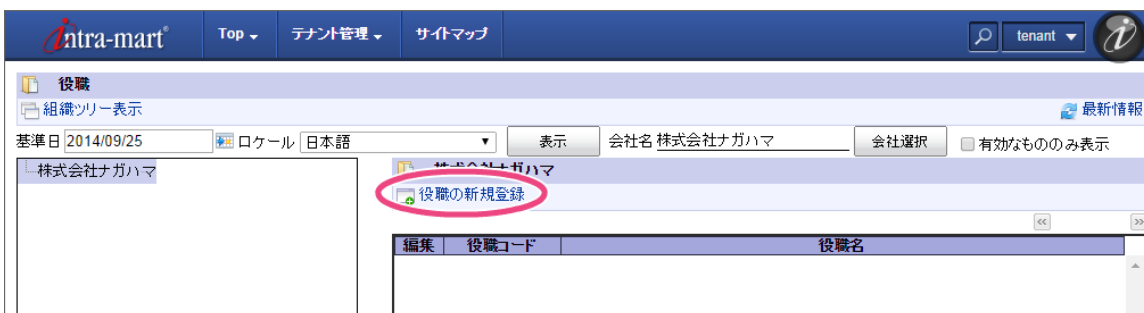
組織に所属するユーザに役職を設定できるように、役職を登録しましょう。

役職の登録を始める

- 組織の情報を表示している画面で「役職表示」をクリックしましょう。



2. 「役職の新規登録」をクリックして、役職の情報の登録をはじめましょう。



役職の情報を入力する

1. 役職の名称などの基本情報を入力しましょう。
複数のロケール（言語）が利用できる環境の場合には、すべてのロケール分の情報を入力します。



- 他ロケール情報を登録する場合には、まず「他ロケール設定」をクリックしましょう。

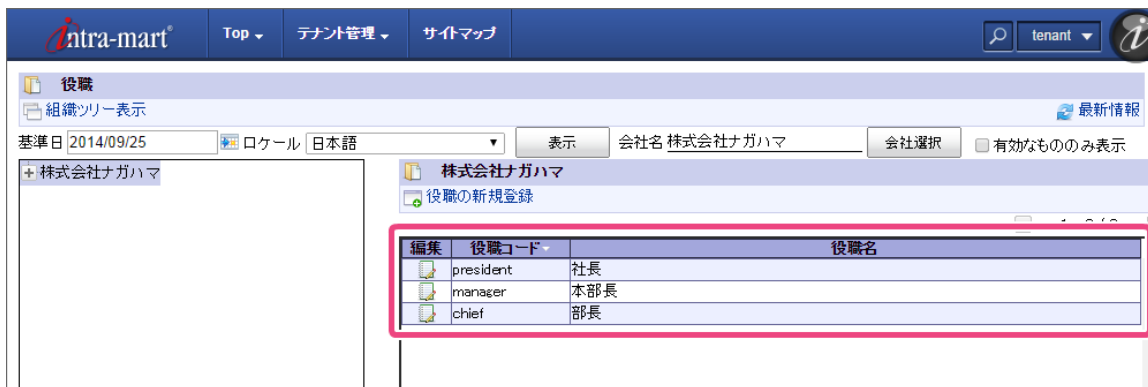
- 設定する言語の右のチェックボックスをクリックした後、「日本語からコピー」をクリックしてください。日本語からのコピーを行わない場合には、チェックボックスをクリックした後に、必要な情報を入力していきましょう。

- 日本語で設定した内容を、他の言語（図では英語）にコピーすることができました。

- 中国語など他の言語も利用できる場合には、同様にチェックボックスをオンにした上でコピーや、必要な情報を入力しましょう。
- 最後に「決定」をクリックすると、言語別の情報の登録は完了です。

2. 最後に「登録」をクリックし、役職の情報を登録しましょう。

3. 同じ手順を繰り返し、以下の図のように必要な役職をすべて登録しましょう。



ロール（権限管理単位）の情報を登録する

権限を管理する単位としてロール（役割）の情報を登録しましょう。

今回は、社員向けのロールとして「社員」というロールを登録します。

ロール（権限管理単位）の登録を始める

1. 「テナント管理」の「ロール」をクリックします。
2. ロールの一覧が表示されます。
「新規登録」をクリックして、ロールの登録をはじめましょう。



ロールの情報を入力する

1. ロールの名称などの基本情報を入力しましょう。
ロールID、ロール名には、識別するためのコードを入力し、表示名にわかりやすい名称を入力しましょう。

The screenshot shows the 'ロール登録' (Role Registration) page. The 'ロール情報' (Role Information) section contains the following fields:

- ロールID*: employee
- ロール名*: employee
- カテゴリ: (dropdown menu)
- 表示名*:

日本語*	社員
英語	社員
中国語 (中華人民共和国)	社員

The 'サブロール' (Sub-role) section shows a search bar with the text 'サブロールを検索して追加' and a trash icon with the text 'チェックしたサブロールを削除'. Below this is a table with the following columns: 'ロール名' and '表示名'.

a. ロールID、ロール名

どちらも同じ内容を入力してください。
今回の例では「employee」と入力しています。

b. 表示名

設定画面等に表示するための名称を入力してください。
今回の例では「社員」と入力しています。

項目の入力の詳細については、「[ロール情報について](#)」で確認することができます。

2. ワークフローを全社員が利用できる権限を付与するために、ワークフローの利用者向けロール「IM-Workflow ユーザ」を追加します。「サブロールを検索して追加」をクリックします。

The screenshot shows the 'ロール登録' (Role Registration) page. The 'サブロール' (Sub-role) section is highlighted with a red circle around the search button labeled 'サブロールを検索して追加'. The table below shows the following columns: 'ロール名' and '表示名'.

3. 「IM-Workflow ユーザ」のチェックをオンにして、「追加」をクリックします。



4. 最後に「登録」をクリックすると、ロールを作成できました。

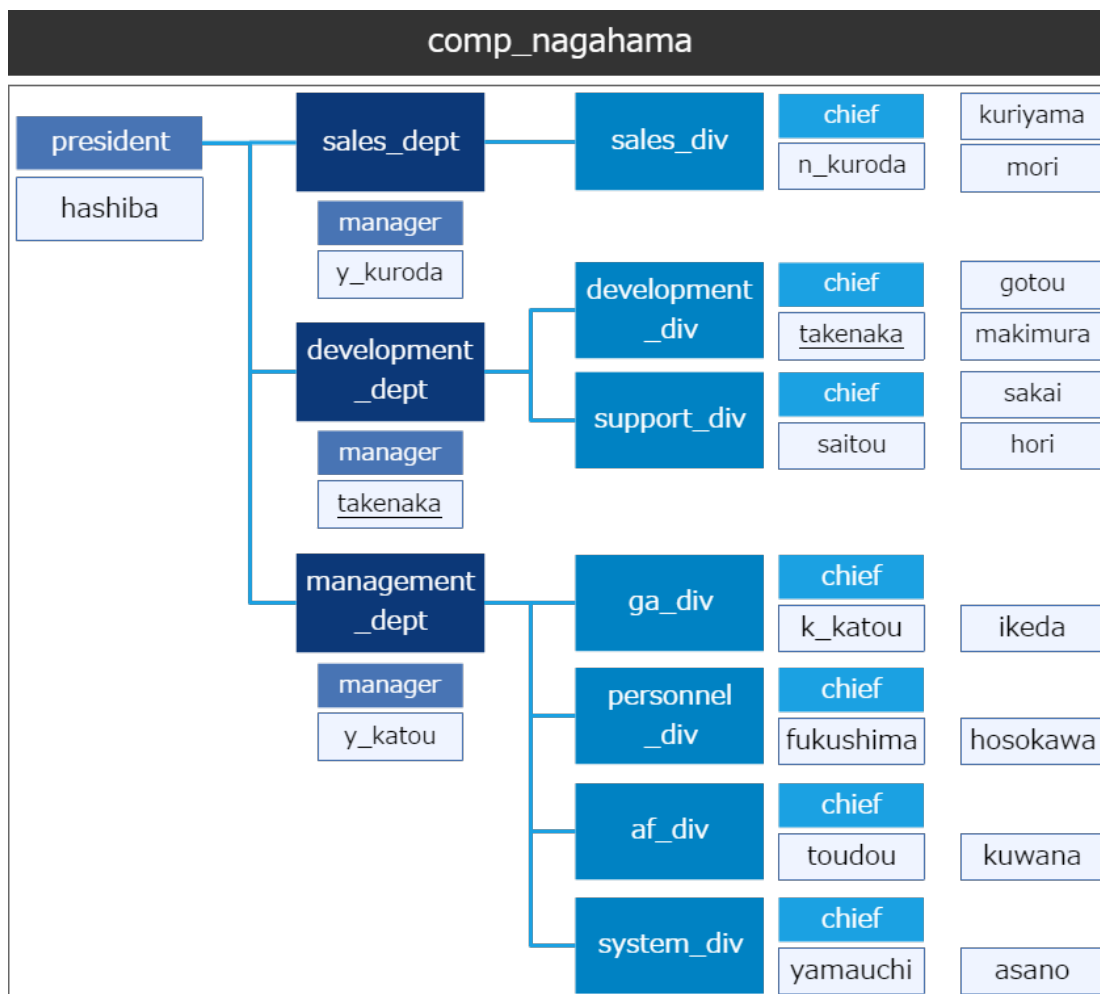
ユーザをマスタに登録する

intra-martを利用するユーザ（社員）の情報を登録しましょう。

ビギナーズガイドでは、以下の図の通りにユーザを登録していきます。

- 登場人物

本章で扱う会社・組織・登場人物（社員）は、以下の図の通りです。
本章で説明する手順は、以下の図に合わせて記述しております。



図中の組織コード、ユーザIDに対応する名称は以下の表の通りです。
図中の名前の下線は兼務を表します。

組織コード	組織名	役職コード	役職名	ユーザID	ユーザ名
comp_nagahama	株式会社ナガハマ	president	社長	hashiba	羽柴秀吉
sales_dept	営業本部	manager	本部長	y_kuroda	黒田孝高

組織コード	組織名	役職コード	役職名	ユーザID	ユーザ名
sales_div	営業部	chief	部長	n_kuroda	黒田長政
		—	—	kuriyama	栗山利安
		—	—	mori	母里友信
development_dept	開発本部	manager	本部長	takenaka	竹中重治
development_div	開発部	chief	部長	takenaka	竹中重治
		—	—	gotou	後藤基次
		—	—	makimura	牧村利貞
support_div	サポート&サービス部	chief	部長	saitou	斎藤龍興
		—	—	sakai	坂井政尚
		—	—	hori	堀秀重
management_dept	管理本部	manager	本部長	y_katou	加藤嘉明
ga_div	総務部	chief	部長	k_katou	加藤清正
		—	—	ikedai	池田輝政
personnel_div	人事部	chief	部長	fukushima	福島正則
		—	—	hosokawa	細川忠興
af_div	経理部	chief	部長	toudou	藤堂高虎
		—	—	kuwana	桑名吉成
system_div	情報システム部	chief	部長	yamauchi	山内一豊
		—	—	asano	浅野幸長

ユーザ（社員）の登録を始める

1. 「共通マスタ」の「ユーザ」をクリックします。
2. 「ユーザの新規登録」をクリックして、ユーザの登録をはじめましょう。



ユーザ（社員）の情報を入力する

ユーザコードの登録

1. ユーザコードを入力しましょう。
ユーザコードは、ユーザがログインする際に利用します。

ユーザー詳細(新規)

1900/01/01 1年間表示 1901/01/01

1900/01/01 - 2999/12/31

基本 プロファイル アカウント ロール 組織所属 パブリックグループ所属 分類設定

ユーザーコード * hashiba

登録

入力が終わったら「プロフィール」をクリックします。

ユーザの基本情報（プロフィール）の登録

1. ユーザの名称、メールアドレスなどの基本情報を入力しましょう。

ここでメールアドレスを指定すると、ワークフローで申請や承認を行ったタイミングで自動的にメールが配信できます。

複数のロケール（言語）が利用できる環境の場合には、すべてのロケール分の情報を入力してください。

ユーザー詳細(新規)

1900/01/01 1年間表示 1901/01/01

1900/01/01 - 2999/12/31

基本 **プロフィール** アカウント ロール 組織所属 パブリックグループ所属 分類設定

現在のロケール 日本語 他ロケール設定

a ユーザー名 * 羽柴秀吉

フリガナ ハシバ ヒデヨシ

b メールアドレス1 hashiba@imw.intra.intra-mart.jp

- a. ユーザ名、フリガナ

ユーザ名は必須項目です。対象のユーザの名前を入力してください。

フリガナは任意項目ですが、フリガナを設定するとさまざまな設定時のユーザ検索の時に頭文字検索などができます。

- b. メールアドレス

メールアドレスを設定すると、申請や承認が行われた際にメールで通知を受け取ることができます。

- 他ロケール情報を登録する場合には、まず「他ロケール設定」をクリックしましょう。

- 設定する言語の右のチェックボックスをクリックした後、「日本語からコピー」をクリックします。
日本語からのコピーを行わない場合には、チェックボックスをクリックした後に、必要な情報を入力していきましょう。

- 日本語で設定した内容を、他の言語（図では英語）にコピーすることができました。

- 中国語など他の言語も利用できる場合には、同様にチェックボックスをオンにした上でコピーや、必要な情報を入力しましょう。
- 最後に「決定」をクリックすると、言語別の情報の登録は完了です。

入力が終わったら「アカウント」をクリックします。

ログイン、テーマに関する設定（アカウント）の登録

1. ユーザのログインに関する情報を設定しましょう。
パスワードを設定し、ライセンスのチェックをオンにします。

初回ログイン時にパスワードを変更させたい場合には、初回ログインのチェックをオンにします。

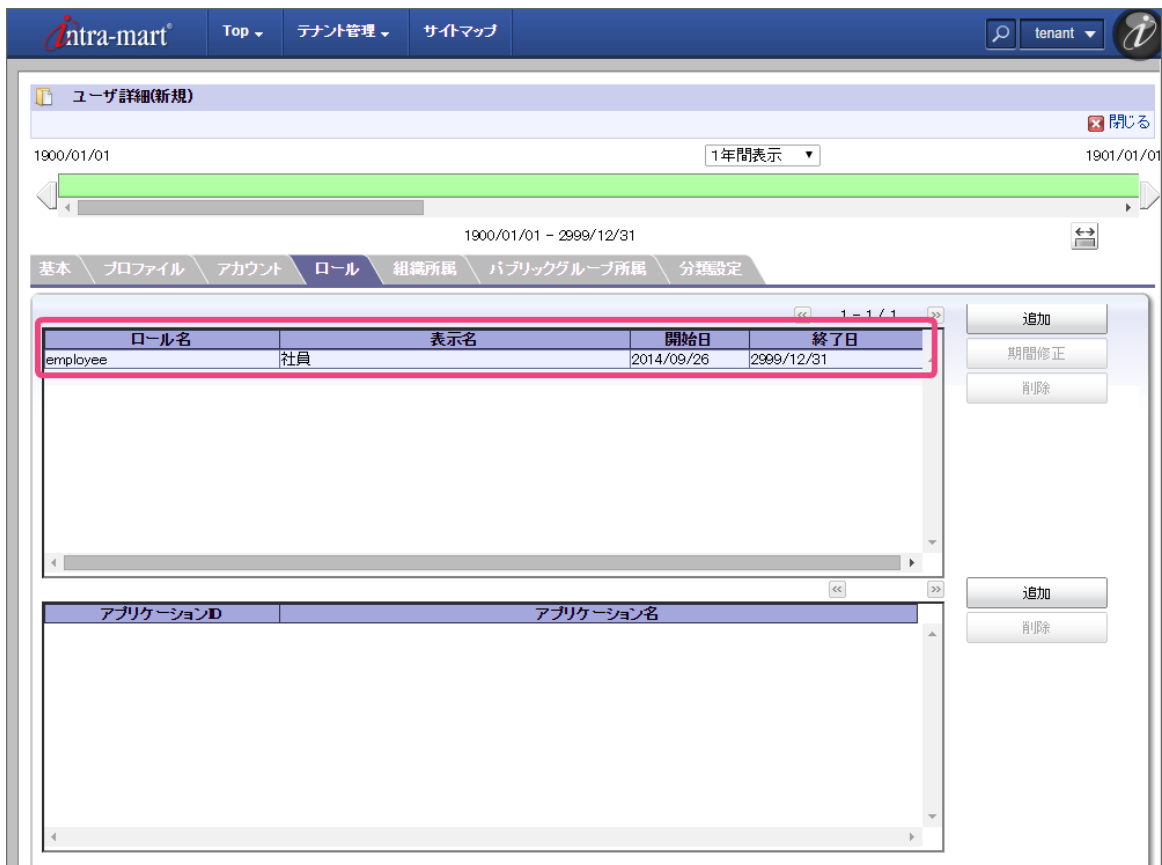
その他、[ユーザ情報の管理](#)を参考に必要な情報を入力します。

入力が終わったら「ロール」をクリックします。

ロールの設定

1. 「追加」をクリックしましょう。
2. 「ロール検索」から先ほど作成した「社員」を追加しましょう。

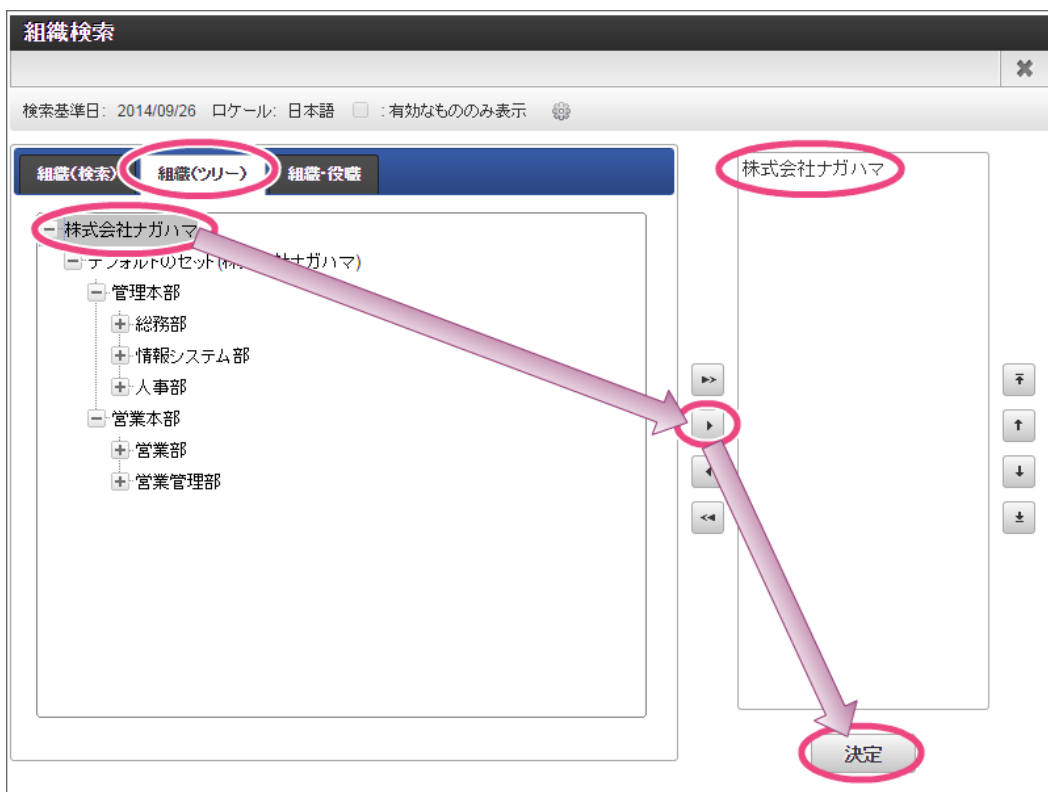
3. 追加できると、このように設定できていることが確認できます。



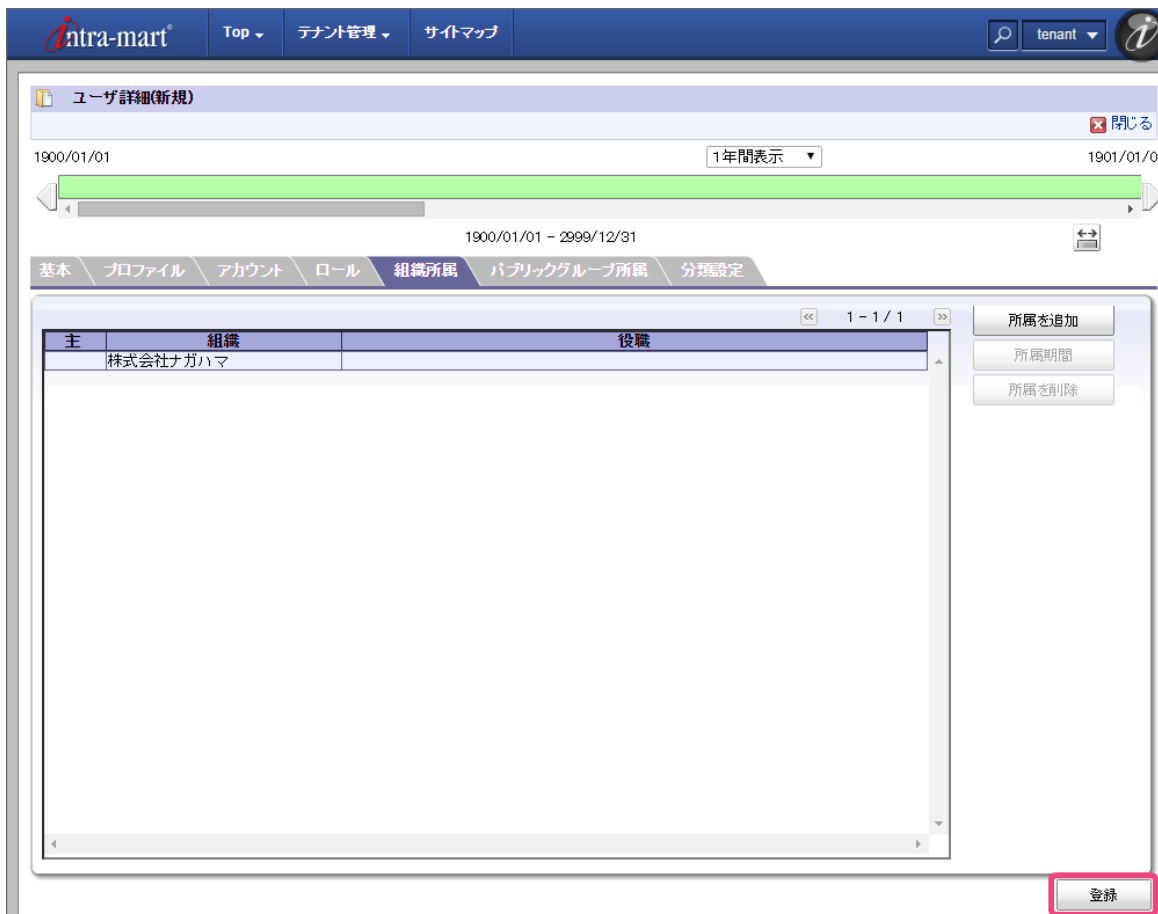
入力が終わったら「組織所属」をクリックします。

組織所属情報の設定

1. 「所属を追加」をクリックしましょう。
2. 次に「組織（ツリー）」をクリックしましょう。
3. 組織がツリー形式で表示されますので、設定したい組織（部門）を追加しましょう。



4. ここで、一旦「登録」をクリックして入力内容を保存します。



コラム

兼務（複数の組織の所属）しているユーザの場合は、所属する組織をすべて追加した上で、登録してください。今回の例で兼務となっている「竹中重治」の場合には、この時点では次のように登録されます。



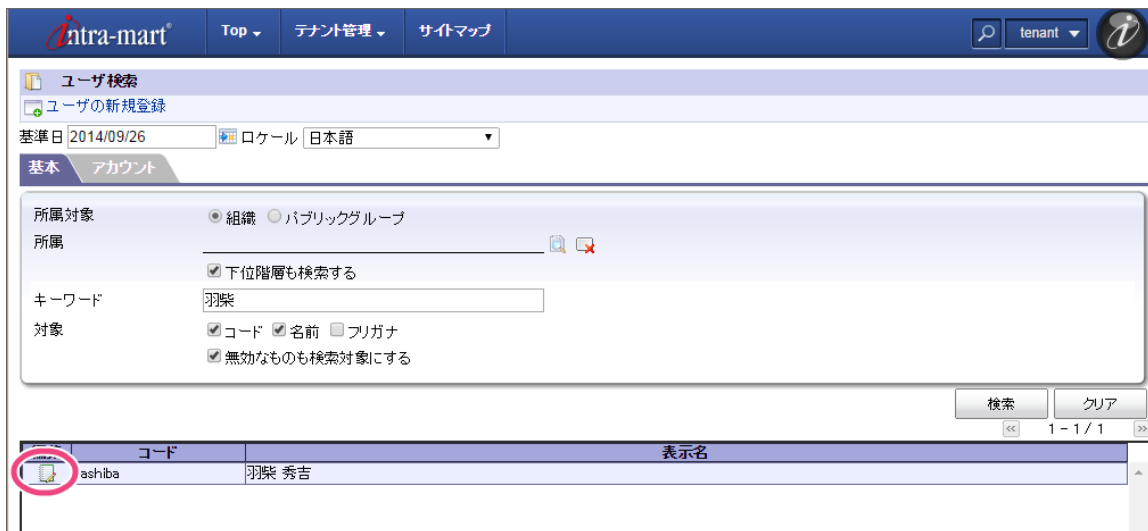
主所属情報、役職の設定

組織の主所属と役職を設定するために、登録したユーザを変更します。

1. キーワードにユーザの名前を入力して、「検索」をクリックしましょう。



2. 次に、検索結果から対象のユーザーの「編集」をクリックしましょう。



3. 「組織所属」をクリックしましょう。

4. 主所属としたい組織をクリックした後、「所属期間」をクリックしましょう。



5. 役職リストから設定したい役職を選択し、「追加」をクリックします。



6. 「主所属」のチェックボックスをオンにした後、「更新」をクリックします。



7. さらに画面下の「更新」をクリックすると、主所属情報、役職の情報を登録することができました。

The screenshot shows the 'intra-mart' user management interface. At the top, there is a navigation bar with 'Top', 'テナント管理', and 'サイトマップ'. A search bar contains 'tenant'. The main content area is titled 'ユーザー詳細(羽柴 秀吉)' and includes a date range '1900/01/01' to '1901/01/01' with a '1年間表示' dropdown. Below this is a horizontal timeline bar. A tabbed menu at the bottom of the main area includes '基本', 'プロフィール', 'アカウント', 'ロール', '組織所属', 'パブリックグループ所属', and '分類設定'. The '組織所属' tab is active, displaying a table with the following data:

主	組織	役職
主	株式会社ナガハマ	社長

On the right side of the table, there are three buttons: '所属を追加', '所属期間', and '所属を削除'. At the bottom right of the interface, there are two buttons: '削除' and '更新', with the '更新' button circled in red.

8. ここまでの手順を繰り返し行い、intra-martを利用する社員を登録します。

i コラム

兼務（複数の組織の所属）しているユーザの場合は、兼務している所属に合わせて役職も登録してください。また、主所属については、1つだけ設定してください。今回の例で兼務となっている「竹中重治」の場合には、次のように登録します。

The screenshot shows the 'ユーザー詳細(竹中重治)' page. At the top, there's a navigation bar with tabs: 基本, プロファイル, アカウント, ロール, 組織所属, パブリックグループ所属, 分類設定. Below this is a table of organizations:

主	組織	役職
主	開発部	部長
主	開発本部	本部長

Below the table is a modal window titled '申請/処理開始 [担当者]'. It contains the following fields:

- 案件名: サンプル申請
- 申請/処理開始者: 竹中重治
- 申請/開始基準日: 2014/0/30
- 担当組織: 開発本部 (circled in red with 'b')
- 優先度: 通常
- Buttons: コスト, 添付ファイル, 撤回し
- Bottom button: 申請/処理開始

a. 主所属

主所属が設定されている所属情報には主所属であることを表す「主」が表示されます。主所属を設定すると、申請や承認を行う時の所属（担当組織）の初期値として表示されます。担当組織の詳細は「IM-Workflow 仕様書」-「担当組織の指定」を参照してください。

b. 担当組織

主所属の「開発本部」が選択された状態で申請（承認）画面が表示されています。

i コラム

多くの社員や組織をまとめて登録・更新する場合には、CSVやXML形式のファイルによるインポート・エクスポートを利用することができます。詳細は「IM-共通マスタ インポート・エクスポート仕様書」を参照してください。

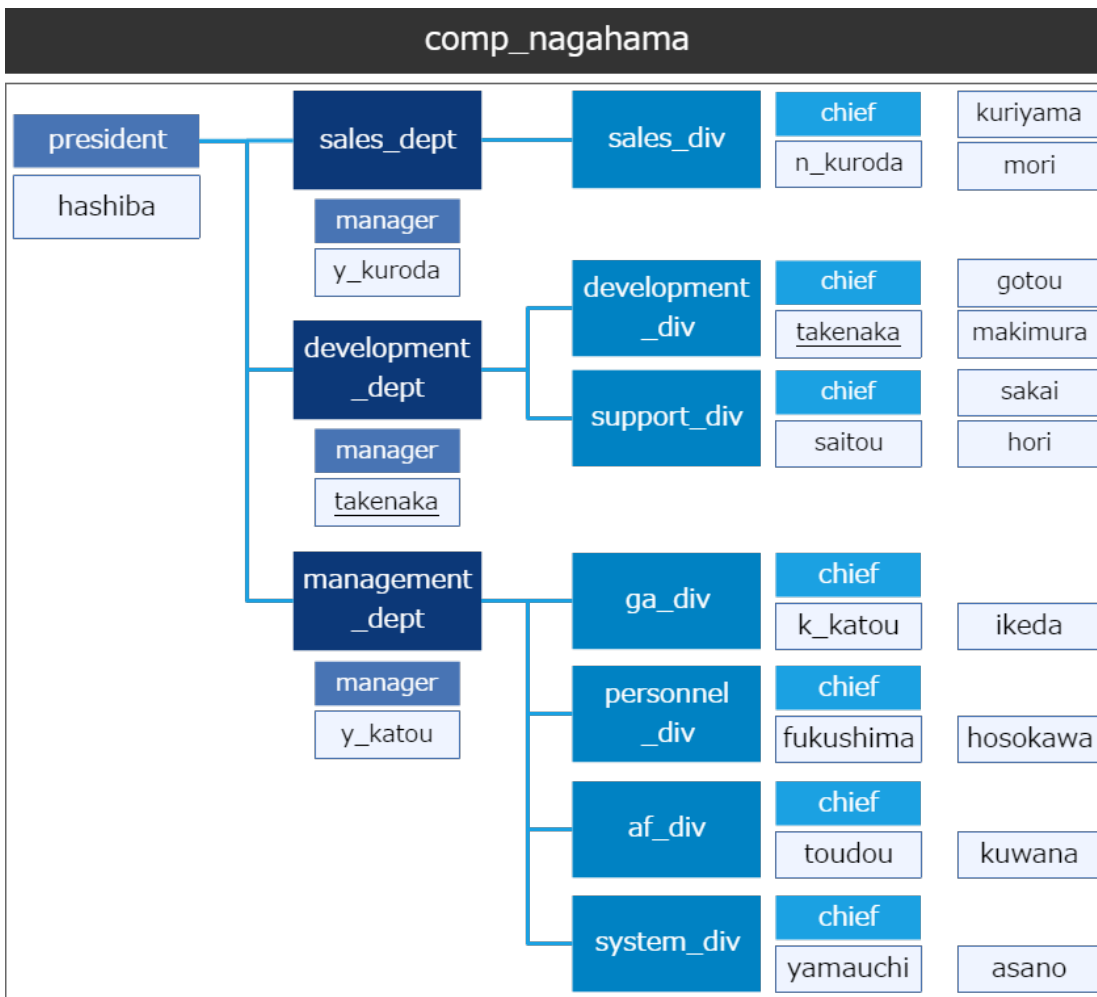
関連情報

ここに記載したマスタやアカウントの設定の情報の詳細は、以下のドキュメントで説明しております。

- [IM-共通マスタ 管理者操作ガイド](#)

登場人物

本章で扱う会社・組織・登場人物（社員）は、以下の図の通りです。本章で説明する手順は、以下の図に合わせて記述しております。



図中の組織コード、ユーザIDに対応する名称は以下の表の通りです。
 図中の名前の下線は兼務を表します。

組織コード	組織名	役職コード	役職名	ユーザID	ユーザ名
comp_nagahama	株式会社ナガハマ	president	社長	hashiba	羽柴秀吉
sales_dept	営業本部	manager	本部長	y_kuroda	黒田孝高
sales_div	営業部	chief	部長	n_kuroda	黒田長政
		—	—	kuriyama	栗山利安
		—	—	mori	母里友信
development_dept	開発本部	manager	本部長	takenaka	竹中重治
development_div	開発部	chief	部長	takenaka	竹中重治
		—	—	gotou	後藤基次
		—	—	makimura	牧村利貞
support_div	サポート&サービス部	chief	部長	saitou	斎藤龍興
		—	—	sakai	坂井政尚
		—	—	hori	堀秀重
management_dept	管理本部	manager	本部長	y_katou	加藤嘉明
ga_div	総務部	chief	部長	k_katou	加藤清正
		—	—	ikeda	池田輝政
personnel_div	人事部	chief	部長	fukushima	福島正則
		—	—	hosokawa	細川忠興
af_div	経理部	chief	部長	toudou	藤堂高虎
		—	—	kuwana	桑名吉成
system_div	情報システム部	chief	部長	yamauchi	山内一豊
		—	—	asano	浅野幸長

ワークフローを導入しよう

先の「[intra-martのテナント管理者の初期設定作業を行う](#)」の手順で必要な初期設定作業を終えた後は、2つのフロー作成を通じて、IM-BIS ができることを確認していきましょう。

この章では、IM-BIS の特徴である「ワークフロー」と「業務プロセス」の2つのフローを作成します。

ワークフロー・業務プロセスの管理者を登録する

最初に、ワークフローや業務プロセスの作成に当たって、作成するための管理者を設定しましょう。

ワークフロー・業務プロセスの管理者を登録する手順

- 特定の担当者をワークフローや業務プロセスの管理者に設定する
- ワークフローや業務プロセスの管理者にViewCreatorの管理者権限を設定する

特定の担当者をワークフローや業務プロセスの管理者に設定する

特定の担当者が、ワークフローや業務プロセスの管理者になるために必要な作業を実施していきます。


特定のユーザをワークフローや業務プロセスの管理者にするためには、「BIS管理者」ロールを設定することで実現できます。

ユーザにBIS管理者のロールを設定する

今回の例では、情報システム部のユーザ（山内一豊、浅野幸長）をワークフローや業務プロセスの管理者に設定していきます。

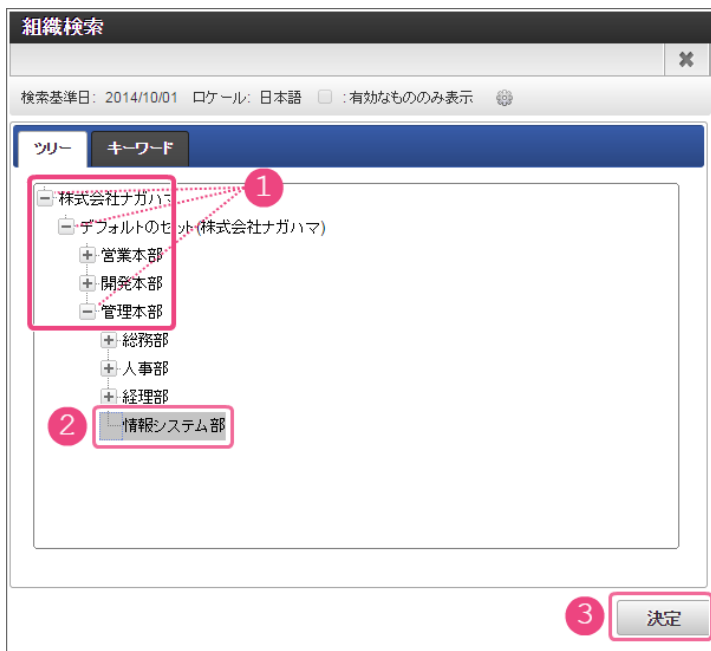
1. テナント管理者でログインします。
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「テナント管理」→「共通マスタ」の順にマウスを重ねてから「ユーザ」をクリックしましょう。



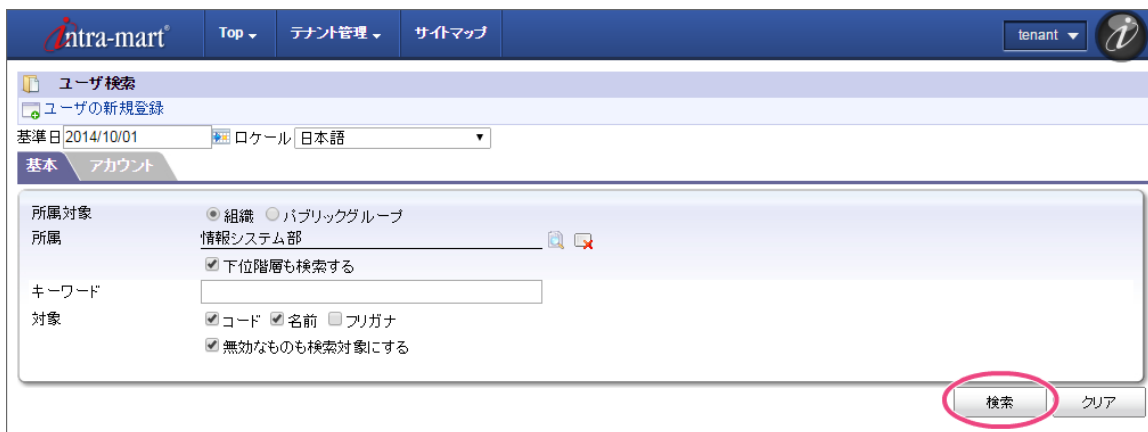
3. 共通マスタ（ユーザ）の管理画面が表示されますので、所属の  をクリックしましょう。



4. 組織のツリーを展開し、「情報システム部」を選択後に、「決定」をクリックしましょう。



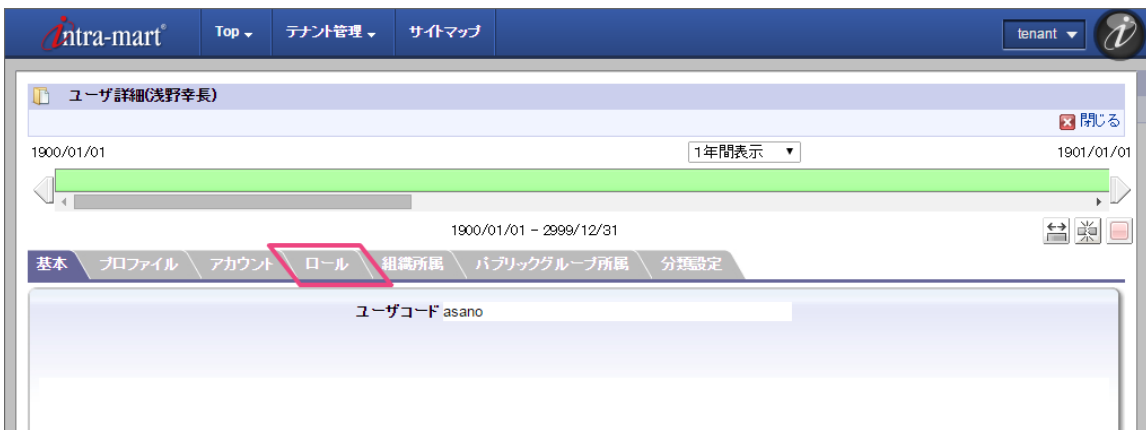
5. 「検索」をクリックします。



6. 情報システム部に所属するユーザーのみが表示されますので、「編集」をクリックして、ユーザーの編集画面を表示します。



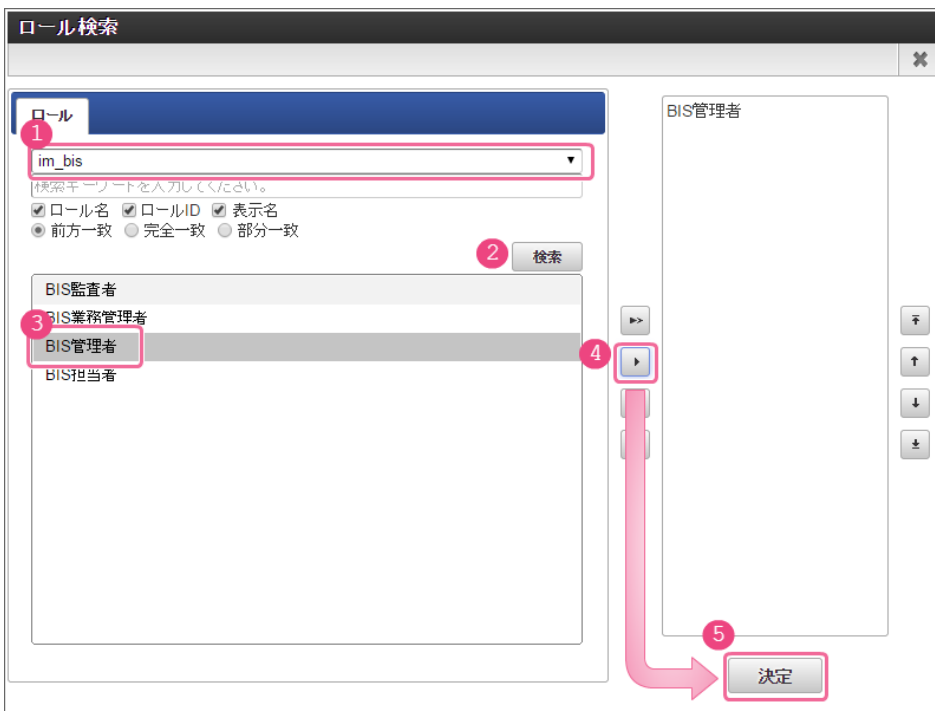
7. 「ロール」をクリックして、ロールの設定画面に切り替えます。



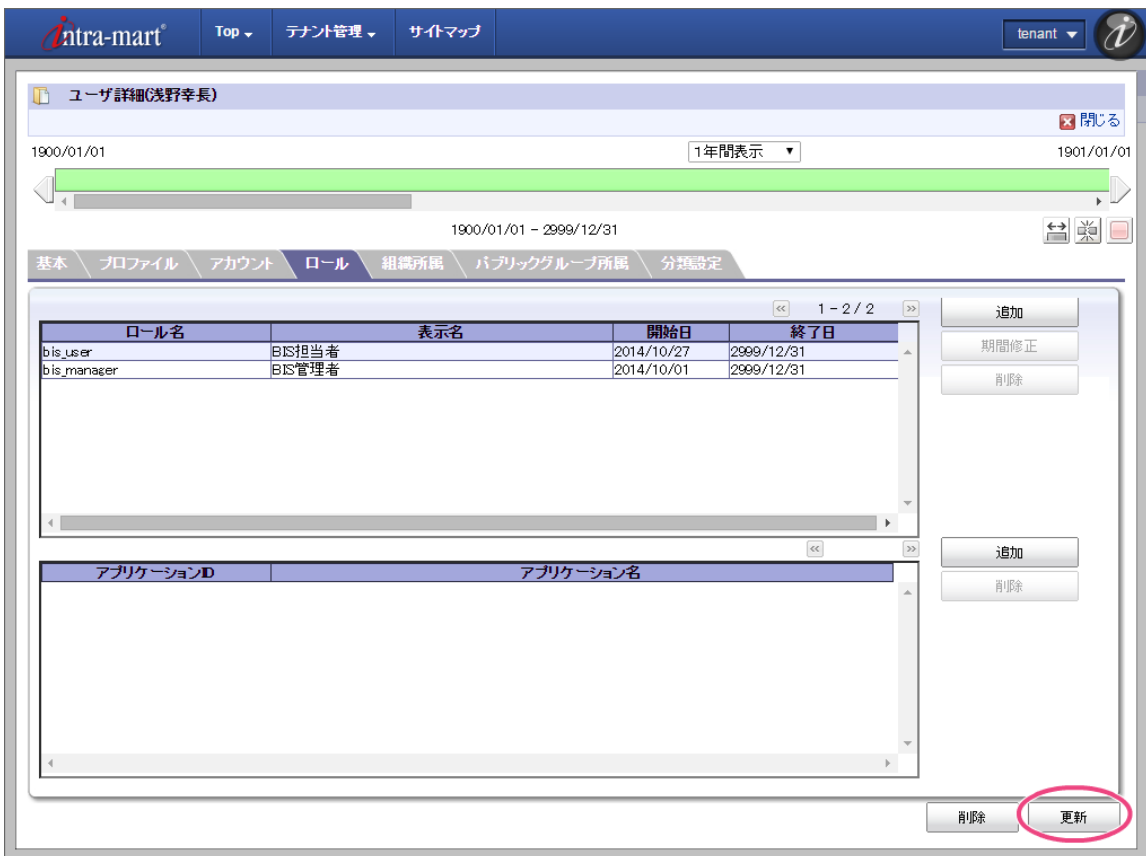
8. 「追加」をクリックします。



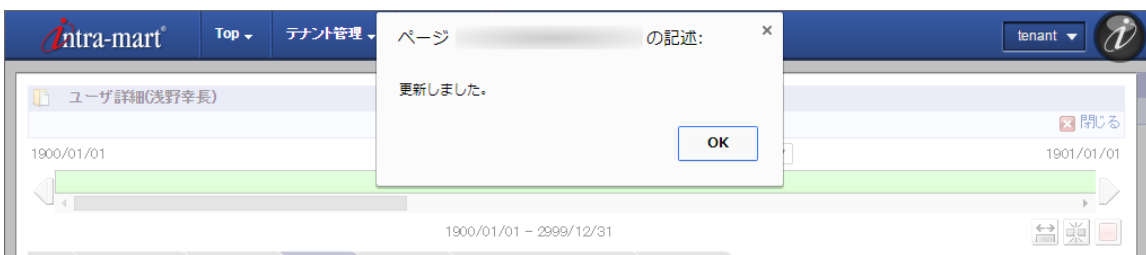
9. 「ロール検索」でカテゴリを「im_bis」に設定して、「検索」をクリックしましょう。「BIS管理者」を選択して、「決定」をクリックします。



10. 「更新」をクリックして、変更内容を保存します。



11. これで、1人目のユーザーをワークフロー・業務プロセスの管理者にすることができました。



12. 同様の手順で、他のユーザーもワークフロー・業務プロセスの管理者にします。

ワークフロー・業務プロセスの管理者を確認する

設定したワークフロー・業務プロセスの管理者のユーザーを確認します。

1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「テナント管理」にマウスを重ねてから「ロール」をクリックしましょう。



2. 「BIS管理者」の「ユーザーコード一覧」をクリックします。

検索条件にカテゴリとロール名を指定することができます。

ロール名を入力してください。

編集	ユーザーコード一覧	カテゴリ	ロール名	表示名
			account_manager	アカウント管理者
		collaboration	addressbook_manager	Addressbook管理者
		collaboration	addressbook_owner	Addressbookオーナー
			authz_manager	認可管理者
		im_bis	bis_auditor	BIS監査者
		im_bis	bis_business_manager	BIS業務管理者
		im_bis	bis_manager	BIS管理者
		im_bis	bis_user	BIS担当者
			calendar_manager	カレンダー管理者

4 ページ中 1 ページ目 10 39 件中 1 - 10 を表示

3. ワークフロー・業務プロセスの管理者のユーザーを一覧で確認することができました。

「ユーザー追加」からユーザーを選択すると、このロールに対してユーザーが登録されます。
有効期間は、当日～システム終了日が初期設定されますので、必要に応じて変更してください。

選択済みユーザーの有効期間を変更

ユーザーコード	有効期間 (開始)	有効期間 (終了)
<input type="checkbox"/> asano	2014/10/01	2999/12/31
<input type="checkbox"/> yamauchi	2014/10/01	2999/12/31

1 ページ中 1 ページ目 10 2 件中 1 - 2 を表示

ワークフローや業務プロセスの管理者にViewCreatorの管理者権限を設定する


これから実行するシナリオの手順の準備として、先ほどの手順で設定したワークフローや業務プロセスの管理者にViewCreatorの管理者権限も設定します。

ユーザーにViewCreator管理者のロールを設定する

今回の例では、データベースとの連携の設定時に、ViewCreatorを利用するため、情報システム部のユーザー（山内一豊、浅野幸長）にViewCreatorを利用するための権限も設定します。

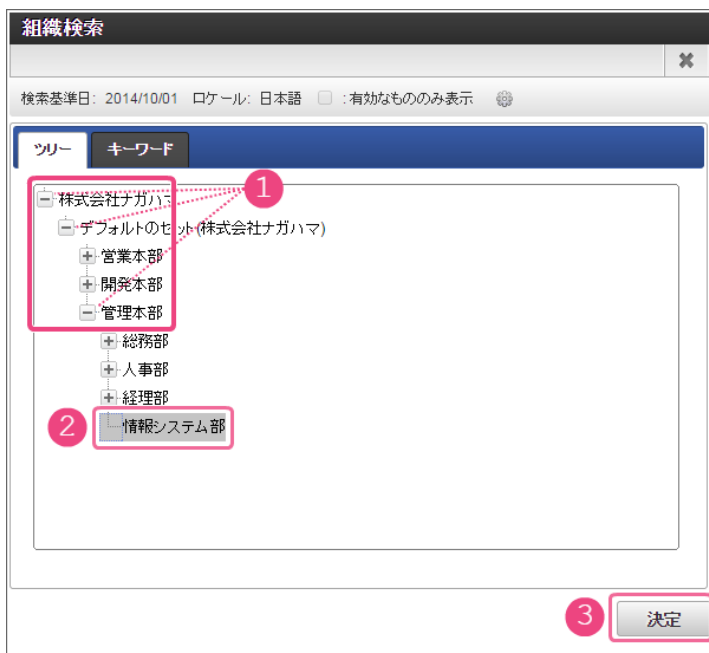
1. テナント管理者でログインします。
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「テナント管理」→「共通マスタ」の順にマウスを重ねてから「ユーザー」をクリックしましょう。



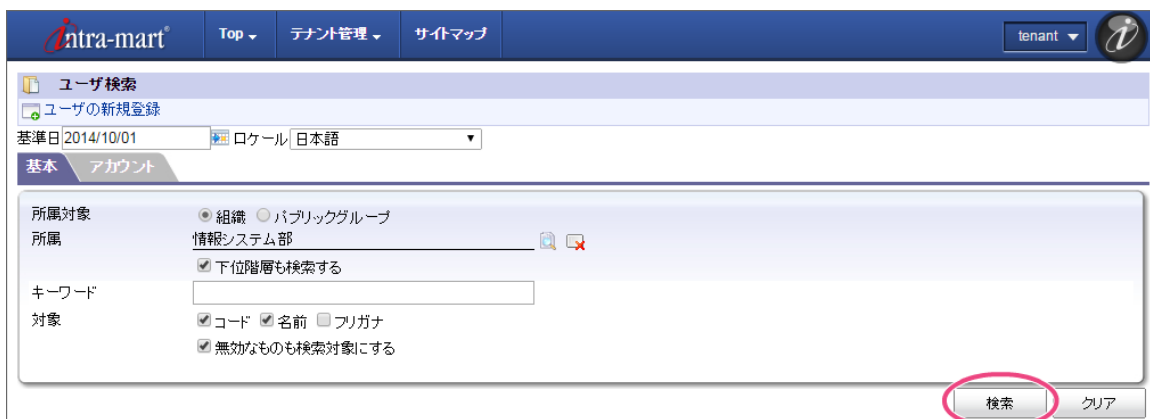
3. 共通マスタ（ユーザー）の管理画面が表示されますので、所属の  をクリックしましょう。



4. 組織のツリーを展開し、「情報システム部」を選択後に、「決定」をクリックしましょう。



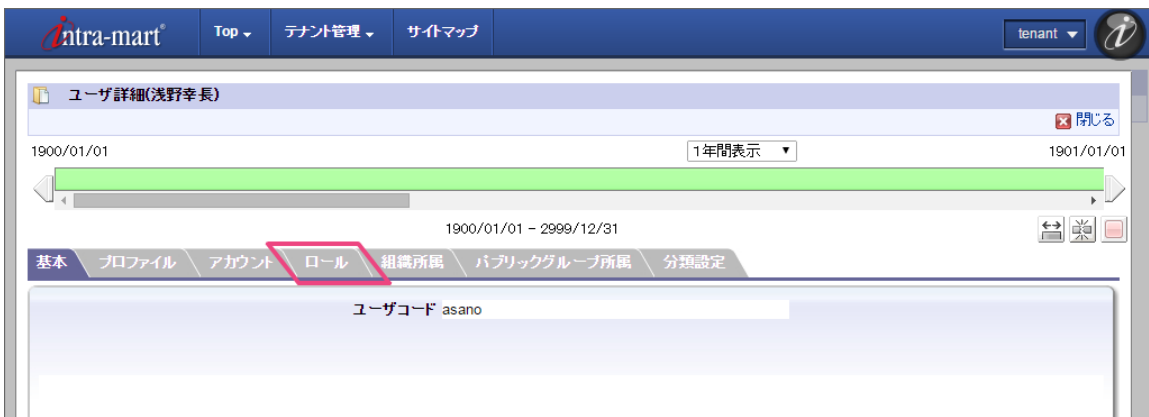
5. 「検索」をクリックします。



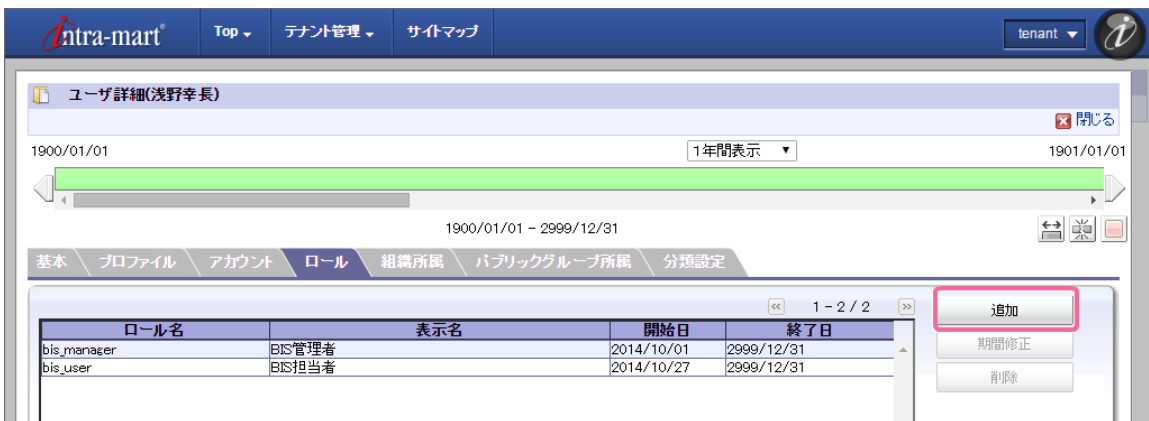
6. 情報システム部に所属するユーザのみが表示されますので、「編集」をクリックして、ユーザの編集画面を表示します。



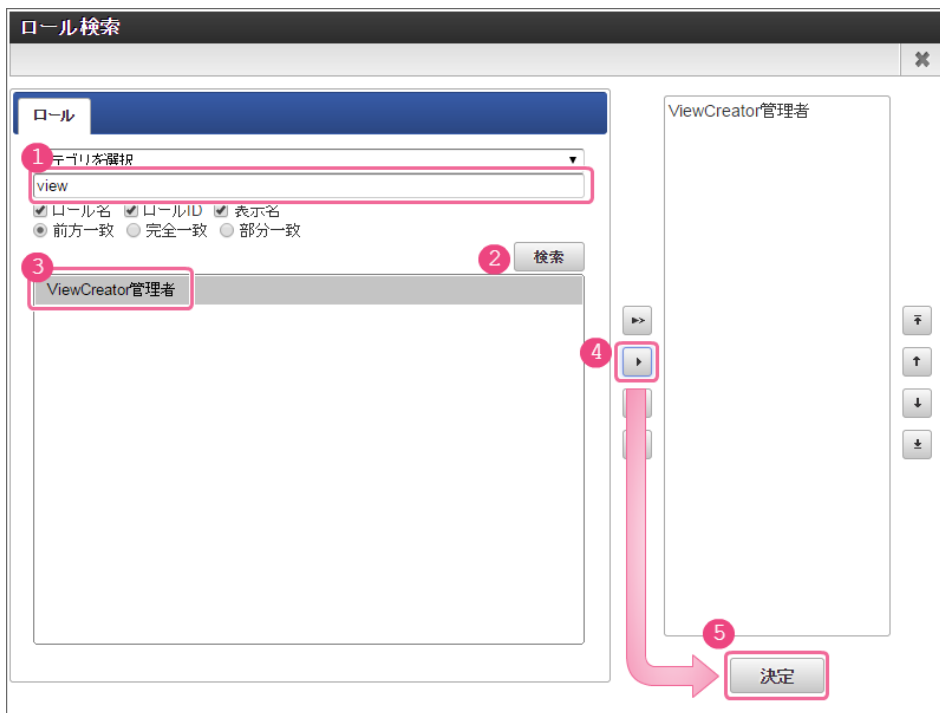
7. 「ロール」をクリックして、ロールの設定画面に切り替えます。



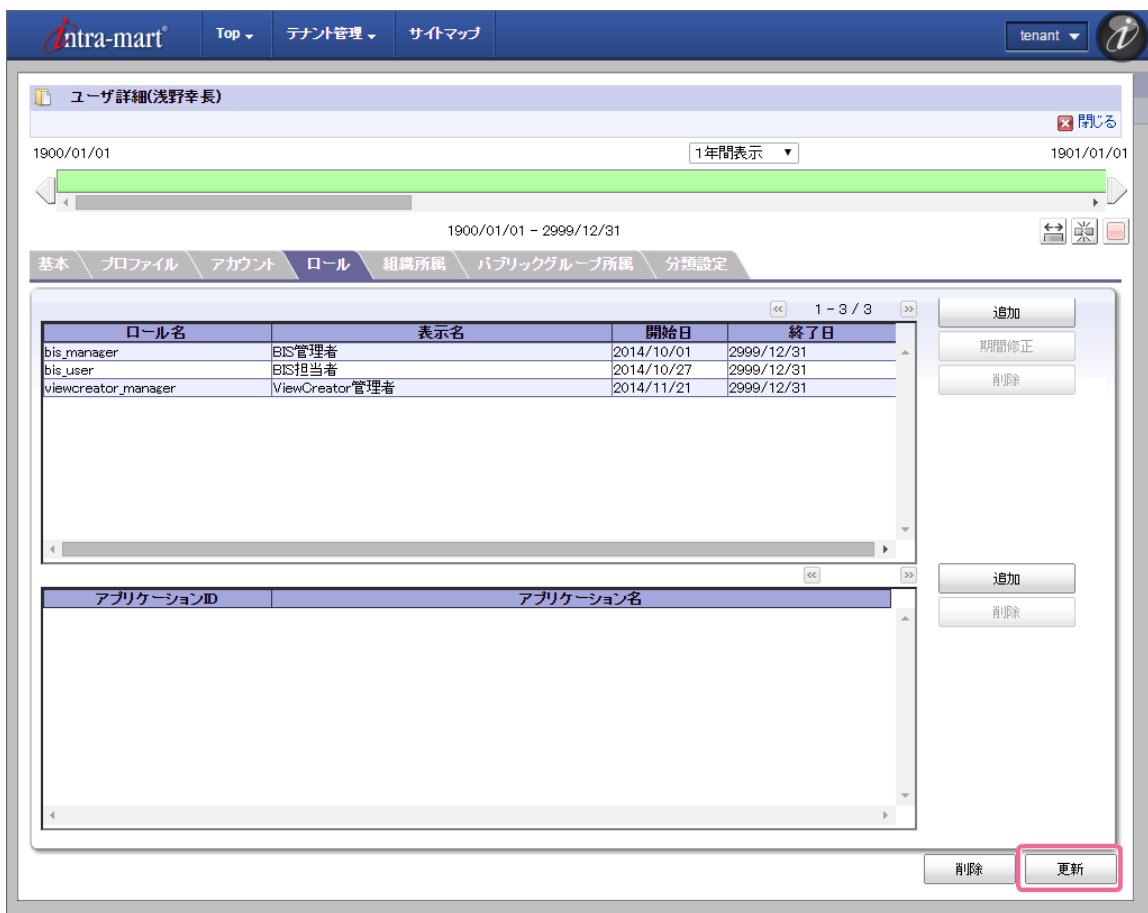
8. 「追加」をクリックします。



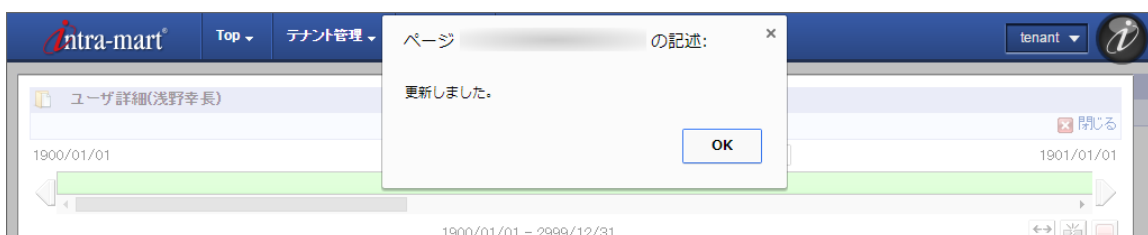
9. 「ロール検索」でカテゴリは何も選択せずに「view」と入力して、「検索」をクリックしましょう。「ViewCreator管理者」を選択して、「決定」をクリックします。



10. 「更新」をクリックして、変更内容を保存します。



11. これで、1人目のユーザにViewCreatorの利用に必要な設定をすることができました。



12. 同様の手順で、他のユーザにもViewCreatorの利用に必要な設定を行います。
13. 「ワークフロー・業務プロセスの管理者を確認する」を参考に、ViewCreator管理者についても、設定できていることを確認しましょう。



14. 以上で、ワークフロー・業務プロセスの管理者に必要な設定を行うことができました。

勤怠管理のワークフローを作成するための準備

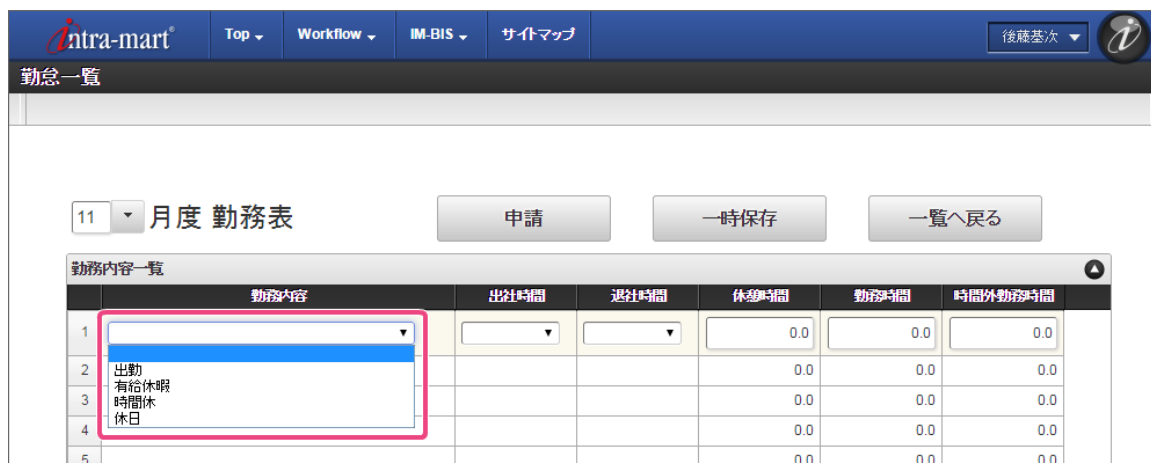
勤怠管理のワークフローでは、一部の項目の入力補助として、データベースに登録しているマスタ情報を参照する設定を行います。シナリオに従って操作を行う前に、準備作業として、これら参照するマスタを IM-FormaDesigner の標準アプリケーションで作成し、データを登録しましょう。

勤怠管理のワークフローでマスタを参照している項目

勤怠管理のワークフローでマスタを参照している項目は、次の2つです。この2つの項目で利用するマスタを作成します。

勤怠種類マスタ

最初の担当者入力時に、当日の勤務内容の選択肢として表示するために利用します。



人件費マスタ

経理部画面で、勤務一覧の勤務時間の合計と組み合わせ、申請された月の人件費を算出するために利用します。社員の役割等級に合わせた基本時間人件費を管理できるようにします。

11 月度勤務表 承認 一覧へ戻る

担当者 後藤基次

従業員ランク 一般

勤務時間単価 1,500 円 勤務時間 56 時間 = 合計 84,000 円

従業員ランク	従業員ランク名	時間単価
entry	エントリー	1000
general	一般	1500
Leader	リーダー	2000

勤怠種類マスタを作成する

勤怠種類を管理するマスタを作成していきましょう。

アプリケーションの登録を始める

1. BIS管理者に設定したユーザでログインしましょう。
(今回の例では、「浅野幸長」でログインします。)
2. サイトマップ「Forma管理画面」の「Formaアプリ作成管理」配下にある「アプリ一覧」をクリックしてください。

サイトマップ

- ポータル
- IM-BIS
- Forma管理画面**
 - Formaアプリ作成
 - アプリ一覧
 - Formaアプリ作成管理
 - 採番ルール定義
 - データベース定義
 - テナントDBクエリ
 - シェードDBクエリ
 - データベース定義移行
 - データベース定義インポート
 - データベース定義エクスポート
 - アプリ実行
 - アプリケーション情報インポート
 - アプリケーション情報エクスポート
 - アプリ一覧**
- ワークフロー
- Formaアプリ
- Forma帳票アプリケーション集
- ViewCreator
- 共通マスタ
- 個人設定

3. アプリケーション一覧が表示されます。
勤怠種類マスタのアプリケーションを新規に登録するために、「登録」をクリックしてください。



4. アプリケーションの基本情報では、以下の通りに入力してください。

項目	設定内容
a アプリケーションID	m_work_type
b アプリケーション種別	標準
c 有効日付 (開始)	アプリケーションの利用開始日
d 一覧表示タイプ	標準の一覧を利用する <ul style="list-style-type: none"> 「一覧表示タイプ」は IM-FormaDesigner 2015 Spring (8.0.9)以降で設定できる項目です。
e アプリケーション名	勤怠種類マスタ

コラム

アプリケーションのロケールについて

アプリケーションのロケールは、マスタにデータを登録するユーザ（この例では、経理部や人事部）のロケールにあわせて設定します。intra-mart Accel Platform のロケールが複数（日英中など）となっている場合でも、登録するユーザが日本語ロケールのみであれば、日本語のみのままで問題ありません。

5. 必要な情報を入力したら「登録」をクリックしましょう。
確認メッセージは「決定」をクリックして、次の作業に進みます。

画面のレイアウトを設定する

画面のレイアウトを設定していきます。
今回は、以下のような画面を作成していきましょう。

ヘッダーを設定する

最初に画面上部のヘッダー部分を設定していきましょう。

ここでの設定箇所は、以下の図で枠に囲まれた部分が該当します。

- 最初に画面のヘッダを作成するために「ヘッダーとフッター」をクリックしてください。

- 「ヘッダー設定」では、以下の通りに入力し、「設定」をクリックしてください。

項目	設定内容
a ヘッダー設定	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
b タイトル名	勤怠種類マスタ管理

3. ヘッダーを設定することができました。



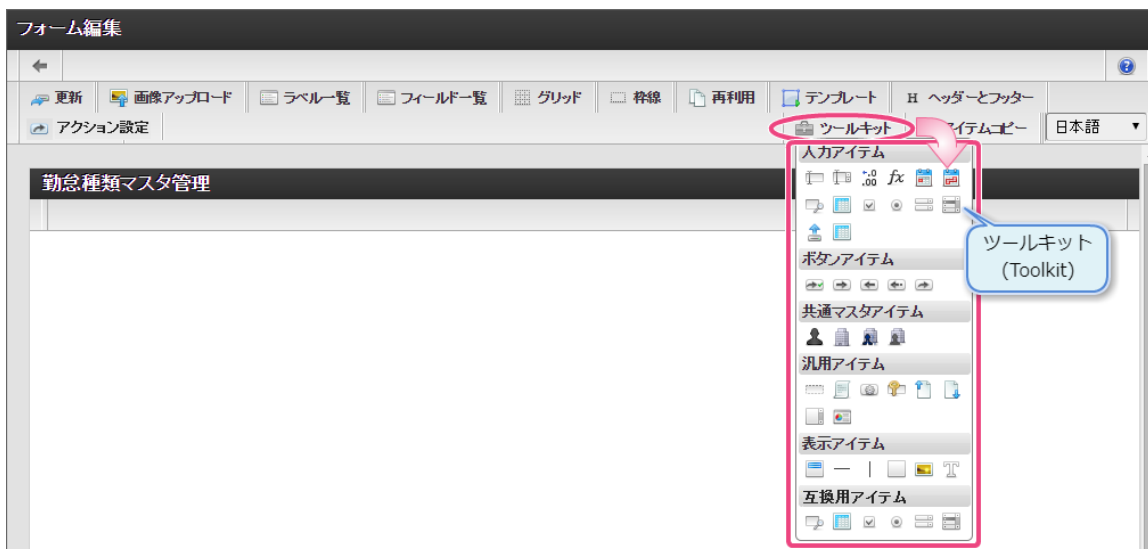
入力項目を配置する

データの入力項目を設定しましょう。

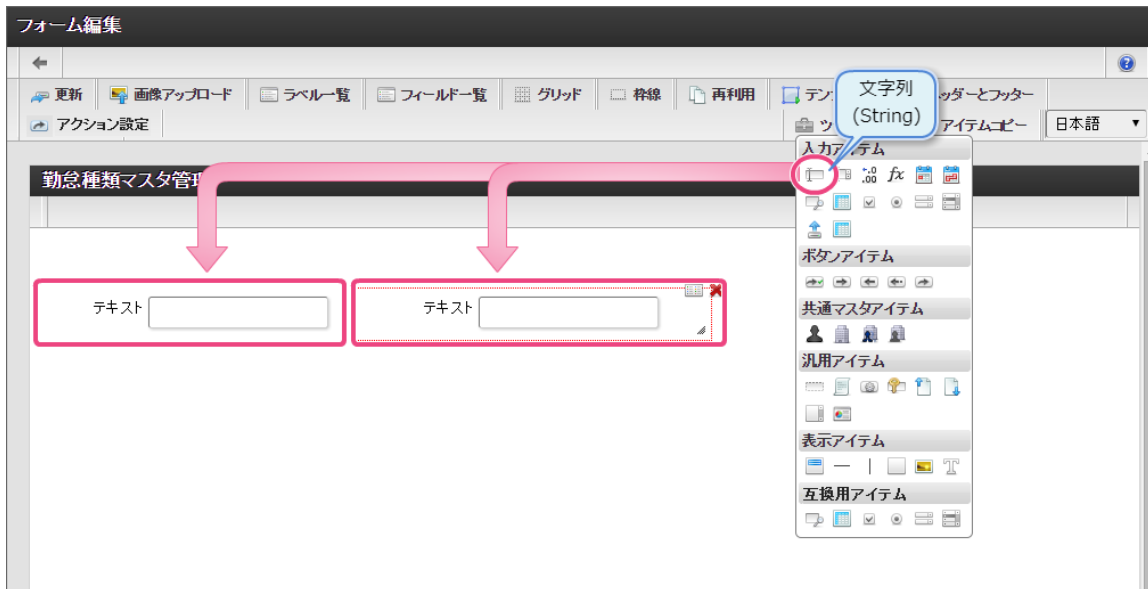
ここでの設定箇所は、以下の図で枠に囲まれた部分が該当します。



1. 「ツールキット」をクリックして、ツールキットを表示しましょう。



2. 入力アイテムの「文字列」を2つドラッグ&ドロップで配置してください。



3. 配置した「文字列」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
 「基本設定」では以下の通りに入力してください。
 入力が終わったら、「詳細設定」タブをクリックしてください。

- 勤怠種類コード



項目	設定内容
----	------

ラベル	勤怠種類コード
-----	---------

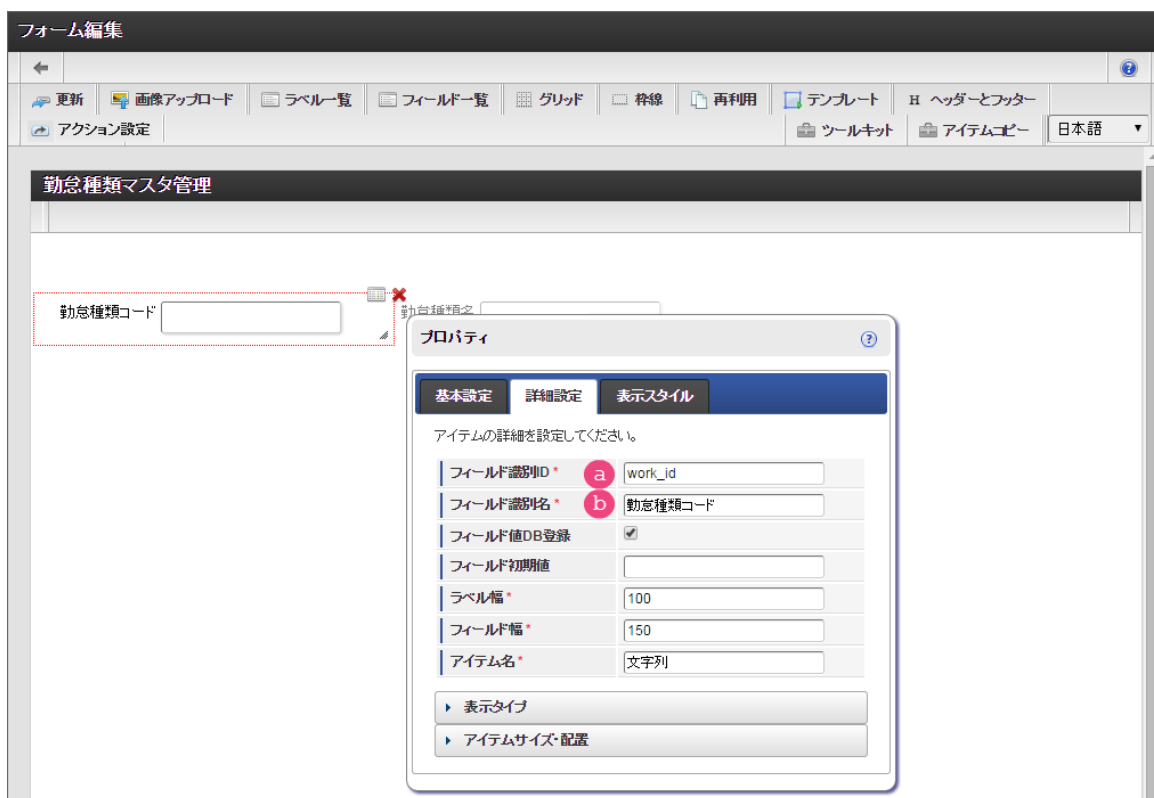
- 勤怠種類名



項目	設定内容
ラベル	勤怠種類名

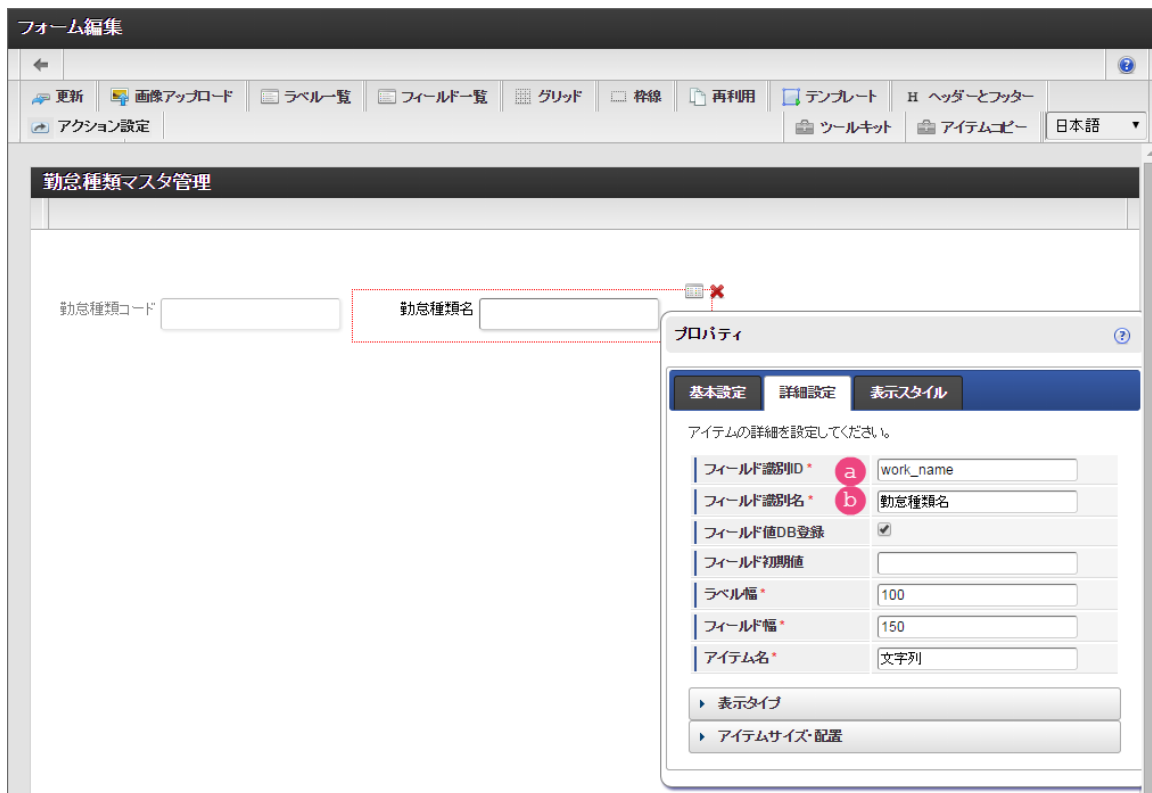
4. フィールド識別IDとフィールド識別名はそれぞれ以下の通りに入力してください。
設定したら、プロパティの外側をクリックして、プロパティを閉じてください。

- 勤怠種類コード



項目	設定内容
a フィールド識別ID	work_id
b フィールド識別名	勤怠種類コード

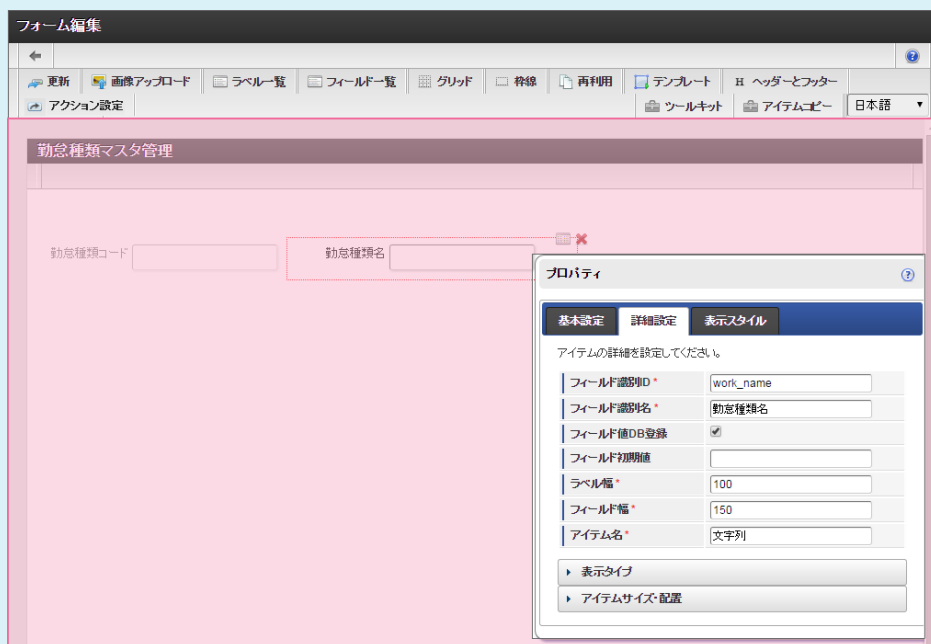
- 勤怠種類名



コラム

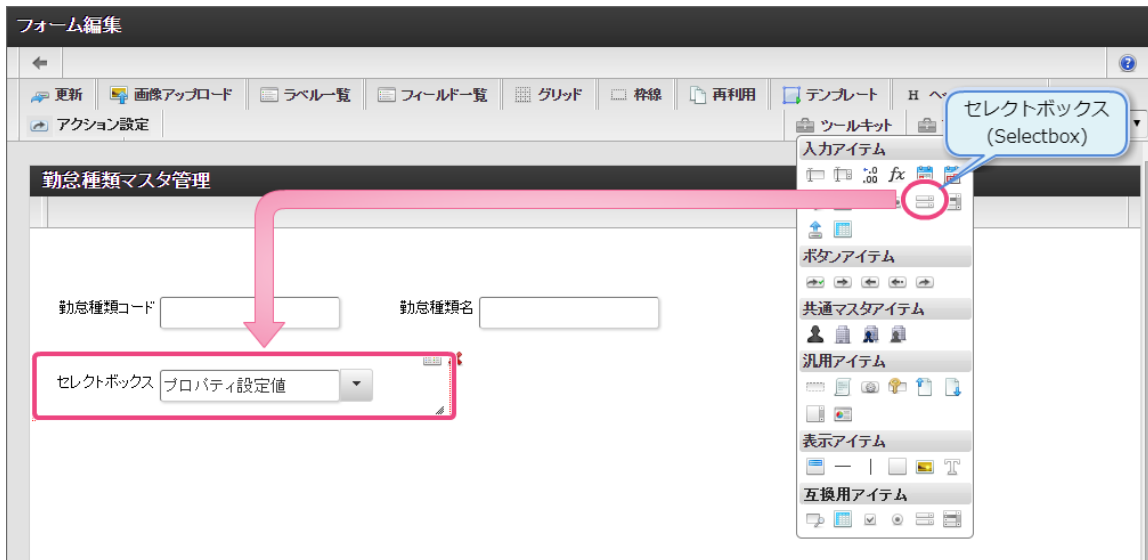
アイテムのプロパティを閉じる

アイテムのプロパティは、プロパティの外側をクリックすると閉じることができます。



項目	設定内容
a フィールド識別ID	work_name
b フィールド識別名	勤怠種類名

5. 入力アイテムの「セレクトボックス」をドラッグ&ドロップで配置してください。



6. 配置した「セレクトボックス」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示し、以下の通りにラベルに入力してください。変更したら「データの定義」タブをクリックしましょう。



項目	設定内容
ラベル	ロケール

7. 「+」アイコンを3回クリックして、項目の定義の入力欄を3行分用意しましょう。

8. 追加した項目の定義に対して、以下の通りに入力しましょう。
入力が終わったら、「詳細設定」をクリックしましょう。

表示値	送信値
日本語	ja
英語	en
中国語	zh_CN

表示値 送信値

日本語 ja

英語 en

中国語 zh_CN

9. 詳細設定では、以下の通りに設定してください。
入力が終わったら、プロパティの外側の任意の部分をクリックしてプロパティを閉じてください。

項目	設定内容
a フィールド識別ID	locale
b フィールド識別名	ロケール
c フィールド初期選択値	ja

ボタンを配置する

データを登録・更新するためのボタンを配置していきましょう。
 ここでの設定箇所は、以下の図で枠に囲まれた部分が該当します。

1. データを登録・更新するためのボタンとして、「ボタンアイテム」の「ボタン（登録）」をドラッグ&ドロップで配置してください。



2. 遷移元の一覧に戻るためのボタンとして、「ボタンアイテム」の「ボタン（一覧に戻る）」をドラッグ&ドロップで配置してください。




3. 最後に、以下の手順でここまでの設定内容を保存してから、次の作業に進んでください。

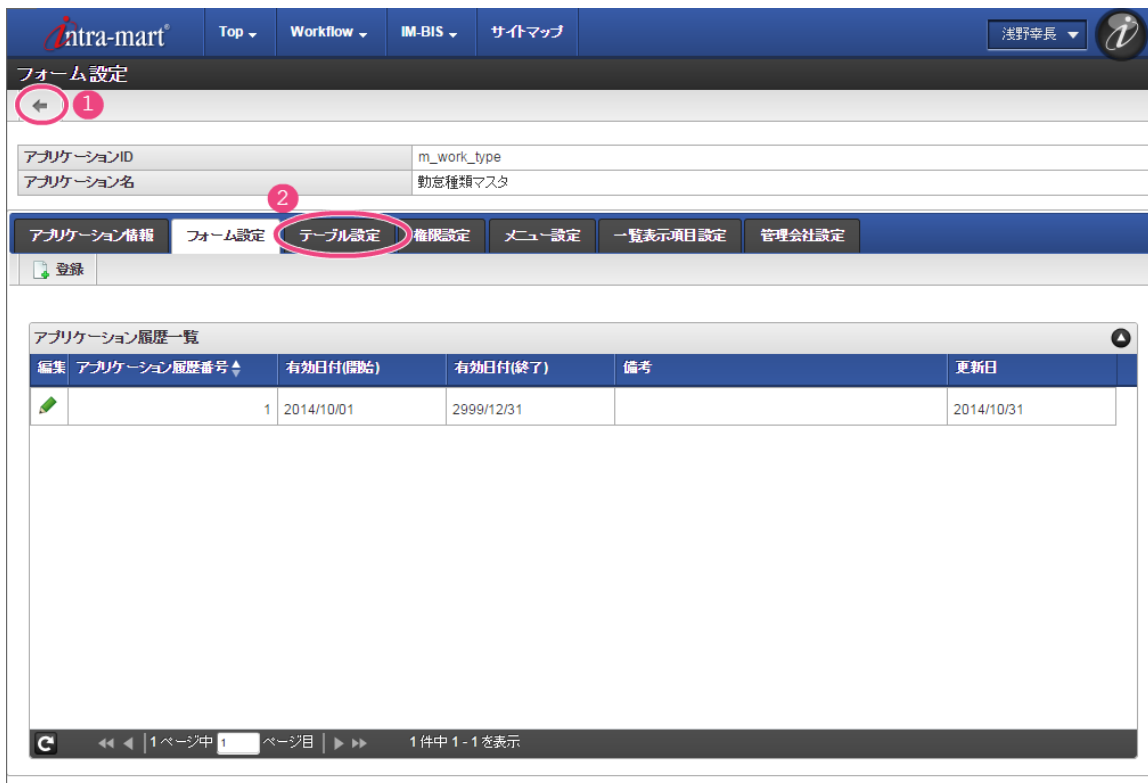


1. 設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。
2. 次の作業に移るために「←」をクリックしてください。

データを管理するテーブルを作成しましょう。

1. もう一度「」をクリックしてフォーム設定に戻ります。

「テーブル設定」をクリックしてください。



2. 「登録」をクリックして、入力したデータを保存するためのテーブルを作成しましょう。



3. 以下の手順でテーブルを作成してください。
確認メッセージでは「決定」をクリックして次の作業に進みます。

テーブル作成

2 登録

アプリケーションID: m_work_type
アプリケーション名: 勤怠種類マスタ

ヘッダー

テーブル名: imfr_ut_m_work_type

項目名	列名	データ型	データサイズ	データサイズ(小数部)
データ登録ID	imfr_sd_insert_id	文字列	20	
アプリケーションID	imfr_sd_application_id	文字列	100	
アプリケーション履歴番号	imfr_sd_application_no	数値	10	0
バージョン	imfr_sd_version_no	数値	10	0
登録日	imfr_sd_create_date	タイムスタンプ		
登録者ユーザコード	imfr_sd_create_user_cd	文字列	100	
更新日	imfr_sd_record_date	タイムスタンプ		
更新者ユーザコード	imfr_sd_record_user_cd	文字列	100	
一時保存フラグ	imfr_sd_preserve_flag	文字列	1	
勤怠種類コード	imfr_ud_work_id	文字列	500	
勤怠種類名	imfr_ud_work_name	文字列	500	
ロケール	imfr_ud_locale	文字列	500	

1. 「勤怠種類コード」、「勤怠種類名」、「ロケール」のデータサイズに「500」と入力してください。
2. テーブルの作成処理を実行するために「登録」をクリックしてください。
4. これでマスタのデータを保存するテーブルが作成できました。

アプリケーションの一覧画面を設定する

データを一覧で管理できるように、一覧画面を作成していきましょう。
一覧画面は設定内容に基づいて、以下のような画面を作成し、データを管理しやすくします。

勤怠種類マスタ

登録

詳細検索

勤怠種類コード	勤怠種類名	ロケール	編集	削除	詳細
K01	出勤	ja			
K02	有給休暇	ja			
K03	時間休	ja			
K04	休日	ja			

1 ページ中 1 ページ目 15 4 件中 1 - 4 を表示

1. 「一覧表示項目設定」をクリックしましょう。

テーブル設定

アプリケーションID: m_work_type
アプリケーション名: 勤怠種類マスタ

アプリケーション情報 | フォーム設定 | テーブル設定 | 権限設定 | メニュー設定 | **一覧表示項目設定** | 管理会社設定

更新 | 削除

参照	種別	対象ID	テーブル名
	ヘッダー	imfr_form	imfr_ut_m_work_type

2. 以下の手順で「勤怠種類コード」を一覧の表示項目一覧に追加してください。

一覧表示項目設定

アプリケーションID: m_work_type
アプリケーション名: 勤怠種類マスタ

アプリケーション情報 | フォーム設定 | テーブル設定 | 権限設定 | メニュー設定 | **一覧表示項目設定** | 管理会社設定

登録 | 日本語

選択項目一覧

- 編集
- 削除
- 詳細
- PDF
- 勤怠種類コード**
- 勤怠種類名
- ロケール

>>

>

<

<<

表示項目一覧

↑

↓

⇅

一覧表示プレビュー

1. 「勤怠種類コード」をクリックして選択状態にしてください。

2. 「勤怠種類コード」を「表示項目一覧」に移動するために をクリックしてください。

3. 同様の手順で、表示項目一覧を以下の図の通りに設定してください。

アプリケーションID: m_work_type
アプリケーション名: 勤怠種類マスタ

アプリケーション情報 | フォーム設定 | テーブル設定 | 権限設定 | メニュー設定 | **一覧表示項目設定** | 管理会社設定

登録

選択項目一覧: PDF

表示項目一覧:

- 勤怠種類コード
- 勤怠種類名**
- ロケール
- 編集
- 削除
- 詳細

一覧表示プレビュー

勤怠種類コード	勤怠種類名	ロケール	編集	削除	詳細
勤怠種類コード	勤怠種類名	ロケール			

コラム

表示項目のレイアウトは並べたい項目の選択後に「↑」「↓」をクリックして項目を並べ替えることで変更できます。

4. 最後に「登録」をクリックして一覧画面を設定してください。
確認メッセージでは「決定」をクリックして次の作業に進みます。

アプリケーションID: m_work_type
アプリケーション名: 勤怠種類マスタ

アプリケーション情報 | フォーム設定 | テーブル設定 | 権限設定 | メニュー設定 | **一覧表示項目設定** | 管理会社設定

登録

選択項目一覧: PDF

表示項目一覧:

- 勤怠種類コード
- 勤怠種類名
- ロケール
- 編集

データ登録の権限を設定する

マスタデータを一覧画面から登録・更新・削除を行うための権限を設定しましょう。
今回は、人事部とBIS管理者のみが一覧画面からデータのメンテナンスを行えるように設定していきます。

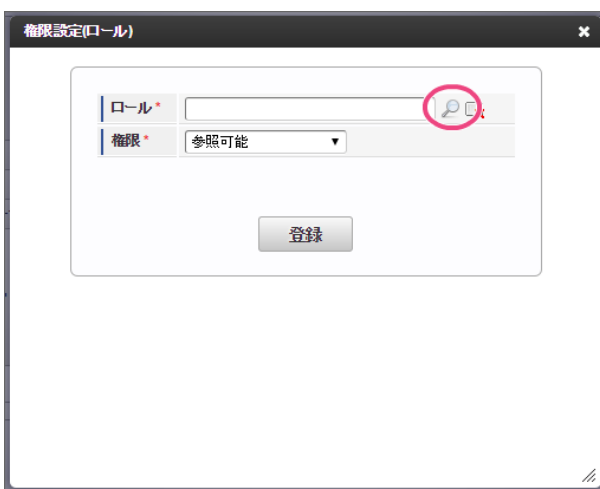
1. 「権限設定」をクリックしてください。



2. 以下の手順で、ロールへの権限付与設定画面を表示してください。



1. 「ロール」の左のアイコンをクリックして、ロールの欄を展開してください。
2. 権限設定画面を表示するために「追加」をクリックしてください。
3. 「🔍」をクリックしてロール検索画面を表示しましょう。



4. 以下の手順で、「ロール検索」画面から「BIS管理者」を選択してください。

ロール検索

検索基準日: 2014/10/31 ローケル: 日本語

キーワード

1 [BIS管理者]

2 検索

3 BIS管理者

4 決定

1. 検索キーワード欄に「BIS管理者」と入力してください。
2. 「検索」をクリックしてください。
3. 検索結果から「BIS管理者」をクリックしてください。
4. 選択した内容を反映するために「決定」をクリックしてください。
5. 以下の通りに権限を選択し、「登録」をクリックしてください。

権限設定(ロール)

ロール* BIS管理者

権限* a 登録・更新・削除可能

登録

項目	設定内容
a 権限	登録・更新・削除可能

6. 続いて、以下の手順で人事部（組織）への権限付与設定画面を表示してください。

権限設定

アプリケーションID: m_work_type
アプリケーション名: 勤怠種類マスタ

アプリケーション情報 フォーム設定 テーブル設定 **権限設定** メニュー設定 一覧表示項目設定 管理会社設定

追加

編集	ロール名	表示名	権限
	bis_manager	BIS管理者	登録・更新・削除可能

追加

編集	会社コード	組織セットコード	組織コード	組織名	権限

登録者が登録したデータは、登録者も更新削除できるようになります

登録者オプション

権限
設定なし

- 「組織」の左のアイコンをクリックして、組織の欄を展開してください。
- 権限設定画面を表示するために「追加」をクリックしてください。

7. 「」をクリックして組織検索画面を表示しましょう。

権限設定(組織)

組織*

権限* 参照可能

登録

8. 以下の手順で、「組織検索」画面から「人事部」を選択してください。

組織検索

検索基準日: 2014/10/31 ロケール: 日本語

キーワード ツリー

株式会社ナガハマ

- 営業本部
- 開発本部
- 管理本部
- 総務部
- 人事部
- 経理部
- 情報システム部

決定

1. 「株式会社ナガハマ」→「管理本部」をクリックし、組織ツリーを展開してください。
 2. 「人事部」をクリックしてください。
 3. 「決定」をクリックしてください。
9. 先の手順と同様に、以下の通りに権限を選択し、「登録」をクリックしてください。



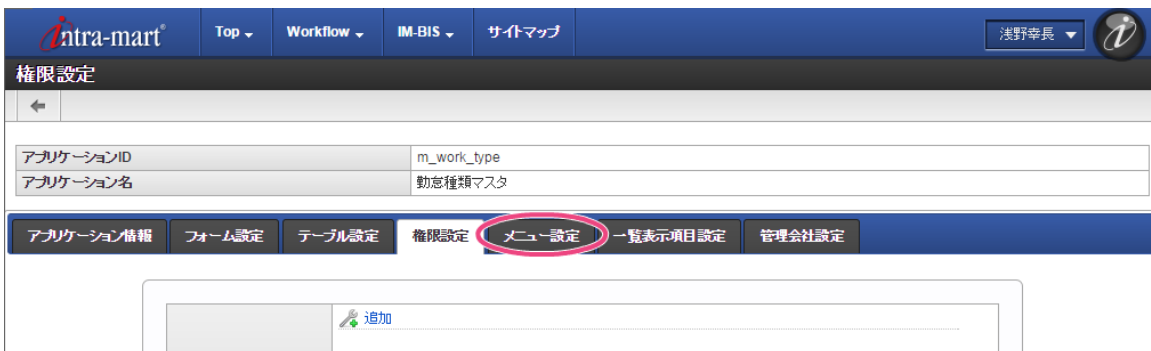
項目	設定内容
a 権限	登録・更新・削除可能

10. これで権限設定が完了しましたので、続いてメニューへの登録を行います。

一覧画面をメニューに登録する

最後に、設定した一覧画面をメニューに登録してデータを登録できるようにしましょう。

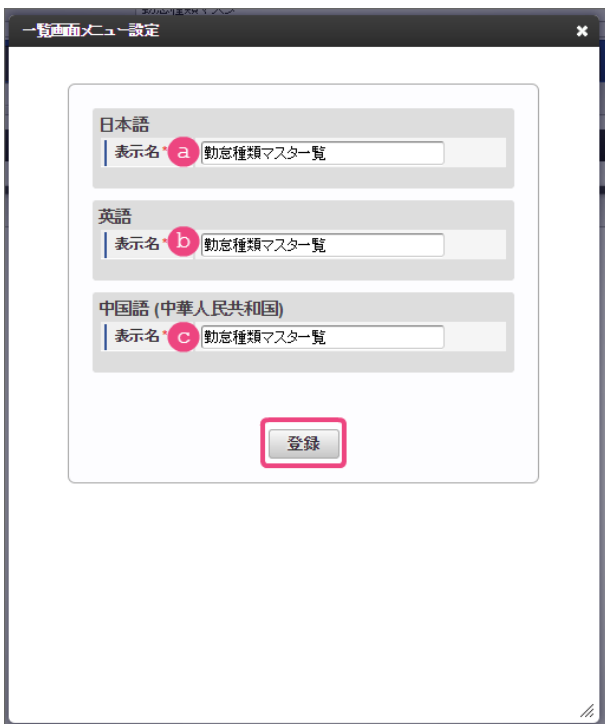
1. 「メニュー設定」をクリックしてください。



2. 以下の手順でメニューの登録画面を表示してください。



1. メニューグループから「Formaアプリ-サイトマップ (PC用)」を選択してください。
 2. 「一覧画面メニュー設定」をクリックしてください。
3. 以下の通りに入力し、一覧画面をメニューに登録してください。
確認メッセージでは、そのまま「決定」をクリックします。



項目	設定内容
a 表示名 (日本語)	勤怠種類マスター一覧
b 表示名 (英語)	勤怠種類マスター一覧
c 表示名 (中国語 (中華人民共和国))	勤怠種類マスター一覧

4. この後に一度ログアウト→ログインを行うと、メニューに一覧画面が表示されます。



勤怠種類マスタのデータを登録する

作成した勤怠種類マスタのデータを登録しましょう。

勤怠種類マスタの一覧画面を表示する

勤怠種類マスタの権限を設定したユーザで一覧画面を表示しましょう。

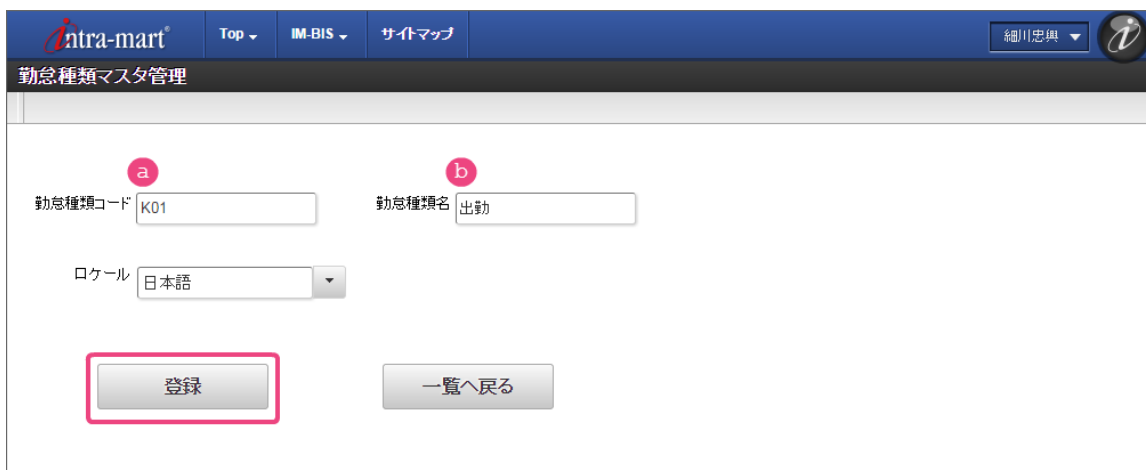
1. 先の手順で権限を付与したBIS管理者、または人事部の所属ユーザでログインしましょう。
今回は例として、人事部の「細川忠興」さんでログインしましょう。
2. サイトマップ「Formaアプリ」の「勤怠種類マスター一覧」をクリックしてください。



3. 「登録」をクリックしてデータの登録画面を表示してください。

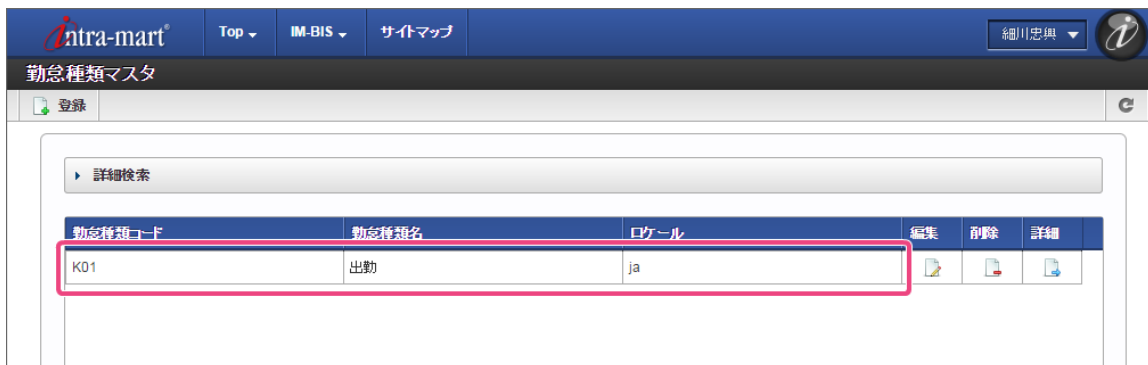


4. 以下の通りに各項目に入力し、「登録」をクリックしてください。
ロケールについては、必要に応じて変更してください。



項目	入力値
a 勤怠種類コード	K01
b 勤怠種類名	出勤

5. これで1件データを登録することができましたので、同様に他の勤怠種類を登録してください。



- 登録する内容

勤怠種類コード	勤怠種類名	ロケール
K02	有給休暇	日本語
K03	時間休	日本語
K04	休日	日本語

6. データの登録が終わった時点では、以下の図のようにデータが表示されています。続いてデータを取得するための作業に移ります。



勤怠種類マスタのデータを参照するためのデータソース定義を登録する

勤怠種類マスタを、ワークフローの画面から入力補助として参照するためのデータソース定義を登録していきましょう。

データを取得するSQLを確認する

今回は、データソース定義を「テナントDBクエリ」として登録するにあたって、事前にSQLを確認しましょう。SQLを簡単に生成する方法として、ViewCreatorのクエリ機能を利用します。

- BIS管理者に設定したユーザでログインしましょう。
(今回の例では、「浅野幸長」でログインします。)
- サイトマップ「ViewCreator」の「クエリー一覧」をクリックしてください。



3. クエリー一覧で「新規」をクリックしてクエリ編集画面を表示しましょう。



4. 以下の手順で、先ほど作成したアプリケーションのテーブルを検索してください。



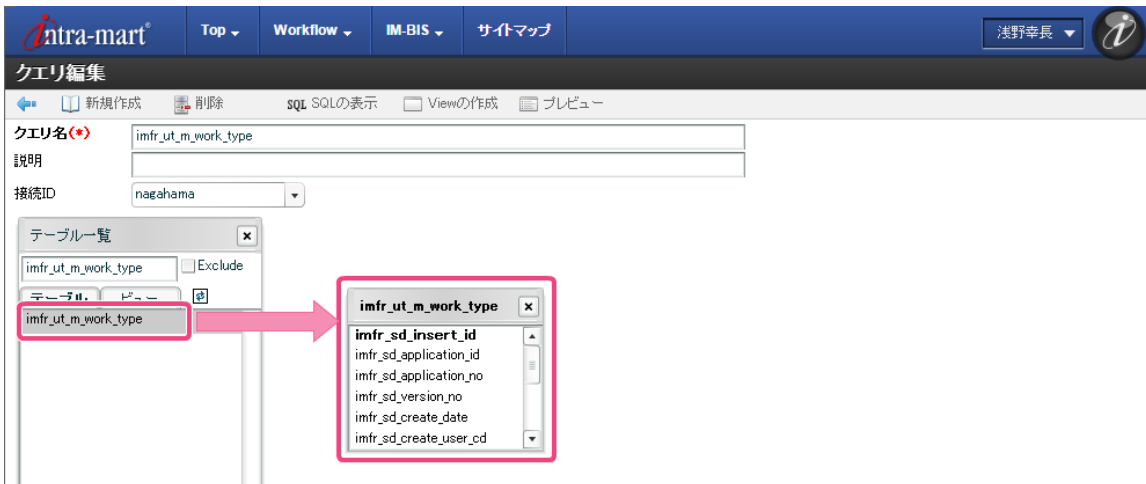
1. 検索条件の欄に「imfr_ut_m_work_type」と入力してください。
2. テーブル一覧に条件に入力した名前のテーブルのみが表示されます。

i コラム

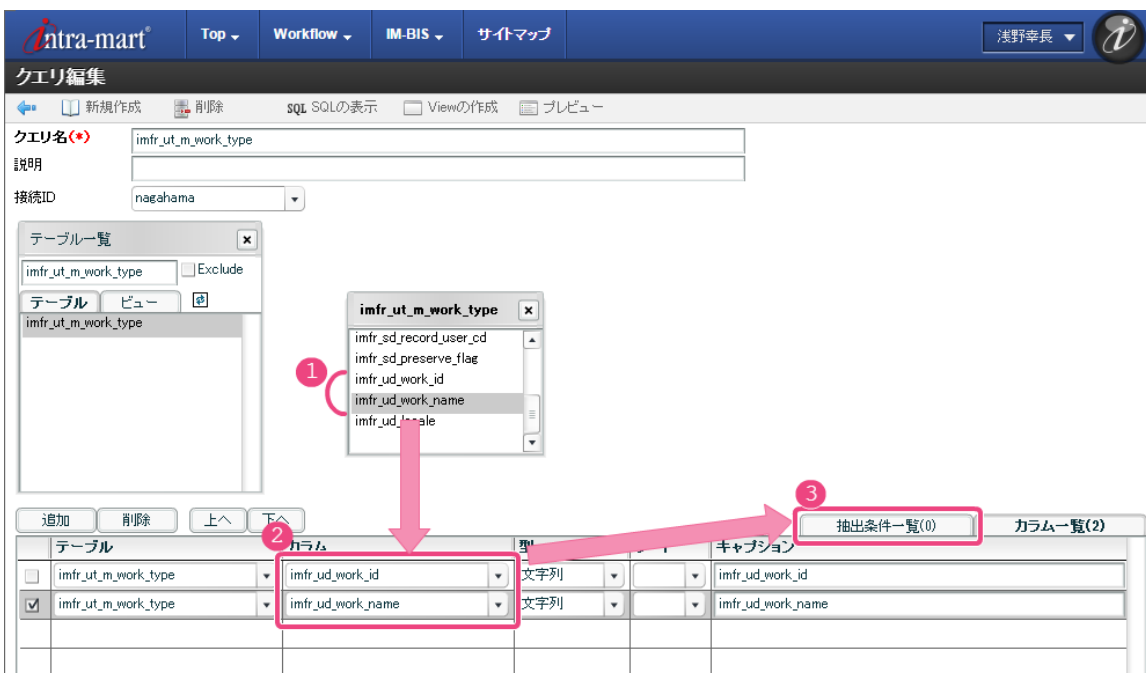
テーブル名はアプリケーション作成時の「テーブル設定」で確認できます。

アプリケーションID	m_w
アプリケーション名	勤怠
種別	ヘッダー
テーブル名	imfr_ut_m_work_type

5. 表示されたテーブルをドラッグ&ドロップで編集画面上に配置しましょう。



6. 以下の手順で勤怠種類マスタから参照する項目（カラム）を「カラム一覧」に追加してください。



1. 「imfr_ud_work_id」、「imfr_ud_work_name」をダブルクリックしてください。
2. 「カラム一覧」の「カラム」に追加した列が表示されていることを確認してください。
ダブルクリックした列と異なる列が表示されている場合、「カラム」の選択内容を対象のカラムに変更してください。
3. 次に抽出条件を設定するために「抽出条件一覧」をクリックしてください。

7. 続いて、以下の手順で抽出条件を設定し、生成されるSQLを確認しましょう。

クエリ編集

クエリ名(*) imfr_ut_m_work_type

説明

接続ID nagahama

テーブル一覧

imfr_ut_m_work_type Exclude

テーブル ビュー

imfr_ut_m_work_type

imfr_ut_m_work_type

imfr_sd_record_user_cd

imfr_sd_preserve_flag

imfr_ud_work_id

imfr_ud_work_name

imfr_ud_locale

WHERE句直接入力

追加 削除 上へ 下へ OR検索

テーブル	カラム	抽出方法	条件値
imfr_ut_m_work_type	imfr_ud_locale	完全一致	

抽出条件一覧(1) カラム一覧(2)

- 「imfr_ud_locale」をダブルクリックしてください。
 - 「抽出条件一覧」の「カラム」に追加した列が表示されていることを確認してください。
ダブルクリックした列と異なる列が表示されている場合、「カラム」の選択内容を対象のカラムに変更してください。
 - 設定内容に基づくSQLを表示するために「SQLの表示」をクリックしてください。
8. 自動的に生成されたSQL文が表示されますので、コピーしてメモ帳などのテキストファイルに保存してください。
このクエリは登録する必要はありませんので、SQLの保存後は何もせずに「サイトマップ」をクリックして、次の作業に移ります。

SQLの表示

```
SELECT
    imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_work_id AS imfr_ud_work_id,
    imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_work_name AS imfr_ud_work_name
FROM
    imfr_ut_m_work_type
WHERE
    imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_locale = ''
```

データソース定義の登録を始める

- サイトマップ「IM-BIS」の「外部連携」配下にある「データソース定義」をクリックします。

サイトマップ

ポータル

ワークフロー

Formaアプリ

Forma管理画面

Forma帳票アプリケーション集

ViewCreator

TableMaintenance

テナント管理

IM-BIS

システム管理者

IM-BIS作成

IM-BIS

マスタ管理

採番ルール定義

外部連携

データソース定義

フロー

一覧表示パターン定義

フローグループ定義

テンプレートカテゴリ定義

テンプレート設定

- 「データソース一覧」で「登録」をクリックしてデータソース定義の登録を始めましょう。

登録

すべて
 テナントDBクエリ シェアードDBクエリ REST SOAP JAVA CSVインポート CSVエクスポート

データソース名 検索

選択した定義を削除

編集	データソース種別	データソース名	備考
<input type="checkbox"/>	テナントDBクエリ	接続先の初期値取得クエリ	
<input type="checkbox"/>	テナントDBクエリ	接続先一覧取得クエリ	
<input type="checkbox"/>	JAVA	アカウント日付フォーマット取得関数	

3. データソース定義に関する情報に以下の通り入力し、「登録」をクリックしてください。

データソース種別 a テナントDBクエリ

データソース名 b 勤怠種類選択

備考

他のロケール

登録

項目	入力値
a データソース種別	テナントDBクエリ
b データソース名	勤怠種類選択

データソース定義のクエリを設定する

1. 以下の手順でSQLを編集してください。

クエリ設定

SQL

```

SELECT
  imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_work_id AS imfr_ud_work_id,
  imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_work_name AS imfr_ud_work_name
FROM
  imfr_ut_m_work_type
WHERE
  imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_locale = ?

```

1. 先の手順（データを取得するSQLを確認する）で取得したSQLで書き換えてください。

2. WHERE以降の記載内容のうち、`?`を`?`に変更してください。

2. 以下の手順で「入力値」の入力欄の行数を調整してください。

Intra-mart® Top Workflow IM-BIS サイトマップ 浅野幸長

データベース - 編集 [テナントDBクエリ]

データベース種別 テナントDBクエリ
データベース名 動態種類選択

クエリ設定 管理会社設定

SQL

```
SELECT
  imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_work_id AS imfr_ud_work_id,
  imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_work_name AS imfr_ud_work_name
FROM
  imfr_ut_m_work_type
WHERE
  imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_locale = ?
```

入力値

	テスト実行値	データ型	論理名	削除
IN 1		VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国) 条件項目 1 Condition item1 条件項目 1	-
IN 2		VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国) 条件項目 2-1 Condition item2-1 条件項目 2-1	- 1
IN 3		VARCHAR	日本語 条件項目 2-2	- 2

3

入力値

	テスト実行値	データ型	論理名	削除
IN 1		VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国) 条件項目 1 Condition item1 条件項目 1	-

+ 追加

+ 追加

削除

1. 2行目の削除アイコンをクリックして、2行目を削除してください。
 2. 同様に、3行目についても削除アイコンをクリックして、3行目を削除してください。
 3. この図の通り、「入力値」の入力欄が1行にできていることを確認してください。
3. 次に、「出力値」の入力欄の行数を追加するために「追加」をクリックしてください。

Intra-mart® Top Workflow IM-BIS サイトマップ 浅野幸長

データベース - 編集 [テナントDBクエリ]

データベース種別: テナントDBクエリ
データベース名: 勤怠種類選択

クエリ設定 管理会社設定

SQL

```
SELECT
  imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_work_id AS imfr_ud_work_id,
  imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_work_name AS imfr_ud_work_name
FROM
  imfr_ut_m_work_type
WHERE
  imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_locale = ?
```

入力値

	テスト実行値	データ型	日本語	論理名	削除
IN 1	<input type="text"/>	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	条件項目 1 Condition item1 条件項目 1	-

出力値

	カラム名	データ型	日本語	論理名	削除
OUT 1	<input type="text"/>	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	取得項目 1 Acquiring item1 取得項目 1	-
OUT 2	<input type="text"/>	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	-

4. カラム名、論理名を以下の通りに設定してください。
ロケールによって、項目の表示名を変える場合には、言語に合わせた名称を入力してください。

Intra-mart Top Workflow IM-BIS サイトマップ 浅野幸長

データソース - 編集 [テナントDBクエリ]

データソース種別: テナントDBクエリ
データソース名: 勤怠種類選択

クエリ設定 管理会社設定

SQL

```
SELECT
  imfr_ud_m_work_type.imfr_ud_work_id,
  AS imfr_ud_work_id,
  imfr_ud_m_work_type.imfr_ud_work_name,
  AS imfr_ud_work_name
FROM
  imfr_ud_m_work_type
WHERE
  imfr_ud_m_work_type.imfr_ud_locale = ?
```

入力値

入力値	実行値	データ型	論理名	削除	
IN 1		VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	ローケル ローケル ローケル	-

出力値

出力値	カラム名	データ型	論理名	削除	
OUT 1	imfr_ud_work_id	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	勤怠種類コード 勤怠種類コード 勤怠種類コード	-
OUT 2	imfr_ud_work_name	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	勤怠種類名 勤怠種類名 勤怠種類名	-

1. 「入力値」の論理名に「ローケル」と入力してください。
2. 「出力値」のカラムに「imfr_ud_work_id」、「imfr_ud_work_name」と入力してください。
3. 「出力値」のカラム名に「imfr_ud_work_id」と入力した行の論理名に「勤怠種類コード」と入力してください。
4. 「出力値」のカラム名に「imfr_ud_work_name」と入力した行の論理名に「勤怠種類名」と入力してください。
5. 最後に、設定内容に問題がないかを確認するために、以下の手順でテストを実行し、データソース定義を登録してください。

The screenshot shows the Intra-mart IM-BIS interface. At the top, there is a navigation bar with 'Intra-mart', 'Top', 'Workflow', 'IM-BIS', and 'サイトマップ'. A green notification box at the top center displays a message: '3 テスト実行に成功しました。取得件数:4'. Below this, there is a table for 'データソース種別' (Data Source Type) and 'データソース名' (Data Source Name). The 'クエリ設定' (Query Settings) tab is active, showing a SQL query editor with the following code:

```
SELECT
  imfr_ut_m_work_type, imfr_ud_work_id AS imfr_ud_work_id,
  imfr_ut_m_work_type, imfr_ud_work_name AS imfr_ud_work_name
FROM
  imfr_ut_m_work_type
WHERE
  imfr_ut_m_work_type.imfr_ud_locale = ?
```

Below the SQL editor, there are two tables for input and output values. The '入力値' (Input Values) table has one row with 'IN 1' and a value of 'ja'. The '出力値' (Output Values) table has two rows: 'OUT 1' for 'imfr_ud_work_id' and 'OUT 2' for 'imfr_ud_work_name'. At the bottom, there are buttons for 'テスト実行' (Execute Test) and '登録' (Register).

1. 「入力値」のテスト実行値に「ja」と入力してください。
2. 「テスト実行」をクリックしてください。
3. 実行結果が成功と表示されることを確認してください。
エラーメッセージが表示された場合には、メッセージに基づいて対応してください。
4. データソース定義を登録するために「登録」をクリックしてください。

人件費マスタを作成する

社員の基本時間人件費を管理するマスタを作成していきましょう。

アプリケーションの登録を始める

1. BIS管理者に設定したユーザでログインしましょう。
(今回の例では、「浅野幸長」でログインします。)
2. サイトマップ「Forma管理画面」の「Formaアプリ作成管理」配下にある「アプリー覧」をクリックしてください。
3. アプリケーション一覧が表示されます。
人件費マスタのアプリケーションを新規に登録するために、「登録」をクリックしてください。
4. アプリケーションの基本情報では、以下の通りに入力してください。

項目	設定内容
a アプリケーションID	m_labor_cost
b アプリケーション種別	標準
c 有効日付 (開始)	アプリケーションの利用開始日
d 一覧表示タイプ	標準の一覧を利用する <ul style="list-style-type: none"> ▪ 「一覧表示タイプ」は IM-FormaDesigner 2015 Spring (8.0.9)以降で設定できる項目です。
e アプリケーション名	人件費マスタ

コラム

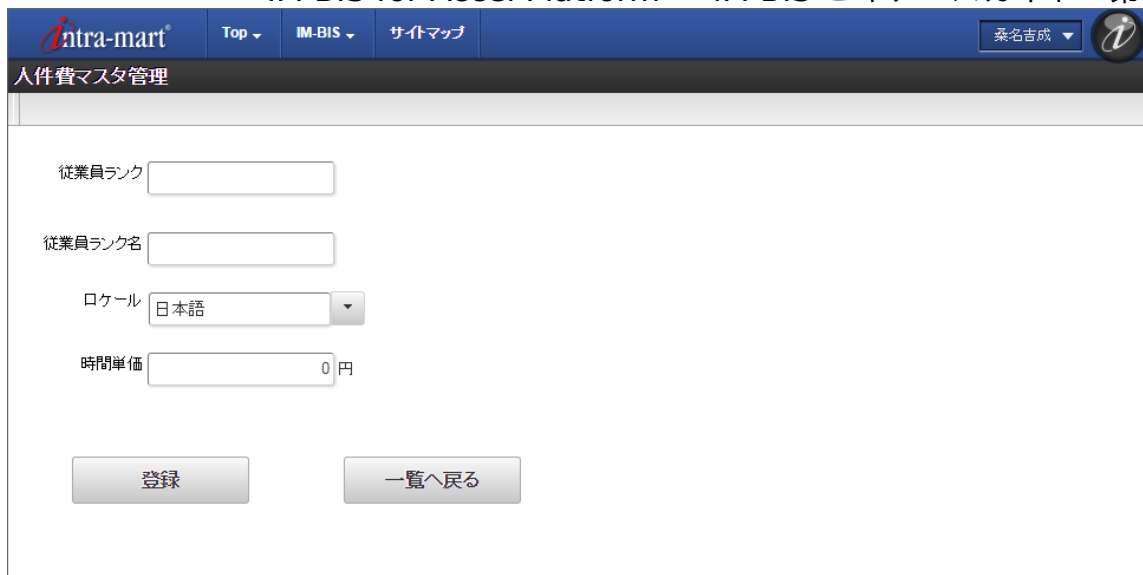
アプリケーションのロケールについて

アプリケーションのロケールは、マスタにデータを登録するユーザ（この例では、経理部や人事部）のロケールにあわせて設定します。intra-mart Accel Platform のロケールが複数（日英中など）となっている場合でも、登録するユーザが日本語ロケールのみであれば、日本語のみのままで問題ありません。

- 必要な情報を入力したら「登録」をクリックしましょう。
確認メッセージでは「決定」をクリックして、次の作業に進みます。

画面のレイアウトを設定する

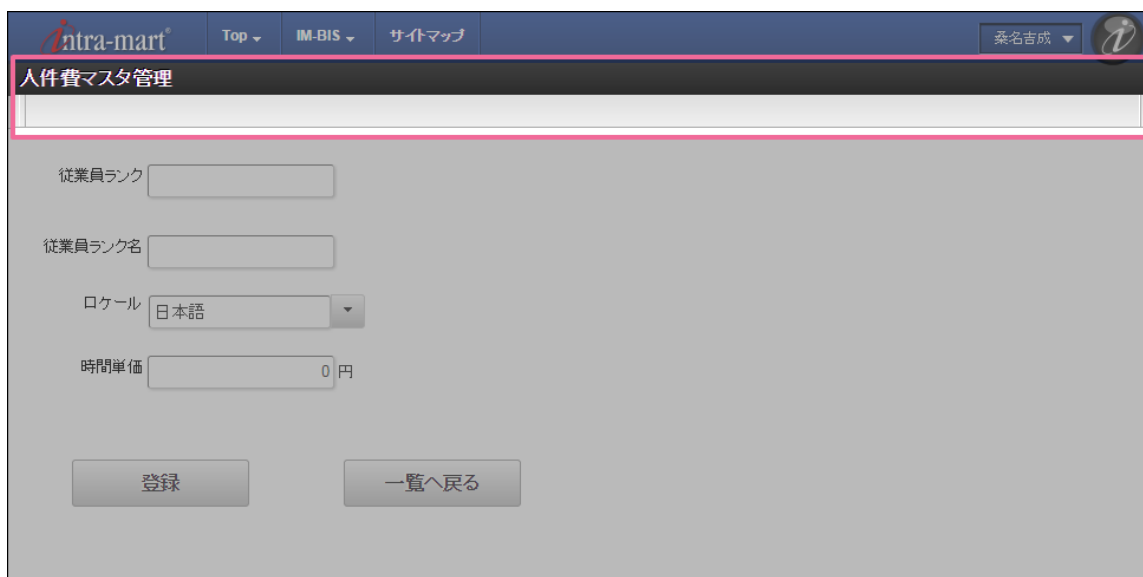
画面のレイアウトを設定していきます。
今回は、以下のような画面を作成していきます。




ヘッダーを設定する

最初に画面上部のヘッダー部分を設定していきましょう。

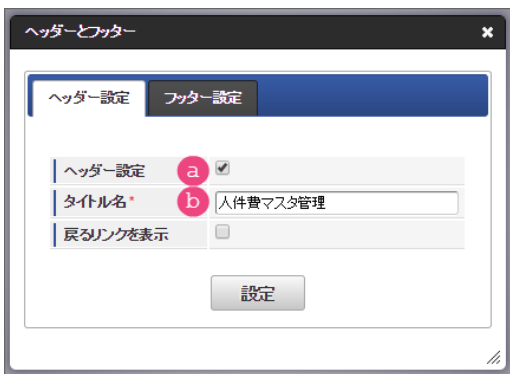
ここでの設定箇所は、以下の図で枠に囲まれた部分が該当します。



1. 最初に画面のヘッダを作成するために「ヘッダーとフッター」をクリックしてください。



2. 「ヘッダー設定」では、以下の通りに入力し、「設定」をクリックしてください。



項目	設定内容
a ヘッダー設定	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
b タイトル名	人件費マスタ管理

3. ヘッダーを設定することができました。



入力項目を配置する

データの入力項目を設定しましょう。

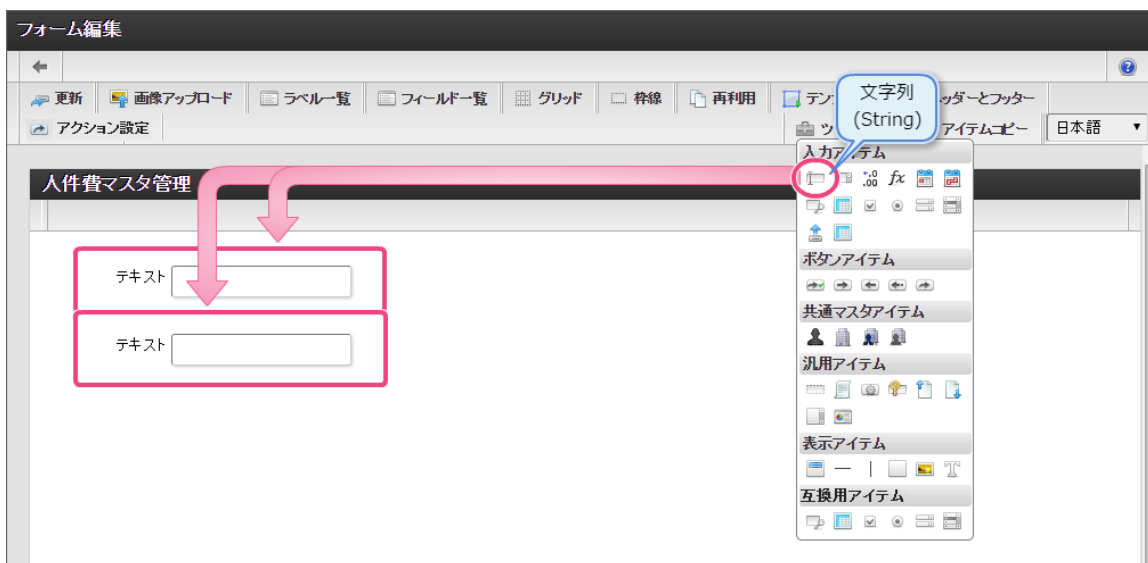
ここでの設定箇所は、以下の図で枠に囲まれた部分が該当します。



1. 「ツールキット」をクリックして、ツールキットを表示しましょう。



2. 入力アイテムの「文字列」を2つドラッグ&ドロップで配置してください。



3. 配置した「文字列」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。

「基本設定」では以下の通りに入力してください。

入力が終わったら、「詳細設定」タブをクリックしてください。

- 従業員ランク



項目	設定内容
ラベル	従業員ランク

- 従業員ランク名

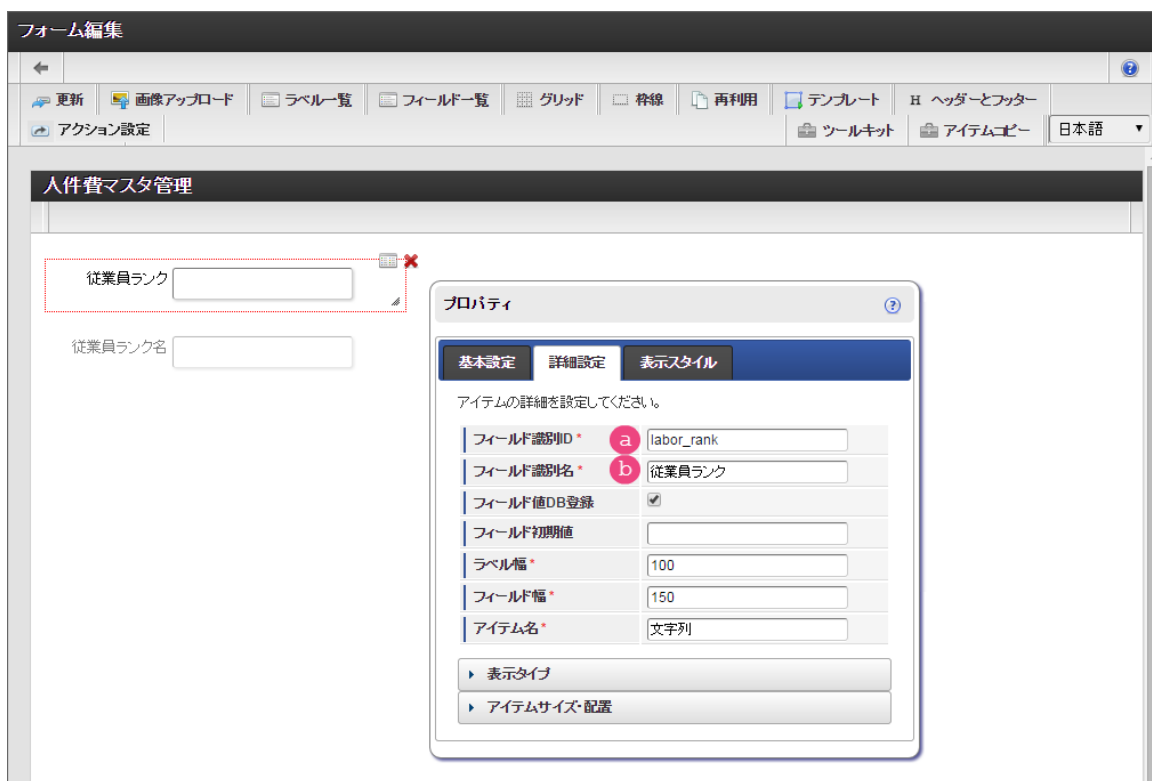


項目	設定内容
----	------

ラベル	従業員ランク名
-----	---------

4. フィールド識別IDとフィールド識別名はそれぞれ以下の通りに入力してください。
設定したら、プロパティの外側をクリックして、プロパティを閉じてください。

- 従業員ランク

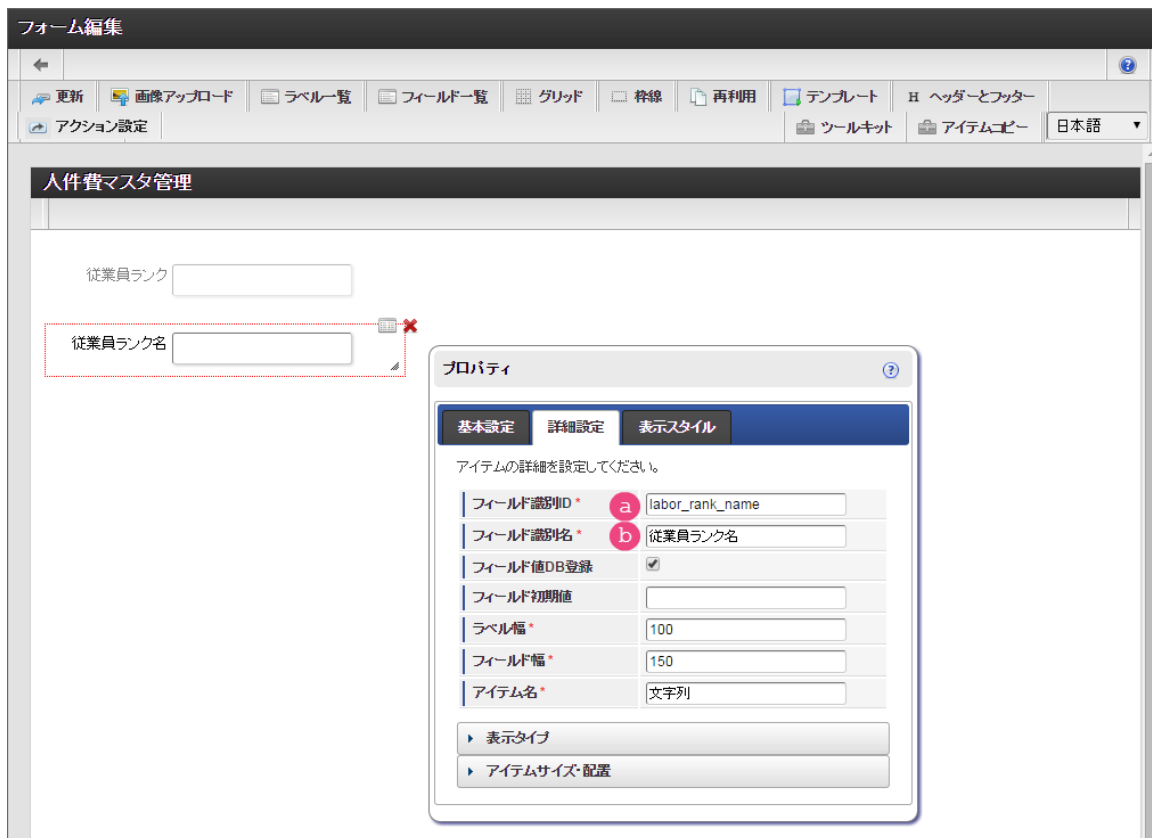


項目	設定内容
----	------

a フィールド識別ID	labor_rank
-------------	------------

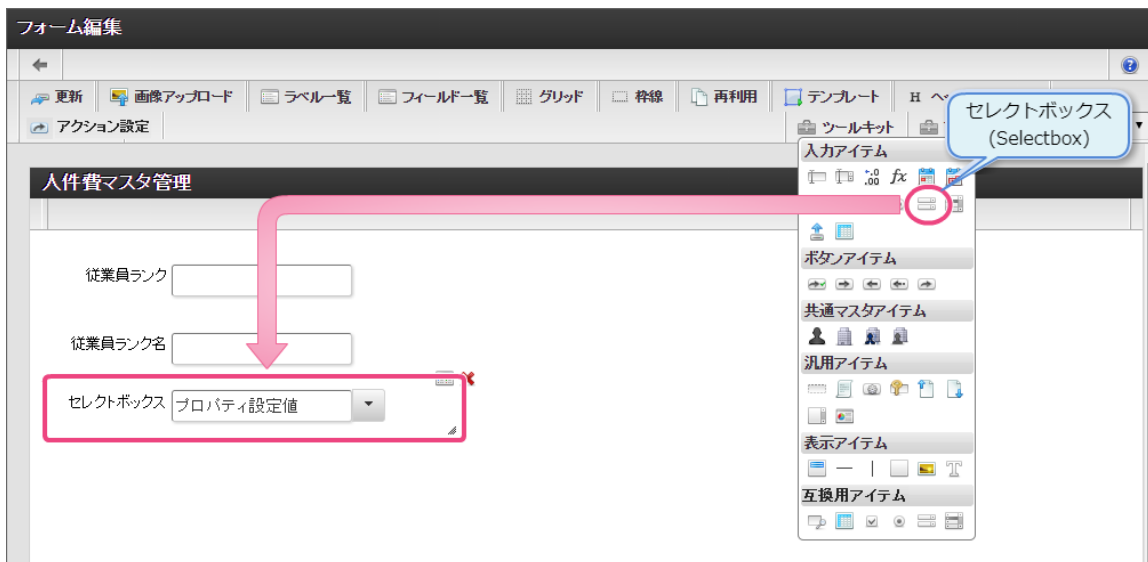
b フィールド識別名	従業員ランク
------------	--------

- 従業員ランク名

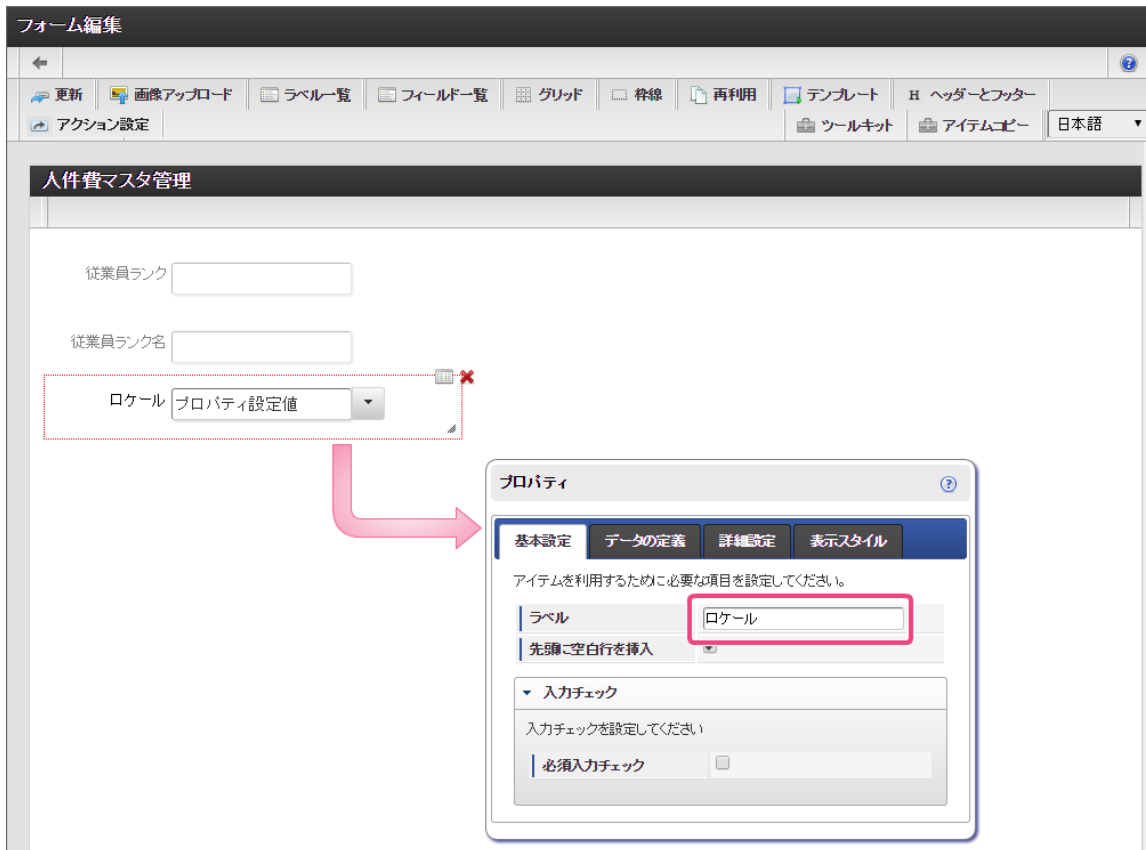


項目	設定内容
a フィールド識別ID	labor_rank_name
b フィールド識別名	従業員ランク名

5. 入力アイテムの「セレクトボックス」をドラッグ&ドロップで配置してください。



6. 配置した「セレクトボックス」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示し、以下の通りにラベルに入力してください。
変更したら「データの定義」タブをクリックしましょう。



項目	設定内容
ラベル	ロケール

7. 「+」アイコンを3回クリックして、項目の定義の入力欄を3行分用意しましょう。



8. 追加した項目の定義に対して、以下の通りに入力しましょう。
入力が終わったら、「詳細設定」をクリックしましょう。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

人件費マスタ管理

従業員ランク

従業員ランク名

ロケール

プロパティ

基本設定 データの定義 詳細設定 表示スタイル

▼ 項目の定義

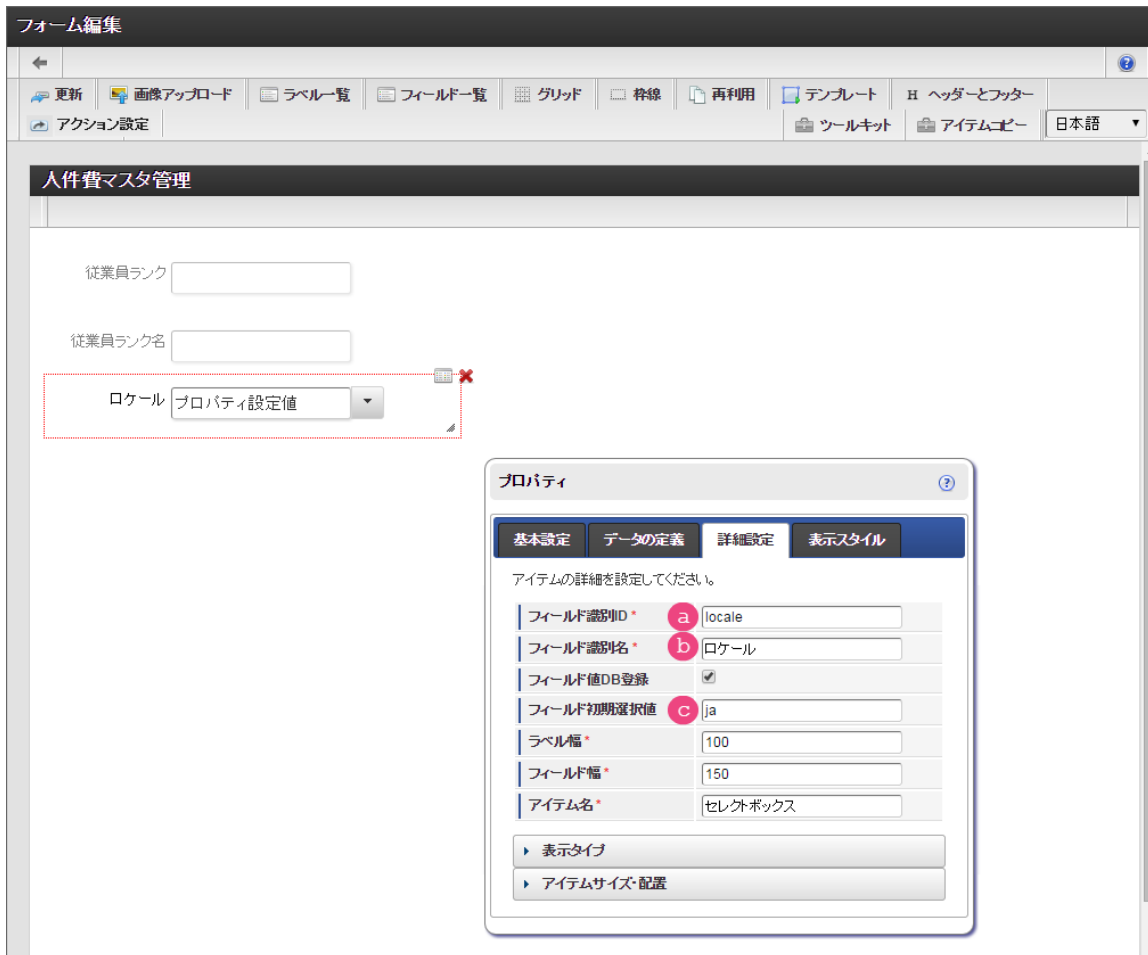
表示値・データベースに送信する値の設定を行ってください。

	表示値 *	送信値 *	
1	日本語	ja	-
2	英語	en	-
3	中国語	zh_CN	-

表示値	送信値
日本語	ja
英語	en
中国語	zh_CN

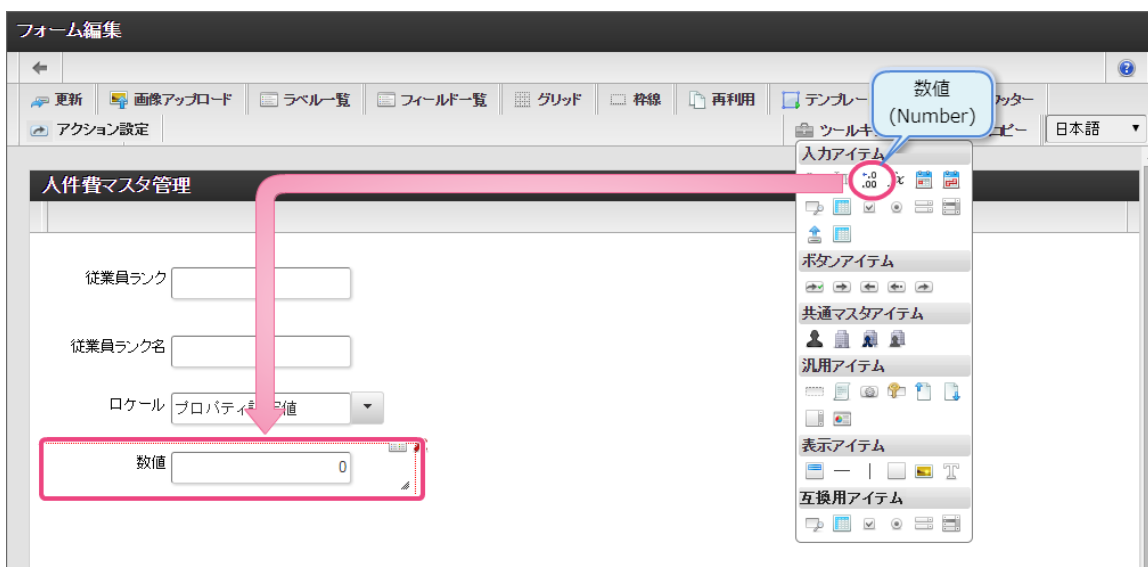
9. 詳細設定では、以下の通りに設定してください。

入力が終わったら、プロパティの外側の任意の部分をクリックしてプロパティを閉じてください。



項目	設定内容
a フィールド識別ID	locale
b フィールド識別名	ロケール
c フィールド初期選択値	ja

10. 入力アイテムの「数値」をドラッグ&ドロップで配置してください。



11. 配置した「数値」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。
入力が終わったら、「詳細設定」タブをクリックしてください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

人件費マスタ管理

従業員ランク

従業員ランク名

ロケール プロパティ設定値

時間単価 円

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

[前]ラベル a 時間単価

[後]ラベル b 円

表示フォーマット c 3桁カンマ

入力チェック

項目	設定内容
a [前]ラベル	時間単価
b [後]ラベル	円
c 表示フォーマット	3桁カンマ ご利用のバージョンにより設定方法が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> チェックボックスによる表示 チェックボックスをオンにしてください。 セレクトボックスによる表示 「3桁カンマ」を含むフォーマットを選択してください。

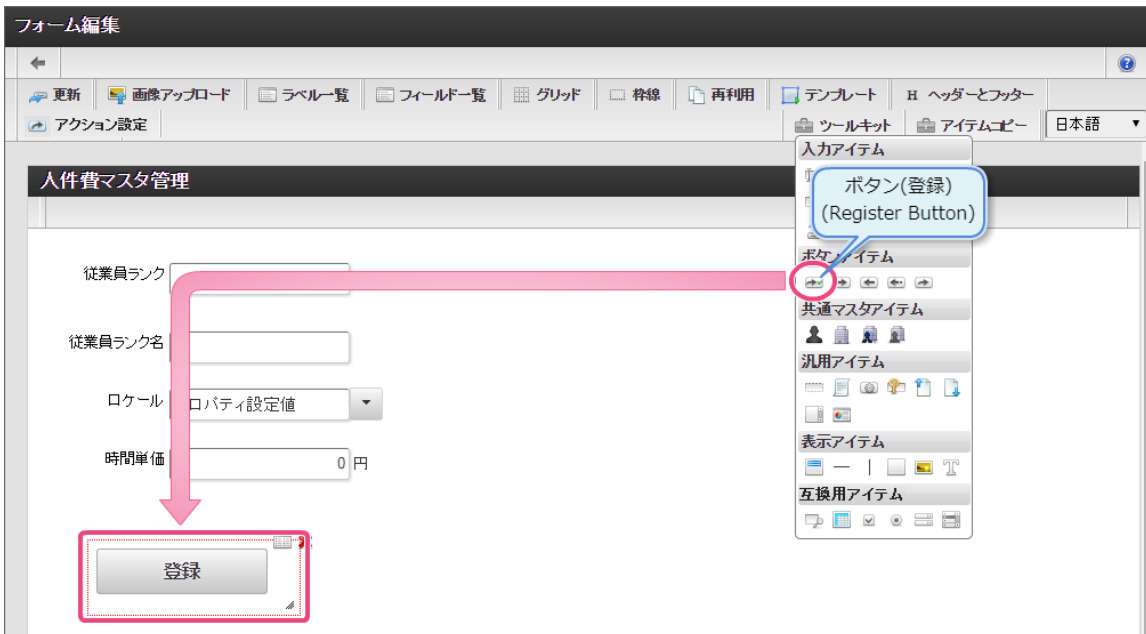
12. フィールド識別IDとフィールド識別名はそれぞれ以下の通りに入力してください。
 設定したら、プロパティの外側をクリックして、プロパティを閉じてください。

項目	設定内容
a フィールド識別ID	labor_unit_price
b フィールド識別名	時間単価

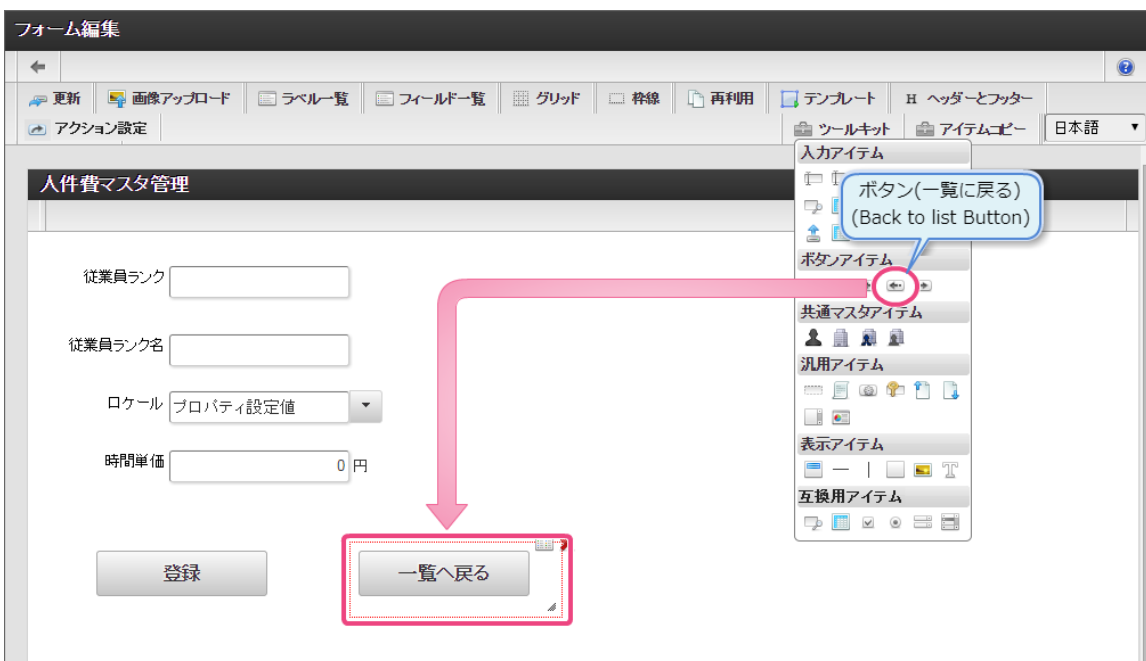
ボタンを配置する

データを登録・更新するためのボタンを配置していきましょう。
 ここでの設定箇所は、以下の図で枠に囲まれた部分が該当します。

1. データを登録・更新するためのボタンとして、「ボタンアイテム」の「ボタン（登録）」をドラッグ&ドロップで配置してください。



2. 遷移元の一覧に戻るためのボタンとして、「ボタンアイテム」の「ボタン（一覧に戻る）」をドラッグ&ドロップで配置してください。



3. 最後に、以下の手順でここまでの設定内容を保存してから、次の作業に進んでください。



1. 設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。

2. 次の作業に移るために「←」をクリックしてください。

アプリケーションのデータのテーブルを作成する

データを管理するテーブルを作成しましょう。

1. もう一度「←」をクリックしてフォーム設定に戻ってください。

「テーブル設定」をクリックしてください。

アプリケーションID: m_labor_cost
アプリケーション名: 人件費マスタ

編集	アプリケーション履歴番号	有効日付(開始)	有効日付(終了)	備考	更新日
	1	2014/10/01	2999/12/31		2014/11/04

2. 「登録」をクリックして、入力したデータを保存するためのテーブルを作成しましょう。

アプリケーションID: m_labor_cost
アプリケーション名: 人件費マスタ

登録

テーブル設定情報が存在しません。

3. 以下の手順でテーブルを作成してください。

確認メッセージでは「決定」をクリックして次の作業に進みます。

Intra-mart Top Workflow IM-BIS サイトマップ 浅野幸長

テーブル作成

2 登録

アプリケーションID m_labor_cost
アプリケーション名 人件費マスタ

ヘッダー

テーブル名 imfr_ut_m_labor_cost

項目名	列名	データ型	データサイズ	データサイズ(小数部)
データ登録ID	imfr_sd_insert_id	文字列	20	
アプリケーションID	imfr_sd_application_id	文字列	100	
アプリケーション履歴番号	imfr_sd_application_no	数値	10	0
バージョン	imfr_sd_version_no	数値	10	0
登録日	imfr_sd_create_date	タイムスタンプ		
登録者ユーザコード	imfr_sd_create_user_cd	文字列	100	
更新日	imfr_sd_record_date	タイムスタンプ		
更新者ユーザコード	imfr_sd_record_user_cd	文字列	100	
一時保存フラグ	imfr_sd_preserve_flag	文字列	1	
従業員ランク	imfr_ud_labor_rank	文字列	500	
従業員ランク名	imfr_ud_labor_rank_name	文字列	500	
ロケール	imfr_ud_locale	文字列	500	
時間単価	imfr_ud_labor_unit_price	数値	18	5

1. データサイズには以下の通りに入力してください。

項目名	データサイズ	データサイズ (小数部)
a 従業員ランク	500	—
従業員ランク名	500	—
ロケール	500	—
b 時間単価	18	5

2. テーブルの作成処理を実行するために「登録」をクリックしてください。

4. これでマスタのデータを保存するテーブルが作成できました。

アプリケーションの一覧画面を設定する

データを一覧で管理できるように、一覧画面を作成していきましょう。
一覧画面は設定内容に基づいて、以下のような画面を作成し、データを管理しやすくします。

人件費マスタ

詳細検索

従業員ランク	従業員ランク名	時間単価	編集	削除	詳細
entry	エントリー	1,000			
general	一般	1,500			
leader	リーダー	2,000			
manager	管理者	2,500			

1 ページ中 1 ページ目 15 4 件中 1 - 4 を表示

1. 「一覧表示項目設定」をクリックしましょう。

テーブル設定

アプリケーションID: m_labor_cost
アプリケーション名: 人件費マスタ

アプリケーション情報 フォーム設定 **テーブル設定** 権限設定 メニュー設定 **一覧表示項目設定** 管理会社設定

更新 削除

参照	種別	対象ID	テーブル名
	ヘッダー	imfr_form	imfr_ut_m_labor_cost

2. 以下の手順で「従業員ランク」を一覧の表示項目一覧に追加してください。

アプリケーションID: m_labor_cost
アプリケーション名: 人件費マスタ

タブ: アプリケーション情報, フォーム設定, テーブル設定, 権限設定, メニュー設定, **一覧表示項目設定**, 管理会社設定

登録

言語: 日本語


選択項目一覧

- 編集
- 削除
- 詳細
- PDF
- 従業員ランク**
- 従業員ランク名
- ロケール
- 時間単価

表示項目一覧

一覧表示プレビュー

1. 「従業員ランク」をクリックして選択状態にしてください。

2. 「従業員ランク」を「表示項目一覧」に移動するために  をクリックしてください。

3. 同様の手順で、表示項目一覧を以下の図の通りに設定してください。

アプリケーションID: m_labor_cost
アプリケーション名: 人件費マスタ

タブ: アプリケーション情報, フォーム設定, テーブル設定, 権限設定, メニュー設定, **一覧表示項目設定**, 管理会社設定

登録

言語: 日本語




選択項目一覧

- PDF
- ロケール

表示項目一覧

- 従業員ランク
- 従業員ランク名
- 時間単価
- 編集
- 削除
- 詳細

一覧表示プレビュー

従業員ランク	従業員ランク名	時間単価	編集	削除	詳細
従業員ランク	従業員ランク名	時間単価			

4. 最後に「登録」をクリックして一覧画面を設定してください。

確認メッセージでは「決定」をクリックして次の作業に進みます。



データ登録の権限を設定する

マスターデータを一覧画面から登録・更新・削除・変更するための権限を設定しましょう。

今回は、経理部とBIS管理者のみが一覧画面からデータのメンテナンスを行えるように設定していきます。

1. 「権限設定」をクリックしてください。



2. 以下の手順で、ロールへの権限付与設定画面を表示してください。



1. 「ロール」の左のアイコンをクリックして、ロールの欄を展開してください。

2. 権限設定画面を表示するために「追加」をクリックしてください。

3. 「🔍」をクリックしてロール検索画面を表示しましょう。

4. 以下の手順で、「ロール検索」画面から「BIS管理者」を選択してください。

1. 検索キーワード欄に「BIS管理者」と入力してください。
 2. 「検索」をクリックしてください。
 3. 検索結果から「BIS管理者」をクリックしてください。
 4. 選択した内容を反映するために「決定」をクリックしてください。
5. 以下の通りに権限を選択し、「登録」をクリックしてください。

項目	設定内容
a 権限	登録・更新・削除可能

6. 続いて、以下の手順で経理部（組織）への権限付与設定画面を表示してください。

権限設定

アプリケーションID: m_labor_cost
アプリケーション名: 人件費マスタ

アプリケーション情報 | フォーム設定 | テーブル設定 | **権限設定** | メニュー設定 | 一覧表示項目設定 | 管理会社設定

追加

編集	ロール名	表示名	権限
	bis_manager	BIS管理者	登録・更新・削除可能

1 組織

2 追加

編集	会社コード	組織セットコード	組織コード	組織名	権限

追加: 登録者が登録したデータは、登録者も更新削除できるようになります

登録者オプション

権限
設定なし

1. 「組織」の左のアイコンをクリックして、組織の欄を展開してください。

2. 権限設定画面を表示するために「追加」をクリックしてください。

7. 「」をクリックして組織検索画面を表示しましょう。

権限設定(組織)

組織*

権限* 参照可能

登録

8. 以下の手順で、「組織検索」画面から「経理部」を選択してください。

組織検索

検索基準日: 2014/10/31 ロケール: 日本語

キーワード ツリー

1 株式会社ナガハマ

- 営業本部
- 開発本部
- 管理本部
- 総務部
- 人事部
- 2 経理部
- 情報システム部

3 決定

1. 「株式会社ナガハマ」→「管理本部」をクリックし、組織ツリーを展開してください。
 2. 「経理部」をクリックしてください。
 3. 「決定」をクリックしてください。
9. 先の手順と同様に、以下の通りに権限を選択し、「登録」をクリックしてください。



項目	設定内容
a 権限	登録・更新・削除可能

10. これで権限設定が完了しましたので、続いてメニューへの登録を行います。



一覧画面をメニューに登録する

最後に、設定した一覧画面をメニューに登録してデータを登録できるようにしましょう。

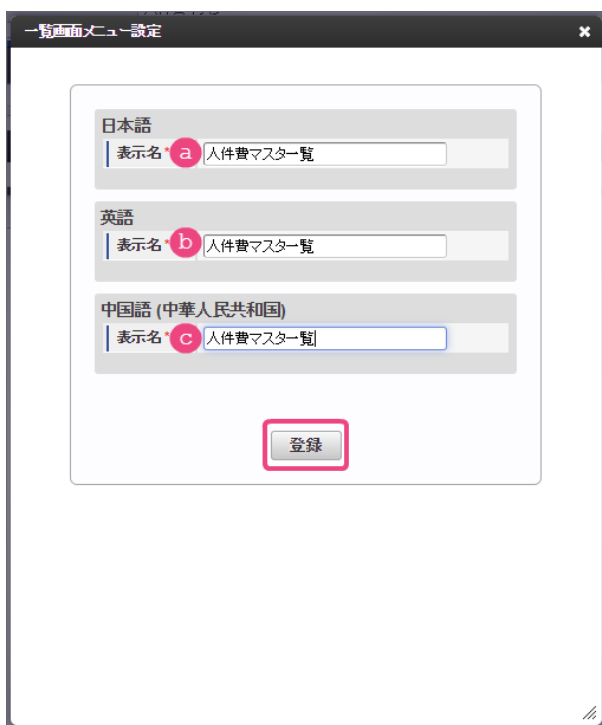
1. 「メニュー設定」をクリックしてください。



2. 以下の手順でメニューの登録画面を表示してください。



1. メニューグループから「Formaアプリ-サイトマップ（PC用）」を選択してください。
2. 「一覧画面メニュー設定」をクリックしてください。
3. 以下の通りに入力し、一覧画面をメニューに登録してください。
確認メッセージでは、そのまま「決定」をクリックします。



項目	設定内容
a 表示名（日本語）	人件費マスター
b 表示名（英語）	人件費マスター
c 表示名（中国語（中華人民共和國））	人件費マスター

4. この後に一度ログアウト→ログインを行うと、メニューに一覧画面が表示されます。



人件費マスタのデータを登録する

作成した人件費マスタのデータを登録しましょう。

人件費マスタの一覧画面を表示する

人件費マスタの権限を設定したユーザーで一覧画面を表示しましょう。

1. 先の手順で権限を付与したBIS管理者、または経理部の所属ユーザーでログインしましょう。
今回は例として、経理部の「桑名吉成」さんでログインしましょう。
2. サイトマップ「Formaアプリ」の「人件費マスター一覧」をクリックしてください。



3. 「登録」をクリックしてデータの登録画面を表示してください。



4. 以下の通りに各項目に入力し、「登録」をクリックしてください。
(図では、サンプルデータを入力していますが、業務に合わせたデータを入力してください。)

項目	入力値
a 従業員ランク	登録するマスタデータのコード値
b 従業員ランク名	登録するマスタデータの表示名称 (この後にハンズオンで実行する申請画面に表示する名称として利用します。)
c ロケール	マスタデータをユーザのロケール別に切り替えるための言語 (この後のハンズオンで利用するユーザのロケールに合わせて設定してください。)
d 時間単価	登録するマスタデータの人件費計算に利用する単価情報 (この後にハンズオンで実行する承認での人件費計算に利用します。)

5. これで1件データを登録することができましたので、同様にして他の人件費を登録してください。

従業員ランク	従業員ランク名	時間単価	編集	削除	詳細
entry	エントリー	1,000			

■ 登録する内容

従業員ランク	従業員ランク名	ロケール	時間単価
general	一般	日本語	1500
leader	リーダー	日本語	2000
manager	管理職	日本語	2500

6. データの登録が終わった時点では、以下の図のようにデータが表示されています。続いてデータを取得するための作業に移ります。

従業員ランク	従業員ランク名	時間単価	編集	削除	詳細
entry	エントリー	1,000			
general	一般	1,500			
leader	リーダー	2,000			
manager	管理職	2,500			

人件費マスタのデータを参照するためのデータソース定義を登録する

人件費マスタをワークフローの画面から人件費単価として検索するためのデータソース定義を登録していきましょう。

データを取得するSQLを確認する

今回は、データソース定義を「テナントDBクエリ」として登録するにあたって、事前にSQLを確認しましょう。SQLを簡単に生成する方法として、ViewCreatorのクエリ機能を利用します。

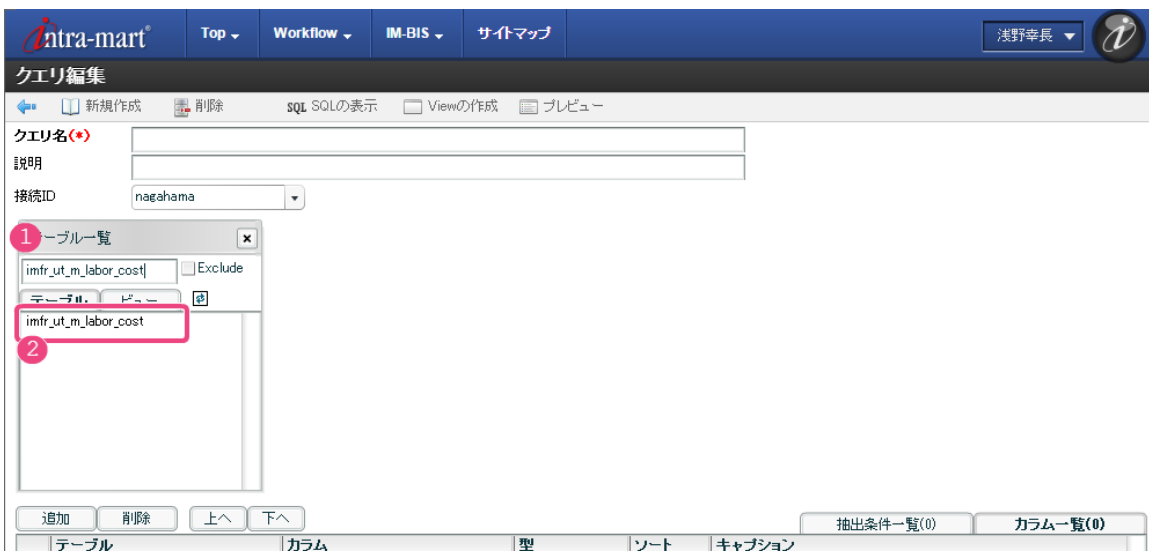
1. BIS管理者に設定したユーザでログインしましょう。
(今回の例では、「浅野幸長」でログインします。)
2. サイトマップ「ViewCreator」の「クエリ一覧」をクリックしてください。



3. クエリ一覧で「新規」をクリックしてクエリ編集画面を表示しましょう。



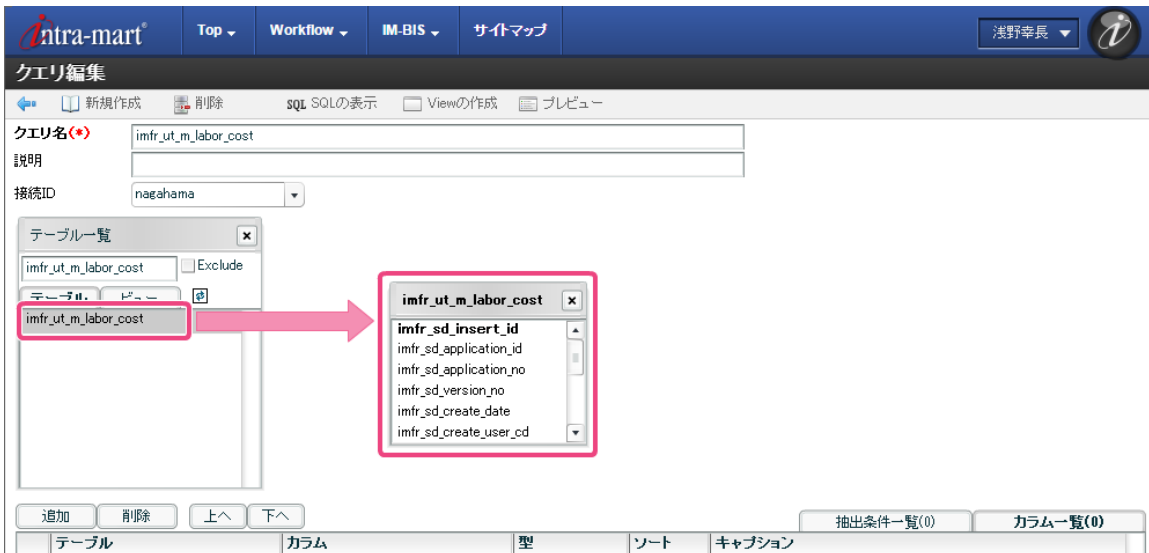
4. 以下の手順で、先ほど作成したアプリケーションのテーブルを検索してください。



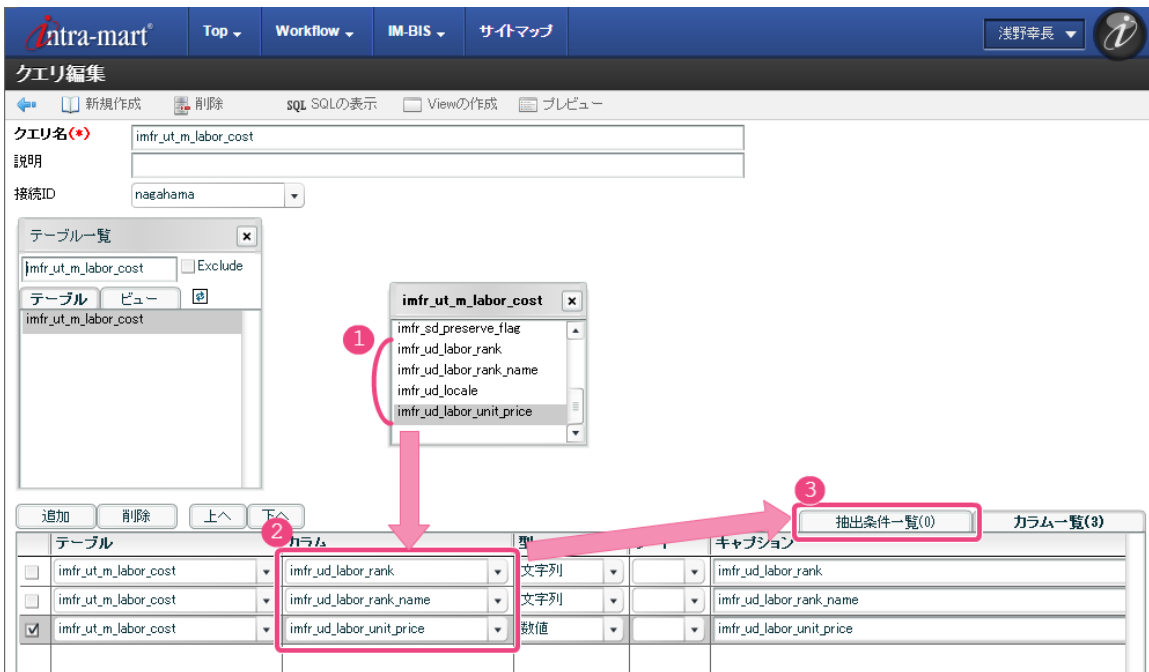
1. 検索条件の欄に「imfr_ut_m_labor_cost」と入力してください。

2. テーブル一覧に条件に入力した名前のテーブルのみが表示されます。

5. 表示されたテーブルをドラッグ&ドロップで編集画面上に配置しましょう。



6. 以下の手順で人件費マスタから参照する項目（カラム）を「カラム一覧」に追加してください。



1. 「imfr_ud_labor_rank」、「imfr_ud_labor_rank_name」、「imfr_ud_labor_unit_price」をダブルクリックしてください。

2. 「カラム一覧」の「カラム」に追加した列が表示されていることを確認してください。
ダブルクリックした列と異なる列が表示されている場合、「カラム」の選択内容を対象のカラムに変更してください。

3. 次に抽出条件を設定するために「抽出条件一覧」をクリックしてください。

7. 続いて、以下の手順で抽出条件を設定し、生成されるSQLを確認しましょう。

1. 「imfr_ud_locale」をダブルクリックしてください。
 2. 「抽出条件一覧」の「カラム」に追加した列が表示されていることを確認してください。
ダブルクリックした列と異なる列が表示されている場合、「カラム」の選択内容を対象のカラムに変更してください。
 3. 設定内容に基づくSQLを表示するために「SQLの表示」をクリックしてください。
8. 自動的に生成されたSQL文が表示されますので、コピーしてメモ帳などのテキストファイルに保存しておきます。
このクエリは登録する必要はありませんので、SQLの保存後は何もせずに「サイトマップ」をクリックして、次の作業に移ります。

データソース定義の登録を始める

1. サイトマップ「IM-BIS」の「外部連携」配下にある「データソース定義」をクリックしてください。

2. データソース一覧で「登録」をクリックしてデータソース定義の登録を始めましょう。

登録

すべて
 テナントDBクエリ シェアードDBクエリ REST SOAP JAVA CSVインポート CSVエクスポート

データソース名 検索

選択した定義を削除

編集	データソース種別	データソース名	備考
<input type="checkbox"/>	テナントDBクエリ	勤怠種類選択	
<input type="checkbox"/>	テナントDBクエリ	接続先の初期値取得クエリ	
<input type="checkbox"/>	テナントDBクエリ	接続先一覧取得クエリ	

3. データソース定義に関する情報に以下の通り入力し、「登録」をクリックしてください。

データソース種別 ^a テナントDBクエリ

データソース名 ^b 従業員ランク検索

備考

他のロケール

登録

項目	入力値
a データソース種別	テナントDBクエリ
b データソース名	従業員ランク検索

データソース定義のクエリを設定する

1. 以下の手順でSQLを編集してください。

クエリ設定

SQL

1

```
SELECT
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_rank AS imfr_ud_labor_rank,
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_rank_name AS imfr_ud_labor_rank_name,
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_unit_price AS imfr_ud_labor_unit_price
FROM
  imfr_ut_m_labor_cost
WHERE
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_locale = ?
```

2

1. 先の手順（**データを取得するSQLを確認する**）で取得したSQLで書き換えてください。
 2. WHERE以降の記載内容のうち、「**?**」を「**?**」に変更してください。
2. 以下の手順で「入力値」の入力欄の行数を調整してください。

Intra-mart Top Workflow IM-BIS サイトマップ 浅野幸長

データベース - 編集 [テナントDBクエリ]

データベース種別 テナントDBクエリ
データベース名 従業員ランク検索

クエリ設定 管理会社設定

SQL

```
SELECT
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_rank AS imfr_ud_labor_rank,
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_rank_name AS imfr_ud_labor_rank_name,
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_unit_price AS imfr_ud_labor_unit_price
FROM
  imfr_ut_m_labor_cost
WHERE
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_locale = ?
```

入力値 + 追加

	テスト実行値	データ型	論理名	削除	
IN 1		VARCHAR	日本語	条件項目 1	-
			英語	Condition item1	
			中国語 (中華人民共和国)	条件項目 1	
IN 2		VARCHAR	日本語	条件項目 2-1	-
			英語	Condition item2-1	
			中国語 (中華人民共和国)	条件項目 2-1	

3

入力値 + 追加

	テスト実行値	データ型	論理名	削除	
IN 1		VARCHAR	日本語	条件項目 1	-
			英語	Condition item1	
			中国語 (中華人民共和国)	条件項目 1	

+ 追加

削除

- 2行目の削除アイコンをクリックして、2行目を削除してください。
 - 同様に、3行目についても削除アイコンをクリックして、3行目を削除してください。
 - この図の通り、「入力値」の入力欄が1行にできていることを確認してください。
3. 次に、「出力値」の入力欄の行数を追加するために「追加」を2回クリックしてください。

intra-mart® Top Workflow IM-BIS サイトマップ 浪野幸長

データベース - 編集 [テナントDBクエリ]

データベース種別: テナントDBクエリ
データベース名: 従業員ランク検索

クエリ設定 管理会社設定

SQL

```
SELECT
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_rank AS imfr_ud_labor_rank,
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_rank_name AS imfr_ud_labor_rank_name,
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_unit_price AS imfr_ud_labor_unit_price
FROM
  imfr_ut_m_labor_cost
WHERE
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_locale = ?
```

入力値

IN 1	テスト実行値	データ型	日本語	英語	中国語 (中華人民共和国)	論理名	削除
	<input type="text"/>	VARCHAR	条件項目 1	Condition item1	条件項目 1		-

出力値

OUT 1	OUT 2	OUT 3	カラム名	データ型	日本語	英語	中国語 (中華人民共和国)	論理名	削除
				VARCHAR	取得項目 1	Acquiring item1	取得項目 1		-
				VARCHAR					-
				VARCHAR					-

テスト実行 登録

4. カラム名、論理名を以下の図の通りに設定しましょう。
ロケールによって、項目の表示名を変える場合には、言語に合わせた名称を入力してください。

intra-mart® Top Workflow IM-BIS サイトマップ 浪野幸長

データソース - 編集 [テナントDBクエリ]

データソース種別: テナントDBクエリ
データソース名: 従業員ランク検索

クエリ設定 管理会社設定

SQL

```
SELECT
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_rank AS imfr_ud_labor_rank,
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_rank_name AS imfr_ud_labor_rank_name,
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_unit_price AS imfr_ud_labor_unit_price
FROM
  imfr_ut_m_labor_cost
WHERE
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_locale = ?
```

入力値

IN	実行値	データ型	論理名	削除
IN 1		VARCHAR	ロケール	-
			ロケール	
			ロケール	

出力値

OUT	カラム名	データ型	論理名	削除
OUT 1	imfr_ud_labor_rank	VARCHAR	従業員ランク	-
			従業員ランク	
			従業員ランク	
OUT 2	imfr_ud_labor_rank_n	VARCHAR	従業員ランク名	-
			従業員ランク名	
			従業員ランク名	
OUT 3	imfr_ud_labor_unit_pr	NUMBER	時間単価	-
			時間単価	
			時間単価	

テスト実行 登録

1. 「入力値」の論理名に「ロケール」と入力してください。
 2. 「出力値」のカラムに「imfr_ud_labor_rank」、「imfr_ud_labor_rank_name」、「imfr_ud_labor_unit_price」と上から順に入力してください。
 3. 「出力値」のカラム名に「imfr_ud_labor_rank」と入力した行の論理名に「従業員ランク」と入力してください。
 4. 「出力値」のカラム名に「imfr_ud_labor_rank_name」と入力した行の論理名に「従業員ランク名」と入力してください。
 5. 「出力値」のカラム名に「imfr_ud_labor_unit_price」と入力した行の論理名に「時間単価」と入力してください。
5. 最後に、設定内容に問題がないかを確認するために、以下の手順でテストを実行し、データソース定義を登録してください。

The screenshot shows the 'データソース - 編集 [テナントDBクエリ]' page in the IM-BIS system. A green notification box at the top indicates '3 テスト実行に成功しました。取得件数: 4'. The page is divided into 'クエリ設定' and '管理会社設定' tabs. The 'クエリ設定' tab is active, showing an SQL editor with the following query:

```
SELECT
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_rank AS imfr_ud_labor_rank,
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_rank_name AS imfr_ud_labor_rank_name,
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_labor_unit_price AS imfr_ud_labor_unit_price
FROM
  imfr_ut_m_labor_cost
WHERE
  imfr_ut_m_labor_cost.imfr_ud_locale = ?
```

Below the SQL editor, there are sections for '入力値' (Input Values) and '出力値' (Output Values). The '入力値' section has a table with one row:

IN 1	テスト実行値	データ型	論理名	削除	
	ja	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	ロケール ロケール ロケール	-

The '出力値' section has a table with three rows:

OUT 1	出力値名	データ型	論理名	削除	
	imfr_ud_labor_rank	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	従業員ランク 従業員ランク 従業員ランク	-
	imfr_ud_labor_rank_n	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	従業員ランク名 従業員ランク名 従業員ランク名	-
	imfr_ud_labor_unit_pr	NUMBER	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	時間単価 時間単価 時間単価	-

At the bottom, there are buttons for 'テスト実行' (Test Execution) and '登録' (Register). A red circle with the number '2' is placed over the 'テスト実行' button, and a red circle with the number '4' is placed over the '登録' button.

1. 「入力値」のテスト実行値に「ja」と入力してください。
2. 「テスト実行」をクリックしてください。
3. 実行結果が成功と表示されることを確認してください。
エラーメッセージが表示された場合には、メッセージに基づいて対応してください。
4. データソース定義を登録するために「登録」をクリックしてください。

これで、勤怠管理フローを作成するための事前準備は完了です。
引き続き、フローの作成を進めていきましょう。

関連情報

ここに記載した IM-FormaDesigner でのアプリケーションの作成やデータソース定義の設定方法の詳細は、以下のドキュメントで説明しております。

- [IM-FormaDesigner 作成者操作ガイド](#)
- [IM-BIS システム管理者操作ガイド](#)

勤怠管理のワークフローを作成しよう（ワークフロー）

ここでは、IM-BIS を利用して毎月の勤怠状況を一覧として上長や人事に承認してもらうまでのワークフローを作成しましょう。

勤怠管理のワークフローを作成する手順

- フローの基本設定
- 経路情報（ルート）の設定
- 入力画面（アプリケーション）の設定
- 入力画面（アプリケーション）を部品（テンプレート）として利用する
- 実行に必要な処理を実行する
- 関連情報

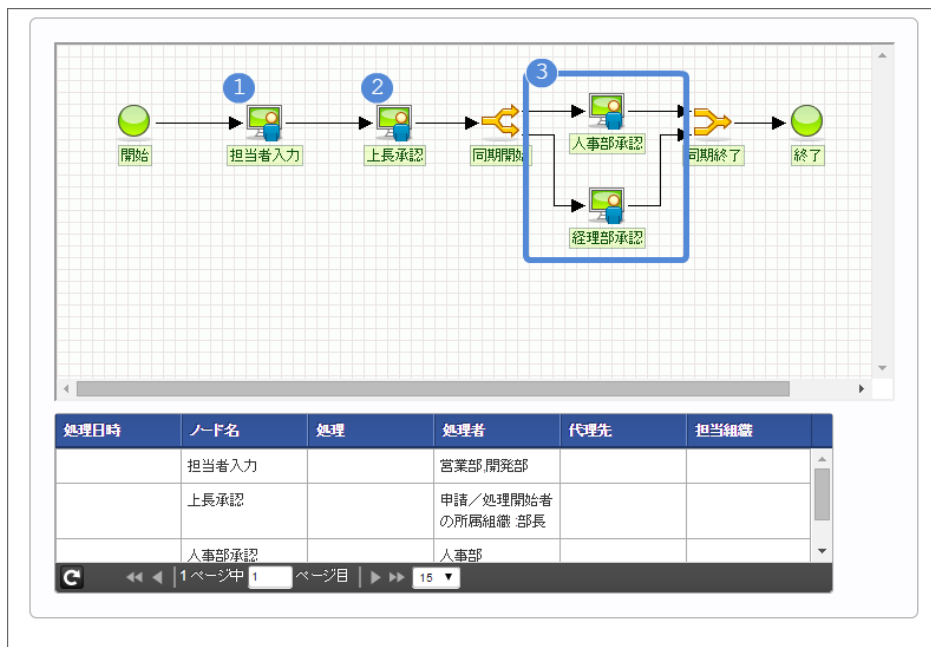
- 作成するワークフローの内容
 - 申請画面（経理部以外はこの画面を表示します。）

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	休日			0.0	0.0	0.0
2	休日			0.0	0.0	0.0
3	休日			0.0	0.0	0.0
4	出勤	09:30	20:00	1.0	9.5	1.5
5	出勤	10:00	19:30	1.0	8.5	0.5
6	休日			1.0	0.0	0.0
7	休日			1.0	0.0	0.0
8	有給休暇			0.0	0.0	0.0
9	出勤	09:30	20:00	0.0	10.5	2.5
10	出勤	09:30	19:30	0.0	10.0	2.0
11	出勤	09:30	18:00	0.0	8.5	0.5
12	出勤	09:30	18:30	0.0	9.0	1.0
13	休日			0.0	0.0	0.0
14	休日			0.0	0.0	0.0
15	休日			0.0	0.0	0.0

- 経理部用の画面

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	休日			0.0	0.0	0.0
2	休日			0.0	0.0	0.0
3	休日			0.0	0.0	0.0
4	出勤	09:30	20:00	1.0	9.5	1.5
5	出勤	10:00	19:30	1.0	8.5	0.5
6	休日			1.0	0.0	0.0
7	休日			1.0	0.0	0.0
8	有給休暇			0.0	0.0	0.0
9	出勤	09:30	20:00	0.0	10.5	2.5
10	出勤	09:30	19:30	0.0	10.0	2.0
11	出勤	09:30	18:00	0.0	8.5	0.5

- 経路情報（ルート）



フローの基本設定

BIS管理者でログインし、ワークフローの作成を進めましょう。

フローの登録を始める

1. BIS管理者に設定したユーザでログインしましょう。
(今回の例では、「浅野幸長」でログインします。)
2. サイトマップ「IM-BIS」の「IM-BIS」をクリックしましょう。



3. IM-BIS - 更新履歴が表示されます。
ワークフローを新規に登録するために「新規作成」をクリックしてください。



ワークフローの名前を登録する

最初にフローの種類と名称を設定しましょう。

1. 以下の通りに入力し、「登録」をクリックしてください。

設定項目	設定値
a. BIS作成種類	ワークフロー
b. ルート作成方法	新規にルートを作成する
c. BIS名	勤怠管理フロー


経路情報（ルート）の設定

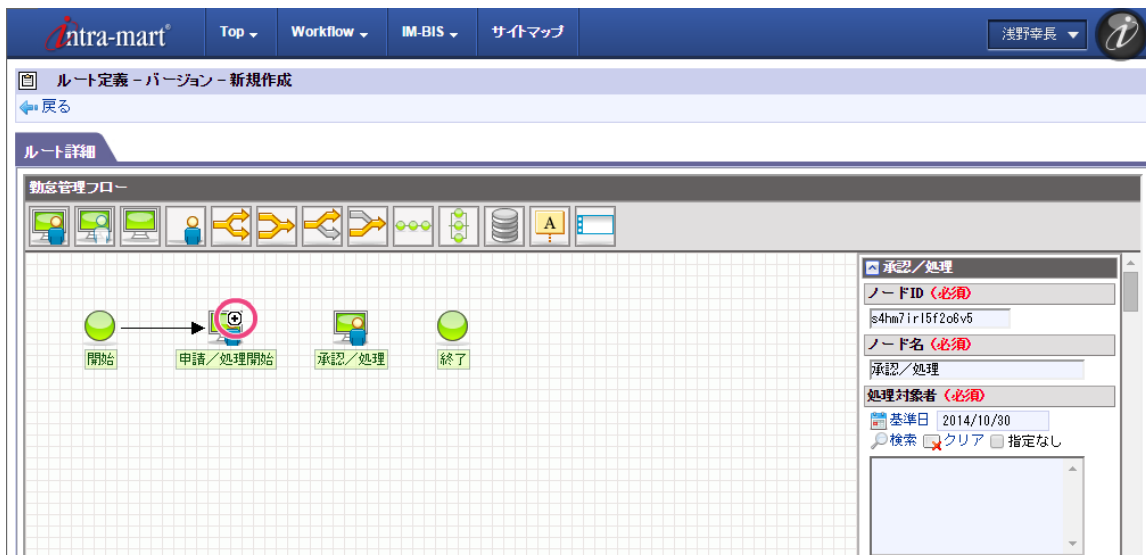
経路情報（ルート）を設定する

報告書を回覧するための経路情報（ルート）を設定します。

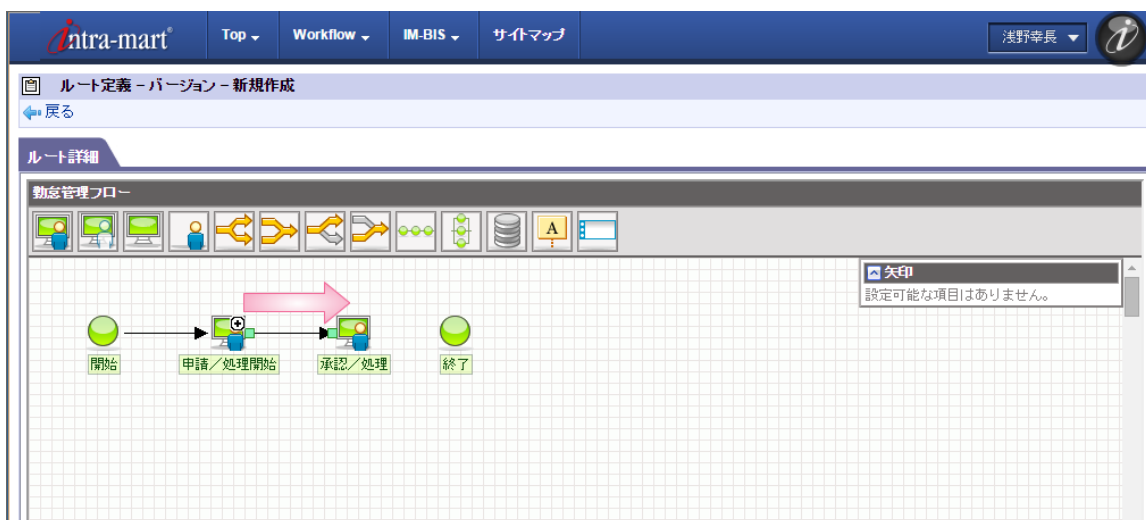
このハンズオンでは、報告者・育成担当・部長が回覧するための経路を設定していきましょう。

1. 一番左の「承認／処理」アイコンをドラッグ&ドロップで配置してください。

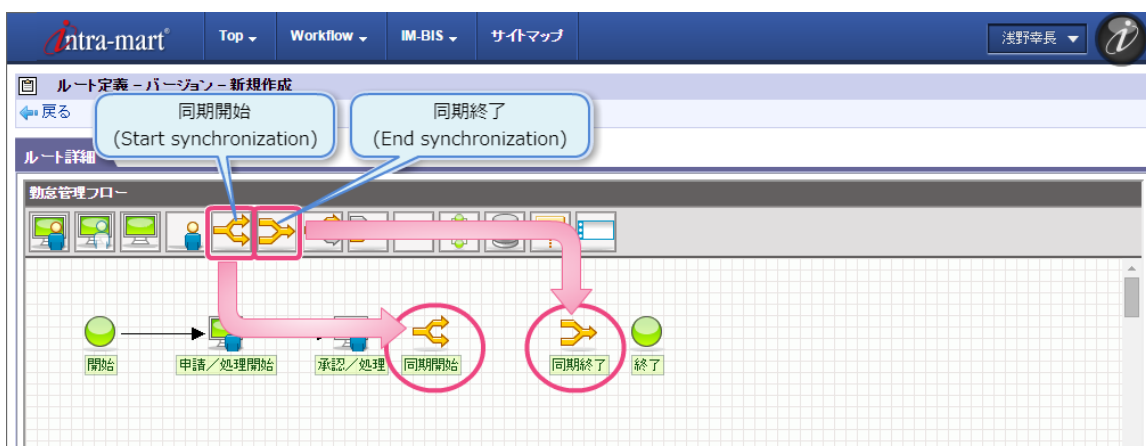
2. ノードの右上にマウスを重ねると「」のマークが表示されます。



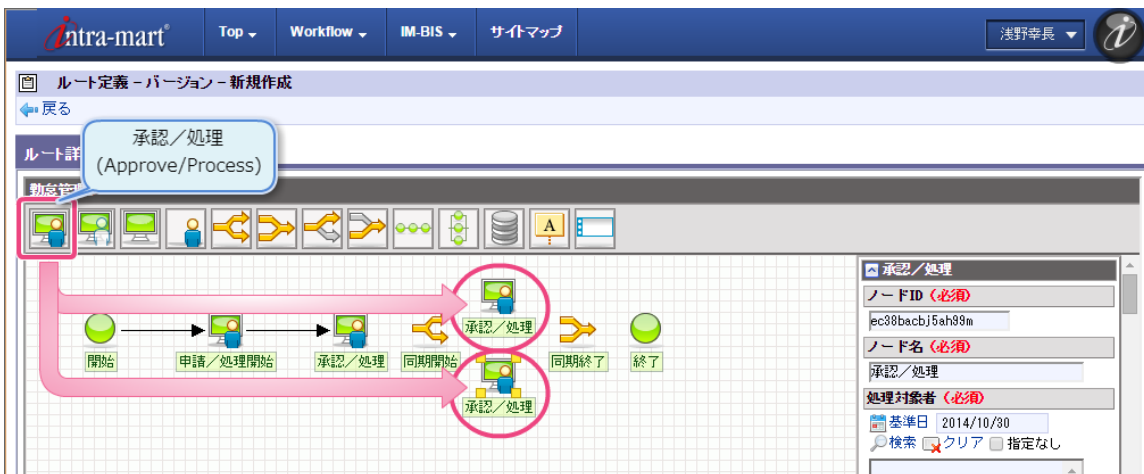
3. アイコン同士を接続するために「⊕」のマークを次のノードまでドラッグしてください。
矢印が表示され、ノード同士を1つの矢印で接続できます。



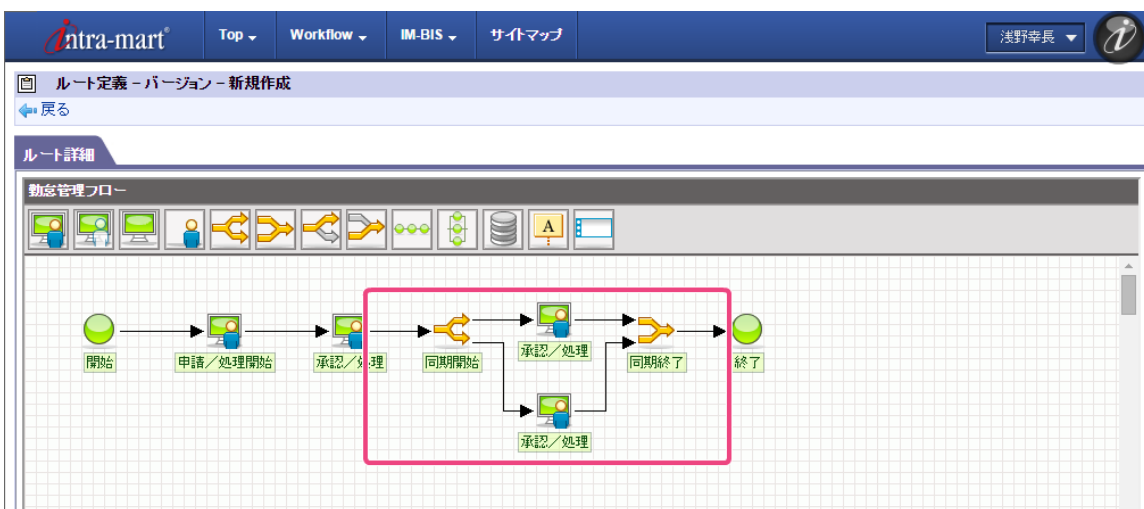
4. 次に、経理部と人事部が同じタイミングで承認を行えるように、同期開始・同期終了アイコンを配置しましょう。



5. 経理部と人事部の承認/処理アイコンを配置しましょう。



6. 最後に終了までのアイコンをすべて接続しましょう。
(各アイコンはドラッグ&ドロップで移動させて、レイアウトを調整してください。)

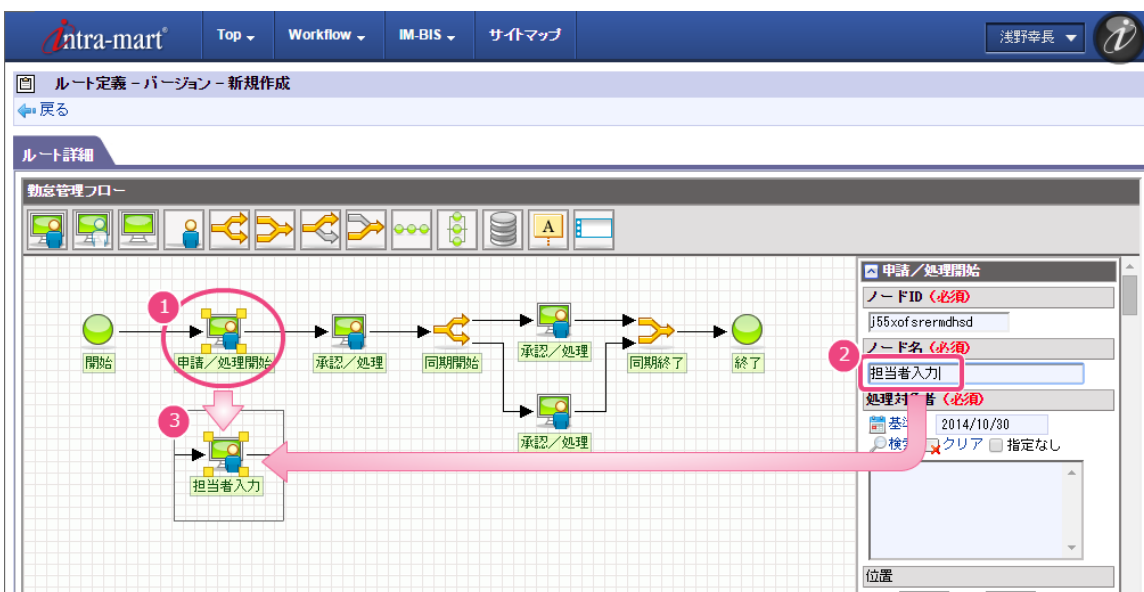


経路情報（ルート）の名前、対象者を設定する

各アイコンの業務ができるユーザを設定していきましょう。

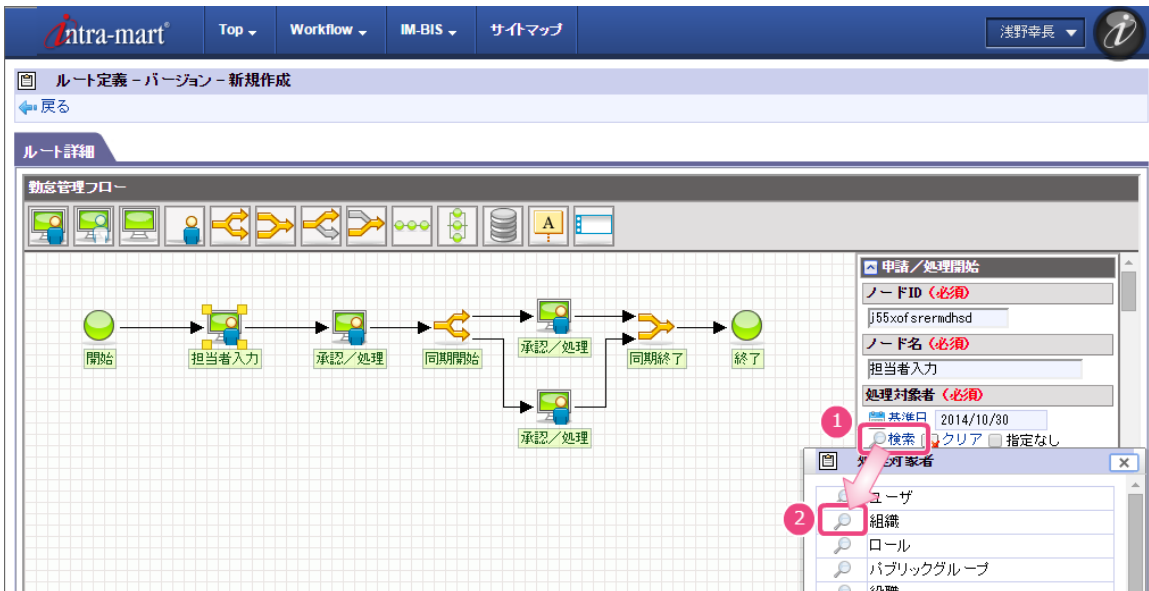
今回のワークフローでは、組織に所属する人や申請者・前に処理（承認）した人に基づいて、業務ができるユーザが変わるように設定していきます。

1. 以下の手順でノード名を設定してください。

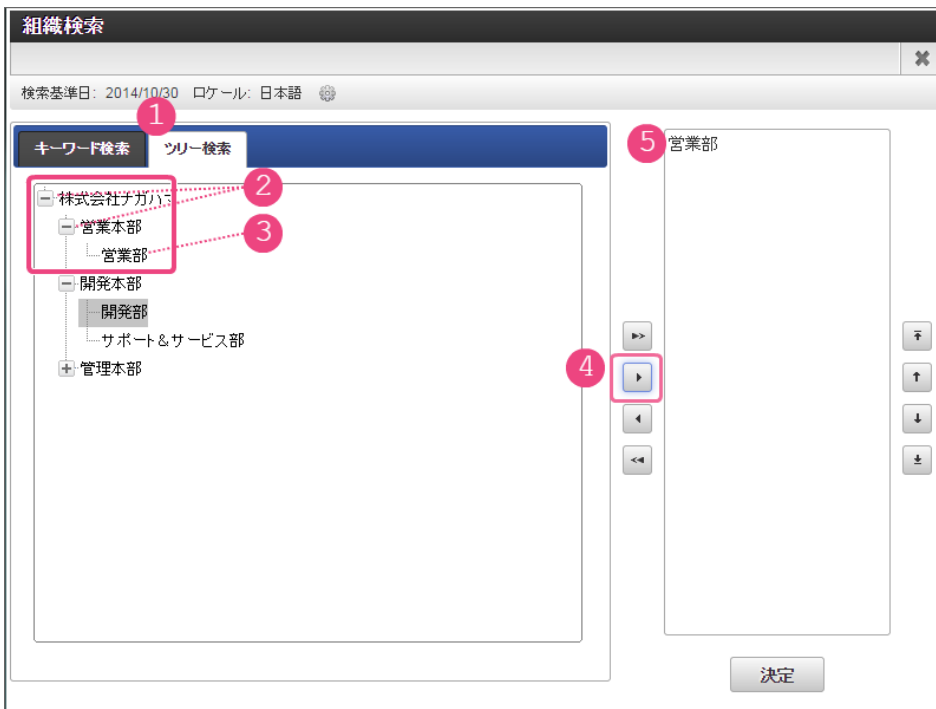


1. 「申請/処理開始」アイコンをクリックしてください。
右側にノードの情報が表示されます。
2. 「ノード名」に「担当者入力」と入力してください。
3. ノード名のフォーカスを外すと、ルートに表示されているノード名が変更されたことが確認できます。

2. 以下の手順で「担当者入力」の処理が実行できるユーザの検索画面を表示してください。



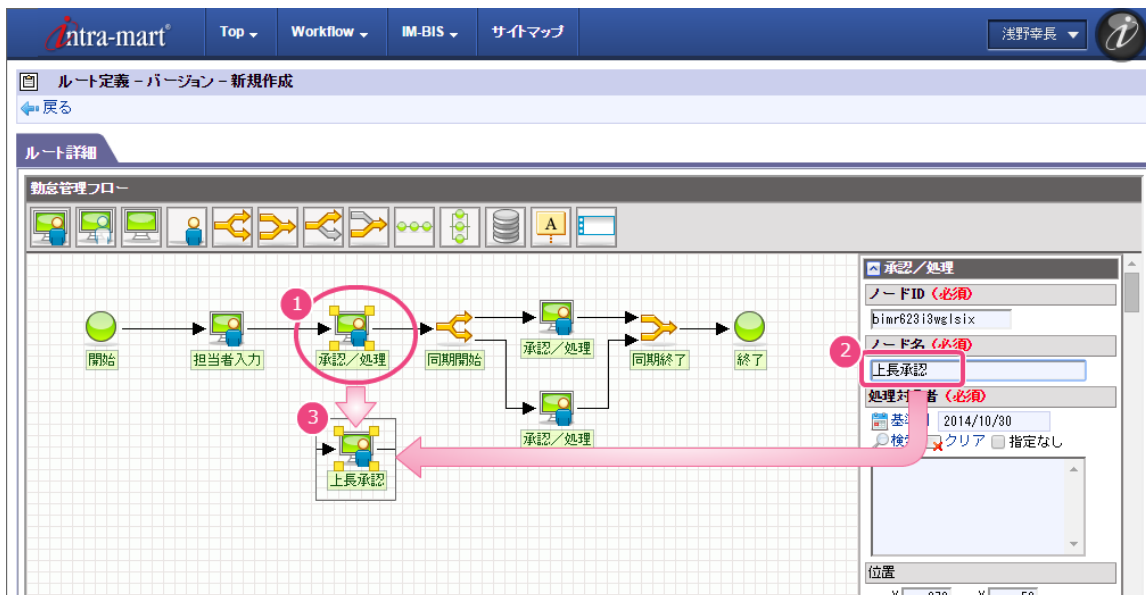
1. 処理対象者の「検索」をクリックしてください。
2. 「組織」の左の虫眼鏡アイコンをクリックしてください。
3. 組織検索では、以下の手順で営業部を選択してください。



1. 「ツリー検索」タブをクリックしてください。
 2. 「株式会社ナガハマ」→「営業本部」の順にクリックし、組織のツリーを展開してください。
 3. 「営業本部」の配下の「営業部」をクリックして選択状態にしてください。
 4. 「営業部」を設定対象にするために、「選択」ボタンをクリックしてください。
 5. 右側の選択欄に「営業部」が表示されることを確認してください。
4. 引き続き、以下の手順で開発部を選択してください。



1. 「株式会社ナガハマ」→「開発本部」の順にクリックし、組織のツリーを展開してください。
 2. 「開発本部」の配下の「開発部」をクリックして選択状態にしてください。
 3. 「開発部」を設定対象にするために、「選択」ボタンをクリックしてください。
 4. 右側の選択欄に「営業部」と「開発部」が表示されることを確認してください。
 5. ルートの処理対象者に反映するために「決定」をクリックしてください。
5. これで、営業部、開発部に所属するユーザが勤怠実績を申請することができるようになりました。
6. 以下の手順で2番目のノード名を設定してください。



1. 「承認/処理」アイコンをクリックしてください。
右側にノードの情報が表示されます。
 2. 「ノード名」に「上長承認」と入力してください。
 3. ノード名のフォーカスを外すと、ルートに表示されているノード名が変更されたことが確認できます。
7. 以下の手順で「上長承認」の処理が実行できるユーザの検索画面を表示してください。

ルート定義 - バージョン - 新規作成

戻る

ルート詳細

勤怠管理フロー

承認/処理

ノードID (必須)
binr623i3w1s1x

ノード名 (必須)
上長承認

処理対象者 (必須)
基準日 2014/10/30
検索 クリア 指定なし

パブリックグループ+ロ
申請/処理開始者
申請/処理開始者の所属組織
申請/処理開始者の所属組織+役職
申請/処理開始者の所属組織+ロ
申請/処理開始者の上位組織
申請/処理開始者の上位組織+役職

1. 処理対象者の「検索」をクリックしてください。
 2. 選択対象の処理対象者を表示するために下方向にスクロールしてください。
 3. 「申請/処理開始者の所属組織+役職」の左の虫眼鏡アイコンをクリックしてください。
8. 申請/処理開始者の所属組織+役職の検索では、以下の手順で対象の組織と役職の組み合わせを設定してください。

申請/処理開始者の所属組織+役職

検索基準日: 2014/10/30 ロケール: 日本語

役職検索

株式会社ナガハマ

社長
本部長
部長

部長

決定

1. 左の欄で「株式会社ナガハマ」をクリックしてください。
2. 中央の欄に表示された役職から「部長」をクリックしてください。
3. 「部長」を選択対象にするために、「選択」ボタンをクリックしてください。
4. ルートの処理対象者に反映するために「決定」をクリックしてください。

コラム

「組織＋役職」と「申請／処理開始者の所属組織＋役職」の違い

部長に承認させる方法として、「組織＋役職」を利用することもできますが、

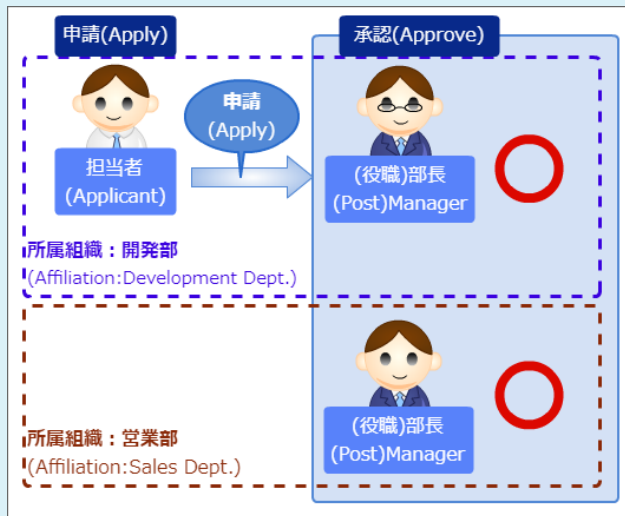
「申請／処理開始者の所属組織＋役職」とは、異なる動作となるため、その点を考慮して利用しましょう。

今回の例で、処理対象者の設定に「組織＋役職」を選択して、「営業部の部長・開発部の部長」と設定した場合、

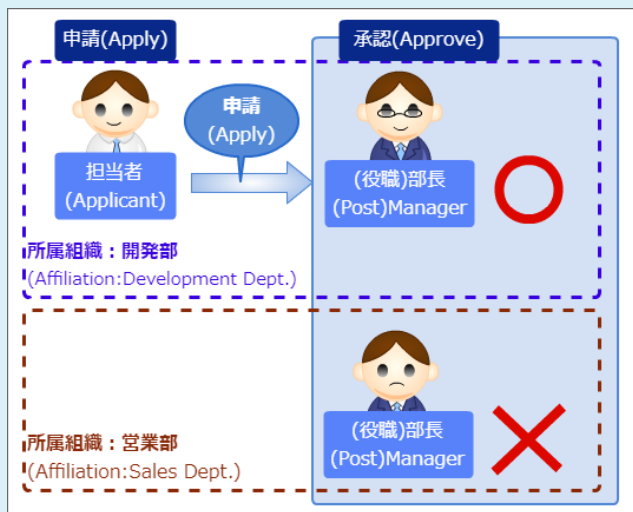
申請者が営業部・開発部のどちらの所属に関わらず、営業部、または開発部の部長が承認できます。

(本来、開発部のユーザからの申請は開発部の部長が承認できるようにすべきところ、営業部の部長も開発部ユーザの申請を承認できます。)

- 「組織＋役職」を設定した場合



- 「申請／処理開始者の所属組織＋役職」を設定した場合



「申請／処理開始者の所属組織＋役職」を利用した場合には、申請したユーザと同じ所属組織の部長のみが承認できるため、開発部ユーザの申請は開発部部長しか承認できないように設定できます。

株式会社ナガハマで、開発部の栗山さんが申請した勤怠フローでは、次のように動作が変わります。

- 組織＋役職の場合
開発部の部長・竹中さんと営業部の部長・黒田（長）さんの両方が承認できる
- 申請／処理開始者の所属組織＋役職の場合
開発部の部長・竹中さんだけが承認できる

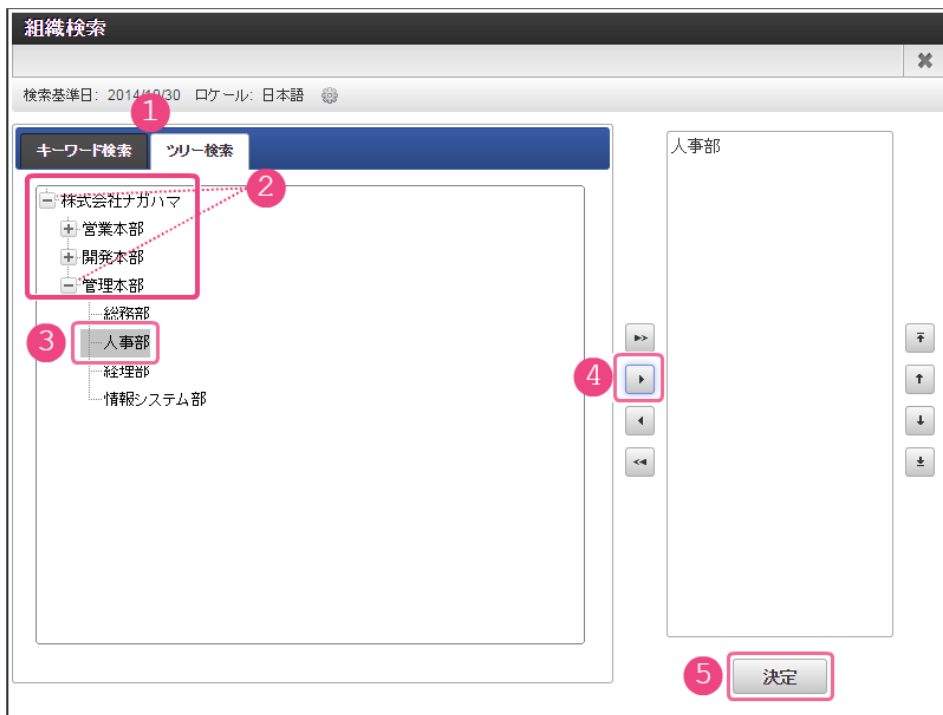
9. 以下の手順で人事部承認のノード名を設定してください。

1. 同期開始・同期終了の間に配置した上の「承認/処理」アイコンをクリックしてください。
右側にノードの情報が表示されます。
2. 「ノード名」に「人事部承認」と入力してください。
3. ノード名のフォーカスを外すと、ルートに表示されているノード名が変更されたことが確認できます。

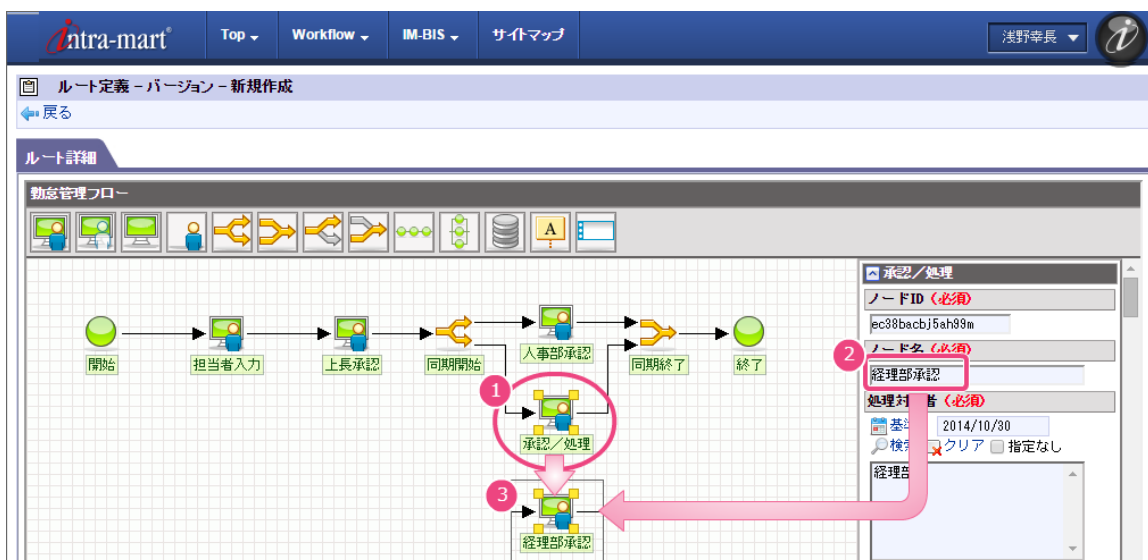
10. 以下の手順で「人事部承認」の処理が実行できるユーザの検索画面を表示してください。

1. 処理対象者の「検索」をクリックしてください。
2. 「組織」の左の虫眼鏡アイコンをクリックしてください。

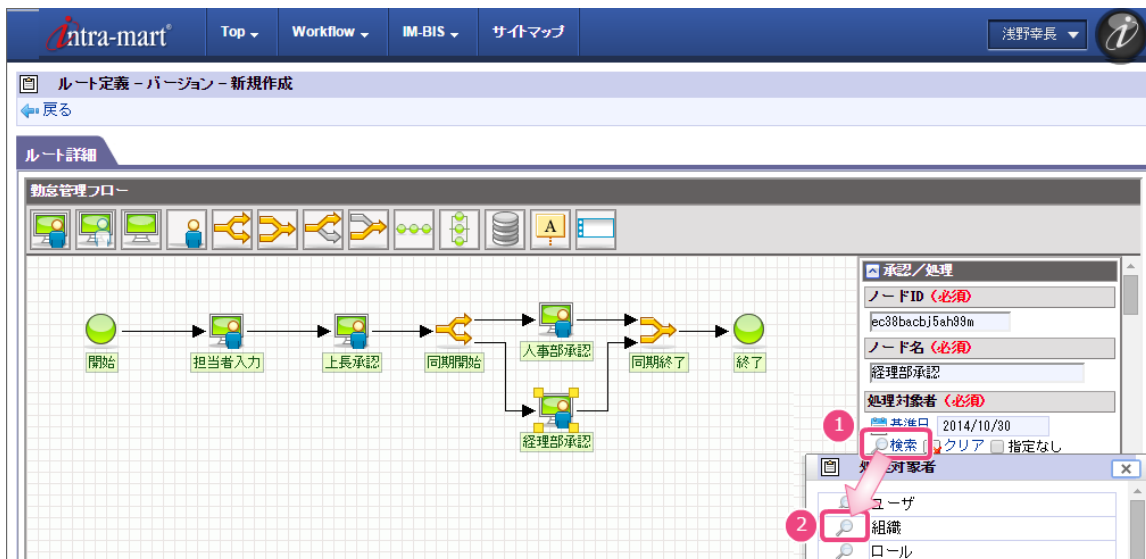
11. 組織検索では、以下の手順で対象の組織を選択してください。



1. 「ツリー検索」タブをクリックしてください。
 2. 「株式会社ナガハマ」→「管理本部」の順にクリックし、組織のツリーを展開してください。
 3. 「管理本部」の配下の「人事部」をクリックして選択状態にしてください。
 4. 「人事部」を選択対象にするために、「選択」ボタンをクリックしてください。
 5. ルートの処理対象者に反映するために「決定」をクリックしてください。
12. 同様に、以下の手順で経理部承認のノード名を設定してください。

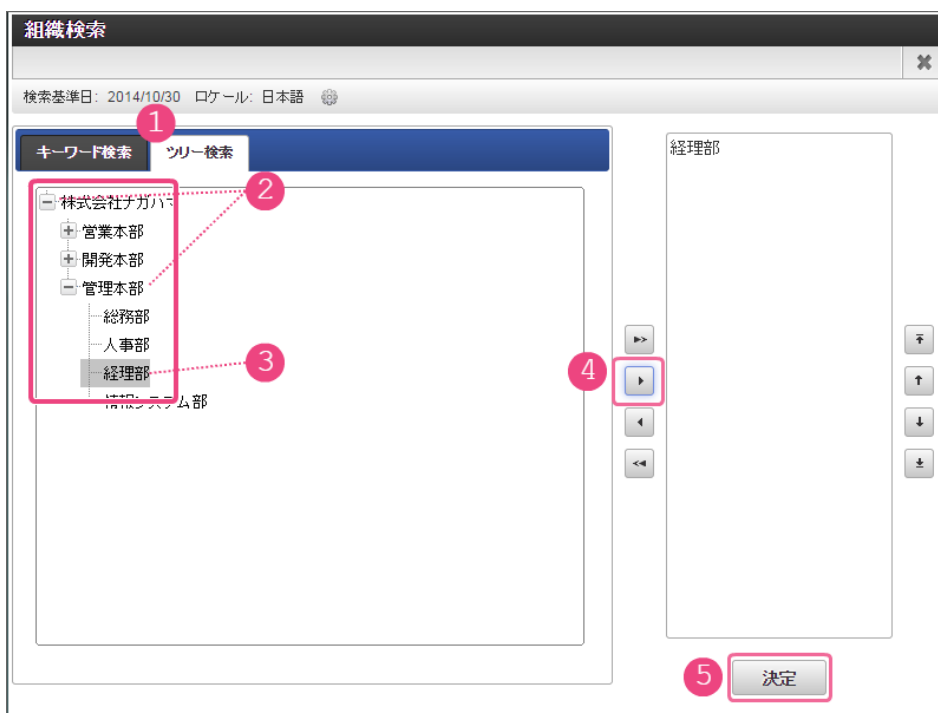


1. 同期開始・同期終了の間に配置した下の「承認/処理」アイコンをクリックしてください。右側にノードの情報が表示されます。
 2. 「ノード名」に「経理部承認」と入力してください。
 3. ノード名のフォーカスを外すと、ルートに表示されているノード名が変更されたことが確認できます。
13. 以下の手順で「経理部承認」の処理が実行できるユーザの検索画面を表示してください。



1. 処理対象者の「検索」をクリックしてください。
2. 「組織」の左の虫眼鏡アイコンをクリックしてください。

14. 組織検索では、以下の手順で対象の組織を選択してください。



1. 「ツリー検索」タブをクリックしてください。
2. 「株式会社ナガハマ」→「管理本部」の順にクリックし、組織のツリーを展開してください。
3. 「管理本部」の配下の「経理部」をクリックして選択状態にしてください。
4. 「経理部」を選択対象にするために、「選択」ボタンをクリックしてください。
5. ルートの処理対象者に反映するために「決定」をクリックしてください。

15. これで、経路情報の設定が完了しましたので、「登録」をクリックして保存してください。

ルート定義 - バージョン - 新規作成

戻る

ルート詳細

勤怠管理フロー

承認/処理

ノードID (必須)
ec38bacbj5ah89m

ノード名 (必須)
経理部承認

処理対象者 (必須)
基準日 2014/10/30
検索 クリア 指定なし
経理部

位置
X 450 Y 120

ワークフローを編集できます。

登録

入力画面（アプリケーション）の設定

申請対象の月を表示する項目を設定する

勤務内容を入力するための画面を作成していきましょう。

1. 一番左の「担当者入力」アイコンをダブルクリックして、入力項目の編集画面を表示しましょう。

Intra-mart Top Workflow IM-BIS サイトマップ 浅野幸長

IM-BIS - フロー編集

定義の反映 別名登録 新規登録 ルート編集 バージョン一覧

BIS名 勤怠管理フロー 有効期間 2014/10/30 - 2999/12/31

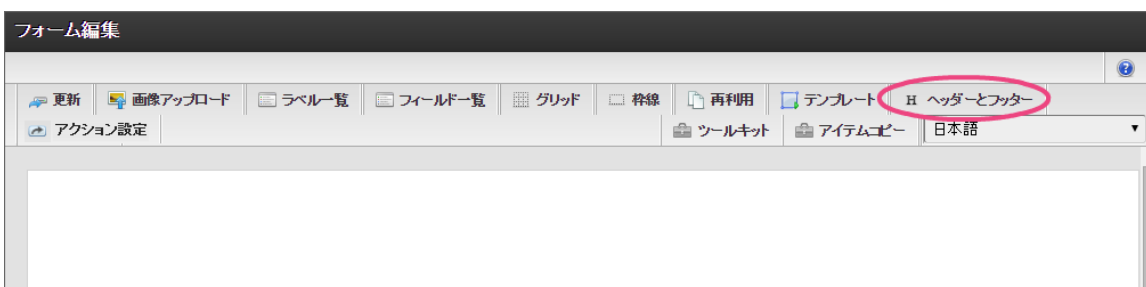
フロー編集モード 履歴設定モード BAM設定モード

開始 担当者入力 上長承認 同期開始 人事部承認 同期終了 終了
経理部承認

2. 「フォーム-登録」画面では、以下の通りに入力し、「登録」をクリックしてください。

設定項目	設定値
a フォーム名	勤怠入力フォーム

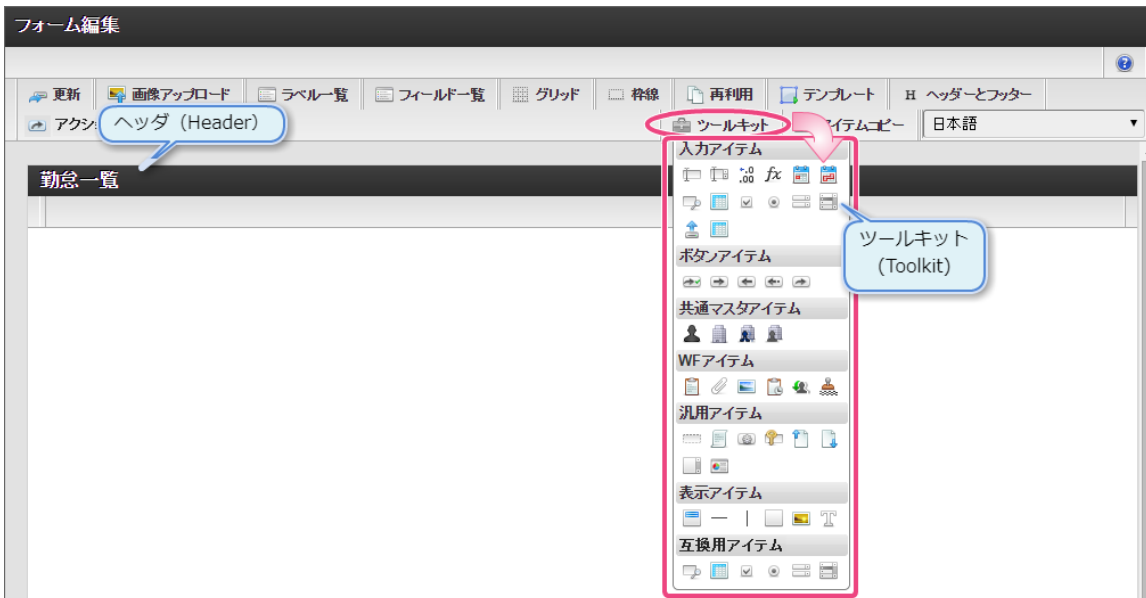
3. 新しくポップアップで表示された画面の右上の「ヘッダーとフッター」をクリックしましょう。



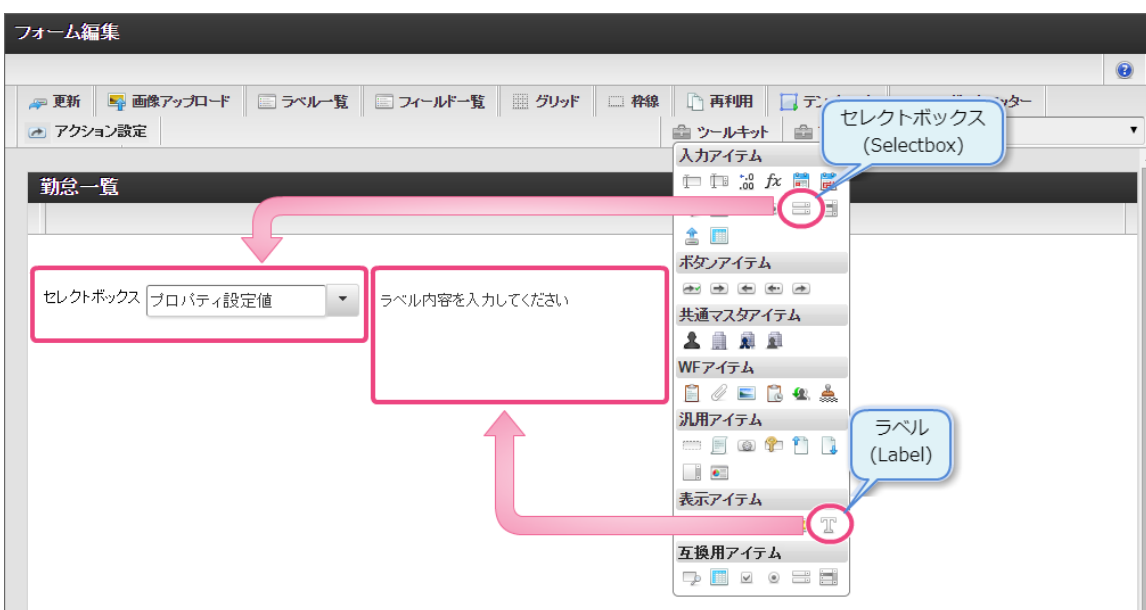
4. 「ヘッダー設定」では、以下の通りに入力し、「設定」をクリックしてください。

設定項目	設定値
a ヘッダー設定	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
b タイトル名	勤怠一覧

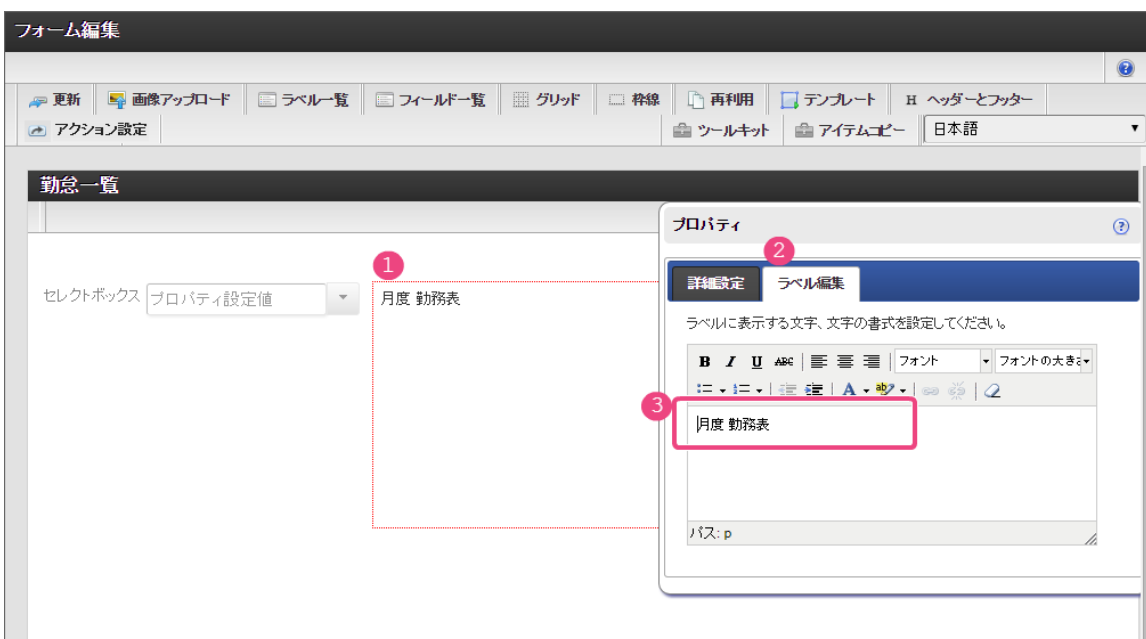
5. 「ツールキット」をクリックして、ツールキットを表示しましょう。



6. アイテムの「セレクトボックス」と「ラベル」をドラッグ&ドロップで配置してください。



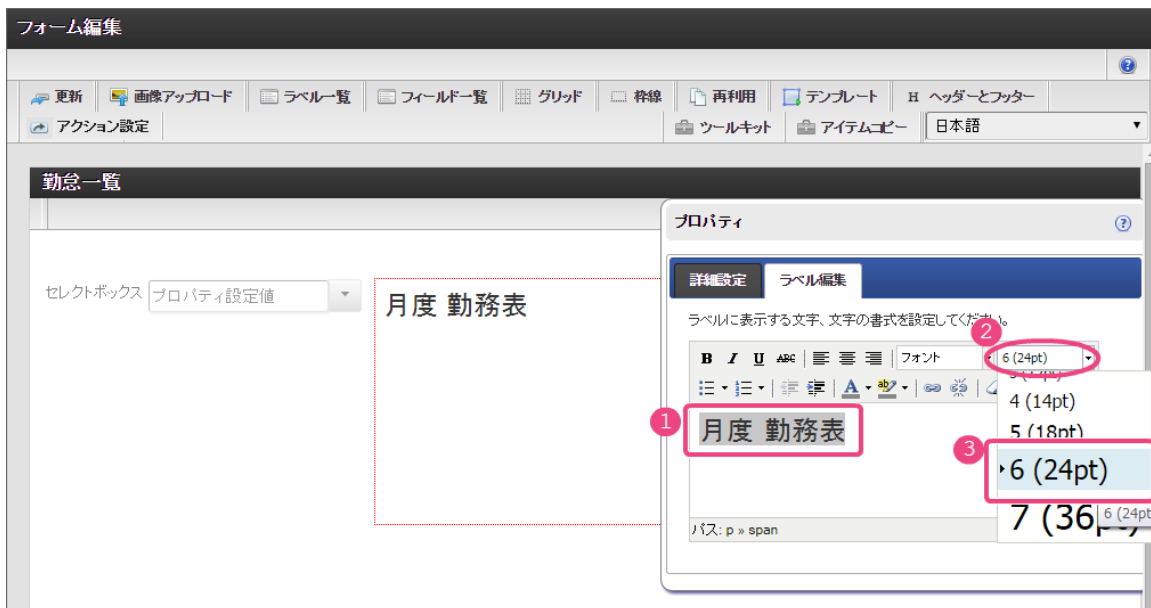
7. 以下の手順で「ラベル」アイテムを編集してください。



1. 「ラベル」アイテムをダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
2. 「ラベル編集」タブをクリックしてください。

3. 入力欄に「月度 勤務表」と入力してください。

8. 引き続き、以下の手順で「ラベル」アイテムに入力した文字を装飾してください。

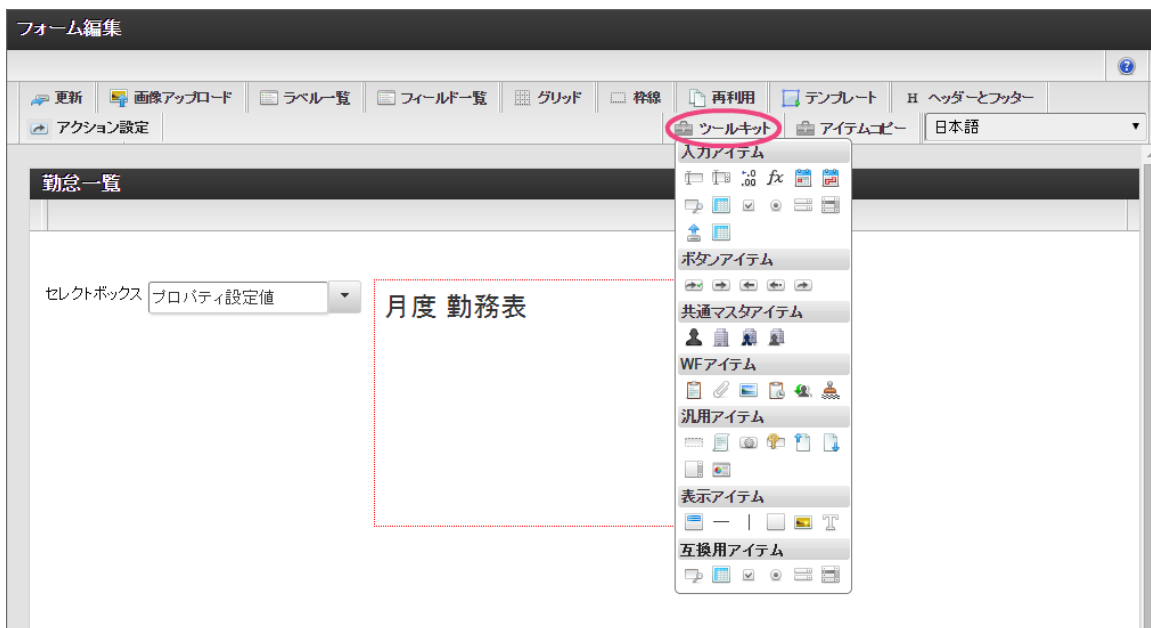


1. 入力した「月度 勤務表」をドラッグで選択状態にしてください

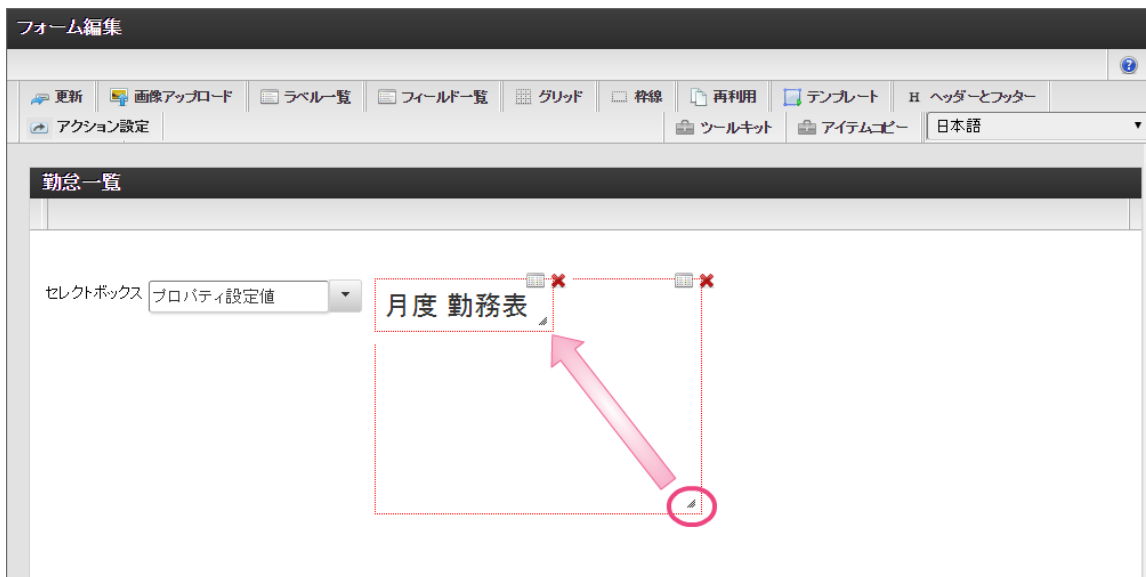
2. 右上のフォントサイズのプルダウンをクリックしてください。

3. プルダウンの一覧から「6 (24pt)」を選択してください。
フォントの装飾が終わったらプロパティ画面を閉じてください。

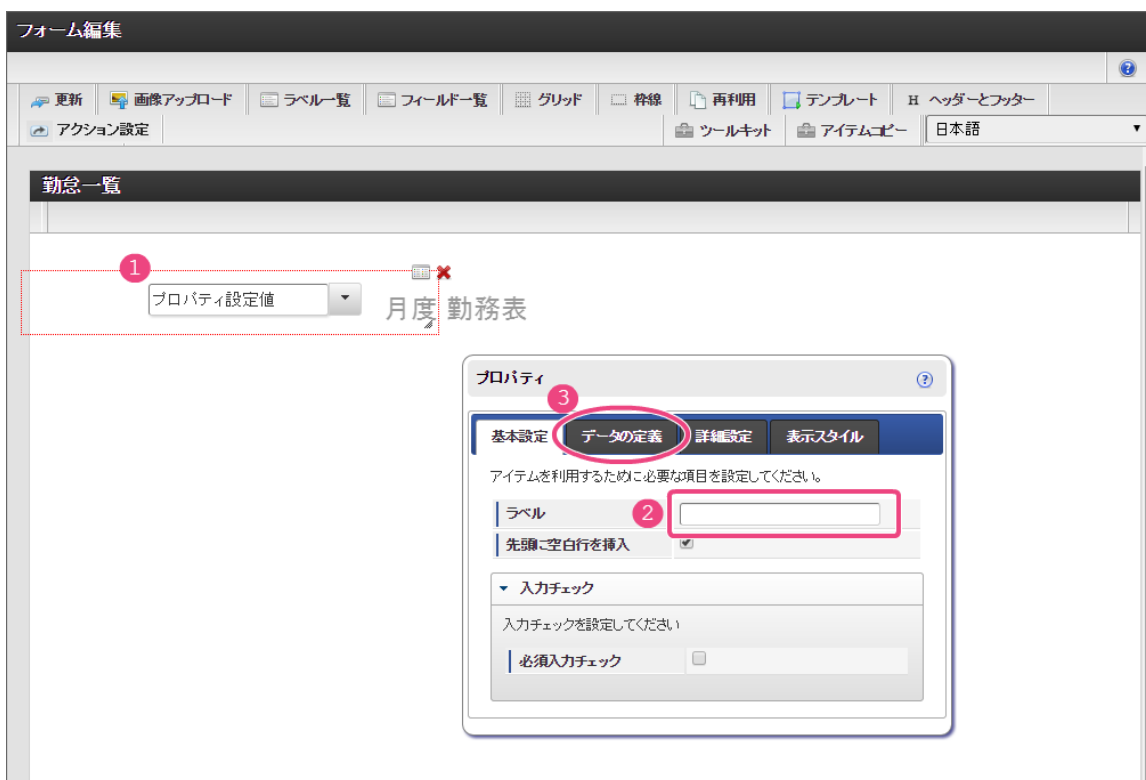
9. 「ツールキット」をクリックし、ツールキットの表示を消してください。




10. ラベルの赤枠の右下をドラッグしてアイテム範囲を表示に合わせて小さくしてください。



11. 以下の手順で「セレクトボックス」を設定してください。



1. セレクトボックスをダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
2. ラベルを利用しないため、ラベルの内容を削除してください。
3. 「データの定義」をクリックしてください。

12.  を12回クリックして、表示値・送信値の行を12行にしてください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロパティ設定値 月度

プロパティ

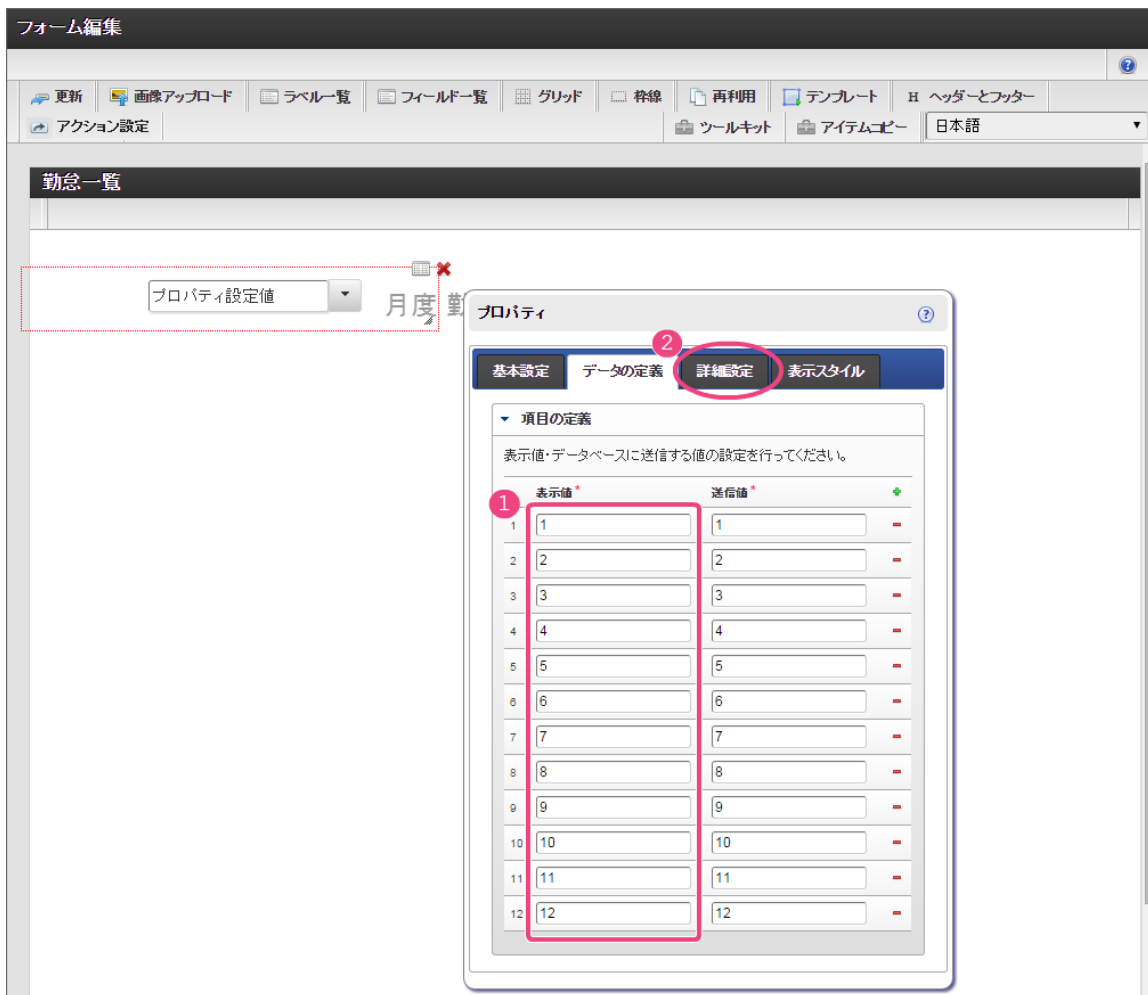
基本設定 データの定義 詳細設定 表示スタイル

▼ 項目の定義

表示値・データベースに送信する値の設定を行ってください。

	表示値*	送信値*	
1	項目名未定義	1	-
2	項目名未定義	2	-
3	項目名未定義	3	-
4	項目名未定義	4	-
5	項目名未定義	5	-
6	項目名未定義	6	-
7	項目名未定義	7	-
8	項目名未定義	8	-
9	項目名未定義	9	-
10	項目名未定義	10	-
11	項目名未定義	11	-
12	項目名未定義	12	-

13. セレクトボックスは、入力対象の月を指定する項目として利用します。
 以下の手順で、「データの定義」を設定してください。



1. 上から順に、表示値に1から12の数字を入力してください。

2. 「詳細設定」をクリックしてください。

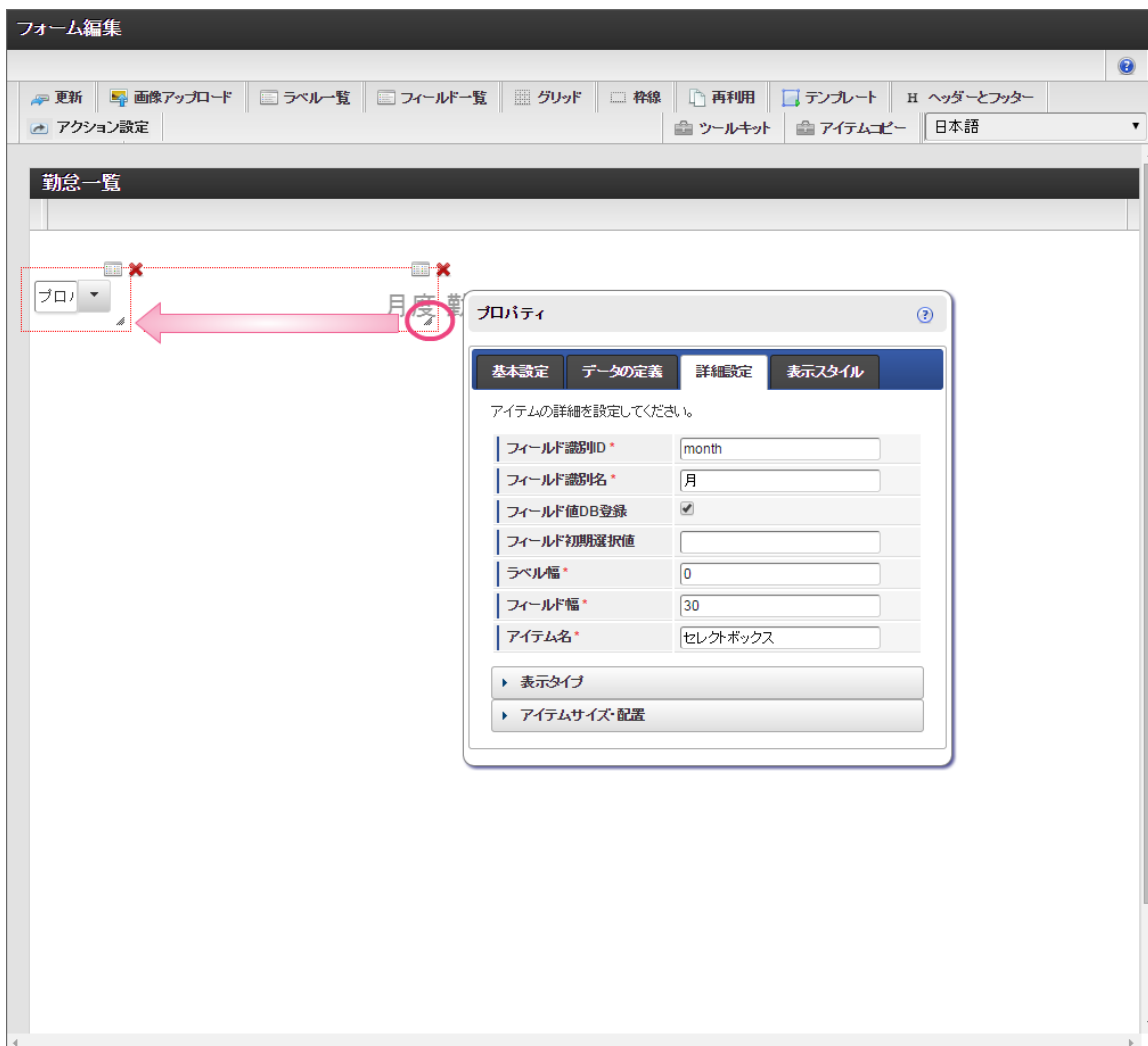
14. 「詳細設定」では、以下の通りに設定してください。



設定項目	設定値
a フィールド識別ID	month

設定項目	設定値
b フィールド識別名	月
c フィールド値DB登録	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
d ラベル幅	0
e フィールド幅	30

15. ラベルアイテムと同様に、赤枠の右下をドラッグしてアイテムの範囲を調整してください。



16. レイアウトを整えるために、セレクトボックスとラベルアイテムをドラッグして位置を調整してください。



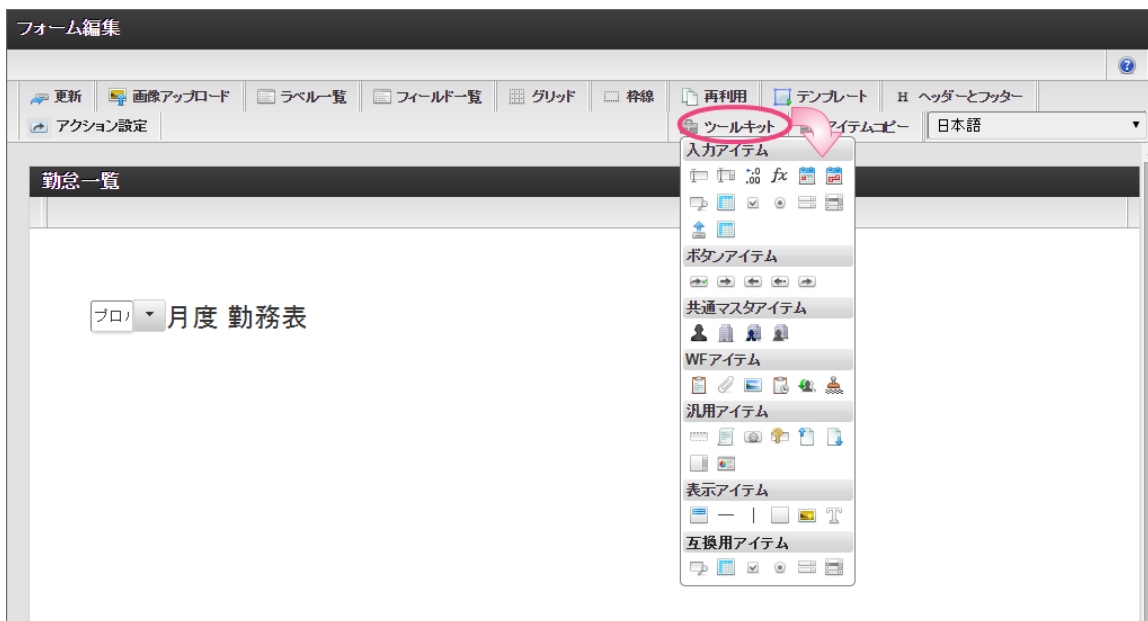
17. ここまでの設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。



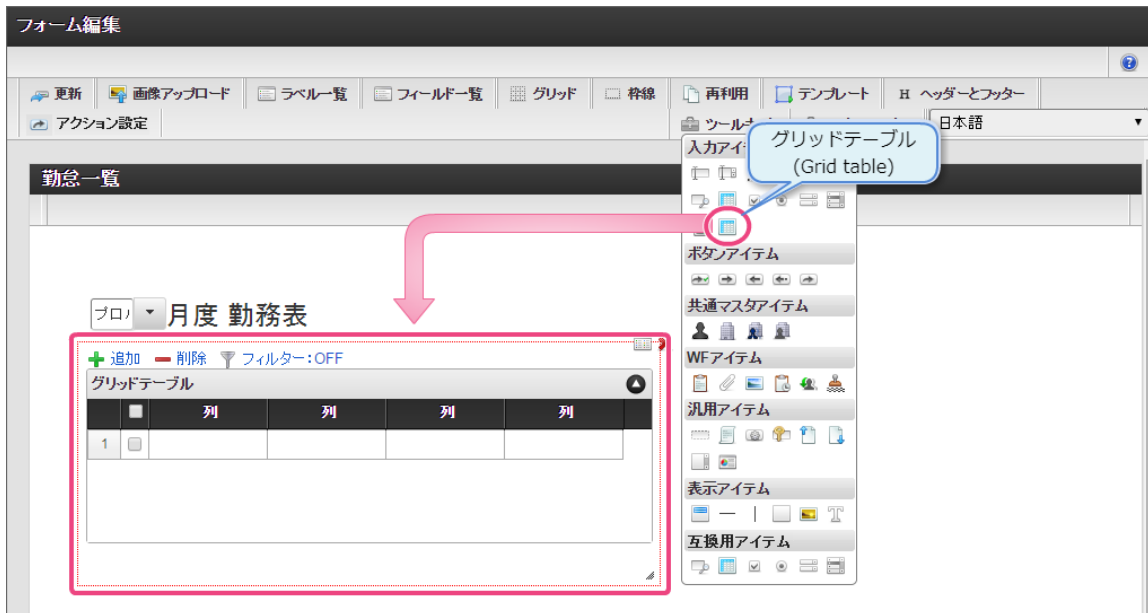
勤務内容を設定する表（テーブル）を設定する

日別の勤務内容を入力するための一覧を設定していきましょう。
最初に表全体のサイズやレイアウトを設定していきます。

1. 「ツールキット」をクリックして、ツールキットを表示しましょう。



2. 「グリッドテーブル」を配置してください。



3. 「グリッドテーブル」では、以下の通りに設定してください。



設定項目	設定値
a ラベル	勤務内容一覧
b 行追加可能	無効 (チェックボックスをオフにしてください。)
c 行数	31

4. 以下の手順で、「列の定義」を設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

フィルター:OFF

	列	列	列
1	<input type="checkbox"/>		
2	<input type="checkbox"/>		
3	<input type="checkbox"/>		
4	<input type="checkbox"/>		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル 勤務内容一覧

行の定義

列の定義

テーブルに表示する列の設定を行ってください。

列のサイズ 100

列のリサイズ

ヘッダーの配置 中央寄せ

フィールドの配置 左寄せ

検索機能 2 フィルター検索

フィルター条件

表示 列名 設定

表示	列名	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列

1. 「列の定義」をクリックし、設定内容を展開してください。
2. 「検索機能」を「フィルター検索」から「利用しない」に変更してください。
5. 「詳細設定」をクリックして切り替えた後、以下の通りに「詳細設定」を設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	列	列	列
1			
2			
3			
4			
5			
6			

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

アイテムの詳細を設定してください。

テーブル識別ID * gt1

テーブル幅 * a 900

テーブル高さ * b 850

アイテム名 * グリッドテーブル

マルチセレクト * c

列番号表示 表示

ページャー表示 非表示

並べ替え機能 * d 利用しない

列の表示・非表示機能 利用しない

列固定機能 非表示

表示タイプ

アイテムサイズ・配置

設定項目	設定値
a テーブル幅	900
b テーブル高さ	850
c マルチセレクト	無効 (チェックボックスをオフにしてください。)
d 並べ替え機能	利用しない

6. 「ツールキット」をクリックし、ツールキットの表示を消してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	列	列	列	列
1				
2				
3				
4				
5				
6				

ツールキット

入力アイテム

ボタンアイテム

共通マスタアイテム

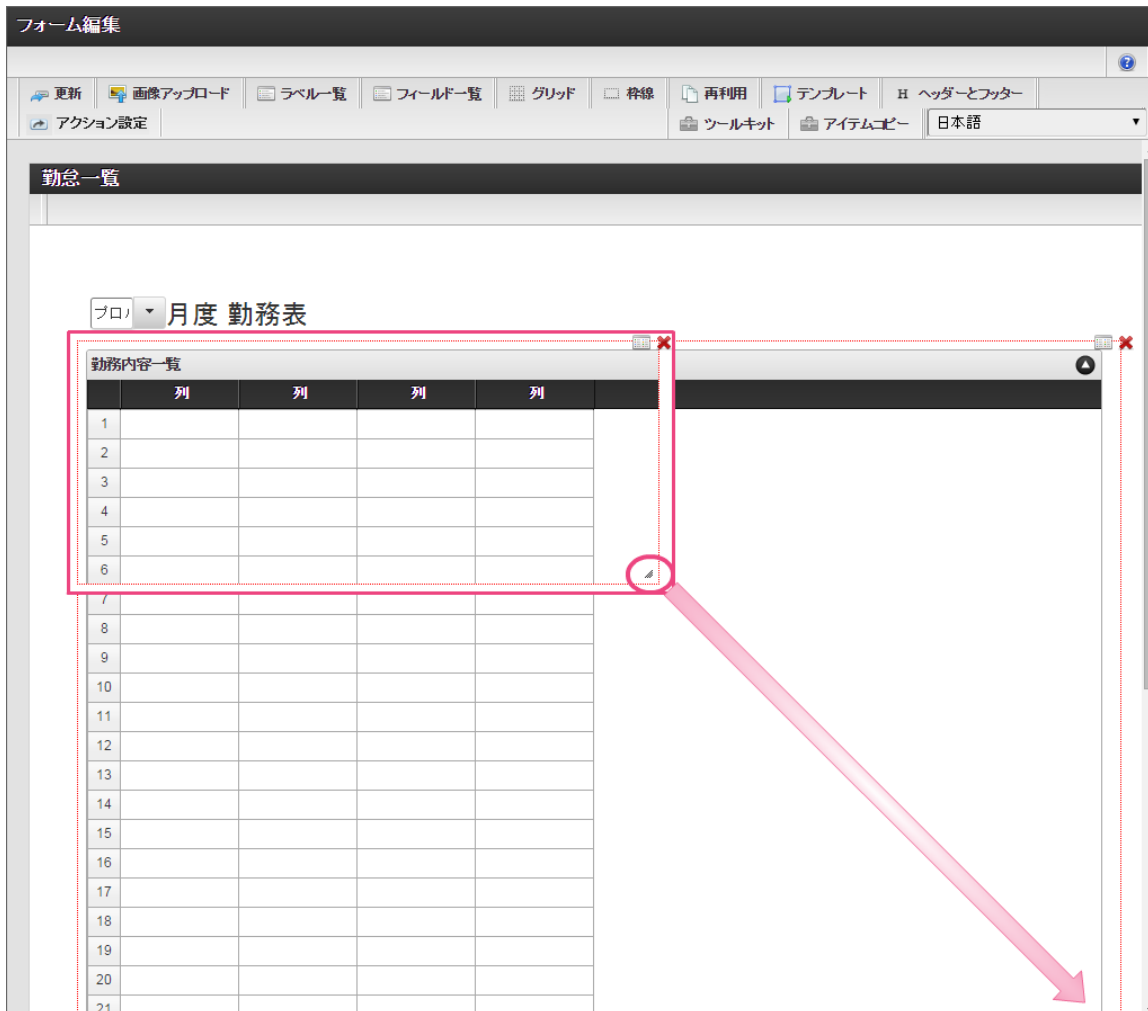
WFアイテム

汎用アイテム

表示アイテム

互換用アイテム

7. グリッドテーブルを一度クリック後、グリッドテーブルを囲う赤枠の右下をドラッグして全体が表示できるように調整してください。



8. ここまでの設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。



勤務内容の列を設定する

勤務内容の列の表示方法などを設定していきましょう。

1. 「グリッドテーブル」をダブルクリックしてプロパティを表示しましょう。
基本設定の列の定義を展開してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムモー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧	列	列	列	列
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列のロケイ

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル 勤務内容一覧

行の定義

列の定義

テーブルに表示する列の設定を行ってください。

列のサイズ* 100

列のリサイズ

ヘッダーの配置 中央寄せ

フィールドの配置 左寄せ

検索機能 利用しない

表示	列名*	タイプ	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	

2. 以下の手順で、1列目を設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムモー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧	勤務内容	列	列	列
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列のロケイ

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル 勤務内容一覧

行の定義

列の定義

テーブルに表示する列の設定を行ってください。

列のサイズ* 100

列のリサイズ

ヘッダーの配置 中央寄せ

フィールドの配置 左寄せ

検索機能 利用しない

表示	列名*	タイプ	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務内容	セレクトボックス	
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	

1. 1列目に対し、以下の通りに設定してください。

設定項目 設定値

a 列名 勤務内容

b タイプ セレクトボックス

2. 「列プロパティ」を設定するために「」アイコンをクリックしてください。

3. 「入力フィールド設定」をクリックしてください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ プロジェクト 月度 勤務表

勤務内容一覧			
	勤務内容	列	列
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

列プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。

タイプ セレクトボックス

▼ 項目の定義

表示値・データベースに送信する値の設定を行ってください。

表示値* 送信値*

 入力フィールド設定へ

4. 以下の通りに「列プロパティ」の「入力フィールド設定」を設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ プロジェクト 月度 勤務表

勤務内容一覧	
	勤務内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	

列プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。

タイプ セレクトボックス

列の詳細を設定してください。

先頭空白行を挿入

▼ 基本設定

列名* 勤務内容

列のサイズ* a 300

列のWサイズ

ヘッダーの配置 中央寄せ

フィールドの配置 左寄せ

▶ 入力チェック

▼ 入力フィールド

入力フィールドの設定を行ってください

フィールド識別ID* b work_type

フィールド識別名 勤務内容

フィールド値DB登録

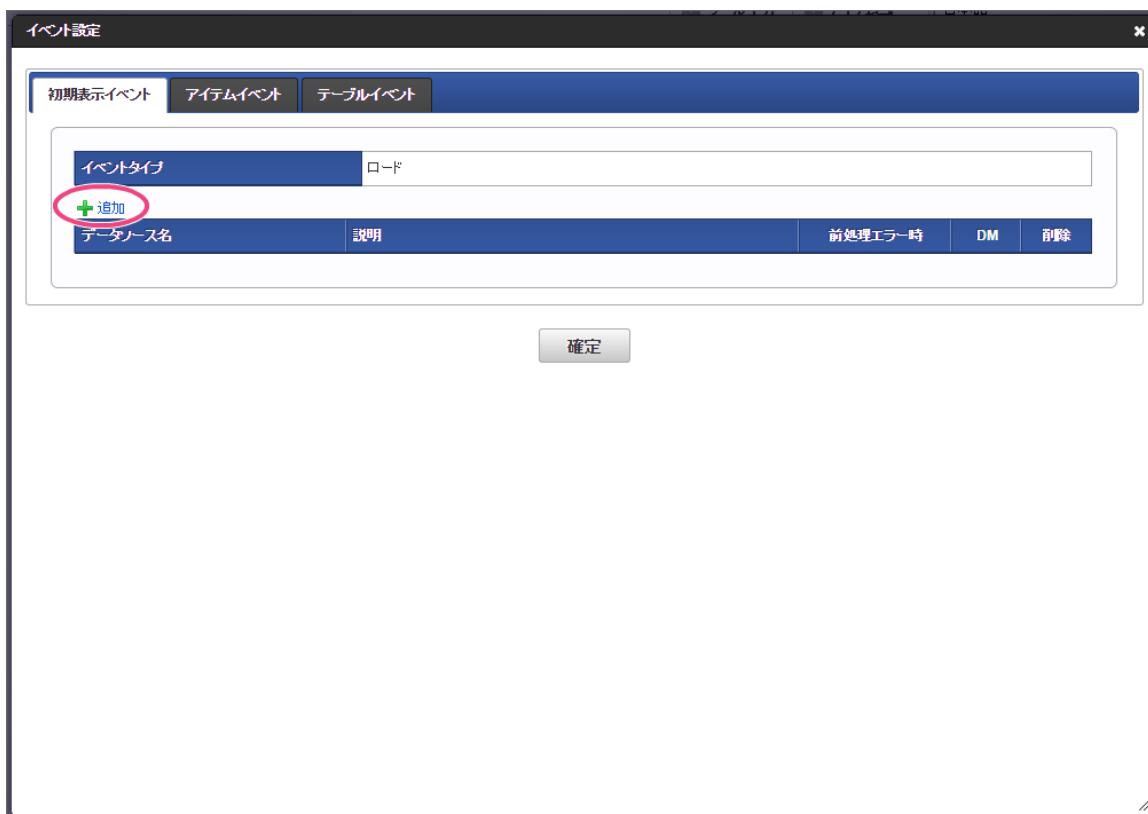
フィールド初期選択値


設定項目	設定値
a 列のサイズ	300
b フィールド識別ID	work_type

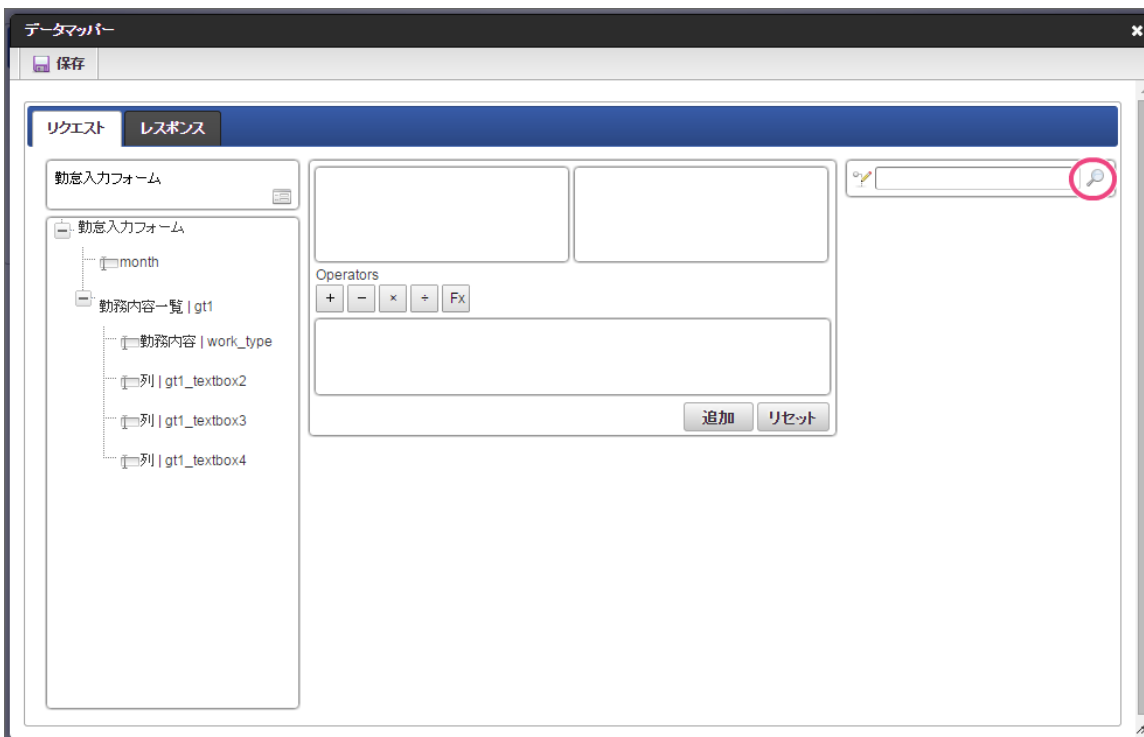
5. 「アクション設定」をクリックしてください。



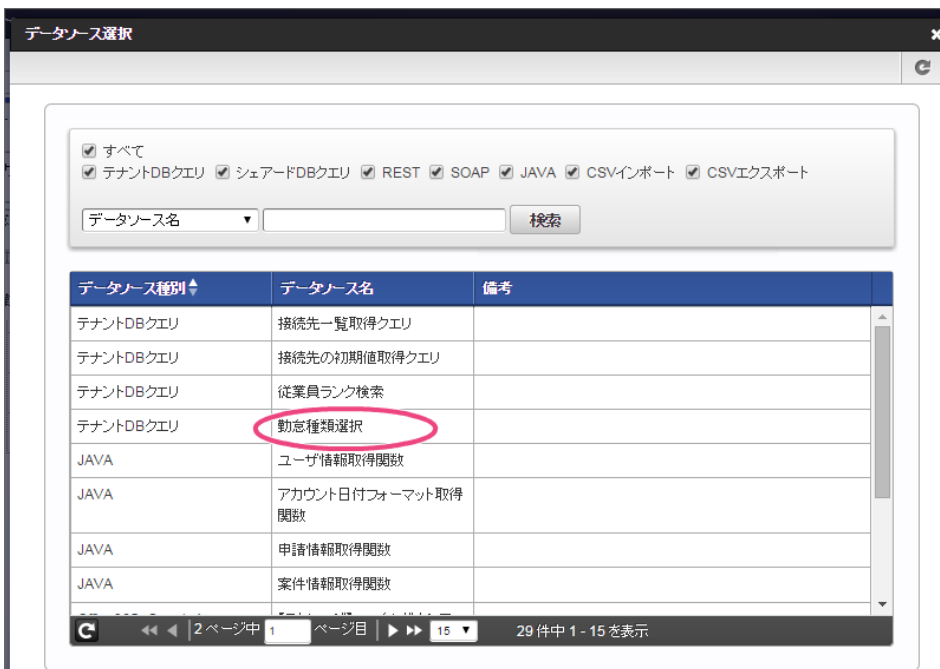
6. 「初期表示イベント」の「追加」をクリックしてください。



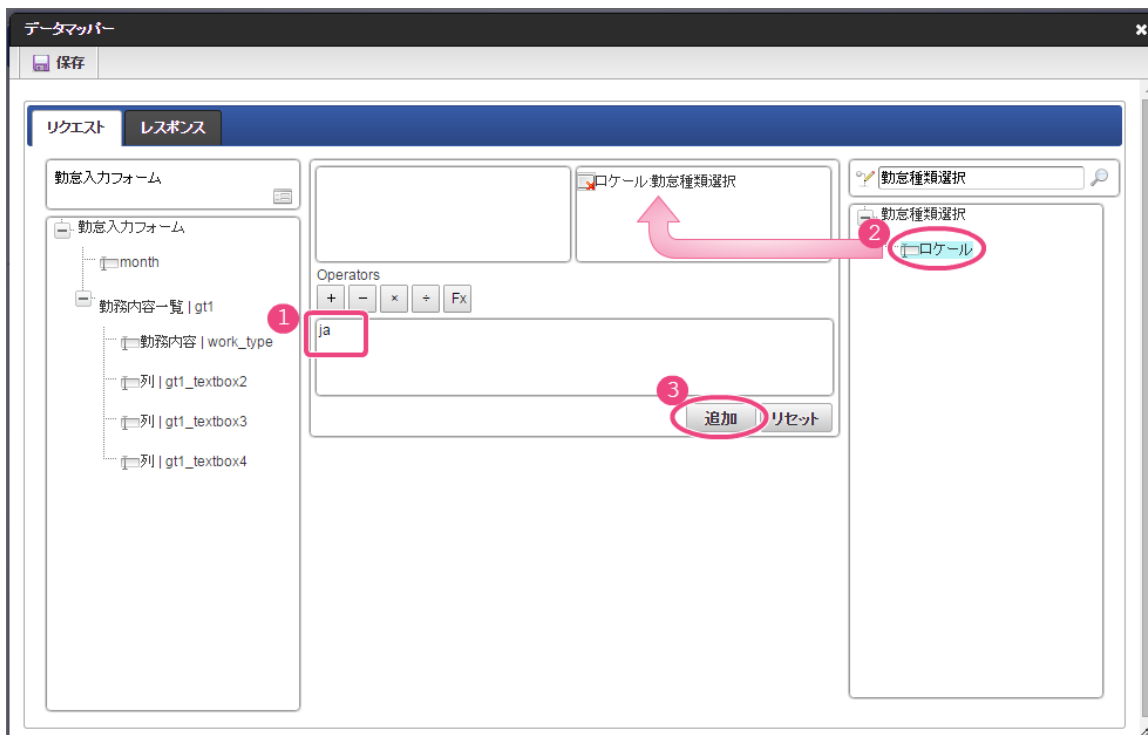
7. 右側の欄の  をクリックしてください。



8. 事前準備で登録したテナントDBクエリの「勤怠種類選択」をクリックしてください。

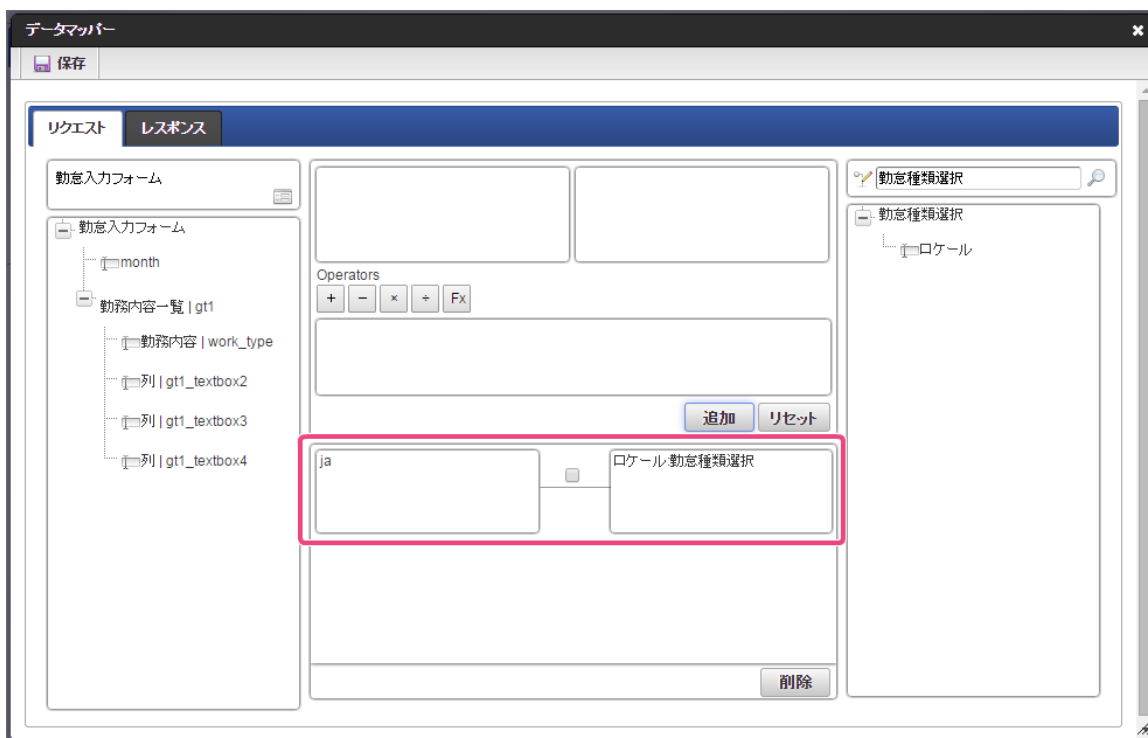


9. 今回は、日本語のデータのみを選択肢として表示できるように設定します。
以下の手順で、リクエストを設定してください。

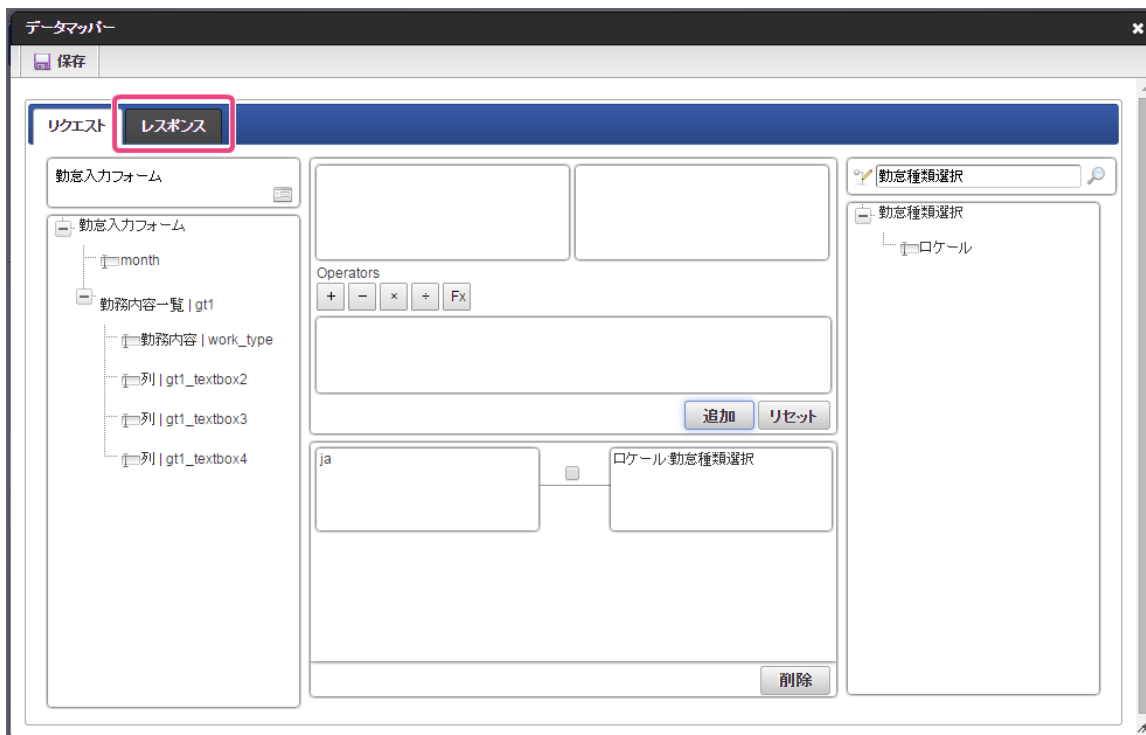


1. 中央の欄に「ja」と入力してください。
この際、「|」や「/」等の記号はつけずに入力してください。
2. 右の欄から「ロケール」をクリックしてください。
3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。

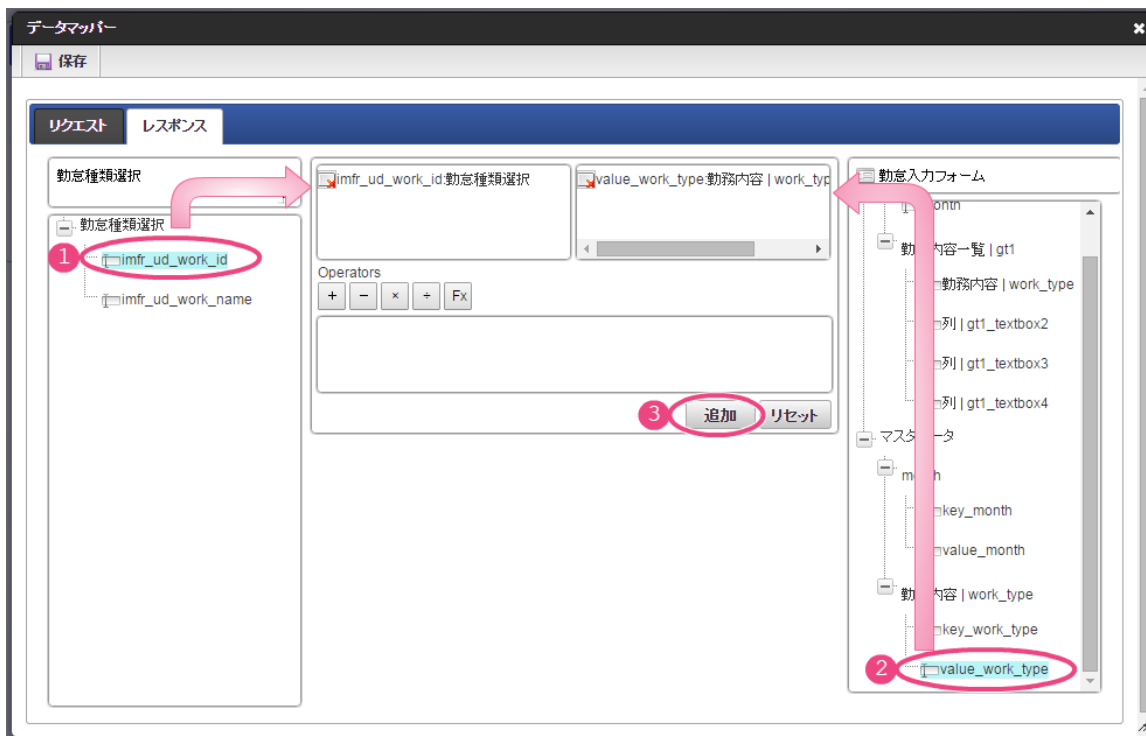
10. 下の図の通りにマッピングが設定できていることを確認してください。



11. 「レスポンス」をクリックしてください。

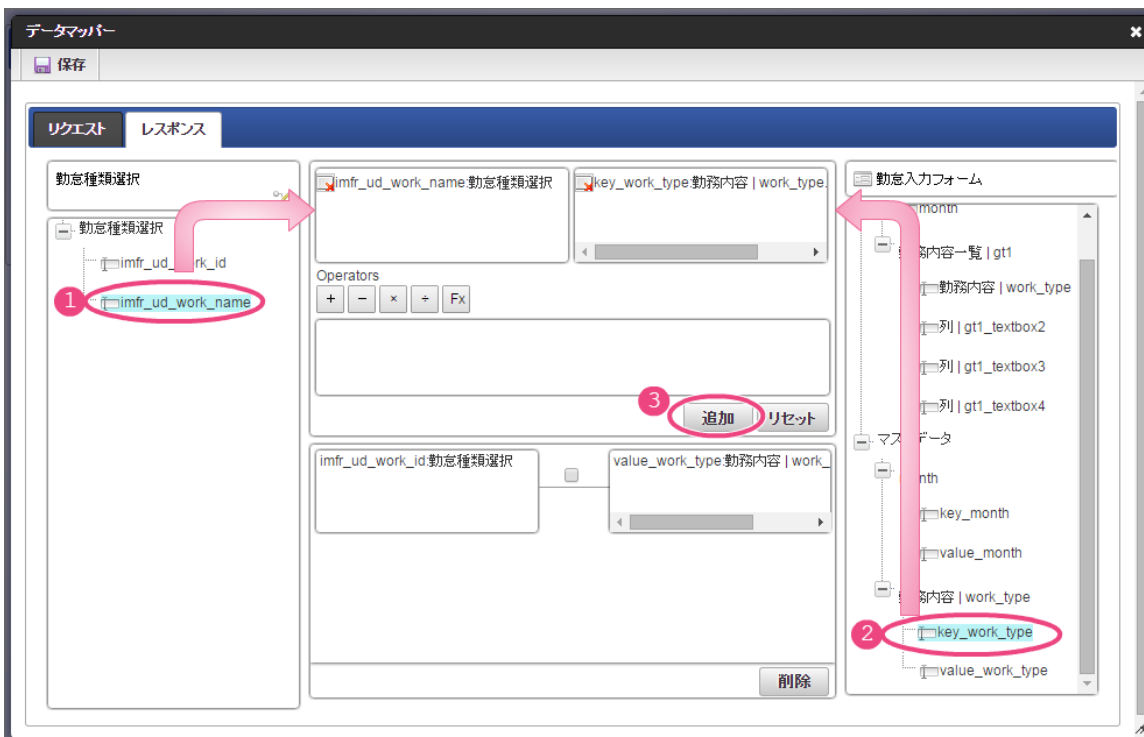


12. 以下の手順で、勤怠種類コードのマッピングを設定してください。

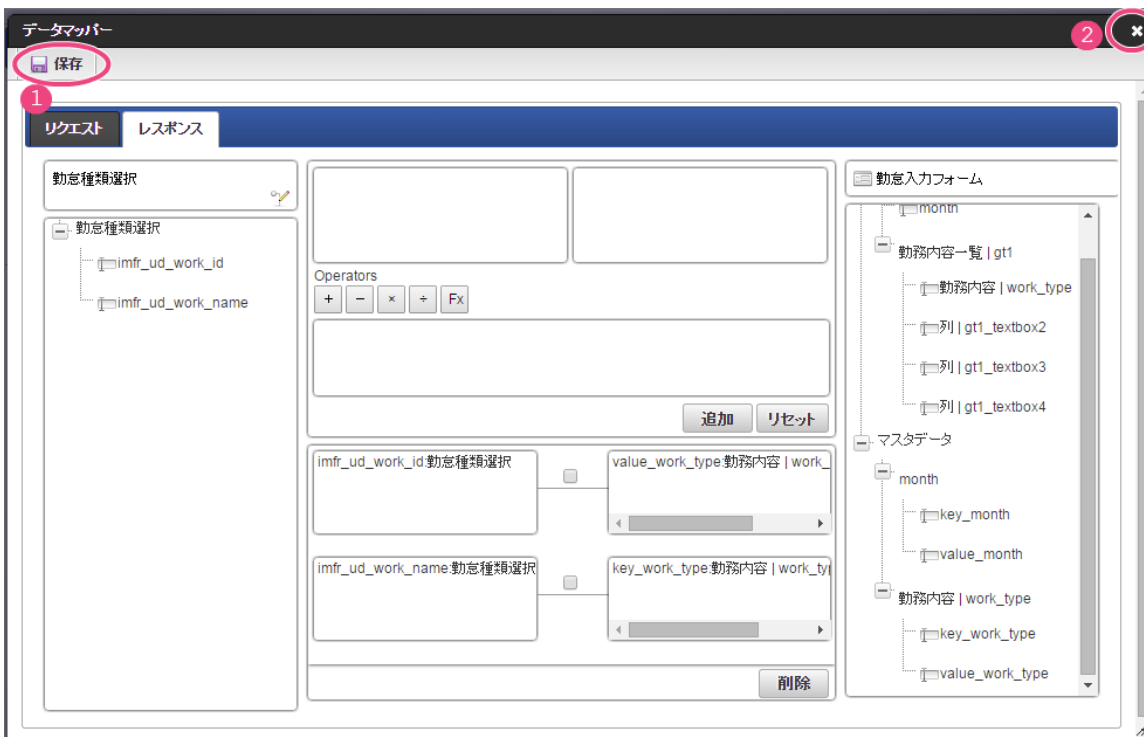


1. 左の欄から「imfr_ud_work_id」をクリックしてください。
2. 右の欄の「勤務内容 | work_type」のツリーから「value_work_type」をクリックしてください。
3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。

13. 次に、以下の手順で、勤怠種類名のマッピングを設定してください。



1. 左の欄から「imfr_ud_work_name」をクリックしてください。
 2. 右の欄の「勤務内容 | work_type」のツリーから「key_work_type」をクリックしてください。
 3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。
14. これでデータベースから勤怠種類のマスタを参照して入力するための連携が設定できました。以下の手順で設定を終了してください。



1. 「保存」をクリックし、設定内容を保存してください。
 2. 「x」をクリックしてマッピング画面を閉じてください。
15. イベント設定を保存するために「確定」をクリックしてください。

16. ここまでの設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。

出社時間、退社時間の列を設定する

出社時間、退社時間の列では、時間をセレクトボックスから選択して入力できるように設定していきましょう。

1. 「グリッドテーブル」をダブルクリックしてプロパティを表示してください。
プロパティから基本設定の列の定義を展開してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧		列
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル 勤務内容一覧

行の定義

列の定義

テーブルに表示する列の設定を行ってください。

列のサイズ * 100

列のリサイズ

ヘッダーの配置 中央寄せ

フィールドの配置 左寄せ

検索機能 利用しない

表示	列名 *	タイプ	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務内容	セレクトボックス	<input type="checkbox"/> -
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	<input type="checkbox"/> -
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	<input type="checkbox"/> -
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	<input type="checkbox"/> -

2. 以下の手順で、2列目・3列目を設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル 勤務内容一覧

行の定義

列の定義

テーブルに表示する列の設定を行ってください。

列のサイズ* 100

列のリサイズ

ヘッダーの配置 中央寄せ


フィールドの配置 左寄せ


検索機能 利用しない

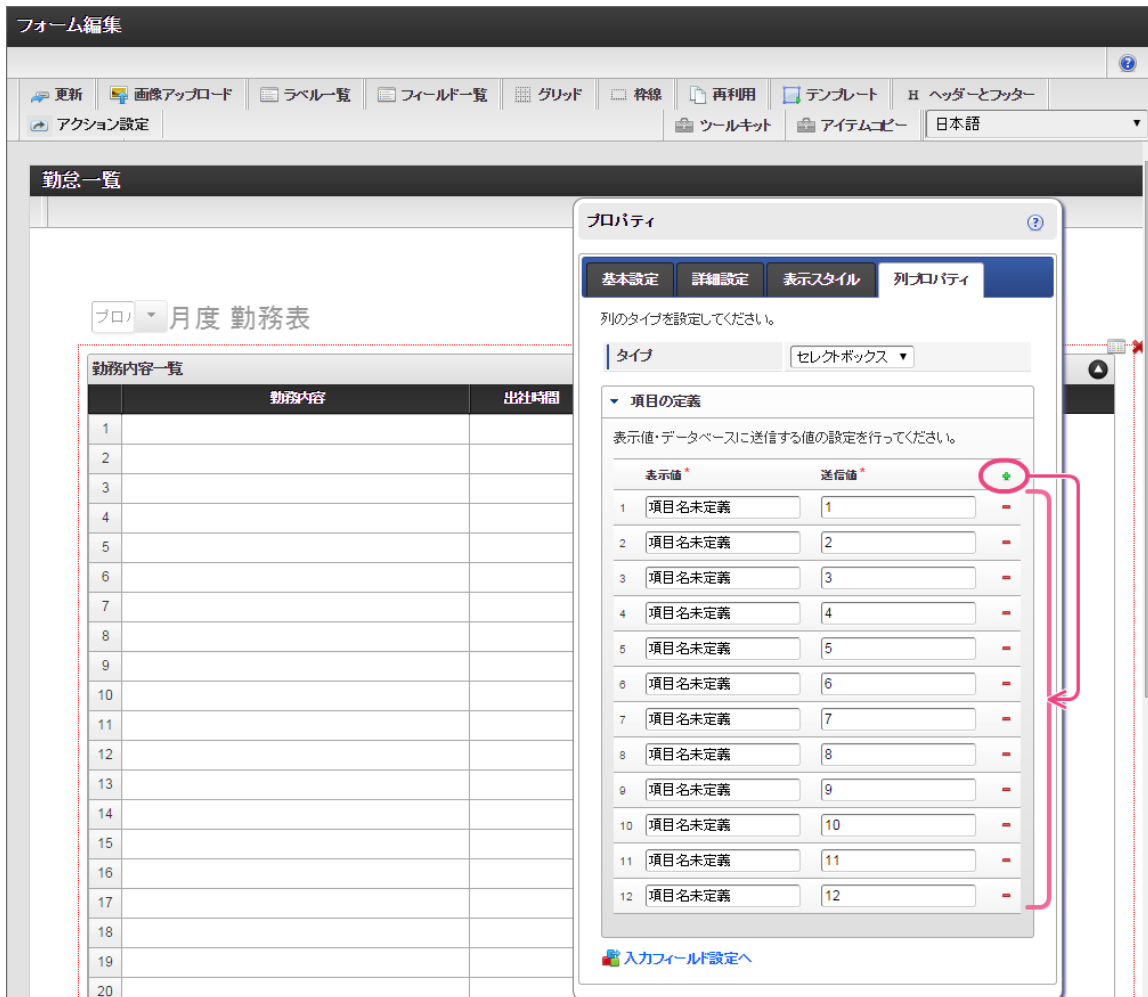
表示	列名*	タイプ	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務内容	セレクトボックス	-
<input checked="" type="checkbox"/>	出社時間	セレクトボックス	-
<input checked="" type="checkbox"/>	退社時間	セレクトボックス	-
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	-

1. 2列目・3列目に対し、以下の通りに設定してください。

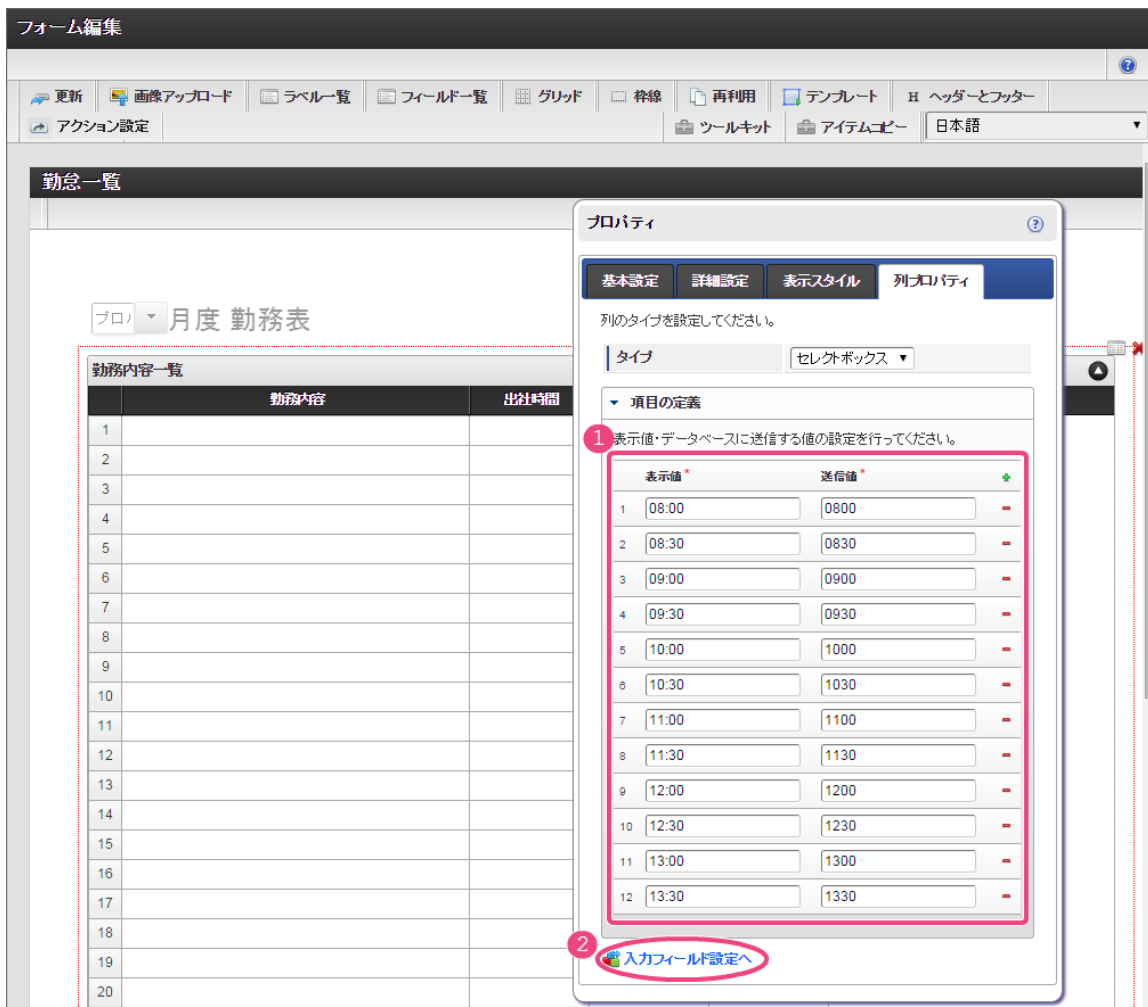
設定項目	設定値
a 列名 (2列目)	出社時間
b タイプ (2列目)	セレクトボックス
c 列名 (3列目)	退社時間
d タイプ (3列目)	セレクトボックス

2. 2列目の「列プロパティ」を設定するために「」アイコンをクリックしてください。

3. 「項目の定義」の「」をクリックして、12行にしてください。



4. 以下の手順で、「項目の定義」を設定してください。




1. 表示値・送信値には、以下の表の通りに設定してください。

表示値	送信値
08:00	0800
08:30	0830
09:00	0900
09:30	0930
10:00	1000
10:30	1030
11:00	1100
11:30	1130
12:00	1200
12:30	1230
13:00	1300
13:30	1330

2. 「入力フィールド設定へ」をクリックしてください。

5. フィールド識別IDを「start_time」に変更し、「基本設定」をクリックしてください。

The screenshot shows the 'フォーム編集' (Form Edit) interface. The main area displays a table titled '勤怠一覧' (Attendance List) with columns for '勤務内容' (Work Content) and '出勤時間' (Outing Time). A 'プロパティ' (Property) dialog box is open, showing the '基本設定' (Basic Settings) tab. The 'フィールド識別ID' (Field Identification ID) is set to 'start_time'. A red arrow points from the '基本設定' tab to the 'start_time' field.

6. 3列目の「退社時間」の「列プロパティ」を設定するために「」アイコンをクリックしてください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル 勤務内容一覧

行の定義

列の定義

テーブルに表示する列の設定を行ってください。





列のサイズ* 100

列のリサイズ

ヘッダーの配置 中央寄せ

フィールドの配置 左寄せ

検索機能 利用しない

表示	列名*	タイプ	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務内容	セレクトボックス	 -
<input checked="" type="checkbox"/>	出社時間	セレクトボックス	 -
<input checked="" type="checkbox"/>	退社時間	セレクトボックス	 -
<input checked="" type="checkbox"/>	列	文字列	 -

7. 「項目の定義」の「+」をクリックして、10行にしてください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		

プロパティ











基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。

タイプ セレクトボックス

項目の定義

表示値・データベースに送信する値の設定を行ってください。

表示値*	送信値*	
1	項目名未定義	 -
2	項目名未定義	 -
3	項目名未定義	 -
4	項目名未定義	 -
5	項目名未定義	 -
6	項目名未定義	 -
7	項目名未定義	 -
8	項目名未定義	 -
9	項目名未定義	 -
10	項目名未定義	 -

入力フィールド設定へ

8. 以下の手順で、「項目の定義」を設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。

タイプ セレクトボックス

▼ 項目の定義

表示値・データベースに送信する値の設定を行ってください。

	表示値*	送信値*	
1	17:00	1700	-
2	17:30	1730	-
3	18:00	1800	-
4	18:30	1830	-
5	19:00	1900	-
6	19:30	1930	-
7	20:00	2000	-
8	20:30	2030	-
9	21:00	2100	-
10	21:30	2130	-

② 入力フィールド設定へ

1. 表示値・送信値には、以下の表の通りに設定してください。

表示値	送信値
17:00	1700
17:30	1730
18:00	1800
18:30	1830
19:00	1900
19:30	1930
20:00	2000
20:30	2030
21:00	2100
21:30	2130

2. 「入力フィールド設定へ」をクリックしてください。

9. フィールド識別IDを「end_time」に変更し、プロパティを開じてください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。
タイプ: セレクトボックス

列の詳細を設定してください。
先頭に空白行を挿入:

基本設定
入力チェック
入力フィールド

入力フィールドの設定を行ってください

フィールド識別ID: end_time
フィールド識別名: 退社時間
フィールド値DB登録:
フィールド初期選択値:

表示タイプ
選択データ設定へ

10. ここまでの設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	列
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				

information

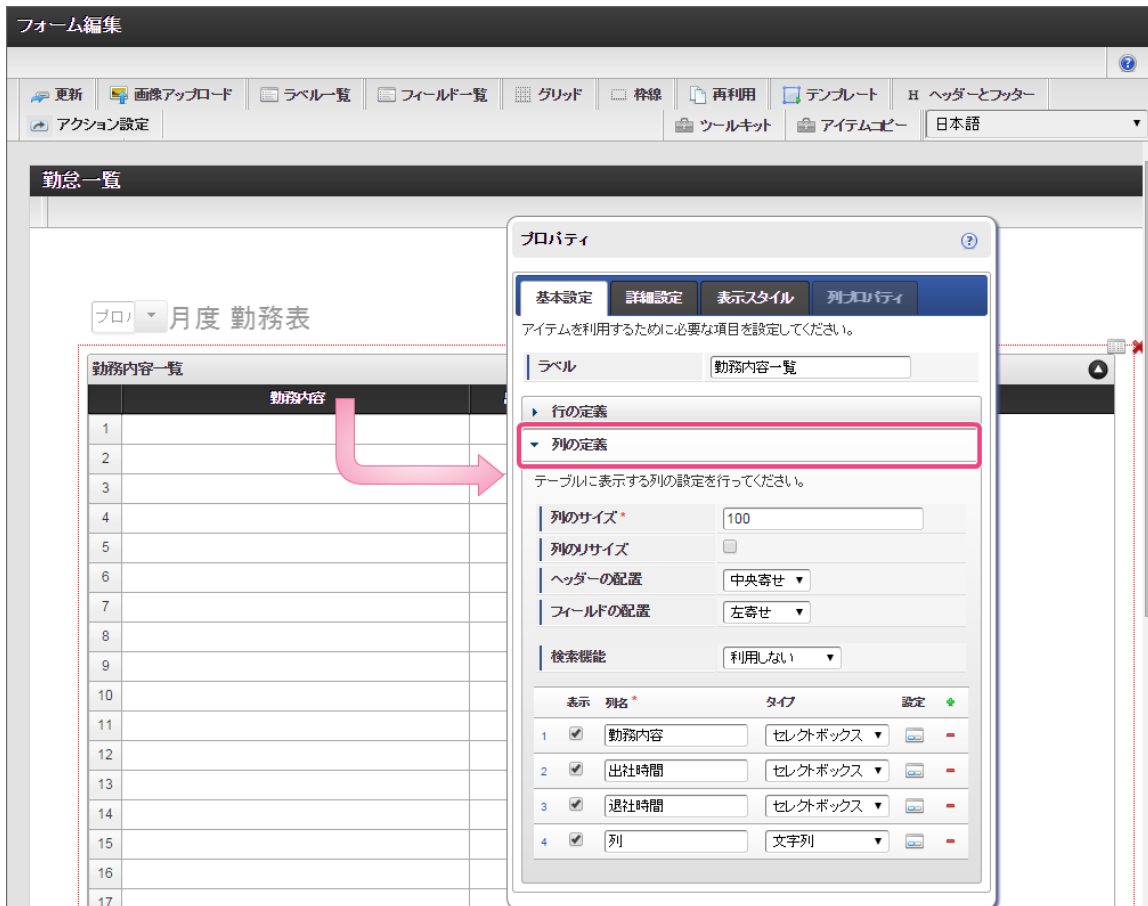
フォームデータを更新しました。

決定

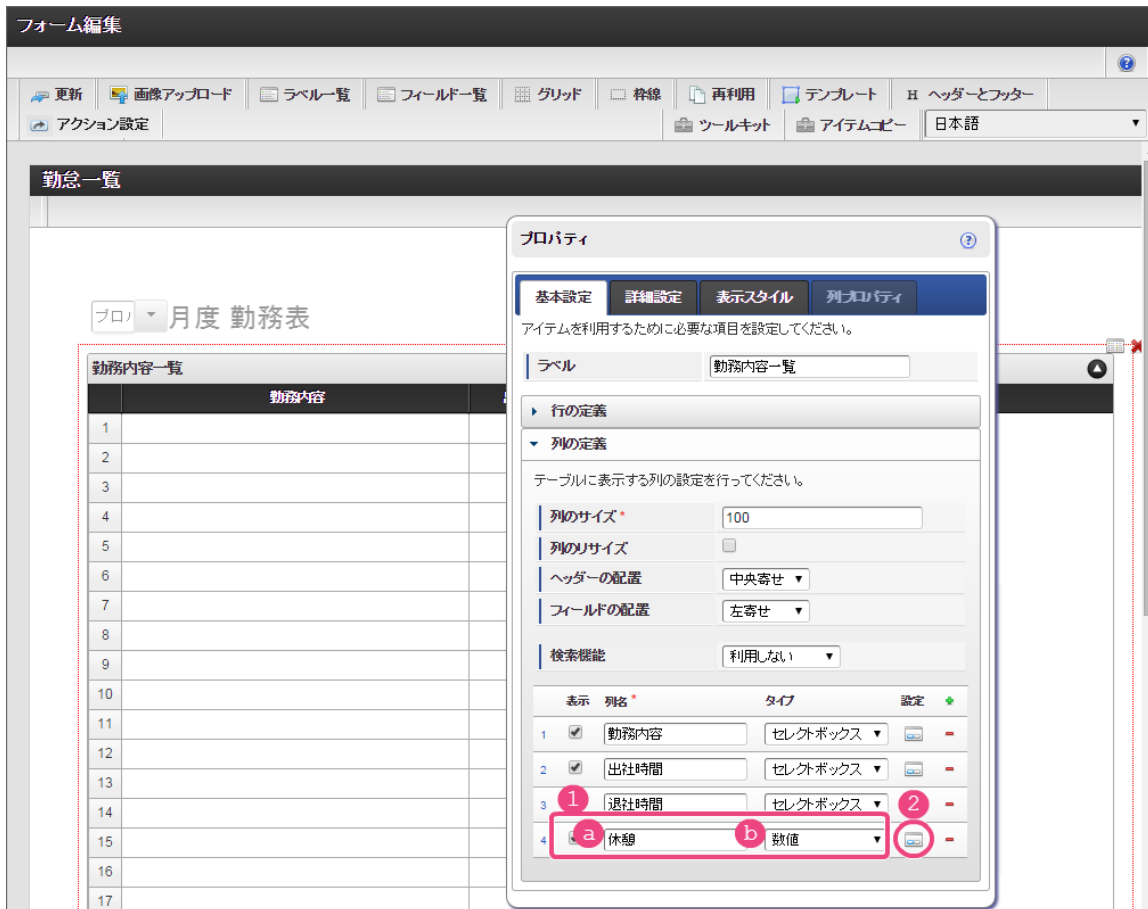
休憩時間の列を設定する

休憩時間は、時間単位に1.5時間などが入力できるような形に設定していきましょう。

1. 「グリッドテーブル」をダブルクリックしてプロパティを表示してください。
プロパティから基本設定の列の定義を展開してください。



2. 以下の手順で、4列目を設定してください。

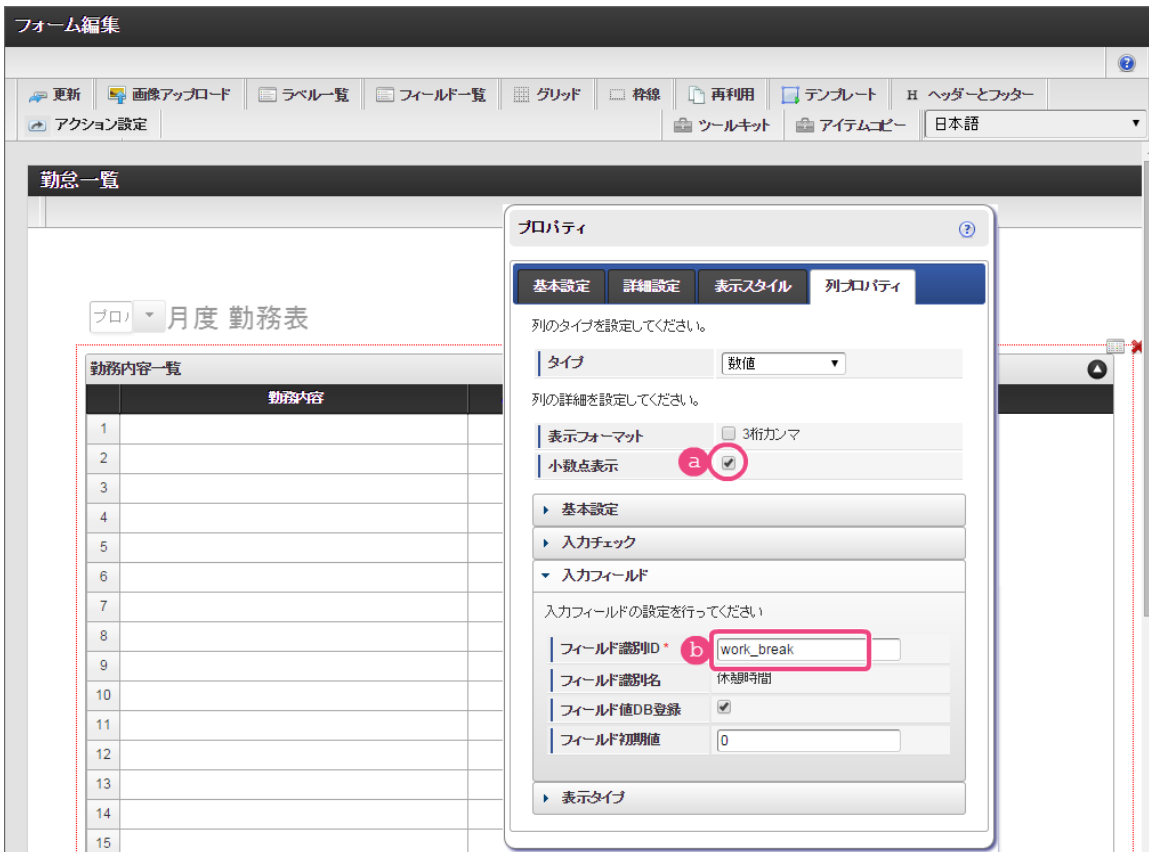


1. 4列目に対し、以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a 列名	休憩時間
b タイプ	数値

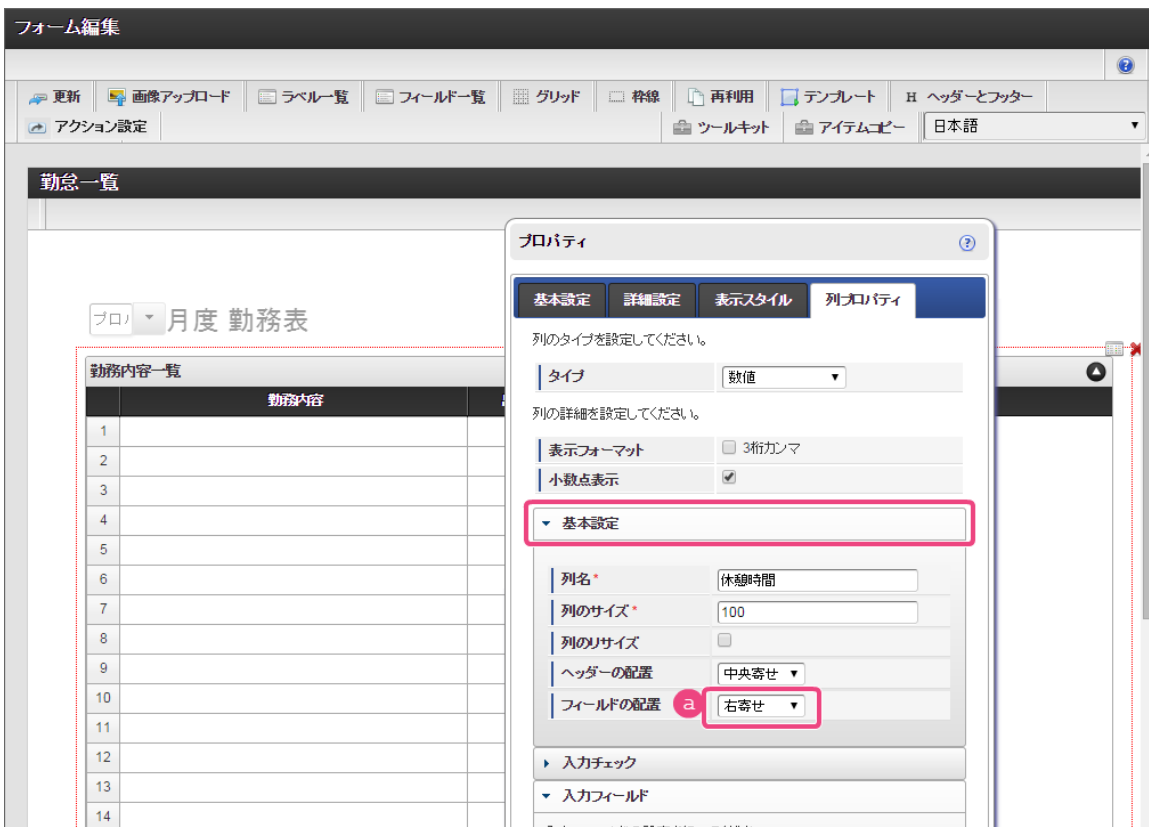
2. 「列プロパティ」を設定するために「」アイコンをクリックしてください。

3. 「列プロパティ」では、以下の通りに設定してください。



設定項目	設定値
a 小数点表示	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
b フィールド識別ID	work_break

4. 次に「基本設定」をクリックして展開し、以下の通りに設定してください。



設定項目	設定値
------	-----

a フィールドの配置	右寄せ
------------	-----

5. 「入力チェック」をクリックして展開し、以下の通りに設定してください。

The screenshot shows the 'プロパティ' (Properties) dialog box for a column. The '入力チェック' (Input Check) section is expanded, and the '小数入力許可' (Allow decimal input) checkbox is checked, and the '小数部最大入力桁数' (Maximum number of decimal digits) is set to 1.

設定項目	設定値
------	-----

a 小数入力許可	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
----------	-----------------------------

b 小数部最大入力桁数	1
-------------	---

6. ここまでの設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。

The screenshot shows the '更新' (Update) button highlighted in red. A confirmation dialog box is displayed over the table, indicating that the form data has been updated.

勤務時間、時間外勤務時間の列を設定する

これまで設定した出勤時間、退社時間、休憩時間の入力値を利用して、勤務時間や時間外勤務の時間を計算する列を設定しましょう。

1. 「グリッドテーブル」をダブルクリックしてプロパティを表示してください。
プロパティから基本設定の列の定義を展開してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧	
	勤務内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル 勤務内容一覧

行の定義

列の定義

テーブルに表示する列の設定を行ってください。

列のサイズ* 100

列のリサイズ

ヘッダーの配置 中央寄せ

フィールドの配置 左寄せ

検索機能 利用しない

表示	列名*	タイプ	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務内容	セレクトボックス	<input type="checkbox"/> -
<input checked="" type="checkbox"/>	出社時間	セレクトボックス	<input type="checkbox"/> -
<input checked="" type="checkbox"/>	退社時間	セレクトボックス	<input type="checkbox"/> -
<input checked="" type="checkbox"/>	休憩時間	数値	<input type="checkbox"/> -
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務時間	開放	<input type="checkbox"/> -

2. 以下の手順で5列目を追加し、設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧	
	勤務内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル 勤務内容一覧

行の定義

列の定義

テーブルに表示する列の設定を行ってください。

列のサイズ* 100

列のリサイズ

ヘッダーの配置 中央寄せ

フィールドの配置 左寄せ

検索機能 利用しない

表示	列名*	タイプ	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務内容	セレクトボックス	<input type="checkbox"/> -
<input checked="" type="checkbox"/>	出社時間	セレクトボックス	<input type="checkbox"/> -
<input checked="" type="checkbox"/>	退社時間	セレクトボックス	<input type="checkbox"/> -
<input checked="" type="checkbox"/>	休憩時間	数値	<input type="checkbox"/> -
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務時間	開放	<input type="checkbox"/> -

1. 勤務時間の列を追加するために「+」をクリックしてください。

2. 追加した5列目に対し、以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a 列名	勤務時間
b タイプ	関数

3. 「列プロパティ」を設定するために「」アイコンをクリックしてください。

3. 「列プロパティ」の式に対し、以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a 式	<code>if(and(start_time>0,end_time>0),rounddown((end_time-start_time)/100,0)+(if((end_time-start_time)-rounddown((end_time-start_time)/100,0)*100>40,((end_time-start_time)-rounddown((end_time-start_time)/100,0)*100)-40),(end_time-start_time)-rounddown((end_time-start_time)/100,0)*100)/60-work_break,0)</code>
b 式評価結果のデータ型	数値

コラム

上記の式の計算内容は以下の通りです。

- 出勤時間、退社時間に時間が入力されていない場合には、休憩時間を0時間とみなす
- 出勤時間、退社時間に時間が入力されている場合、退社時間から出勤時間を引いた差分から、休憩時間を引いた時間を勤務時間とする
(出勤時間と退社時間の計算では、差分を0.0時間に変換する処理も行っています。)

注意

式はすべて小文字で入力するようにしてください。大文字で入力した場合、エラーが発生します。

4. 「列プロパティ」のフォーマットやフィールドに対し、以下の通りに設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。
 タイプ 開数

開数の設定をしてください。
 式* if{and(start_time>0,end_time>0)}
 式評価結果のデータ型 数値

列の詳細を設定してください。
 表示フォーマット 3桁カンマ
 小数点表示 a

基本設定
 入力チェック
 入力フィールド

入力フィールドの設定を行ってください
 フィールド識別ID* b work_hours
 フィールド識別名 勤務時間
 フィールド値DB登録 c

表示タイプ

設定項目	設定値
a 小数点表示	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
b フィールド識別ID	work_hours
c フィールド値DB登録	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)

5. 次に「基本設定」をクリックして展開し、以下の通りに設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧	
	出勤時間
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。
タイプ 開数

開数の設定をしてください。
式 * if(and(start_time>0,end_time>0)
式評価結果のデータ型 数値

列の詳細を設定してください。
表示フォーマット 3桁カンマ
小数点表示

基本設定

列名 * 勤務時間
列のサイズ * 100
列のリサイズ
ヘッダーの配置 中央寄せ
フィールドの配置 a 右寄せ

入力チェック
入力フィールド
表示タイプ

設定項目	設定値
a フィールドの配置	右寄せ

6. 引き続き、以下の手順で設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。

タイプ 関数

関数の設定をしてください。

式 * if(and(start_time>0,end_time>0)

式評価結果のデータ型 数値

列の詳細を設定してください。

表示フォーマット 3桁カンマ

小数点表示

基本設定

入力チェック

入力チェックを設定してください

必須入力チェック

最小入力値

最大入力値 * 9999999999

負数入力許可

小数入力許可 a

小数部最大入力桁数 b 1

入力フィールド

表示タイプ

1. 「入力チェック」をクリックして展開し、以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a 小数入力許可	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
b 小数部最大入力桁数	1

2. 設定後、「基本設定」をクリックしてください。

7. 以下の手順で6列目を追加し、設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル 勤務内容一覧

行の定義

テーブルの設定を行ってください。

行追加可能

行数 31

列の定義

テーブルに表示する列の設定を行ってください。

列のサイズ 100

列のリサイズ

ヘッダーの配置 中央寄せ

フィールドの配置 左寄せ

検索機能 利用しない

表示	列名*	タイプ	設定
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務内容	セレクトボックス	-
<input checked="" type="checkbox"/>	出社時間	セレクトボックス	-
<input checked="" type="checkbox"/>	退社時間	セレクトボックス	-
<input checked="" type="checkbox"/>	休憩時間	数値	-
<input checked="" type="checkbox"/>	勤務時間	関数	-
<input checked="" type="checkbox"/>	a 時間外勤務時間	b 関数	-

1. 時間外勤務時間の列を追加するために「+」をクリックしてください。

2. 追加した6列目に対し、以下の通りに設定してください。

設定項目 設定値

a 列名 時間外勤務時間

b タイプ 関数

3. 「列プロパティ」を設定するために「」アイコンをクリックしてください。

8. 「列プロパティ」の式に対し、以下の通りに設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。

タイプ 開数

関数の設定をしてください。

式* a `if(work_hours>8,work_hours-8,`

式評価結果のデータ型 b 数値

列の詳細を設定してください。

表示フォーマット 3桁カンマ

小数点表示

基本設定

入力チェック

入力チェックを設定してください

必須入力チェック

最小入力値

最大入力値*

負数入力許可

小数入力許可

入力フィールド

表示タイプ

設定項目	設定値
a 式	<code>if(work_hours>8,work_hours-8,0)</code>
b 式評価結果のデータ型	数値

i コラム

上記の式の計算内容は以下の通りです。

- 勤務時間のうち、8時間を越えた時間を時間外勤務時間として算出する

9. 「列プロパティ」のフォーマットに対し、以下の通りに設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。
 タイプ 開数

開数の設定をしてください。
 式* if(work_hours>8,work_hours-8,
 式評価結果のデータ型 数値

列の詳細を設定してください。
 表示フォーマット 3桁カンマ
 小数点表示 **a**

基本設定
 入力チェック
 入力フィールド

入力フィールドの設定を行ってください
 フィールド識別ID* **b** overtime
 フィールド識別名 時間外勤務時間
 フィールド値DB登録 **c**

表示タイプ

設定項目	設定値
a 小数点表示	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
b フィールド識別ID	overtime
c フィールド値DB登録	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)

10. 次に「基本設定」をクリックして展開し、以下の通りに設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧	
	出勤時間
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。

タイプ 関数

関数の設定をしてください。

式 * if(work_hours>8,work_hours-8,)

式評価結果のデータ型 数値

列の詳細を設定してください。

表示フォーマット 3桁カンマ

小数点表示

基本設定

列名 * 時間外勤務時間

列のサイズ * 100

列のリサイズ

ヘッダーの配置 中央寄せ

フィールドの配置 a 右寄せ

入力チェック

入力フィールド

表示タイプ

設定項目	設定値
a フィールドの配置	右寄せ

11. 「入力チェック」をクリックして展開し、以下の通りに設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル 列プロパティ

列のタイプを設定してください。

タイプ 開数

開数の設定をしてください。

式 * if(work_hours>8,work_hours-8,)

式評価結果のデータ型 数値

列の詳細を設定してください。

表示フォーマット 3桁カンマ

小数点表示

基本設定

入力チェック

入力チェックを設定してください

必須入力チェック

最小入力値

最大入力値 * 999999999

負数入力許可

小数入力許可 a

小数部最大入力桁数 b 1

入力フィールド

表示タイプ

設定項目	設定値
a 小数入力許可	有効
b 小数部最大入力桁数	1

(チェックボックスをオンにしてください。)

12. ここまでの設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

勤怠一覧

プロ 月度 勤務表

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
2				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
3				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
4				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
5				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
6				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
7				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
8				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,

information

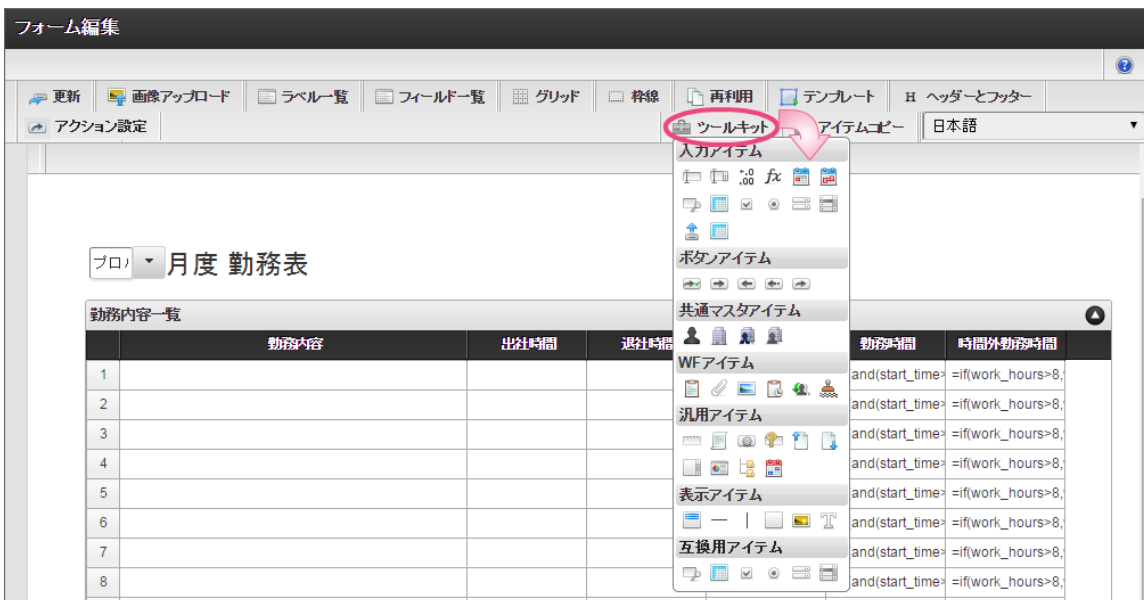
フォームデータを更新しました。

決定

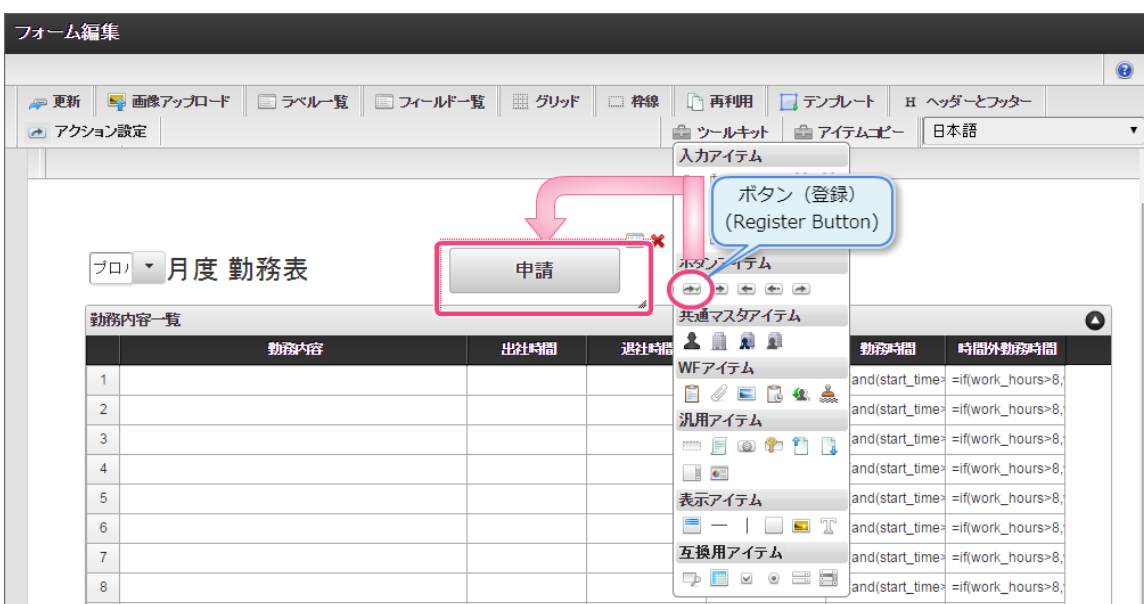
申請（承認）のボタンを設定する

実際に申請や承認を行うためのボタンを配置しましょう。

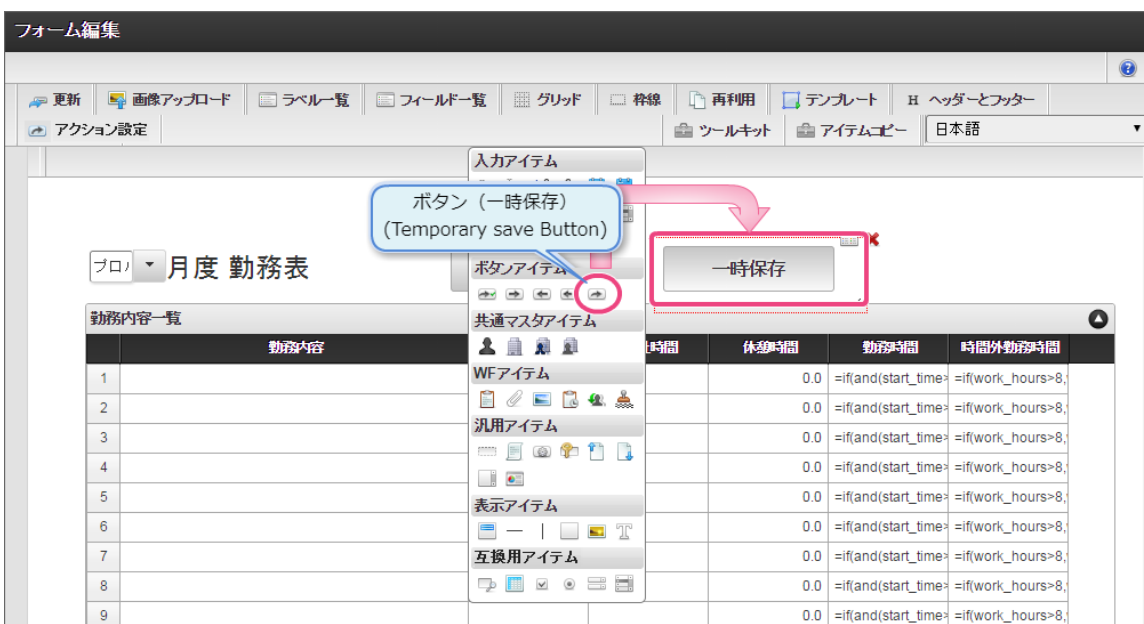
1. 「ツールキット」をクリックして表示しましょう。



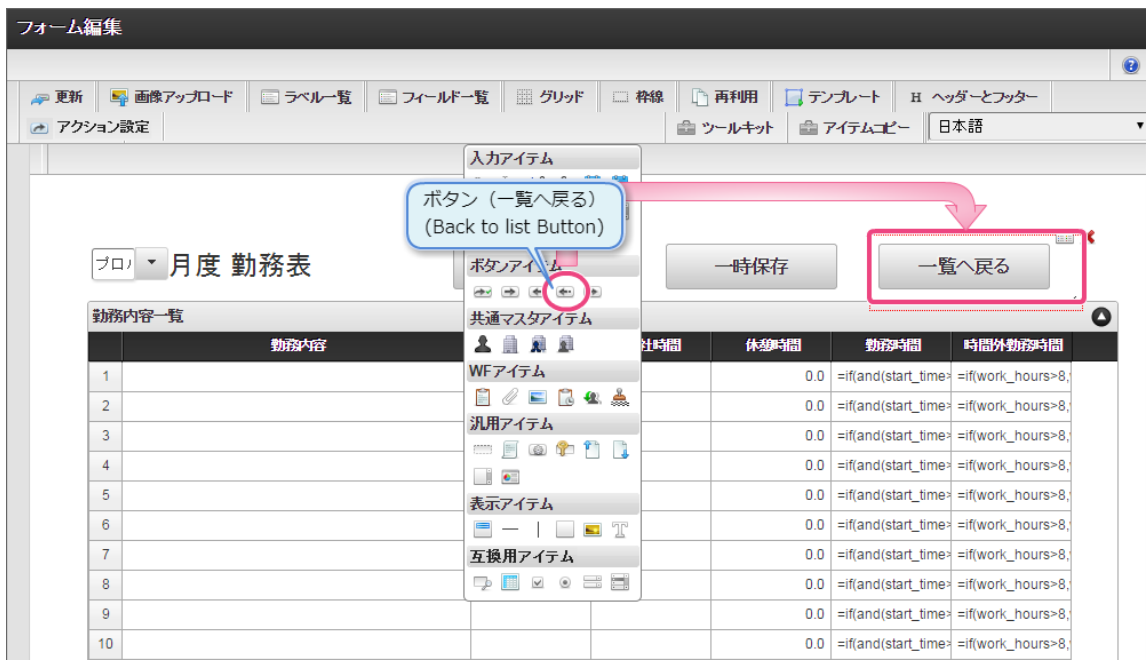
2. 「ツールキット」から「ボタン（登録）」をドラッグ&ドロップで配置してください。




3. 同様に「ツールキット」から「ボタン（一時保存）」をドラッグ&ドロップで配置してください。



4. 同様に「ツールキット」から「ボタン（一覧へ戻る）」をドラッグ&ドロップで配置してください。



5. これで、担当者入力用の画面の設定が完了しましたので、「更新」をクリックして保存してください。

保存できたらフォーム編集画面については、右上の「」で閉じてください。



入力画面（アプリケーション）を他の処理と共有設定をする

ここまでの手順で作成した画面を、上長の承認や人事部の承認時に利用できるように設定します。

1. 以下の手順で、他のノードと画面設定を共有するための準備を行ってください。

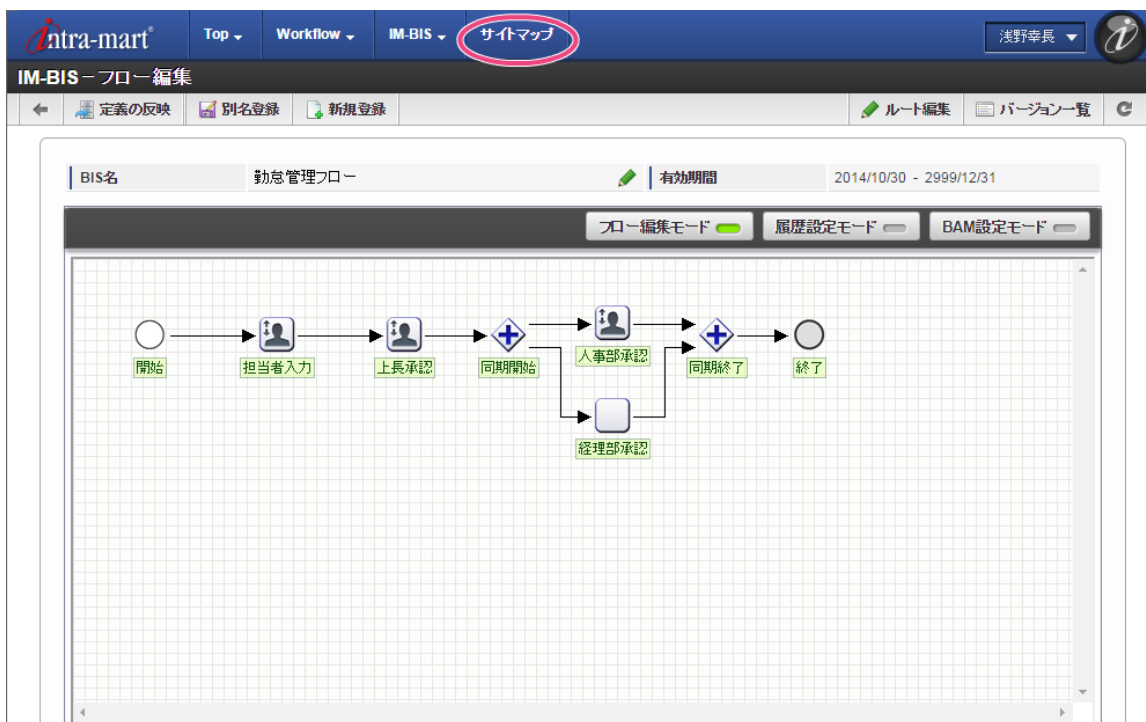
1. 「担当者入力」ノードで右クリックしてください。
 2. メニューから「共有」をクリックしてください。
2. 以下の手順で、「上長承認」ノードに対して共有設定を行ってください。

1. 「上長承認」ノードで右クリックしてください。
 2. メニューから「貼り付け」をクリックしてください。
3. 以下の手順で、「人事部承認」ノードに対しても同様に共有設定を行ってください。

1. 「人事部承認」ノードで右クリックしてください。

2. メニューから「貼り付け」をクリックしてください。

4. この手順までできたら、一度「サイトマップ」をクリックし、サイトマップを表示してください。



入力画面（アプリケーション）を部品（テンプレート）として利用する

作成した画面（フォーム）をテンプレートに登録する

経理部の画面を作成する前に、先に作成した画面を部品として利用できるようにテンプレートに登録しましょう。

1. サイトマップ「IM-BIS」の「テンプレートカテゴリ定義」配下にある「テンプレート設定」をクリックしてください。



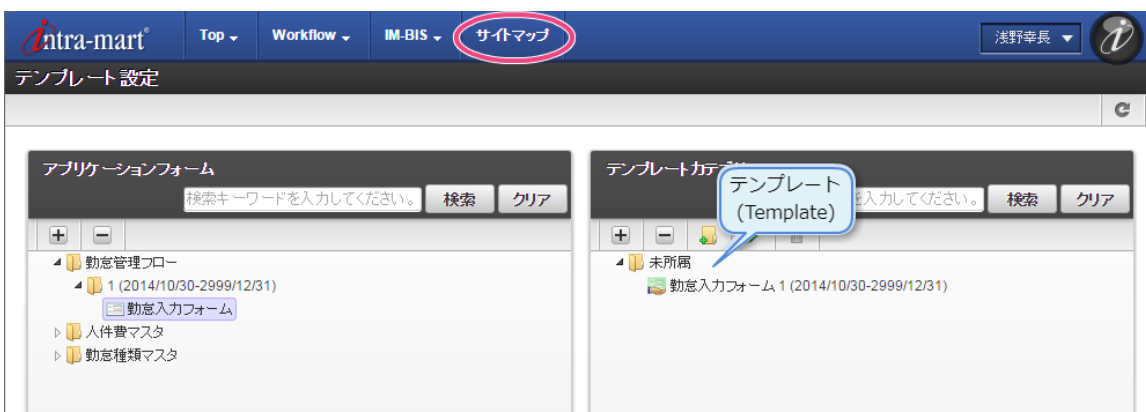
2. 「アプリケーションフォーム」の「勤怠管理フロー」配下にある「勤怠入力フォーム」を、ドラッグ&ドロップでテンプレートカテゴリに移動してください。



3. 確認メッセージでは、このまま「決定」をクリックしてください。



4. これで、作成した画面を部品（テンプレート）として利用できます。
 それでは、フローの編集に戻るために、「サイトマップ」をクリックしてください。




テンプレートを利用して画面（フォーム）を作成する

先ほどの手順で登録したフォームテンプレートを利用しながら、経理部の画面を作成しましょう。

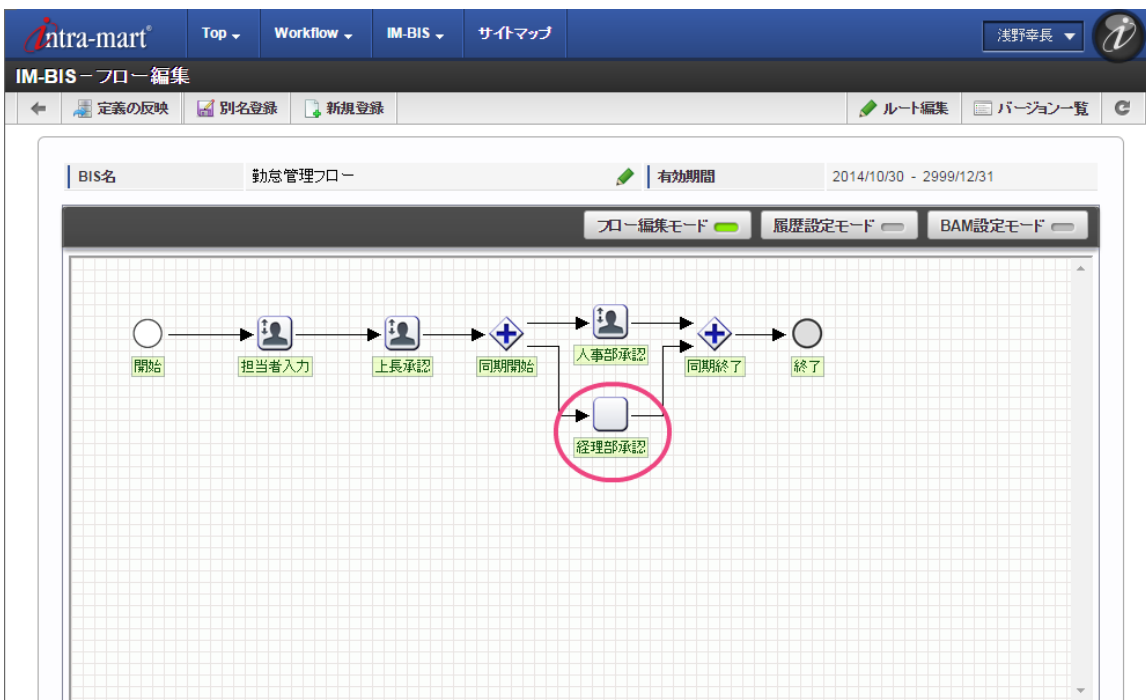
1. サイトマップ「IM-BIS」の「IM-BIS」をクリックしてください。



2. IM-BIS - 更新履歴から、作成した「勤怠管理フロー」の「」をクリックしてください。



3. 「経理部承認」アイコンをダブルクリックして、経理承認画面の編集画面を表示してください。



1. 「フォーム登録」画面では、以下の通りに入力し、「登録」をクリックしてください。

フォーム登録

フォーム名 a 経理部承認フォーム

説明

他のロケール

登録

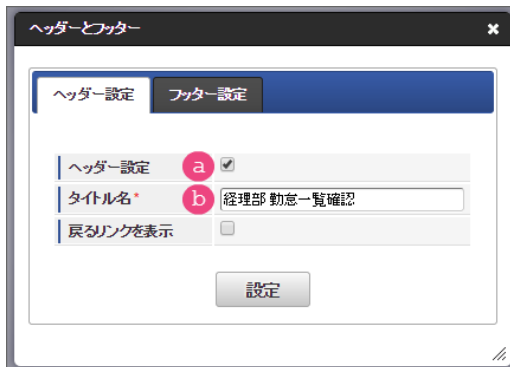
設定項目 設定値

a フォーム名 経理部承認フォーム

1. 新しくポップアップで表示された画面の右上の「ヘッダーとフッター」をクリックしましょう。

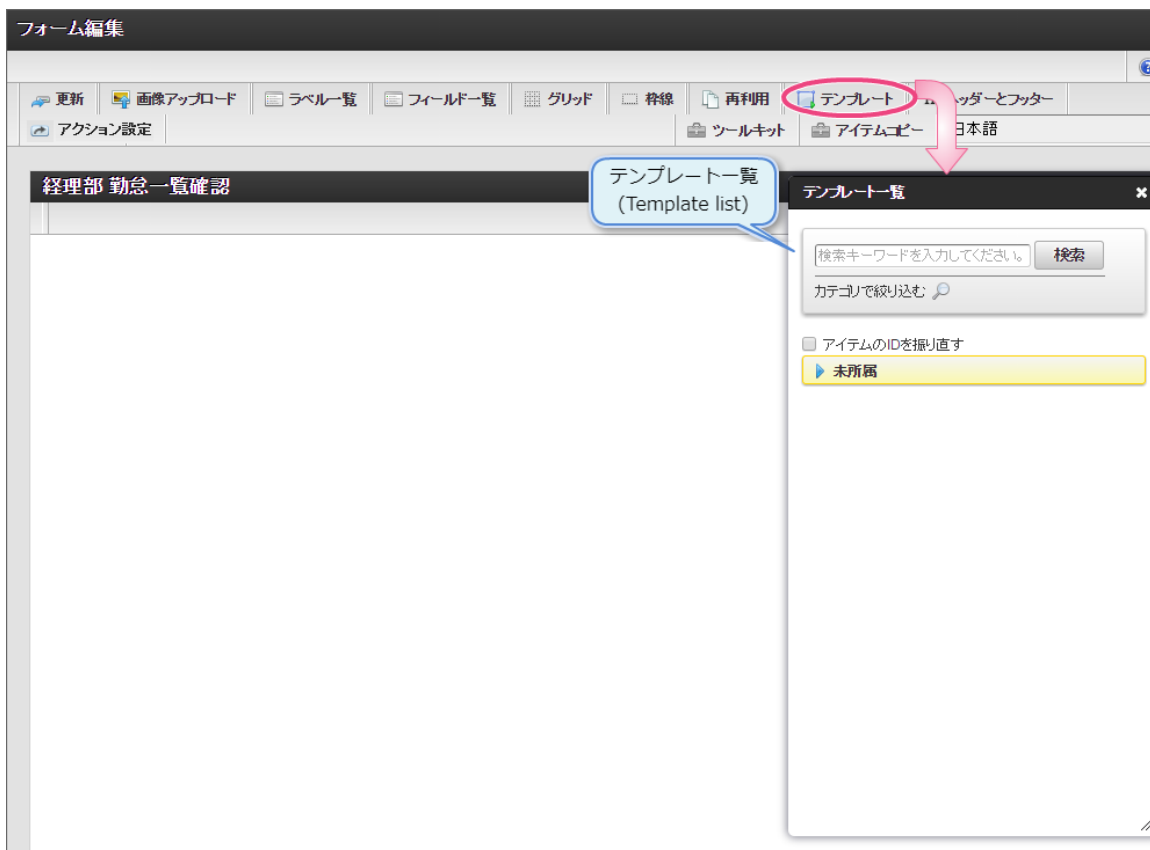


2. 「ヘッダー設定」では、以下の通りに入力し、「設定」をクリックしてください。

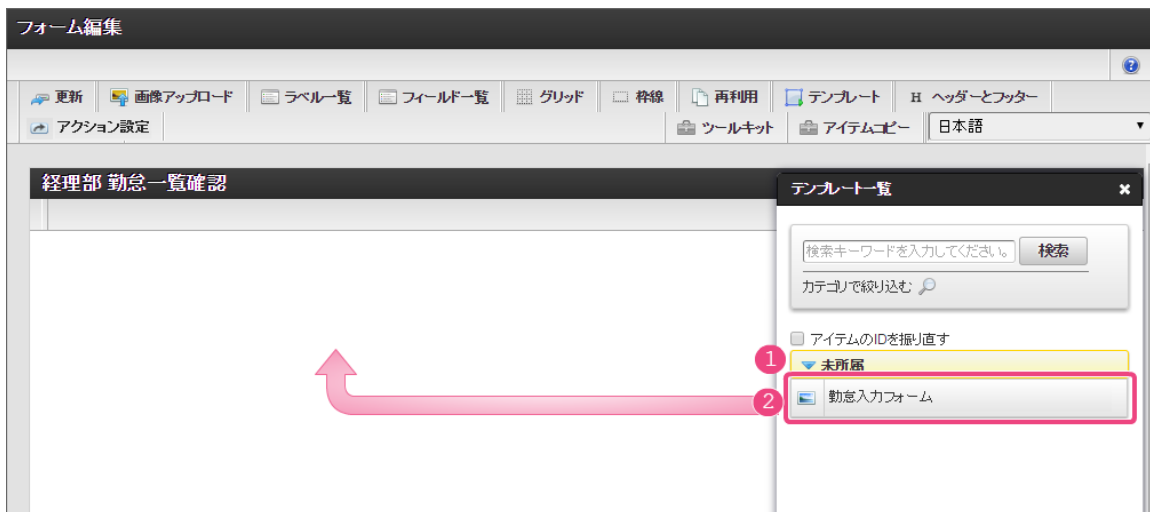


設定項目	設定値
a ヘッダー設定	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
b タイトル名	経理部 勤怠一覧確認

3. 画面の右上の「テンプレート」をクリックして、テンプレート一覧を表示してください。




4. 以下の手順で、登録済みのテンプレートを配置してください。

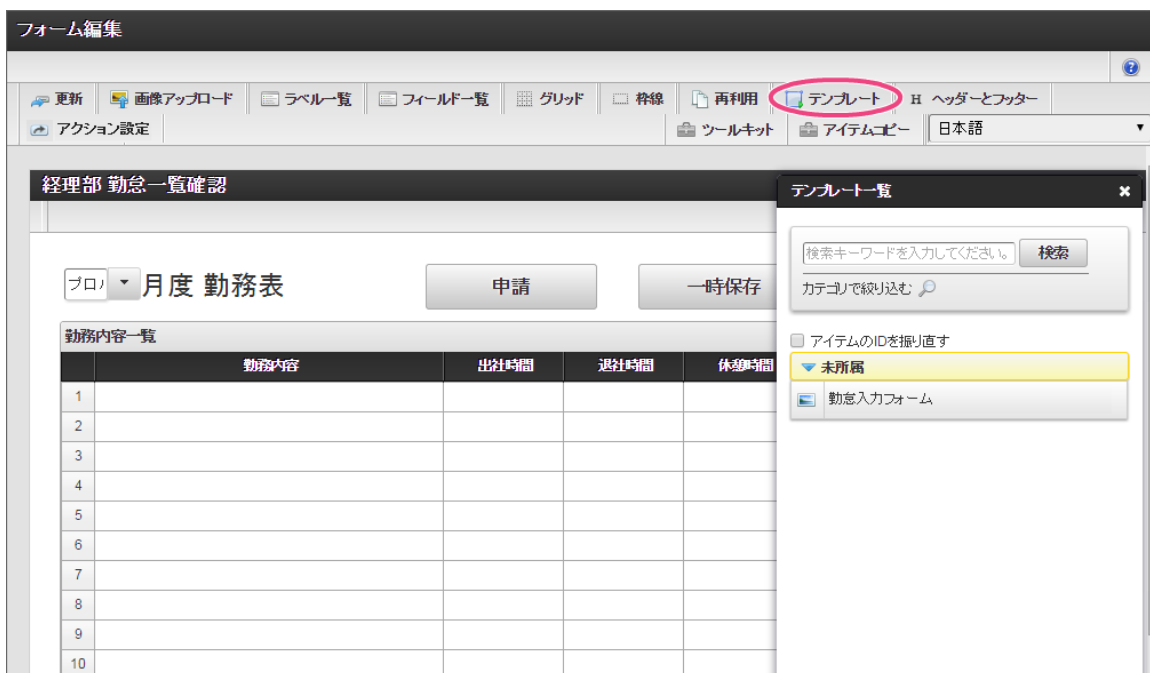


1. 「未所属」をクリックし、テンプレート一覧を展開してください。
2. 「勤怠入力フォーム」をドラッグ&ドロップでフォーム上に配置してください。

コラム

テンプレートの  をクリックすると、フォームのプレビューが表示されます。複数のテンプレートを登録している場合には、この機能を利用して利用したいテンプレートを確認しましょう。

5. このように配置できたら、「テンプレート一覧」については、テンプレートをクリックして閉じてください。



6. 経理部用の項目を追加するために、グリッドテーブルをドラッグ&ドロップで下に移動してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

経理部 勤怠一覧確認

プロ 月度 勤務表 申請 一時保存 一覧へ戻る

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
2				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
3				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
4				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
5				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
6				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
2				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
3				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
4				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
5				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
6				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
7				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
8				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
9				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
10				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
11				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
12				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,

7. 「ツールキット」をクリックして、ツールキットを表示しましょう。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

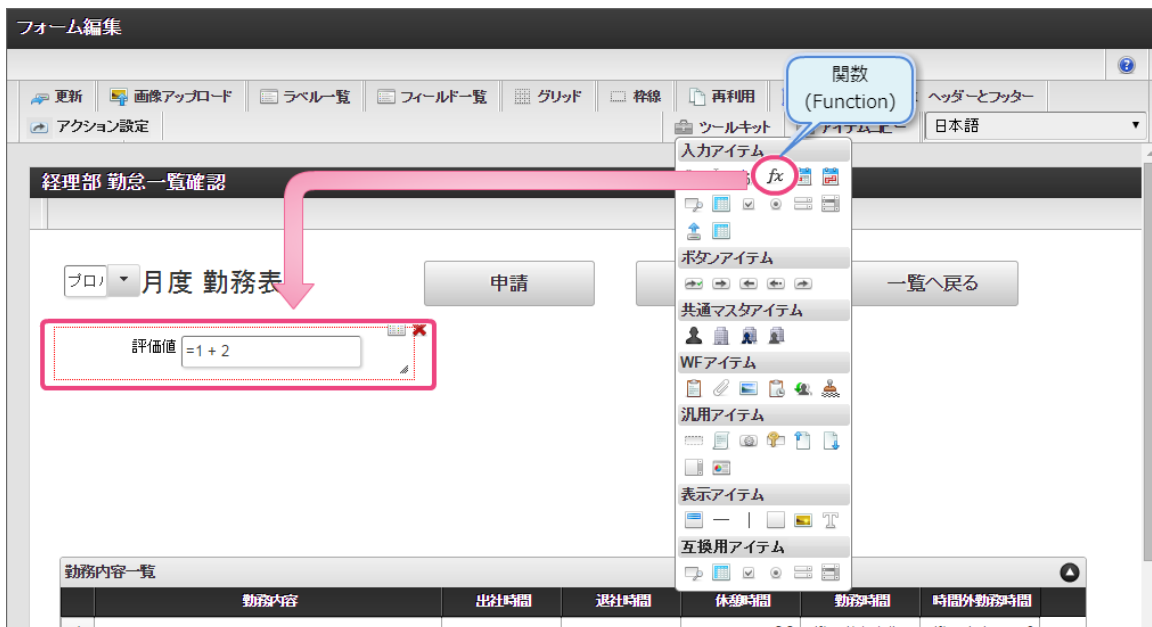
経理部 勤怠一覧確認

プロ 月度 勤務表 申請 一時保存 一覧へ戻る

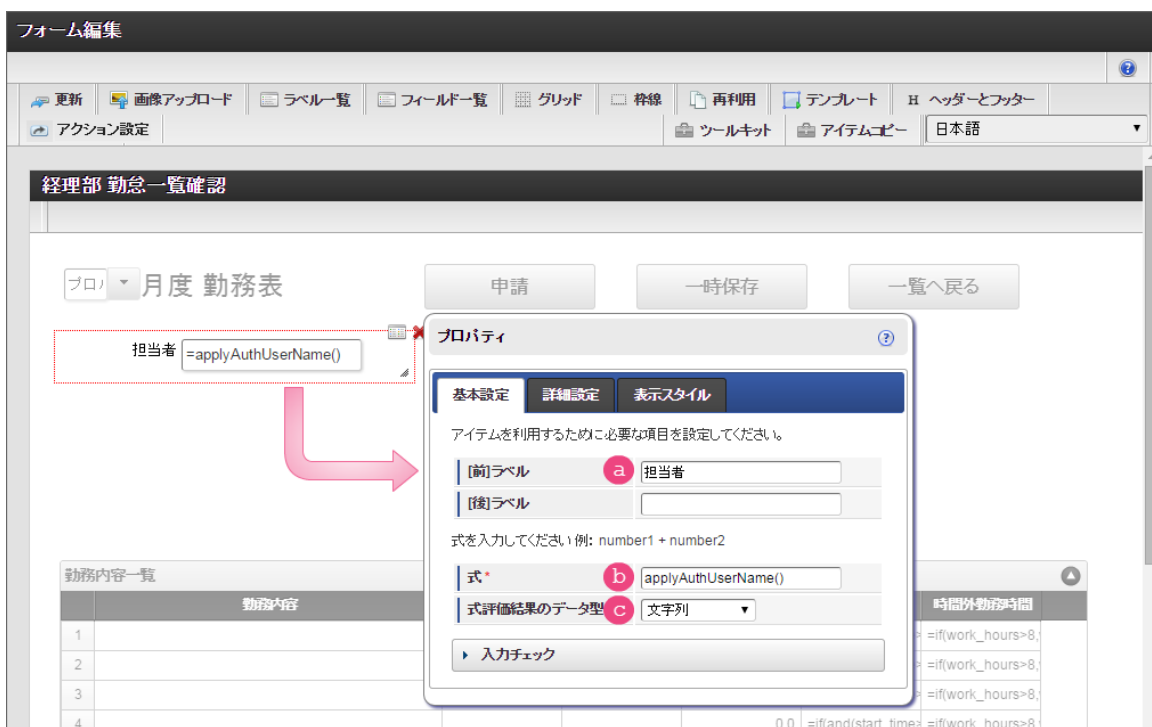
勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,
2				0.0	=if(and(start_time>	=if(work_hours>8,

8. アイテムの「関数」をドラッグ&ドロップで配置してください。



9. 配置した関数をダブルクリックしてプロパティを表示し、以下の通りに設定してください。
設定後、関数のプロパティ画面を閉じてください。



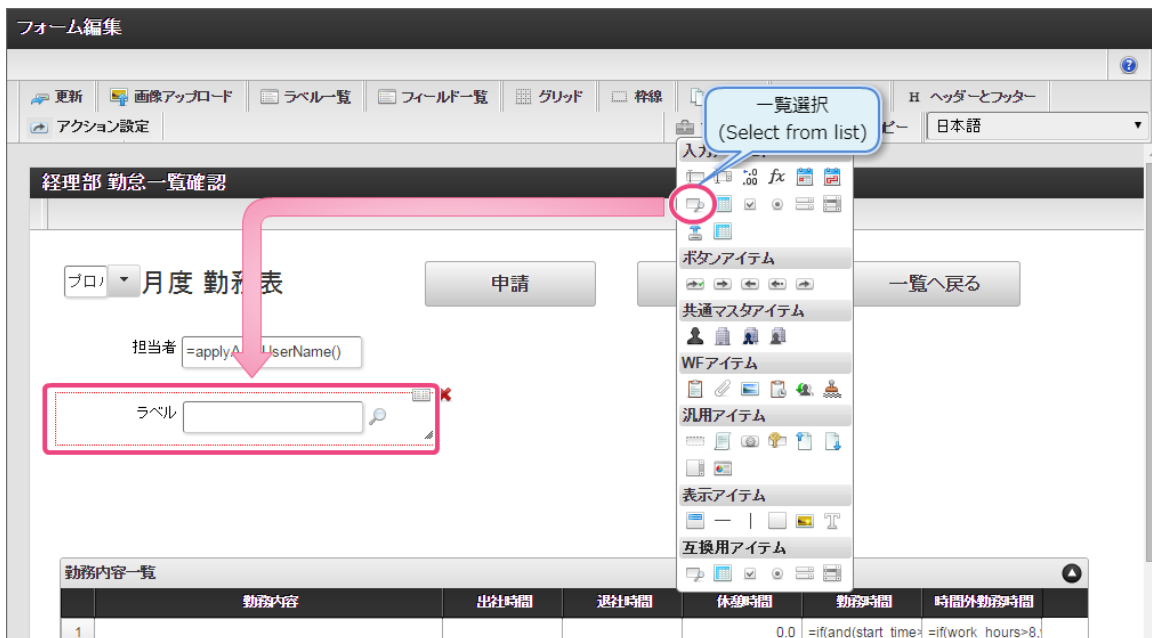
設定項目	設定値
a [前]ラベル	担当者
b 式	applyAuthUserName()
c 式評価結果のデータ型	文字列



コラム

関数に「applyAuthUserName()」と入力すると、申請者の名前を表示できます。

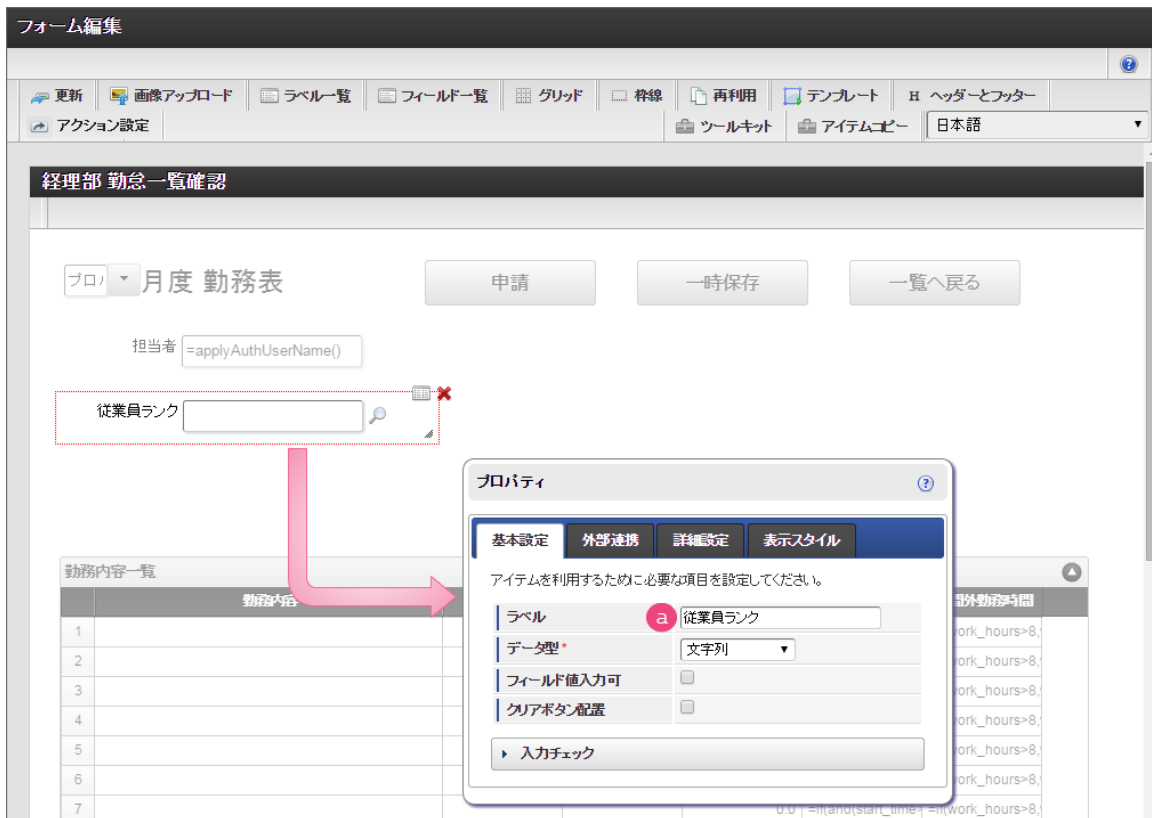
10. 次にツールキットから「一覧選択」をドラッグ&ドロップで配置してください。



設定項目 設定値

a ラベル 従業員ランク

11. 配置した一覧選択をダブルクリックしてプロパティを表示し、以下の通りに設定してください。



12. 以下の手順で、「外部連携」を設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

経理部 勤怠一覧確認

プロ 月度 勤務表 申請 一時保存 一覧へ戻る

担当者 =applyAuthUserName()

従業員ランク

勤務内容一覧

	勤務内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	

プロパティ

基本設定 外部連携 詳細設定 表示スタイル

一覧選択画面

一覧選択画面の表示内容を設定してください

画面タイトル 一覧選択画面

最大表示行数 100

マルチセレクト

一覧選択画面に表示する列の設定を行ってください。

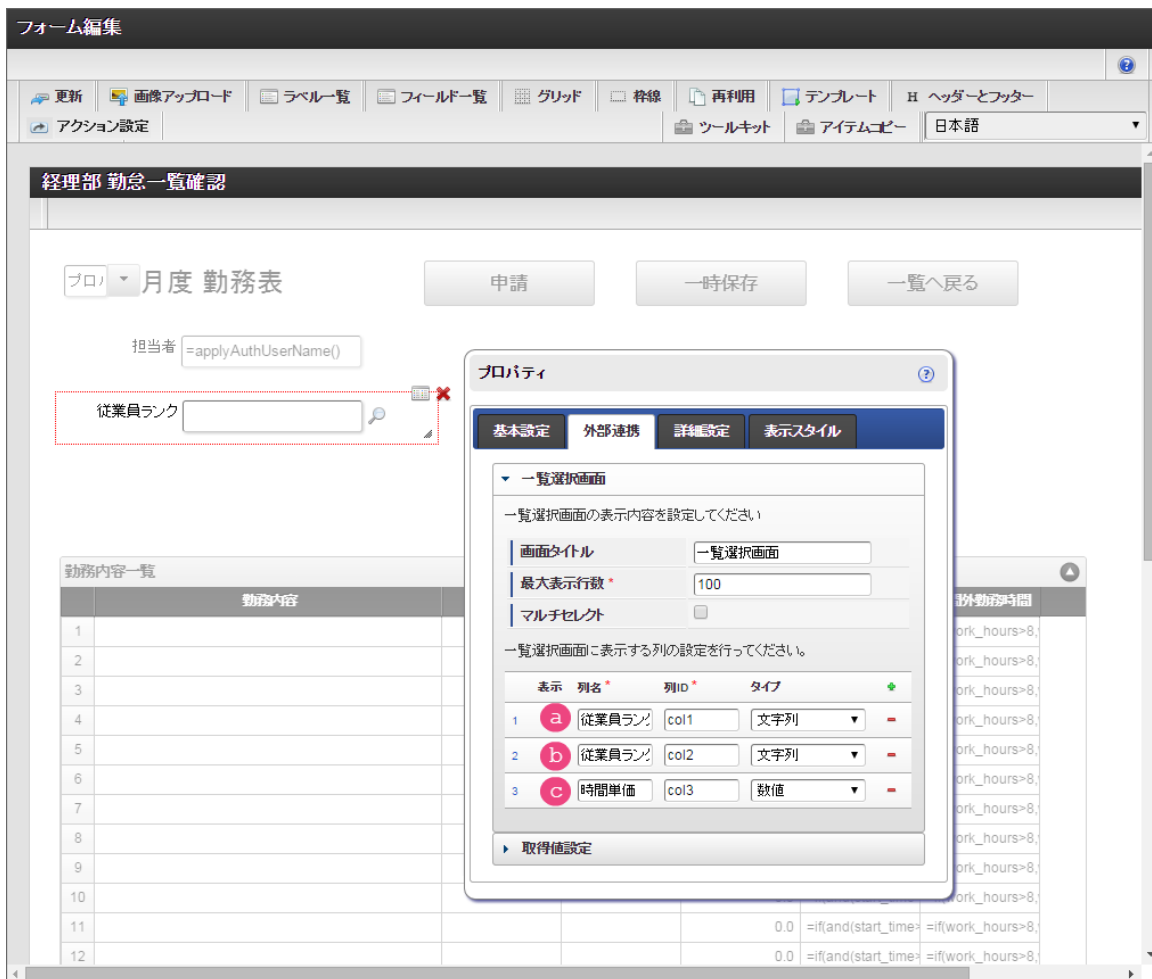
表示	列名*	列ID*	タイプ	
<input checked="" type="checkbox"/>	列	col1	文字列	-
<input checked="" type="checkbox"/>	列	col2	文字列	-
<input checked="" type="checkbox"/>	列	col3	文字列	-

取得値設定

外勤務時間

ork_hours>8;
ork_hours>8;
ork_hours>8;
ork_hours>8;
ork_hours>8;
ork_hours>8;
ork_hours>8;
ork_hours>8;
ork_hours>8;
ork_hours>8;
ork_hours>8;

1. 「外部連携」タブをクリックしてください。
2. 「一覧選択画面」で表示する列を3列にするために、「+」を3回クリックしてください。
13. 「一覧選択画面」に対し、以下の通りに設定してください。
設定後はプロパティ画面を閉じてください。

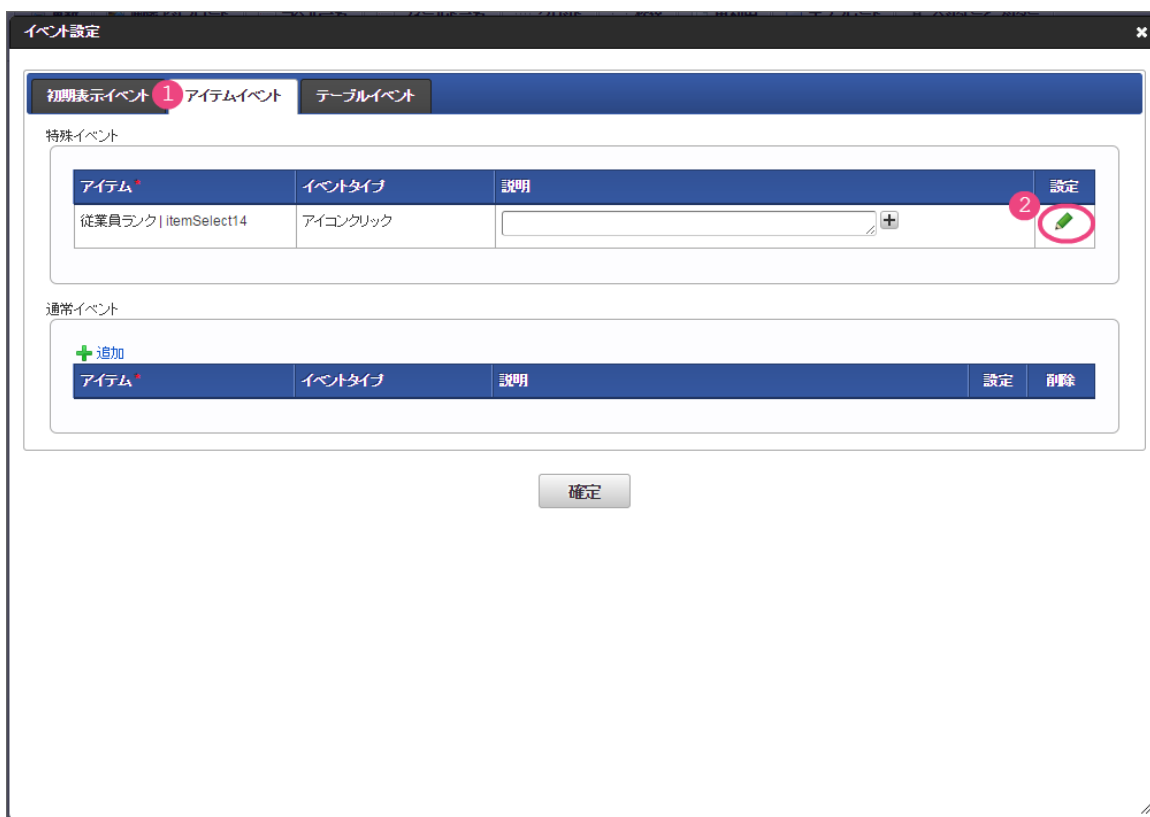




列名	列ID	タイプ
a 従業員ランク	col1	文字列
b 従業員ランク名	col2	文字列
c 時間単価	col3	数値

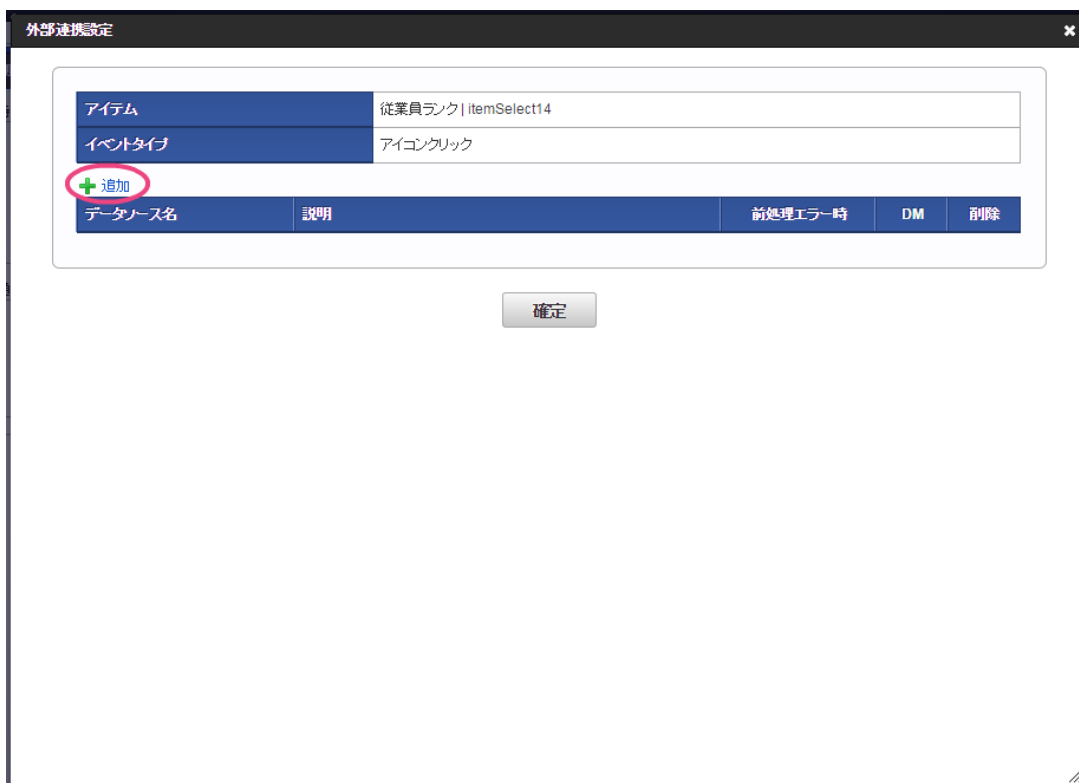
14. 「アクション設定」をクリックしてください。



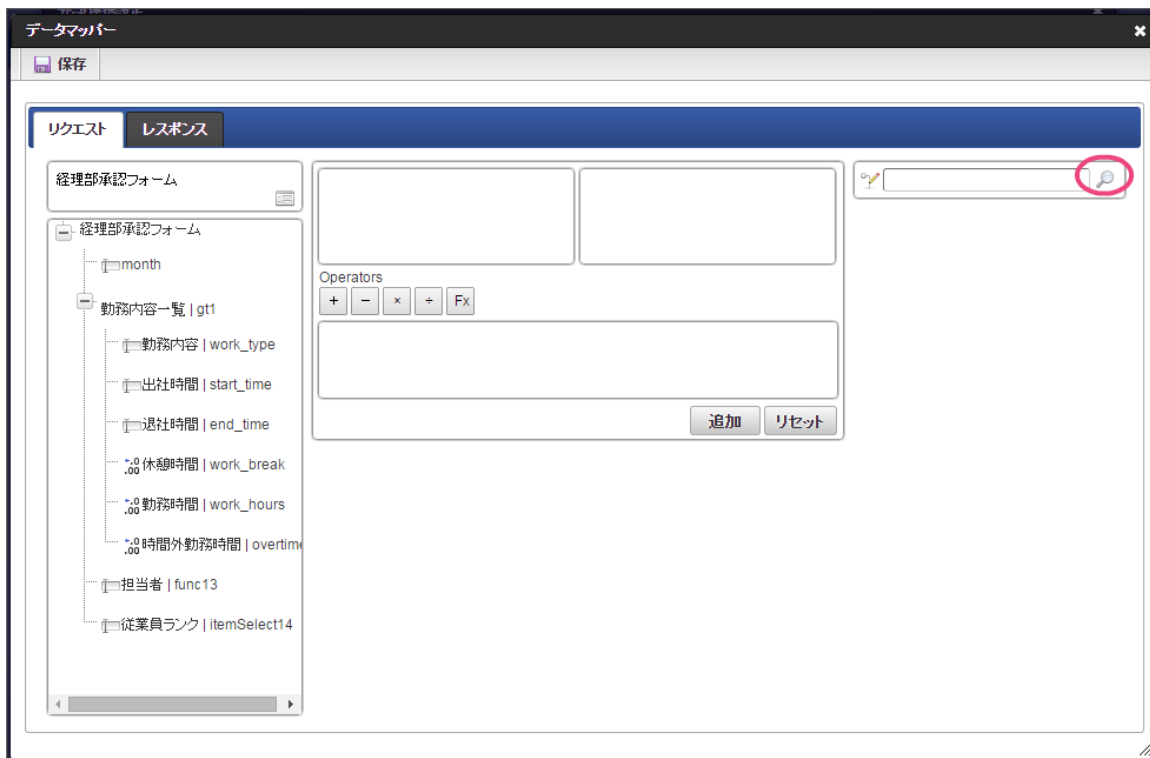
15. 以下の手順で「外部連携設定」画面を表示してください。



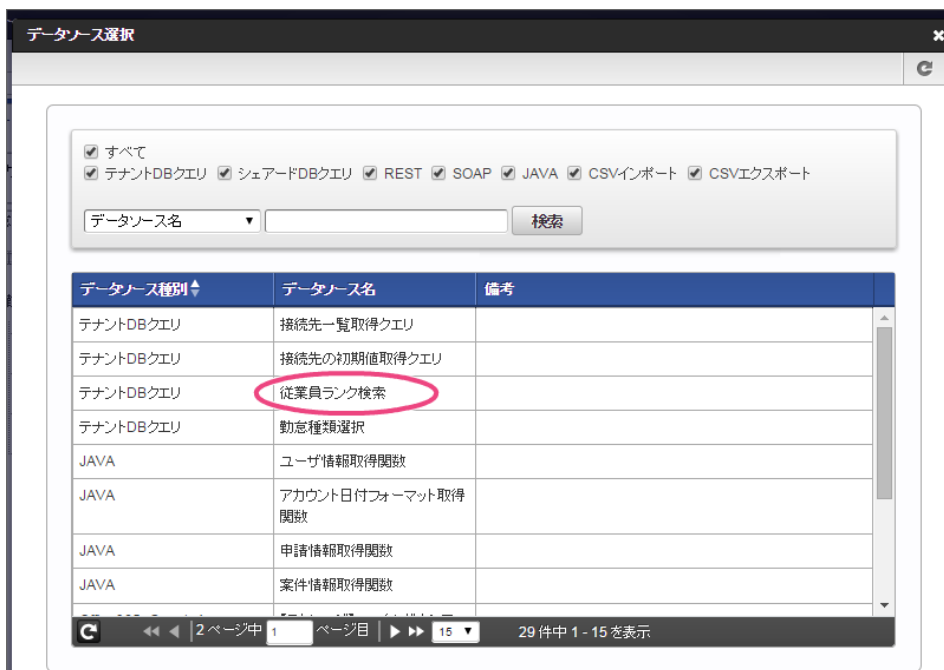
1. 「アイテムイベント」タブをクリックしてください。
 2. 「」をクリックしてください。
16. 「 追加」をクリックしてください。



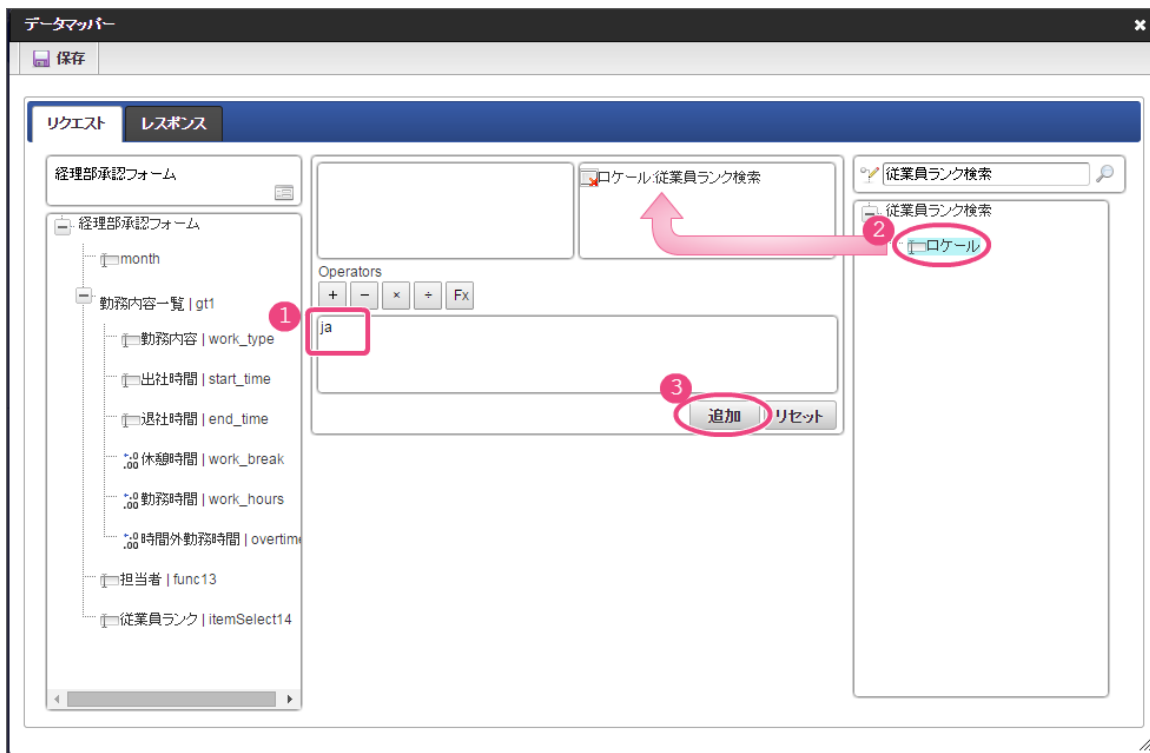
17. 「」をクリックしてください。



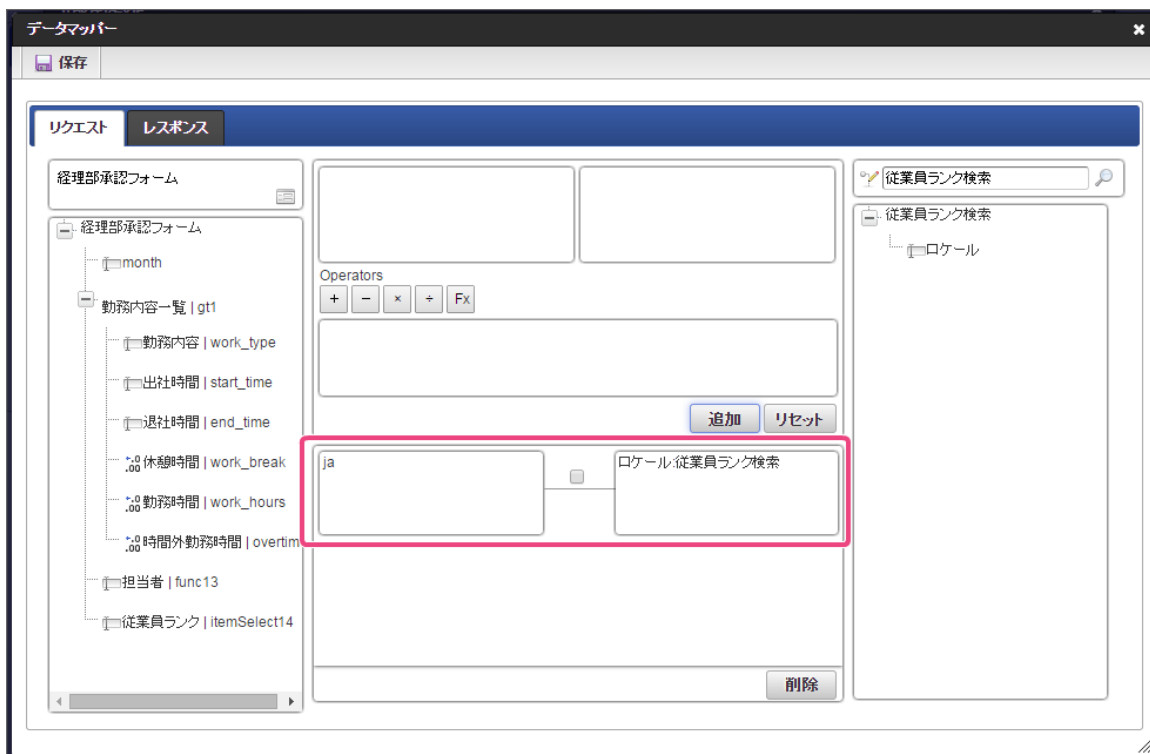
18. 作成済みの「従業員ランク検索」をクリックしてください。



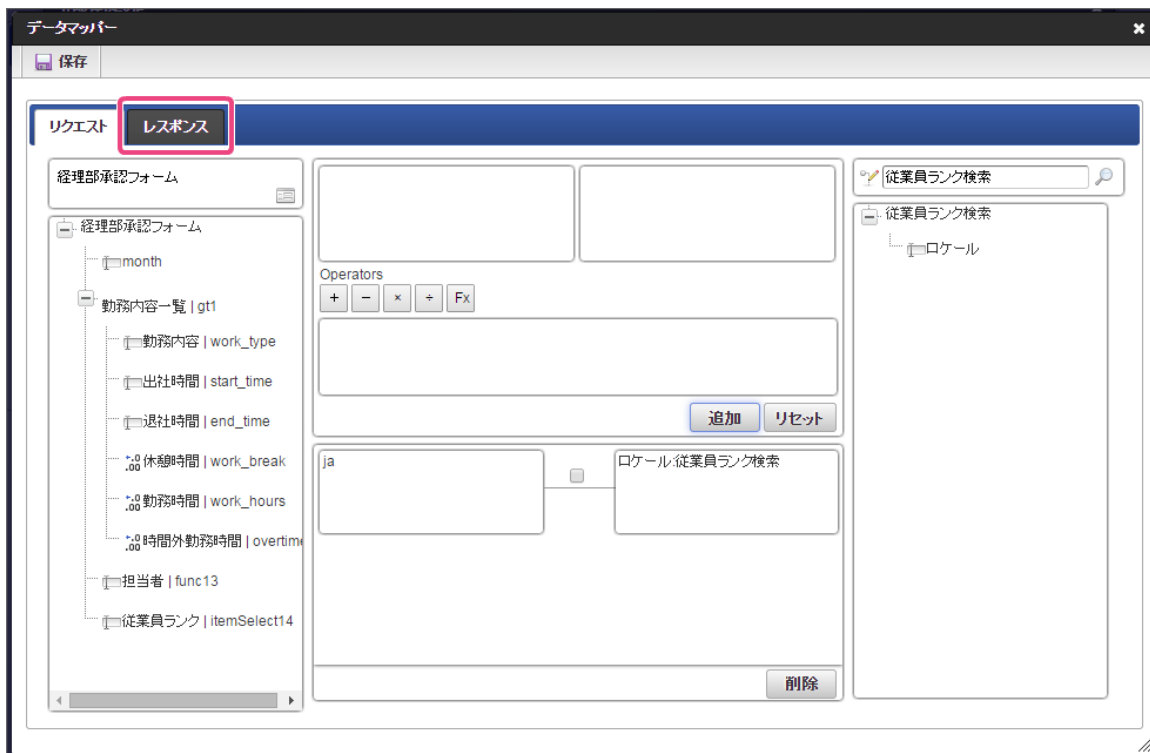
19. 今回は、日本語のデータのみを選択肢として表示できるように設定します。
以下の手順で、リクエストを設定してください。



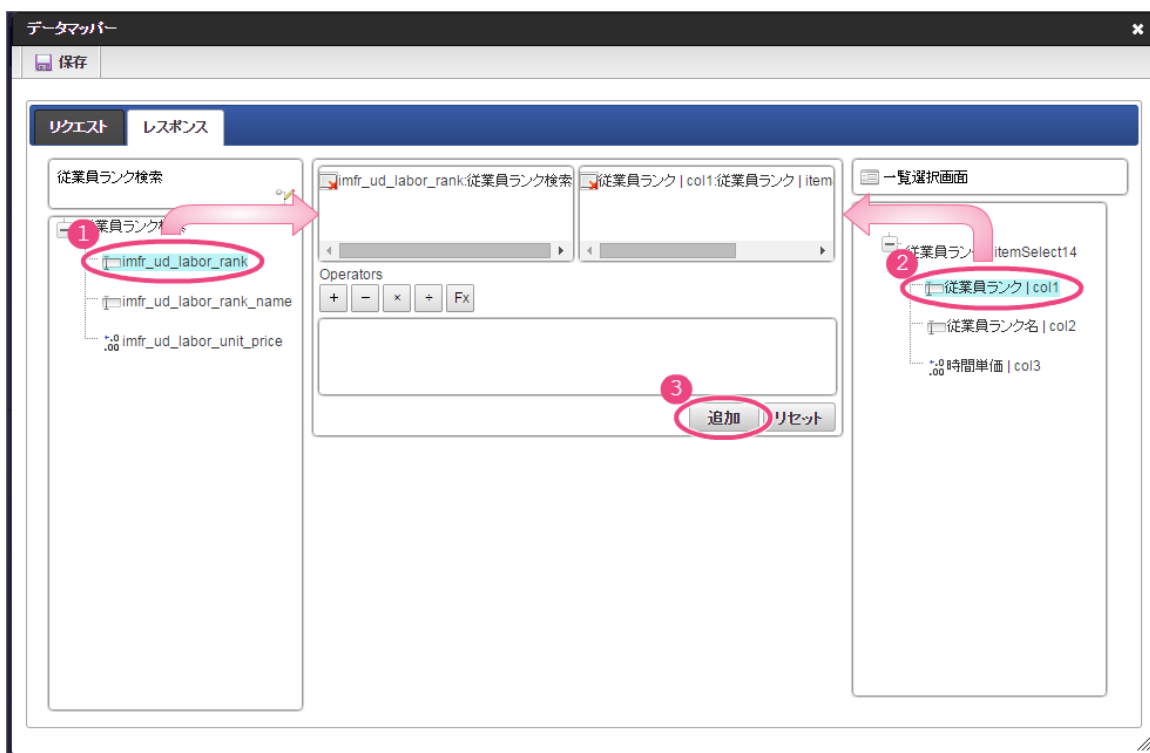
1. 中央の欄に「ja」と入力してください。
この際、「|」や「/」等の記号はつげずに入力してください。
 2. 右の欄から「ロケール」をクリックしてください。
 3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。
20. 下の図の通りにマッピングが設定できていることを確認してください。



21. 「レスポンス」をクリックしてください。

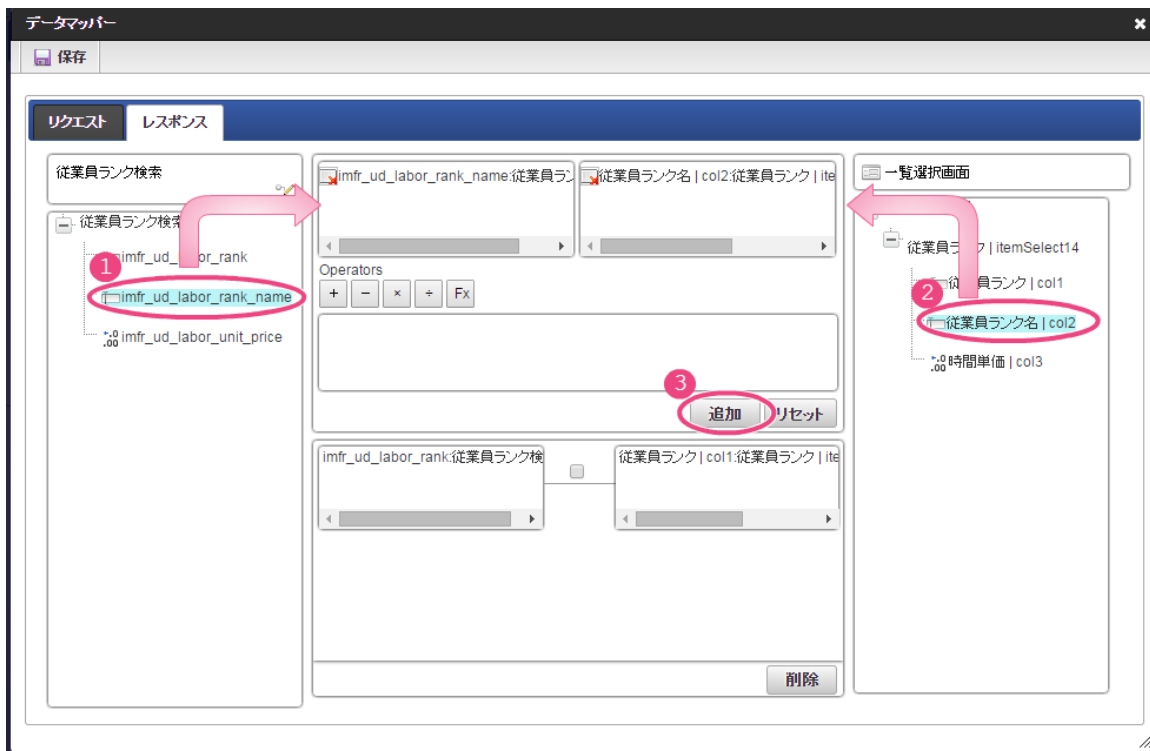


22. 以下の手順で、従業員ランクのマッピングを設定してください。

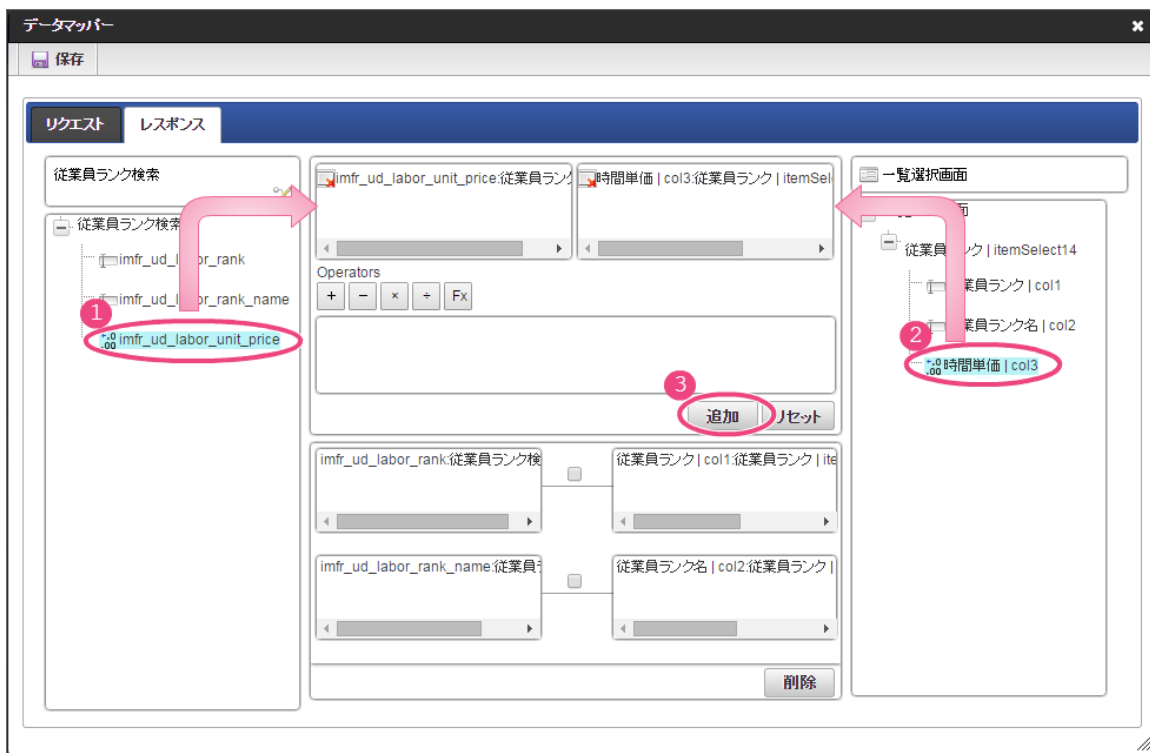


1. 左の欄から「imfr_ud_labor_rank」をクリックしてください。
2. 右の欄の「従業員ランク | itemSelect14」のツリーから「従業員ランク | col1」をクリックしてください。
3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。

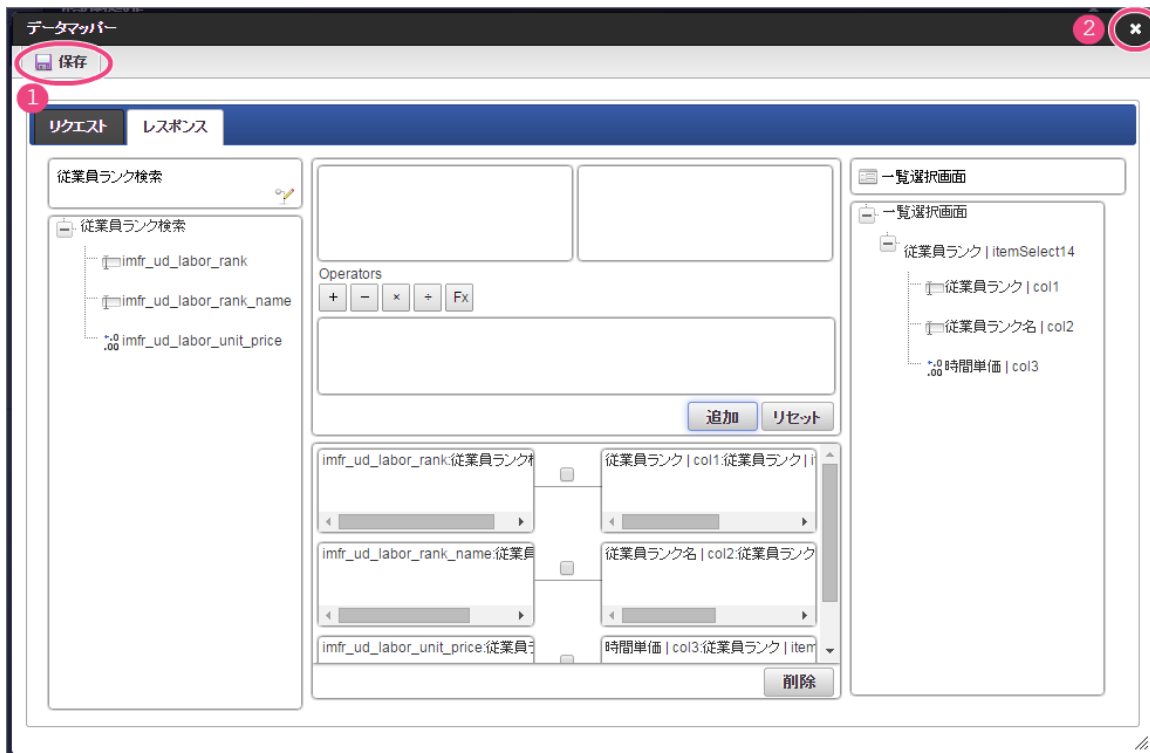
23. 以下の手順で、従業員ランク名のマッピングを設定してください。



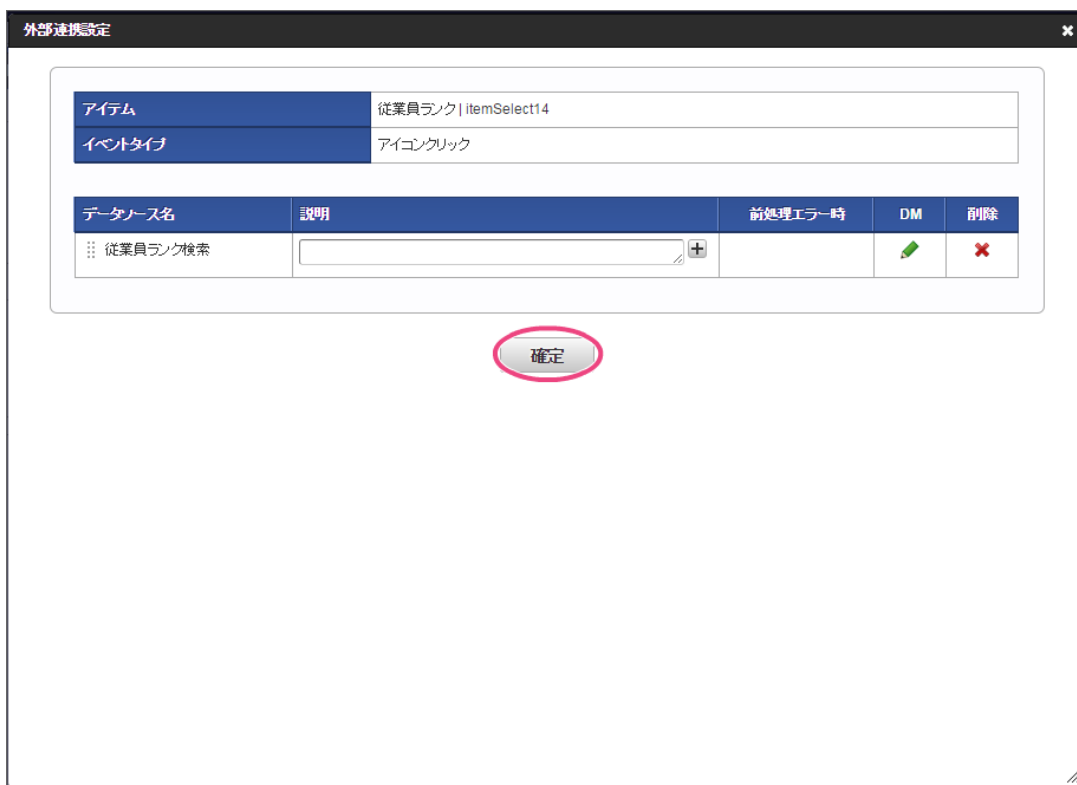
1. 左の欄から「imfr_ud_labor_rank_name」をクリックしてください。
 2. 右の欄の「従業員ランク | itemSelect14」のツリーから「従業員ランク名 | col2」をクリックしてください。
 3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。
24. 以下の手順で、時間単価のマッピングを設定してください。



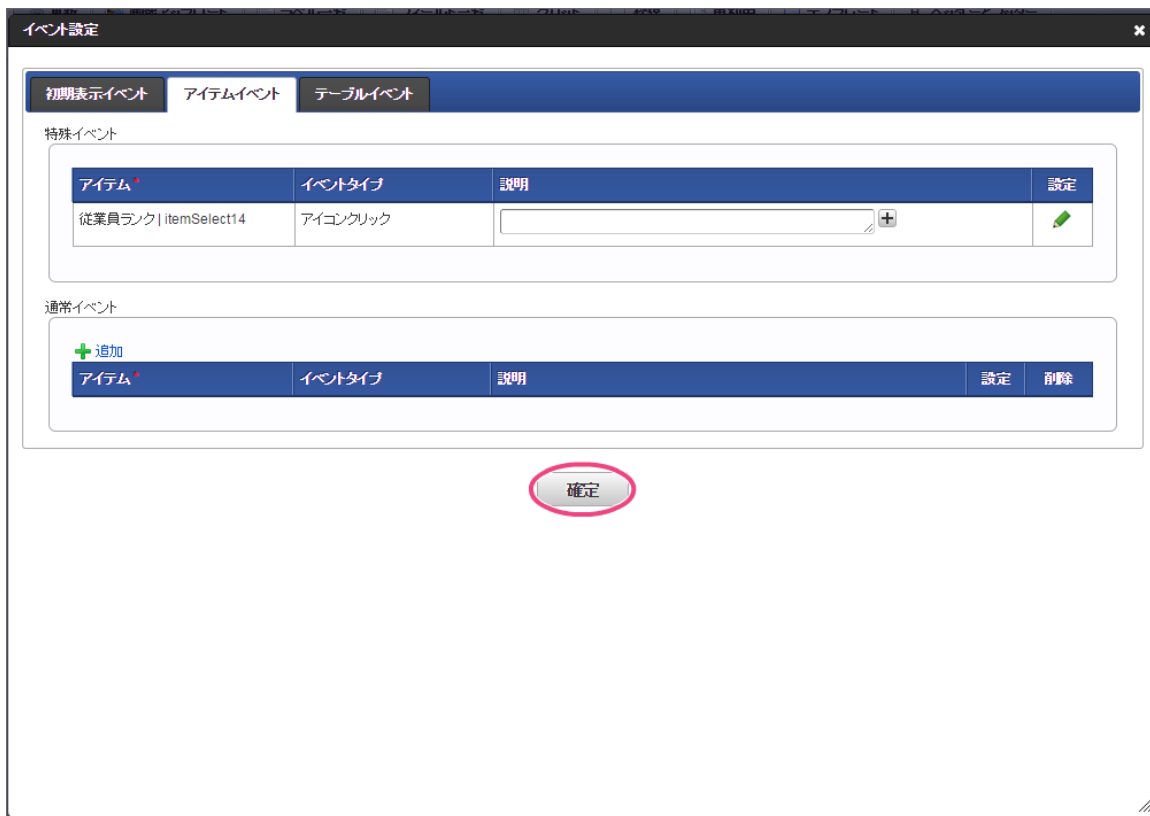
1. 左の欄から「imfr_ud_labor_unit_price」をクリックしてください。
 2. 右の欄の「従業員ランク | itemSelect14」のツリーから「時間単価 | col3」をクリックしてください。
 3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。
25. これでデータベースから勤怠種類のマスタを参照して入力するための連携が設定できました。
以下の手順で設定を終了してください。



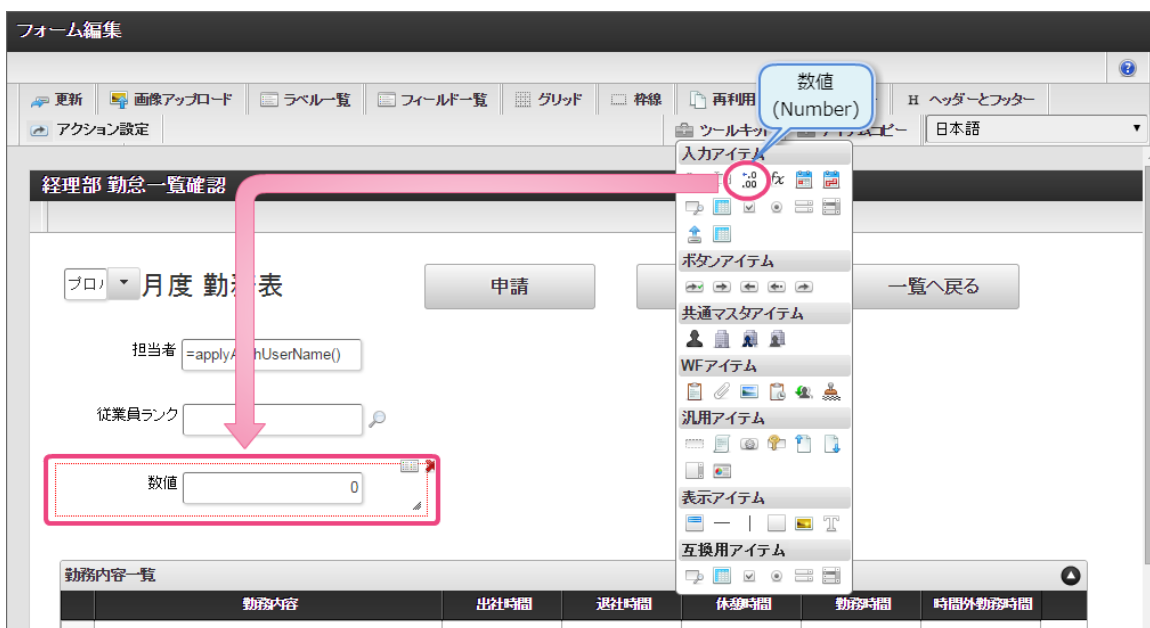
1. 「保存」をクリックし、設定内容を保存してください。
 2. 「X」をクリックしてマッピング画面を閉じてください。
26. 外部連携設定を保存するために「確定」をクリックしてください。



27. イベント設定を保存するために「確定」をクリックしてください。



28. ツールキットから「数値」をドラッグ&ドロップで配置してください。

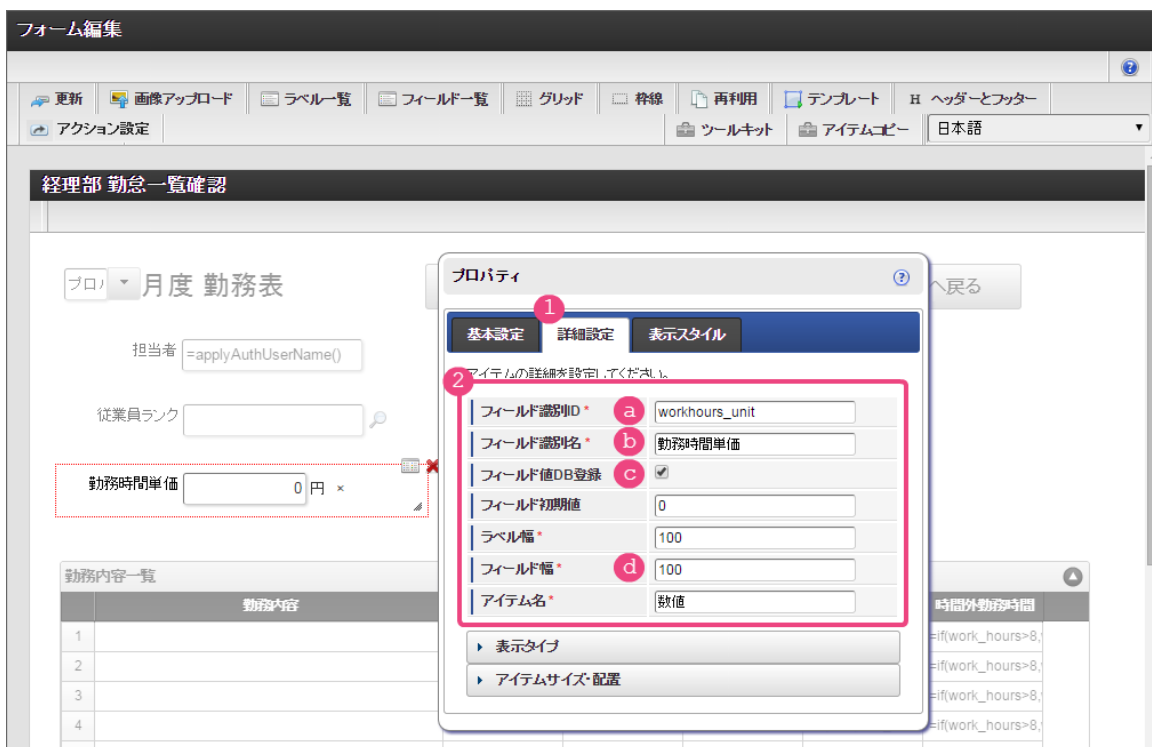


29. 配置した数値をダブルクリックしてプロパティを表示し、以下の通りに設定してください。



項目	設定内容
a [前]ラベル	勤務時間単価
b [後]ラベル	円 ×
c 表示フォーマット	3桁カンマ ご利用のバージョンにより設定方法が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ チェックボックスによる表示 チェックボックスをオンにしてください。 ■ セレクトボックスによる表示 「3桁カンマ」を含むフォーマットを選択してください。

30. 引き続き、以下の手順で数値の詳細を設定してください。
設定したら、プロパティの外側をクリックして、プロパティを閉じてください。

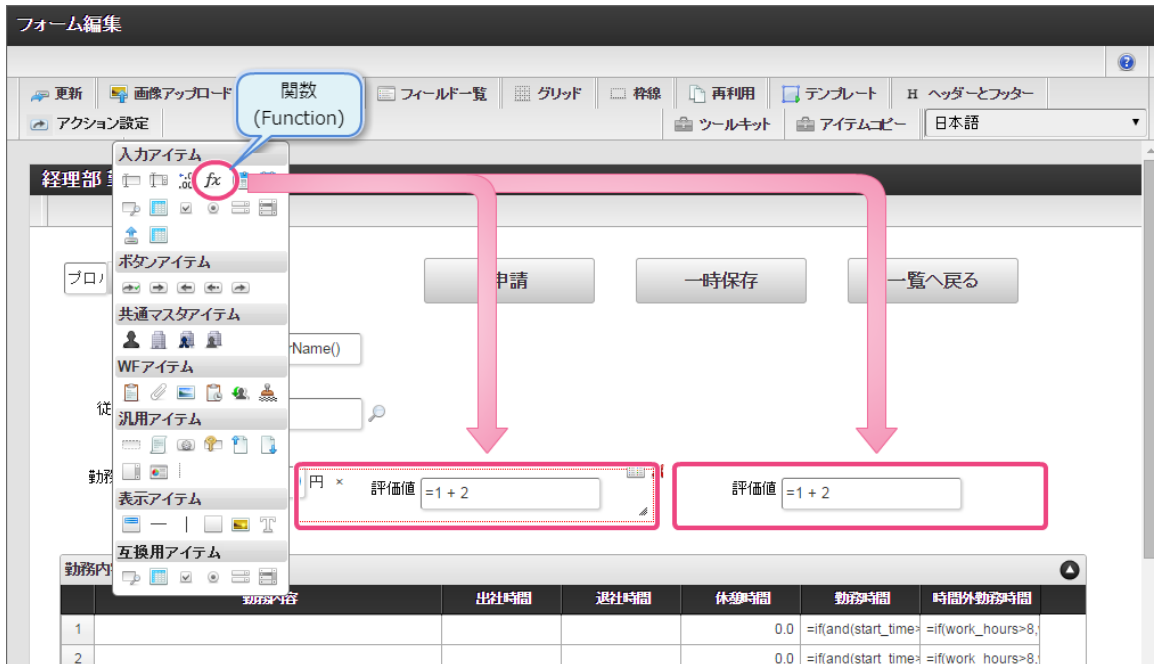


- 「詳細設定」タブをクリックしてください。
- 詳細設定に対し、以下の通りに設定してください。

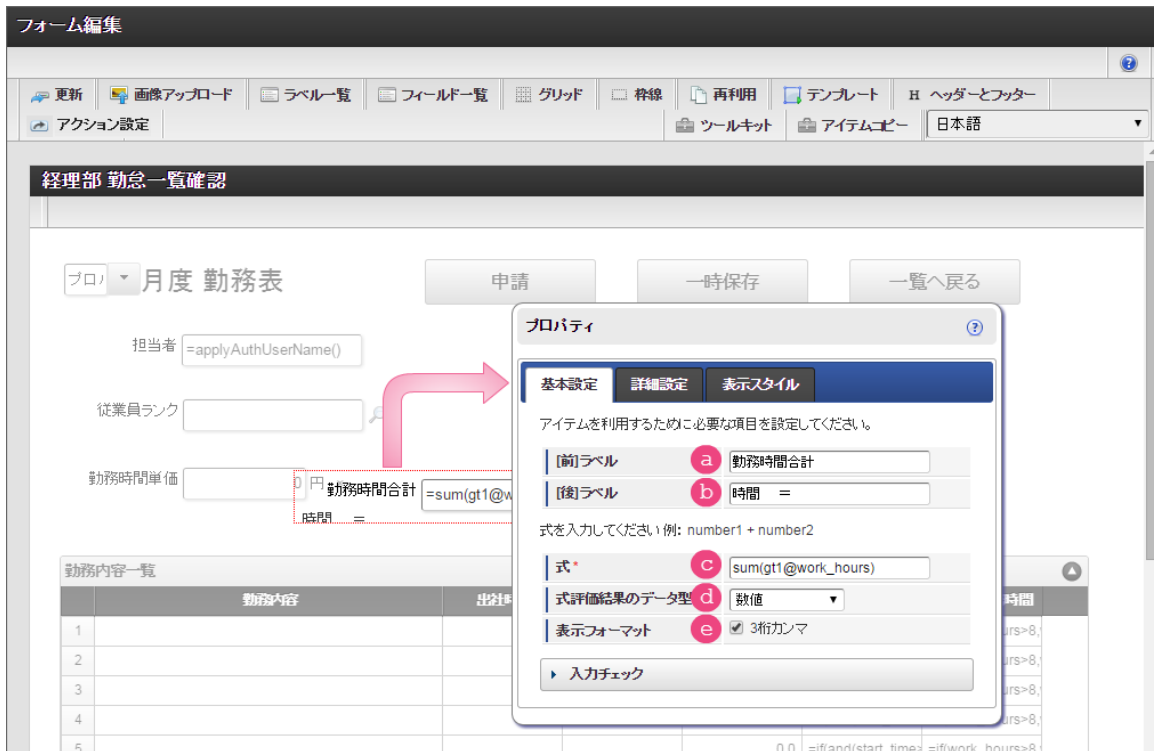
設定項目	設定値
a フィールド識別ID	workhours_unit
b フィールド識別名	勤務時間単価

設定項目	設定値
c フィールド値DB登録	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
d フィールド幅	100

31. 次にツールキットから「関数」を2つドラッグ&ドロップで配置してください。



32. 中央に配置した関数をダブルクリックしてプロパティを表示し、以下の通りに設定してください。



設定項目	設定値
a [前]ラベル	勤務時間合計
b [後]ラベル	時間 =
c 式	sum(gt1@work_hours)
d 式評価結果のデータ型	文字列

設定項目	設定値
e 表示フォーマット	3桁カンマ ご利用のバージョンにより設定方法が異なります。

- チェックボックスによる表示
チェックボックスをオンにしてください。
- セレクトボックスによる表示
「3桁カンマ」を含むフォーマットを選択してください。

33. 引き続き、以下の手順で関数の詳細を設定してください。
設定したら、プロパティの外側をクリックして、プロパティを閉じてください。



1. 「詳細設定」タブをクリックしてください。
2. 詳細設定に対し、以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a フィールド識別ID	workhours_sum
b フィールド識別名	勤務時間合計
c フィールド幅	100

34. 右に配置した関数をダブルクリックしてプロパティを表示し、以下の通りに設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

経理部 勤怠一覧確認

プロ 月度 勤

担当者 =app

従業員ランク

勤務時間単価

勤務内容一覧

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムを利用するため必要な項目を設定してください。

[前]ラベル a 合計

[後]ラベル b 円

式を入力してください例: number1 + number2

式* c `if(workhours_unit>0,workhours_`

式評価結果のデータ型 d 数値

表示フォーマット e 3桁カンマ

入力チェック

入力チェックを設定してください

必須入力チェック

最小入力値 0

最大入力値* f 99999999

負数入力許可

小数入力許可

合計 `=if(overtime_unit>0,overtim`

保存 一覧へ戻る

休憩時間 勤務時間 時間外勤務時間

0.0 =if(and(start_time>=if(work_hours>8,

0.0 =if(and(start_time>=if(work_hours>8,

0.0 =if(and(start_time>=if(work_hours>8,

0.0 =if(and(start_time>=if(work_hours>8,

0.0 =if(and(start_time>=if(work_hours>8,

0.0 =if(and(start_time>=if(work_hours>8,

0.0 =if(and(start_time>=if(work_hours>8,

0.0 =if(and(start_time>=if(work_hours>8,

0.0 =if(and(start_time>=if(work_hours>8,

0.0 =if(and(start_time>=if(work_hours>8,

1. 基本設定では、以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a [前]ラベル	合計
b [後]ラベル	円
c 式	<code>if(workhours_unit>0,workhours_unit*workhours_sum,0)</code>
d 式評価結果のデータ型	数値
e 表示フォーマット	3桁カンマ ご利用のバージョンにより設定方法が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> チェックボックスによる表示 チェックボックスをオンにしてください。 セレクトボックスによる表示 「3桁カンマ」を含むフォーマットを選択してください。

2. 「入力チェック」をクリックし、設定項目を展開してください。
3. 入力チェックでは、以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
f 最大入力値	99999999

35. 以下の手順でレイアウトを調整してください。

1. ctrlキーを押下しながら「勤務時間単価」・「勤務時間合計」・「合計」をクリックしてください。
対象の3つのアイテムが青い枠で囲まれて表示されます。
2. アイテムの上で右クリックし、表示されたメニューから「上揃え」をクリックしてください。
3. 選択したアイテムのうち、1番高さの高いアイテムに合わせて高さを揃えることができました。

コラム

アイテムを揃える機能

ctrlキーを押しながら、アイテムをクリックすると青い枠で囲まれます。
その状態で右クリックすると、アイテムの位置の配置を揃えることができます。

36. 一覧選択をダブルクリックしてプロパティを表示し、「外部連携」をクリックしてください。

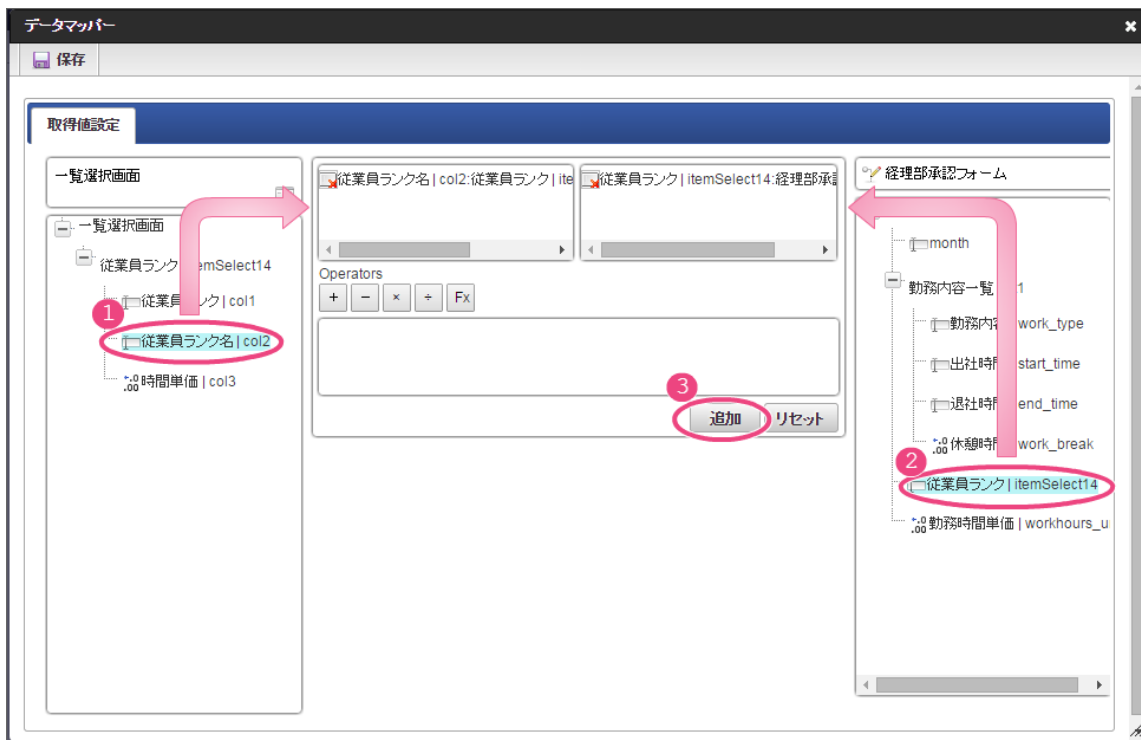


37. 「外部連携」では、以下の手順で「取得値設定」画面を表示してください。



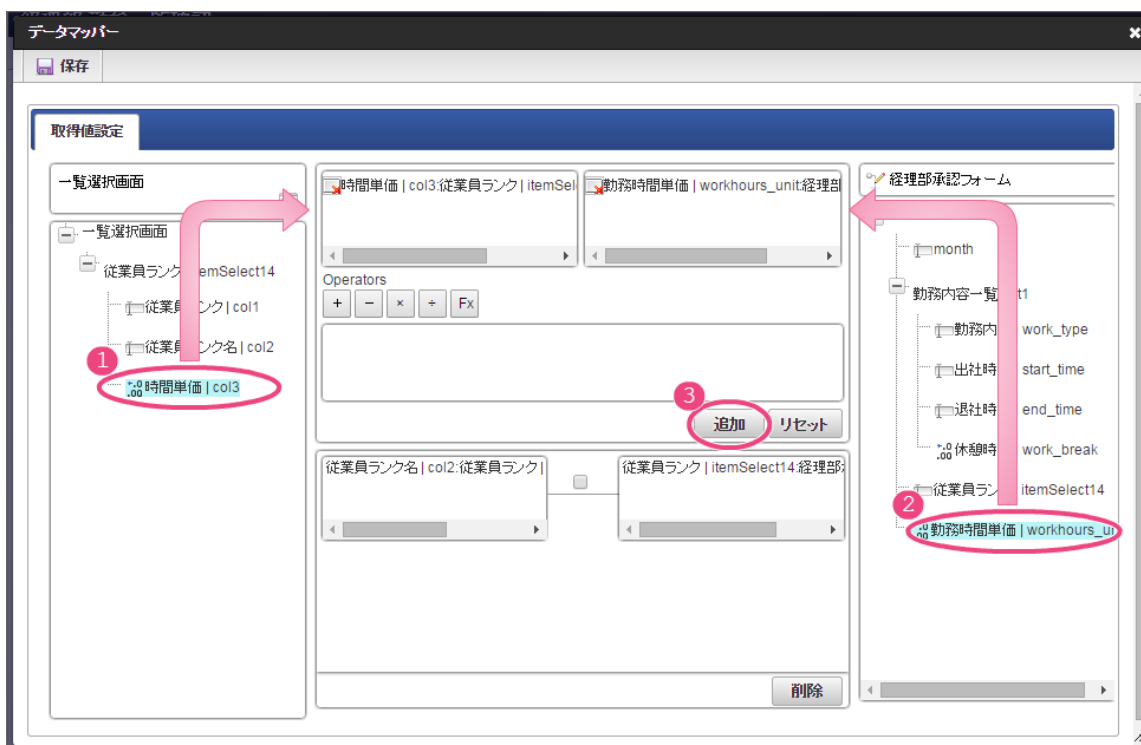
1. 「取得値設定」をクリックしてください。
2. 「マッピング情報」の「+」をクリックしてください。

38. 以下の手順で、「従業員ランク名」のマッピングを設定してください。



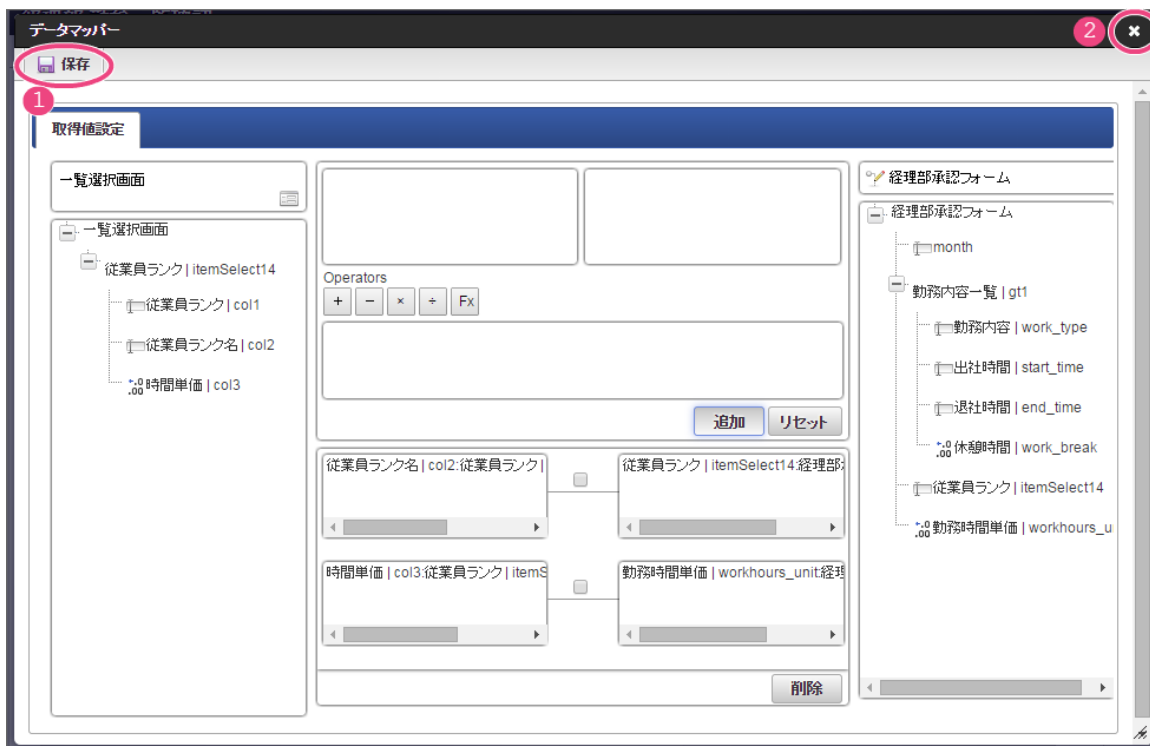
1. 左の欄の「従業員ランク | itemSelect14」のツリーから「従業員ランク名 | col2」をクリックしてください。
2. 右の欄から「従業員ランク | itemSelect14」をクリックしてください。
3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。

39. 以下の手順で、「時間単価」のマッピングを設定してください。

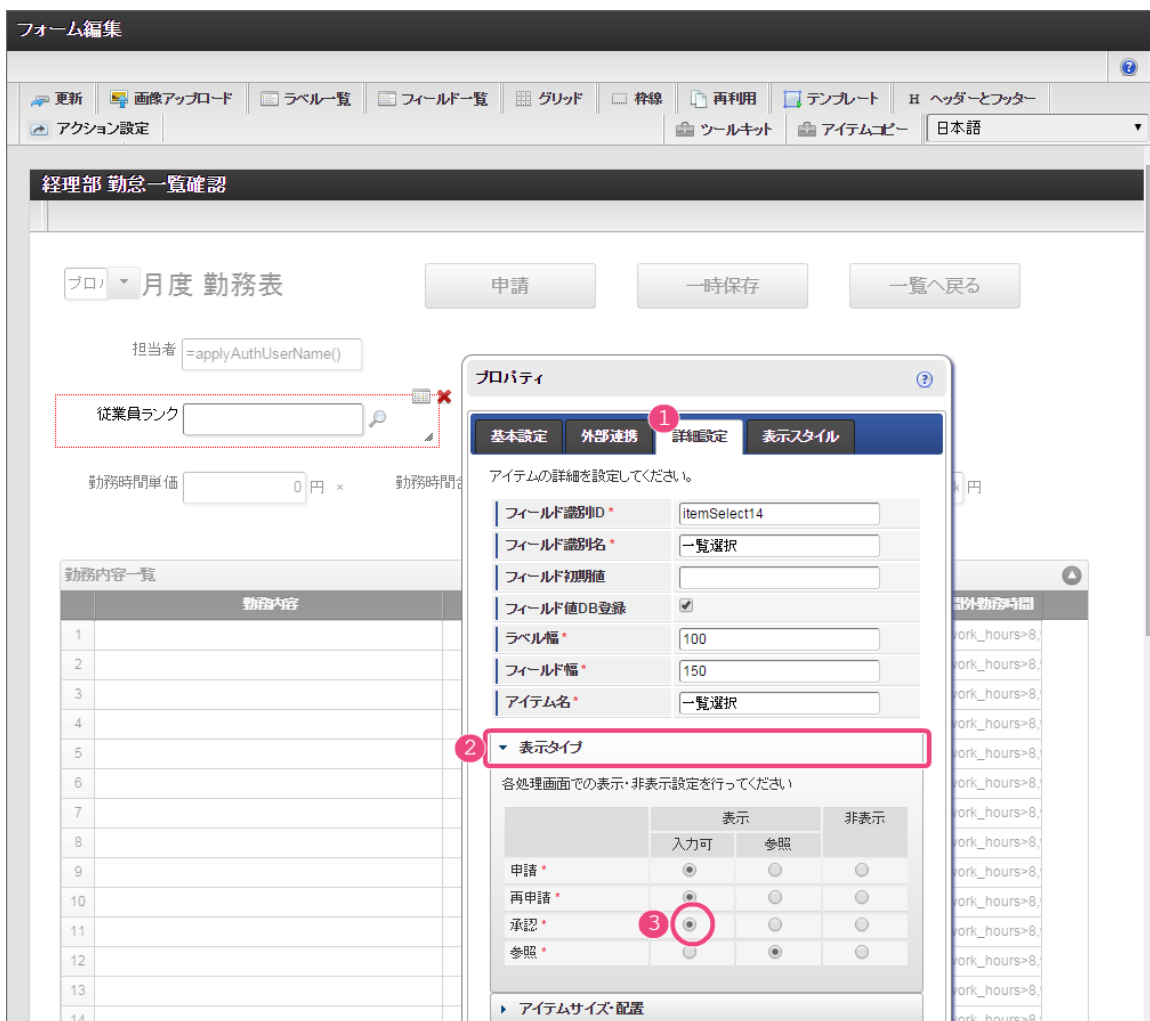


1. 左の欄の「従業員ランク | itemSelect14」のツリーから「時間単価 | col3」をクリックしてください。
2. 右の欄から「勤務時間単価 | workhours_unit」をクリックしてください。
3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。

40. これが一覧画面から従業員ランクと時間単価を検索して入力するための連携が設定できました。
以下の手順でマッピングの設定を終了してください。



1. 「保存」をクリックし、設定内容を保存してください。
 2. 「x」をクリックしてマッピング画面を閉じてください。
41. 引き続き、以下の手順で表示タイプを設定してください。
設定したら、プロパティの外側をクリックして、プロパティを閉じてください。



1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 「表示タイプ」をクリックして、設定項目を展開してください。


3. 「承認」の行で「表示」-「入力可」のラジオボタンをクリックしてください。

42. 経理部承認画面では、一時保存機能を利用しないため、以下の手順で削除してください。



1. 「ボタン（一時保存）」をクリックしてください。
2. アイテム自体を削除するために「X」をクリックしてください。

43. これで経理部画面の設定がすべてできましたので、「更新」をクリックして保存してください。

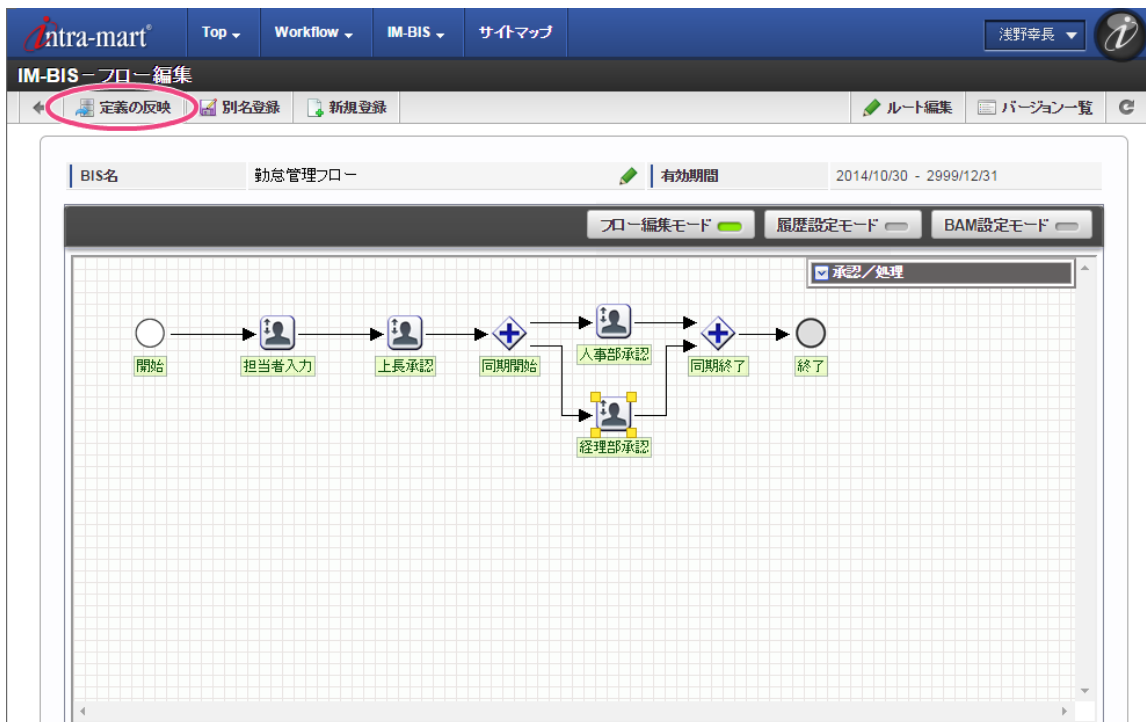
保存できたらフォーム編集画面を右上の「」で閉じてください。



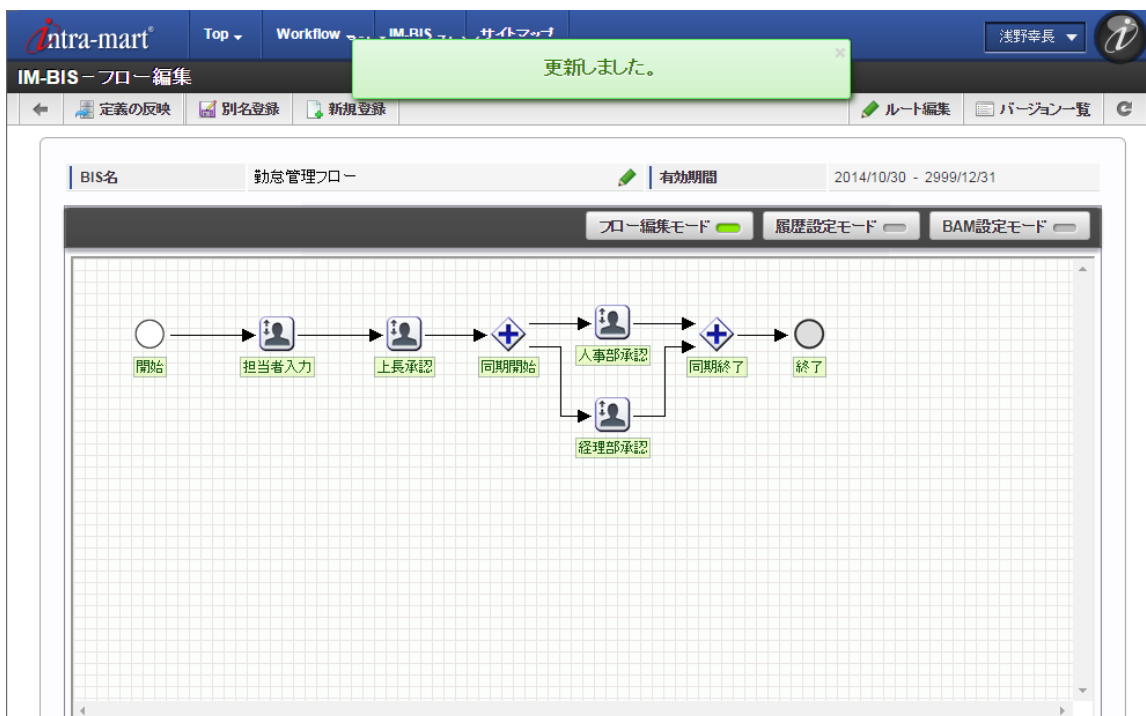
実行に必要な処理を実行する

申請や承認を行うために必要な処理を実行して、フローを完成させてください。

1. フロー編集画面に遷移後、「定義の反映」をクリックしてください。



2. これで、勤怠管理ワークフローを完成させることができました。



関連情報

ここに記載したルートの作成方法やフォームの設定方法の詳細は、以下のドキュメントで説明しております。

- [IM-BIS 業務管理者操作ガイド](#)
- [IM-BIS システム管理者操作ガイド](#)
- [IM-FormaDesigner 作成者操作ガイド](#)

勤怠管理のワークフローを実行してみよう

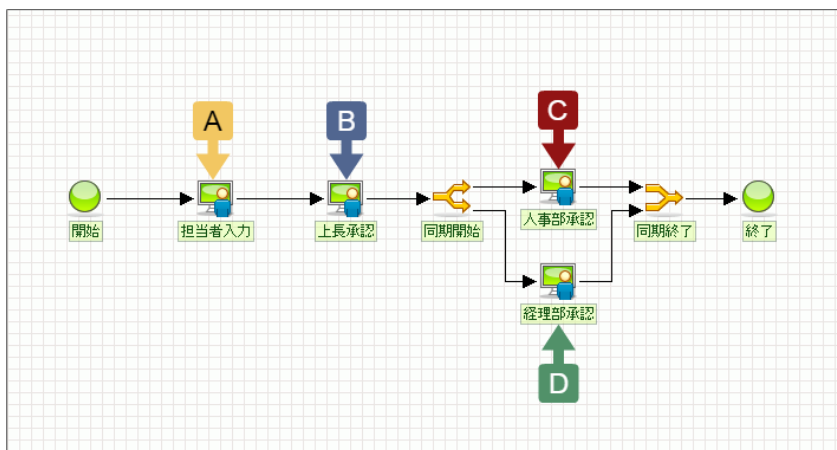
作成した勤怠管理のワークフローをそれぞれのユーザとして実行していきましょう。

勤怠管理のワークフローを実行する手順

- 担当者から勤怠一覧を申請する
- 申請者の所属する組織の部長が承認する
- 人事部の担当者が差戻しする
- 差戻された申請を再度承認する
- 人事部の担当者が承認する
- 経理部の担当者が承認する

- 今回実行するユーザとルート

後述の説明では、操作中のユーザを識別しやすくするために以下の図の各ノードへの矢印の色をテーマに設定しています。



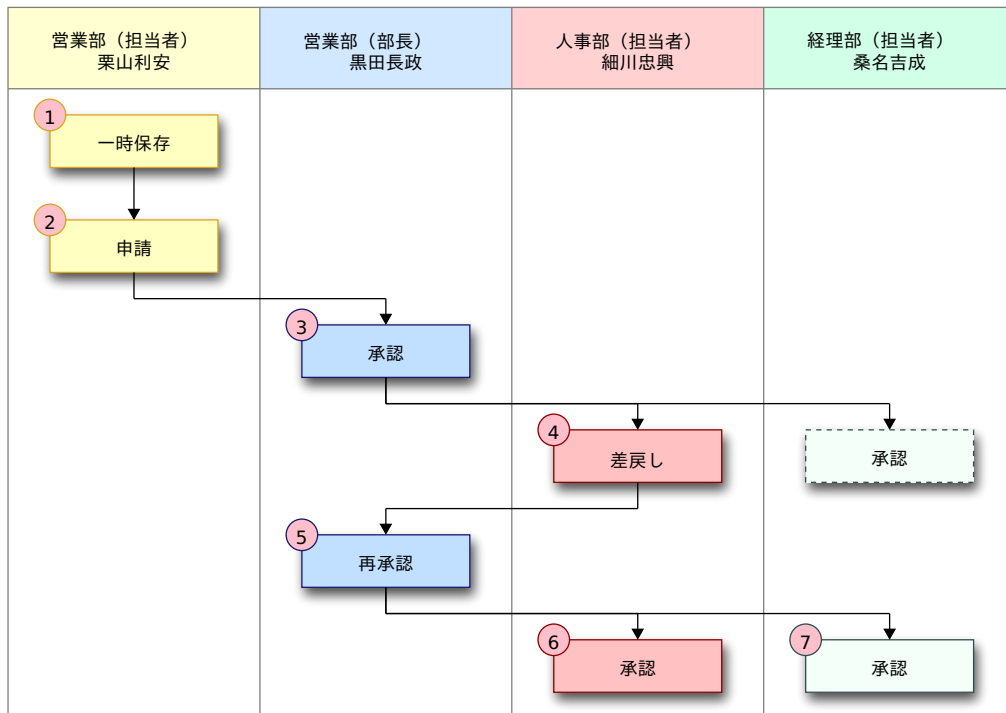
- 図の記号とユーザ

記号	ユーザ
A	営業部（担当者） 栗山利安
B	営業部（部長） 黒田長政
C	人事部（担当者） 細川忠興
D	経理部（担当者） 桑名吉成

- 操作する手順

今回のシナリオの操作手順は以下の図の通りです。

手順中の「経理部（担当者）」の1回目の承認については、同じタイミングの「人事部（担当者）」による差戻しが行われるために実行できません。「経理部（担当者）」は2回目に承認が到達したタイミングで承認してください。

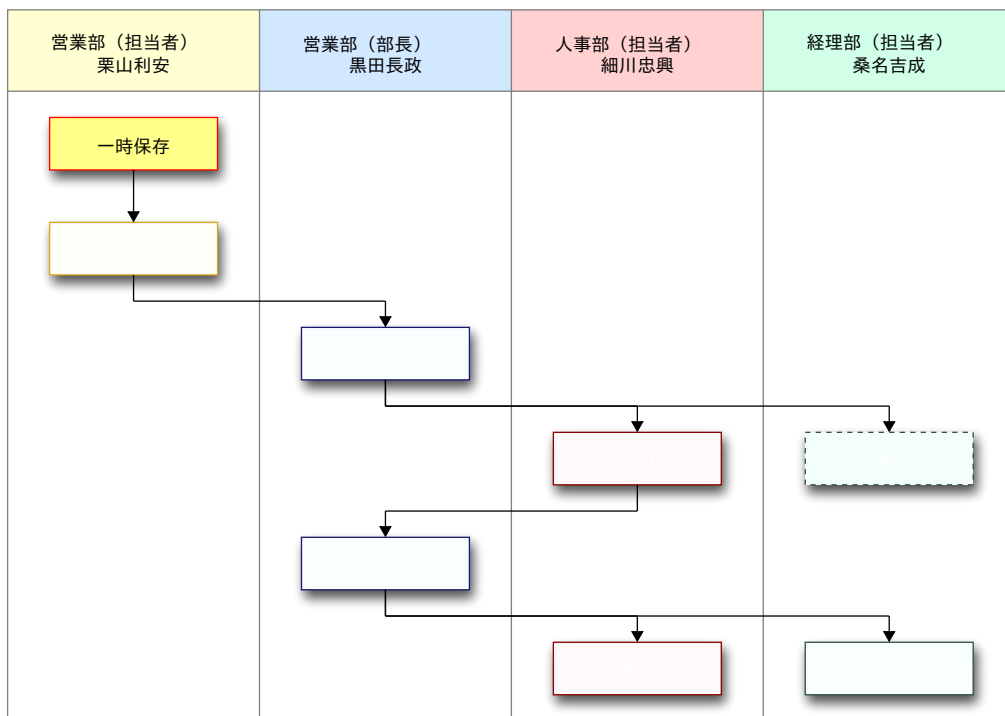


担当者から勤怠一覧を申請する

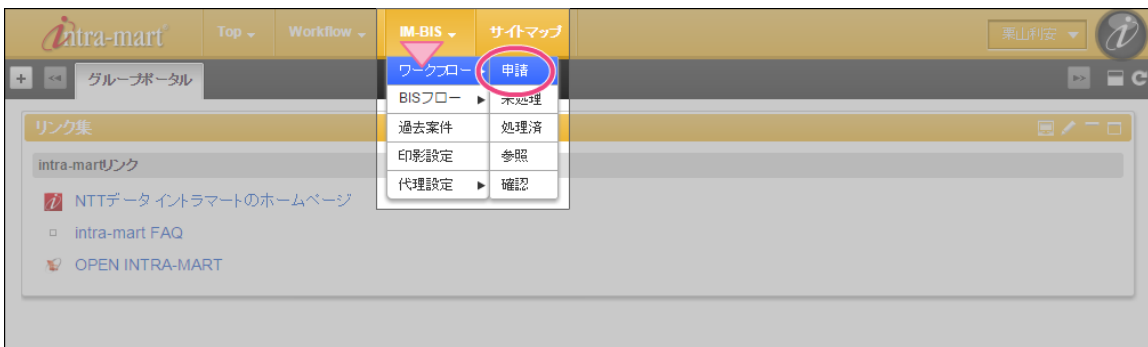
最初の「担当者入力」で処理対象者のユーザでログインし、勤怠管理のワークフローを申請しましょう。

新規に申請書を表示し、一時保存する

まずは新規に勤怠管理を申請するためにワークフローを申請で表示し、1週間分を入力してください。入力後は申請せずに「一時保存」を利用して保存してみましょう。



1. 申請を行う担当でログインしましょう。
(この例では、営業部の担当者「栗山利安」でログインします。)
2. 上部のメニュー (グローバルナビ) の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「申請」をクリックしましょう。



3. 「勤怠管理フロー」の「申請/処理開始」をクリックしてください。



4. 1ヶ月の勤怠を入力するための画面が表示されました。



5. 最初に対象の月をセレクトボックスから選択しましょう。
(例では、10月の勤怠の申請を行います。)

10 月度 勤務表

申請 一時保存 一覧へ戻る

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1				0.0	0.0	0.0
2				0.0	0.0	0.0
3				0.0	0.0	0.0
4				0.0	0.0	0.0
5				0.0	0.0	0.0
6				0.0	0.0	0.0

6. 1日目の勤怠を入力するために、左が「1」と表示されている行をクリックしましょう。

10 月度 勤務表

申請 一時保存 一覧へ戻る

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1				0.0	0.0	0.0
2				0.0	0.0	0.0
3				0.0	0.0	0.0
4				0.0	0.0	0.0
5				0.0	0.0	0.0

7. 今回は、1日目に9:30～19:00（うち昼休憩 1時間）まで出勤した記録を入力するために、各項目には以下の通りに入力してください。

10 月度 勤務表

申請 一時保存 一覧へ戻る

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	出勤	09:30	19:00	1	8.5	0.5
2				0.0	0.0	0.0
3				0.0	0.0	0.0
4				0.0	0.0	0.0
5				0.0	0.0	0.0

- 勤務内容：「出勤」を選択
 - 出社時間：「09:30」を選択
 - 退社時間：「19:00」を選択
 - 休憩時間：「1」（時間）を入力
8. 同様に、2日目、3日目の内容を以下の通りに入力してください。
- 2日目：出勤（9:30～18:30）
 - 3日目：有給休暇

10 月度 勤務表

申請 一時保存 一覧へ戻る

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	出勤	09:30	19:00	1.0	8.5	0.5
2	出勤	09:30	18:30	1.0	8.0	0.0
3	有給休暇			0.0	0.0	0.0
4				0.0	0.0	0.0
5				0.0	0.0	0.0
6				0.0	0.0	0.0
7				0.0	0.0	0.0

9. 一旦、申請しないで入力内容を保存するために、「一時保存」をクリックしてください。

10 月度 勤務表

申請 一時保存 一覧へ戻る

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	出勤	09:30	19:00	1.0	8.5	0.5
2	出勤	09:30	18:30	1.0	8.0	0.0
3	有給休暇			0.0	0.0	0.0
4				0.0	0.0	0.0
5				0.0	0.0	0.0
6				0.0	0.0	0.0
7				0.0	0.0	0.0

10. 案件名に10月の勤怠であることがわかるように入力し、「一時保存」をクリックしましょう。

一時保存

案件名* 勤怠管理フロー(10月分)

申請/処理開始者 栗山利安

申請/開始基準日 2014/11/18

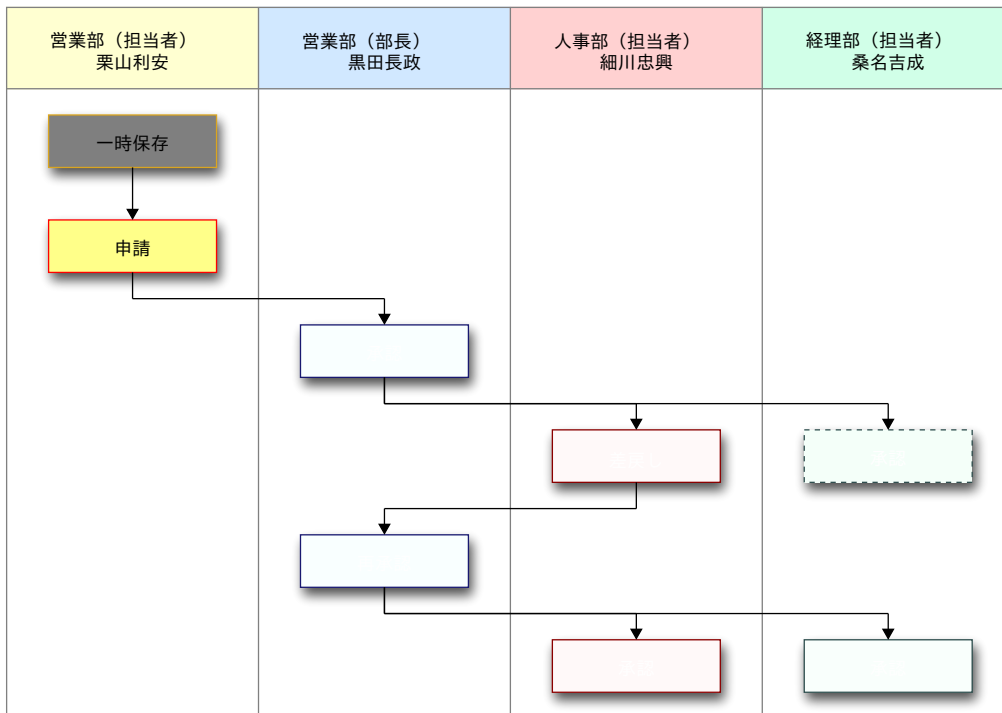
+ コメント

一時保存

11. これで、入力内容を一時保存することができました。

一時保存から呼び出して申請する

一時保存した申請書を再度編集し、申請してみましょう。



1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「申請」をクリックしましょう。



2. 以下の手順で一時保存中の案件を表示してください。



1. 一時保存一覧を表示するために「一時保存」タブをクリックしてください。
2. 対象の案件の「申請/処理開始」をクリックしてください。

コラム

申請基準日の変更

案件を表示する際に、「申請/処理開始」ではなく、「申請/開始基準日」をクリックすると申請基準日を変更できます。

3. 一時保存時に入力した内容がそのまま表示されました。

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	出勤	09:30	19:00	1.0	8.5	0.5
2	出勤	09:30	18:30	1.0	8.0	0.0
3	有給休暇			0.0	0.0	0.0
4				0.0	0.0	0.0
5				0.0	0.0	0.0

4. 以下の手順で申請してください。

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	出勤	09:30	19:00	1.0	8.5	0.5
2	出勤	09:30	18:30	1.0	8.0	0.0
3	有給休暇			0.0	0.0	0.0
4	休日			0.0	0.0	0.0
5	休日			0.0	0.0	0.0
6	出勤	09:00	19:30	1.0	9.5	1.5
7	出勤	09:00	20:00	1.0	10.0	2.0
8	出勤	09:30	19:00	1.5	8.0	0.0
9	出勤	09:30	17:30	1.0	7.0	0.0
10	出勤	09:30	19:00	1.0	8.5	0.5
11	休日			0.0	0.0	0.0

1. 未入力の日に必要な事項を入力してください。

2. 「申請」をクリックしてください。

5. 内容を確認し、「申請」をクリックして申請を実行しましょう。

申請/処理開始 [担当者入力]

案件名* 勤怠管理フロー(10月分)

申請/処理開始者 栗山利安

申請/開始基準日 2014/11/18

担当組織* 営業部 ▼

優先度 通常 ▼

+ コメント

+ 添付ファイル

+ 根回し

申請/処理開始

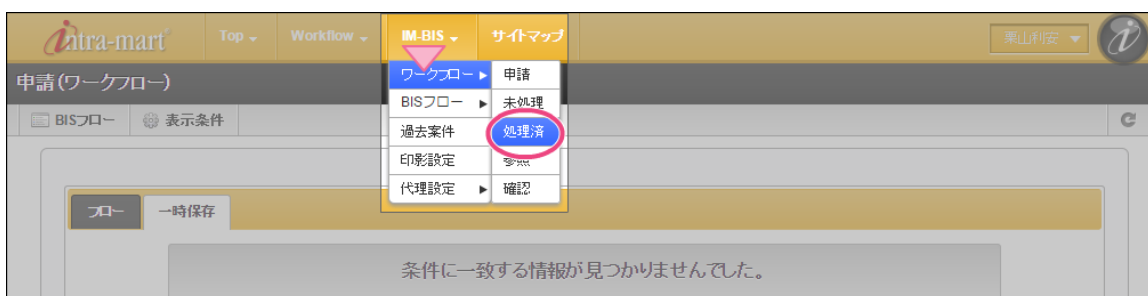
6. これで、一時保存から呼び出したフロー（案件）を申請することができました。



申請した案件の状態を確認する

申請を行ったフロー（案件）の状態や、次の承認者を確認してみましょう。

1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。

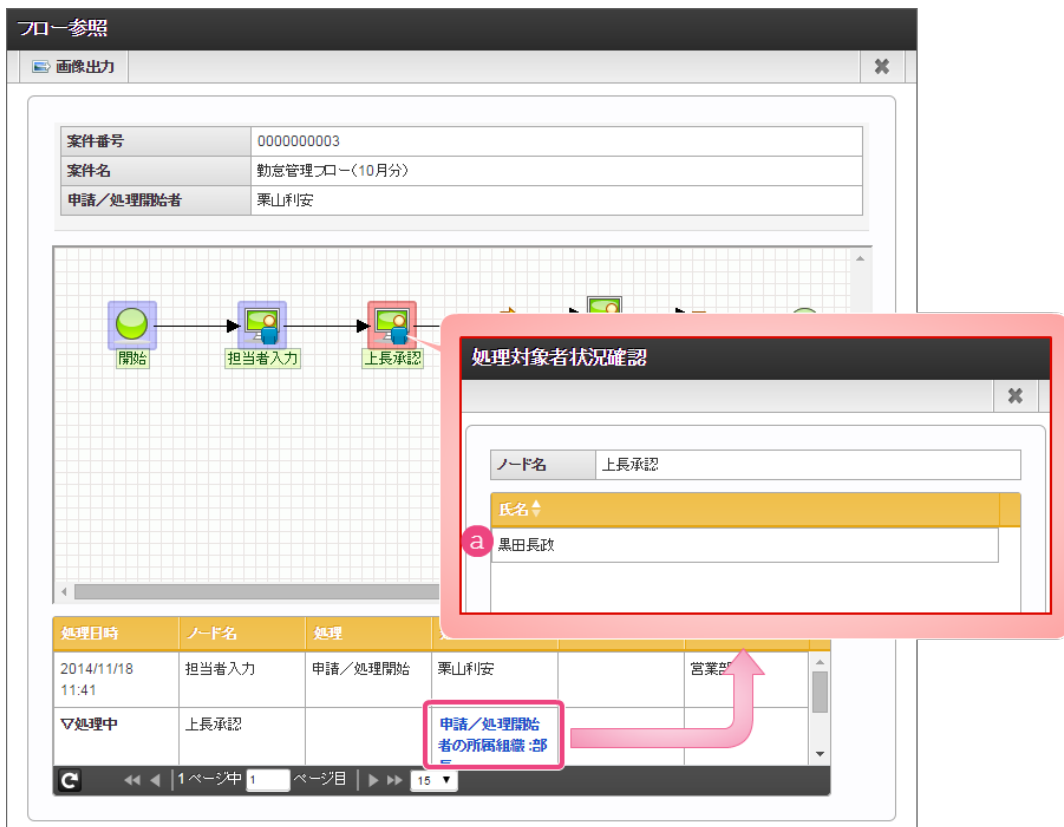


2. 申請を行ったフロー（案件）の「フロー」をクリックしましょう。



3. 現在処理中のノードが赤で表示されます。

下の一覧に青字で表示されている「申請/処理開始者の所属組織：部長」をクリックすると、ノードの処理が実行できるユーザを確認できます。



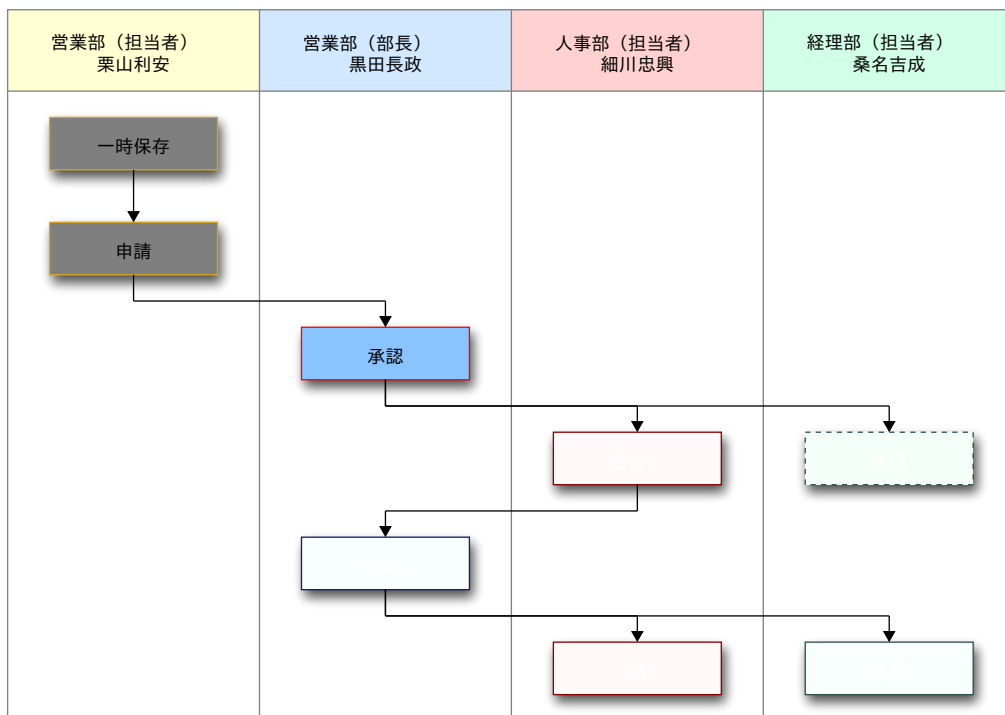
- a. 処理対象のユーザ
 フロー上のノードに設定された組織などの情報から取得されたユーザを表示します。
 処理中のノードに対し、この欄に表示されるユーザが承認などの処理を実行できます。

申請者の所属する組織の部長が承認する

部下から申請された勤怠一覧のフローを承認してみましょう。

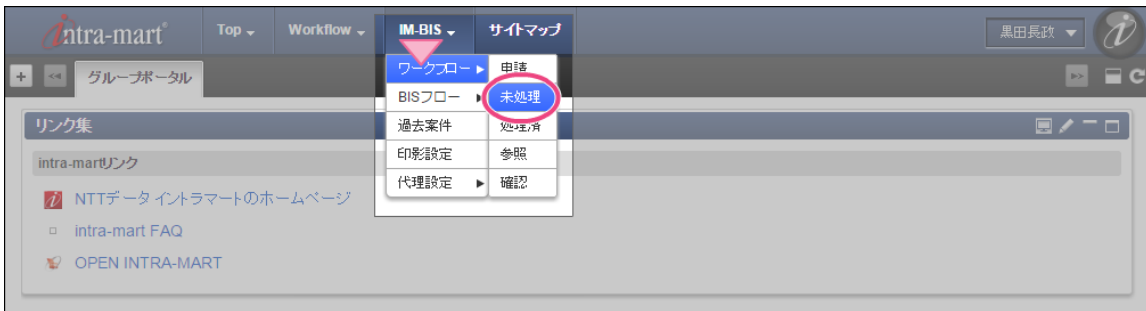
部長が申請された内容を確認し、承認する

部下からの申請書を確認し、承認しましょう。



1. 上長承認を行う上長でログインしましょう。
 (この例では、営業部の部長「黒田長政」でログインします。)

2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。



3. 未処理の一覧には、先ほど担当者から申請されたフロー（案件）が表示されていますので、「処理」をクリックしましょう。



4. 先の担当者が申請した内容が表示されました。



5. 内容を確認し、「承認」をクリックしましょう。



6. 承認するために「承認/処理」をクリックしてください。
コメント欄をクリックすると、コメントを入力することができます。

処理 [上長承認]

処理種別* 承認/処理

案件番号 0000000003

案件名 勤怠管理フロー(10月分)

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	栗山利安
申請/開始基準日	2014/11/18
申請/処理開始日	2014/11/18

処理者* 黒田長政

担当組織* 営業部

コメント

確認しました。
実績記録との問題ありません。

根回し

承認/処理

i コラム

処理時のコメント入力

処理時にコメントを入力したい場合は以下の手順で入力できます。

1. コメント欄を展開するために、コメント左のアイコンをクリックしてください。
2. 表示されたコメント欄に必要な内容を入力してください。

7. これで、部下の申請を承認することができました。

Intra-mart Top Workflow IM-BIS サイトマップ 黒田長政

未処理(ワークフロー)

BISフロー 連続処理 一括処理 表示条件

本人 代理

申請 承認 申請 承認

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

承認した案件の状態を確認する

承認を行ったフロー（案件）の状態や、次の承認者を確認してみましょう。

1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。

Intra-mart Top Workflow IM-BIS サイトマップ 黒田長政

未処理(ワークフロー)

BISフロー 連続処理 一括処理 表示条件

本人 代理

申請 承認 申請 承認

ワークフロー ▶ 申請

BISフロー ▶ 未処理

過去案件 処理済

印象設定 参照

代理設定 ▶ 確認

2. 承認を行ったフロー（案件）が表示されますので、 をクリックしましょう。

未完了案件 | 完了案件

自案件 | 他者案件

本人 | 代理先 | 本人 | 代理元

申請済 | 処理済 | 申請済 | 処理済 | 申請済 | 処理済 | 申請済 | 処理済

引戻	優先度	案件番号	案件名	申請/開始	申請/処理	申請/処理	フロー名	最終処理日	フロー	履歴
		0000000003	勤怠管理フロー<10月分>	2014/11/18	2014/11/18	栗山利安	勤怠管理フロー	2014/11/18		

3. 現在処理中の対象者が赤で表示されます。

下の一覧に青字で表示されている「人事部」「経理部」をそれぞれクリックすると、ノードの処理が実行できるユーザを確認できます。

フロー参照

画像出力

案件番号: 0000000003
案件名: 勤怠管理フロー<10月分>
申請/処理開始者: 栗山利安

処理日時 | ノード名 | 処理 | 処理者 | 代理先

2014/11/18 11:48	上長承認	承認/処理	黒田長政	
▽処理中	人事部承認		人事部	
▽処理中	経理部承認		経理部	

1 ページ中 1 ページ目 15

a. 処理対象のユーザ（人事部）

フロー上のノードには「組織：人事部」が設定されているため、人事部に所属するユーザが表示されています。

b. 処理対象のユーザ（経理部）

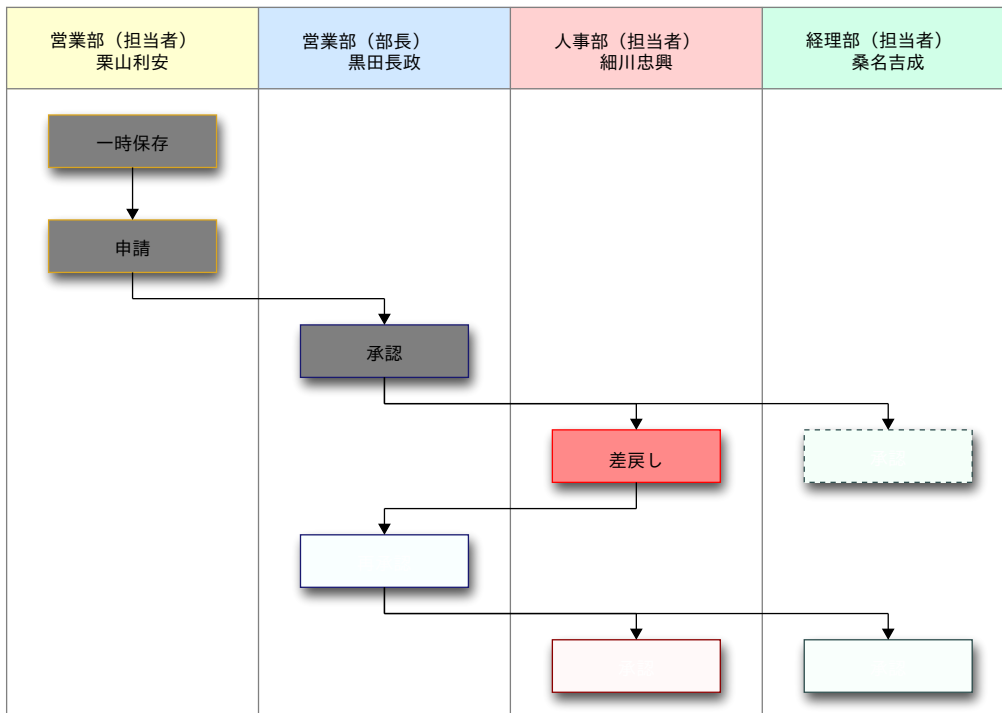
フロー上のノードには「組織：経理部」が設定されているため、経理部に所属するユーザが表示されています。

人事部の担当者が差戻しする

営業から申請された内容を人事部の担当者が確認し、不備があるために差し戻し手順を確認しましょう。

営業部から申請された内容を確認し、差戻しする

営業部からの申請書を確認し、差戻ししましょう。



1. 人事部承認を行う担当者がログインしましょう。
(この例では、人事部の担当者「細川忠興」でログインします。)
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。



3. 未処理の一覧には、承認されたフロー（案件）が表示されていますので、「処理」をクリックしましょう。



4. 営業部の担当者が申請した内容が表示されました。
内容を確認し、「承認」をクリックしましょう。

10 月度勤務表 承認 一覧へ戻る

勤務内容一覧						
	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	出勤	09:30	19:00	1.0	8.5	0.5
2	出勤	09:30	18:30	1.0	8.0	0.0
3	有給休暇			0.0	0.0	0.0
4	休日			0.0	0.0	0.0
5	休日			0.0	0.0	0.0
6	出勤	09:00	19:30	1.0	9.5	1.5
7	出勤	09:00	20:00	1.0	10.0	2.0

5. 処理種別に「差戻し」を選択しましょう。

処理【人事部承認】

処理種別* 承認/処理
承認/処理
 否認/取止め
差戻し

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	栗山利安
申請/開始基準日	2014/11/18
申請/処理開始日	2014/11/18

処理者* 細川忠興
 担当組織* 人事部

承認/処理

6. 差戻し先が表示されますので、営業部の部長に差戻すために「上長承認」のチェックボックスをクリックしましょう。

処理【人事部承認】

処理種別* 差戻し

案件番号 0000000003

案件名 勤怠管理フロー(10月分)

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	栗山利安
申請/開始基準日	2014/11/18
申請/処理開始日	2014/11/18

処理者* 細川忠興
 担当組織* 人事部

差戻し先*

選択	ノード名	処理	処理者
<input type="checkbox"/>	担当者入力	申請/処理開始	栗山利安
<input checked="" type="checkbox"/>	上長承認	承認/処理	黒田長政

差戻し

7. 処理時のコメントを入力し、「差戻し」をクリックしましょう。

処理種別* 差戻し

案件番号 0000000003

案件名 勤怠管理フロー<10月分>

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	栗山利安
申請/開始基準日	2014/11/18
申請/処理開始日	2014/11/18

処理者* 細川忠興

担当組織* 人事部

コメント

栗山さんの実績記録簿と照合するために実績簿をメールにて送付ください。

差戻し先*

選択	ノード名	処理	処理者
<input type="checkbox"/>	担当者入力	申請/処理開始	栗山利安
<input checked="" type="checkbox"/>	上長承認	承認/処理	黒田長政

根回し

差戻し

8. これで、申請を差戻すことができました。

intra-mart Top IM-BIS サイトマップ 細川忠興

未処理(ワークフロー)

BISフロー 連続処理 一括処理 表示条件

本人 代理

申請 承認 申請 承認

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

差戻した案件の状態を確認する

差戻しを行ったフロー（案件）の状態や、次の承認者を確認してみましょう。

1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。

intra-mart Top IM-BIS サイトマップ 細川忠興

未処理(ワークフロー)

BISフロー 連続処理 一括処理 表示条件

本人 代理

申請 承認 申請 承認

ワークフロー 申請

BISフロー 未処理

過去案件 処理済

印影設定 参照

代理設定 確認

2. 差戻しを行ったフロー（案件）が表示されますので、「フロー」をクリックしましょう。

未完了案件 完了案件

自案件
本人 申請済 処理済
代理先 申請済 処理済

他者案件
本人 申請済 処理済
代理元 申請済 処理済

引戻	優先度	案件番号	案件名	申請/開始	申請/処理	申請/処理	フロー名	最終処理日	フロー	履歴
		0000000003	勤怠管理フロー<10月分>	2014/11/18	2014/11/18	栗山利安	勤怠管理フロー	2014/11/18		

3. 現在処理中の対象者が赤で表示されます。

下の一覧に青字で表示されている「申請/処理管理者の所属組織：部長」をクリックすると、ノードの処理が実行できるユーザを確認できます。

フロー参照

画像出力

案件番号: 0000000003
案件名: 勤怠管理フロー<10月分>
申請/処理開始者: 栗山利安

開始 → 担当者入力 → 上長承認 → 人事部承認

処理対象者状況確認

ノード名: 上長承認
氏名: 黒田長政

処理日時	ノード名	処理	申請/処理開始者	所属組織
2014/11/18 11:41	担当者入力	申請/処理開始	栗山利安	営業部
▽処理中	上長承認			

申請/処理管理者の所属組織: 部

a. 処理対象のユーザ

差戻しを行った場合、再処理が必要なノードは既処理者のみが処理できます。

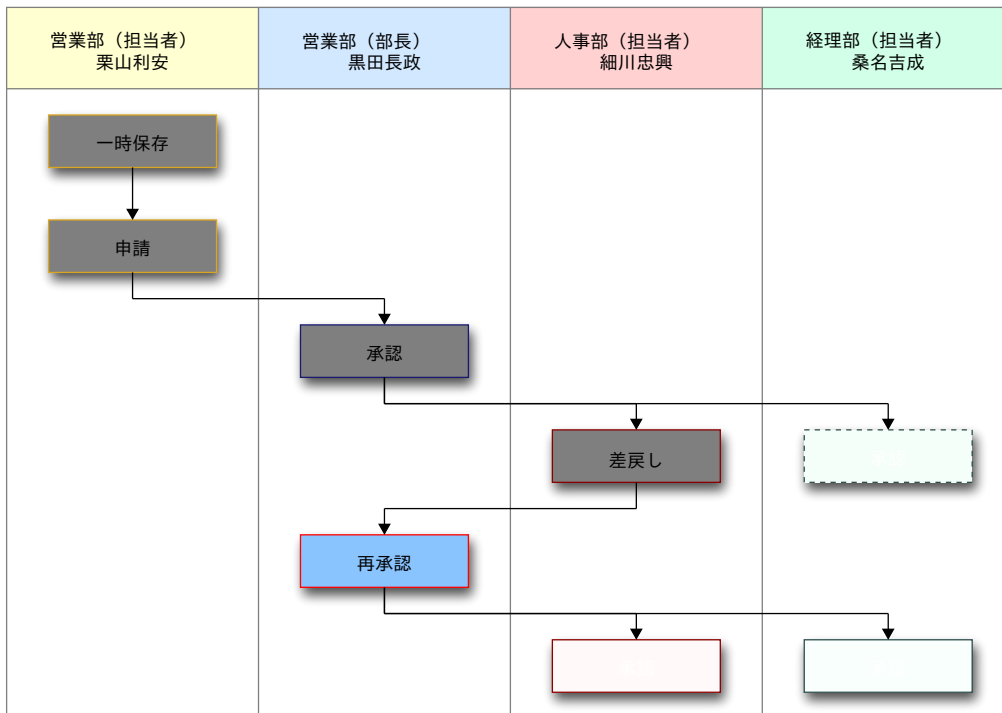
対象のノードに組織などを設定している場合であっても、既処理者でないユーザは処理できません。

差戻された申請を再度承認する

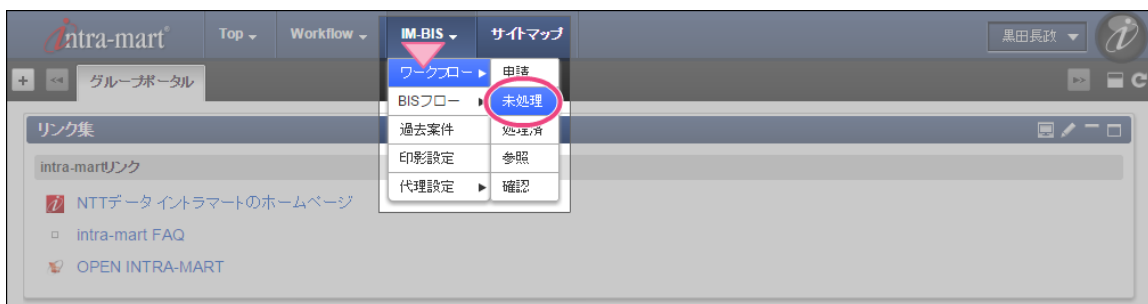
先ほど、人事部から差戻しが行われた申請を再度承認しましょう。

部長が申請された内容を確認し、承認する

差戻された申請書を確認し、承認しましょう。



1. 上長承認を行う上長でログインしましょう。
(この例では、営業部の部長「黒田長政」でログインします。)
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。



3. 未処理の一覧には、先ほど人事部担当者から差戻しされたフロー（案件）が表示されていますので、「処理」をクリックしましょう。



4. 内容を確認し、「承認」をクリックしましょう。

10 月度 勤務表 承認 一覧へ戻る

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	出勤	09:30	19:00	1.0	8.5	0.5
2	出勤	09:30	18:30	1.0	8.0	0.0
3	有給休暇			0.0	0.0	0.0
4	休日			0.0	0.0	0.0
5	休日			0.0	0.0	0.0
6	出勤	09:00	19:30	1.0	9.5	1.5
7	出勤	09:00	20:00	1.0	10.0	2.0

5. 承認するために「承認／処理」をクリックしてください。

処理【上長承認】

処理種別* 承認／処理

案件番号 0000000003

案件名 勤怠管理フロー(10月分)

申請／処理開始情報

申請／処理開始者	栗山利安
申請／開始基準日	2014/11/18
申請／処理開始日	2014/11/18

処理者* 黒田長政

担当組織* 営業部

コメント
コメントいただいた件については、メールで連絡済。

+ 根回し

承認／処理

6. これで、申請を再承認することができました。

未処理(ワークフロー)

BISフロー 連続処理 一括処理 表示条件

本人	代理
申請 承認	申請 承認

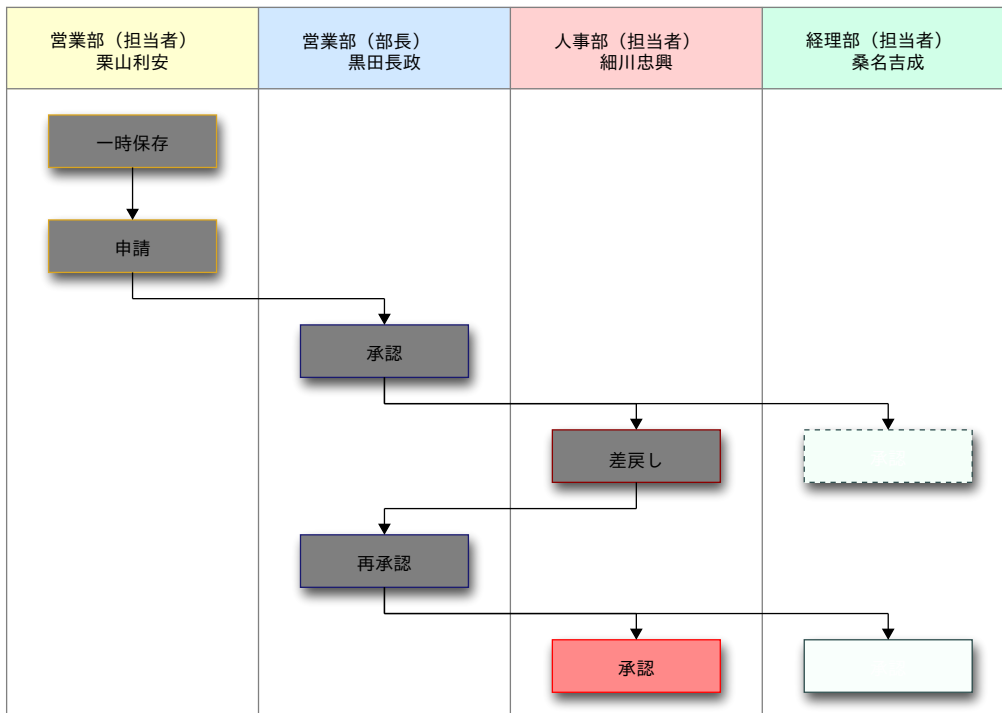
条件に一致する情報が見つかりませんでした。

人事部の担当者が承認する

人事部の担当者が再度処理が回ってきた申請を承認しましょう。

再度承認された内容を確認し、承認する

再度承認された申請書を確認し、承認しましょう。



1. 人事部承認を行う担当でログインしましょう。
(この例では、人事部の担当者「細川忠興」でログインします。)
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。



3. 未処理の一覧には、先ほど営業部の部長が再承認したフロー（案件）が表示されていますので、「処理」をクリックしましょう。



4. 内容を確認し、「承認」をクリックしましょう。

10 月度 勤務表 承認 一覧へ戻る

勤務内容一覧

	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	出勤	09:30	19:00	1.0	8.5	0.5
2	出勤	09:30	18:30	1.0	8.0	0.0
3	有給休暇			0.0	0.0	0.0
4	休日			0.0	0.0	0.0
5	休日			0.0	0.0	0.0
6	出勤	09:00	19:30	1.0	9.5	1.5

5. 承認するために「承認/処理」をクリックしてください。

処理 [人事部承認]

処理種別* 承認/処理

案件番号 0000000003

案件名 勤怠管理フロー(10月分)

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	栗山利安
申請/開始基準日	2014/11/18
申請/処理開始日	2014/11/18

処理者* 細川忠興

担当組織* 人事部

コメント 実績との確認が人事部でも実施できました。

根回し

承認/処理

6. これで、承認することができました。

未処理(ワークフロー)

BISフロー 連続処理 一括処理 表示条件

本人 申請 承認 代理 申請 承認

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

承認した案件の状態を確認する

承認を行ったフロー（案件）の状態や、次の承認者を確認してみましょう。

1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。

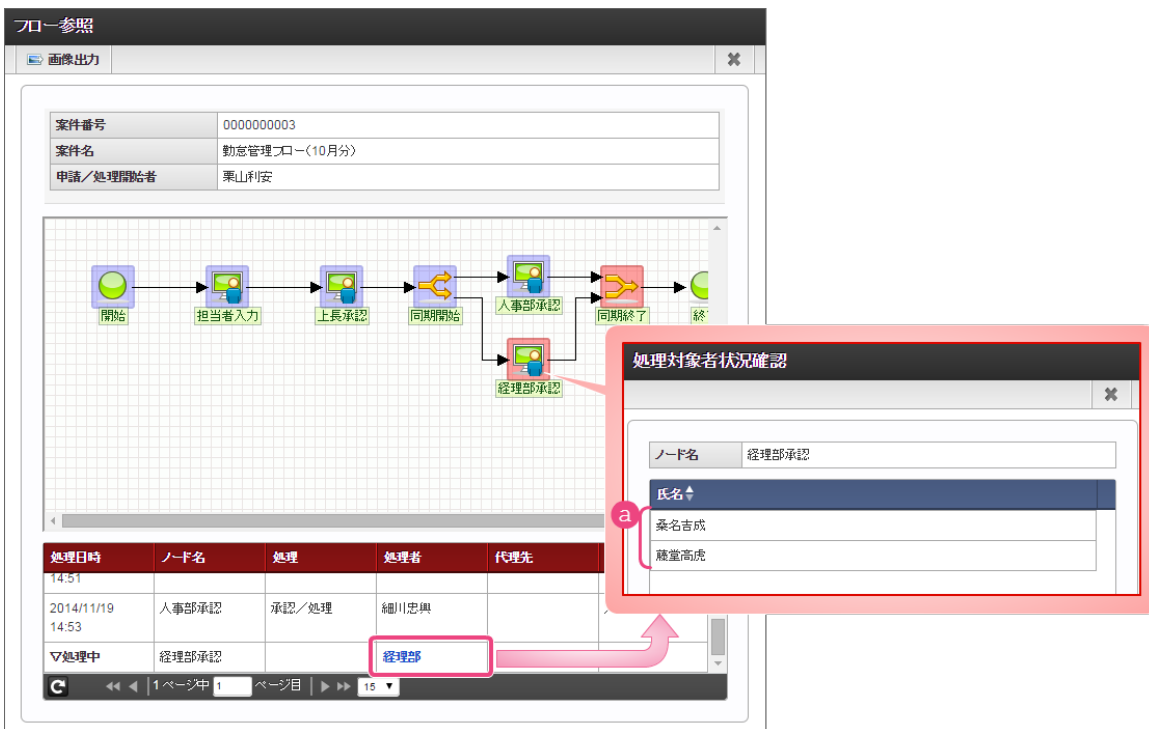


2. 承認を行ったフロー（案件）が表示されますので、「フロー」をクリックしましょう。



3. 現在処理中の対象者が赤で表示されます。

下の一覧に青字で表示されている「経理部」をクリックすると、ノードの処理が実行できるユーザを確認できます。



a. 処理対象のユーザ（経理部）

フロー上のノードには「組織：経理部」が設定されているため、経理部に所属するユーザが表示されています。

コラム

同期の終了条件

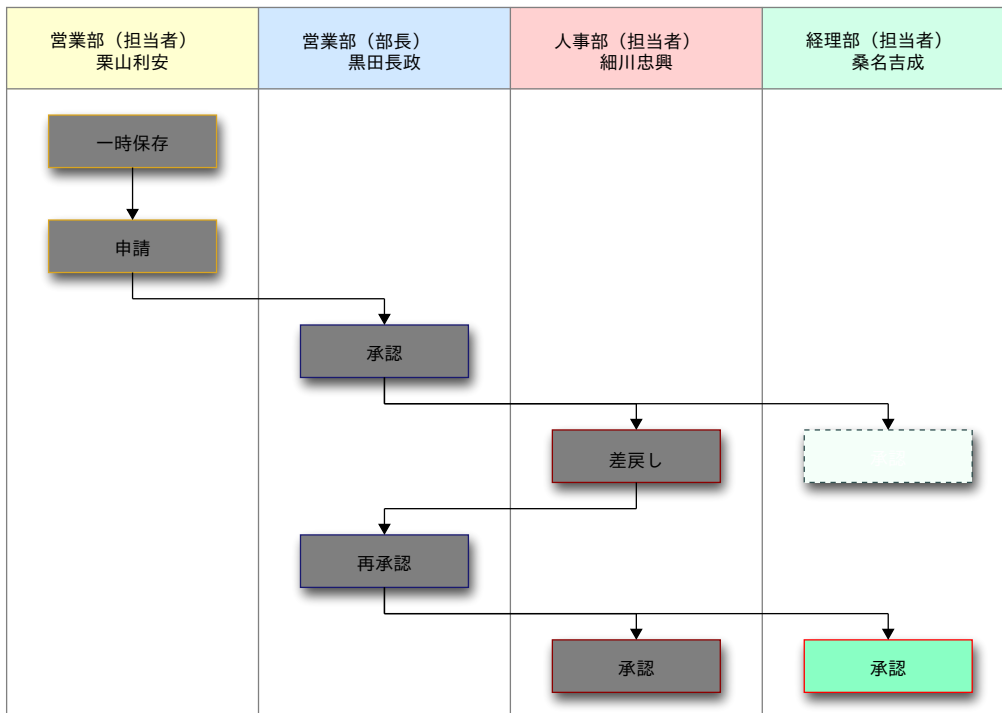
同期終了ノードは、同期終了ノードの前に接続しているすべてのノードが承認されないと完了にならないため、この時点のフローは処理中（赤）で表示されます。

経理部の担当者が承認する

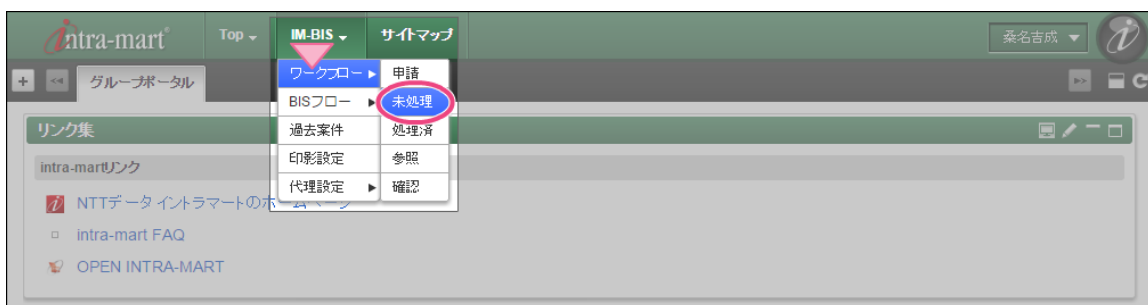
経理部の担当者が勤怠一覧の申請を承認しましょう。

再度承認された内容を確認し、承認する

再度承認された申請書を確認し、承認しましょう。



1. 経理部承認を行う担当者がログインしましょう。
(この例では、人事部の担当者「桑名吉成」でログインします。)
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。



3. 未処理の一覧には、営業部の担当者が申請したフロー（案件）が表示されていますので、「処理」をクリックしましょう。



4. 従業員リンクを入力するために、虫眼鏡のアイコンをクリックしましょう。

10 月度勤務表

担当者

従業員ランク

勤務時間単価 円 × 勤務時間合計 時間 = 合計 円

勤務内容一覧						
	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	出勤	09:30	19:00	1.0	8.5	0.5
2	出勤	09:30	18:30	1.0	8.0	0.0
3	有給休暇			0.0	0.0	0.0
4	休日			0.0	0.0	0.0

5. 検索結果から「一般」をクリックしてください。

一覧選択画面

▶ 詳細条件

従業員ランク	従業員ランク名	時間単価
entry	エントリー	1000
general	一般	1500
leader	リーダー	2000
manager	管理者	2500

6. 勤務時間単価が設定され、その結果に基づいて、月間の担当者の人件費が計算されました。右の合計欄は選択された「従業員ランク」の値に基づいて変更される度に自動で計算します。

10 月度勤務表

担当者

従業員ランク

勤務時間単価 円 × 勤務時間合計 時間 = 合計 円

勤務内容一覧						
	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間
1	出勤	09:30	19:00	1.0	8.5	0.5
2	出勤	09:30	18:30	1.0	8.0	0.0
3	有給休暇			0.0	0.0	0.0
4	休日			0.0	0.0	0.0

7. 内容を確認し、「承認」をクリックしましょう。

10 月度勤務表 承認 一覧へ戻る

担当者 栗山利安

従業員ランク 一般

勤務時間単価 1,500 円 × 勤務時間合計 176 時間 = 合計 264,000 円

勤務内容一覧							
	勤務内容	出社時間	退社時間	休憩時間	勤務時間	時間外勤務時間	
1	出勤	09:30	19:00	1.0	8.5	0.5	
2	出勤	09:30	18:30	1.0	8.0	0.0	
3	有給休暇			0.0	0.0	0.0	
4	休日			0.0	0.0	0.0	

8. 承認するために「承認/処理」をクリックしてください。

処理 [経理部承認]

処理種別* 承認/処理

案件番号 0000000003

案件名 勤怠管理フロー(10月分)

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	栗山利安
申請/開始基準日	2014/11/18
申請/処理開始日	2014/11/18

処理者* 桑名吉成

担当組織* 経理部

+ コメント

+ 根回し

承認/処理

9. これで、承認することができました。

未処理(ワークフロー)

BISフロー 連続処理 一括処理 表示条件

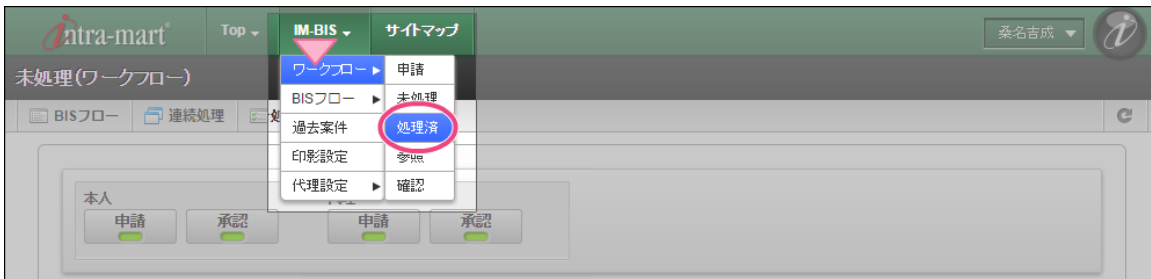
本人 申請 承認 代理 申請 承認

条件に一致する情報が見つかりませんでした。

承認した案件の状態を確認する

処理が完了したフロー(案件)の状態を確認してみましょう。

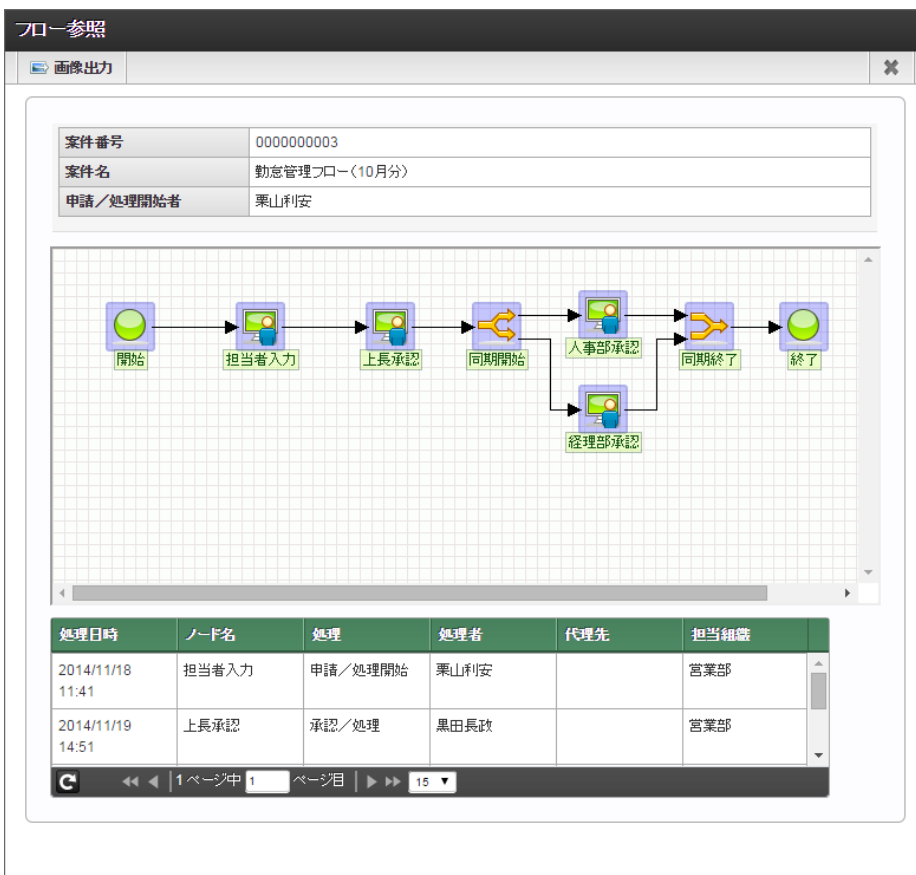
1. 上部のメニュー(グローバルナビ)の「IM-BIS」→「ワークフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。



2. フロー（案件）が完了しているため、未完了案件には表示されません。
完了案件をクリックして切り替えると、承認を行ったフロー（案件）が表示されますので、「フロー」をクリックしましょう。



3. すべてのノードが薄紫で表示され、案件の処理がすべて完了していることが確認できました。



問い合わせ対応の業務プロセスを作成するための準備

問い合わせ対応の業務プロセスでは、一部の項目の入力補助として、データベースに登録しているマスタ情報を参照する設定を行います。シナリオに従って操作を行う前に、準備作業として、これら参照するマスタを IM-FormaDesigner の標準アプリケーションで作成し、データを登録しましょう。

問い合わせ対応の業務プロセスでマスタを参照している項目

勤怠管理のワークフローでマスタを参照している項目は、対象製品です。

本章では、項目「対象製品」で利用するマスタを作成します。

製品マスタ

製品マスタは問い合わせでの製品名を入力するために利用します。

対象製品の虫眼鏡アイコンから検索画面を呼び出し、製品マスタから製品を選択できます。

The screenshot shows the 'お問い合わせ内容の入力' (Inquiry Content Input) screen in the Intra-mart system. The '対象製品' (Target Product) field is set to 'データ管理の浦島太郎'. A magnifying glass icon is present next to the field. A search window titled '一覧選択画面' (List Selection Screen) is open, displaying a table of products. The product 'データ管理の浦島太郎' is highlighted with a red box. A red arrow points from the magnifying glass icon to the search window, and another red arrow points from the search window back to the '対象製品' field.

製品ID	製品名
P001	文書作成！桃太郎
P002	金太郎の表計算
P003	一休法師の九九(九九の歌)
P004	データ管理の浦島太郎
P005	田舎の物語(浦島太郎)

製品マスタを作成する

製品を管理するマスタを作成していきましょう。

アプリケーションの登録を始める

1. BIS管理者に設定したユーザでログインしましょう。
(今回の例では、「浅野幸長」でログインします。)
2. サイトマップ「Forma管理画面」の「Formaアプリ作成管理」配下にある「アプリ一覧」をクリックしてください。



3. アプリケーション一覧が表示されます。

製品マスタのアプリケーションを新規に登録するために、「登録」をクリックしてください。



4. アプリケーションの基本情報では、以下の通りに入力してください。



項目	設定内容
a アプリケーションID	m_product
b アプリケーション種別	標準
c 有効日付（開始）	アプリケーションの利用開始日
d 一覧表示タイプ	標準の一覧を利用する <ul style="list-style-type: none"> 「一覧表示タイプ」は IM-FormaDesigner 2015 Spring (8.0.9)以降で設定できる項目です。
e アプリケーション名	製品マスタ

コラム

アプリケーションのロケールについて

アプリケーションのロケールは、マスタにデータを登録するユーザ（この例では、経理部や人事部）のロケールにあわせて設定してください。intra-mart Accel Platform のロケールが複数（日英中など）となっている場合でも、登録するユーザが日本語ロケールのみであれば、日本語のみのままで問題ありません。

- 必要な情報を入力したら「登録」をクリックしましょう。
確認メッセージでは「決定」をクリックして、次の作業に進みます。

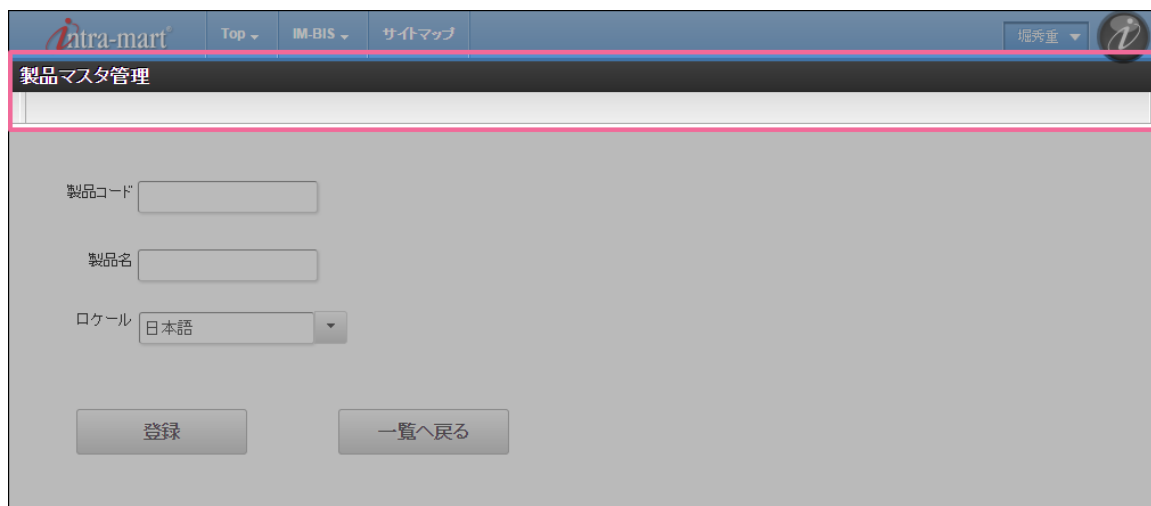
画面のレイアウトを設定する

画面のレイアウトを設定します。
今回は、以下のような画面を作成していきましょう。

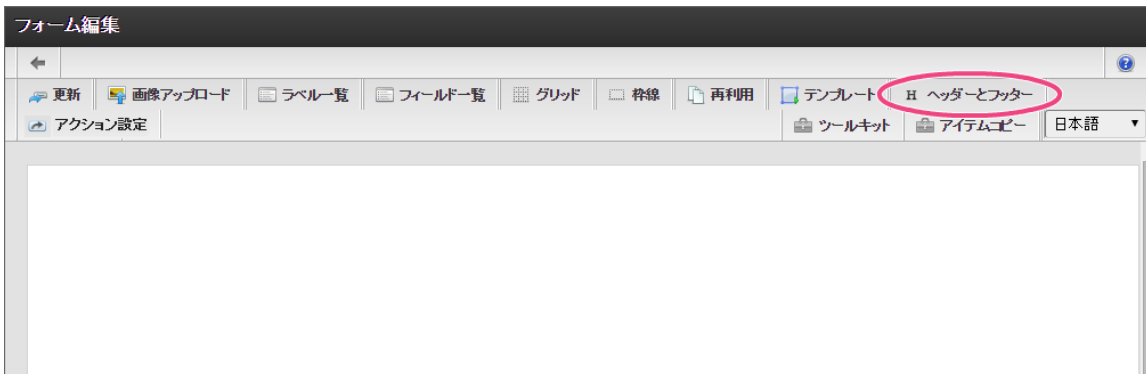


ヘッダーを設定する

最初に画面上部のヘッダー部分を設定していきましょう。
ここでの設定箇所は、以下の図で枠に囲まれた部分が該当します。



- 最初に画面のヘッダを作成するために「ヘッダーとフッター」をクリックしてください。



2. 「ヘッダー設定」では、以下の通りに入力し、「設定」をクリックしてください。

項目	設定内容
a ヘッダー設定	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
b タイトル名	製品マスタ管理

3. ヘッダーを設定することができました。



入力項目を配置する

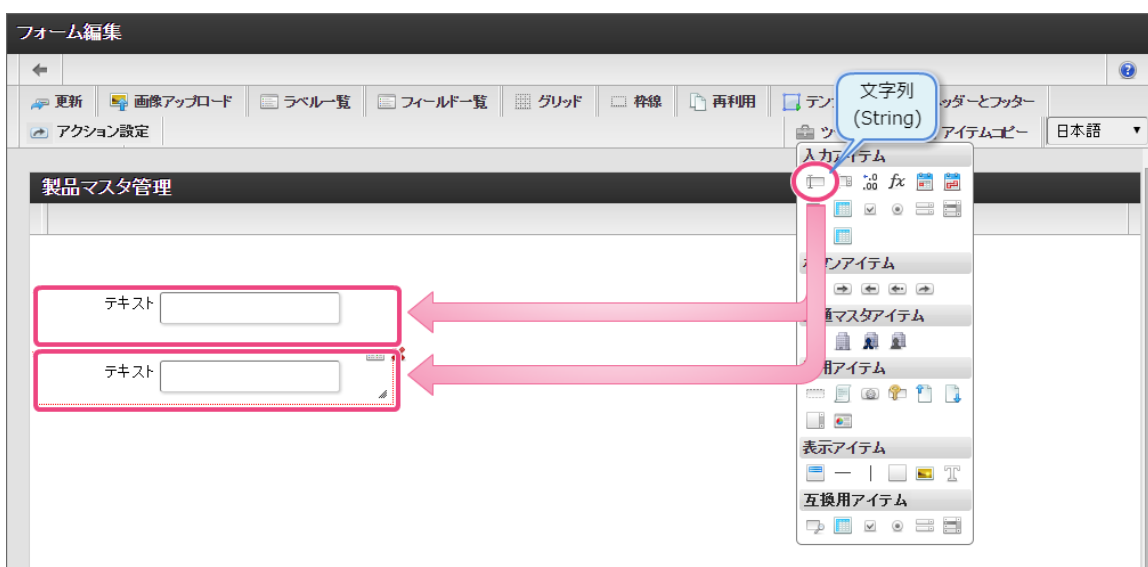
データの入力項目を設定しましょう。

ここでの設定箇所は、以下の図で枠に囲まれた部分が該当します。

1. 「ツールキット」をクリックして、ツールキットを表示しましょう。



2. 入力アイテムの「文字列」を2つドラッグ&ドロップで配置してください。



3. 配置した「文字列」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。

「基本設定」では以下の通りに入力してください。

入力が終わったら、「詳細設定」タブをクリックしてください。

- 製品コード



項目	設定内容
ラベル	製品コード

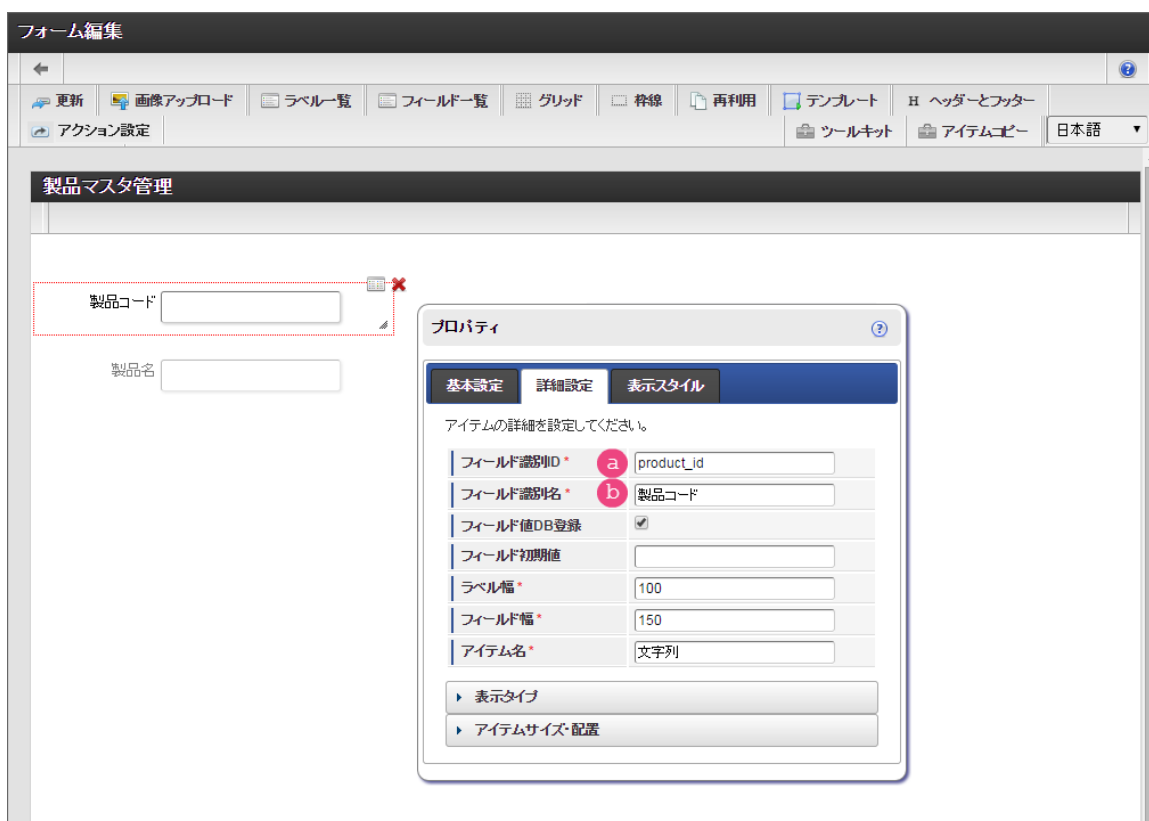
- 製品名



項目	設定内容
ラベル	製品名

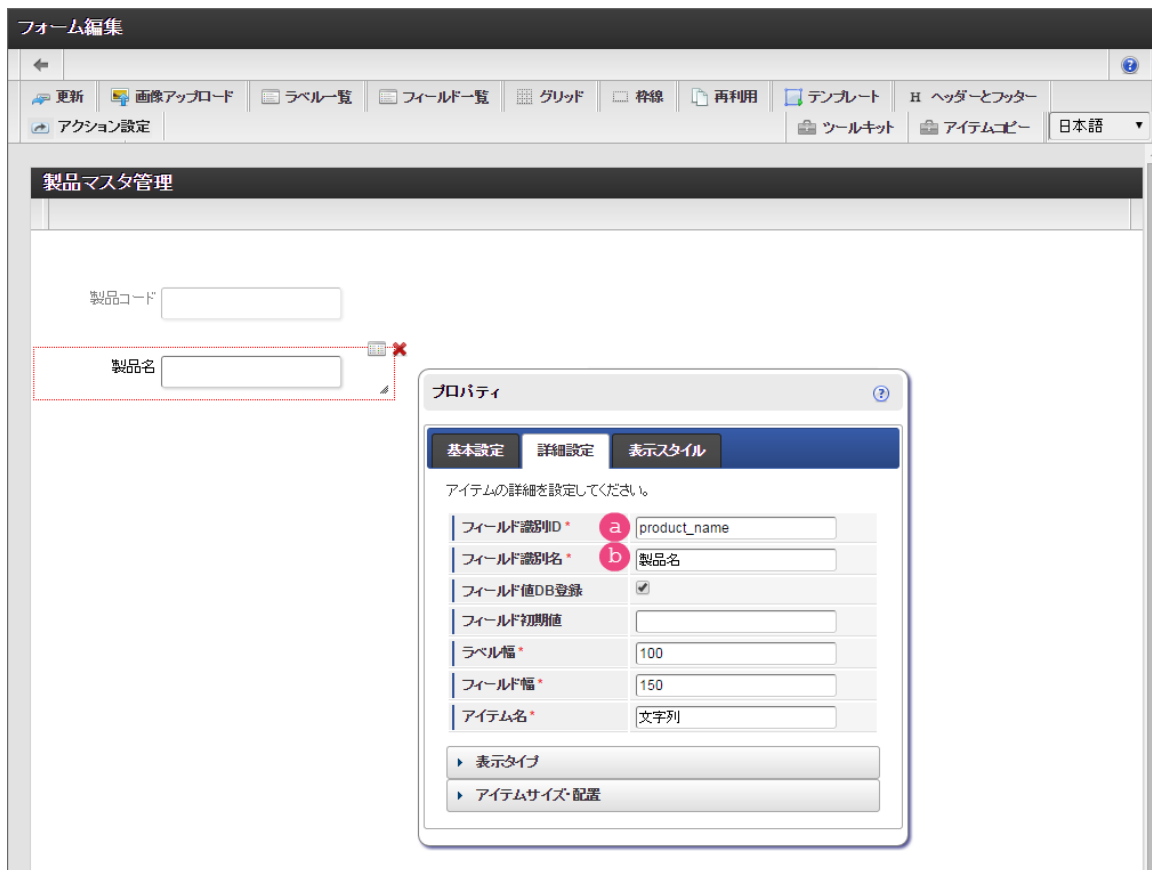
4. フィールド識別IDとフィールド識別名はそれぞれ以下の通りに入力してください。
設定したら、プロパティの外側をクリックして、プロパティを閉じてください。

- 製品コード



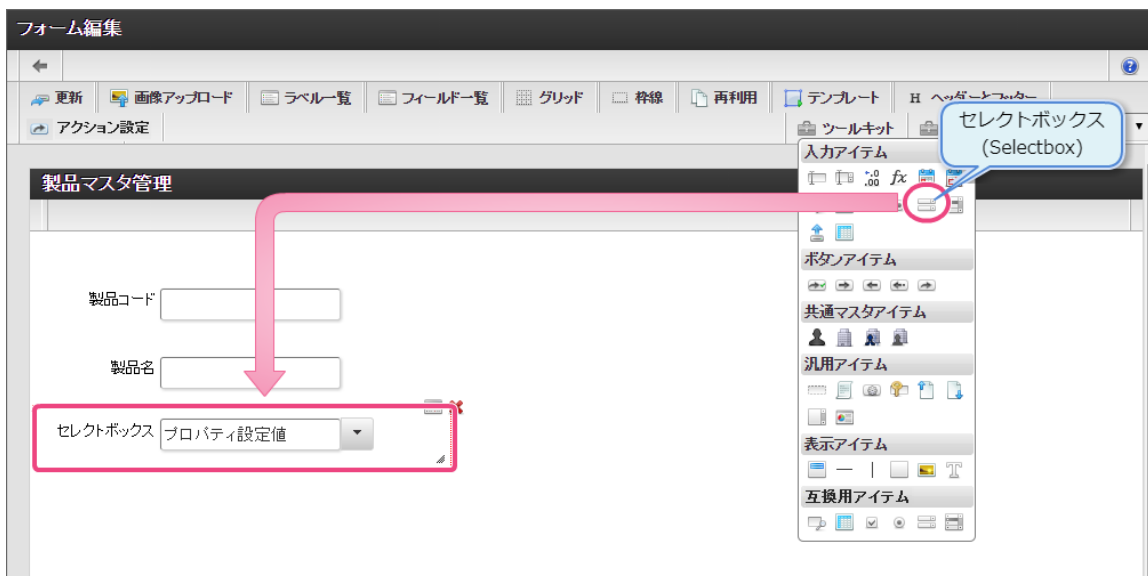
項目	設定内容
a フィールド識別ID	product_id
b フィールド識別名	製品コード

- 製品名

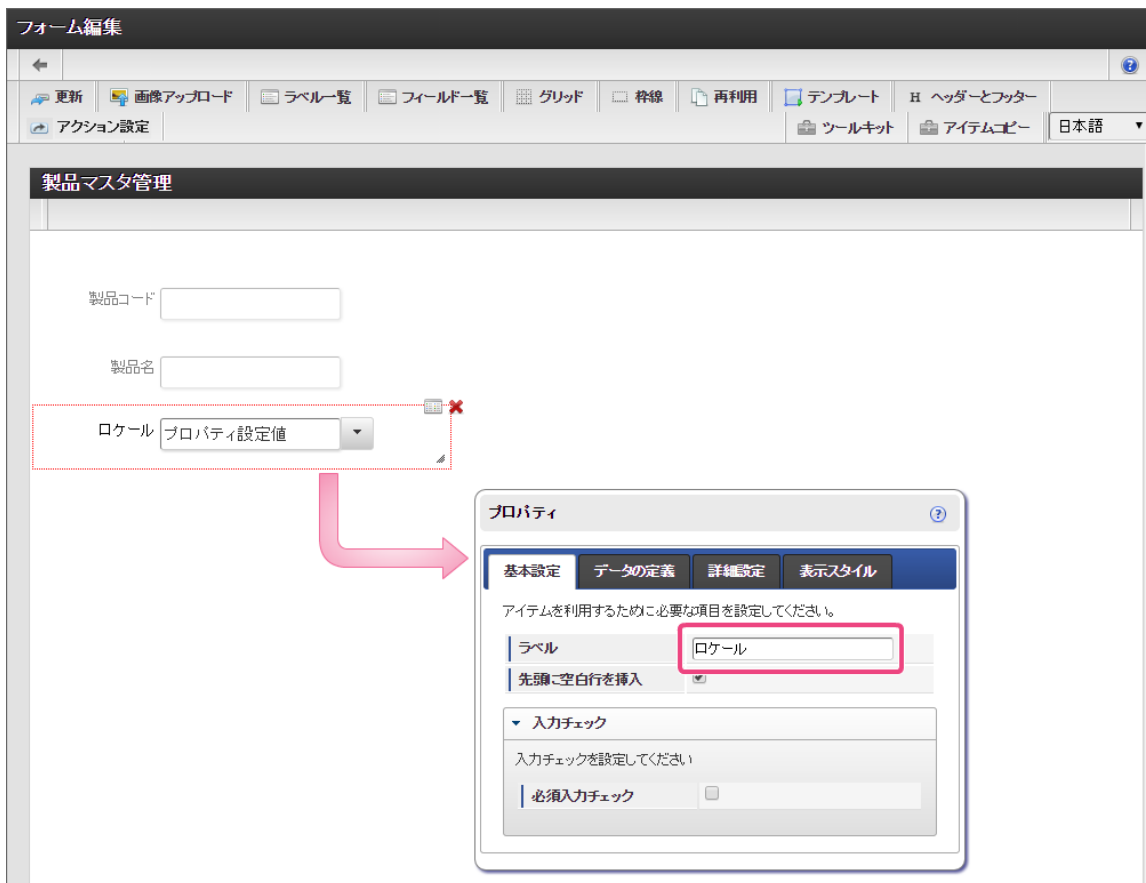


項目	設定内容
a フィールド識別ID	product_name
b フィールド識別名	製品名

5. 入力アイテムの「セレクトボックス」をドラッグ&ドロップで配置してください。

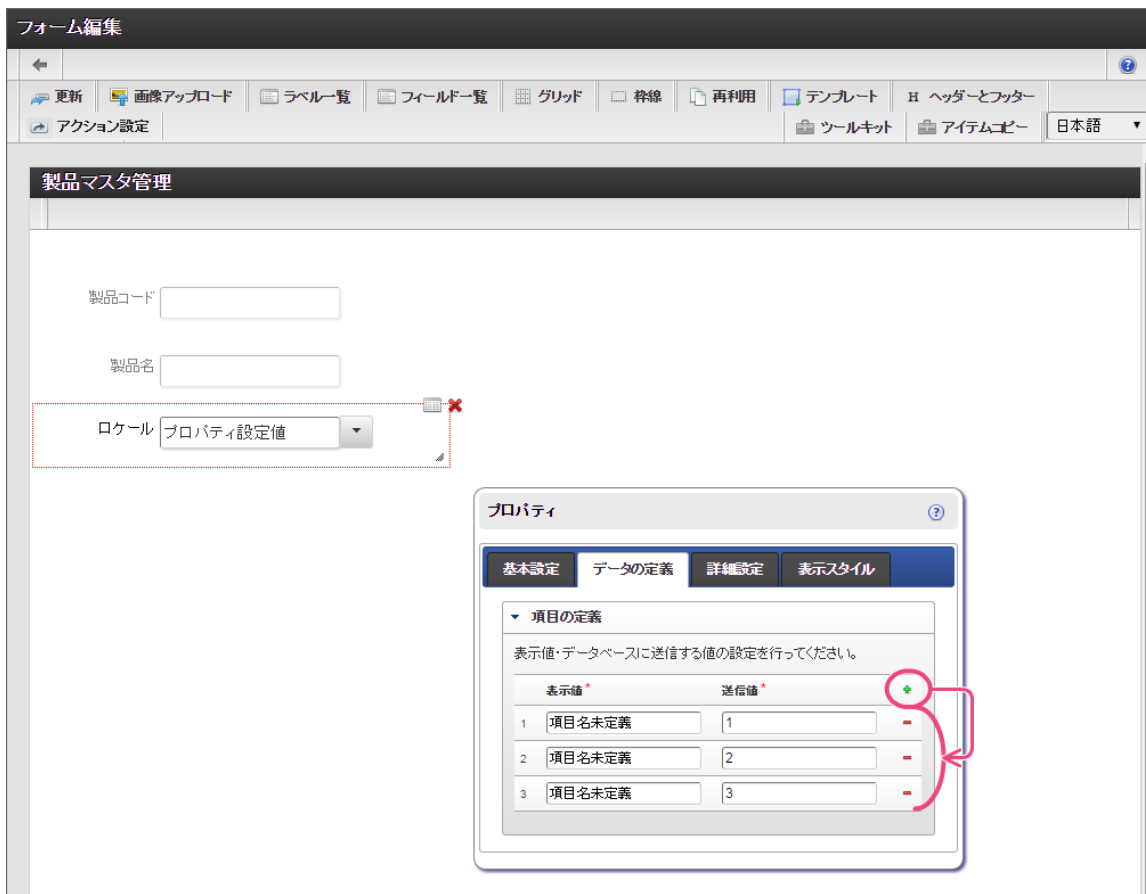


6. 配置した「セレクトボックス」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示し、以下の通りにラベルに入力してください。変更したら「データの定義」タブをクリックしましょう。



項目	設定内容
ラベル	ロケール

7. 「+」アイコンを3回クリックして、項目の定義の入力欄を3行分用意しましょう。



8. 追加した項目の定義に対して、以下の通りに入力しましょう。
入力が終わったら、「詳細設定」をクリックしましょう。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムゴースト 日本語

製品マスタ管理

製品コード

製品名

ロケール

プロパティ

基本設定 データの定義 詳細設定 表示スタイル

▼ 項目の定義

表示値・データベースに送信する値の設定を行ってください。

	表示値 *	送信値 *	
1	日本語	ja	-
2	英語	en	-
3	中国語	zh_CN	-

表示値 送信値

日本語 ja

英語 en

中国語 zh_CN

9. 詳細設定では、以下の通りに設定してください。

入力が終わったら、プロパティの外側の任意の部分をクリックしてプロパティを閉じてください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

製品マスタ管理

製品コード

製品名

ロケール

プロパティ

基本設定 データの定義 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID * a locale

フィールド識別名 * b ロケール

フィールド値DB登録

フィールド初期選択値 c ja

ラベル幅 * 100

フィールド幅 * 150

アイテム名 * セレクトボックス

表示タイプ

アイテムサイズ・配置

項目	設定内容
a フィールド識別ID	locale
b フィールド識別名	ロケール
c フィールド初期選択値	ja

ボタンを配置する

データを登録・更新するためのボタンを配置していきましょう。
 ここでの設定箇所は、以下の図で枠に囲まれた部分が該当します。

intra-mart Top IM-BIS サイトマップ 堀秀重

製品マスタ管理

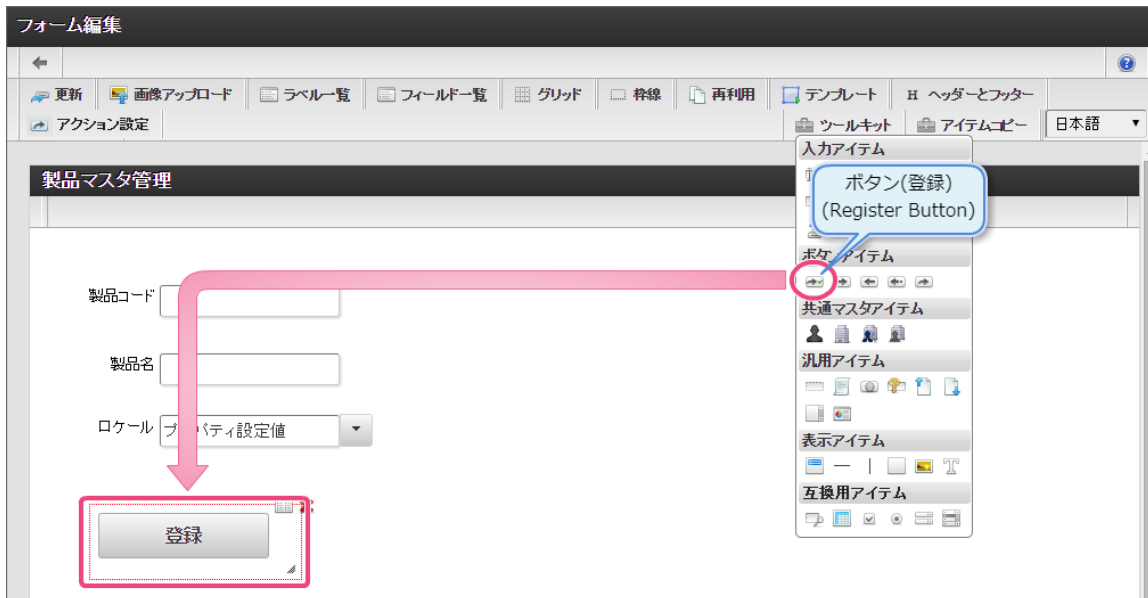
製品コード

製品名

ロケール

登録 一覧へ戻る

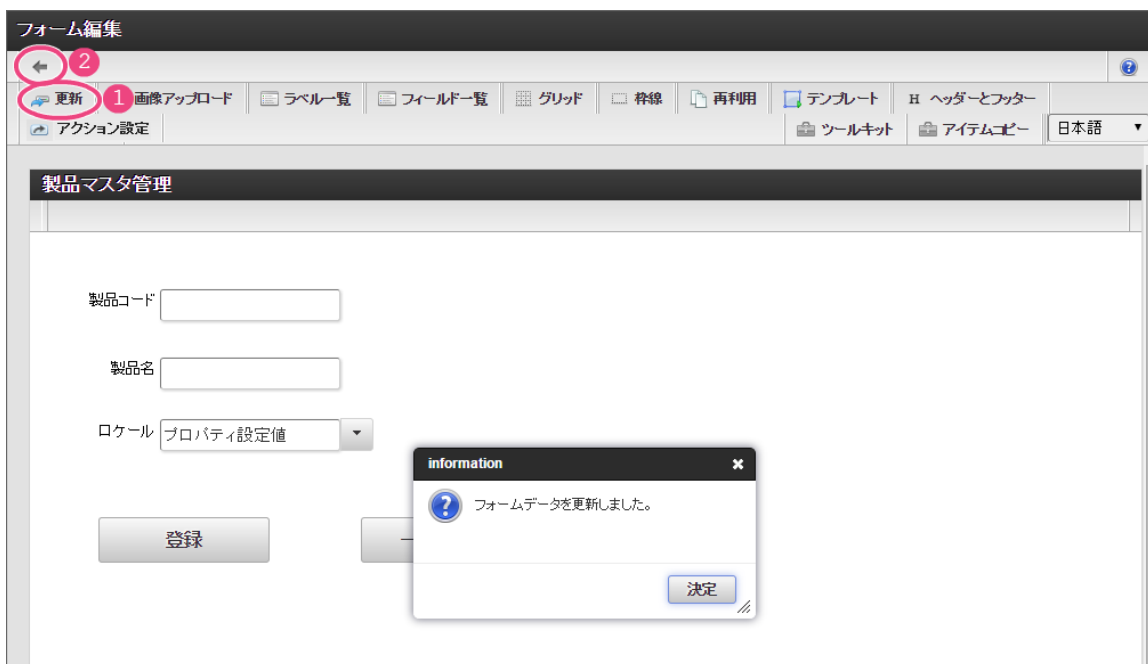
1. データを登録・更新するためのボタンとして、「ボタンアイテム」の「ボタン（登録）」をドラッグ&ドロップで配置してください。



2. 遷移元の一覧に戻るためのボタンとして、「ボタンアイテム」の「ボタン（一覧に戻る）」をドラッグ&ドロップで配置してください。



3. 最後に、以下の手順でここまでの設定内容を保存してから、次の作業に進んでください。



1. 設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。

2. 次の作業に移るために「」をクリックしてください。

アプリケーションのデータのテーブルを作成する

データを管理するテーブルを作成しましょう。

1. 以下の手順で「テーブル設定」画面を表示してください。



フォーム設定

← 1

アプリケーションID: m_product
アプリケーション名: 製品マスタ

アプリケーション情報 フォーム設定 **テーブル設定** 権限設定 メニュー設定 一覧表示項目設定 管理会社設定

登録

アプリケーション履歴一覧

編集	アプリケーション履歴番号	有効日付(開始)	有効日付(終了)	備考	更新日
	1	2014/11/01	2999/12/31		2014/11/10

1. 1画面戻るために「」をクリックしてください。

2. 「テーブル設定」をクリックしてください。

2. 「登録」をクリックして、入力したデータを保存するためのテーブルを作成しましょう。



テーブル設定

←

アプリケーションID: m_product
アプリケーション名: 製品マスタ

アプリケーション情報 フォーム設定 **テーブル設定** 権限設定 メニュー設定 一覧表示項目設定 管理会社設定

登録

テーブル設定情報が存在しません。

3. 以下の手順でテーブルを作成してください。

確認メッセージでは「決定」をクリックして次の作業に進みます。

テーブル作成

2 登録

アプリケーションID: m_product
アプリケーション名: 製品マスタ

ヘッダー

テーブル名: imfr_ut_m_product

項目名	列名	データ型	データサイズ	データサイズ(小数部)
データ登録ID	imfr_sd_insert_id	文字列	20	
アプリケーションID	imfr_sd_application_id	文字列	100	
アプリケーション履歴番号	imfr_sd_application_no	数値	10	0
バージョン	imfr_sd_version_no	数値	10	0
登録日	imfr_sd_create_date	タイムスタンプ		
登録者ユーザコード	imfr_sd_create_user_cd	文字列	100	
更新日	imfr_sd_record_date	タイムスタンプ		
更新者ユーザコード	imfr_sd_record_user_cd	文字列	100	
一時保存フラグ	imfr_sd_preserve_flag	文字列	1	
製品コード	imfr_ud_product_id	文字列	500	
製品名	imfr_ud_product_name	文字列	500	
ロケール	imfr_ud_locale	文字列	500	

1. 「製品コード」、「製品名」、「ロケール」のデータサイズに「500」と入力してください。
2. テーブルの作成処理を実行するために「登録」をクリックしてください。
4. これでマスタのデータを保存するテーブルが作成できました。

アプリケーションの一覧画面を設定する

データを一覧で管理できるように、一覧画面を作成していきましょう。
一覧画面は設定内容に基づいて、以下のような画面を作成し、データを管理しやすくします。

製品マスタ

登録

詳細検索

製品コード	製品名	ロケール	編集	削除	詳細
P001	文書作成! 桃太郎	ja			
P002	金太郎の表計算	ja			
P003	一寸法師のプレゼンテーション	ja			
P004	データ管理の浦島太郎	ja			
P005	画像編集・カ太郎	ja			

1. 「一覧表示項目設定」をクリックしましょう。

テーブル設定

アプリケーションID: m_product
アプリケーション名: 製品マスタ

アプリケーション情報 フォーム設定 **テーブル設定** 権限設定 メニュー設定 **一覧表示項目設定** 管理会社設定

更新 削除

参照	種別	対象ID	テーブル名
ヘッダー		imfr_form	imfr_ut_m_product

2. 以下の手順で「製品コード」を一覧の表示項目一覧に追加してください。

一覧表示項目設定

アプリケーションID: m_product
アプリケーション名: 製品マスタ

アプリケーション情報 フォーム設定 テーブル設定 権限設定 メニュー設定 **一覧表示項目設定** 管理会社設定

登録 日本語

選択項目一覧

- 編集
- 削除
- 詳細
- PDF
- 製品コード**
- 製品名
- ロケール

>>

>

<

<<

表示項目一覧

↑

↓

⤵

一覧表示プレビュー

1. 「製品コード」をクリックして選択状態にしてください。
2. 「製品コード」を「表示項目一覧」に移動するために をクリックしてください。
3. 同様の手順で、表示項目一覧を以下の図の通りに設定してください。

アプリケーションID: m_product
アプリケーション名: 製品マスタ

登録

選択項目一覧
PDF

表示項目一覧
製品コード
製品名
ロケール
編集
削除
詳細

一覧表示プレビュー

製品コード	製品名	ロケール	編集	削除	詳細
製品コード	製品名	ロケール			

コラム

表示項目のレイアウトは並べたい項目の選択後に「↑」「↓」をクリックして項目を並べ替えることで変更できます。

4. 最後に「登録」をクリックして一覧画面を設定してください。
確認メッセージでは「決定」をクリックして次の作業に進みます。

アプリケーションID: m_product
アプリケーション名: 製品マスタ

登録

選択項目一覧
PDF

表示項目一覧
製品コード
製品名

データ登録の権限を設定する

マスタデータを一覧画面から登録・更新・削除・変更するための権限を設定しましょう。
今回は、サポート&サービス部とBIS管理者のみが一覧画面からデータのメンテナンスを行えるように設定していきます。

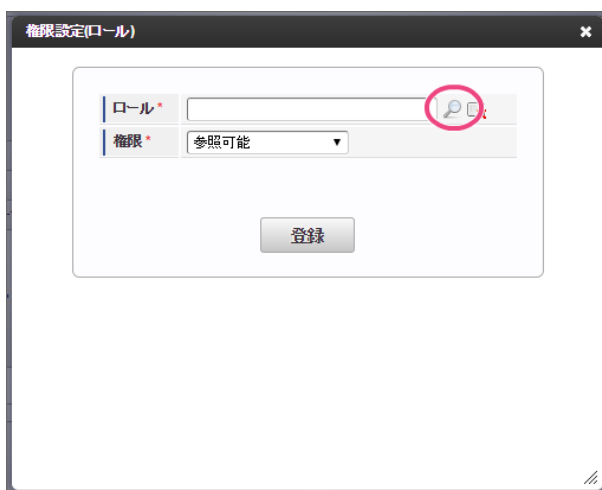
1. 「権限設定」をクリックしてください。



2. 以下の手順で、ロールへの権限付与設定画面を表示してください。



1. 「ロール」の左のアイコンをクリックして、ロールの欄を展開してください。
2. 権限設定画面を表示するために「追加」をクリックしてください。
3. 「🔍」をクリックしてロール検索画面を表示しましょう。



4. 以下の手順で、「ロール検索」画面から「BIS管理者」を選択してください。

1. 検索キーワード欄に「BIS管理者」と入力してください。
2. 「検索」をクリックしてください。
3. 検索結果から「BIS管理者」をクリックしてください。
4. 選択した内容を反映するために「決定」をクリックしてください。
5. 以下の通りに権限を選択し、「登録」をクリックしてください。

項目	設定内容
a 権限	登録・更新・削除可能

6. 続いて、以下の手順でサポート&サービス部（組織）への権限付与設定画面を表示してください。

権限設定

アプリケーションID: m_product
アプリケーション名: 製品マスタ

アプリケーション情報 フォーム設定 テーブル設定 **権限設定** メニュー設定 一覧表示項目設定 管理会社設定

追加

編集	ロール名	表示名	権限
	bis_manager	BIS管理者	登録・更新・削除可能

1 組織

2 追加

編集	会社コード	組織セットコード	組織コード	組織名	権限
登録者が登録したデータは、登録者も更新削除できるようにします					
登録者オプション					権限
設定なし					

1. 「組織」の左のアイコンをクリックして、組織の欄を展開してください。
2. 権限設定画面を表示するために「追加」をクリックしてください。
7. 「🔍」をクリックして組織検索画面を表示しましょう。

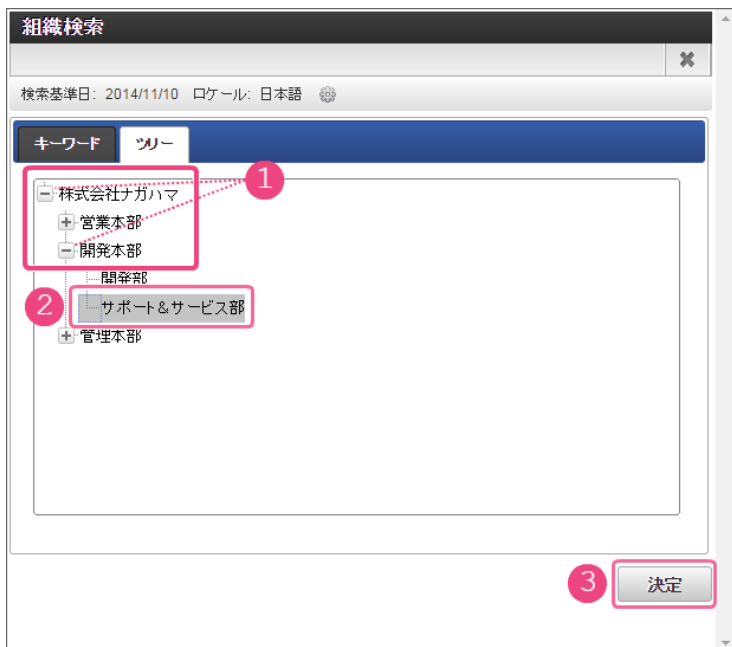
権限設定(組織)

組織*

権限* 参照可能

登録

8. 以下の手順で、「組織検索」画面から「サポート&サービス部」を選択してください。



1. 「株式会社ナガハマ」→「開発本部」をクリックし、組織ツリーを展開してください。
 2. 「サポート&サービス部」をクリックしてください。
 3. 「決定」をクリックしてください。
9. 先の手順と同様に、以下の通りに権限を選択し、「登録」をクリックしてください。



項目	設定内容
a 権限	登録・更新・削除可能

10. これで権限設定が完了しましたので、続いてメニューへの登録を行います。

一覧画面をメニューに登録する

最後に、設定した一覧画面をメニューに登録してデータを登録できるようにしましょう。

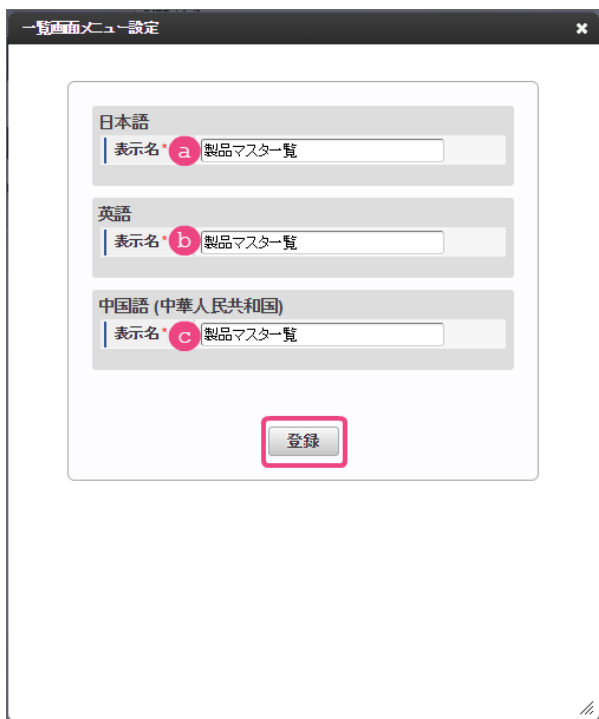
1. 「メニュー設定」をクリックしてください。



2. 以下の手順でメニューの登録画面を表示してください。

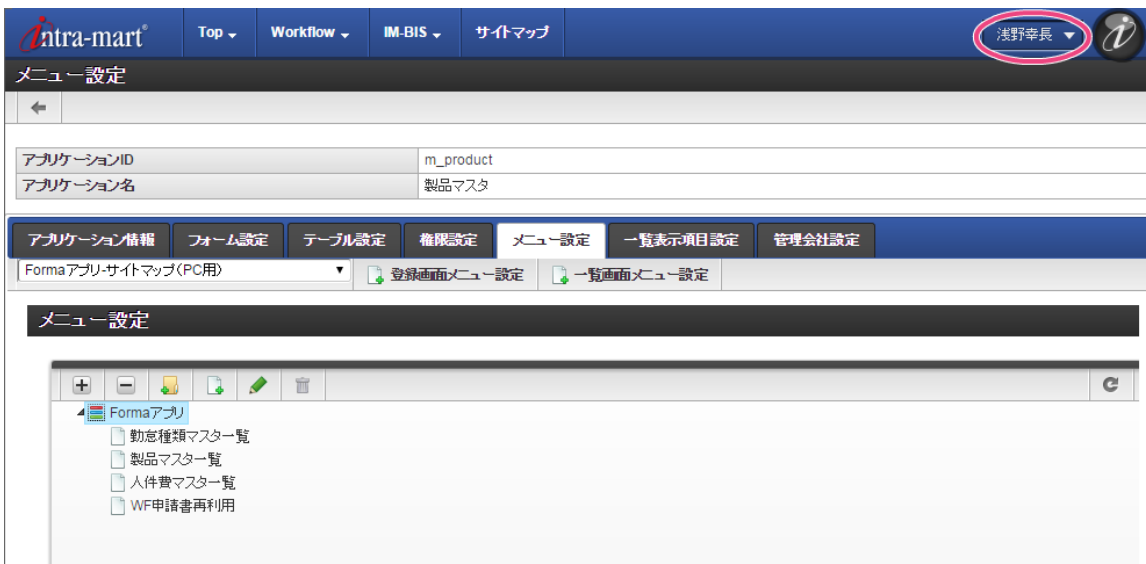


1. メニューグループから「Formaアプリ-サイトマップ（PC用）」を選択してください。
2. 「一覧画面メニュー設定」をクリックしてください。
3. 以下の通りに入力し、一覧画面をメニューに登録してください。
確認メッセージでは、そのまま「決定」をクリックします。



項目	設定内容
a 表示名（日本語）	製品マスター一覧
b 表示名（英語）	製品マスター一覧
c 表示名（中国語（中華人民共和國））	製品マスター一覧

4. この後に一度ログアウト→ログインを行うと、メニューに一覧画面が表示されます。



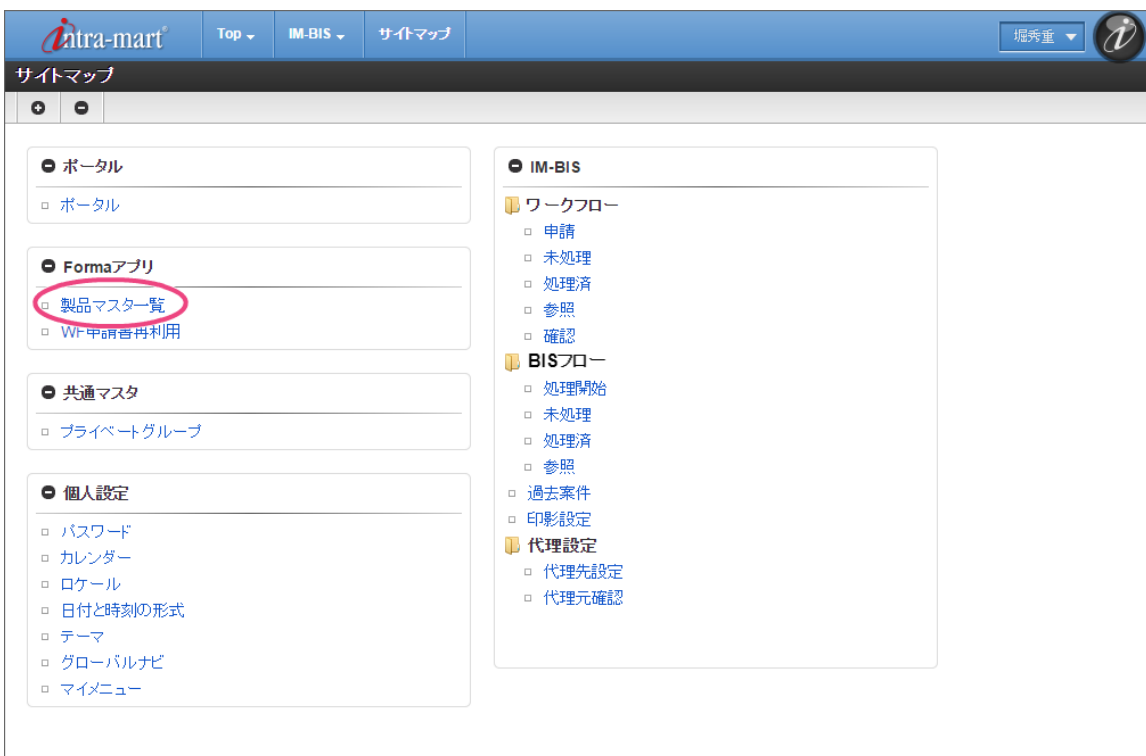
製品マスタのデータを登録する

作成した製品マスタのデータを登録しましょう。

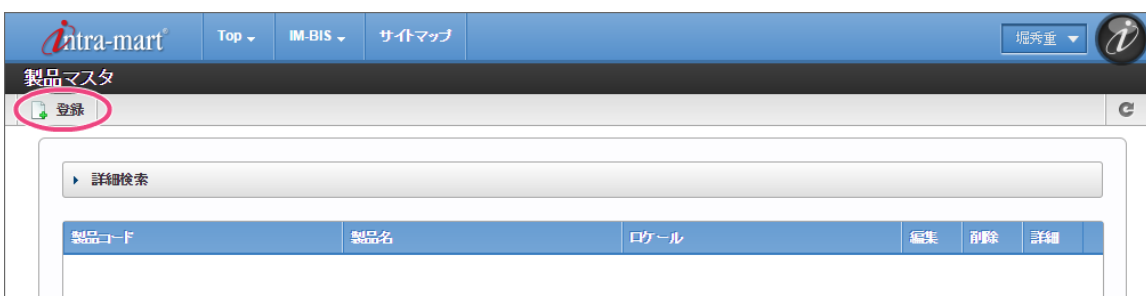
製品マスタの一覧画面を表示する

製品マスタの権限を設定したユーザで一覧画面を表示しましょう。

1. 先の手順で権限を付与したBIS管理者、またはサポート&サービス部の所属ユーザでログインしましょう。
今回は例として、サポート&サービス部の「堀秀重」さんでログインしましょう。
2. サイトマップ「Formaアプリ」の「製品マスター一覧」をクリックしてください。



3. 「登録」をクリックしてデータの登録画面を表示してください。



4. 以下の通りに各項目に入力し、「登録」をクリックしてください。
 ロケールについては、必要に応じて変更してください。
 (図では、サンプルデータを入力していますが、業務に合わせたデータを入力してください。)

項目	入力値
a 製品コード	登録するマスタデータのコード値
b 製品名	登録するマスタデータの表示名称 (この後にハンズオンで実行する申請画面に表示する名称として利用します。)

5. これで1件データを登録することができましたので、同様に他の製品データを登録してください。

製品コード	製品名	ロケール	編集	削除	詳細
P001	文書作成! 桃太郎	ja			

6. データの登録が終わった時点では、以下の図のようにデータが表示されています。
 続いてデータを取得するための作業に移ります。

製品コード	製品名	ロケール	編集	削除	詳細
P001	文書作成! 桃太郎	ja			
P002	金太郎の表計算	ja			
P003	一寸法師のプレゼンテーション	ja			
P004	データ管理の浦島太郎	ja			
P005	画像編集・力太郎	ja			

製品マスタのデータを参照するためのデータソース定義を登録する

製品マスタをワークフローの画面から入力補助として参照するためのデータソース定義を登録していきましょう。

データを取得するSQLを確認する

今回は、データソース定義を「テナントDBクエリ」として登録するにあたって、事前にSQLを確認しましょう。
 SQLを簡単に生成する方法として、ViewCreatorのクエリ機能を利用します。

1. BIS管理者に設定したユーザでログインしましょう。
 (今回の例では、「浅野幸長」でログインします。)

2. サイトマップ「ViewCreator」の「クエリー一覧」をクリックしてください。



3. クエリー一覧で「新規」をクリックしてクエリー編集画面を表示しましょう。



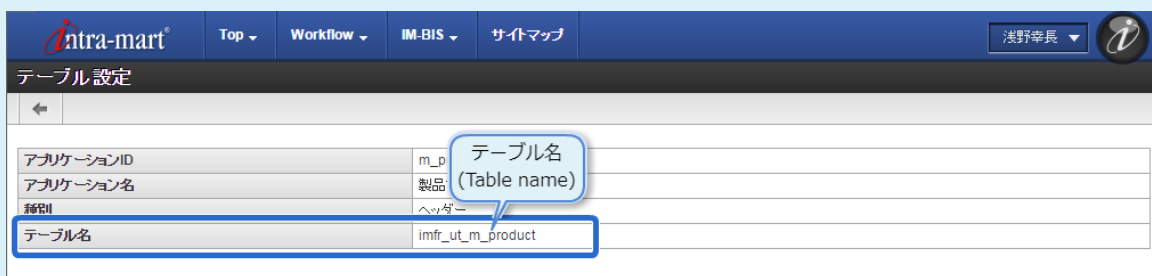
4. 以下の手順で、先ほど作成したアプリケーションのテーブルを検索してください。



1. 検索条件の欄に「imfr_ut_m_product」と入力してください。
2. テーブル一覧に条件に入力した名前のテーブルのみが表示されます。

i コラム

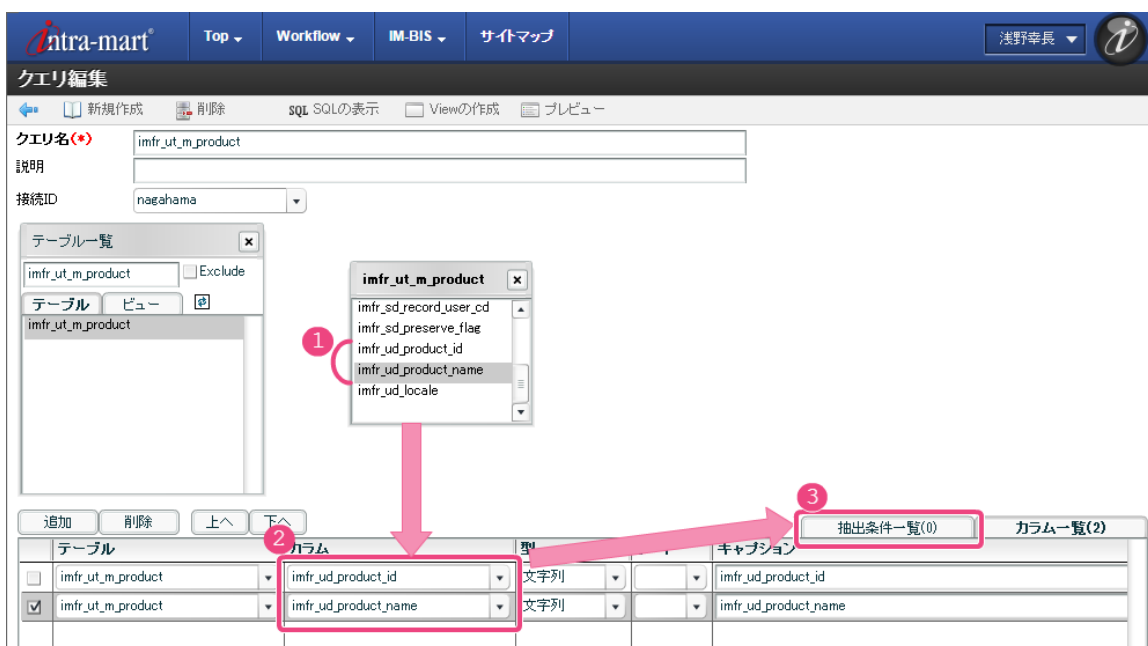
テーブル名はアプリケーション作成時の「テーブル設定」で確認できます。



5. 表示されたテーブルをドラッグ&ドロップで編集画面上に配置しましょう。



6. 以下の手順で製品マスタから参照する項目（カラム）を「カラム一覧」に追加してください。



- 「imfr_ud_product_id」、「imfr_ud_product_name」をダブルクリックしてください。
- 「カラム一覧」の「カラム」に追加した列が表示されていることを確認してください。
ダブルクリックした列と異なる列が表示されている場合、「カラム」の選択内容を対象のカラムに変更してください。
- 次に抽出条件を設定するために「抽出条件一覧」をクリックしてください。

7. 続いて、以下の手順で抽出条件を設定し、生成されるSQLを確認しましょう。

1. 「imfr_ud_locale」をダブルクリックしてください。
 2. 「抽出条件一覧」の「カラム」に追加した列が表示されていることを確認してください。
ダブルクリックした列と異なる列が表示されている場合、「カラム」の選択内容を対象のカラムに変更してください。
 3. 設定内容に基づくSQLを表示するために「SQLの表示」をクリックしてください。
8. 自動的に生成されたSQL文が表示されますので、コピーしてメモ帳などのテキストファイルに保存しておきます。
このクエリは登録する必要はありませんので、SQLの保存後は何もせずに「サイトマップ」をクリックして、次の作業に移ります。

データソース定義の登録を始める

1. サイトマップ「IM-BIS」の「外部連携」配下にある「データソース定義」をクリックしてください。

2. 「データソース一覧」で「登録」をクリックしてデータソース定義の登録を始めましょう。

登録

すべて
 テナントDBクエリ シェアードDBクエリ REST SOAP JAVA CSVインポート CSVエクスポート

データソース名 検索

選択した定義を削除

編集	データソース種別	データソース名	備考
<input type="checkbox"/>	テナントDBクエリ	勤怠種類選択	
<input type="checkbox"/>	テナントDBクエリ	従業員ランク検索	
<input type="checkbox"/>	テナントDBクエリ	研修生全期研修取得率	

3. データソース定義に関する情報に以下の通り入力し、「登録」をクリックしてください。

データソース種別 a テナントDBクエリ

データソース名 b 製品選択

備考

他のロケール

登録

項目	入力値
a データソース種別	テナントDBクエリ
b データソース名	製品選択

データソース定義のクエリを設定する

1. 以下の手順でSQLを編集してください。

データソース種別 テナントDBクエリ

データソース名 製品選択

クエリ設定 管理会社設定

SQL

```

SELECT
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_product_id AS imfr_ud_product_id,
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_product_name AS imfr_ud_product_name
FROM
  imfr_ut_m_product
WHERE
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_locale = ?
  
```

1. 先の手順（[データを取得するSQLを確認する](#)）で取得したSQLで書き換えてください。

2. WHERE以降の記載内容のうち、「」を「？」に変更してください。

2. 以下の手順で「入力値」の入力欄の行数を調整してください。

intra-mart® Top Workflow IM-BIS サイトマップ 浅野幸長

データベース - 編集 [テナントDBクエリ]

データベース種別: テナントDBクエリ
データベース名: 製品選択

クエリ設定 管理会社設定

SQL

```
SELECT
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_product_id AS imfr_ud_product_id,
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_product_name AS imfr_ud_product_name
FROM
  imfr_ut_m_product
WHERE
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_locale = ?
```

入力値 + 追加

	テスト実行値	データ型	論理名	削除
IN 1	<input type="text"/>	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国) 条件項目 1 Condition item1 条件項目 1	-
IN 2	<input type="text"/>	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国) 条件項目 2-1 Condition item2-1 条件項目 2-1	-
IN 3	<input type="text"/>	VARCHAR	日本語 条件項目 2-2	-

3

入力値 + 追加

	テスト実行値	データ型	論理名	削除
IN 1	<input type="text"/>	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国) 条件項目 1 Condition item1 条件項目 1	-

+ 追加

1. 2行目の削除アイコンをクリックして、2行目を削除してください。
 2. 同様に、3行目についても削除アイコンをクリックして、3行目を削除してください。
 3. この図の通り、「入力値」の入力欄が1行にできていることを確認してください。
3. 次に、「出力値」の入力欄の行数を追加するために「追加」をクリックしてください。

Intra-mart® Top Workflow IM-BIS サイトマップ 浅野幸長

データベース - 編集 [テナントDBクエリ]

データベース種別: テナントDBクエリ
データベース名: 製品選択

クエリ設定 管理会社設定

SQL

```
SELECT
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_product_id AS imfr_ud_product_id,
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_product_name AS imfr_ud_product_name
FROM
  imfr_ut_m_product
WHERE
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_locale = ?
```

入力値

IN 1	テスト実行値	データ型	日本語	英語	中国語 (中華人民共和国)	論理名	削除
		VARCHAR	条件項目 1	Condition item1	条件項目 1		-

出力値

OUT 1	OUT 2	カラム名	データ型	日本語	英語	中国語 (中華人民共和国)	論理名	削除
			VARCHAR	取得項目 1	Acquiring item1	取得項目 1		-
			VARCHAR					-

テスト実行 登録

4. カラム名、論理名を以下の図の通りに設定しましょう。

ロケールによって、項目の表示名を変える場合には、言語に合わせた名称を入力してください。

intra-mart® Top Workflow IM-BIS サイトマップ 浪野幸長

データソース - 編集 [テナントDBクエリ]

データソース種別: テナントDBクエリ
データソース名: 製品選択

クエリ設定 管理会社設定

SQL

```
SELECT
  AS imfr_ud_product_id,
  AS imfr_ud_product_name
FROM
  imfr_ut_m_product
WHERE
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_locale = ?
```

入力値

テスト実行値	データ型	論理名	削除
IN 1	VARCHAR	ローケル	-
		英語	ローケル
		中国語 (中華人民共和国)	ローケル

出力値

カラム名	データ型	論理名	削除
OUT 1 imfr_ud_product_id	VARCHAR	製品コード	-
		製品コード	
		製品コード	
OUT 2 imfr_ud_product_name	VARCHAR	製品名	-
		製品名	
		製品名	

テスト実行 登録

1. 「入力値」の論理名に「ローケル」と入力してください。

2. 「出力値」のカラムに「imfr_ud_product_id」、「imfr_ud_product_name」と入力してください。

#. 「出力値」のカラム名に「imfr_ud_product_id」と入力した行の論理名に「製品コード」と入力してください。 #. 「出力値」のカラム名に「imfr_ud_product_name」と入力した行の論理名に「製品名」と入力してください。

1. 最後に、設定内容に問題がないかを確認するために、以下の手順でテストを実行し、データソース定義を登録してください。

データソース種別: テナントDBクエリ
データソース名: 製品選択

クエリ設定 | 管理会社設定

SQL

```
SELECT
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_product_id AS imfr_ud_product_id,
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_product_name AS imfr_ud_product_name
FROM
  imfr_ut_m_product
WHERE
  imfr_ut_m_product.imfr_ud_locale = ?
```

入力値

テスト実行値	データ型	論理名	削除	
IN 1 ja	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	ロケール ロケール ロケール	-

出力値

カラム名	データ型	論理名	削除	
OUT 1 imfr_ud_product_id	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	製品コード 製品コード 製品コード	-
OUT 2 imfr_ud_product_nam	VARCHAR	日本語 英語 中国語 (中華人民共和国)	製品名 製品名 製品名	-

2 テスト実行 | 4 登録

- 「入力値」のテスト実行値に「ja」と入力してください。
- 「テスト実行」をクリックしてください。
- 実行結果が成功と表示されることを確認してください。
エラーメッセージが表示された場合には、メッセージに基づいて対応してください。
- データソース定義を登録するために「登録」をクリックしてください。

これで、問い合わせ対応フローを作成するための事前準備は完了です。
引き続き、フローの作成を進めていきましょう。

関連情報

ここに記載した IM-FormaDesigner でのアプリケーションの作成やデータソース定義の設定方法の詳細は、以下のドキュメントで説明しております。

- IM-FormaDesigner 作成者操作ガイド
- IM-BIS システム管理者操作ガイド

問い合わせ対応の業務プロセスを作成しよう（BISフロー）

このハンズオンでは、製品の故障問い合わせの業務プロセスを、IM-BIS の業務プロセス（BISフロー）として作成しましょう。

問い合わせ対応の業務プロセスを作成する手順

- フローの基本設定
- 経路情報（ルート）の設定
- 入力画面（アプリケーション）の設定
- 実行に必要な処理を実行する
- 関連情報

- 作成する業務プロセスの内容

- お問い合わせ入力画面

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 2014/11/17 担当者 長井 規秀 様

対象製品 金太郎の表計算

タイトル 関数の計算ができない

お問い合わせ詳細

作成したファイルで関数を記述してみたところ、関数"abcde"は未定義です、というエラーが発生して計算処理ができません。
 どういったらよいのか教えてください。
 【環境情報】

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日	
imitation.log	エラーの関連ファイルです。	2014/11/17	+

処理

- サポート受付画面

Intra-mart Top IM-BIS サイトマップ 斎藤龍興

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 2014/11/17 担当者 長井 規秀 様

対象製品 金太郎の表計算

タイトル 関数の計算ができない

お問い合わせ詳細
作成したファイルで関数を記述してみたところ、関数"abcde"は未定義です、というエラーが発生して計算処理ができません。どうやったらよいのか教えてください。
【環境情報】

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
imitation.log	エラーの関連ファイルです。	2014/11/17

お問い合わせ回答

回答

回答者 斎藤龍興

回答内容
ファイル含めてサポート内で確認しましたが、再現できませんでした。開発での調査をお願いします。

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

処理

記号	説明
A	前の処理者が入力した内容
B	この時点の処理者による追加の入力が必要な事項

- 製品開発回答の画面

Intra-mart Top Workflow IM-BIS サイトマップ 後藤基次

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 2014/11/17 担当者 長井 規秀 様

対象製品 金太郎の表計算

タイトル 関数の計算ができない

お問い合わせ詳細
作成したファイルで関数を記述してみたところ、関数"abcde"は未定義です、というエラーが発生して計算処理ができません。どういったらよいか教えてください。
【環境情報】

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
imitation.log	エラーの関連ファイルです。	2014/11/17

お問い合わせ回答

回答

回答者 高藤龍興

回答内容
ファイル含めてサポート内で確認しましたが、再現できませんでした。開発での調査をお願いします。

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発) 後藤基次

回答内容
開発で調査しました。
特定の環境でのみ発生する事象です。
製品次期バージョン対応とさせていただきます。

対応方法 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

処理

記号	説明
A	前の処理者が入力した内容
B	この時点の処理者による追加の入力が必要な事項

- サポートへの回答の画面

Intra-mart® Top Workflow IM-BIS サイトマップ 竹中重治

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 2014/11/17 担当者 長井 規秀 様

対象製品 金太郎の表計算

タイトル 関数の計算ができない

お問い合わせ詳細
作成したファイルで関数を記述してみたところ、関数"abcde"は未定義です、というエラーが発生して計算処理ができません。どうやったらよいのか教えてください。
【環境情報】

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
imitation.log	エラーの関連ファイルです。	2014/11/17

お問い合わせ回答

回答

回答者 斎藤龍興

回答内容
ファイル含めてサポート内で確認しましたが、再現できませんでした。開発での調査をお願いします。

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発) 後藤基次

回答内容
開発で調査しました。特定の環境でのみ発生する事象です。製品次期バージョン対応とさせていただきます。

対応方法 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

A

B

開発での再調査が必要な場合には、オプション処理で開発部に差し戻す

処理 オプション処理

コメント
お客さまの緊急性はないため、開発の回答通りの対応とします。お客さまへは上記回答で対応してください。

記号	説明
A	前の処理者が入力した内容
B	この時点の処理者による追加の入力が必要な事項

- サポートからの回答の画面

Intra-mart Top IM-BIS サイトマップ 堀秀重

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 2014/11/17 担当者 長井 規秀 様

対象製品 金太郎の表計算

タイトル 関数の計算ができない

お問い合わせ詳細
作成したファイルで関数を記述してみたところ、関数"abcde"は未定義です、というエラーが発生して計算処理ができません。どうやったらよいのか教えてください。
【環境情報】

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
imitation.log	エラーの関連ファイルです。	2014/11/17

お問い合わせ回答(確定)

回答

回答者 堀秀重

回答内容
お問い合わせありがとうございます。
回答につきまして、弊社で確認しましたところ、環境によって発生する事象と判明いたしました。
次期バージョンで対応いたします。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

処理

お問い合わせ回答

回答

回答者 斎藤龍興

回答内容
ファイル含めてサポート内で確認しましたが、再現できませんでした。
開発での調査をお願いします。

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

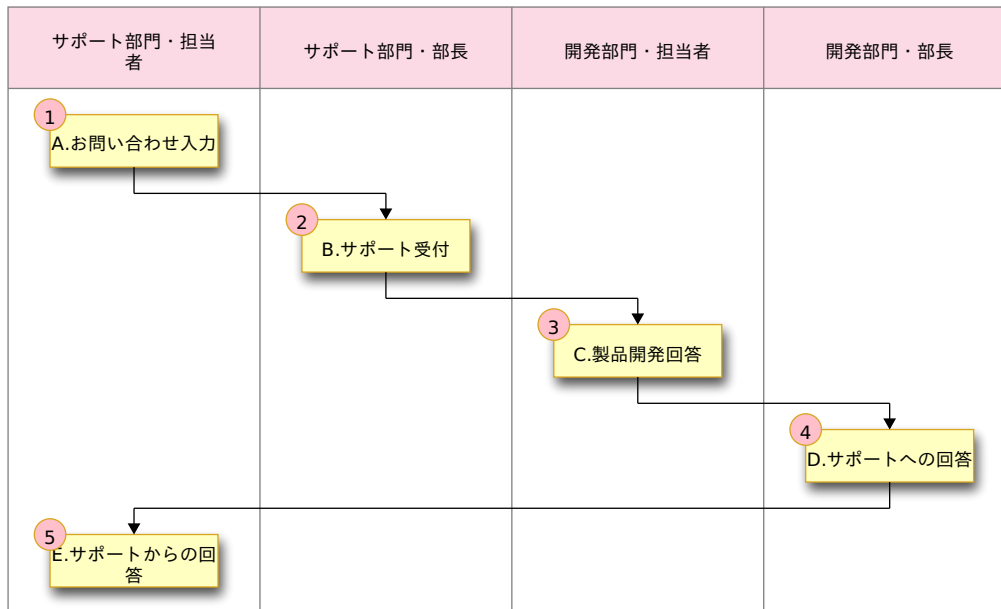
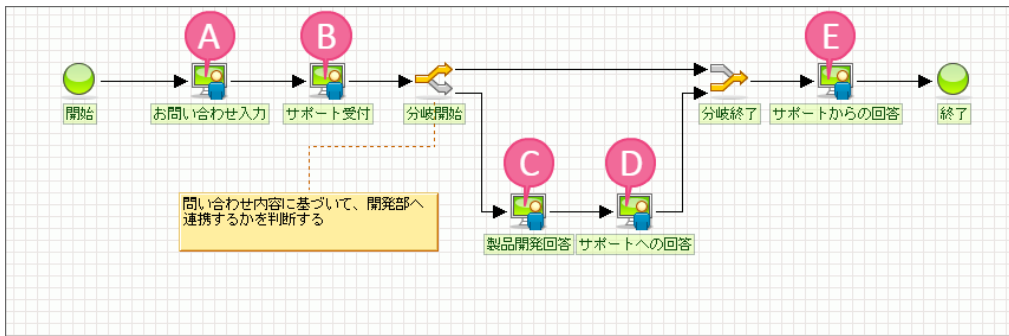
回答者(開発) 後藤基次

回答内容
開発で調査しました。
特定の環境でのみ発生する事象です。
製品次期バージョン対応とさせていただきます。

対応方法 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

記号	説明
A	前の処理者が入力した内容
B	この時点の処理者による追加の入力が必要な事項

- 経路情報 (ルート) - イメージ



No	ノード	説明
1	A.お問い合わせ入力	顧客の問い合わせを受け付ける
2	B.サポート受付	問い合わせ内容の切り分けを実施
3	C.製品開発回答	原因調査、対応検討
4	D.サポートへの回答	回答の確認（内容によっては差し戻して再調査を依頼する）
5	E.サポートからの回答	問い合わせ結果の回答を顧客に送信する

フローの基本設定

BIS管理者でログインし、BISフローの作成を進めましょう。

フローの登録を始める

1. BIS管理者に設定したユーザでログインしましょう。
(今回の例では、「浅野幸長」でログインします。)
2. サイトマップ「IM-BIS」の「IM-BIS」をクリックしましょう。



3. IM-BIS - 更新履歴が表示されます。
BISフローを新規に登録するために「新規作成」をクリックしてください。



BISフローの名前を登録する

最初にBISフローの種類と名称を設定しましょう。

- 以下の通りに入力し、「登録」をクリックしてください。



設定項目	設定値
a. BIS作成種類	BISフロー
b. ルート作成方法	新規にルートを作成する
c. BIS名	問い合わせ対応フロー

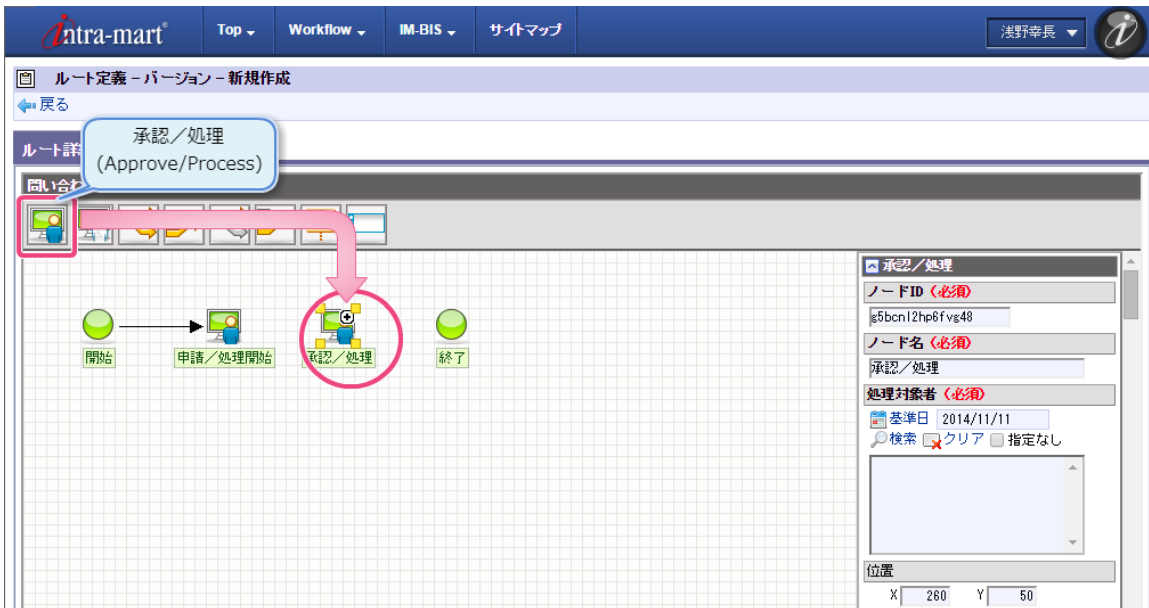
経路情報（ルート）の設定

経路情報（ルート）を設定する

報告書を閲覧するための経路情報（ルート）を設定します。

このハンズオンでは、サポート担当と開発担当がやり取りを行うための経路を設定していきましょう。

1. 一番左の「承認/処理」アイコンをドラッグ&ドロップで配置してください。



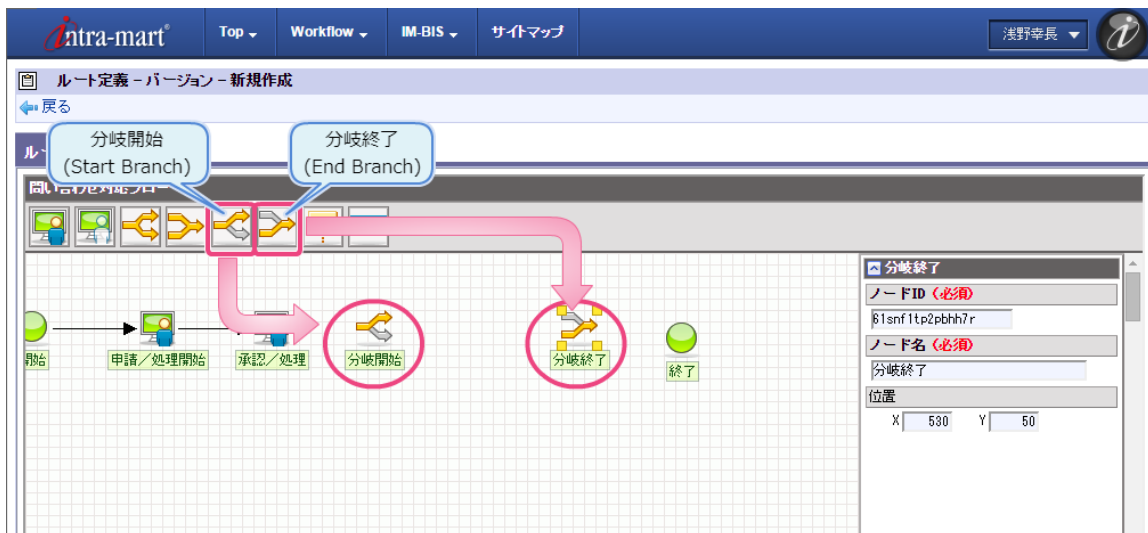
2. ノードの右上にマウスを重ねると「⊕」のマークが表示されます。



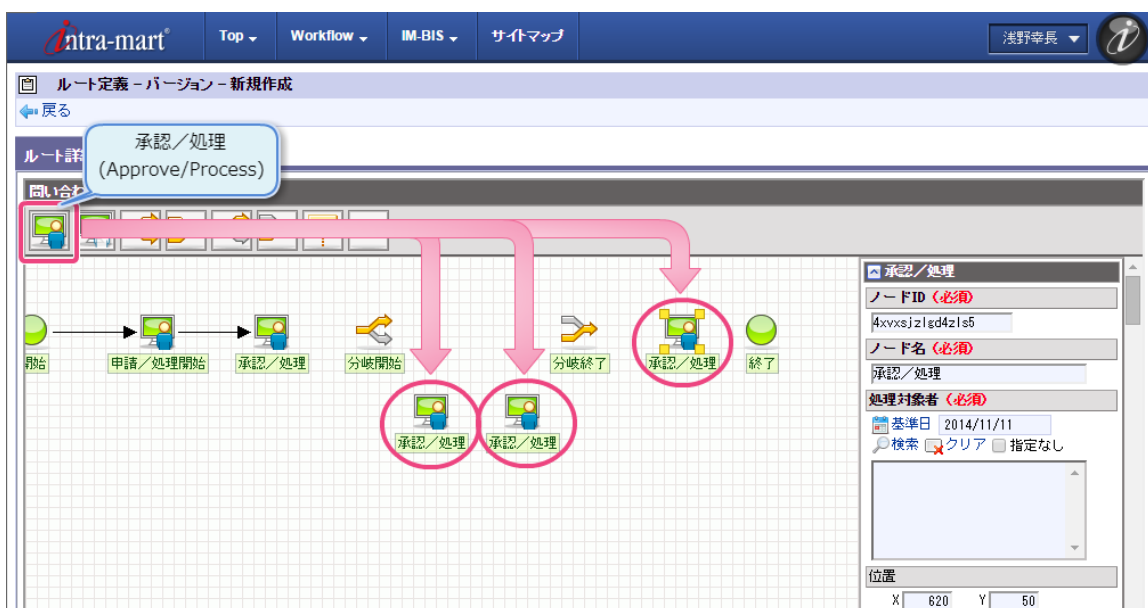
3. アイコン同士を接続するために「⊕」のマークを次のノードまでドラッグしてください。矢印が表示され、ノード同士を1つの矢印で接続できます。



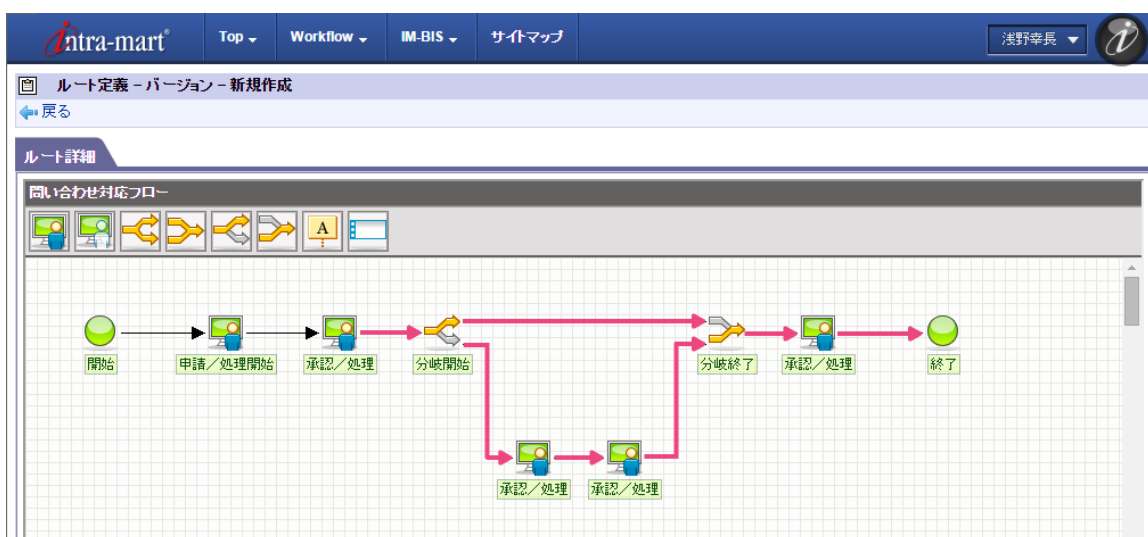
4. 次に、特定の条件を満たした場合のみ、製品開発担当やサポートへの回答のプロセスが実行されるように、分岐開始・分岐終了アイコンを配置しましょう。



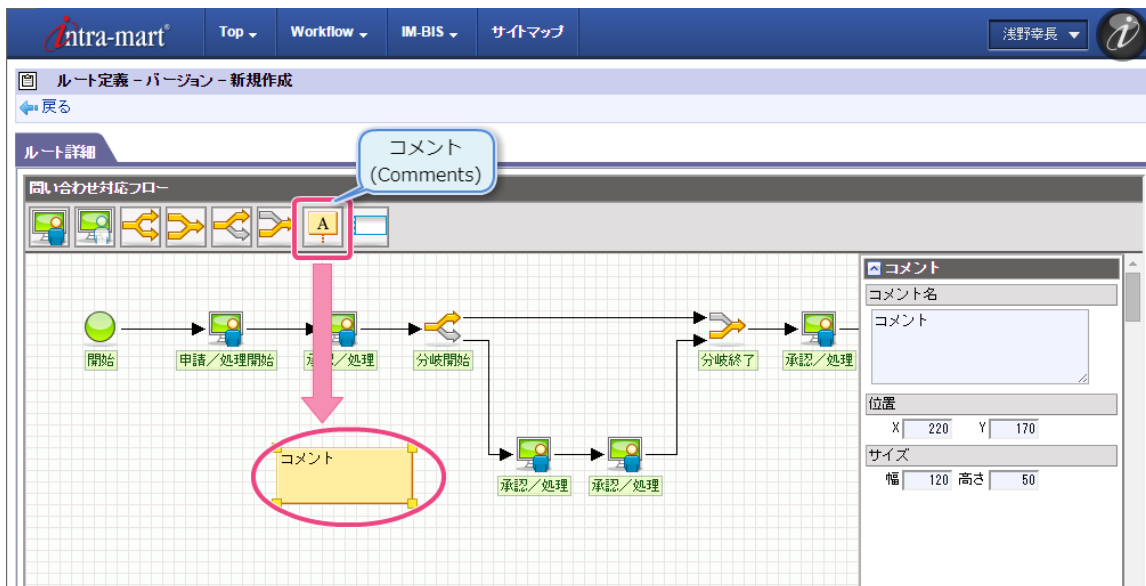
5. 製品開発担当、サポートへの回答、サポートからの回答の承認/処理アイコンを配置しましょう。



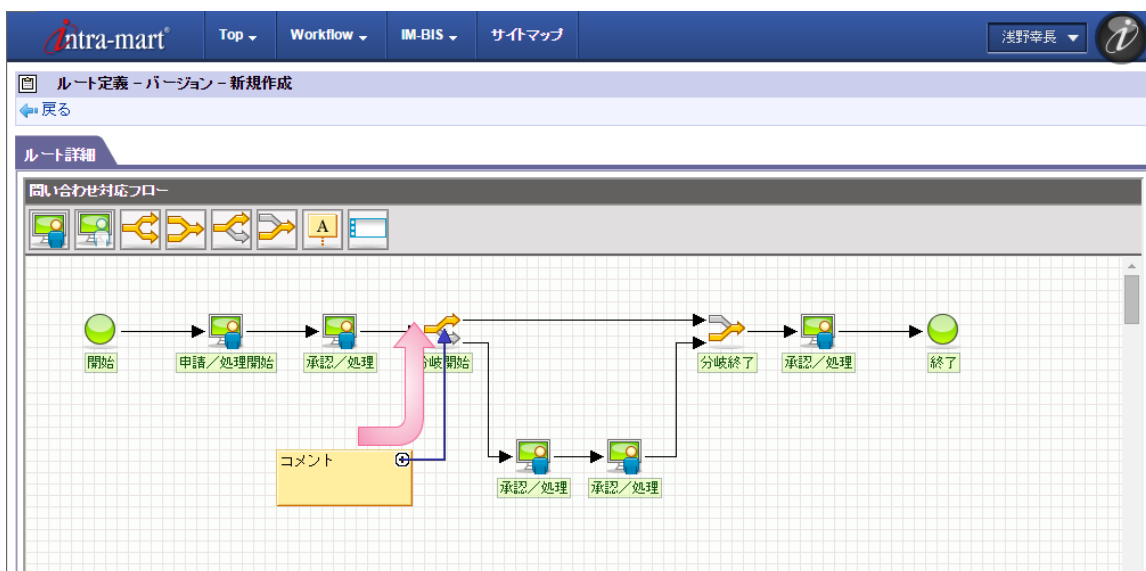
6. 終了までのアイコンをすべて接続しましょう。
(各アイコンはドラッグ&ドロップで移動させて、レイアウトを調整してください。)



7. 分岐時の条件を補足説明として記述できるように、「コメント」を配置してください。



8. コメントは、ノードと同様にマウスを重ねて表示される  のマークを利用して、分岐開始ノードと接続してください。



経路情報（ルート）の名前、対象者を設定する

各アイコンの業務ができるユーザを設定していきましょう。

今回のフローでは、組織に所属する人や申請者・前に処理（承認）した人に基づいて、対象のノードの処理が可能なユーザを変更できるように設定していきます。

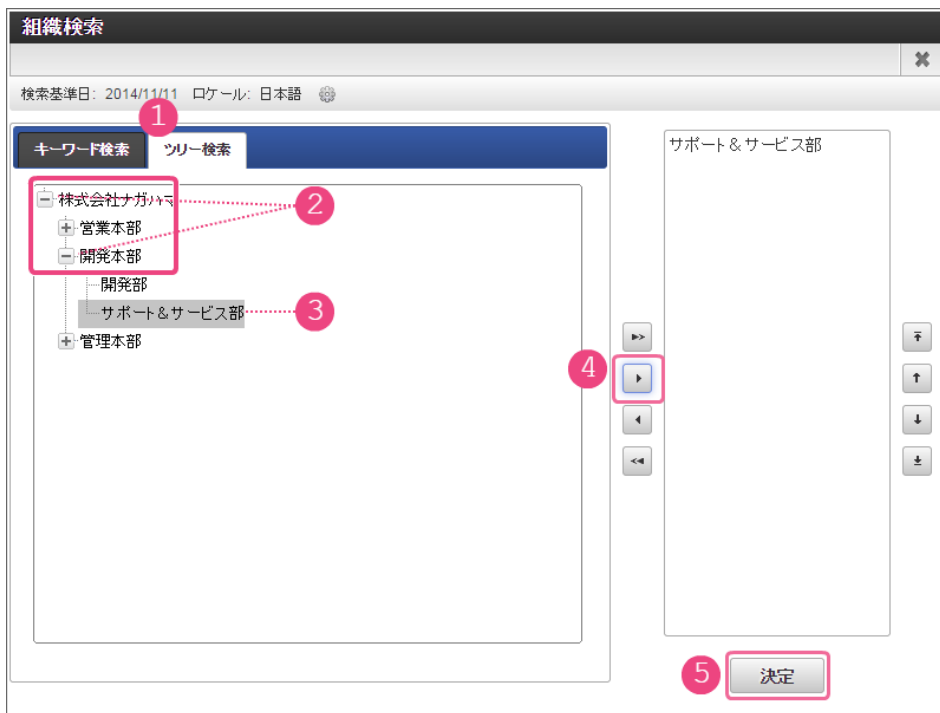
1. 以下の手順でノード名を設定してください。

The screenshot shows the 'ルート詳細' (Route Detail) page in Intra-mart. The main area displays a workflow diagram on a grid. The process starts with '開始' (Start), followed by '申請/処理開始' (Application/Processing Start), '承認/処理' (Approval/Processing), '分岐開始' (Branch Start), '分岐終了' (Branch End), and '承認/処理' (Approval/Processing). A 'コメント' (Comment) box is connected to the '承認/処理' node after the branch. A red circle highlights the '申請/処理開始' node, and a red arrow points to it from step 1. A red box highlights the '申請/処理開始' node in the configuration panel on the right, and a red arrow points to it from step 2. The configuration panel shows fields for 'ノードID (必須)' (Node ID), 'ノード名 (必須)' (Node Name), and '処理対象者 (必須)' (Processing Target). The 'ノード名' field contains 'お問い合わせ入力' (Inquiry Input). The '処理対象者' field has a search icon and a dropdown menu.

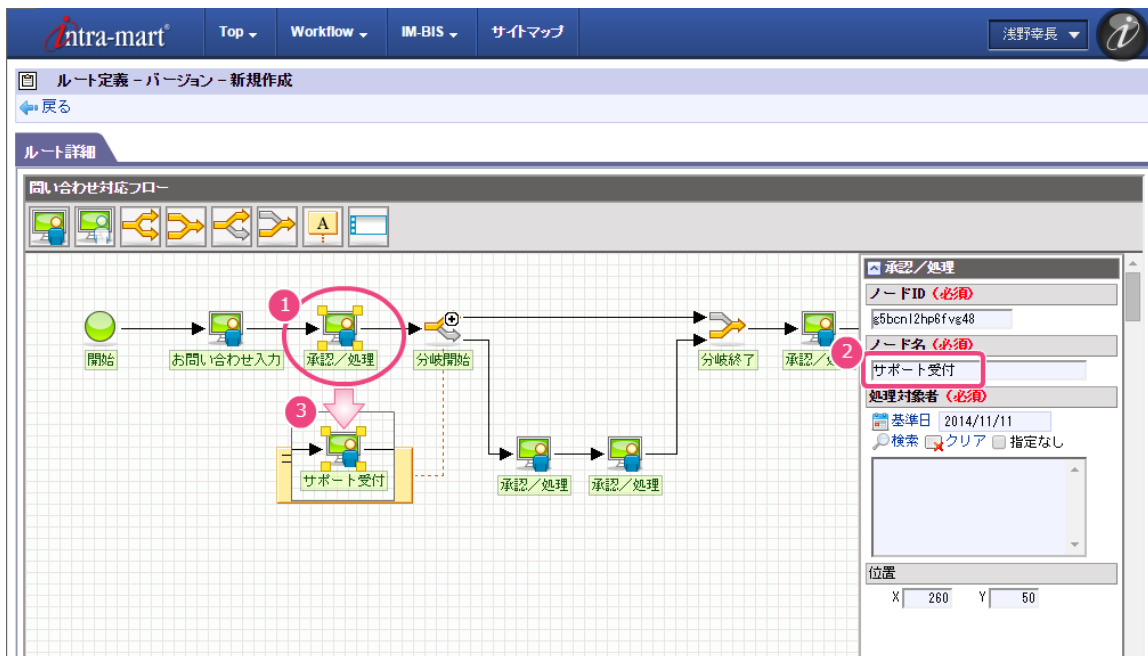
1. 「申請/処理開始」アイコンをクリックしてください。
右側にノードの情報が表示されます。
 2. 「ノード名」に「お問い合わせ入力」と入力してください。
 3. ノード名のフォーカスを外すと、ルートに表示されているノード名が変更されたことが確認できます。
2. 以下の手順で「お問い合わせ入力」の処理が実行できるユーザの検索画面を表示してください。

This screenshot is similar to the previous one, but the '処理対象者' (Processing Target) dropdown menu is open, showing a list of search options. A red circle highlights the '検索' (Search) button in the dropdown, with a red arrow pointing to it from step 1. Another red circle highlights the '組織' (Organization) option in the list, with a red arrow pointing to it from step 2. The list includes options like 'ユーザー' (User), '組織' (Organization), 'ロール' (Role), 'パブリックグループ' (Public Group), '役職' (Position), '役割' (Role), '組織+役職' (Organization+Position), 'パブリックグループ+役割' (Public Group+Role), '組織+ロール' (Organization+Role), 'パブリックグループ+ロール' (Public Group+Role), '組織とその上位組織全て' (Organization and all its parent organizations), and '組織とその上位組織全て+役職' (Organization and all its parent organizations + Position).

1. 処理対象者の「検索」をクリックしてください。
2. 「組織」の左の虫眼鏡アイコンをクリックしてください。
3. 組織検索では、以下の手順で対象の組織を選択してください。



1. 「ツリー検索」タブをクリックしてください。
 2. 「株式会社ナガハマ」→「開発本部」の順にクリックし、組織のツリーを展開してください。
 3. 「開発本部」の配下の「サポート&サービス部」をクリックして選択状態にしてください。
 4. 「サポート&サービス部」を選択対象にするために、「選択」ボタンをクリックしてください。
 5. ルートの処理対象者に反映するために「決定」をクリックしてください。
4. これで、サポート&サービス部に所属するユーザがお問い合わせ入力を処理できるための設定ができました。
5. 以下の手順で2番目のノード名を設定してください。



1. 2番目の「承認/処理」アイコンをクリックしてください。
右側にノードの情報が表示されます。
 2. 「ノード名」に「サポート受付」と入力してください。
 3. ノード名のフォーカスを外すと、ルートに表示されているノード名が変更されたことが確認できます。
6. 以下の手順で「サポート受付」の処理が実行できるユーザの検索画面を表示してください。

The screenshot shows the 'ルート詳細' (Route Detail) page in Intra-mart. The workflow diagram includes nodes for '開始' (Start), 'お問い合わせ入力' (Contact Input), 'サポート受付' (Support Reception), '分岐開始' (Branch Start), '分岐終了' (Branch End), and '承認/処理' (Approval/Processing). A 'コメント' (Comment) box is also present. On the right, a search panel for '承認/処理' (Approval/Processing) is open, showing fields for 'ノードID', 'ノード名', and '処理対象者' (Processing Target). The '処理対象者' field is set to '申請/処理開始者の所属組織+役職' (Organization and Position of Applicant/Processor). Red circles and arrows indicate the steps: 1. Click '検索' (Search), 2. Scroll down, 3. Click the magnifying glass icon next to the selected target.

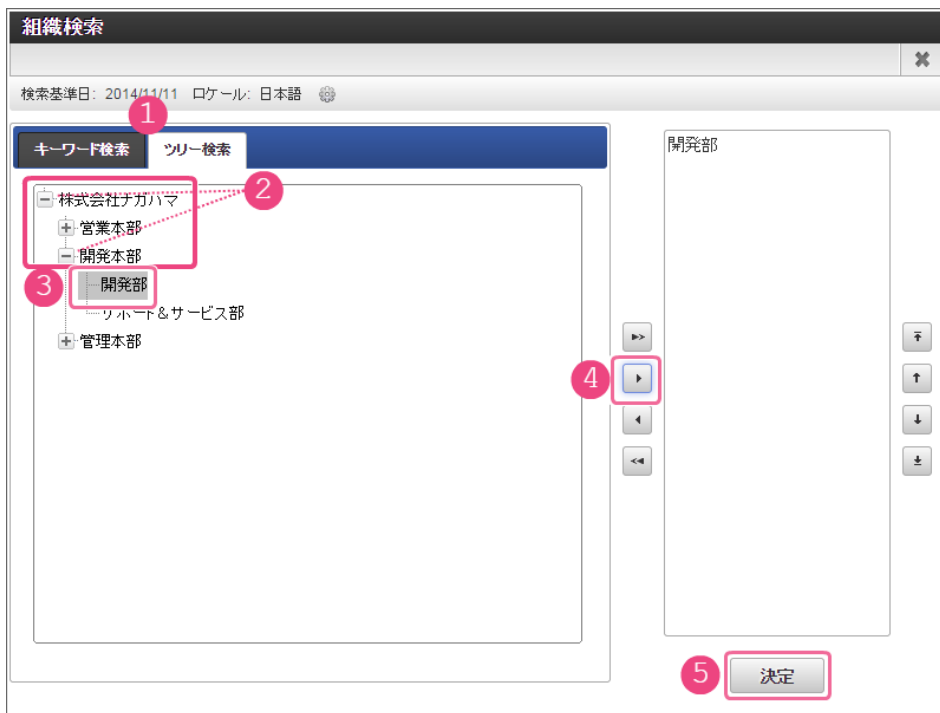
1. 処理対象者の「検索」をクリックしてください。
 2. 選択対象の処理対象者の種類が表示されていないため、下にスクロールしてください。
 3. 「申請/処理開始者の所属組織+役職」の左の虫眼鏡アイコンをクリックしてください。
7. 処理対象の組織と役職の組み合わせを以下の手順で設定してください。

The screenshot shows the search dialog for '申請/処理開始者の所属組織+役職'. It has a search date of 2014/11/11 and language set to Japanese. The '役職検索' (Position Search) section shows a list of companies and positions. '株式会社ナガハマ' (Nagahama Co., Ltd.) is selected. The list of positions includes '社長', '本部長', and '部長'. The '部長' position is selected. A '決定' (Decision) button is at the bottom right. Red circles and arrows indicate the steps: 1. Click '株式会社ナガハマ', 2. Click '部長', 3. Click the '決定' button, 4. Click the '決定' button.

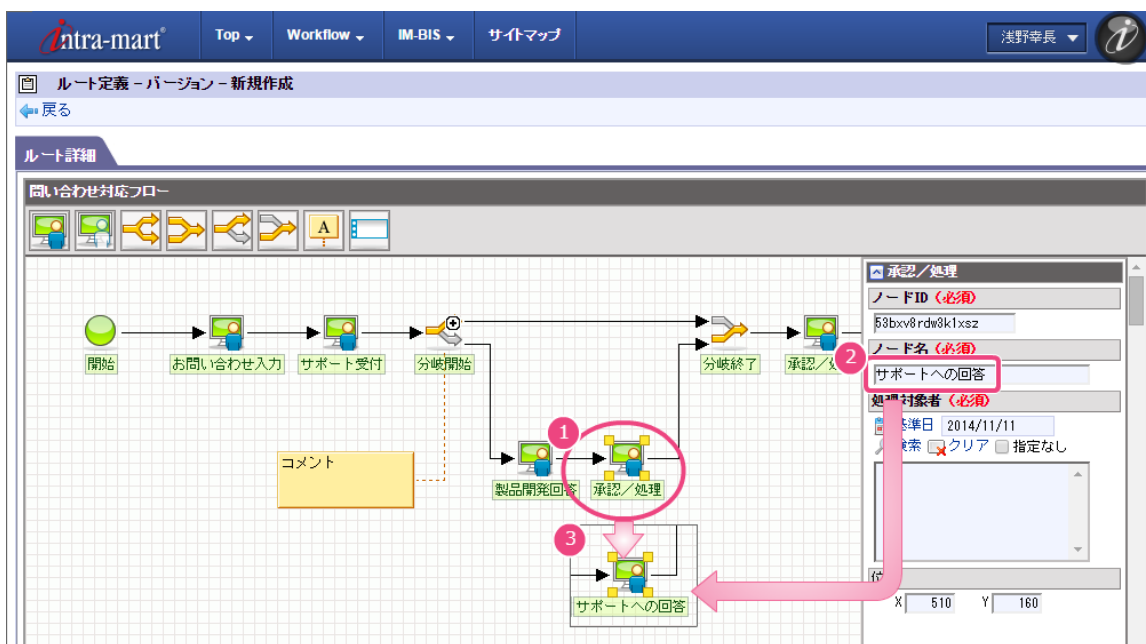
1. 「株式会社ナガハマ」をクリックして選択状態にしてください。
 2. 役職から「部長」をクリックしてください。
 3. 「選択」ボタンをクリックしてください。
 4. ルートの処理対象者に反映するために「決定」をクリックしてください。
8. 以下の手順で分岐開始ノードの後の3番目のノード名を設定してください。

1. 3番目の「承認/処理」アイコンをクリックしてください。
右側にノードの情報が表示されます。
 2. 「ノード名」に「製品開発回答」と入力してください。
 3. ノード名のフォーカスを外すと、ルートに表示されているノード名が変更されたことが確認できます。
9. 以下の手順で「製品開発回答」の処理が実行できるユーザの検索画面を表示してください。

1. 処理対象者の「検索」をクリックしてください。
 2. 「組織」の左の虫眼鏡アイコンをクリックしてください。
10. 組織検索では、以下の手順で対象の組織を選択してください。



1. 「ツリー検索」タブをクリックしてください。
 2. 「株式会社ナガハマ」→「開発本部」の順にクリックし、組織のツリーを展開してください。
 3. 「開発本部」の配下の「開発部」をクリックして選択状態にしてください。
 4. 「開発部」を選択対象にするために、「選択」ボタンをクリックしてください。
 5. ルートの処理対象者に反映するために「決定」をクリックしてください。
11. 同様に、以下の手順で分岐開始・分岐終了の間に配置したもう一つのアイコンのノード名を設定してください。



1. 分岐開始・分岐終了の間に配置したもう一つの「承認/処理」アイコンをクリックしてください。右側にノードの情報が表示されます。
 2. 「ノード名」に「サポートへの回答」と入力してください。
 3. ノード名のフォーカスを外すと、ルートに表示されているノード名が変更されたことが確認できます。
12. 以下の手順で「サポートへの回答」の処理が実行できるユーザの検索画面を表示してください。

The screenshot shows the 'ルート詳細' (Route Detail) page in Intra-mart. It features a workflow diagram on the left and a configuration panel on the right. The configuration panel includes fields for '承認/処理' (Approval/Processing), 'ノードID (必須)' (Node ID), 'ノード名 (必須)' (Node Name), and '処理対象者 (必須)' (Processing Target). The '検索' (Search) field is highlighted with a red box and a red arrow labeled '1'. Below it, a list of processing target roles is shown, with '前処理者の所属組織+役職' (Previous processor's organization + position) highlighted with a red box and a red arrow labeled '2'. A magnifying glass icon next to this item is highlighted with a red box and a red arrow labeled '3'.

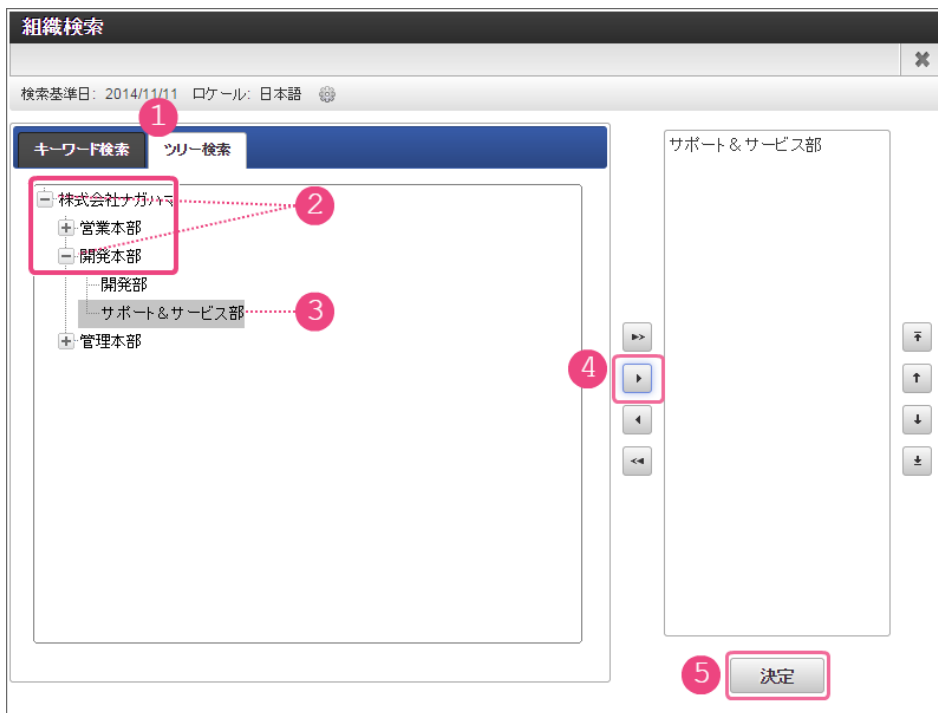
1. 処理対象者の「検索」をクリックしてください。
 2. 選択対象の処理対象者の種類が表示されていないため、下にスクロールしてください。
 3. 「前処理者の所属組織+役職」の左の虫眼鏡アイコンをクリックしてください。
13. 処理対象の組織と役職の組み合わせを以下の手順で設定してください。

The dialog box '前処理者の所属組織+役職' (Previous processor's organization + position) is shown. It has a search bar with '株式会社ナガハマ' (Nagahama Co., Ltd.) entered. Below the search bar, there are two columns of roles: '社長' (President), '本部長' (Section Chief), and '部長' (Department Chief). The '部長' role is highlighted with a red box and a red arrow labeled '2'. A red arrow labeled '1' points to the search bar. A red arrow labeled '3' points to the '選択' (Select) button. At the bottom right, there is a '決定' (Decision) button highlighted with a red box and a red arrow labeled '4'.

1. 「株式会社ナガハマ」をクリックして選択状態にしてください。
 2. 役職から「部長」をクリックしてください。
 3. 「選択」ボタンをクリックしてください。
 4. ルートの処理対象者に反映するために「決定」をクリックしてください。
14. 以下の手順で最後のノード名を設定してください。

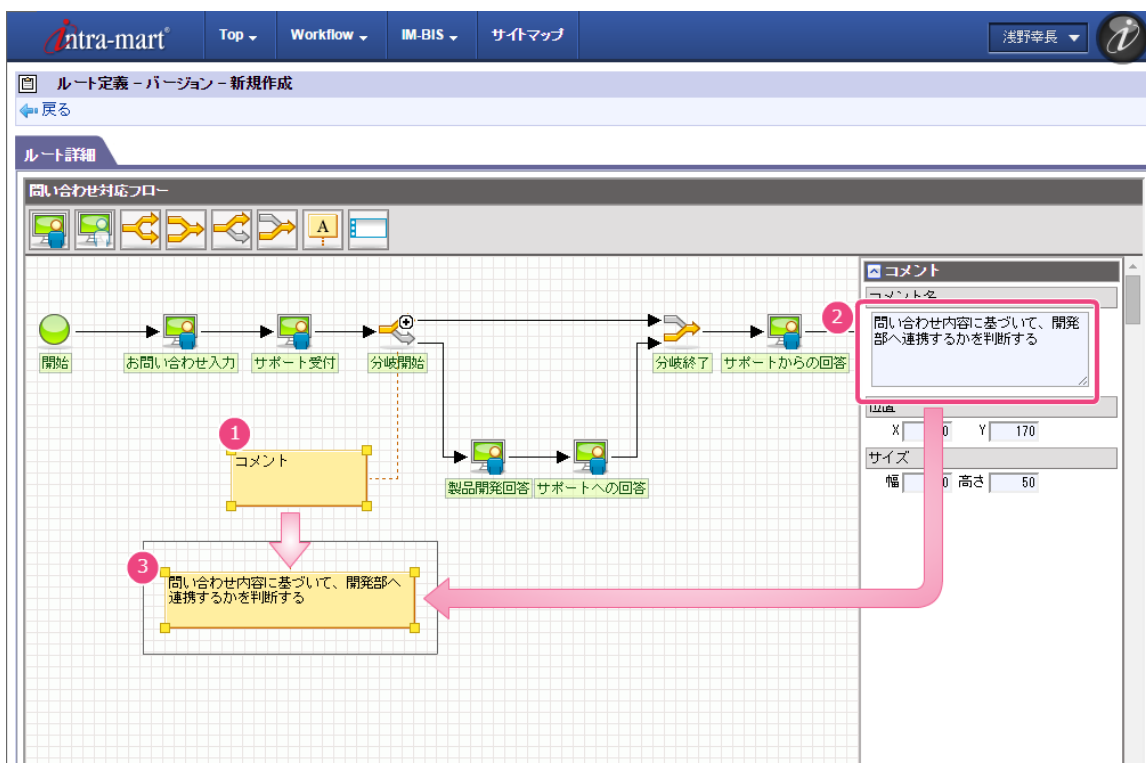
1. 最後の「承認/処理」アイコンをクリックしてください。
右側にノードの情報が表示されます。
 2. 「ノード名」に「サポートからの回答」と入力してください。
 3. ノード名のフォーカスを外すと、ルートに表示されているノード名が変更されたことが確認できます。
15. 以下の手順で「サポートからの回答」の処理が実行できるユーザの検索画面を表示してください。

1. 処理対象者の「検索」をクリックしてください。
 2. 「組織」の左の虫眼鏡アイコンをクリックしてください。
16. 組織検索では、以下の手順で対象の組織を選択してください。



1. 「ツリー検索」タブをクリックしてください。
2. 「株式会社ナガハマ」→「開発本部」の順にクリックし、組織のツリーを展開してください。
3. 「開発本部」の配下の「サポート&サービス部」をクリックして選択状態にしてください。
4. 「サポート&サービス部」を選択対象にするために、「選択」ボタンをクリックしてください。
5. ルートの処理対象者に反映するために「決定」をクリックしてください。

17. 経路（承認ルート）の確認時に分岐条件の補足情報を確認できるように、以下の手順でコメントを設定してください。



1. 「コメント」アイコンをクリックしてください。
右側にコメントの情報が表示されます。
2. 「コメント名」に「問い合わせ内容に基づいて、開発部へ連携するかを判断する」と入力してください。
3. コメント名のフォーカスを外すと、ルートに表示されているコメントの内容が変更されたことが確認できます。

18. これで、経路情報の設定が完了しましたので、「登録」をクリックして保存してください。

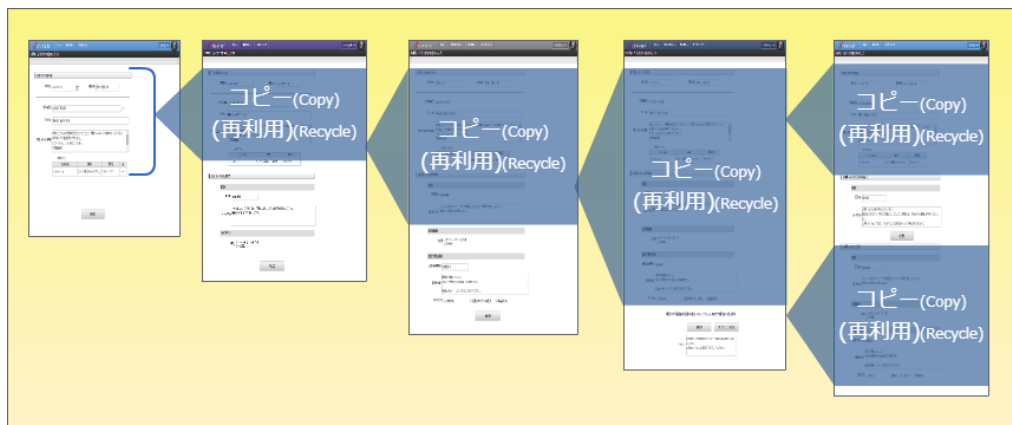
ワークフローを編集できます。

登録

入力画面（アプリケーション）の設定

今回作成するフローでは、すべてのノードで表示する画面の項目に違いがあります。

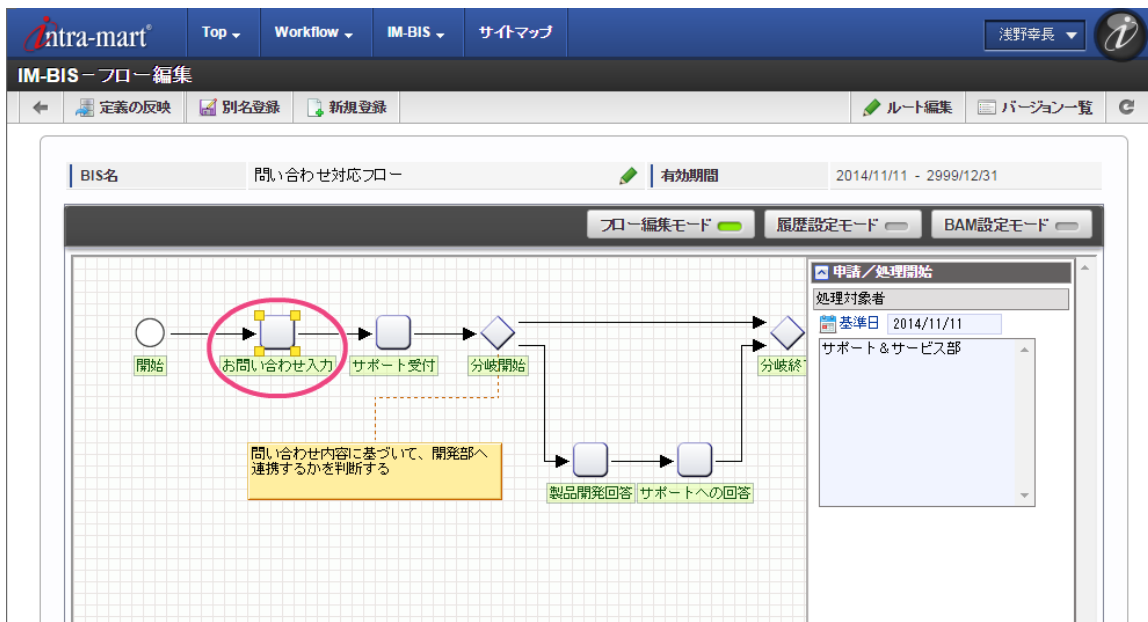
後半のノードに従って、項目が増えていきますので、前のノードの画面（フォーム）をベースに拡張する方法で作成していきましょう。



問い合わせ内容の入力画面を作成する

最初に、問い合わせ内容を入力するための画面を作成していきましょう。

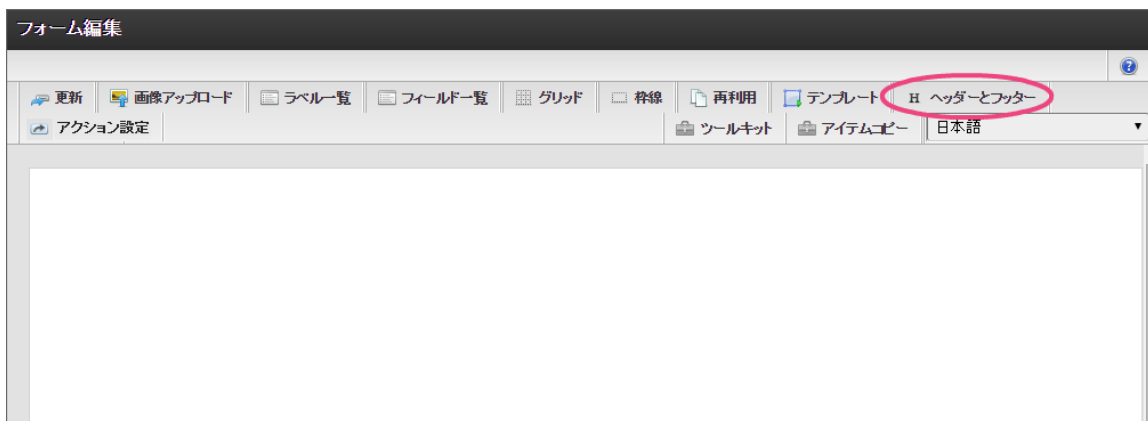
1. 一番左の「お問い合わせ入力」アイコンをダブルクリックして、入力項目の編集画面を表示しましょう。



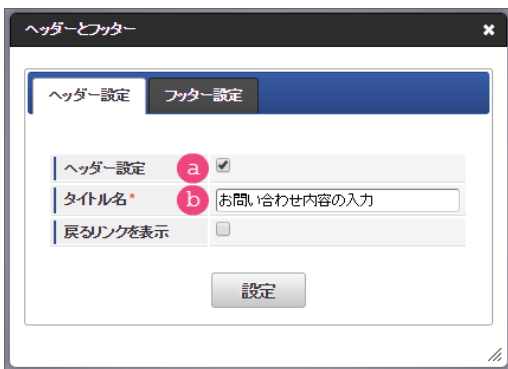
2. 「フォーム-登録」画面では、以下の通りに入力し、「登録」をクリックしてください。

設定項目	設定値
a フォーム名	お問い合わせ内容入力フォーム

3. 新しくポップアップで表示された画面の右上の「ヘッダーとフッター」をクリックしましょう。

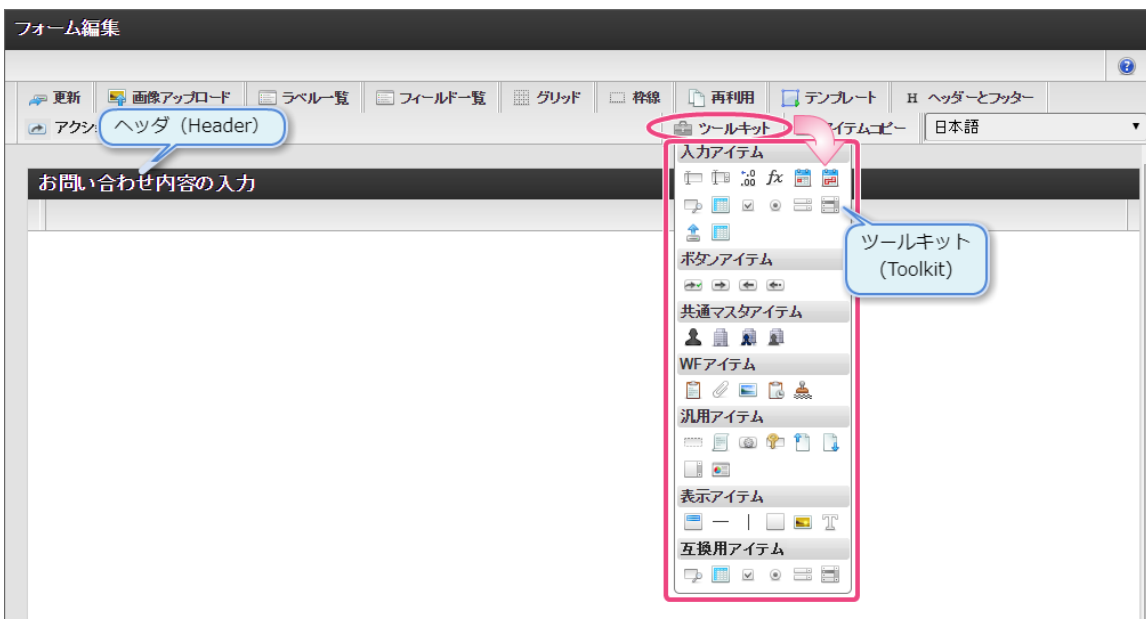


4. 「ヘッダー設定」では、以下の通りに入力し、「設定」をクリックしてください。

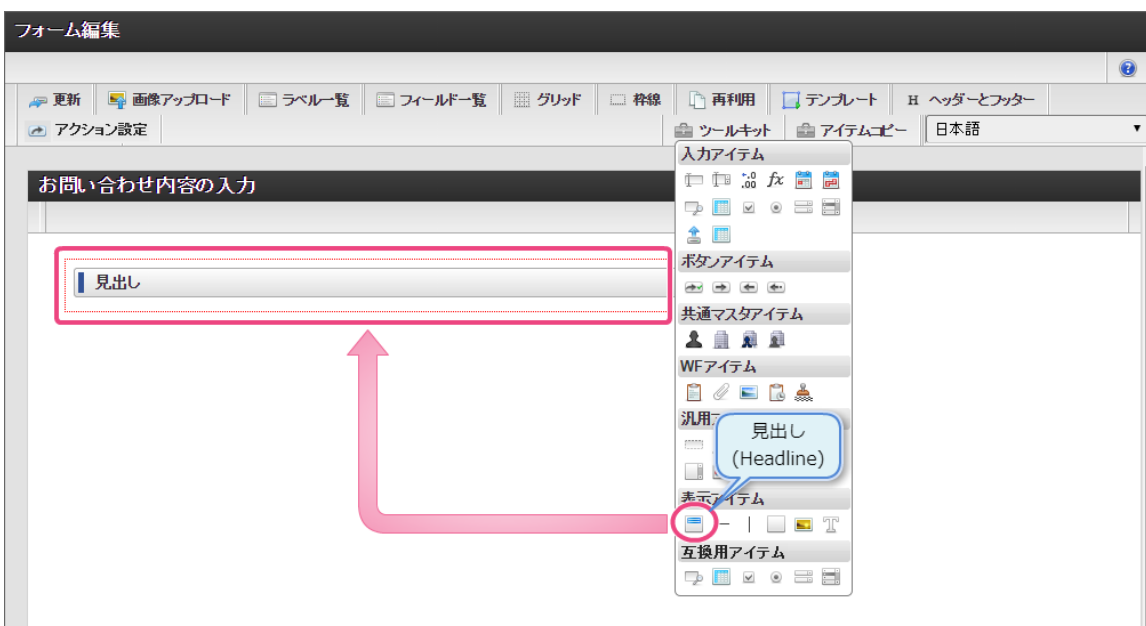


設定項目	設定値
a ヘッダー設定	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)
b タイトル名	お問い合わせ内容の入力

5. 「ツールキット」をクリックして、ツールキットを表示しましょう。



6. アイテムの「見出し」をドラッグ&ドロップで配置してください。



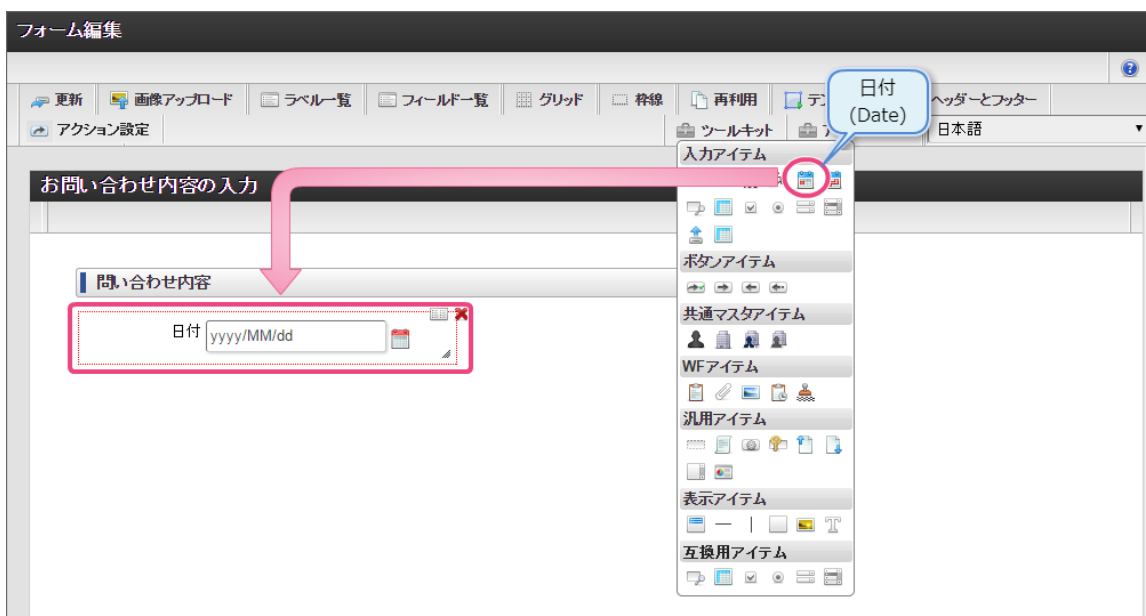
7. 配置した「見出し」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



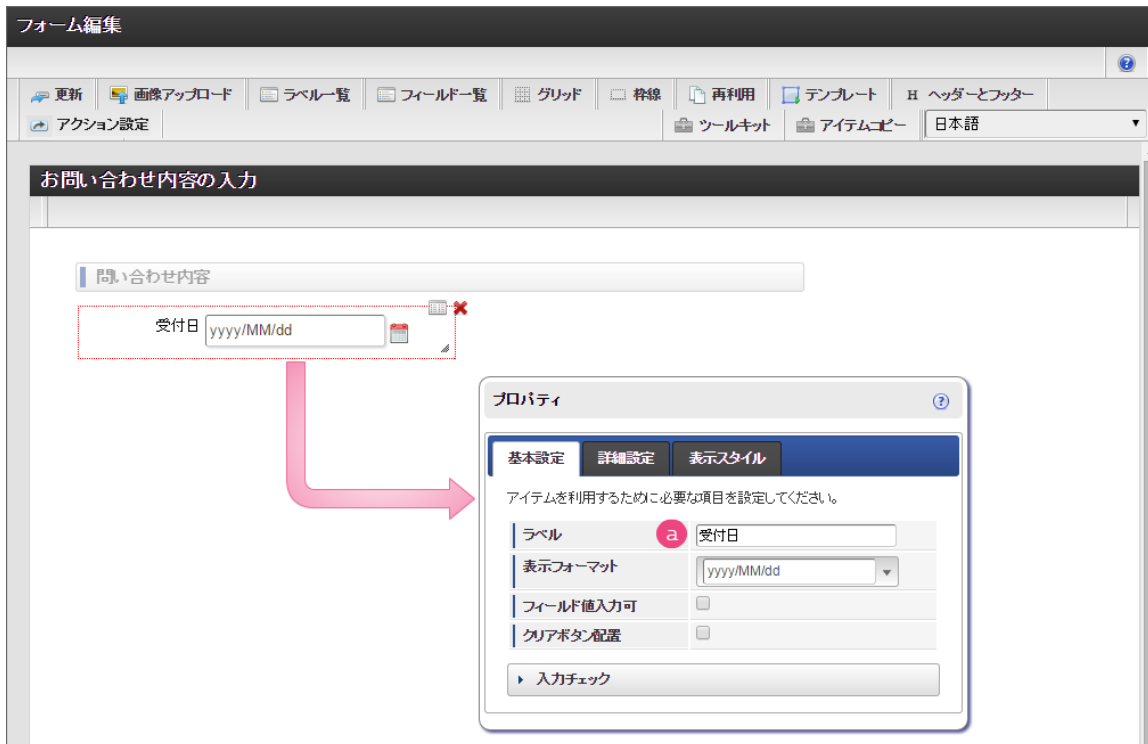
設定項目 設定値

a ラベル 問い合わせ内容

8. アイテムの「日付」をドラッグ&ドロップで配置してください。

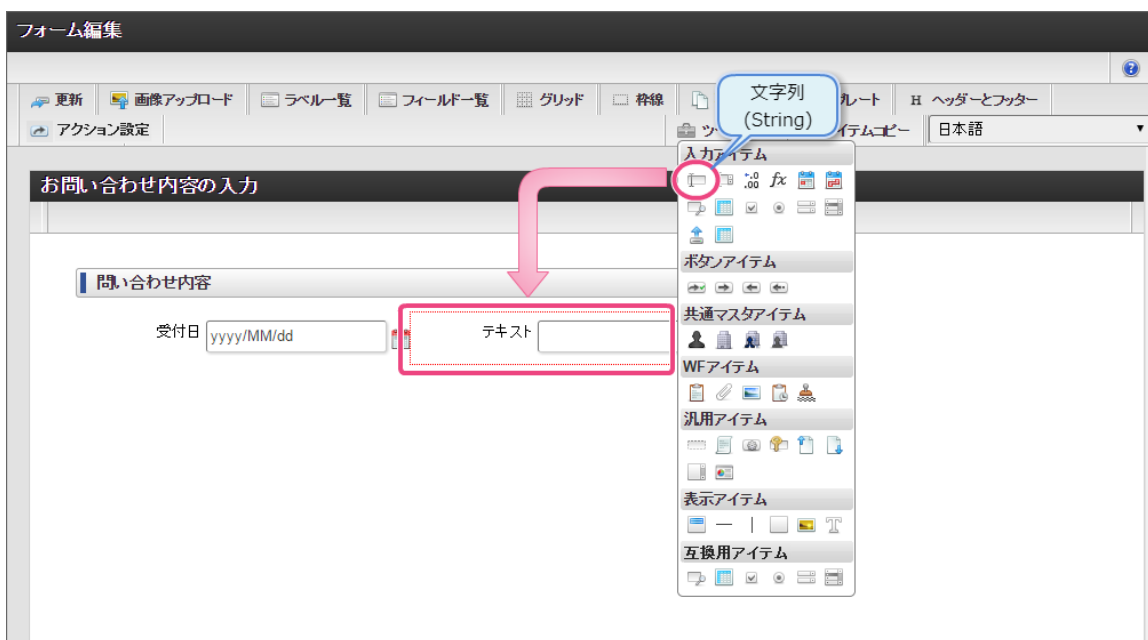


9. 配置した「日付」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



設定項目	設定値
a ラベル	受付日

10. アイテムの「文字列」をドラッグ&ドロップで配置してください。



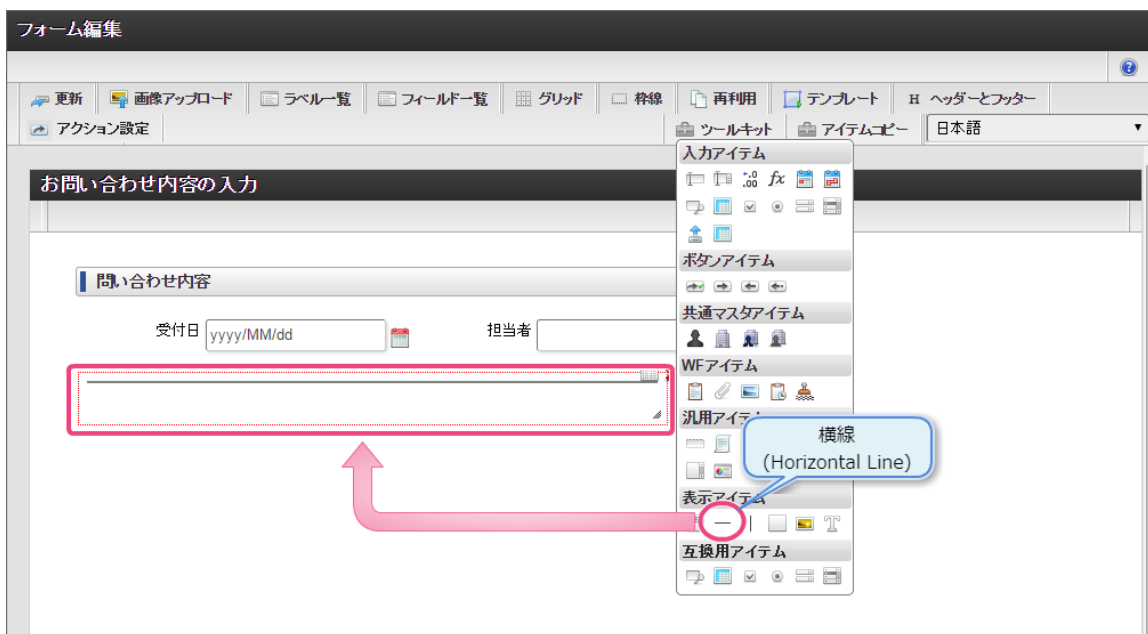
11. 配置した「文字列」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



設定項目 設定値

a ラベル 担当者

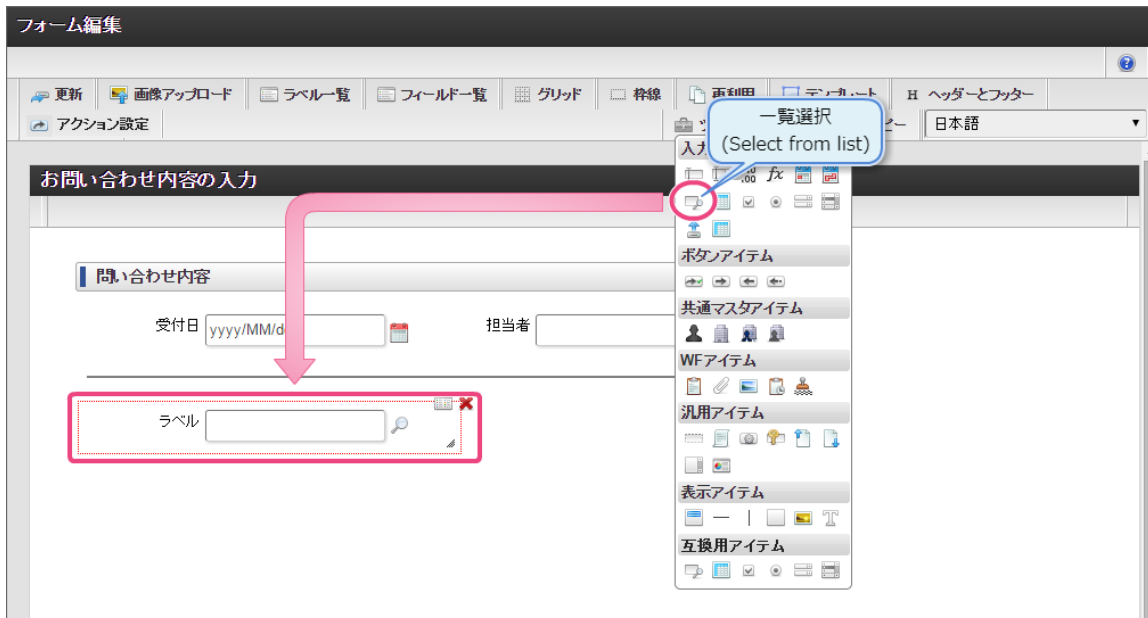
12. アイテムの「横線」をドラッグ&ドロップで配置してください。



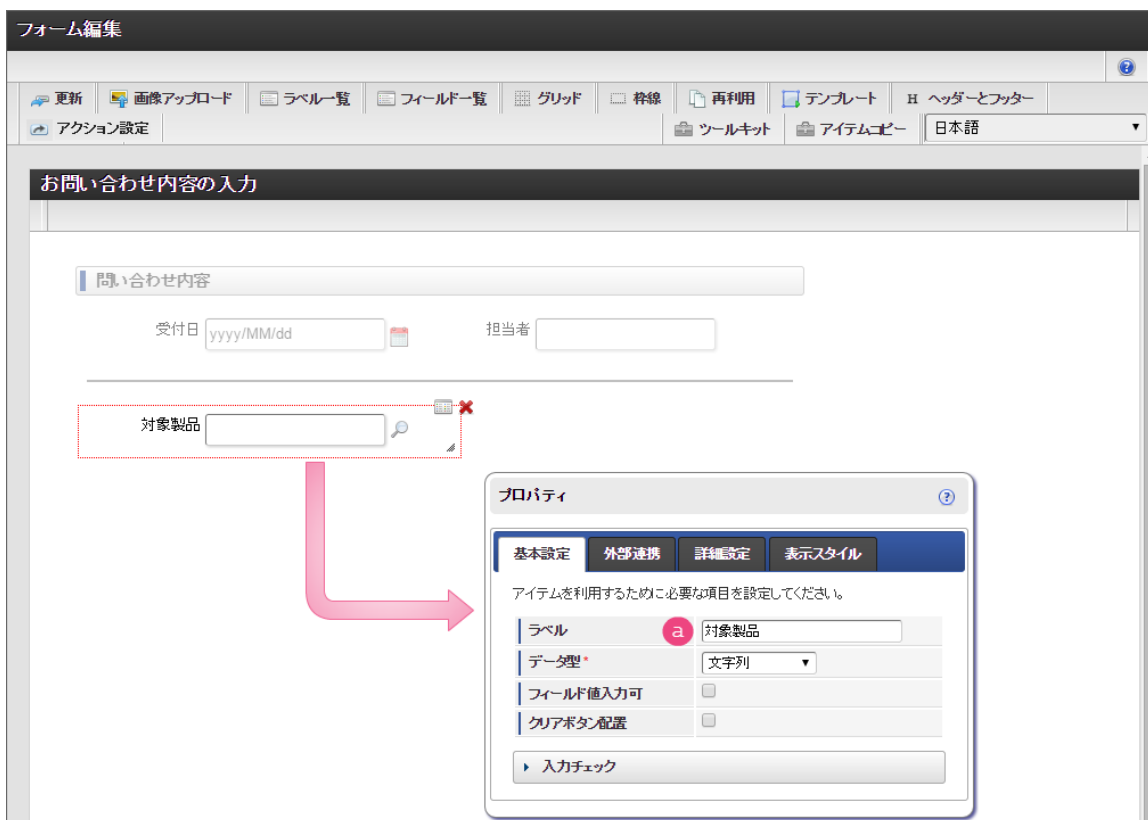
13. 「横線」アイテムをクリック後、右下の角をドラッグして、線を長くしてください。



14. アイテムの「一覧選択」をドラッグ&ドロップで配置してください。



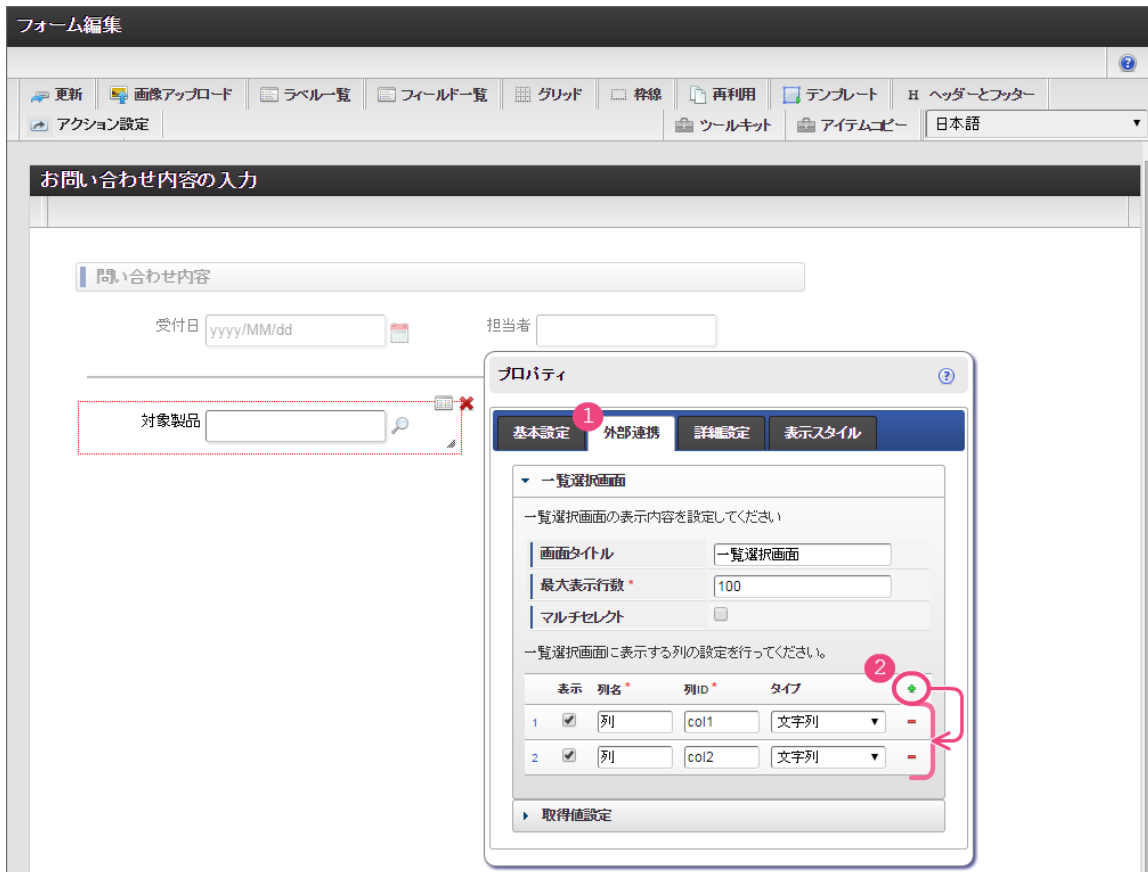
15. 配置した「一覧選択」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



設定項目 設定値

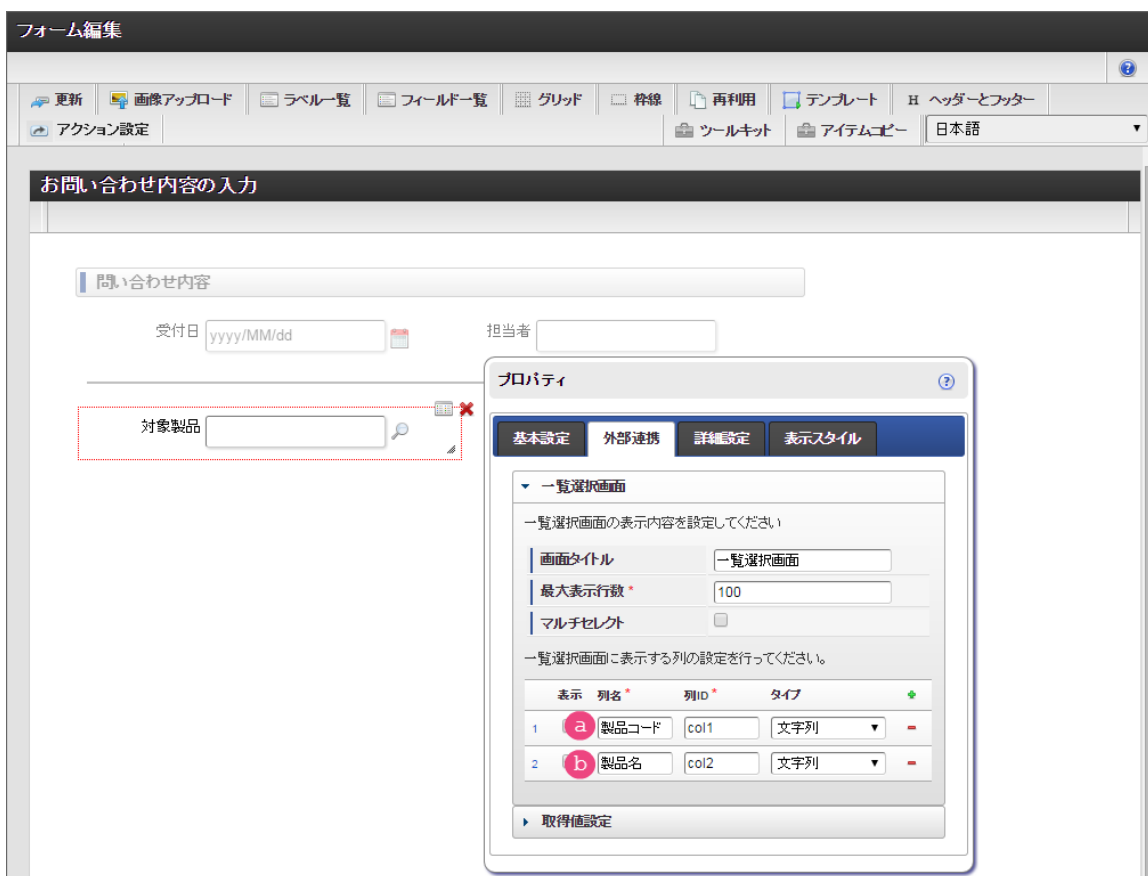
a ラベル 対象製品

16. 以下の手順で「一覧選択」画面を設定してください。



1. 「外部連携」をクリックしてください。
2. + を2回クリックして、一覧選択画面に表示する列を2列に設定してください。

17. 追加した列の列名を以下の通りに設定してください。



設定項目	設定値
a 列名 (1列目)	製品コード
b 列名 (2列目)	製品名

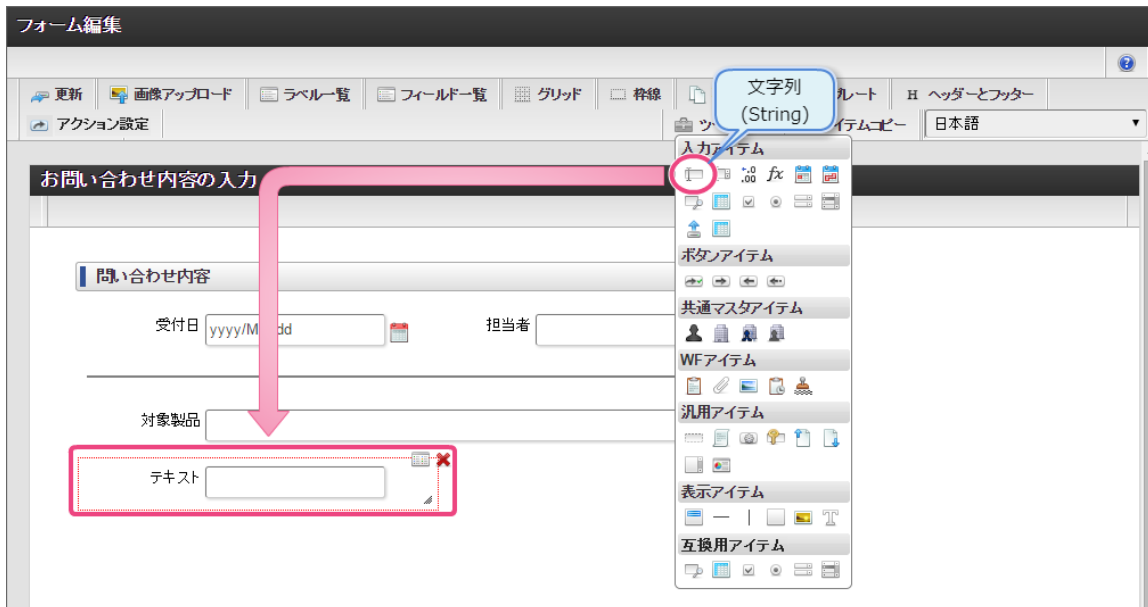
18. 以下の手順で「詳細設定」を設定してください。

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 「フィールド幅」を以下の通りに設定してください。

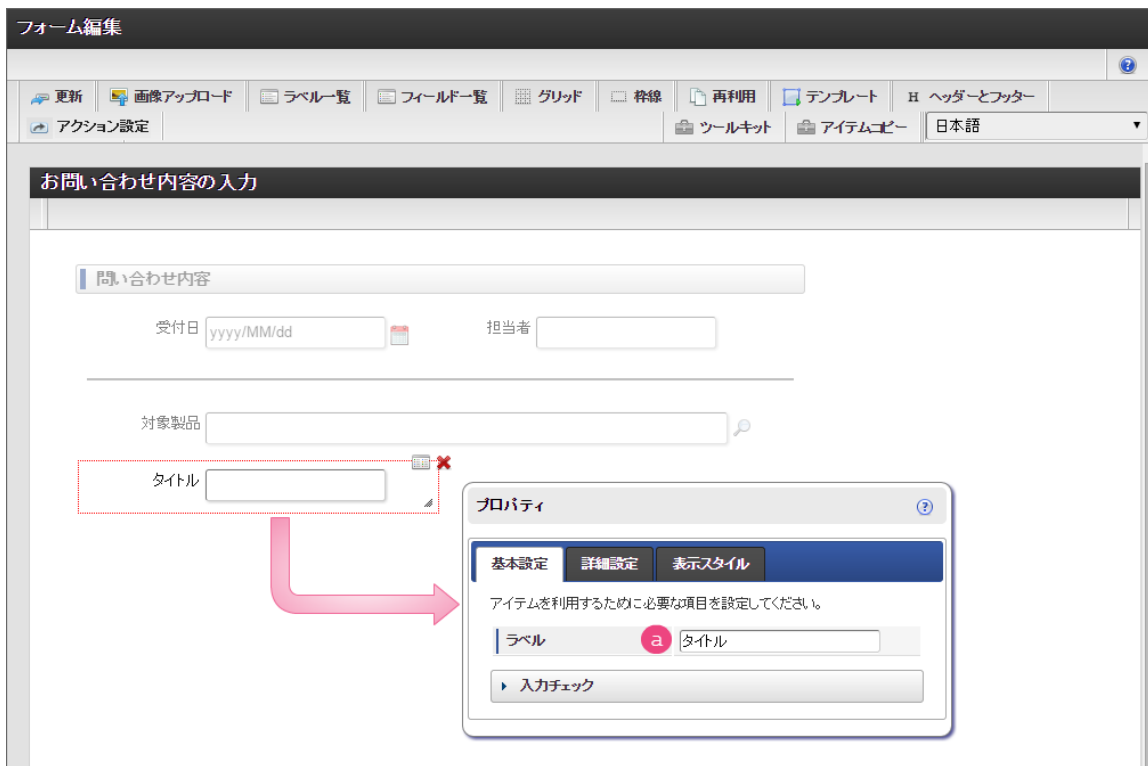
設定項目	設定値
a フィールド幅	450

19. 一度プロパティを閉じた後、「一覧選択」アイテムの右下の角をドラッグして、アイテムの表示エリアを広げてレイアウトを調整してください。

20. アイテムの「文字列」をドラッグ&ドロップで配置してください。

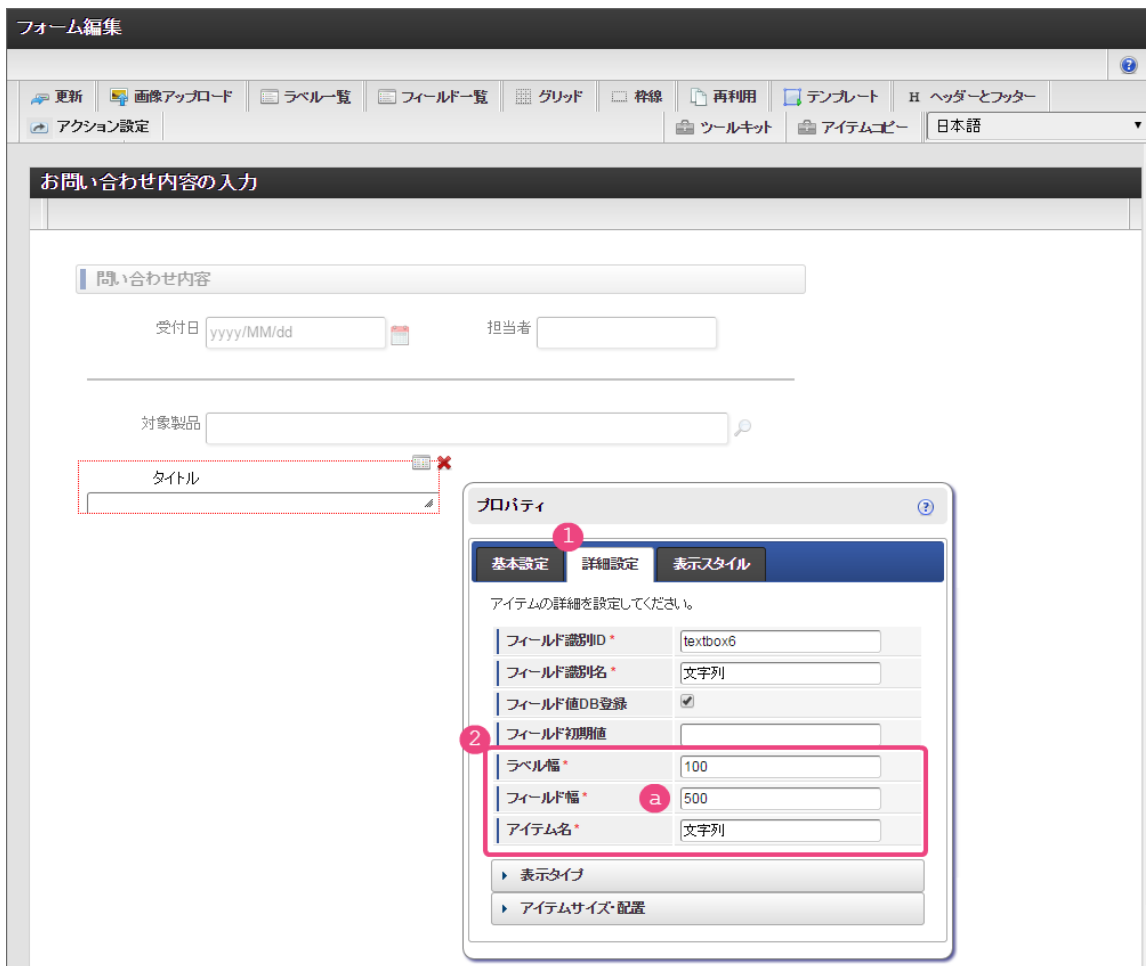


21. 配置した「文字列」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



設定項目	設定値
a ラベル	タイトル

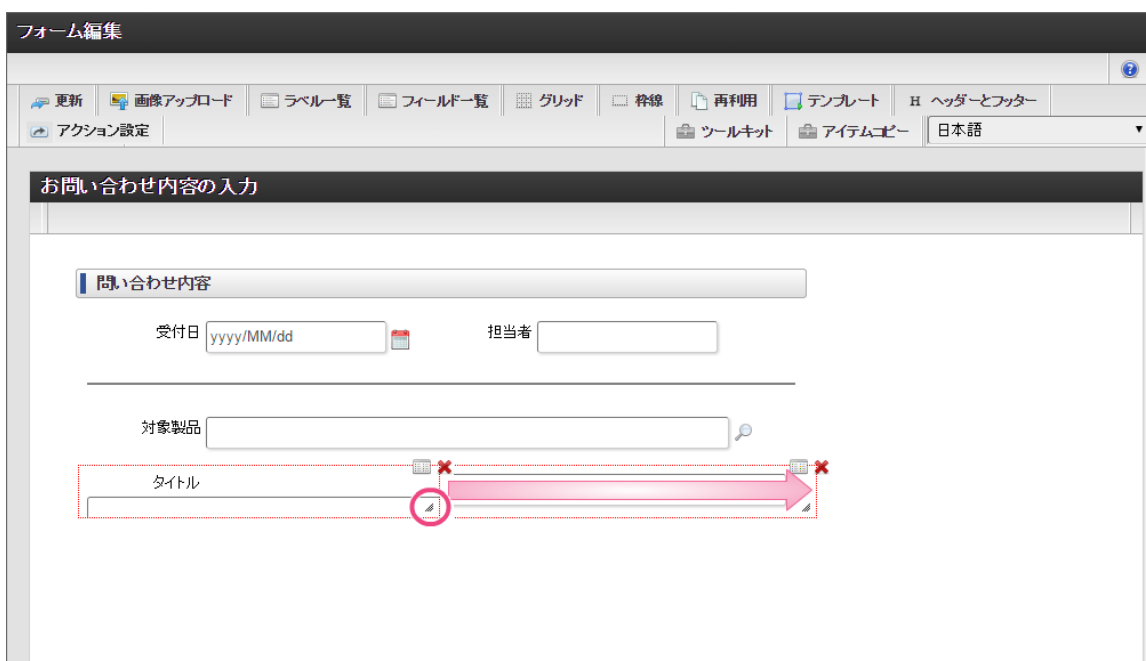
22. 以下の手順で「詳細設定」を設定してください。



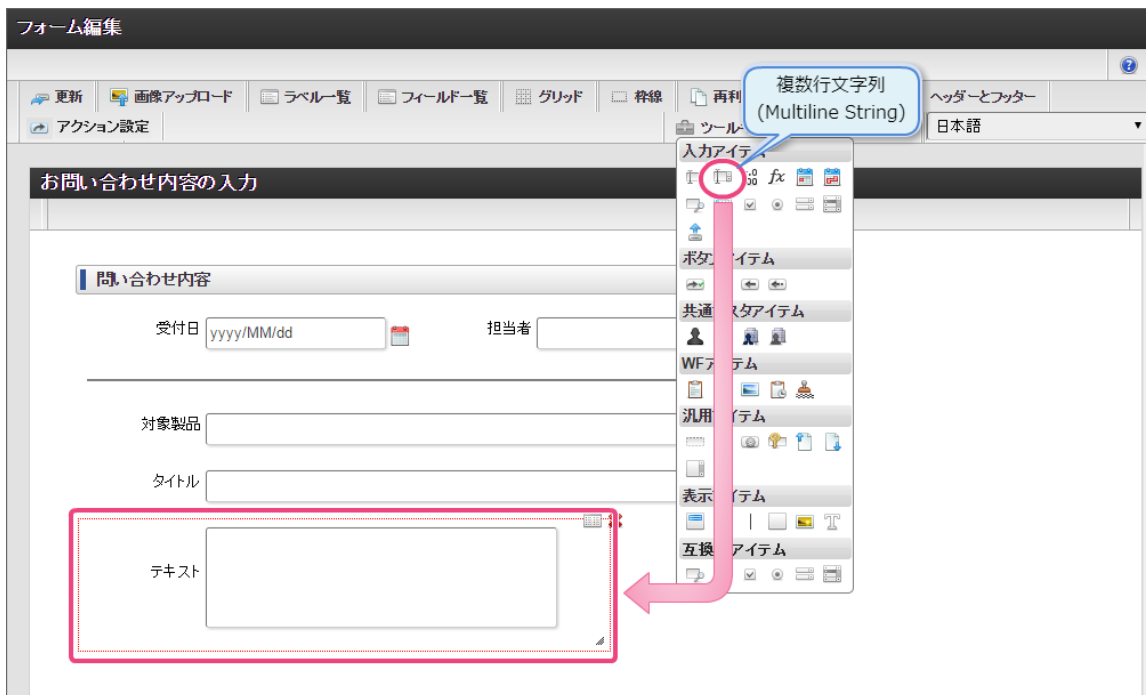
1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 「フィールド幅」を以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a フィールド幅	500

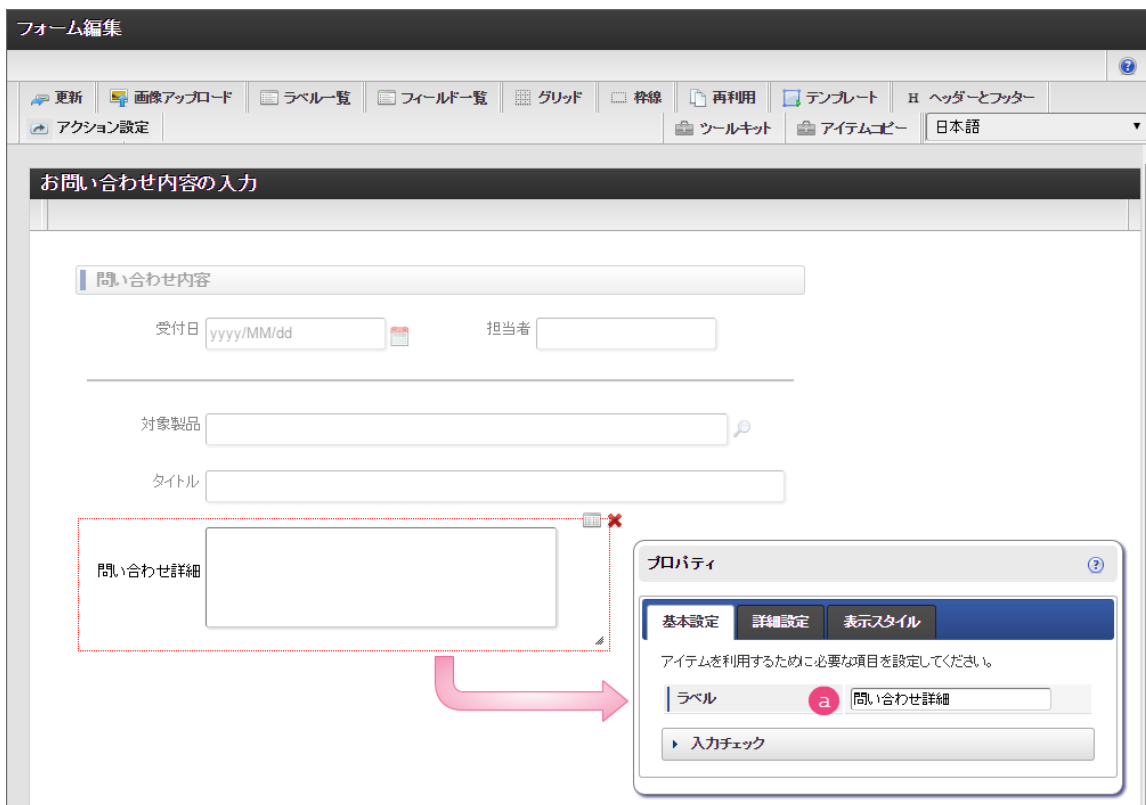
23. 一度プロパティを閉じた後、「文字列」アイテムの右下の角をドラッグして、アイテムの表示エリアを広げてレイアウトを調整してください。



24. アイテムの「複数行文字列」をドラッグ&ドロップで配置してください。



25. 配置した「複数行文字列」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



設定項目	設定値
------	-----

a ラベル	お問い合わせ詳細
-------	----------

26. 以下の手順で「詳細設定」を設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID * textarea7
 フィールド識別名 * 複数行文字列
 フィールドDB登録
 フィールド初期値
 ラベル幅 * 100
 フィールド幅 * 500
 フィールド高 * 80
 アイテム名 * 複数行文字列

表示タイプ
 アイテムサイズ・配置

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 「フィールド幅」を以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a フィールド幅	500

27. 一度プロパティを閉じた後、「文字列」アイテムの右下の角をドラッグして、アイテムの表示エリアを広げてレイアウトを調整してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

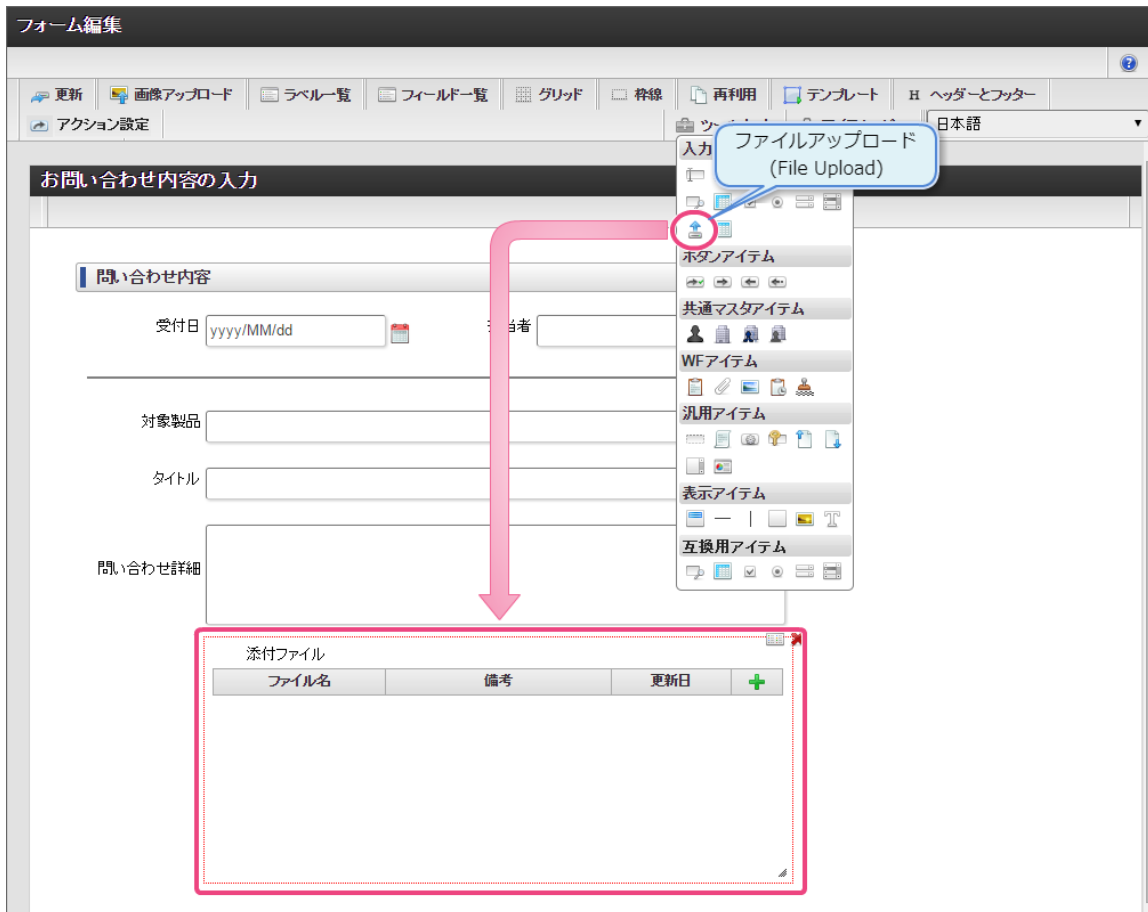
対象製品

タイトル

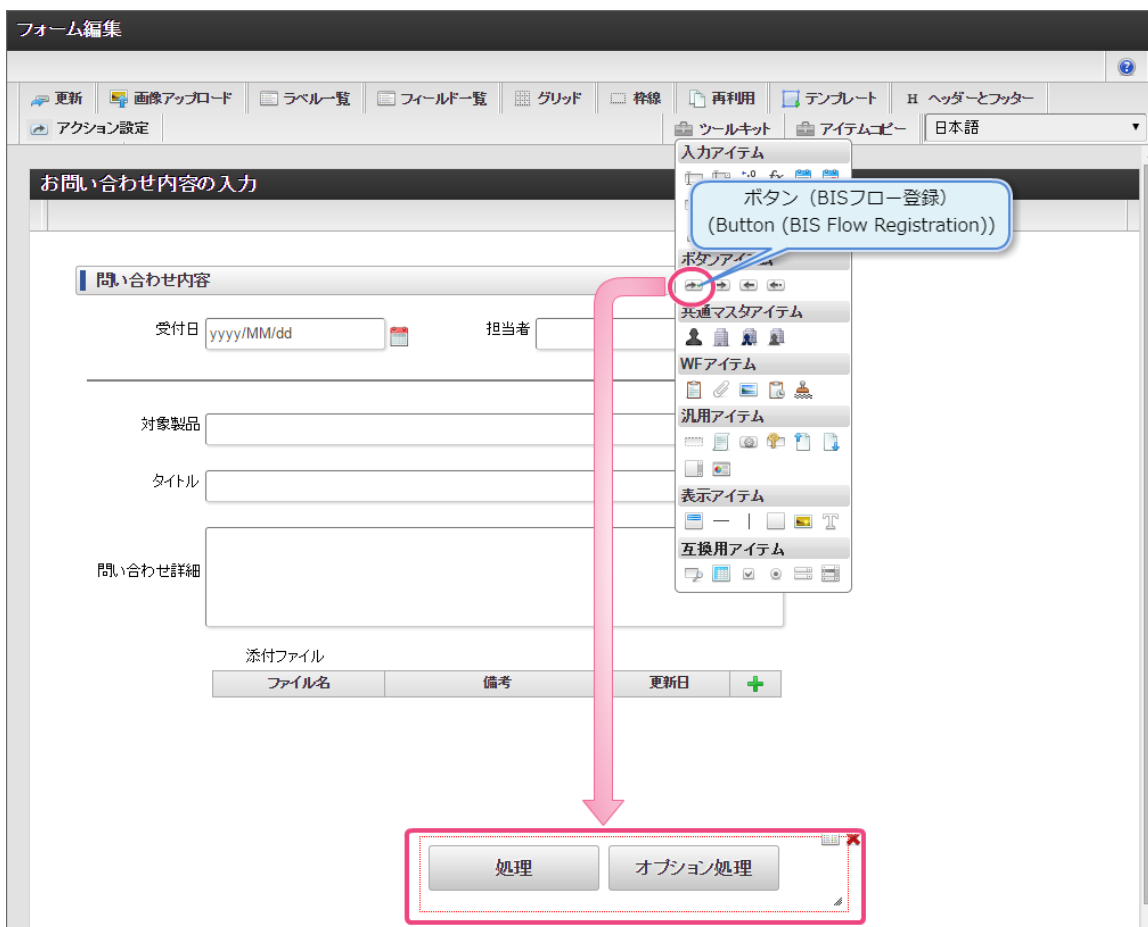
お問い合わせ詳細

お問い合わせ詳細

28. アイテムの「ファイルアップロード」をドラッグ&ドロップで配置してください。



29. アイテムの「ボタン (BISフロー登録)」をドラッグ&ドロップで配置してください。



30. 「アクション設定」をクリックしましょう。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター

アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日	+
-------	----	-----	---

処理 オプション処理

入力アイテム
ボタンアイテム
共通マスタアイテム
WFアイテム
汎用アイテム
表示アイテム
互換用アイテム

31. 以下の手順で「外部連携設定」画面を表示してください。

イベント設定

初期表示イベント アイテムイベント テーブルイベント

特殊イベント

アイテム*	イベントタイプ	説明	設定
対象製品 ItemSelect5	アイコンクリック		設定

通常イベント

+ 追加

アイテム*	イベントタイプ	説明	設定	削除
-------	---------	----	----	----

確定

1. 「アイテムイベント」をクリックしてください。

2. 「設定」をクリックしてください。

32. 「+ 追加」をクリックしてください。

外部連携設定

アイテム	対象製品 itemSelect5
イベントタイプ	アイコンクリック

+ 追加

データソース名	説明	前処理エラー時	DM	削除
---------	----	---------	----	----

確定

33. 「🔍」をクリックしてください。

データマッパー

保存

リクエスト レスポンス

問い合わせ内容入力フォーム

問い合わせ内容入力フォーム

- 受付日 | calendar2
- 担当者 | textbox3
- 対象製品 | itemSelect5
- タイトル | textbox6
- 問い合わせ詳細 | textarea7

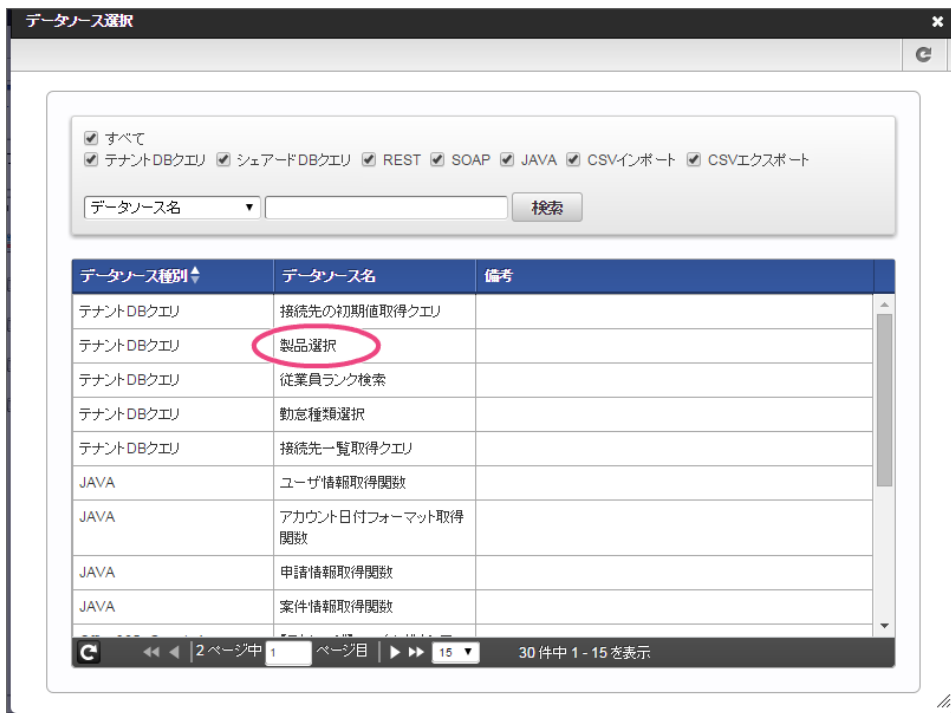
Operators

+ - × ÷ Fx

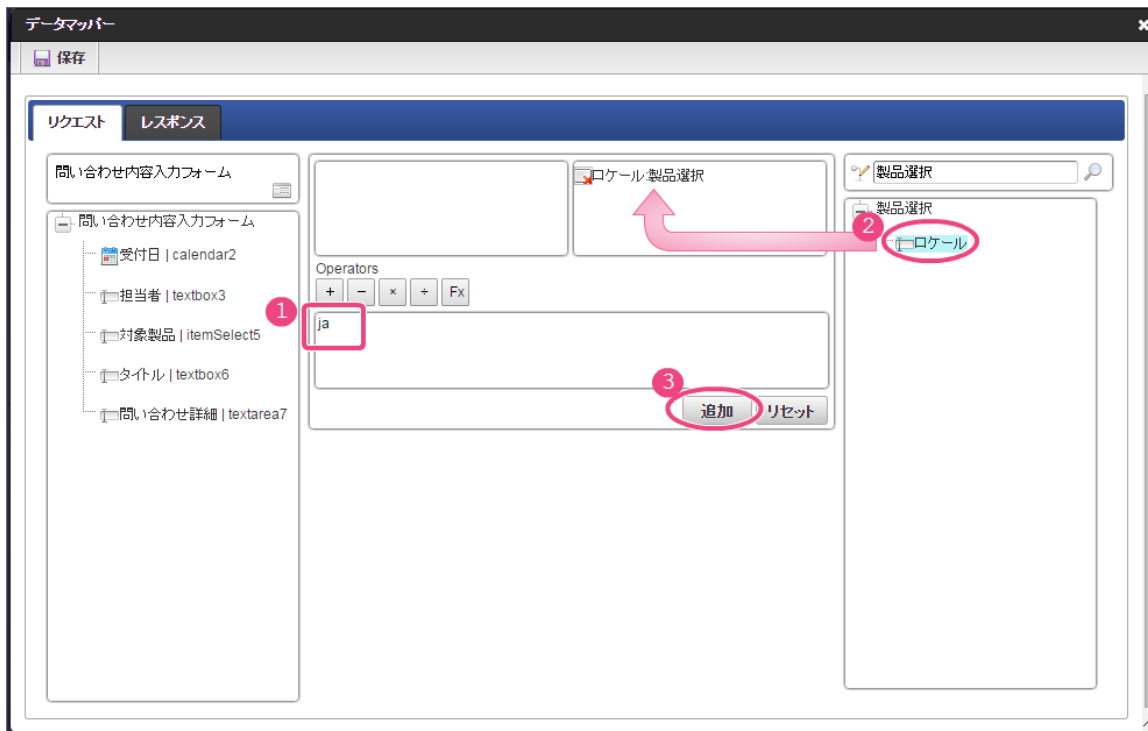
追加 リセット

🔍

34. 作成済みの「製品選択」をクリックしてください。

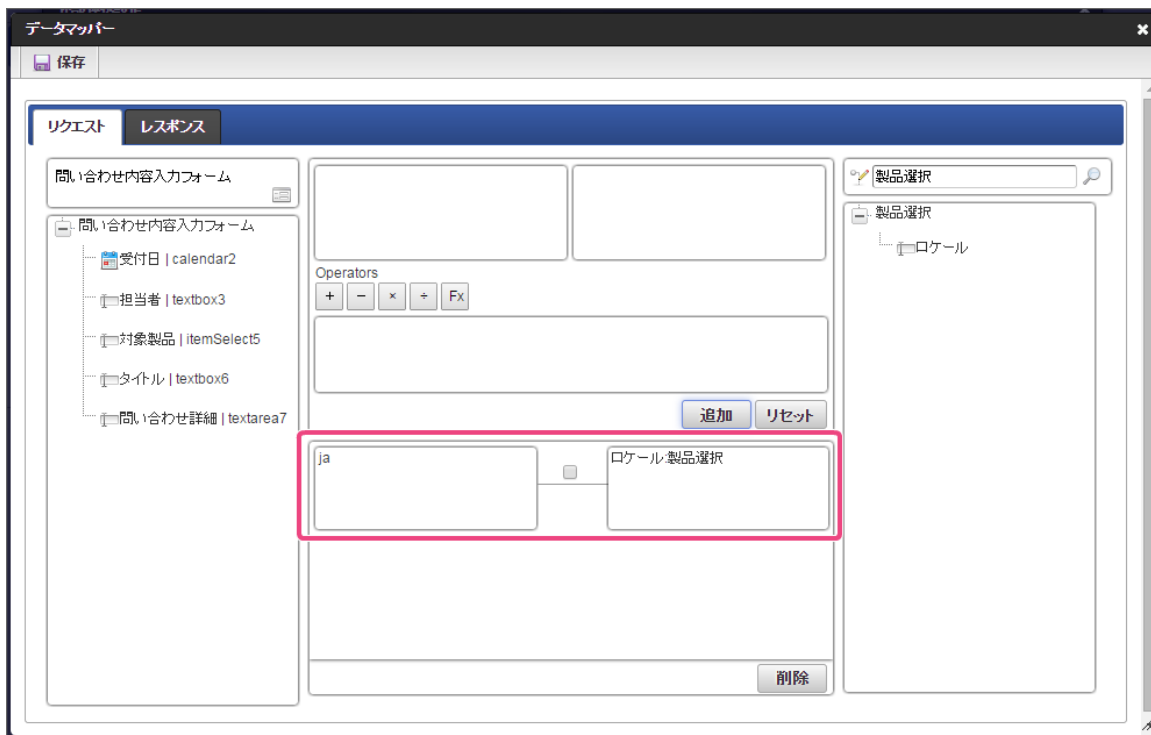


35. 今回は、日本語のデータのみを選択肢として表示できるように設定します。
以下の手順で、リクエストを設定してください。

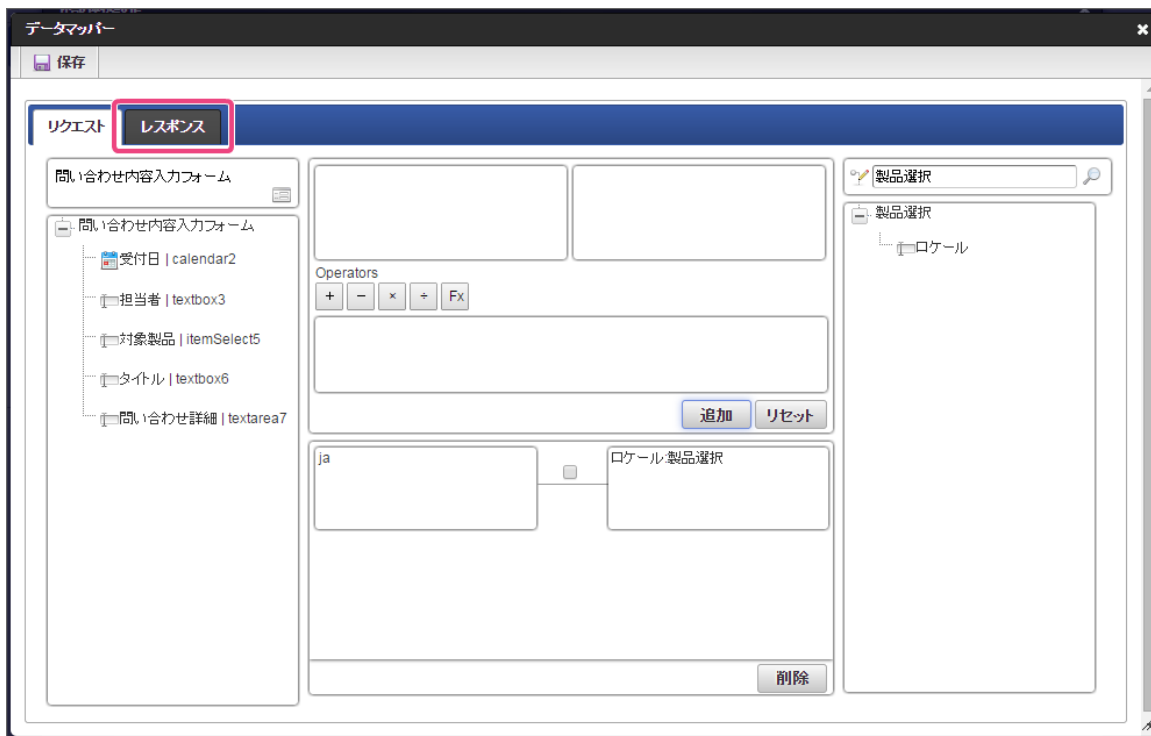


1. 中央の欄に「ja」と入力してください。
この際、「|」や「'''」等の記号はつけずに入力してください。
2. 右の欄から「ロケール」をクリックしてください。
3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。

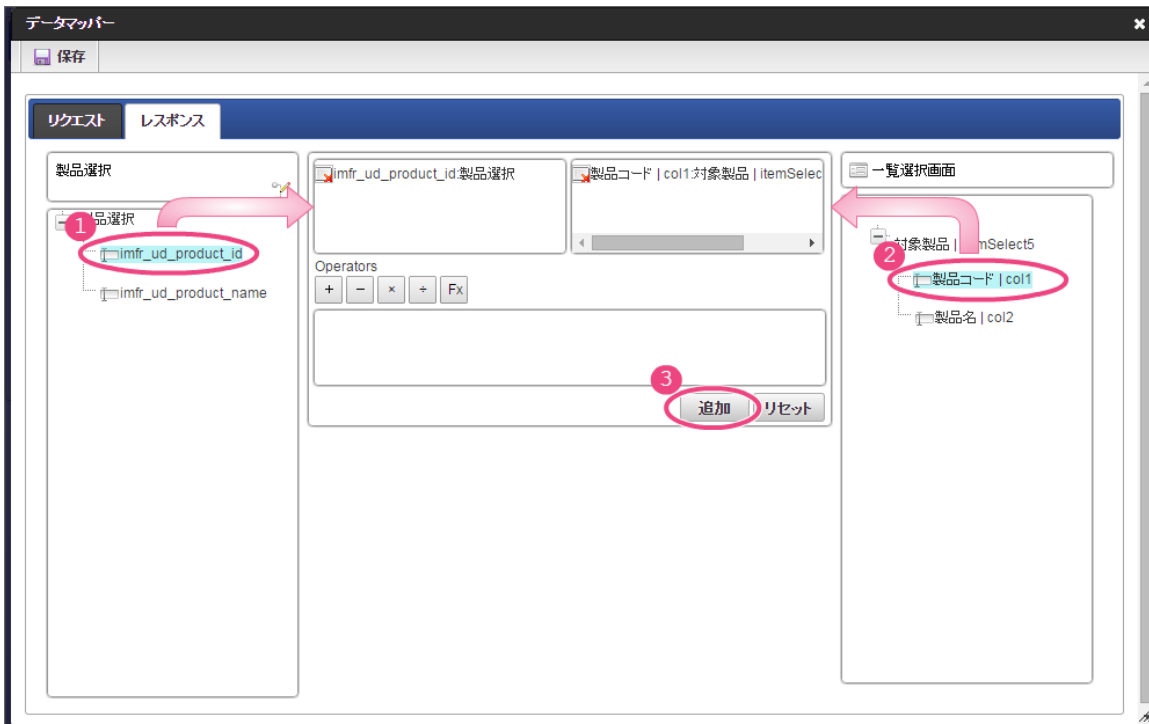
36. 下の図の通りにマッピングが設定できていることを確認してください。



37. 「レスポンス」をクリックしてください。

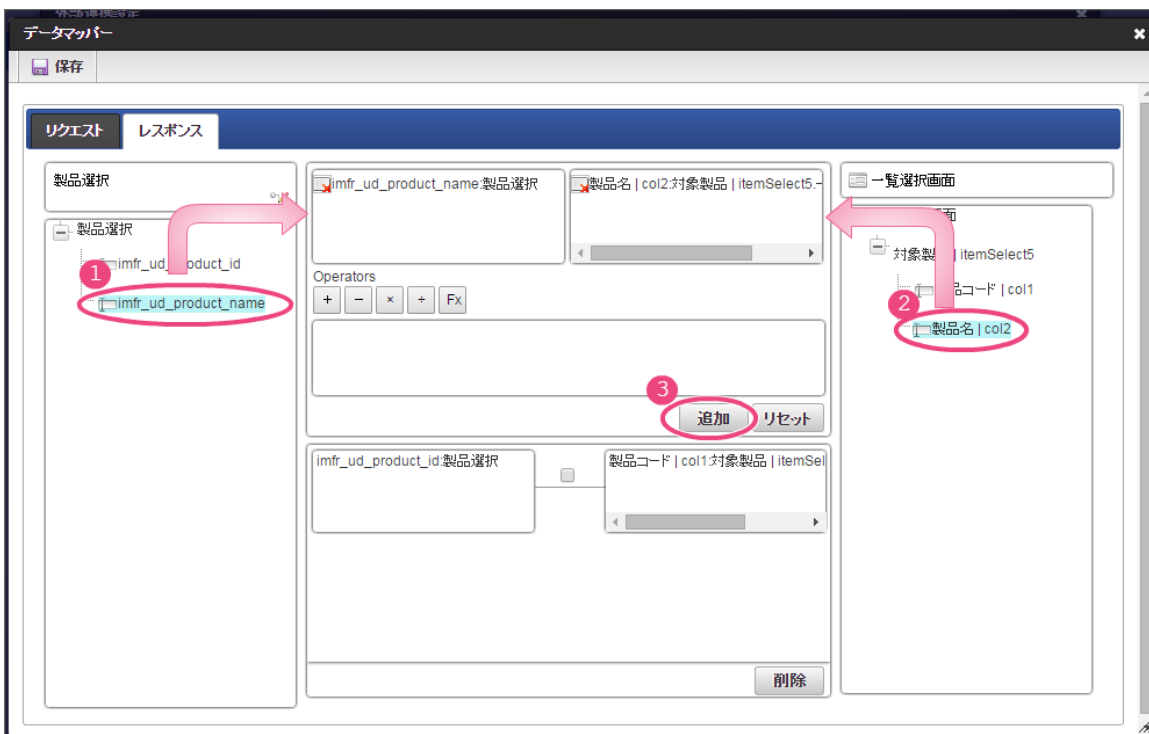


38. 以下の手順で、製品コードのマッピングを設定してください。



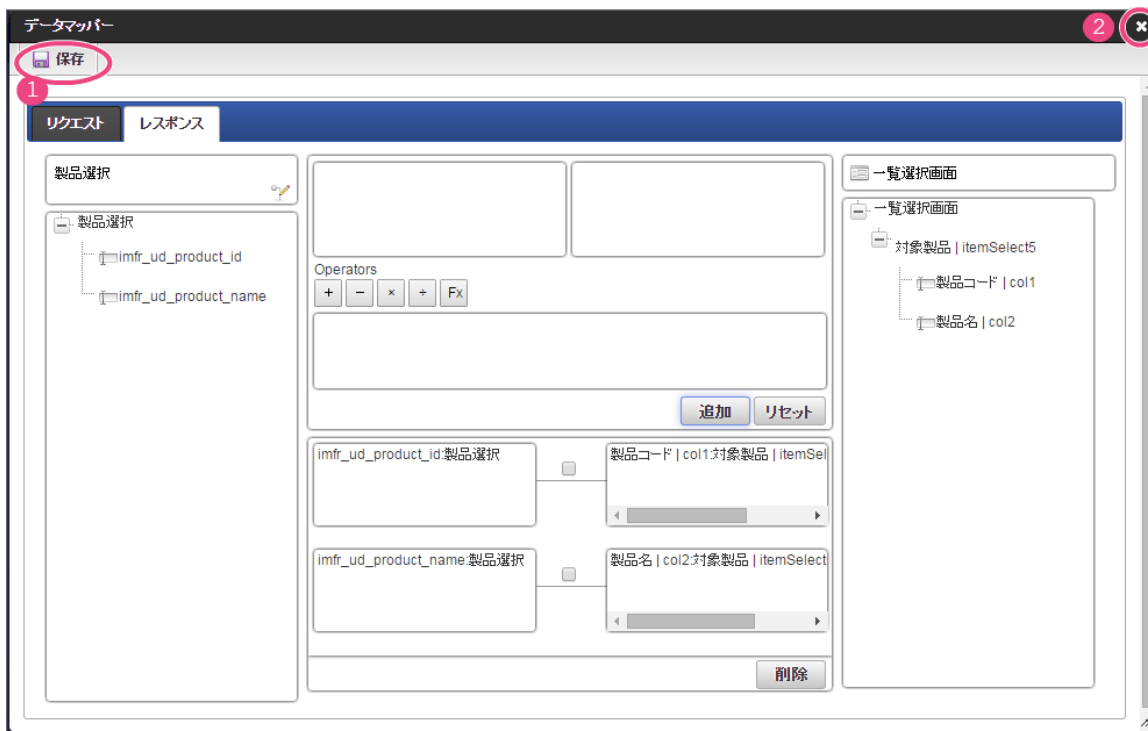
1. 左の欄から「imfr_ud_product_id」をクリックしてください。
2. 右の欄の「対象製品 | itemSelect5」のツリーから「製品コード | col1」をクリックしてください。
3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。

39. 以下の手順で、製品名のマッピングを設定してください。

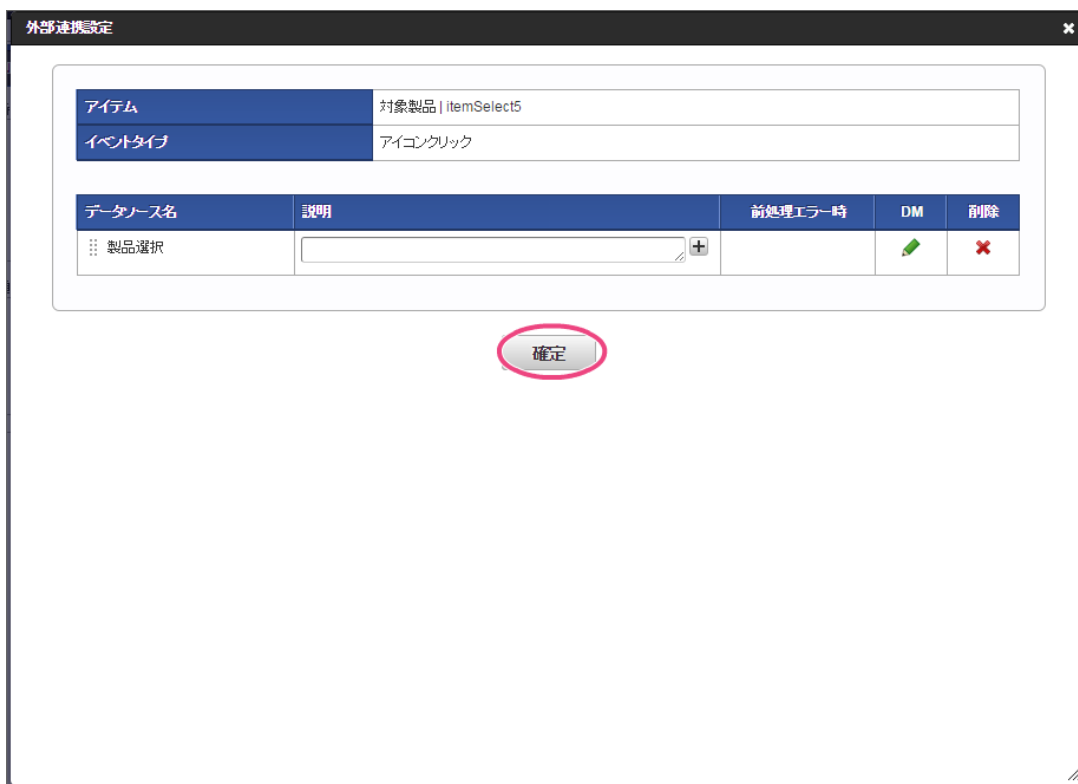


1. 左の欄から「imfr_ud_product_name」をクリックしてください。
2. 右の欄の「対象製品 | itemSelect5」のツリーから「製品名 | col2」をクリックしてください。
3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。

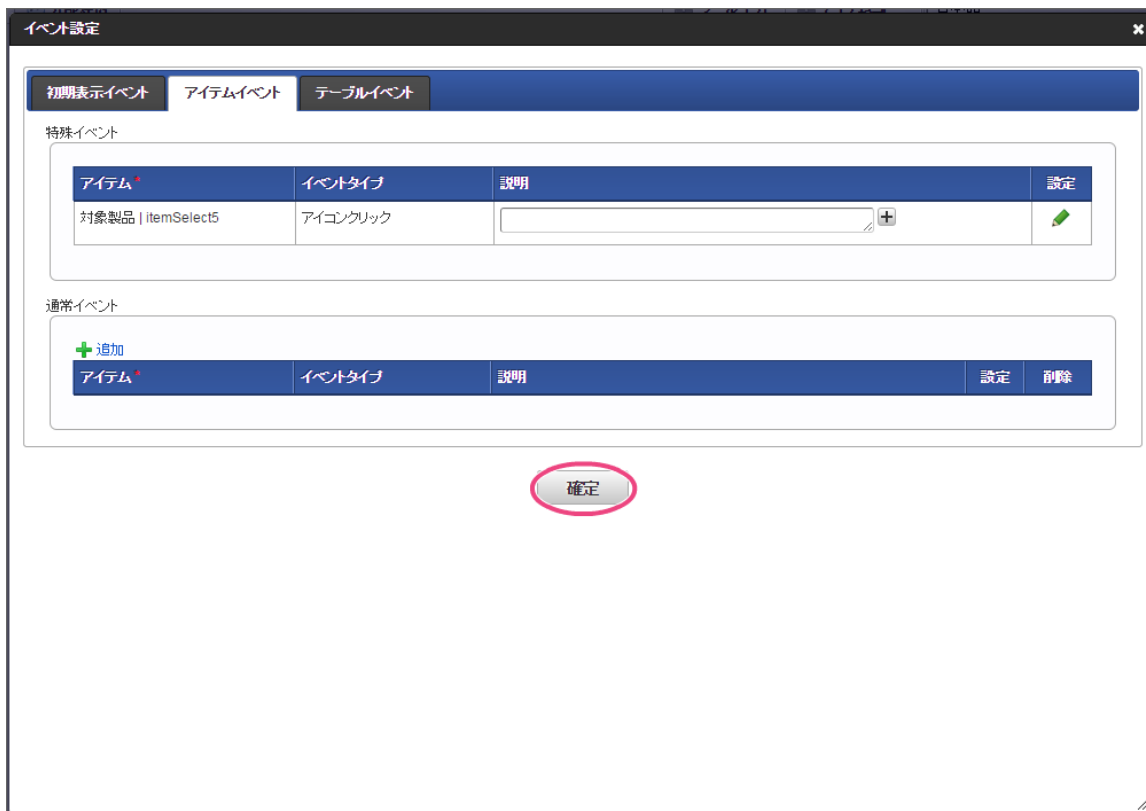
40. これでデータベースから製品マスタを参照して入力するための連携が設定できました。
以下の手順で設定を終了してください。



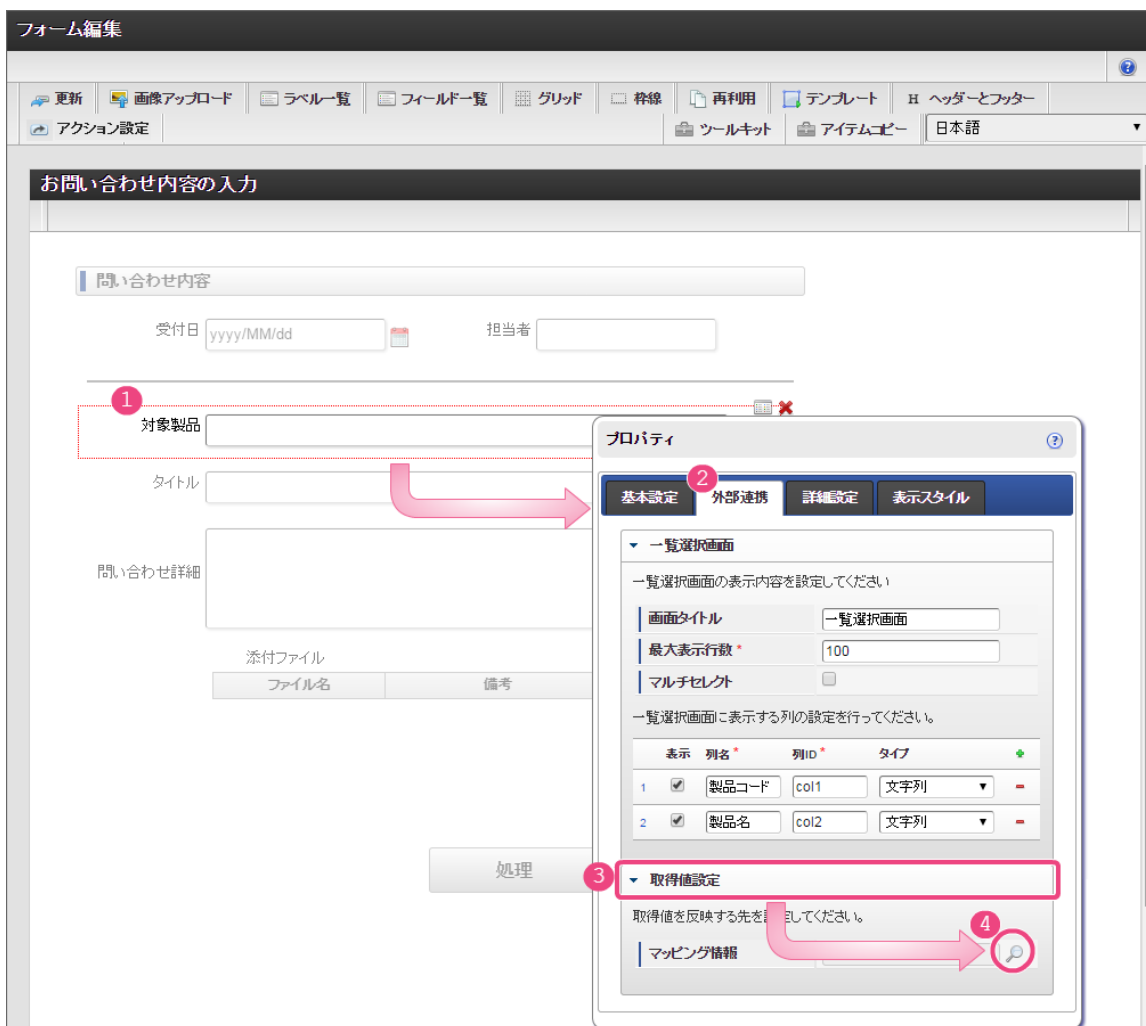
1. 「保存」をクリックし、設定内容を保存してください。
 2. 「x」をクリックしてマッピング画面を閉じてください。
41. 外部連携設定を保存するために「確定」をクリックしてください。




42. イベント設定を保存するために「確定」をクリックしてください。



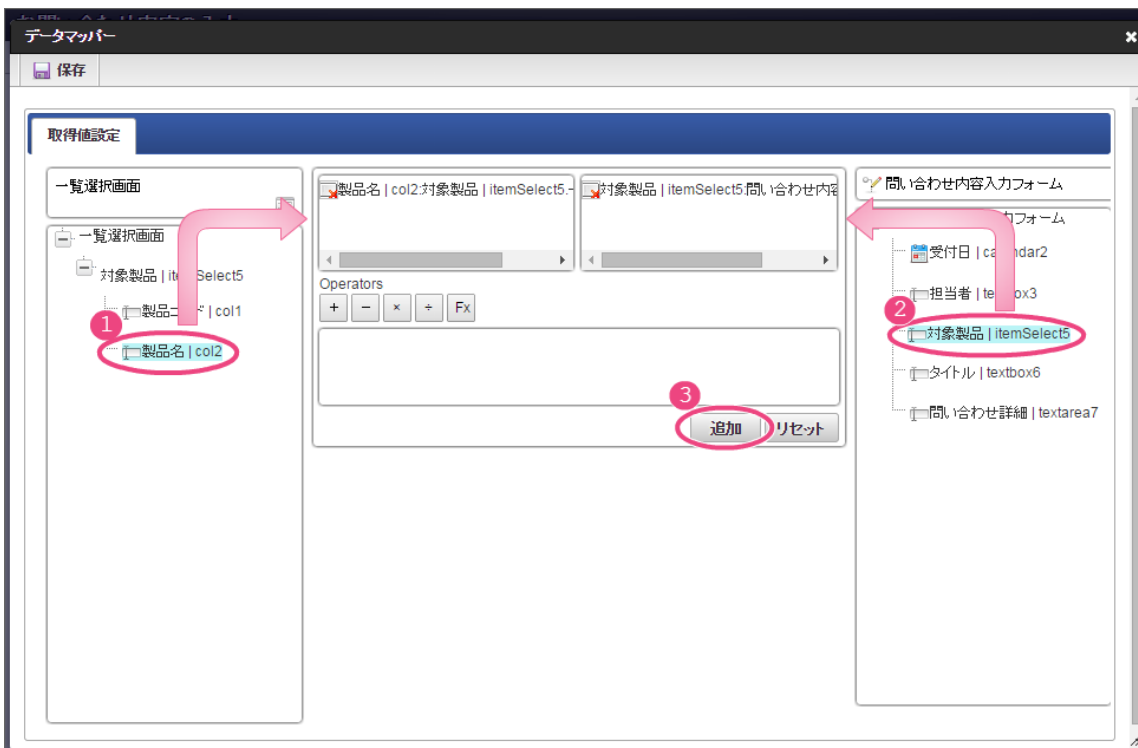
43. 続いて、一覧選択の検索結果で選択した製品名を「対象製品」に反映するための設定をしましょう。
以下の手順で「一覧選択」のマッピング情報の設定画面を表示してください。



1. 「対象製品」として配置した「一覧選択」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
2. 「外部連携」をクリックしてください。
3. 「取得値設定」をクリックしてください。

4. マッピング情報の「」をクリックしてください。

44. 以下の手順で「一覧選択」画面と「対象製品」のマッピングを設定してください。



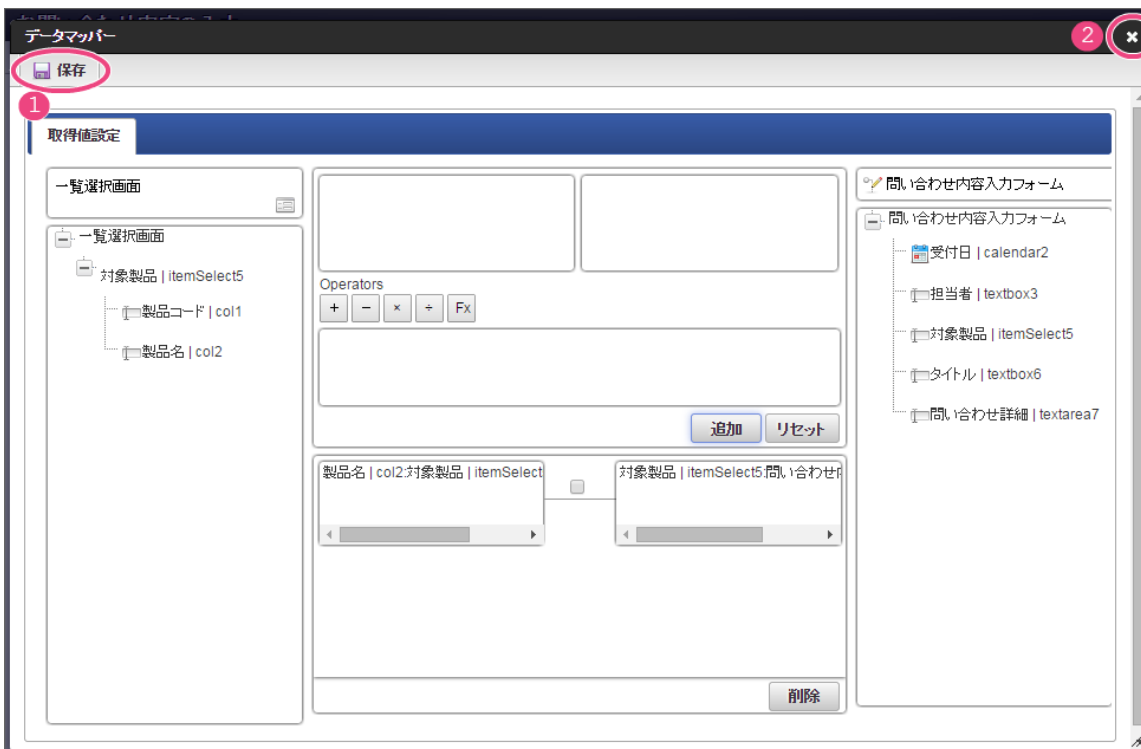
1. 左の欄の「対象製品 | itemSelect5」のツリーから「製品名 | col2」をクリックしてください。

2. 右の欄の「対象製品 | itemSelect5」をクリックしてください。

3. マッピングを追加するために「追加」をクリックしてください。

45. これで一覧選択からの検索結果を反映するための設定できました。

以下の手順で設定を終了してください。



1. 「保存」をクリックし、設定内容を保存してください。

2. 「x」をクリックしてマッピング画面を閉じてください。

46. ここまでの設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日	+
-------	----	-----	---

information

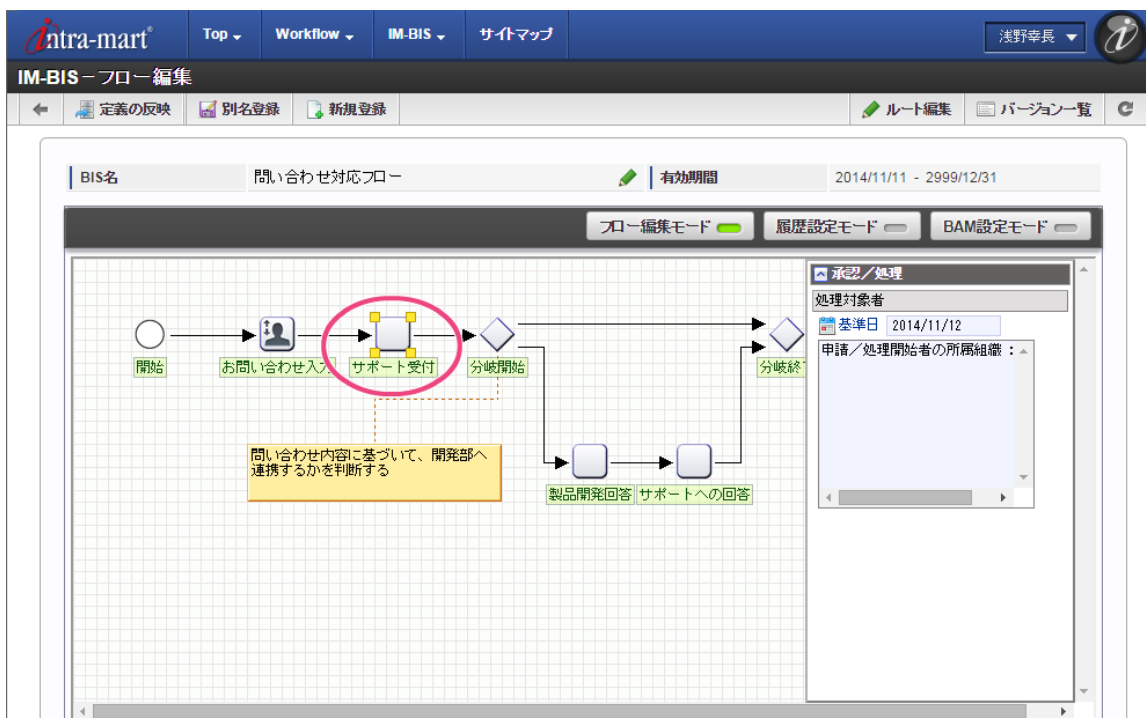
フォームデータを更新しました。

決定

サポート受付の画面を設定する

サポート受付の画面を作成していきましょう。

1. 「サポート受付」アイコンをダブルクリックして、入力項目の編集画面を表示しましょう。



2. 「フォーム-登録」画面では、以下の通りに入力し、「登録」をクリックしてください。

フォーム登録

フォーム名* a サポート受付フォーム

説明

他のロケール

登録

設定項目	設定値
a フォーム名	サポート受付フォーム

3. 新しくポップアップで表示された画面の右上の「再利用」をクリックしましょう。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター

アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

4. 先ほど作成した「問い合わせ内容入力フォーム」の「選択」をクリックしてください。

フォーム検索

詳細検索

アプリケーション名

フォーム名

検索 クリア

選択	プレビュー	フォーム名	アプリケーションID	アプリケーション名	アプリケーション履歴番号
<input type="radio"/>		勤怠管理フローフォーム	51bedisjqxow2pd	勤怠管理フロー	
<input type="radio"/>		勤怠入力フォーム	51bedisjqxow2pd	勤怠管理フロー	
<input type="radio"/>		経理部承認フォーム	51bedisjqxow2pd	勤怠管理フロー	
<input type="radio"/>		問い合わせ対応フローフォーム	51bfepxwi2tzwpd	問い合わせ対応フロー	
<input checked="" type="radio"/>		問い合わせ内容入力フォーム	51bfepxwi2tzwpd	問い合わせ対応フロー	

1ページ中 1 ページ目 15 9件中 1-9 を表示

5. フォームを選択すると、選択されたフォームの内容がコピーされます。
「受付日」（「日付」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
以下の手順で、「受付日」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

添付ファイル
ファイル名

プロパティ

基本設定 1 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID * calendar2
 フィールド識別名 * 日付
 フィールド値DB登録
 フィールド初期値 現在の日付
 ラベル幅 * 100
 フィールド幅 * 150
 アイテム名 * 日付

2 表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

	表示		非表示
	入力可	参照	
処理 *	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/>
参照 *	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイテムサイズ・配置

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」 - 「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
6. 「担当者」（「文字列」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
以下の手順で、「担当者」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

添付ファイル
 ファイル名 備考

処理

プロパティ

基本設定 1 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID* textbox3
 フィールド識別名* 文字列
 フィールドDB登録
 フィールド初期値
 ラベル幅* 100
 フィールド幅* 150
 アイテム名* 文字列

2 表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

	表示		非表示
	入力可	参照	
処理*	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/>
参照*	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイテムサイズ・配置

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
 2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
 3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」-「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
7. 「対象製品」（「一覧選択」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
 以下の手順で、「対象製品」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品
 タイトル
 お問い合わせ詳細

添付ファイル
 ファイル名 備考

処理

プロパティ

基本設定 外部連携 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID * itemSelect5
 フィールド識別名 * 一覧選択
 フィールド初期値
 フィールドDB登録
 ラベル幅 * 100
 フィールド幅 * 450
 アイテム名 * 一覧選択

表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

	表示		非表示
	入力可	参照	
処理 *	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
参照 *	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイテムサイズ 配置

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
 2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
 3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」-「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
8. 「タイトル」（「文字列」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
 以下の手順で、「タイトル」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

添付ファイル
 ファイル名 備考

処理

プロパティ

基本設定 1 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID * textbox6
 フィールド識別名 * 文字列
 フィールド値DB登録
 フィールド初期値
 ラベル幅 * 100
 フィールド幅 * 500
 アイテム名 * 文字列

2 表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

	表示		非表示
	入力可	参照	
処理 *	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/>
参照 *	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

▶ アイテムサイズ・配置

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
 2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
 3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」-「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
9. 「お問い合わせ詳細」（「複数行文字列」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
 以下の手順で、「お問い合わせ詳細」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品

タイトル

問い合わせ詳細

添付ファイル
ファイル名

処理

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID * textarea7
 フィールド識別名 * 複数行文字列
 フィールド値DB登録
 フィールド初期値
 ラベル幅 * 100
 フィールド幅 * 500
 フィールド高 * 80
 アイテム名 * 複数行文字列

表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

	表示		非表示
	入力可	参照	
処理 *	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
参照 *	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
 2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
 3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」-「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
10. 「添付ファイル」（「ファイルアップロード」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
 以下の手順で、「添付ファイル」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考

処理

プロパティ

基本設定 1 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

アイテム識別ID* attach_fileupload_item1

ラベル幅* 100

アイテム名* ファイルアップロード

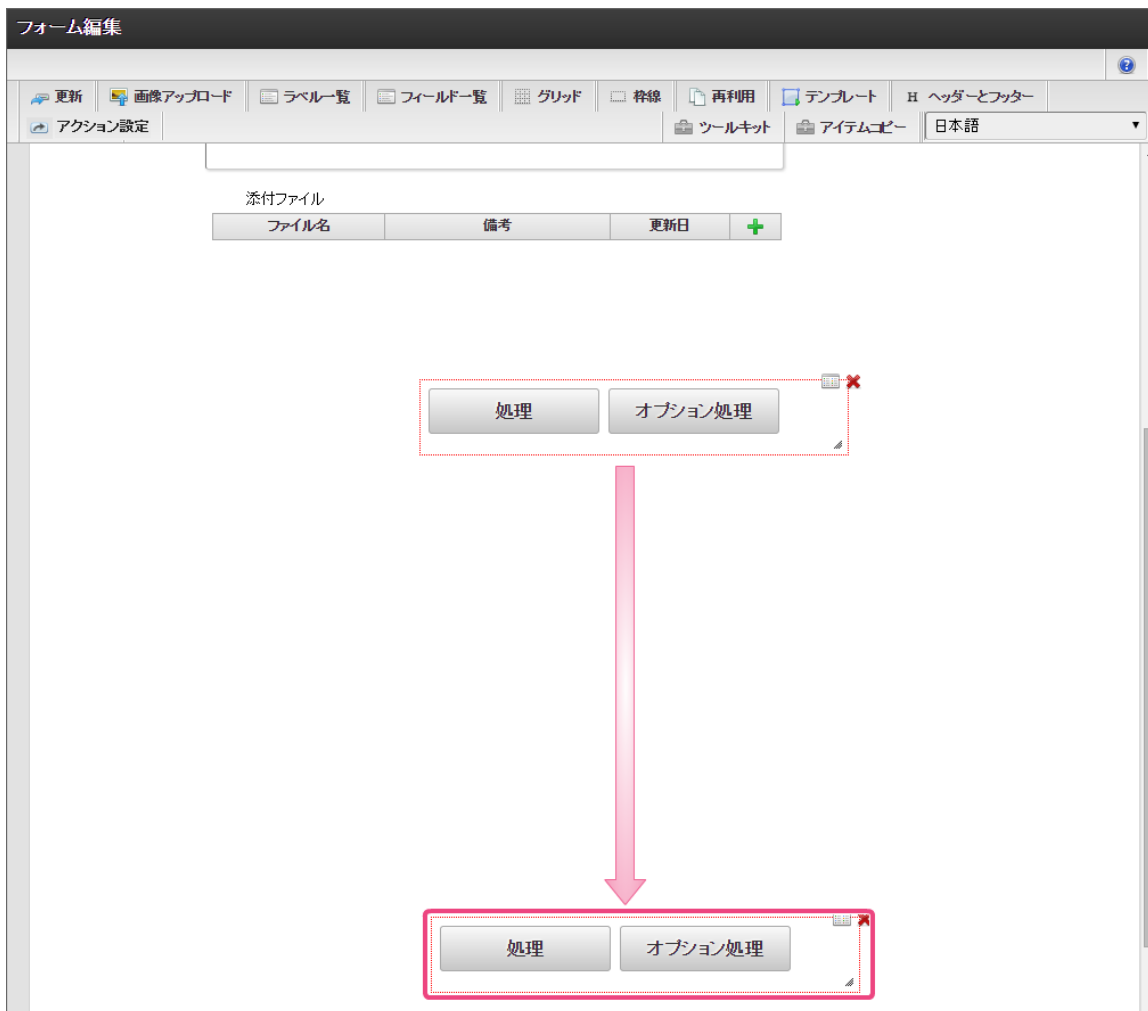
2 表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

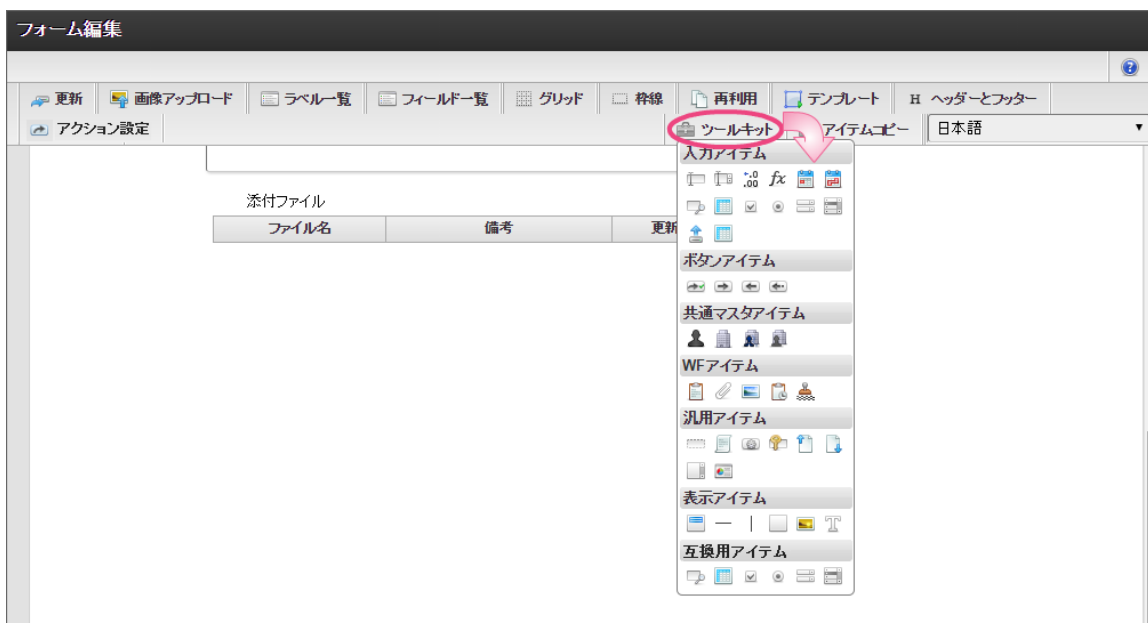
	表示		非表示
	入力可	参照	
処理*	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/>
参照*	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイテムサイズ・配置

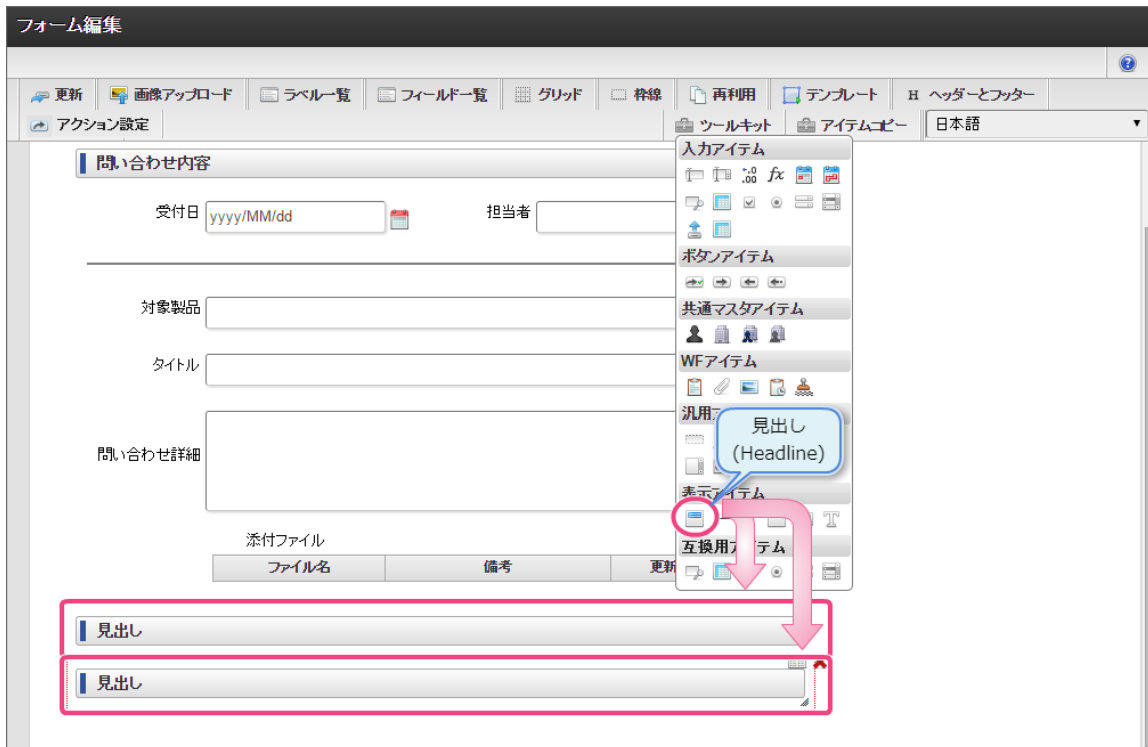
1. 「詳細設定」をクリックしてください。
 2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
 3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」-「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
11. 「ボタン (BISフロー登録)」ボタンをドラッグして下に移動してください。



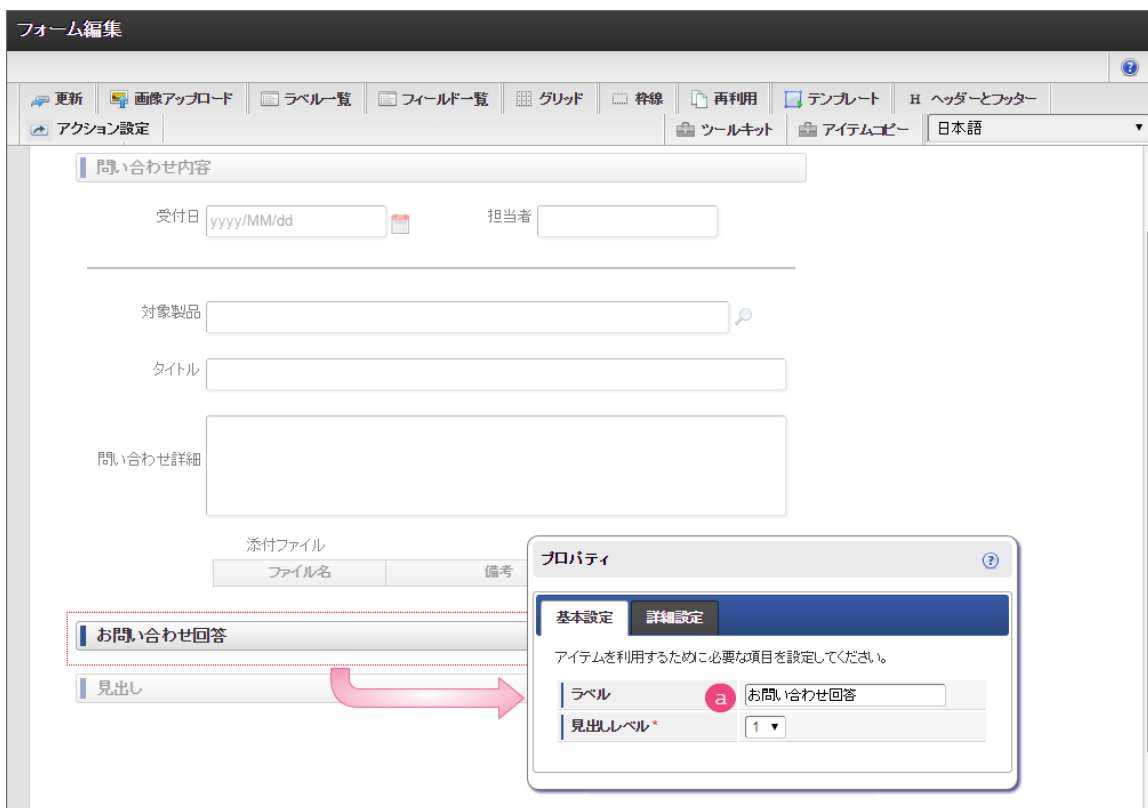
12. 画面の右上の「ツールキット」をクリックしてください。



13. アイテムの「見出し」を2つドラッグ&ドロップで配置してください。



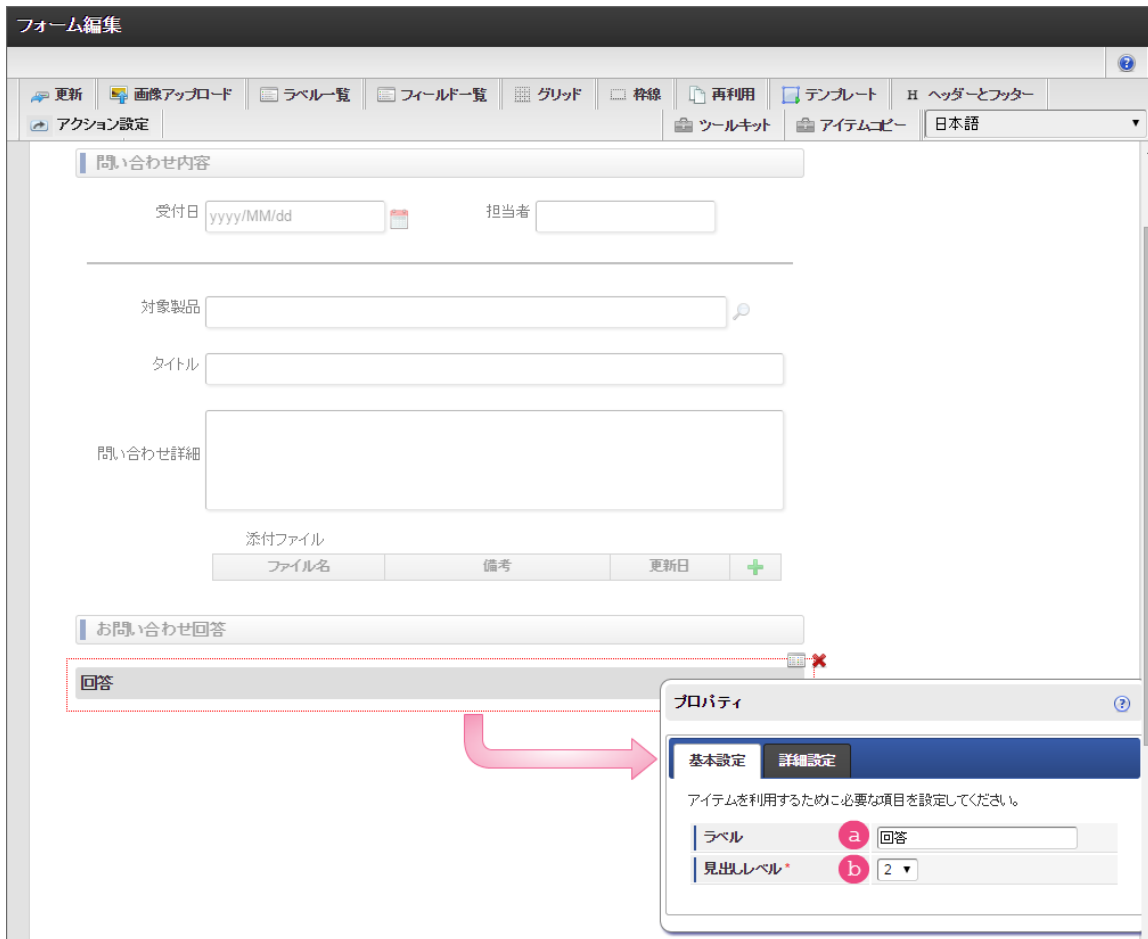
14. 上に配置した方の「見出し」アイテムをダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



設定項目	設定値
------	-----

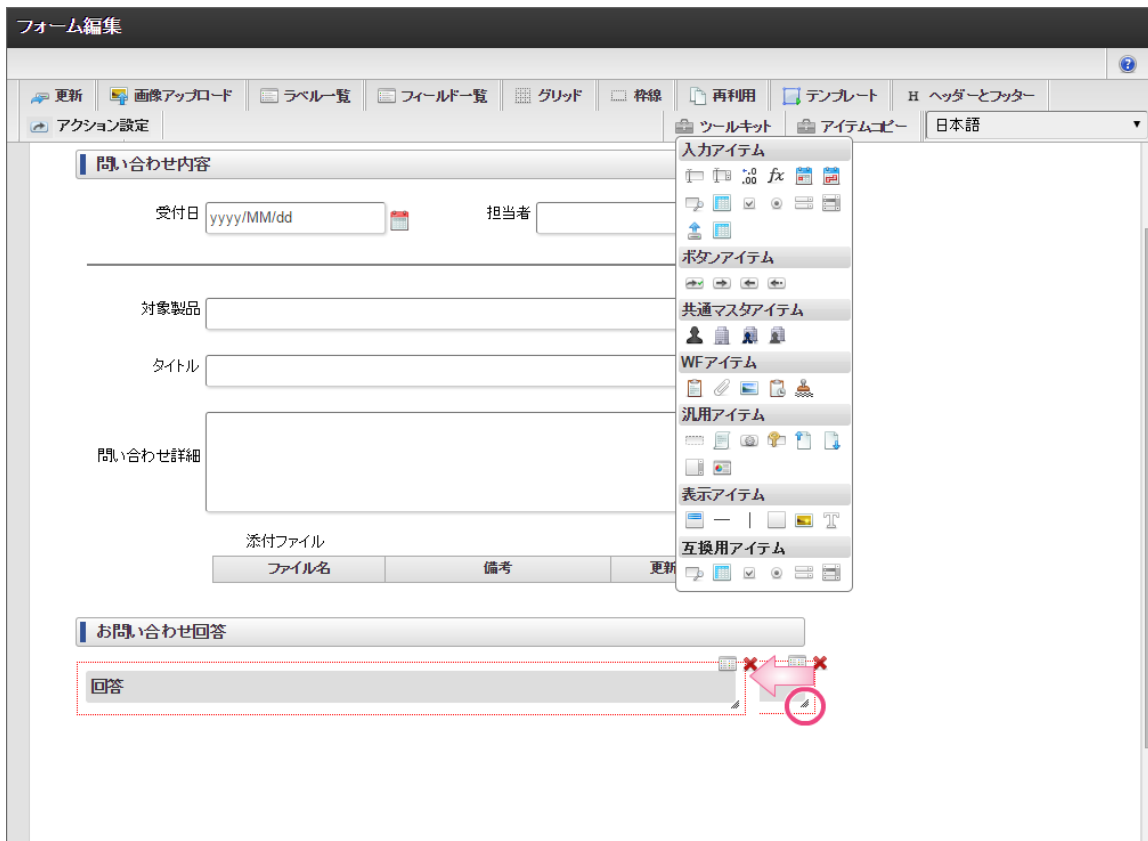
a ラベル	お問い合わせ回答
-------	----------

15. 下に配置した方の「見出し」アイテムをダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。

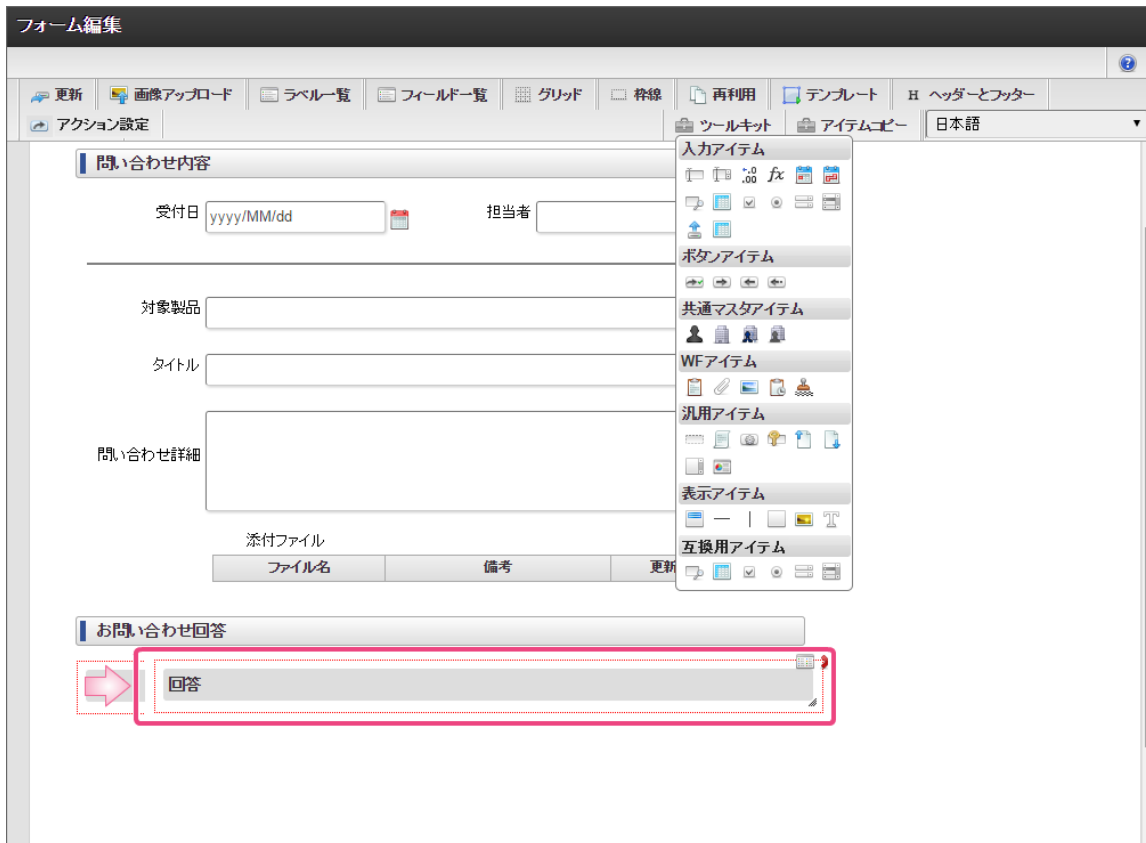


設定項目	設定値
a ラベル	回答
b 見出しレベル	2

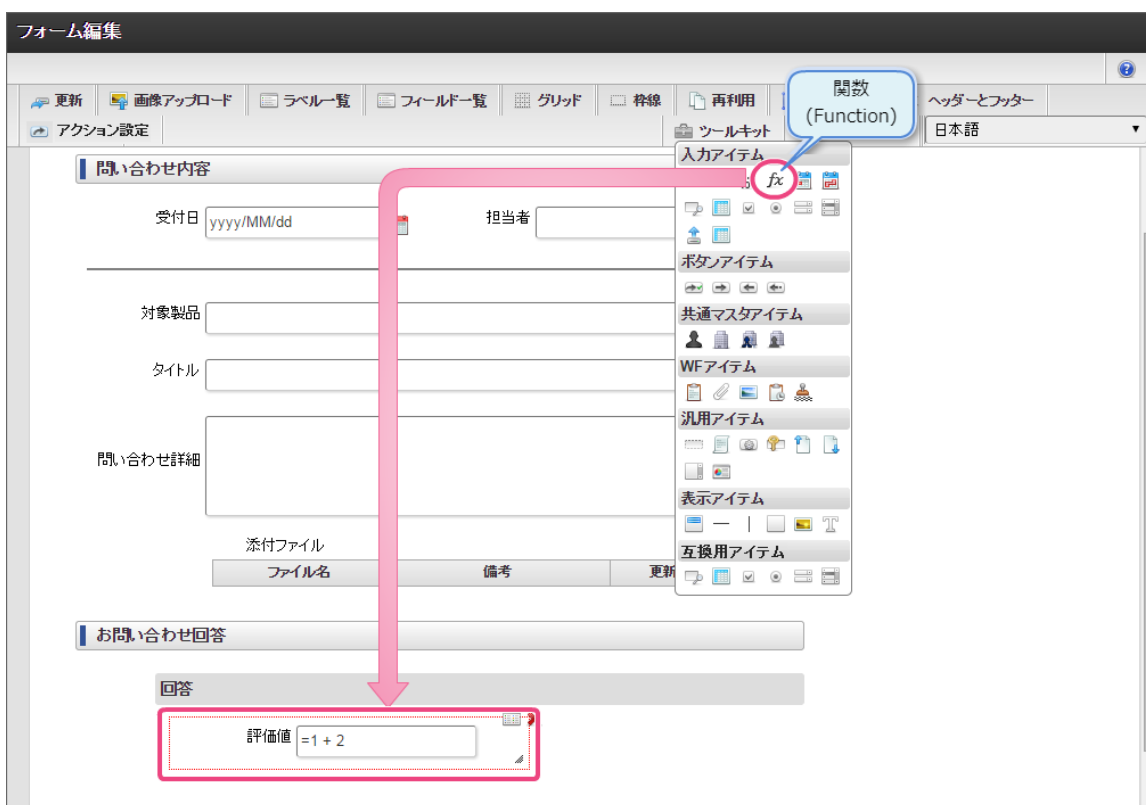
16. 下に配置した方の「見出し」アイテムの右下をドラッグし、幅を短く調整してください。



17. 同じ「見出し」アイテムを右にドラッグし、位置を調整しましょう。



18. アイテムの「関数」をドラッグ&ドロップで配置してください。



19. 配置した「関数」アイテムをダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品

タイトル

問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日	+
-------	----	-----	---

お問い合わせ回答

回答

回答者 =username()

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

[前]ラベル a 回答者

[後]ラベル

式を入力してください。例: number1 + number2

式 b =username()

式評価結果のデータ型 c 文字列

入力チェック

設定項目	設定値
a [前]ラベル	回答者
b 式	username()
c 式評価結果のデータ型	文字列

20. 引き続き、以下の手順で「詳細設定」を設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品

タイトル

問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日	+
-------	----	-----	---

お問い合わせ回答

回答

回答者 =username()

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID *	func21
フィールド識別名 *	関数
フィールド値DB登録 a	<input checked="" type="checkbox"/>
ラベル幅 *	100
フィールド幅 *	150
アイテム名 *	関数

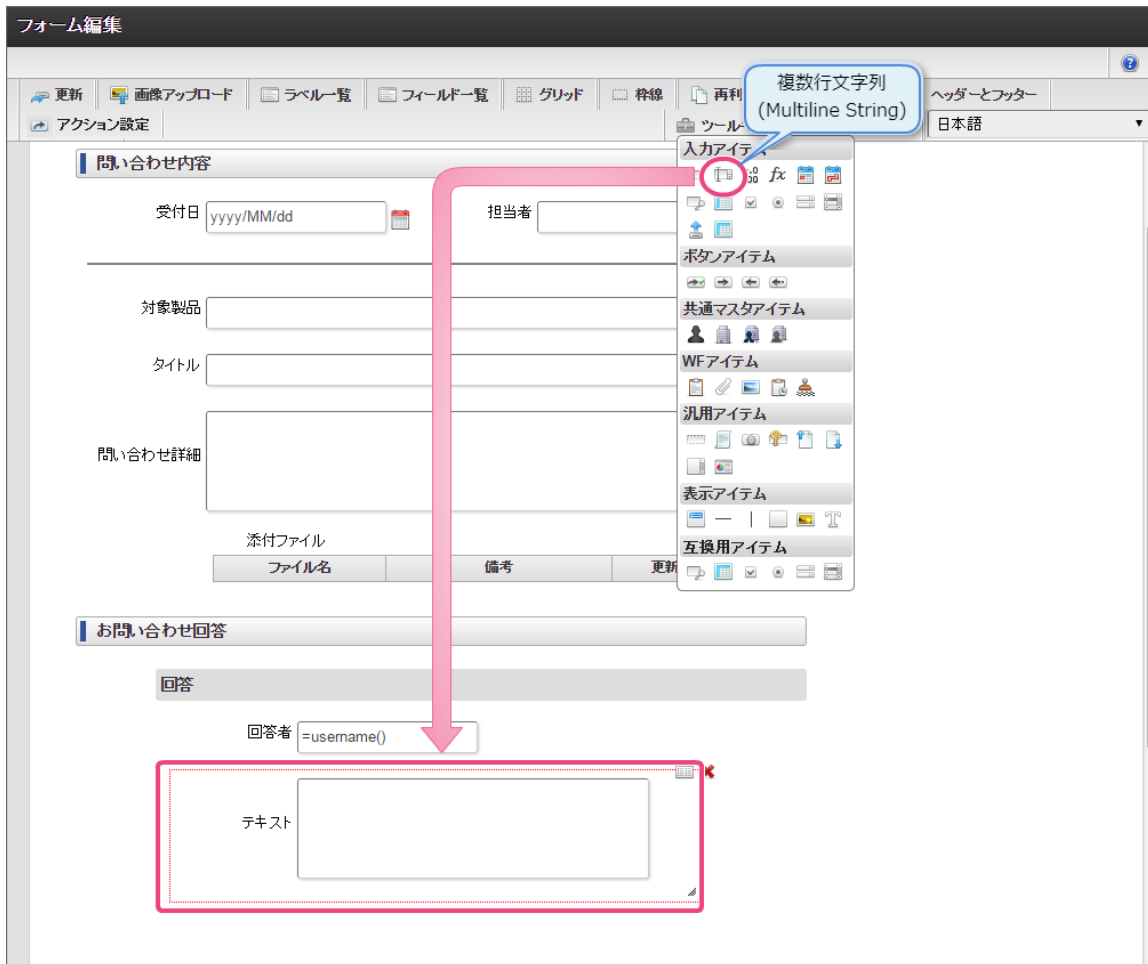
表示タイプ

アイテムサイズ・配置

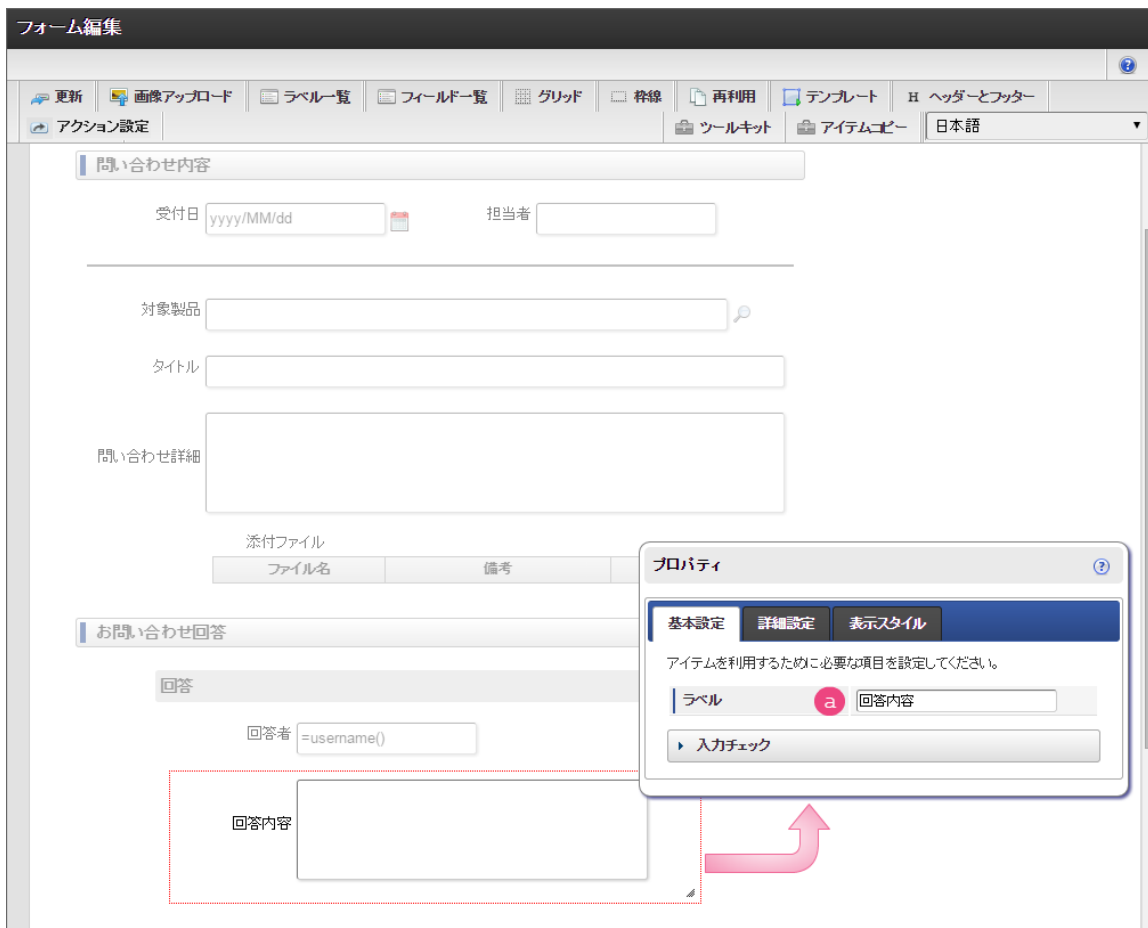
1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 「フィールド値DB登録」を以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a フィールド値DB登録	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)

21. アイテムの「複数行文字列」をドラッグ&ドロップで配置してください。



22. 配置した「複数行文字列」アイテムをダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



設定項目	設定値
a ラベル	回答内容

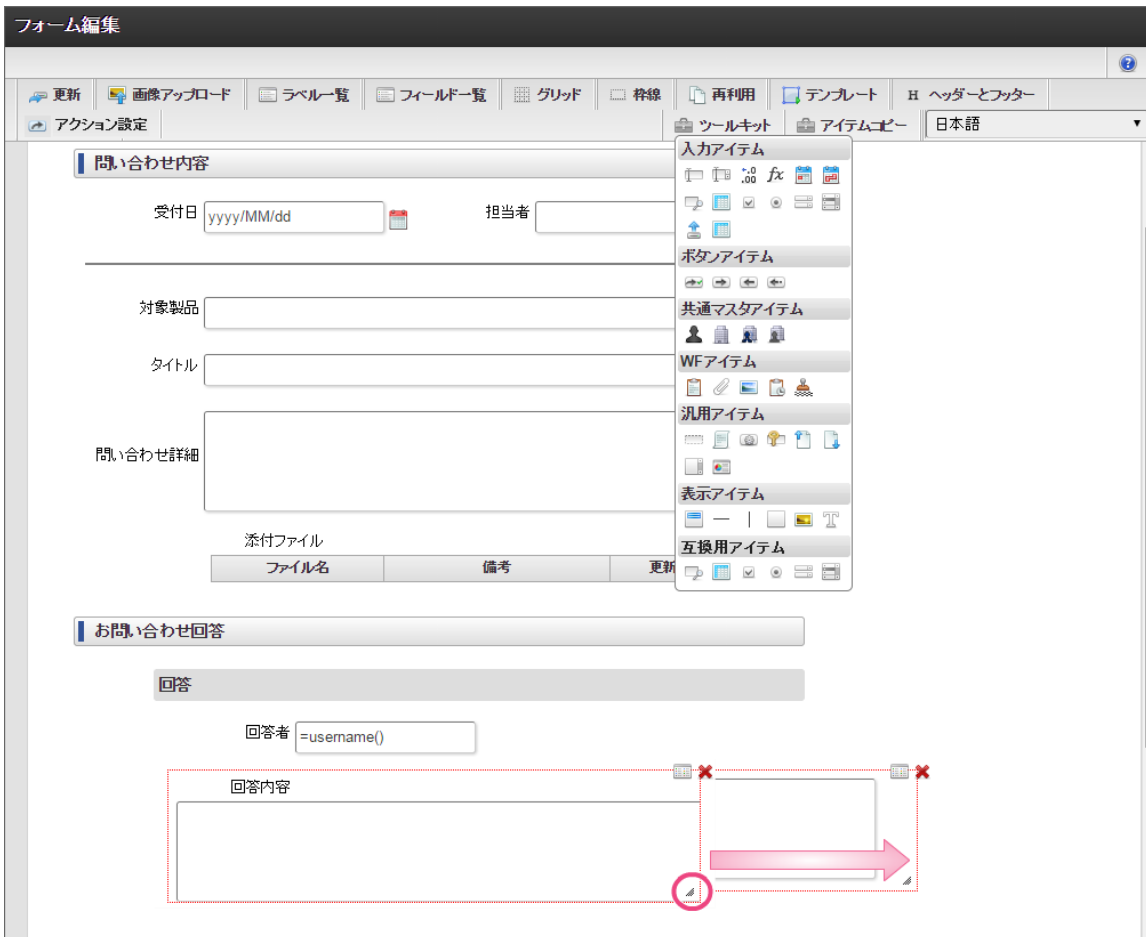
23. 以下の手順で「詳細設定」を設定してください。

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 「フィールド幅」を以下の通りに設定してください。

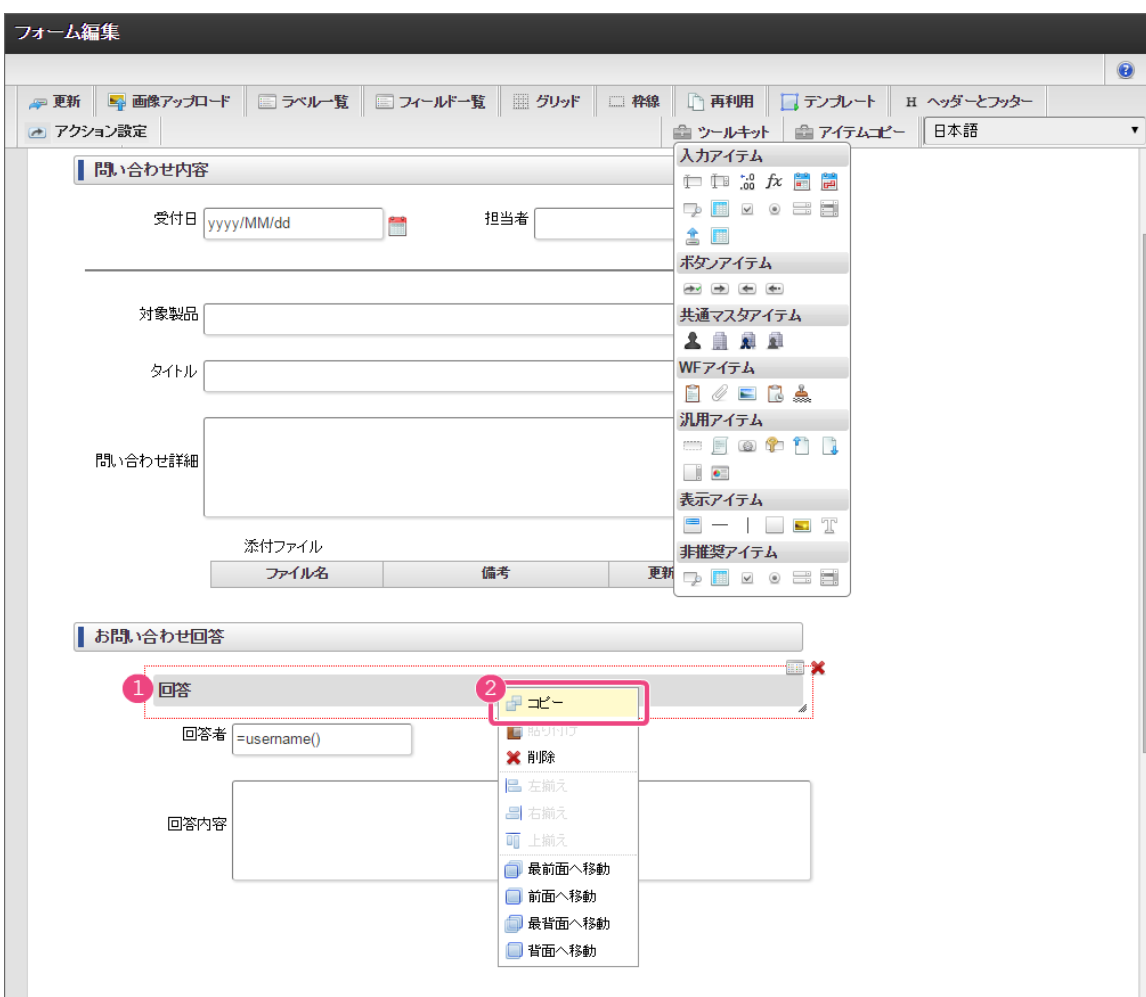
設定項目	設定値
a フィールド幅	500

24. フィールド幅の変更により、見切れて表示されます。

表示の見切れた状態を解消するために、アイテムエリア（赤い点線枠）の右下をドラッグして広げて調整してください。



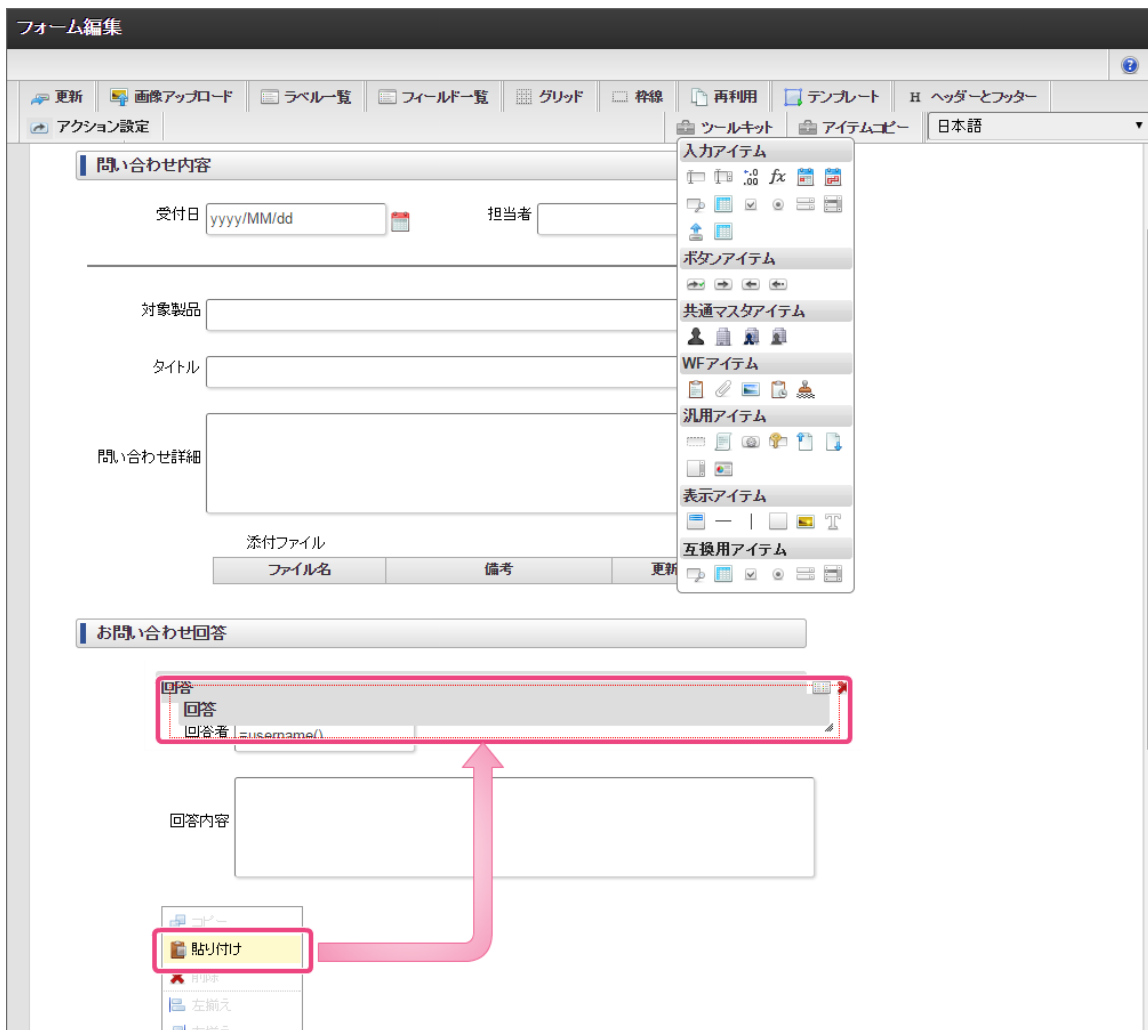
25. 以下の手順で、配置済みのアイテムをコピーしてください。



1. 「回答」（「見出し」アイテム）をクリックしてください。

2. アイテム上で右クリックし、「コピー」をクリックしてください。

26. フォーム・デザイナー（フォーム編集）画面の任意の場所で右クリックし、「貼り付け」をクリックしてください。
先ほどコピーしたアイテムの貼り付けが行われます。



27. 貼り付けを行った「回答」（「見出し」アイテム）を下方方向にドラッグし、「回答内容」（「複数行文字列」アイテム）の下に配置してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター

アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品

タイトル

問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新
-------	----	----

お問い合わせ回答

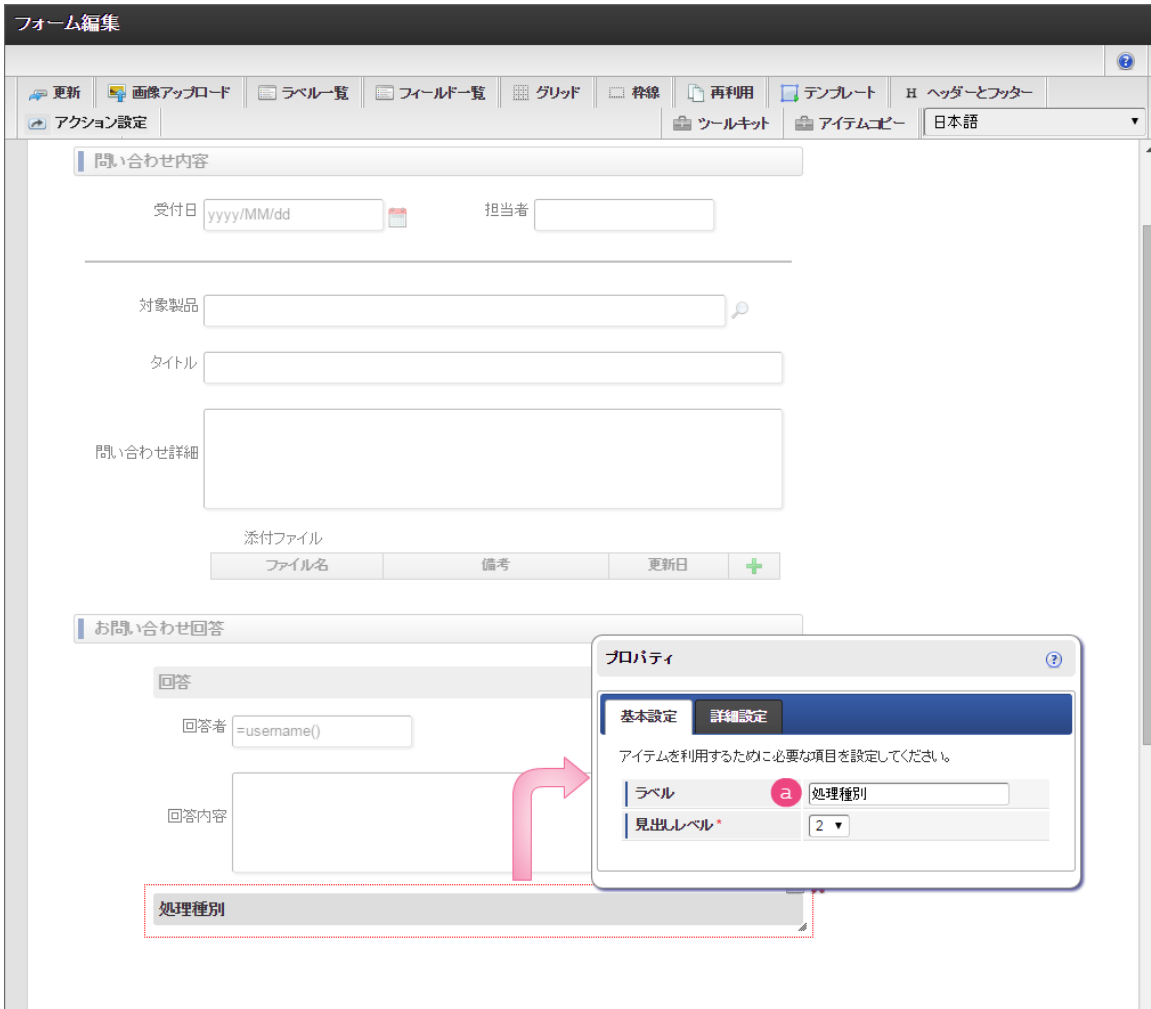
回答
回答者 (=username())

回答内容

回答

入力アイテム
ボタンアイテム
共通マスタアイテム
WFアイテム
汎用アイテム
表示アイテム
互換用アイテム

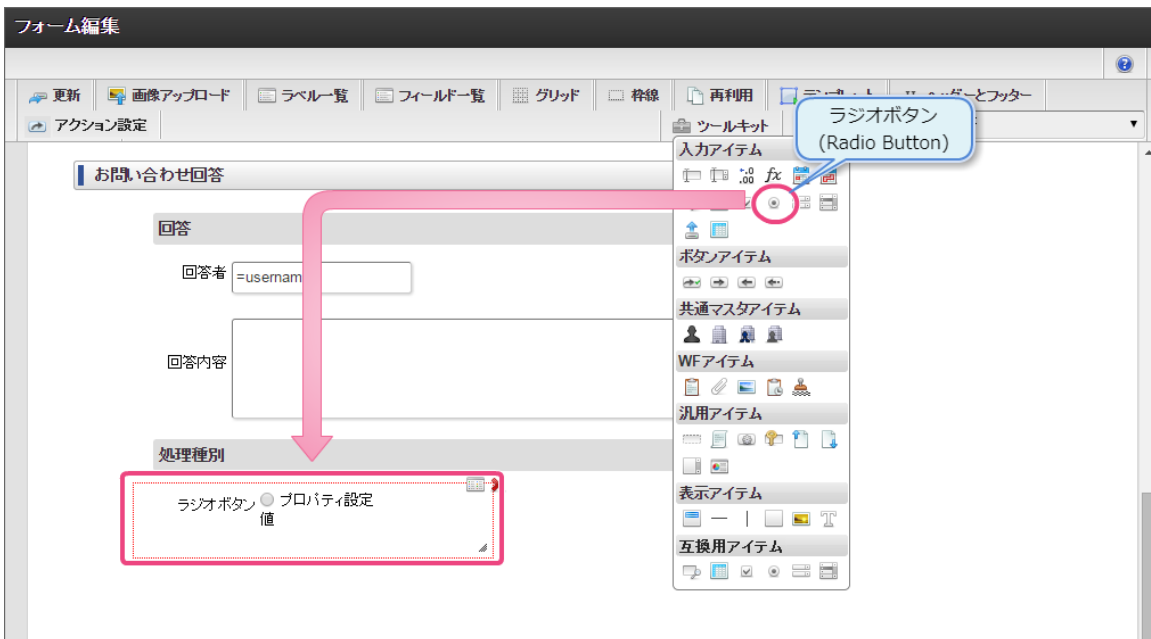
28. 配置した「回答」（「見出し」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



設定項目 設定値

a ラベル 処理種別

29. アイテムの「ラジオボタン」をドラッグ&ドロップで配置してください。



30. 配置した「ラジオボタン」アイテムをダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。




設定項目 設定値

a ラベル 処理

31. 以下の手順で、ラジオボタンの表示値・送信値の設定を行う準備を行ってください。



1. 「データの定義」をクリックしてください。

2.  を12回クリックして、表示値・送信値の行を2行にしてください。

32. ラジオボタンは、次の処理対象者を決定するために利用します。

「項目の定義」に対し、以下の通りに設定してください。



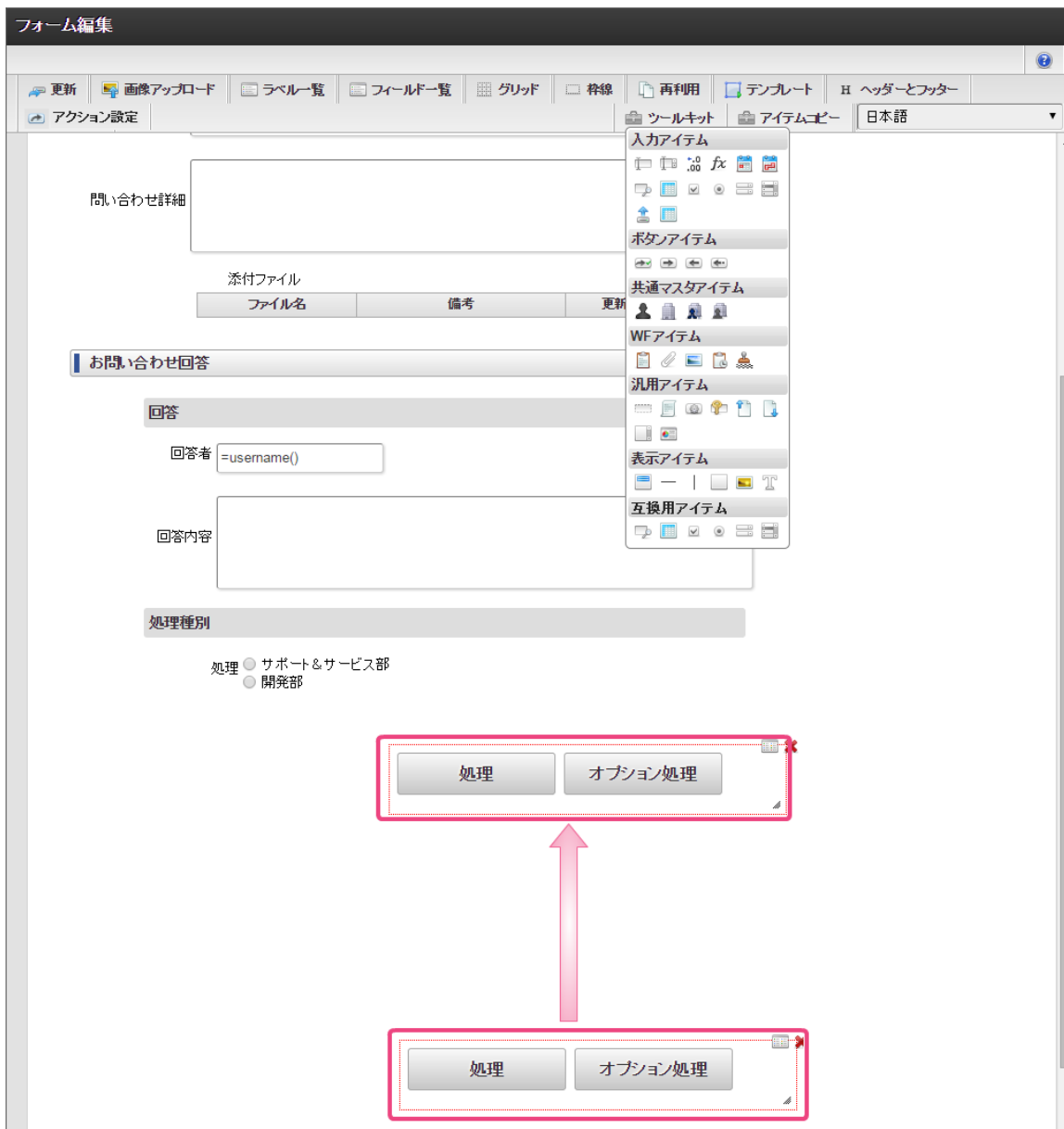
	表示値	送信値
a	サポート&サービス部	support
b	開発部	development

33. 以下の手順で「詳細設定」を設定してください。

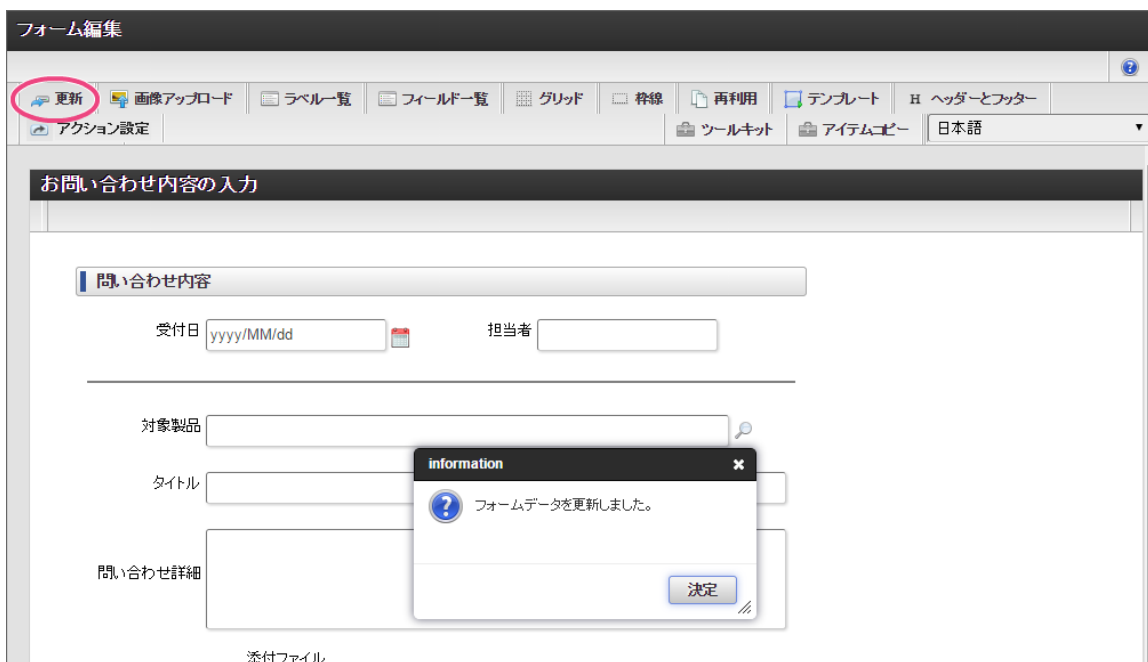
1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a 配置方向	縦並び
b 項目幅	200

34. 「ボタン (BISフロー登録)」をドラッグして上に配置し、全体的なレイアウトを調整してください。

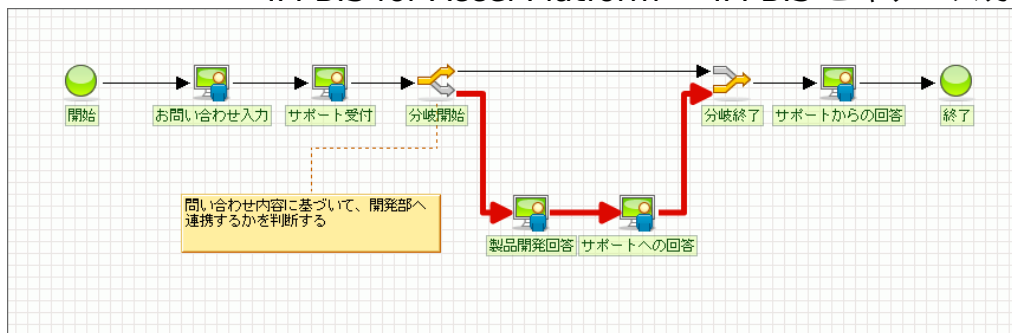


35. ここまでの設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。

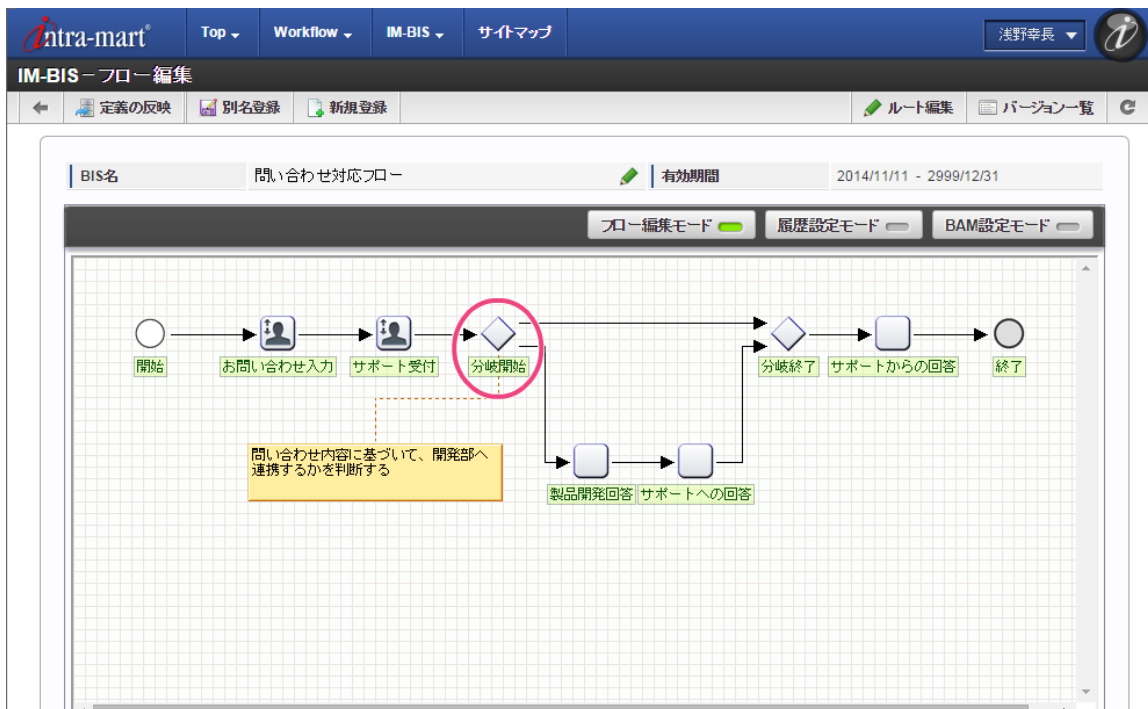


分岐条件を設定する（製品開発へ分岐するルートの設定）

開発部の担当者に調査を依頼するルートの設定をしましょう。



1. フロー編集画面で「分岐開始」をダブルクリックしてください。



2. 「フロー - 分岐条件設定」画面では、以下の手順で「フロー - ルール定義登録」画面を表示してください。



1. 「分岐開始方法」の「ルール定義で分岐開始する」をクリックしてください。
2. 「分岐先タスク名」が「製品開発回答」の行の「設定」をクリックしてください。
3. 「フロー - ルール定義登録」画面では、以下の通りに設定してください。

フロールール定義登録

ルール名: 問い合わせ対応フロー-製品開発回答

他のロケール

すべての条件を満たすとき真 いずれかの条件を満たすとき真

No.	条件キー	比較方法	条件値	クリア
1	タスク a サポート受付 画面 b 処理 radio24 (型: 文字列)	c が次と一致する	d <input checked="" type="radio"/> 固定 development <input type="radio"/> タスク 画面項目 (型:)	<input checked="" type="checkbox"/>
2	タスク 画面項目 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> タスク 画面項目 (型:)	<input checked="" type="checkbox"/>

設定項目	設定値
a タスク	サポート受付
b 画面項目	処理 radio24 (型: 文字列)
c 比較方法	が次と一致する (matches the following)
d 条件値 (値の設定方法)	固定
e 条件値 (設定値)	development

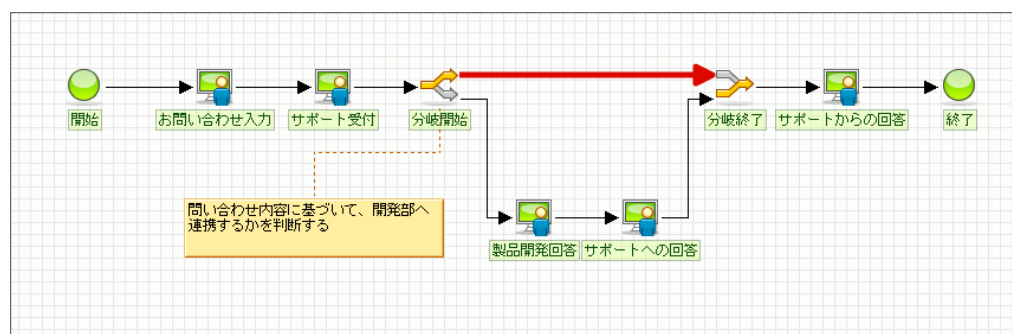
4. 下にスクロールし、「登録」をクリックしてください。

8	タスク 画面項目 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> タスク 画面項目 (型:)	<input checked="" type="checkbox"/>
9	タスク 画面項目 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> タスク 画面項目 (型:)	<input checked="" type="checkbox"/>
10	タスク 画面項目 (型:)		<input checked="" type="radio"/> 固定 <input type="radio"/> タスク 画面項目 (型:)	<input checked="" type="checkbox"/>

登録

分岐条件を設定する（開発部にまわさないルートの設定）

開発部へ処理をまわさずに進めるルートの設定をしましょう。



1. 「フロー - 分岐条件設定」画面では、「分岐先タスク名」が「分岐終了」の行の「設定」をクリックしてください。

2. 「フロー - ルール定義登録」画面では、以下の通りに設定してください。

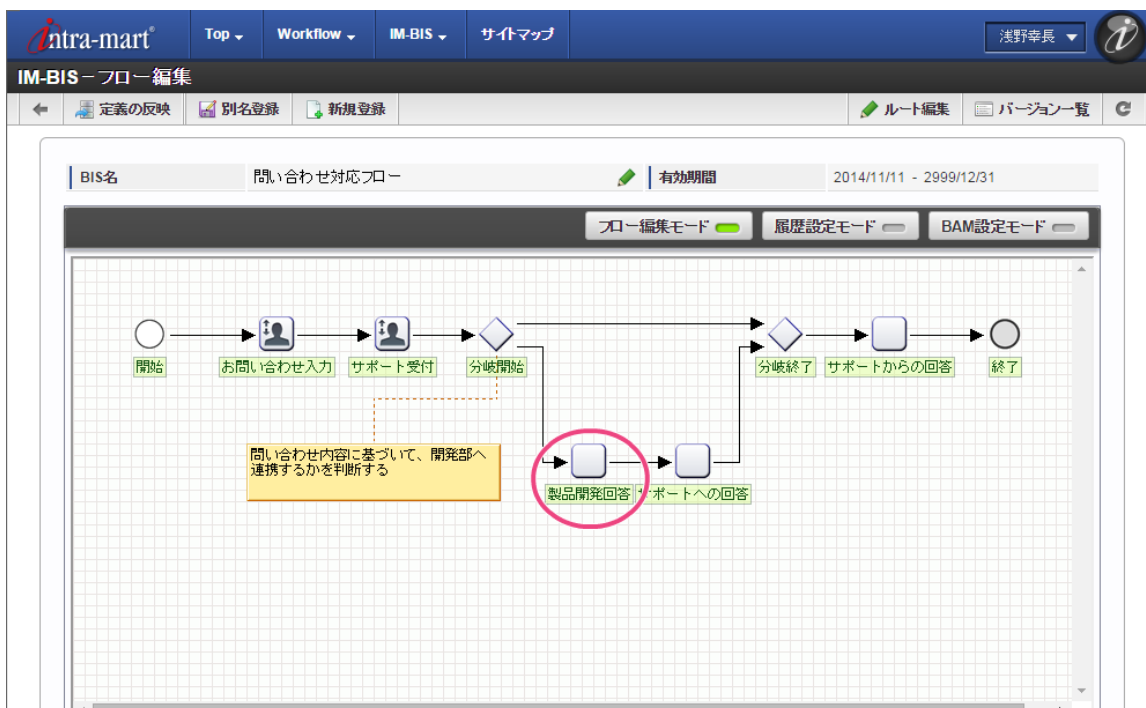
設定項目	設定値
a タスク	サポート受付
b 画面項目	処理 radio24 (型：文字列)
c 比較方法	が次と一致する (matches the following)
d 条件値 (値の設定方法)	固定
e 条件値 (設定値)	support

3. 下にスクロールし、「登録」をクリックしてください。

製品開発担当の画面を設定する

製品開発担当者の画面を作成していきましょう。

1. 「製品開発回答」アイコンをダブルクリックして、入力項目の編集画面を表示しましょう。



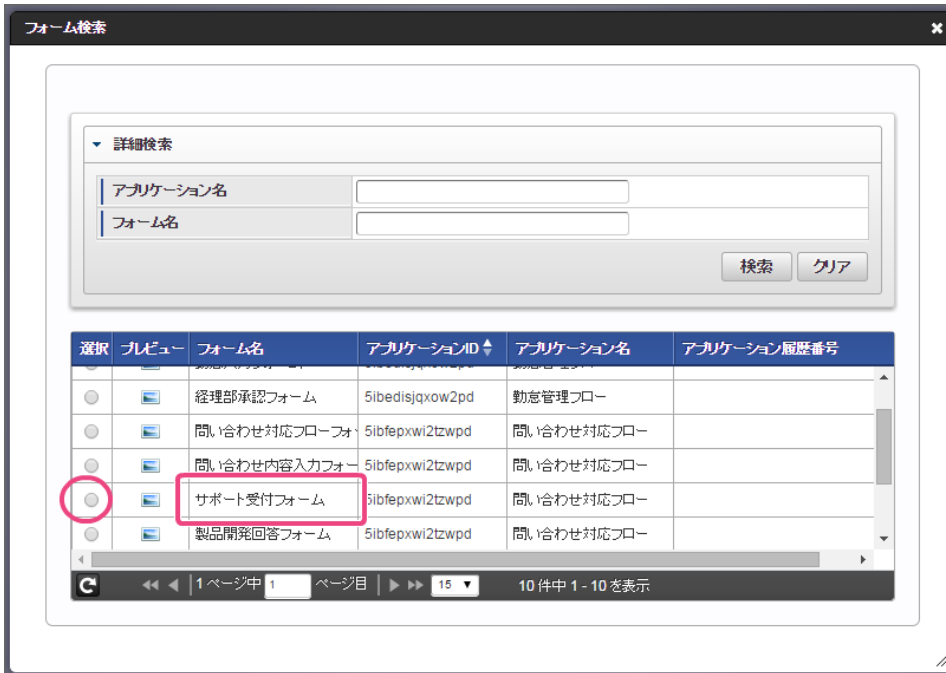
2. 「フォーム-登録」画面では、以下の通りに入力し、「登録」をクリックしてください。

設定項目	設定値
a フォーム名	製品開発回答フォーム

3. 新しくポップアップで表示された画面の右上の「再利用」をクリックしましょう。



4. 先ほど作成した「サポート受付フォーム」の「選択」をクリックしてください。



5. フォームを選択すると、選択されたフォームの内容がコピーされます。
「回答者」（「関数」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
以下の手順で、「回答者」の表示タイプを設定してください。



- 「詳細設定」をクリックしてください。
 - 「表示タイプ」をクリックしてください。
 - 横軸の「処理」と縦軸の「表示」-「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
6. 「回答内容」（「複数行文字列」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
以下の手順で、「回答内容」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

対象製品
 タイトル
 問い合わせ詳細
 添付ファイル
 ファイル名 備考
 お問い合わせ回答
 回答
 回答者 =username()
 回答内容
 処理種別
 処理 サポート&サービス部 開発部
 処理

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID * textarea22
 フィールド識別名 * 複数行文字列
 フィールド値DB登録
 フィールド初期値
 ラベル幅 * 100
 フィールド幅 * 500
 フィールド高 * 80
 アイテム名 * 複数行文字列

表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

	表示		非表示
	入力可	参照	
処理 *	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
参照 *	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイテムサイズ・配置

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
 2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
 3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」 - 「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
7. 「処理」（「ラジオボタン」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
 以下の手順で、「処理」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

対象製品
 タイトル
 問い合わせ詳細
 添付ファイル
 ファイル名 備考

お問い合わせ回答

回答
 回答者 =username()
 回答内容
 処理種別
 処理 サポート&サービス部
 開発部

プロパティ

基本設定 データの定義 **1** 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID * radio24
 フィールド識別名 * ラジオボタン
 フィールド値DB登録
 フィールド初期選択値
 配置方向 横並び 縦並び
 ラベル幅 * 100
 項目幅 * 200
 アイテム名 * ラジオボタン

2 表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

	表示		非表示
	入力可	参照	
処理 *	<input type="radio"/>	3 <input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
参照 *	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイテムサイズ・配置

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」 - 「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
8. 「ボタン（BISフロー登録）」ボタンをドラッグして下に移動してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター

アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日	+
-------	----	-----	---

お問い合わせ回答

回答

回答者 =username()

回答内容

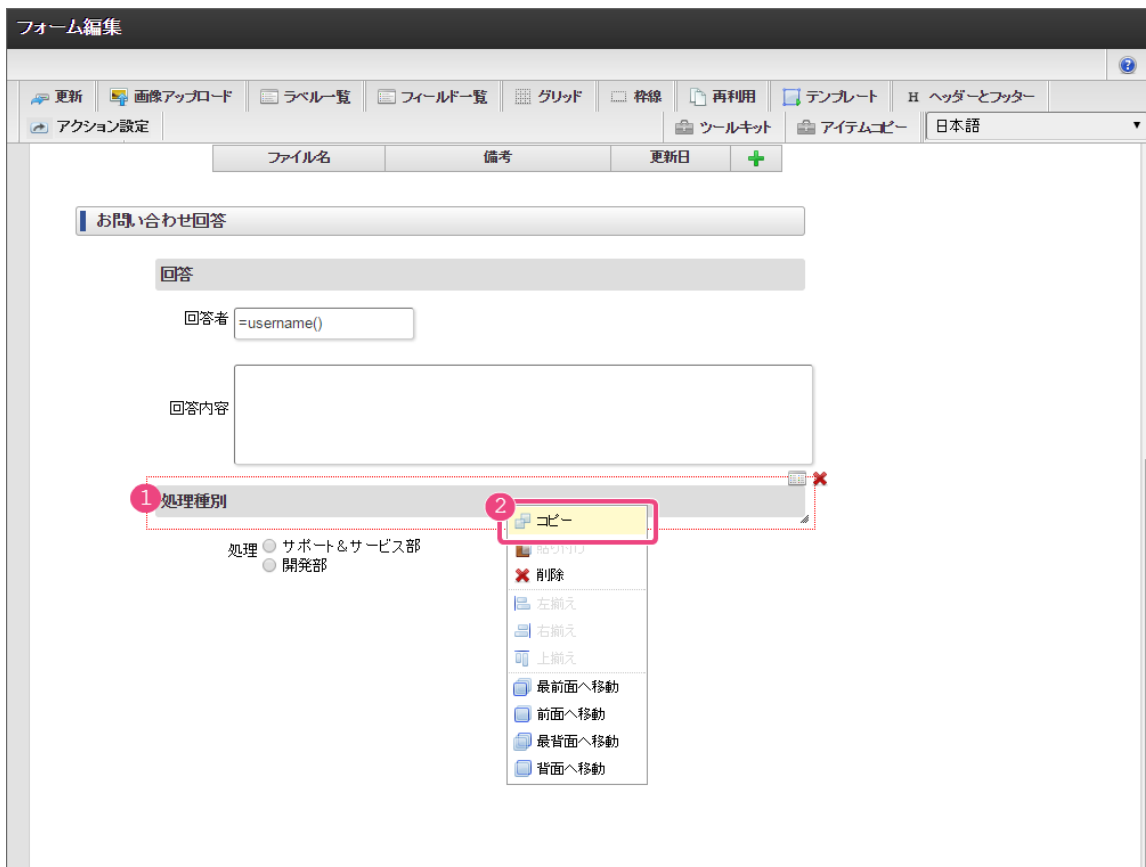
処理種別

処理 サポート&サービス部
 開発部

処理 オプション処理

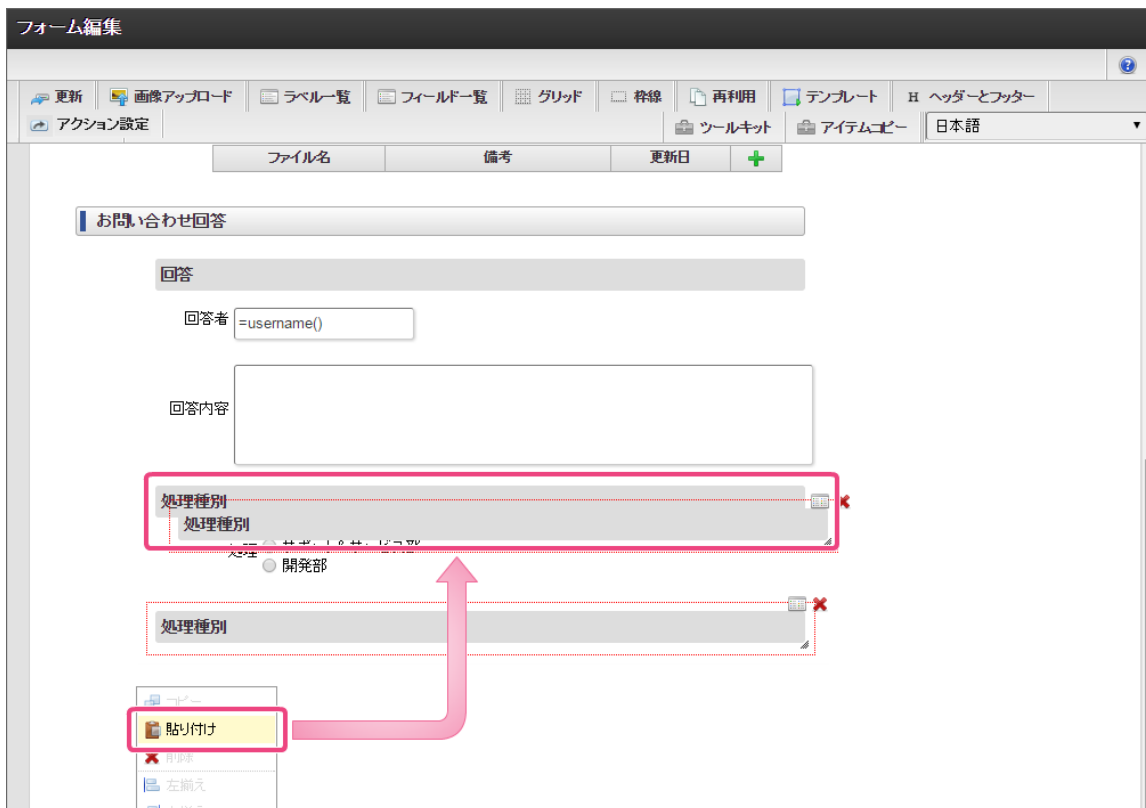
処理 オプション処理

9. 以下の手順で、配置済みのアイテムをコピーしてください。

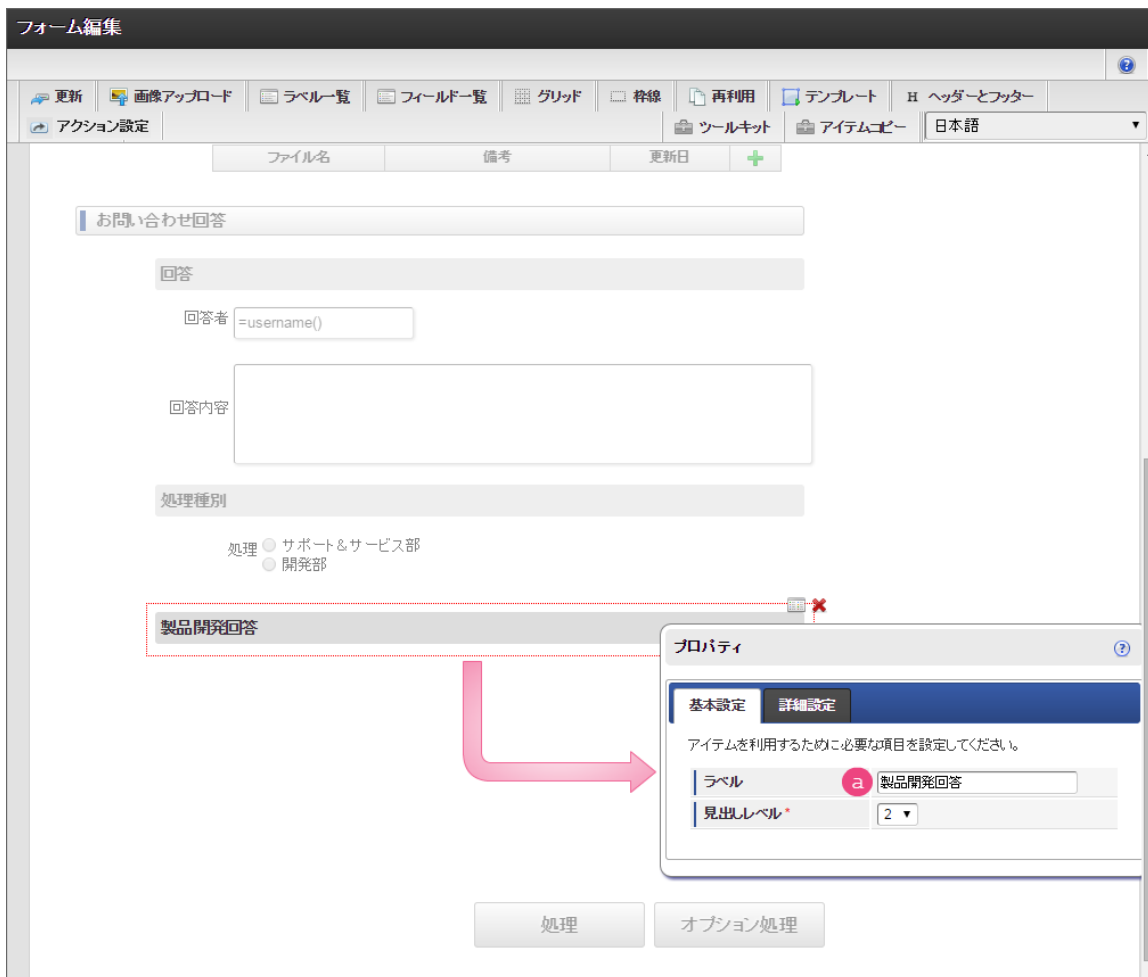


1. 「処理種別」（「見出し」アイテム）をクリックしてください。
2. アイテム上で右クリックし、「コピー」をクリックしてください。

10. フォーム・デザイナー（フォーム編集）画面の任意の場所で右クリックし、「貼り付け」をクリックしてください。
先ほどコピーしたアイテムの貼り付けが行われます。

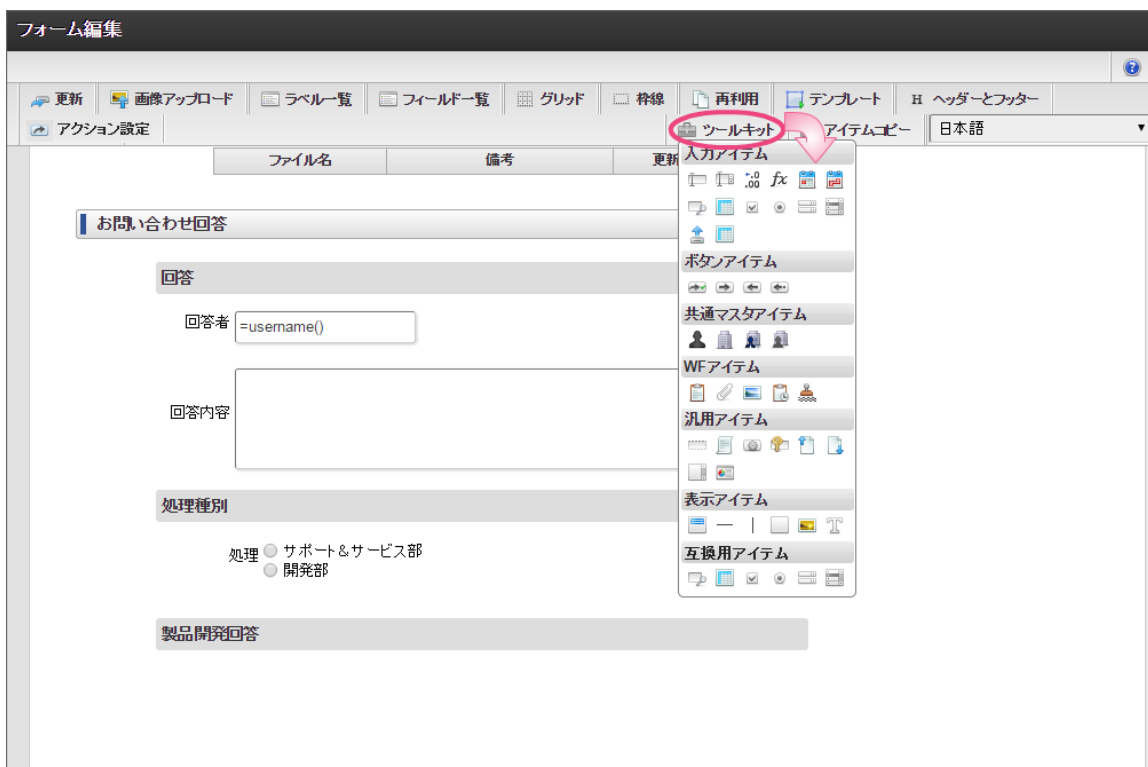


11. 貼り付けを行った「処理種別」（「見出し」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。

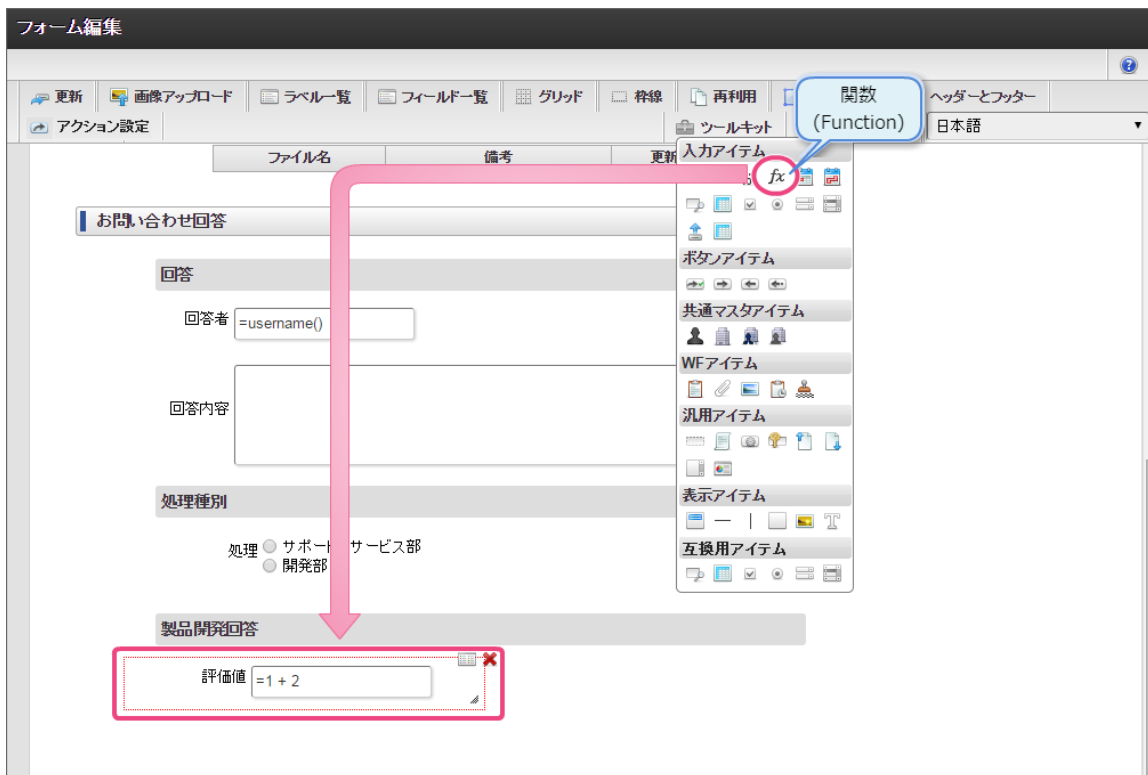


設定項目	設定値
a ラベル	製品開発回答

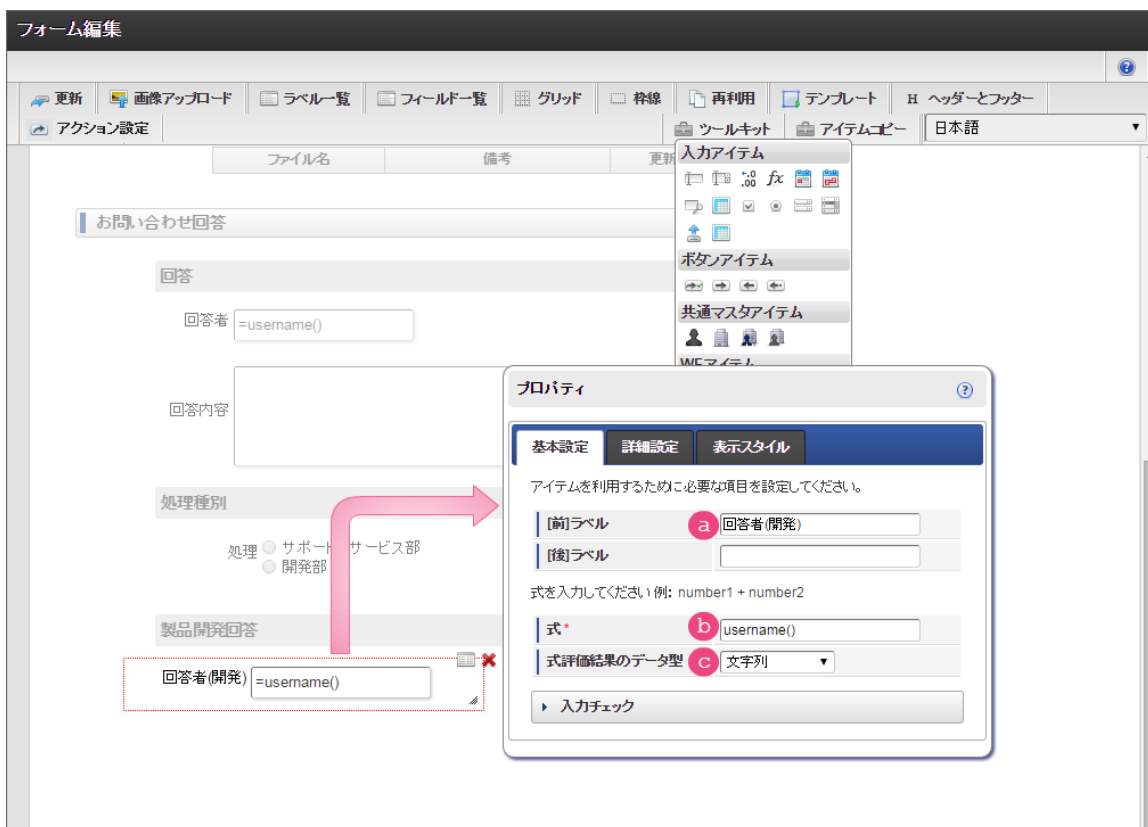
12. 画面の右上の「ツールキット」をクリックしましょう。



13. アイテムの「関数」をドラッグ&ドロップで配置してください。

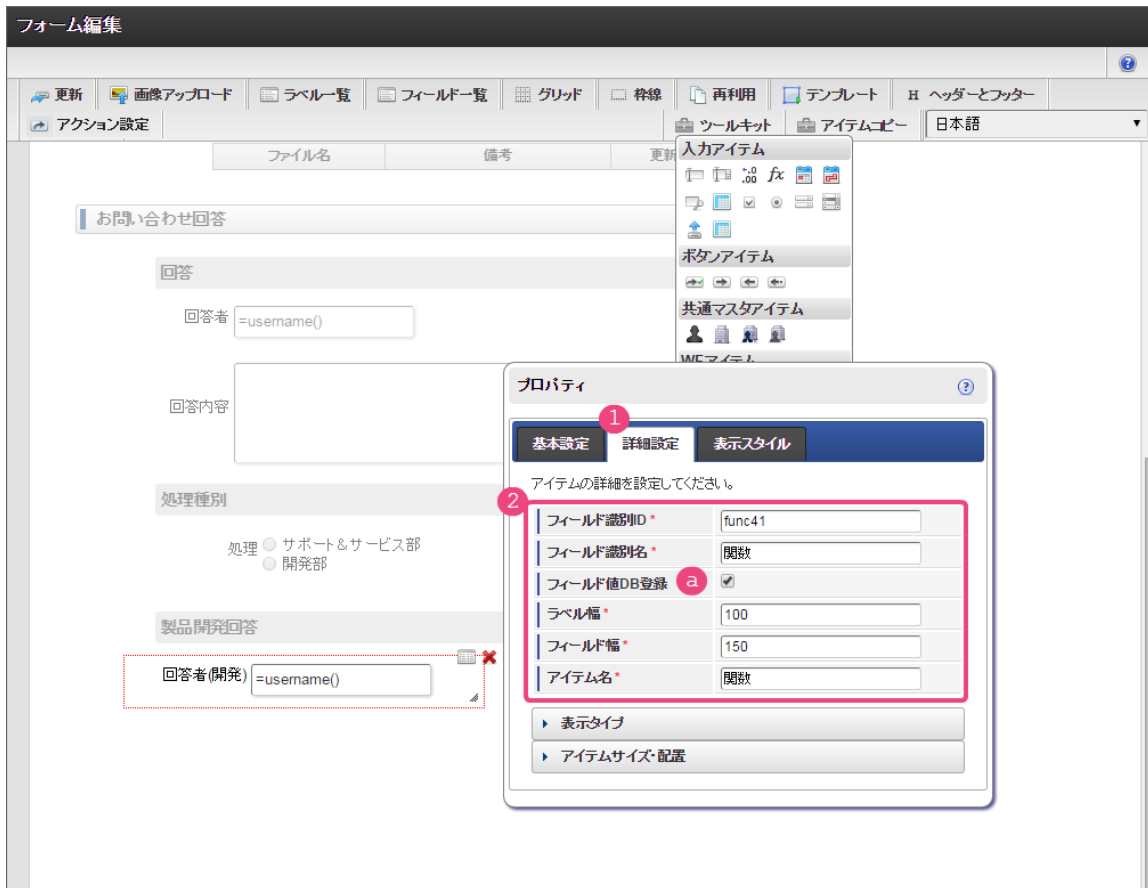


14. 配置した「関数」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



設定項目	設定値
a ラベル	回答者 (開発)
b 式	username()
c 式評価結果のデータ型	文字列

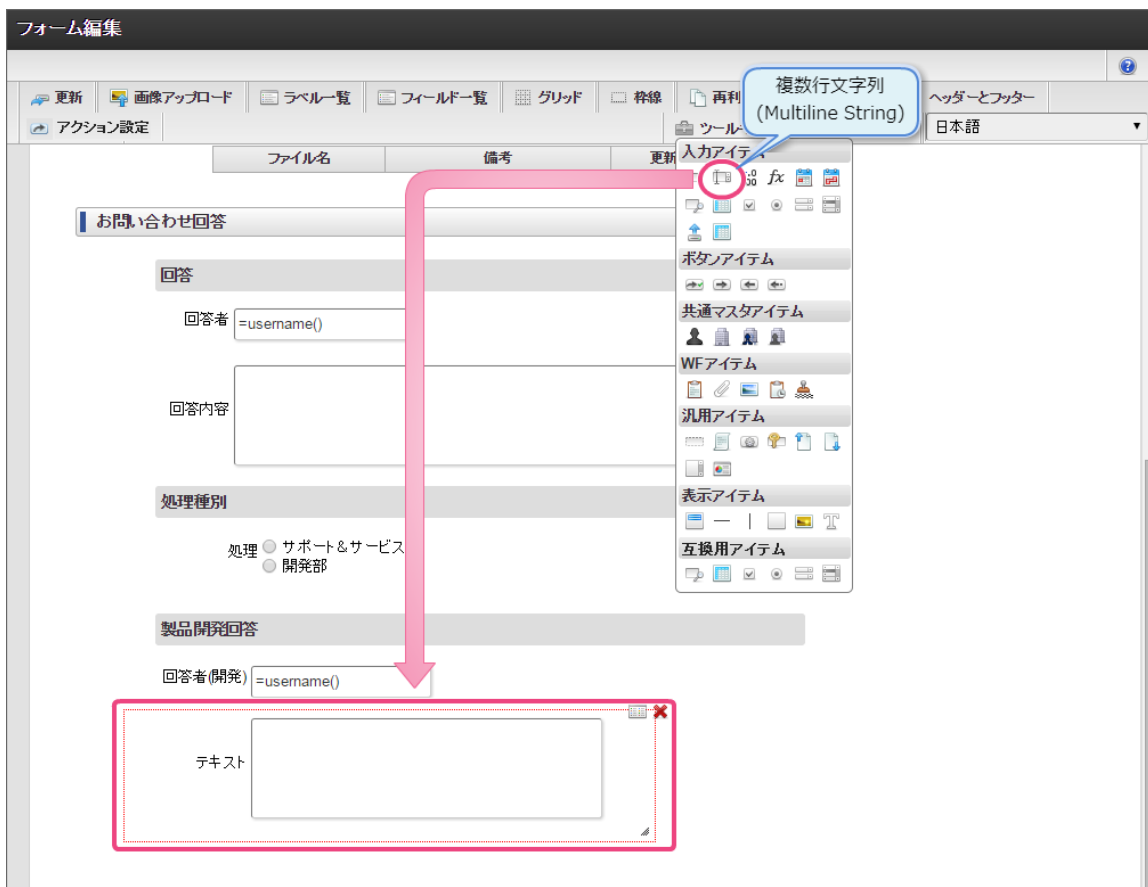
15. 以下の手順で「詳細設定」を設定してください。



1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a フィールド値DB登録	有効 (チェックボックスをオンにしてください。)

16. アイテムの「複数行文字列」をドラッグ&ドロップで配置してください。

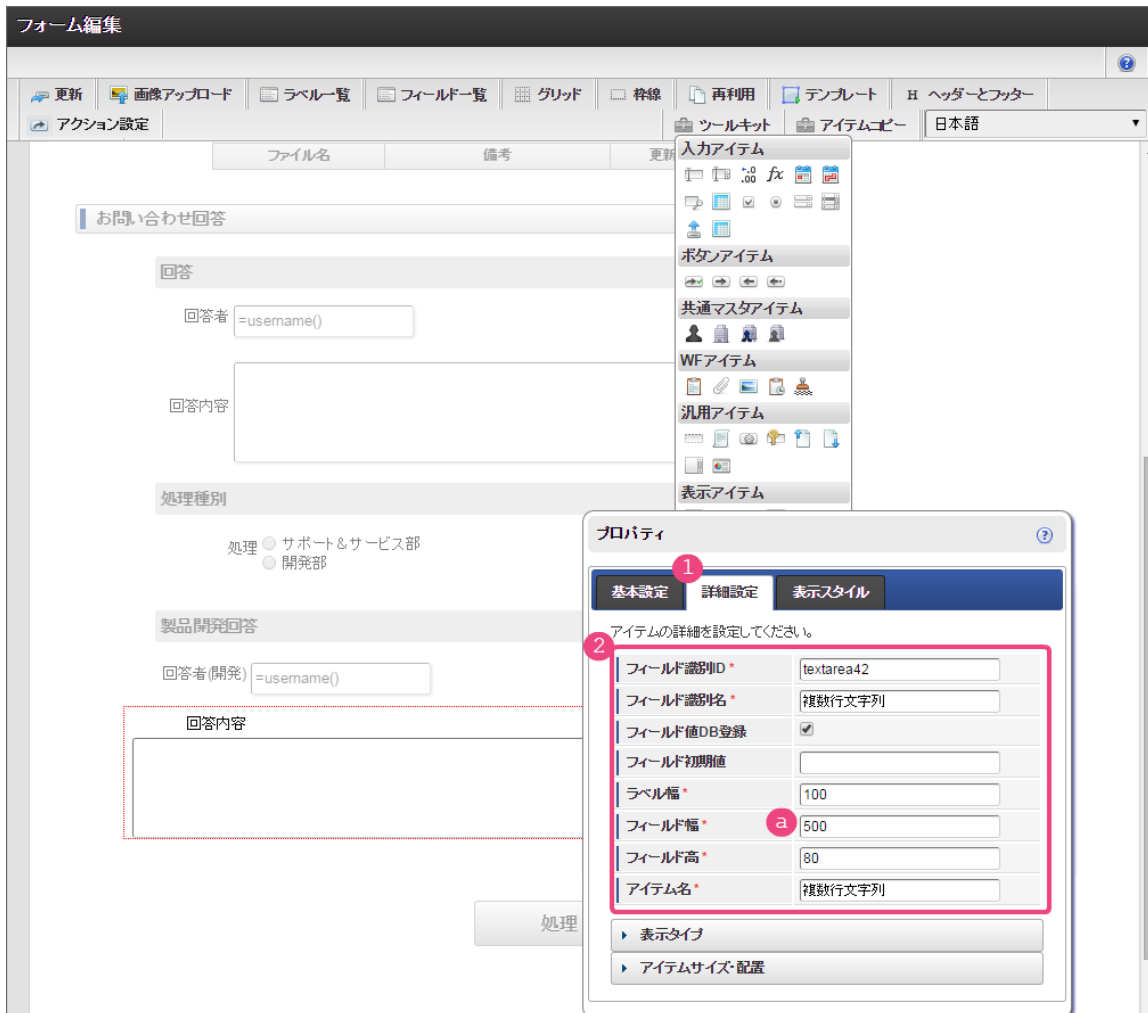


17. 配置した「複数行文字列」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。

「基本設定」では以下の通りに入力してください。

設定項目	設定値
a ラベル	回答内容

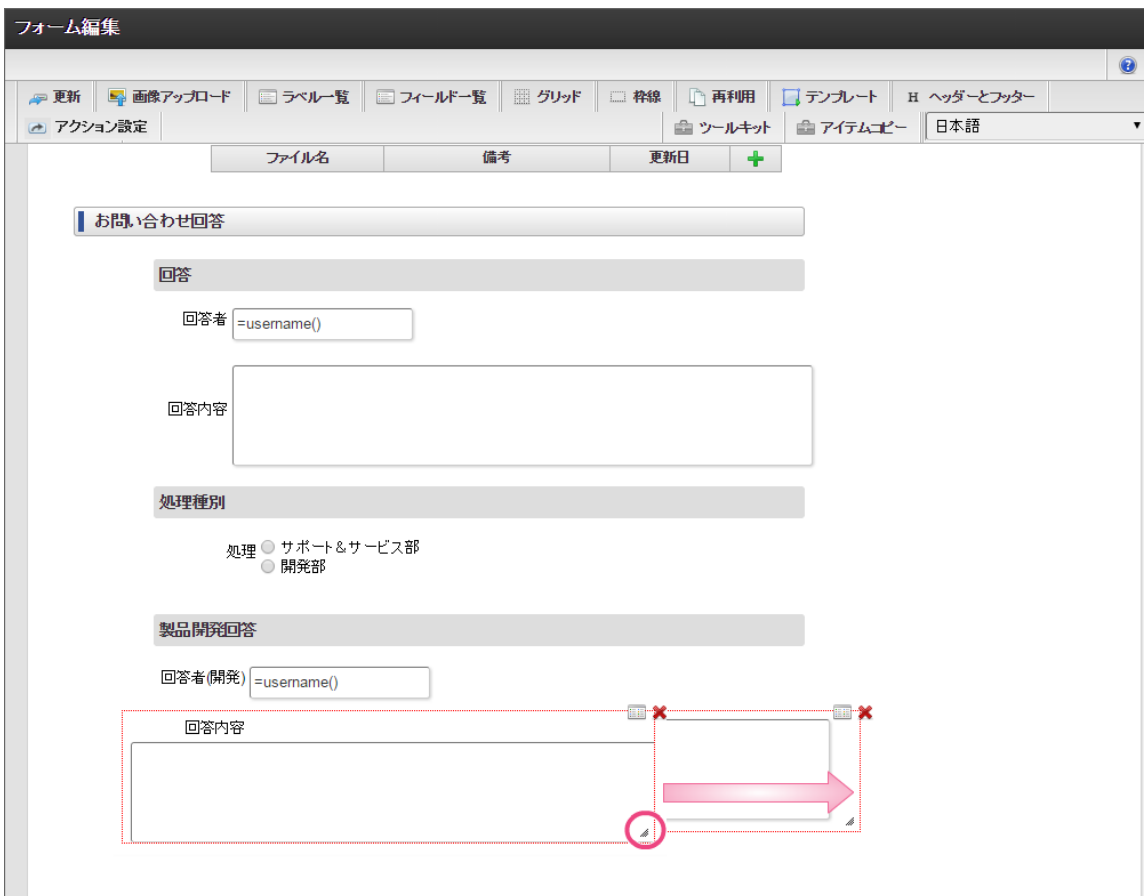
18. 以下の手順で「詳細設定」を設定してください。



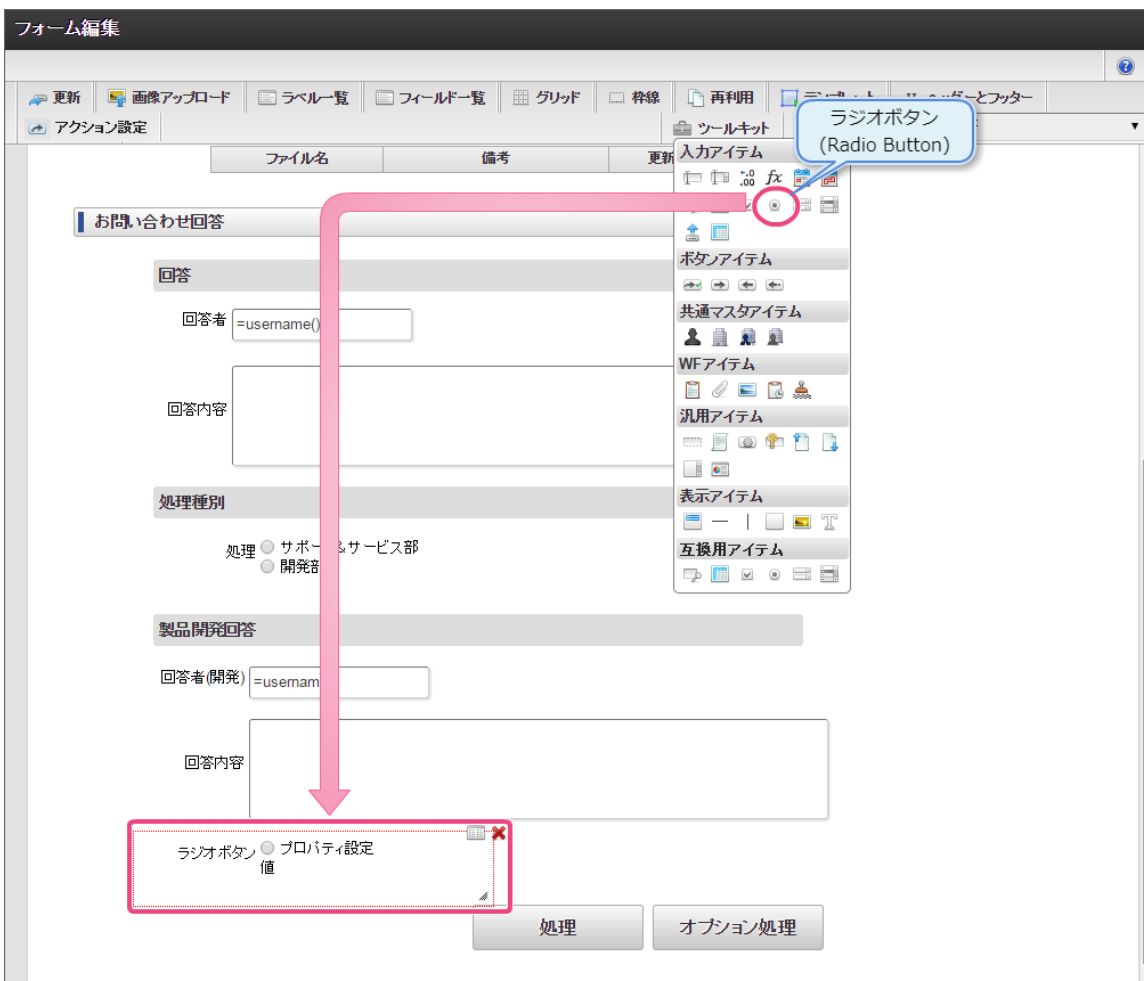
1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a フィールド幅	500

19. フィールド幅の変更により、見切れて表示されます。
表示の見切れた状態を解消するために、アイテムエリア（赤い点線枠）の右下をドラッグして広げて調整してください。



20. アイテムの「ラジオボタン」をドラッグ&ドロップで配置してください。



21. 配置した「ラジオボタン」をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター

アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

ファイル名 備考 更新

お問い合わせ回答

回答

回答者 =username()

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発) =username()

回答内容

対応方法 プロパティ設定 値

プロパティ

基本設定 データの定義 詳細設定 表示スタイル

アイテムを利用するために必要な項目を設定してください。

ラベル a 対応方法

入力チェック

入力チェックを設定してください

必須入力チェック

設定項目 設定値

a ラベル 対応方法

22. 以下の手順で、ラジオボタンの表示値・送信値の設定を行う準備を行ってください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター

アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

ファイル名 備考 更新

お問い合わせ回答

回答

回答者 =username()

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発) =username()

回答内容

項目名未定義
対応方法 項目名未定義 項目名未定義

プロパティ

基本設定 データの定義 詳細設定 表示スタイル

▼ 項目の定義

表示値・データベースに送信する値の設定を行ってください。

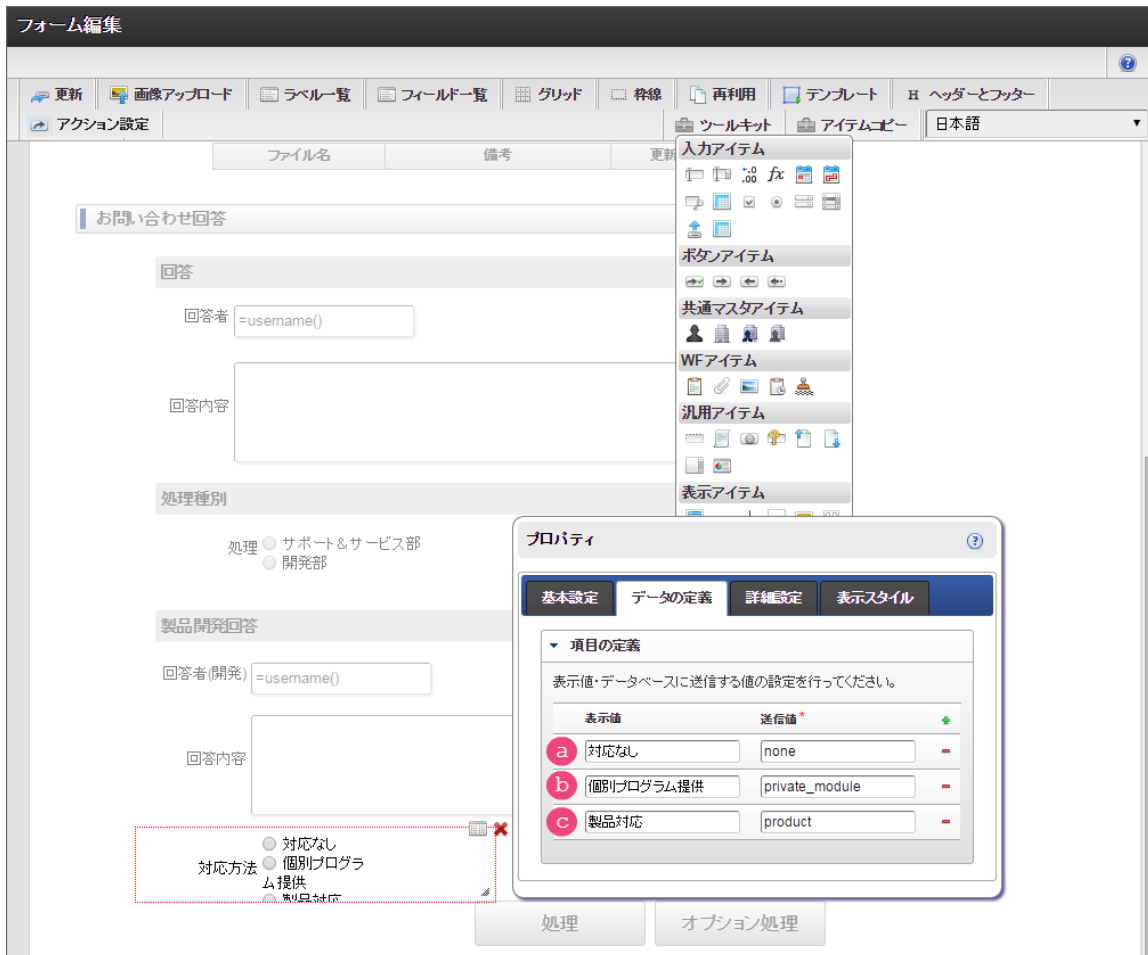
	表示値	送信値*	
1	項目名未定義	1	-
2	項目名未定義	2	-
3	項目名未定義	3	-

処理 オプション処理

1. 「データの定義」をクリックしてください。

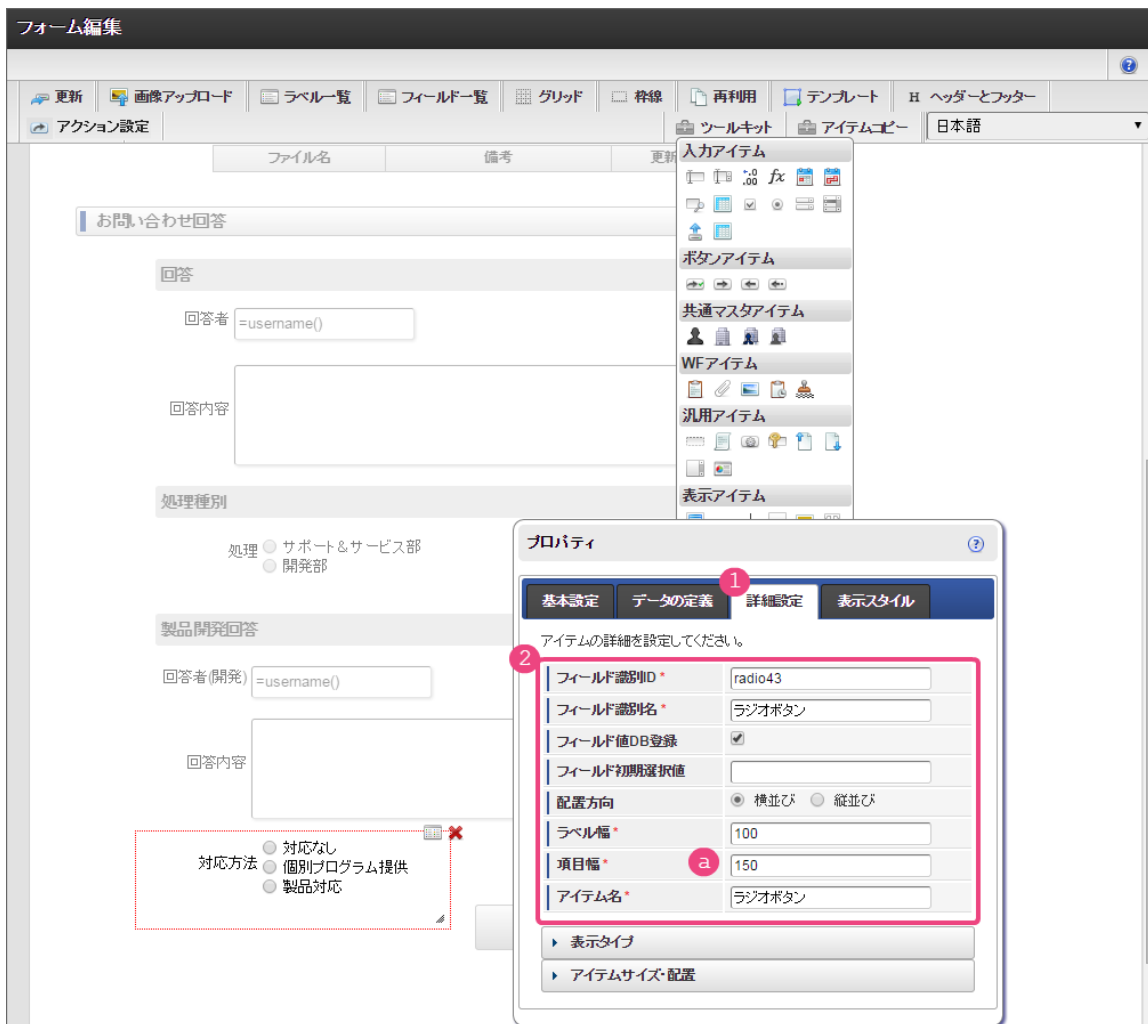
2. + を3回クリックして、表示値・送信値の行を3行にしてください。

23. ラジオボタンは、回答内容の対応方法として利用します。
「項目の定義」に対し、以下の通りに設定してください。



	表示値	送信値
a	対応なし	none
b	個別プログラム提供	private_module
c	製品対応	product

24. 以下の手順で「詳細設定」を設定してください。



1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 以下の通りに設定してください。

設定項目	設定値
a 項目幅	150

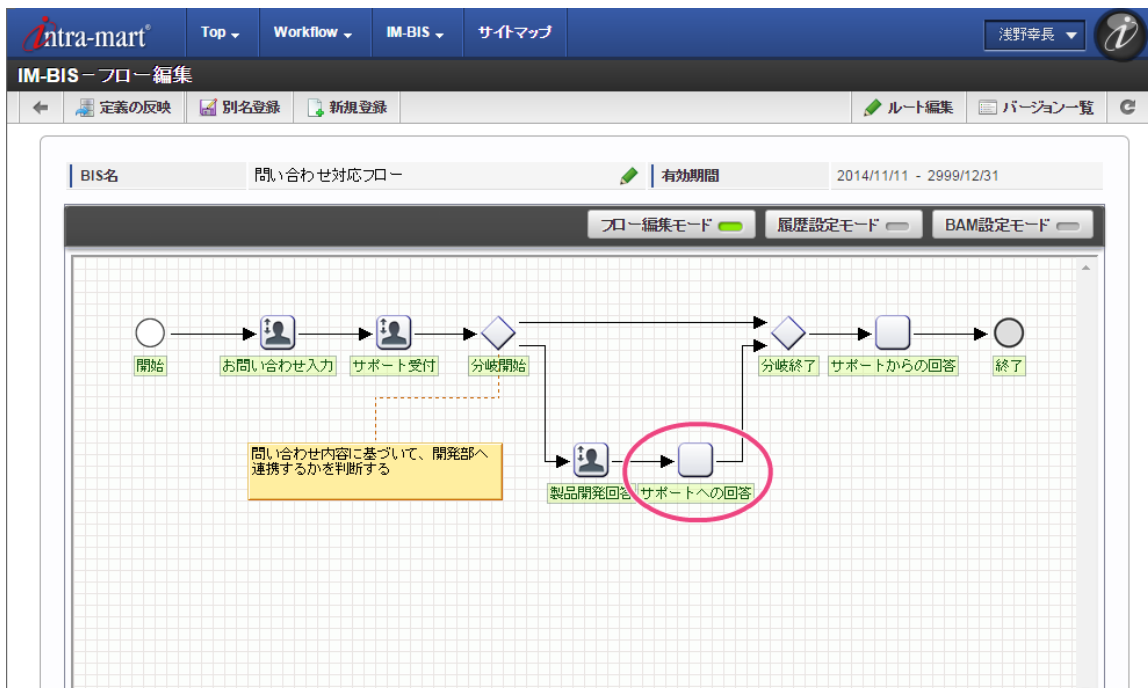
25. アイテムエリア（赤い点線枠）の右下をドラッグして、アイテムの表示エリアを広げてレイアウトを調整してください。

26. ここまでの設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。

サポートへの回答の画面を設定する

サポートへの回答の画面を作成していきましょう。

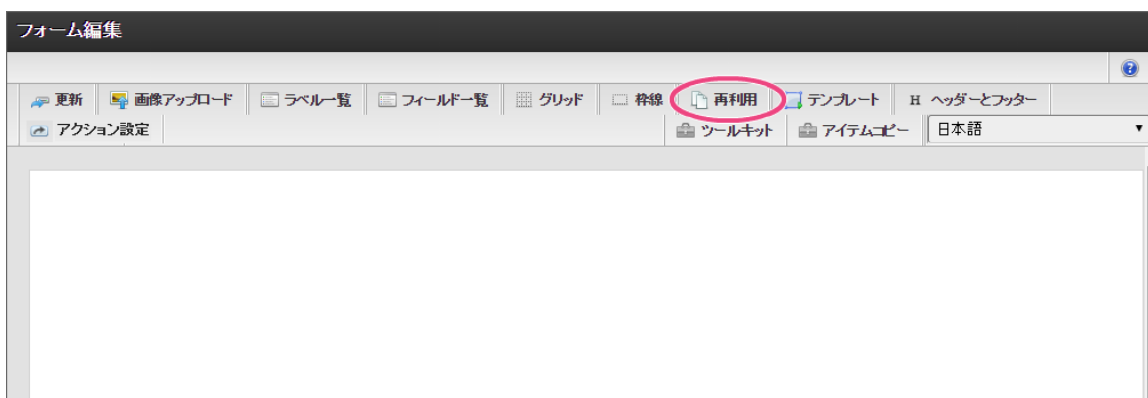
1. 「サポートへの回答」アイコンをダブルクリックして、入力項目の編集画面を表示しましょう。



2. 「フォーム-登録」画面では、以下の通りに入力し、「登録」をクリックしてください。

設定項目	設定値
a フォーム名	サポートへの回答フォーム

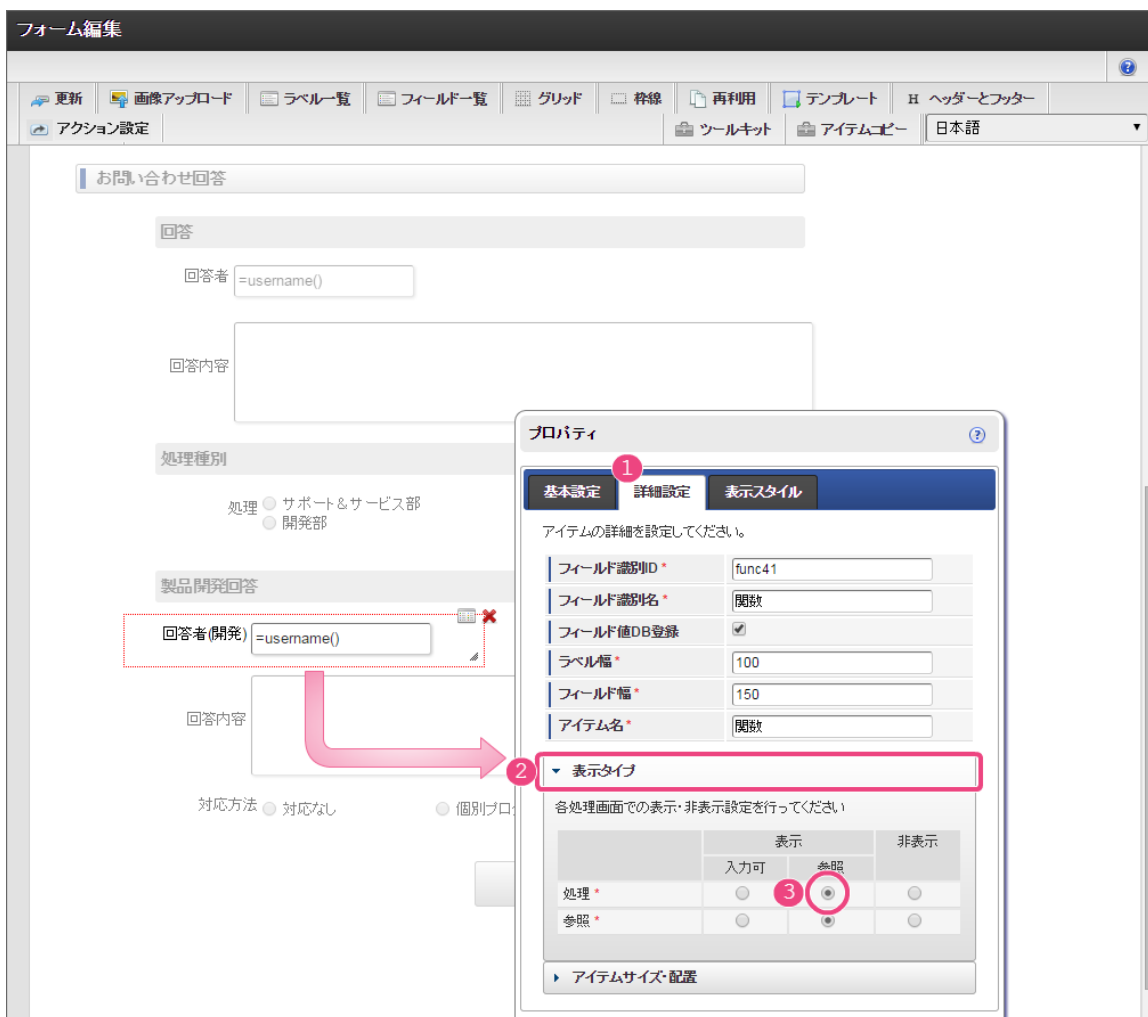
3. 新しくポップアップで表示された画面の右上の「再利用」をクリックしましょう。



4. 先ほど作成した「製品開発回答フォーム」の「選択」をクリックしてください。



5. フォームを選択すると、選択されたフォームの内容がコピーされます。
「回答者（開発）」（「関数」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
以下の手順で、「回答者（開発）」の表示タイプを設定してください。



- 「詳細設定」をクリックしてください。
 - 「表示タイプ」をクリックしてください。
 - 横軸の「処理」と縦軸の「表示」-「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
6. 「回答内容」（「複数行文字列」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
以下の手順で、「回答内容」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター

アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ回答

回答

回答者 =username()

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発) =username()

回答内容

対応方法 対応なし 個別プログラム提供

処理

プロパティ

基本設定 1 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID * textarea42

フィールド識別名 * 複数行文字列

フィールド値DB登録

フィールド初期値

ラベル幅 * 100

フィールド幅 * 500

フィールド高 * 80

アイテム名 * 複数行文字列

2 表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

	表示		非表示
	入力可	参照	
処理 *	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> 3	<input type="radio"/>
参照 *	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイテムサイズ・配置

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」-「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
7. 「対応方法」（「ラジオボタン」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。以下の手順で、「対応方法」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ回答

回答

回答者 =username()

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発) =username()

回答内容

対応方法 対応なし 個別プログラム提供

処理

プロパティ

基本設定 データの定義 **詳細設定** 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID* radio43
 フィールド識別名* ラジオボタン
 フィールド値DB登録
 フィールド初期選択値
 配置方向 横並び 縦並び
 ラベル幅* 100
 項目幅* 150
 アイテム名* ラジオボタン

表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

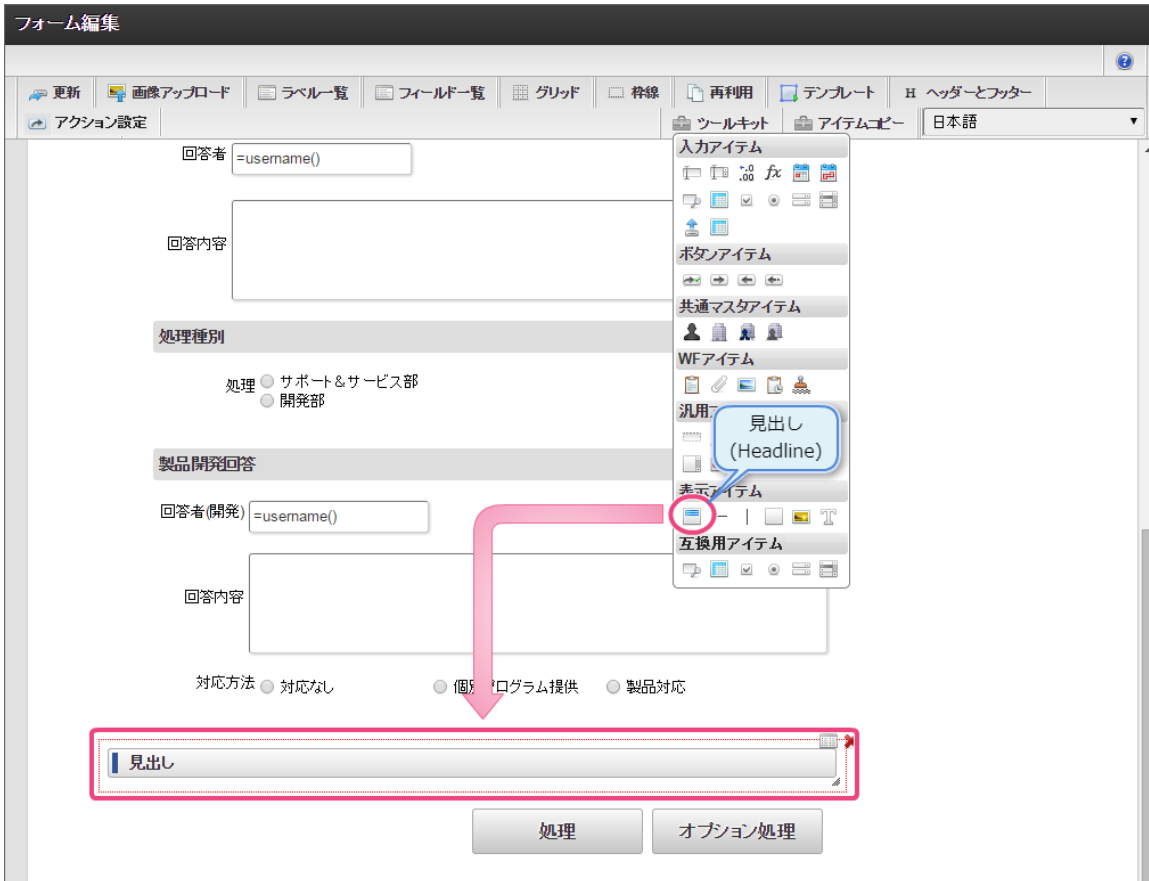
	表示		非表示
	入力可	参照	
処理*	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
参照*	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイテムサイズ・配置

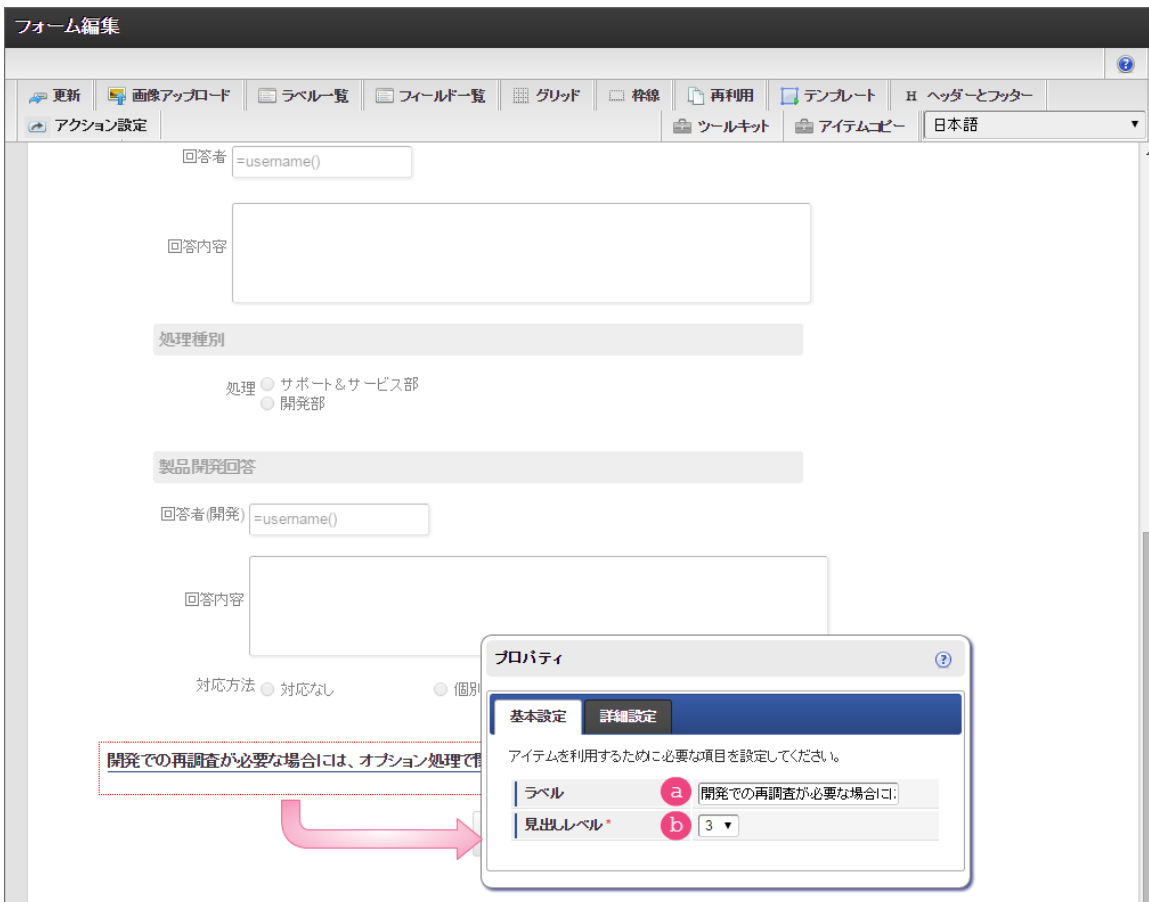
1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」-「参照」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
8. 「ボタン（BISフロー登録）」ボタンをドラッグして下に移動してください。

9. 画面の右上の「ツールキット」をクリックしてください。

10. アイテムの「見出し」をドラッグ&ドロップで配置してください。

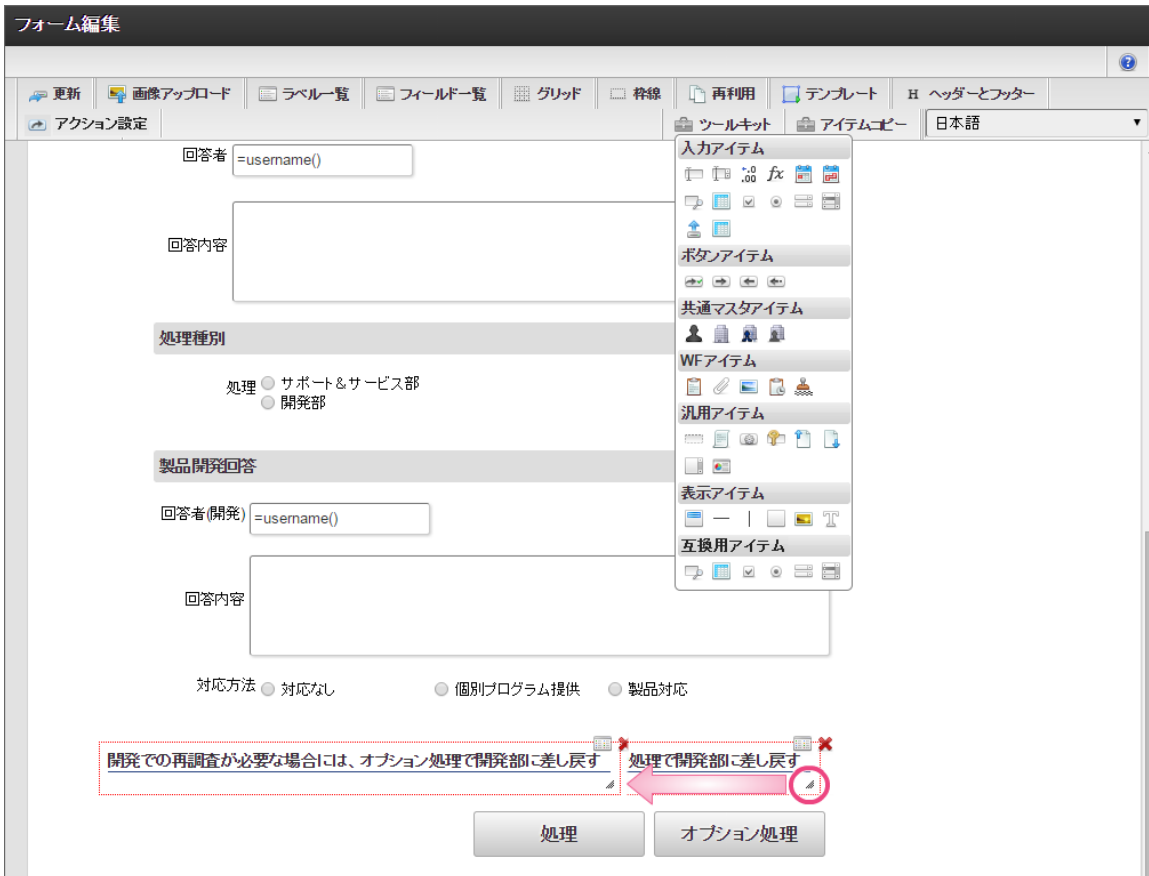


11. 「見出し」アイテムをダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。

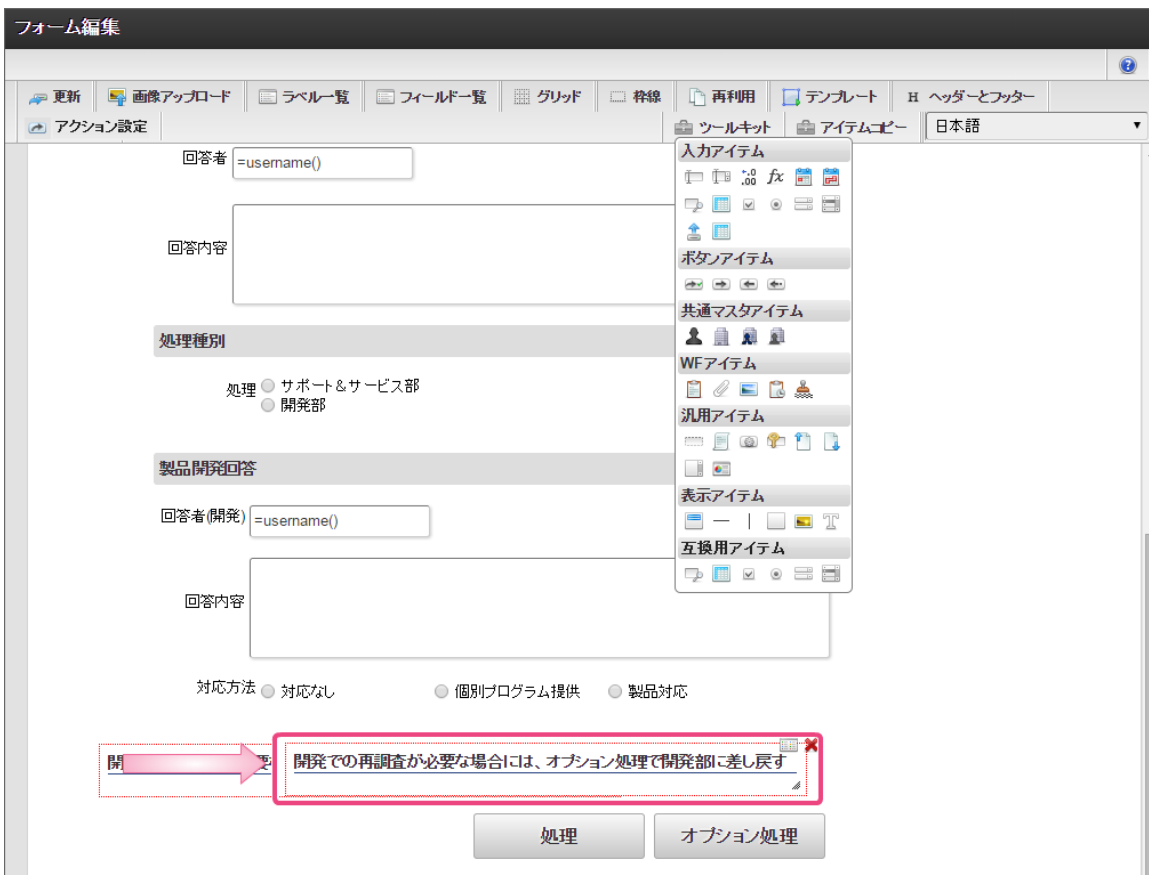


設定項目	設定値
a ラベル	開発での再調査が必要な場合には、オプション処理で開発部に差し戻す
b 見出しレベル	3

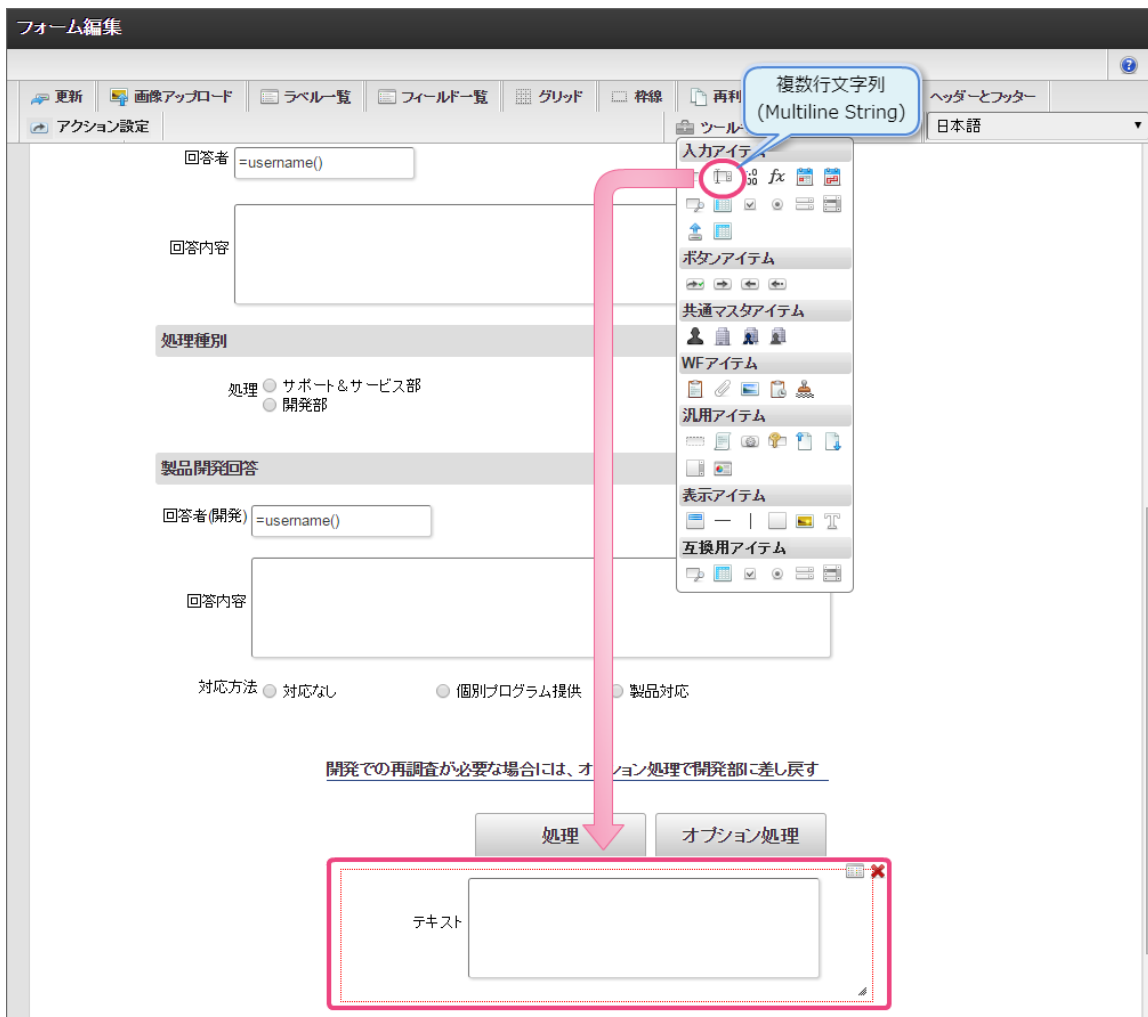
12. 「見出し」アイテムの右下をドラッグし、幅を短く調整してください。



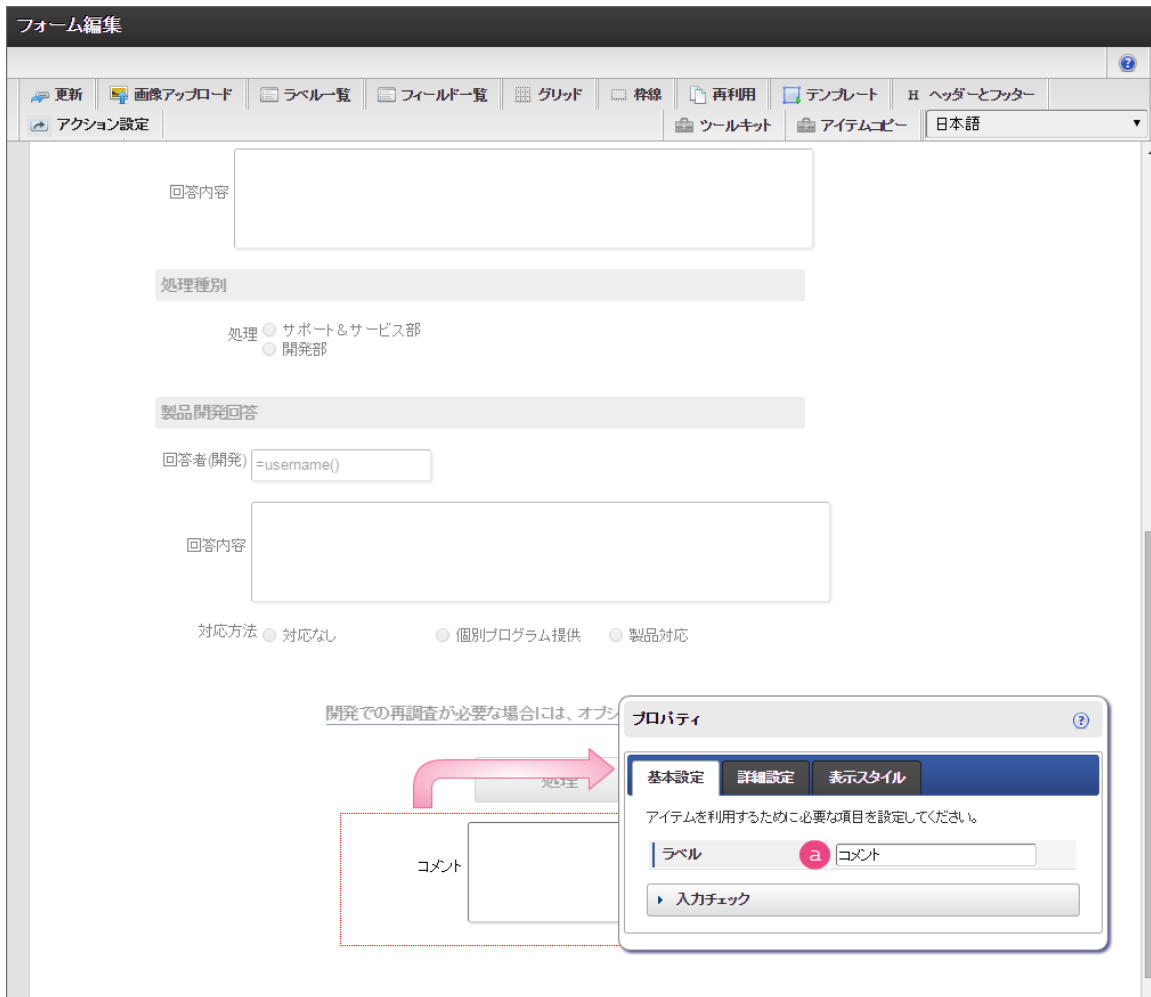
13. 「見出し」アイテムを右にドラッグし、位置を調整しましょう。



14. アイテムの「複数行文字列」をドラッグ&ドロップで配置してください。



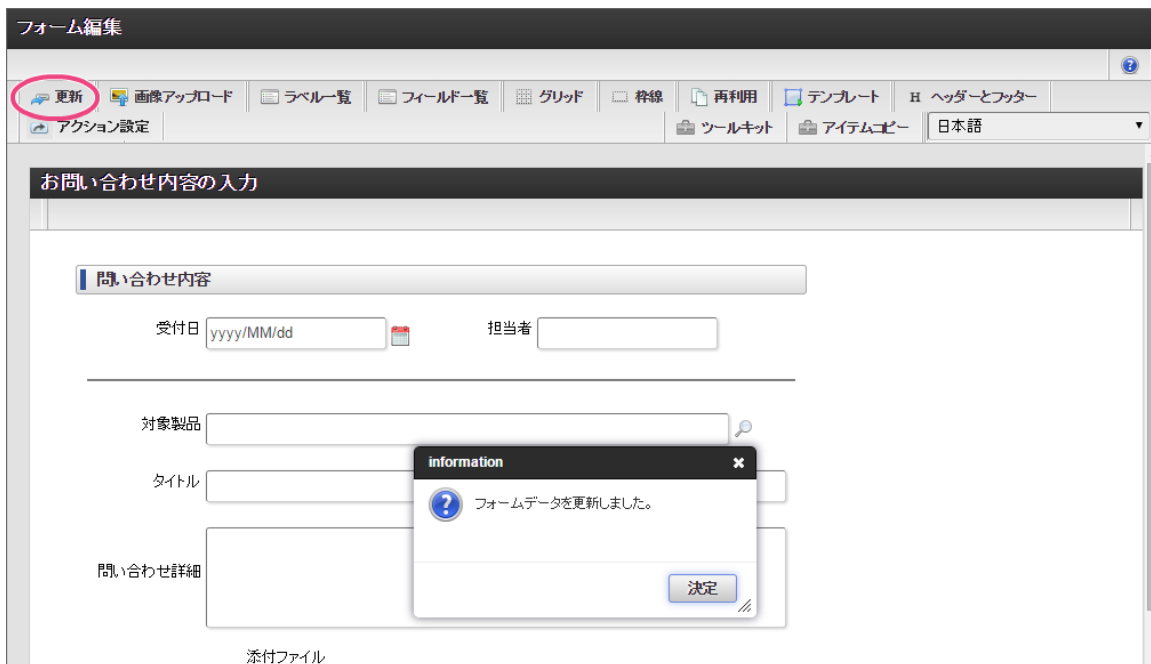
15. 配置した「複数行文字列」アイテムをダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



設定項目 設定値

a ラベル コメント

16. ここまでの設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。



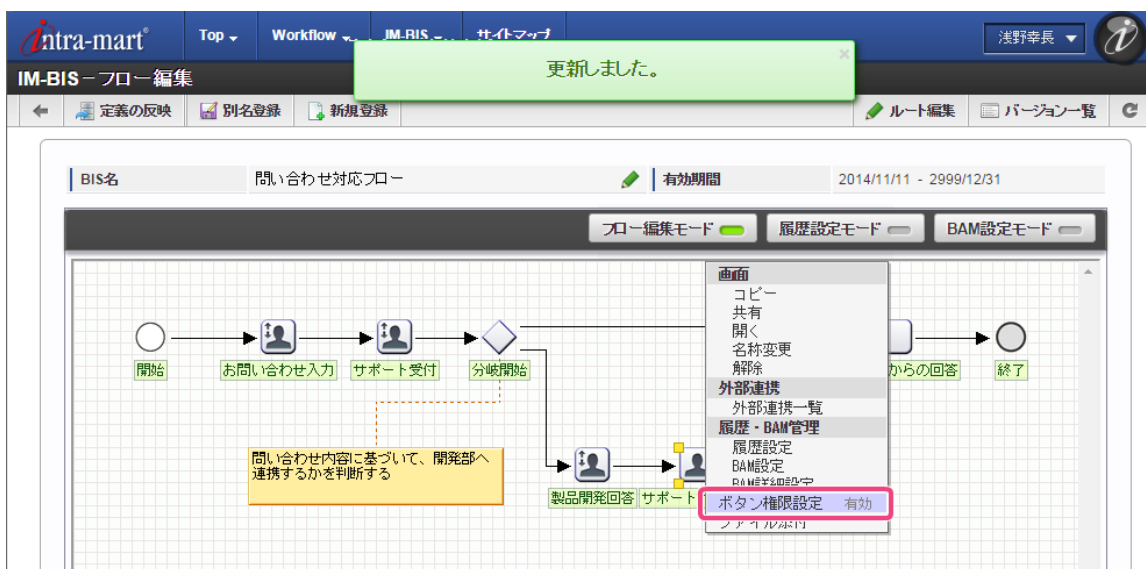
差戻しを設定する

「サポートへの回答」では、調査内容に問題があった場合には、前のノードに戻すことができるようにボタンを設定します。

1. 「サポートへの回答」で右クリックしてください。



2. 「ボタン権限設定」をクリックし、有効に設定してください。

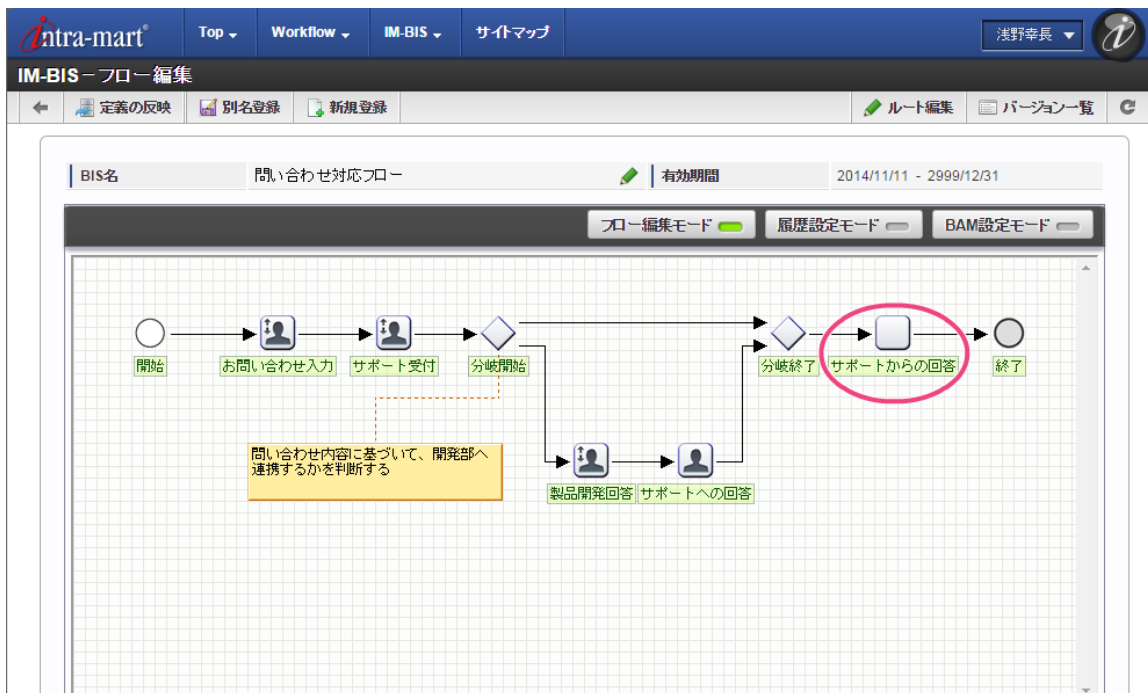


3. これで、「サポートへの回答」では差し戻しが行えるように「オプション処理」を表示するための設定ができました。

サポートからの回答の画面を設定する

最後のサポートからの回答の画面を作成していきましょう。

1. 「サポートからの回答」アイコンをダブルクリックして、入力項目の編集画面を表示しましょう。

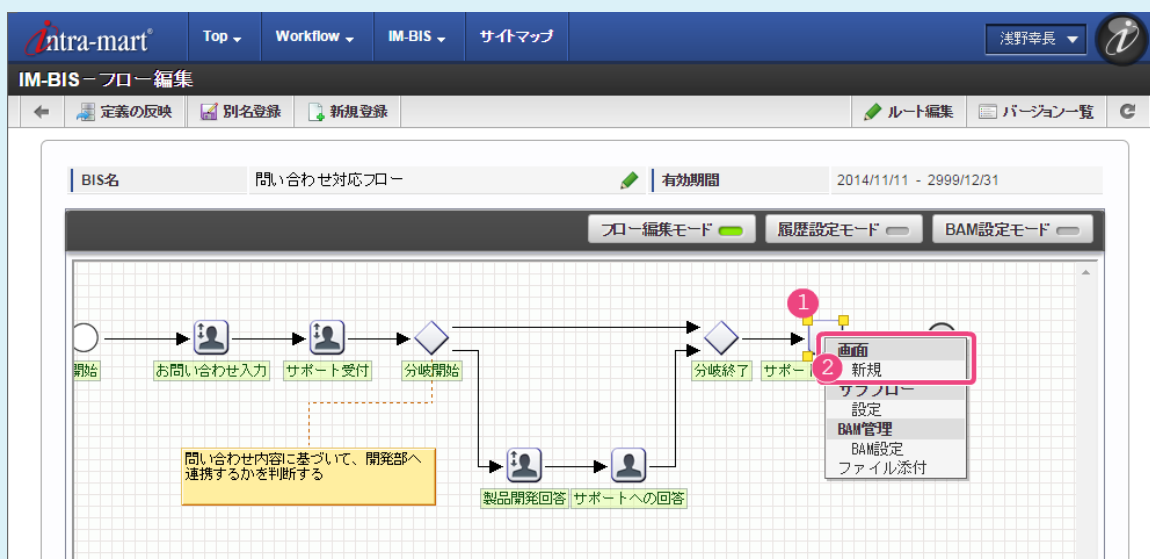


コラム

ノードをダブルクリックしたときに、処理対象者の表示欄と重なってしまい、フォーム登録画面が出ない場合があります。



その際には、ノードを右クリックし、画面「新規」からフォームを登録するようにしてください。



- 「フォーム-登録」画面では、以下の通りに入力し、「登録」をクリックしてください。

フォーム登録

フォーム名 ^a サポートからの回答フォーム

説明

他のロケール

登録

設定項目	設定値
a フォーム名	サポートからの回答フォーム

3. 新しくポップアップで表示された画面の右上の「再利用」をクリックしましょう。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート ヘッダーとフッター

アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

4. 先ほど作成した「サポートへの回答フォーム」の「選択」をクリックしてください。

フォーム検索

詳細検索

アプリケーション名

フォーム名

検索 クリア

選択	プレビュー	フォーム名	アプリケーションID	アプリケーション名	アプリケーション履歴番号
<input type="radio"/>		問い合わせ対応フローフォーム	5ibfepxwi2twpd	問い合わせ対応フロー	
<input type="radio"/>		問い合わせ内容入力フォーム	5ibfepxwi2twpd	問い合わせ対応フロー	
<input type="radio"/>		サポート受付フォーム	5ibfepxwi2twpd	問い合わせ対応フロー	
<input type="radio"/>		製品開発回答フォーム	5ibfepxwi2twpd	問い合わせ対応フロー	
<input checked="" type="radio"/>		サポートへの回答フォーム	5ibfepxwi2twpd	問い合わせ対応フロー	

1ページ中 1 ページ目 15 12件中 1 - 12 を表示

5. 以下の手順で不要なアイテムを削除してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

回答者 =username()

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発) =username()

回答内容

対応方法 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

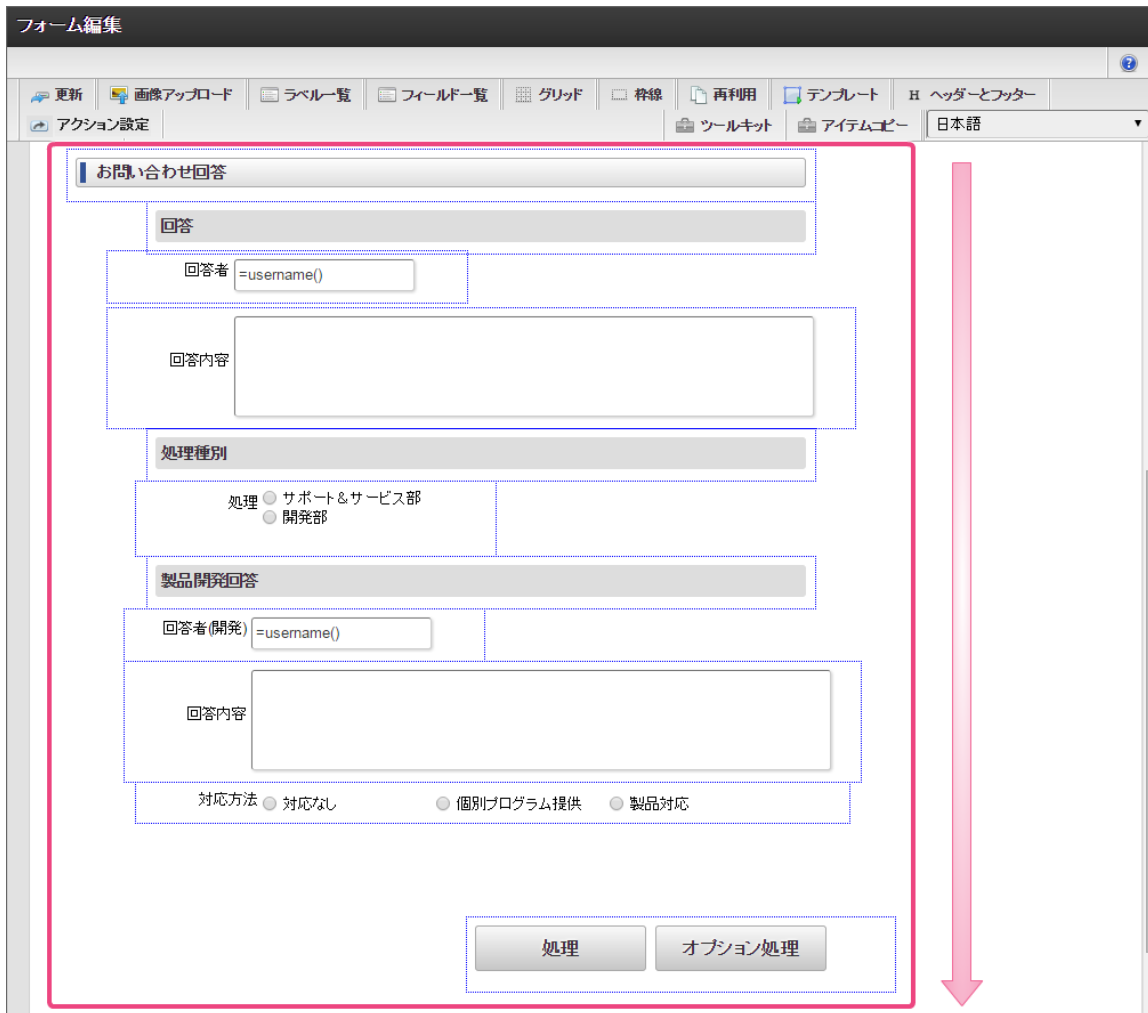
1. 開発での再調査が必要な場合には、オプション処理で開発部に差し戻す

2. 処理 オプション処理

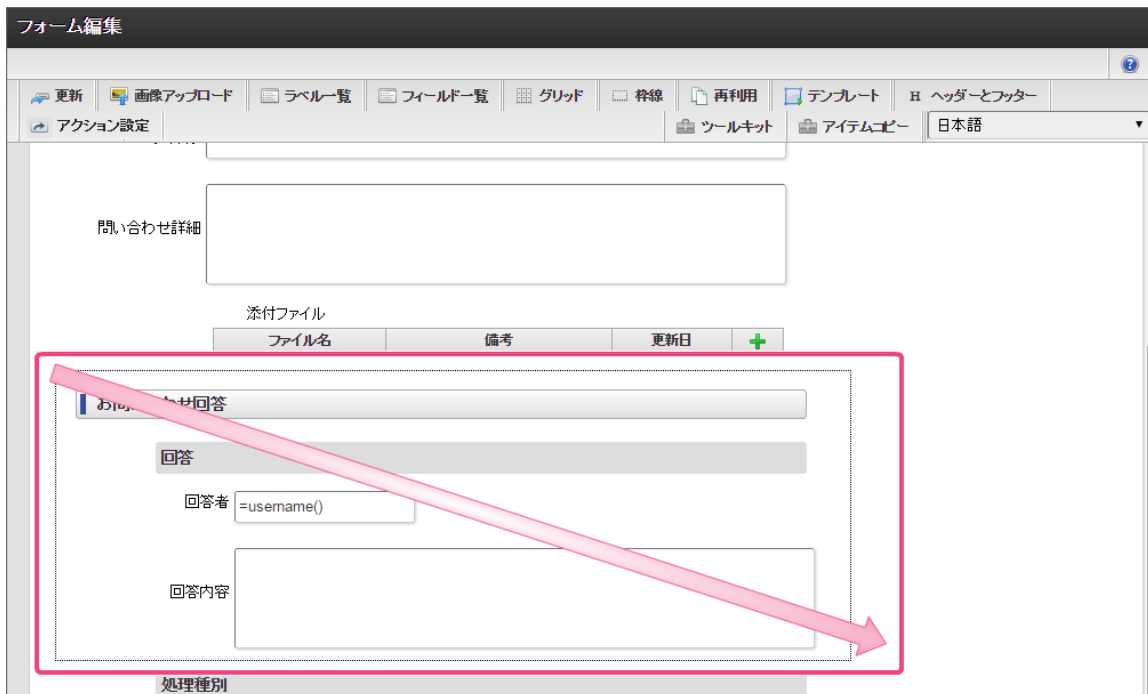
コメント

2. コピー
3. 貼り付け
削除
左揃え
右揃え
上揃え
最前面へ移動
前面へ移動
最背面へ移動
背面へ移動

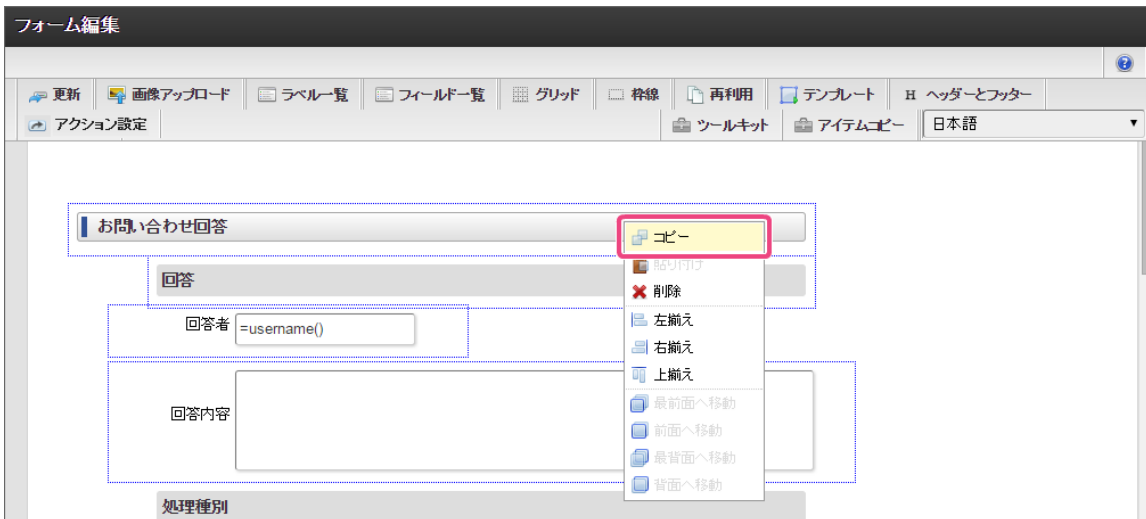
1. 「CTRL」キーを押下しながら2つのアイテムをクリックし、複数選択の状態（青い点線に囲まれる状態）にしてください。
 2. 右クリックし、メニューを表示してください。
 3. 「削除」をクリックしてください。
6. 以下の図の赤枠で囲まれたアイテムの上部に他のアイテムを配置するために、位置を調整します。
 図中の枠で囲まれたアイテムを「CTRL」キーを押下しながらクリック、またはアイテムを囲うようにマウスをドラッグし、複数選択の状態（青い点線に囲まれる状態）にしてください。
 その状態で、選択中のアイテムの上部に空間ができるように下方向に移動してください。



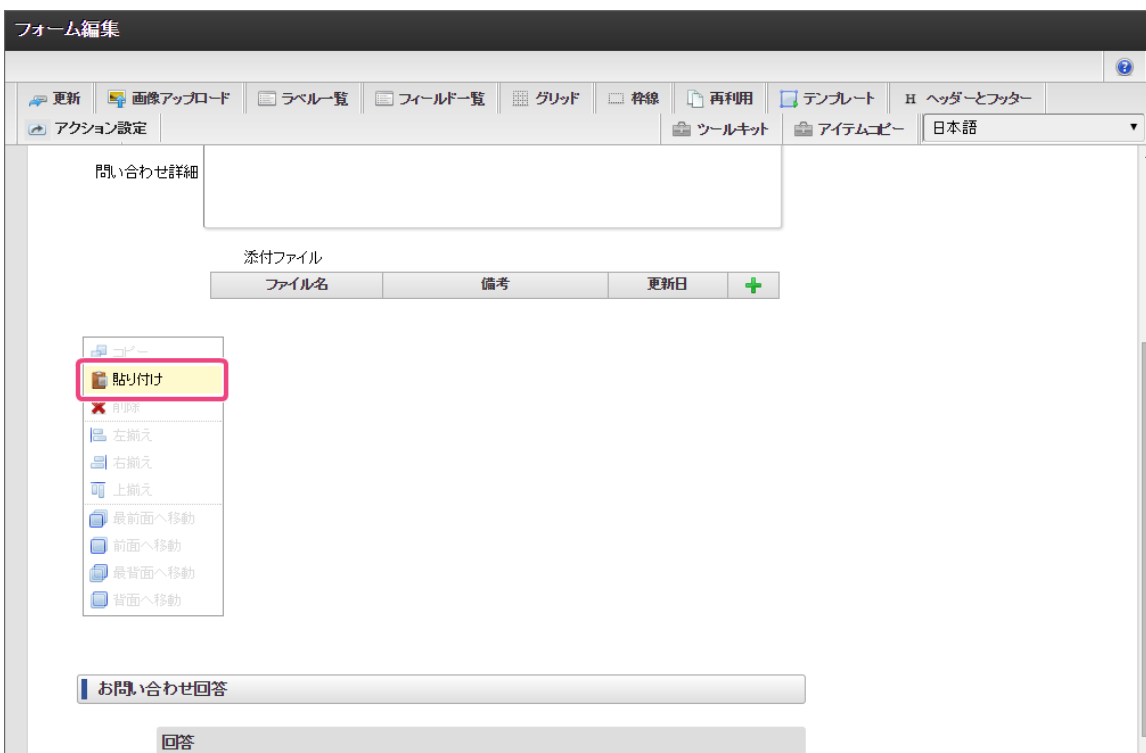
7. 「お問い合わせ回答」から「回答内容」までの部分を選択状態にしてください。



8. 選択したアイテムを右クリック後に、「コピー」をクリックしてください。



9. フォーム・デザイナー（フォーム編集）画面の任意の場所で右クリックし、「貼り付け」をクリックしてください。



10. 「CTRL」キーを押下しながら、貼り付けを行ったアイテムをドラッグして上に移動してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベル一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムビュー 日本語

問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日	+
-------	----	-----	---

お問い合わせ回答

回答

回答者 =username()

回答内容

お問い合わせ回答

回答

回答者 =username()

回答者 =username()

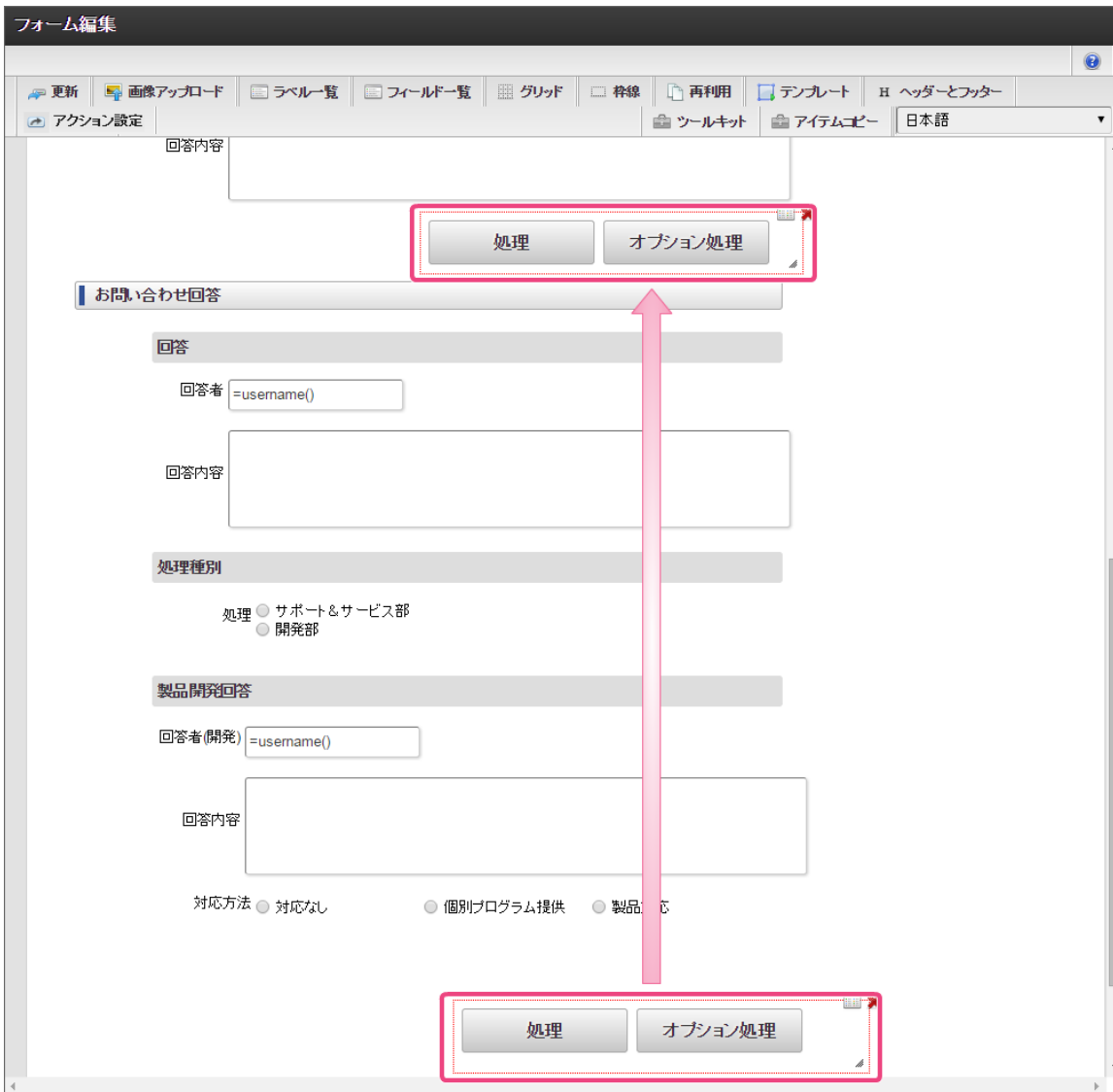
回答内容

回答内容

処理種別

加印 ● サポート&サービス部

11. 「ボタン (BISフロー登録)」をドラッグして上に配置し、全体的なレイアウトを調整してください。



12. 貼り付けを行った「見出し」アイテムをダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
「基本設定」では以下の通りに入力してください。



設定項目	設定値
------	-----

a ラベル	お問い合わせ回答(確定)
-------	--------------

13. 「回答者」(「関数」アイテム)をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
以下の手順で、「回答者」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター
 アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

添付ファイル
 ファイル名 備考 更新日 +

お問い合わせ回答(確定)

回答
 回答者 =username()

回答内容

お問い合わせ回答

回答
 回答者 =username()

回答内容

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID * func86
 フィールド識別名 * 開放
 フィールド値DB登録
 ラベル幅 * 100
 フィールド幅 * 150
 アイテム名 * 開放

表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

	表示		
	入力可	参照	非表示
処理 *	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
参照 *	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイテムサイズ 配置

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
 2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
 3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」-「入力可」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。
14. 「回答内容」（「複数行文字列」アイテム）をダブルクリックしてプロパティ画面を表示してください。
 以下の手順で、「回答内容」の表示タイプを設定してください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター

アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日	+
-------	----	-----	---

お問い合わせ回答(確定)

回答

回答者 =username()

回答内容

処理

お問い合わせ回答

回答

回答者 =username()

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

プロパティ

基本設定 詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

フィールド識別ID * textarea87

フィールド識別名 * 複数行文字列

フィールド値DB登録

フィールド初期値

ラベル幅 * 100

フィールド幅 * 500

フィールド高 * 80

アイテム名 * 複数行文字列

表示タイプ

各処理画面での表示・非表示設定を行ってください

	表示		
	入力可	参照	非表示
処理 *	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
参照 *	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

アイテムサイズ・配置

1. 「詳細設定」をクリックしてください。
2. 「表示タイプ」をクリックしてください。
3. 横軸の「処理」と縦軸の「表示」 - 「入力可」が交差するセルのラジオボタンをクリックしてください。

15. ここまでの設定内容を保存するために「更新」をクリックしてください。

フォーム編集

更新 画像アップロード ラベラー一覧 フィールド一覧 グリッド 枠線 再利用 テンプレート H ヘッダーとフッター

アクション設定 ツールキット アイテムコピー 日本語

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 yyyy/MM/dd 担当者

対象製品

タイトル

問い合わせ詳細

添付ファイル

information

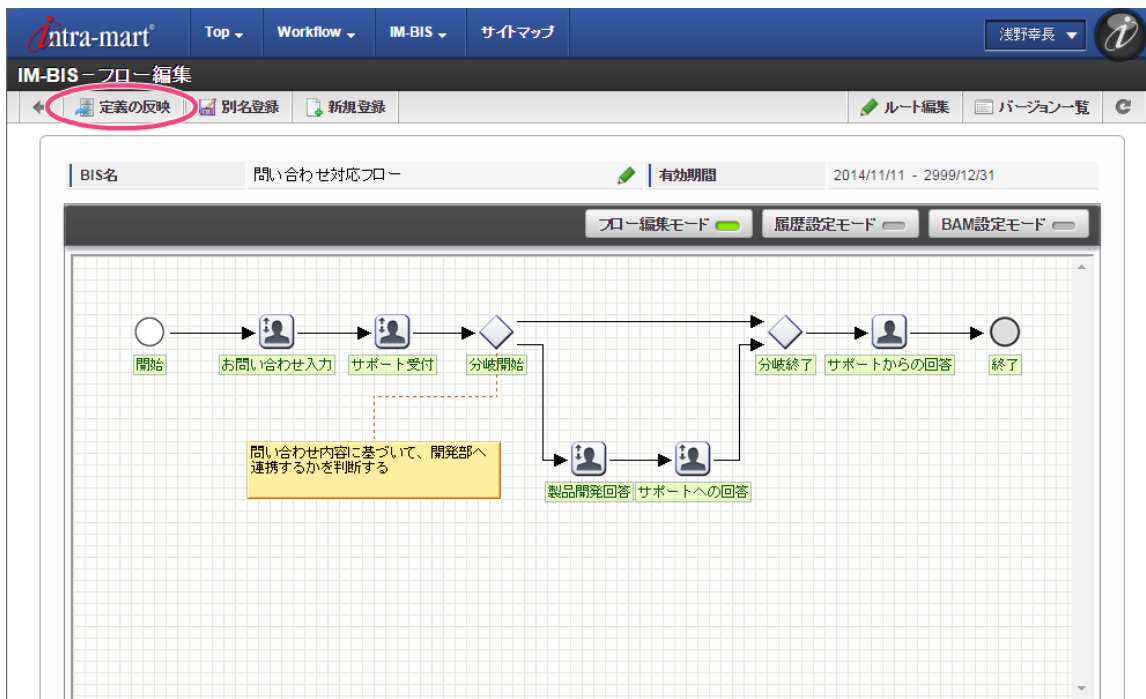
フォームデータを更新しました。

決定

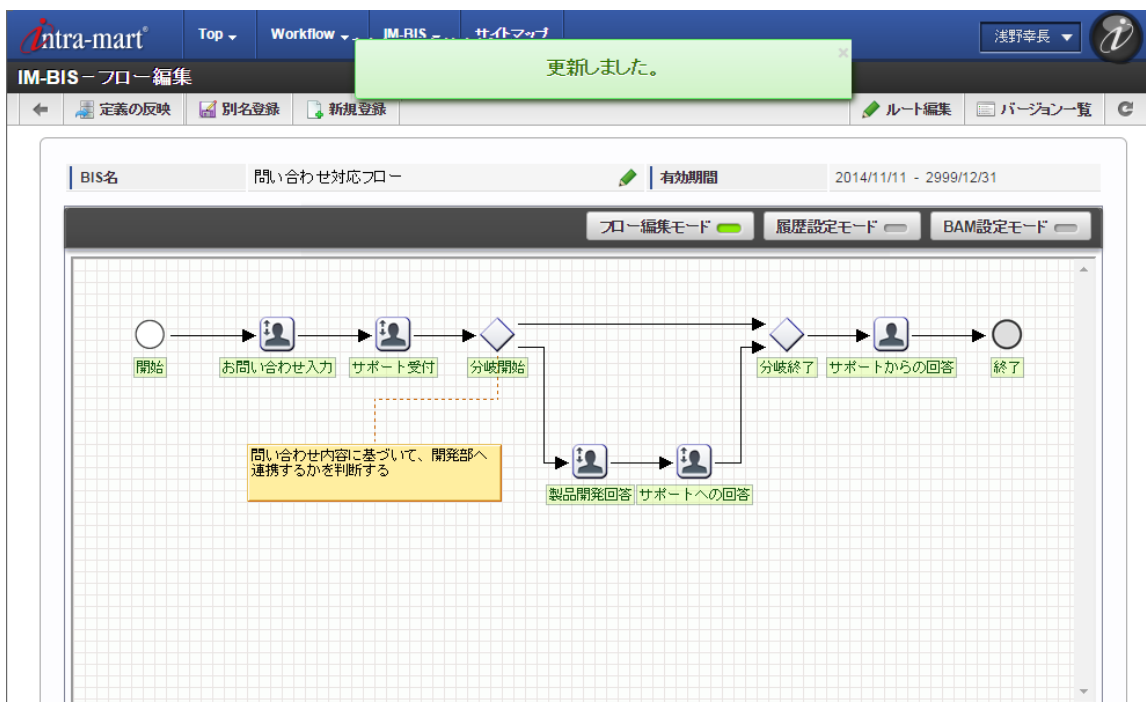
実行に必要な処理を実行する

フローとして実行するために必要な処理を実行して、フローが完成します。

1. フロー編集画面に戻ってきたら、「定義の反映」をクリックしてください。



2. これで、問い合わせ対応の業務プロセスを作成することができました。



関連情報

ここに記載したルートの作成方法やフォームの設定方法の詳細は、以下のドキュメントで説明しております。

- [IM-BIS 業務管理者操作ガイド](#)
- [IM-BIS システム管理者操作ガイド](#)
- [IM-FormaDesigner 作成者操作ガイド](#)

問い合わせ対応の業務プロセスを実行してみよう

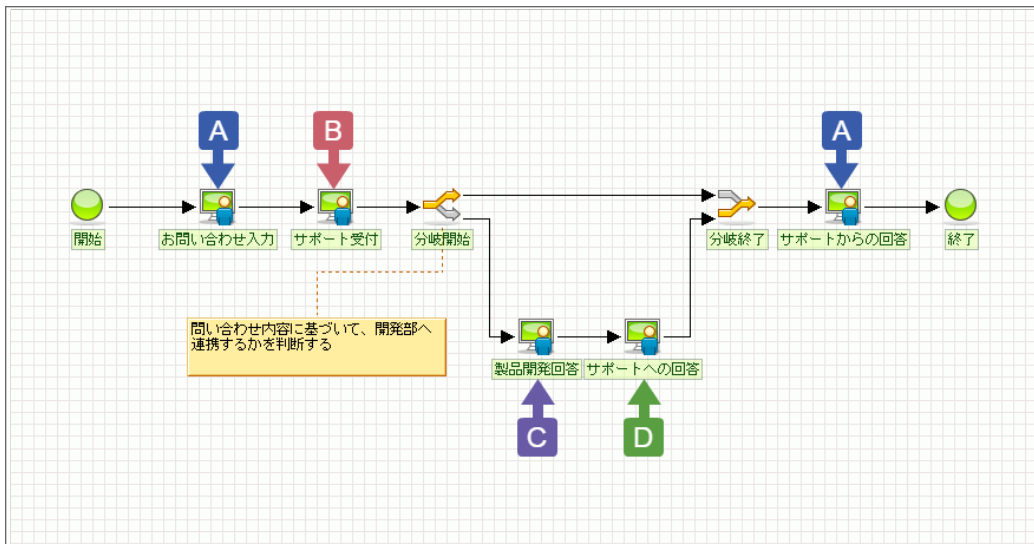
作成した問い合わせ対応の業務プロセスをそれぞれのユーザとして実行していきましょう。

問い合わせ対応の業務プロセスを実行する手順

- 担当者から問い合わせ対応を開始する
- 問い合わせ内容を確認し、分岐先を判断する
- 開発部の担当者が問い合わせ対応の回答を追記し、処理を進める
- 開発部の担当者の処理結果を確認し、処理を差し戻す
- 差し戻された処理を再度実行する
- 差し戻を行った処理を再度処理する
- 最後の処理を実行し、フローを終了する

- 今回実行するユーザとルート

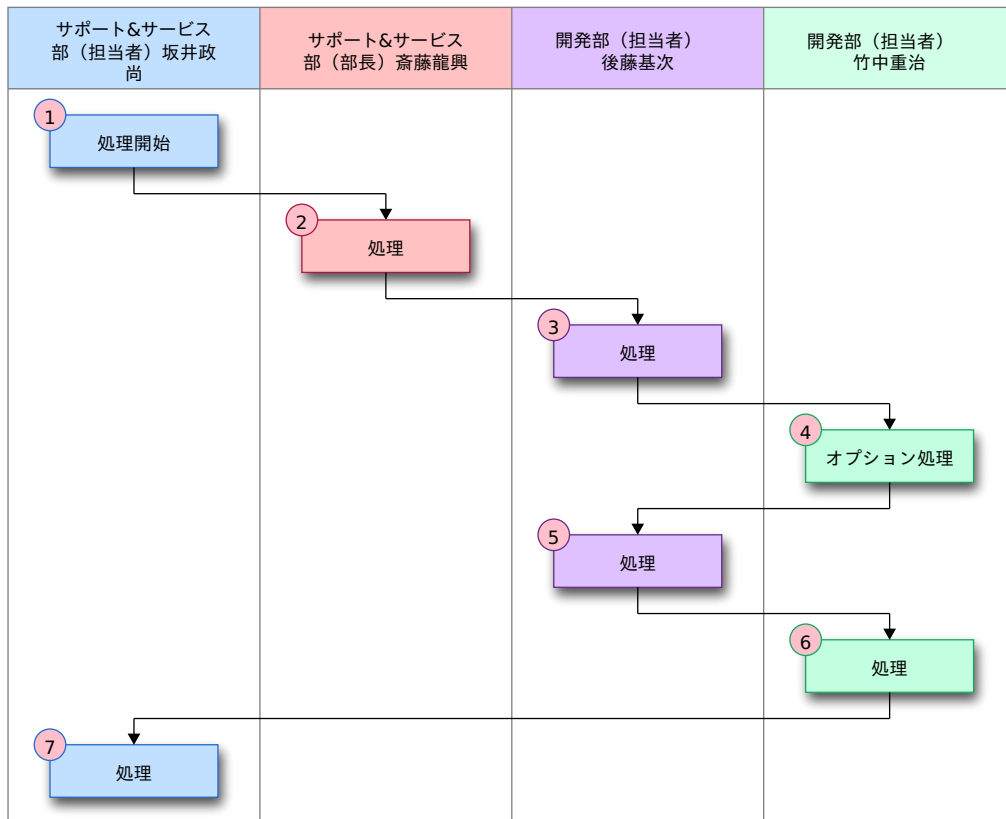
後述の説明では、操作中のユーザを識別しやすくするために以下の図の各ノードへの矢印の色をテーマに設定しています。



- 図の記号とユーザ

記号	ユーザ
A	サポート&サービス部（担当者） 坂井政尚
B	サポート&サービス部（担当者） 斎藤龍興
C	開発部（担当者） 後藤基次
D	開発部（部長） 竹中重治

- 操作する手順

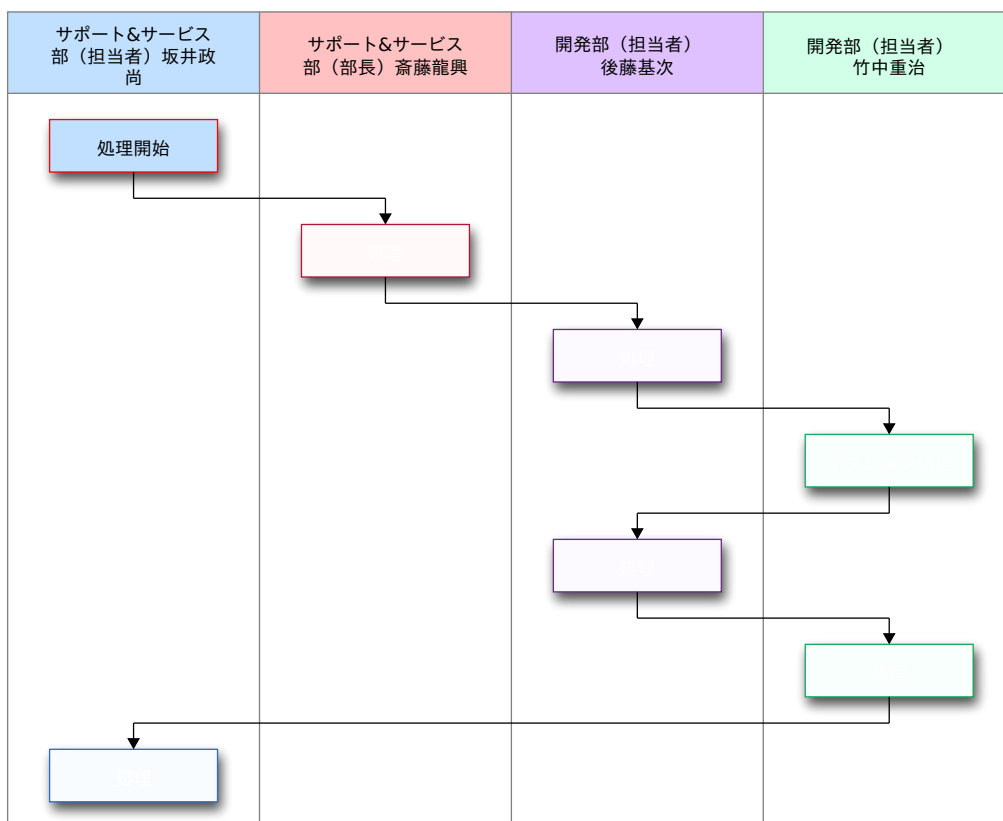


担当者から問い合わせ対応を開始する

最初の「担当者入力」で処理対象者になっているユーザでログインし、問い合わせ対応の業務プロセスの処理を開始しましょう。

新規に問い合わせ内容を記録し、次の処理に進める

まずは新規に問い合わせ内容を記録し、次の処理者に進めましょう。



1. 問い合わせ対応の最初の業務を行う担当者でログインしましょう。

(この例では、サポート&サービス部の担当者「坂井政尚」でログインします。)

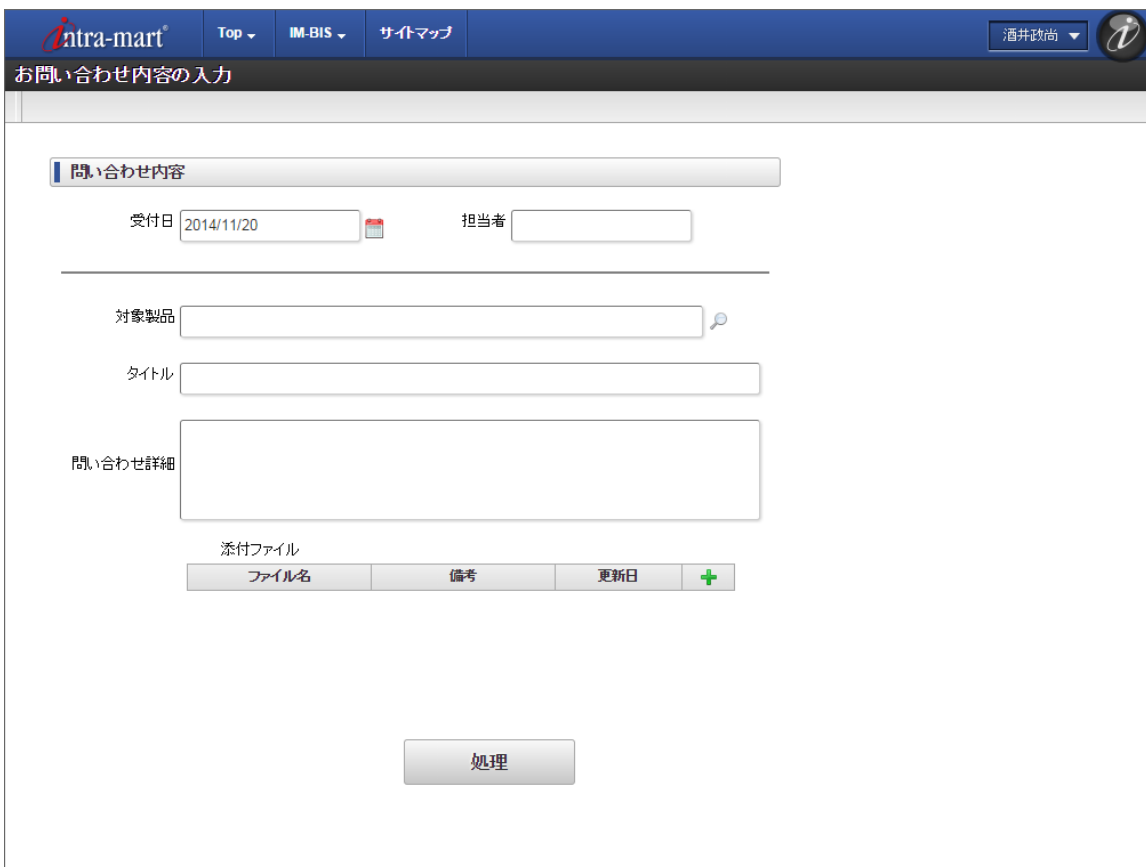
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「処理開始」をクリックしましょう。



3. 「問い合わせ対応フロー」の「申請／処理開始」をクリックしてください。



4. 問い合わせ対応の最初の画面が表示されました。



5. 最初に以下の手順で項目に入力し、検索画面を表示してください。

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日

担当者

対象製品

タイトル

問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日	+

処理

1. 以下の通りに設定してください。

項目	値
a 受付日	任意の日付を入力してください。
b 担当者	任意の名前を入力してください。

2. 製品の検索画面を表示するために「🔍」をクリックしてください。

6. 製品マスタに登録されている製品が一覧で表示されますので、対象の製品をクリックしましょう。

一覧選択画面

▶ 詳細条件

製品コード	製品名
P001	文書作成! 桃太郎
P002	金太郎の表計算
P003	一寸法師のプレゼンテーション
P004	データ管理の浦島太郎
P005	画像編集・力太郎

7. 選択した製品が「対象製品」に反映されました。

続いて、残りの項目に対し以下の通りに入力してください。

Intra-mart® Top IM-BIS サイトマップ 酒井政尚

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 2014/11/20 担当者 蛸屋 頼隆 様

対象製品 一寸法師のプレゼンテーション

タイトル エラーが出て操作できない

お問い合わせ詳細 新規にプレゼンテーション資料を作成しようとしたところ、添付ファイルのようなエラーが発生して操作できませんでした。原因と対応方法を教えてください。

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日	+
-------	----	-----	---

処理

項目	値
a タイトル	問い合わせの件名を入力してください。
b お問い合わせ詳細	問い合わせ内容を入力してください。

8. 添付ファイルに登録するために、「添付ファイル」の + をクリックしてください。

Intra-mart® Top IM-BIS サイトマップ 酒井政尚

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 2014/11/20 担当者 蛸屋 頼隆 様

対象製品 一寸法師のプレゼンテーション

タイトル エラーが出て操作できない

お問い合わせ詳細 新規にプレゼンテーション資料を作成しようとしたところ、添付ファイルのようなエラーが発生して操作できませんでした。原因と対応方法を教えてください。

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日	+
-------	----	-----	---

処理

9. 「ファイル追加」をクリックしてください。



10. 選択したファイル名が表示された後、以下の手順でファイルをアップロードしてください。



1. 「備考」にファイルの説明を入力してください。
2. 「開始」をクリックしてください。

11. ファイルを添付することができましたので、次の処理に進めるために「処理」をクリックしてください。




12. これで、最初の処理を実行することができました。

処理を実行した業務プロセスの状態を確認する

処理を実行した業務プロセスの状態や、次の処理者を確認してみましょう。

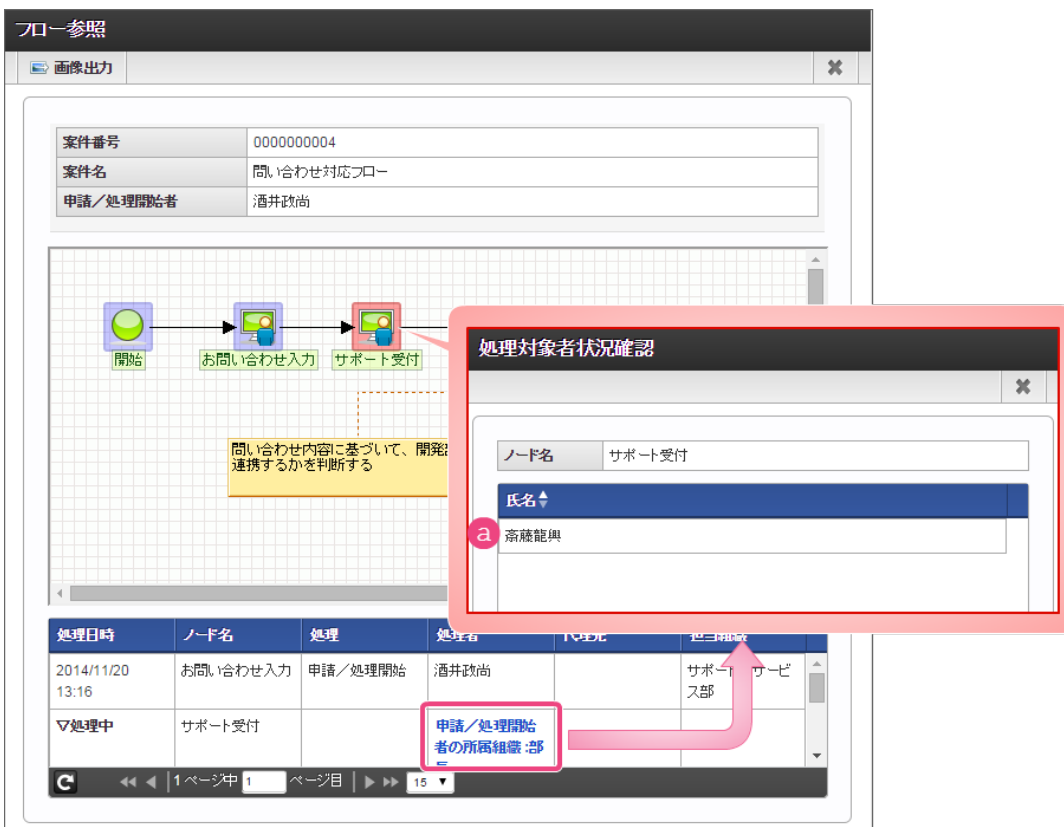
1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。



2. 処理を実行した業務プロセスが表示されますので、 をクリックしてください。



3. 現在処理中の対象者が赤で表示されます。
 下の一覧に青字で表示されている「申請/処理開始者の所属組織: 部長」をクリックすると、実際の対象者となるユーザを確認することができました。



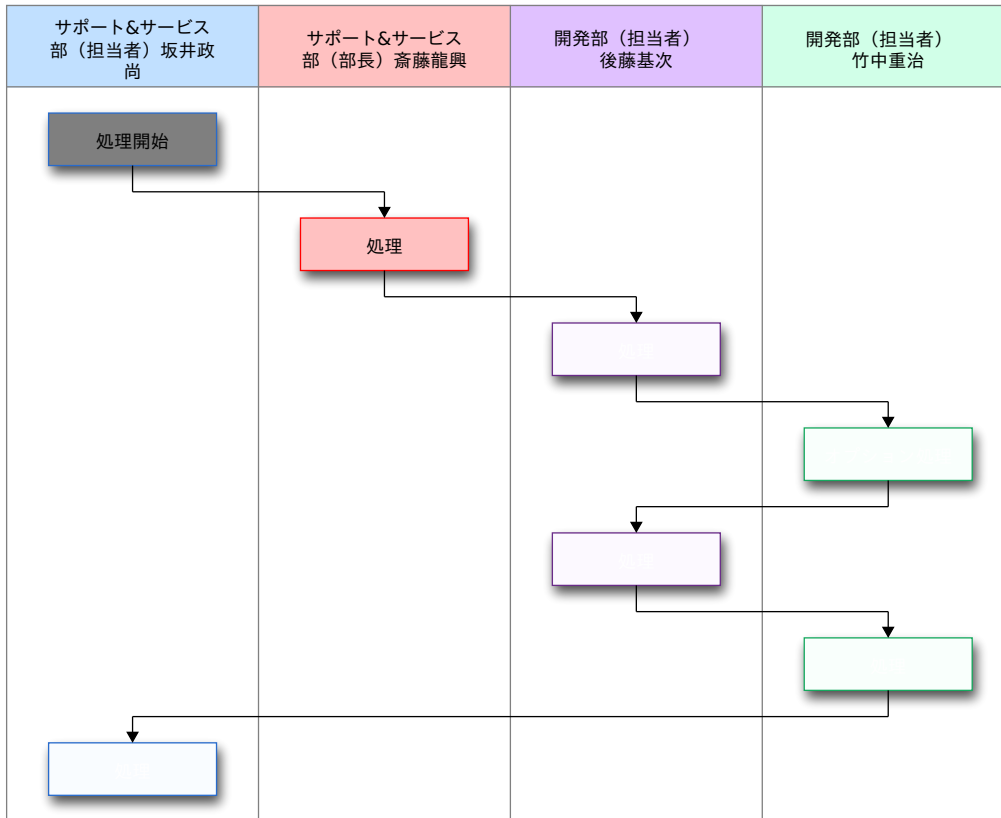
- a. 処理対象のユーザ
 フロー上のノードに設定された組織などの情報から取得されたユーザを表示します。
 処理中のノードに対し、この欄に表示されるユーザが処理を実行できます。

問い合わせ内容を確認し、分岐先を判断する

「サポート受付」で処理対象者になっているユーザでログインし、問い合わせ対応のフローを処理しましょう。

問い合わせ内容を確認し、後の処理（分岐先）を判断する

担当者が実施した処理の内容を確認して、後の処理方法（分岐先）を決定しましょう。



1. 問い合わせ対応の業務を行った担当者の組織の部長でログインしましょう。
(この例では、サポート&サービス部の部長「齋藤龍興」でログインします。)
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。



3. 未処理の一覧には、先ほど処理されたフローが表示されていますので、「処理」をクリックしてください。



4. この時点での画面の状態は以下の通りです。

intra-mart
Top
IM-BIS
サイトマップ
斎藤龍興

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日
 担当者

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
mojibake.png	エラー画面のキャプチャです。	2014/11/20

お問い合わせ回答

回答

回答者

回答内容

処理種別

処理
 サポート&サービス部
 開発部

A

B

項目	値
A 前の処理者の入力内容	前の処理者が入力した内容が表示されています。 変更することはできません。
B 現時点の処理者の氏名	この時点の処理者として画面を表示しているユーザの名前を表示しています。

5. 以下の通りに入力後、「処理」をクリックしてください。

intra-mart
Top
IM-BIS
サイトマップ
斎藤龍興

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 担当者

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
mojibake.png	エラー画面のキャプチャです。	2014/11/20

お問い合わせ回答

回答者

a 画像を確認しましたが、詳細調査が必要と判断。
回答内容

処理種別

b 処理 サポート&サービス部 開発部

処理

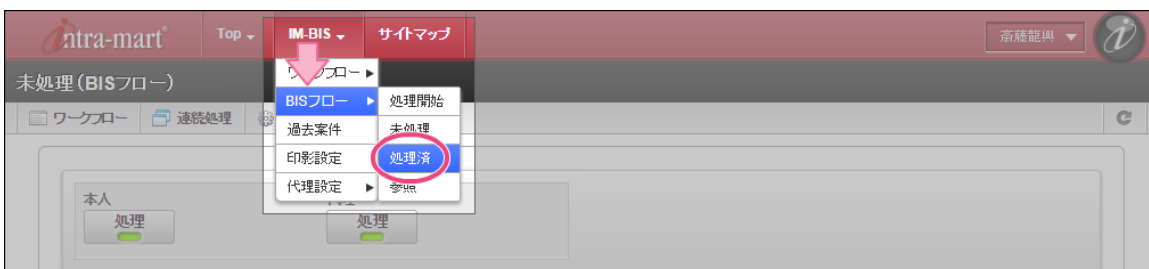
項目	値
a 回答内容	問い合わせに対する回答を入力してください。
b 処理種別	次に処理を依頼する対象者の組織を選択してください。 ここで選択した値に基づいて、次の分岐先を決定します。

6. これで、処理を実行することができました。

処理を実行した業務プロセスの状態を確認する

処理を実行した業務プロセスの状態や、次の処理者を確認してみましょう。

1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。



2. 処理を実行した業務プロセスが表示されますので、 をクリックしてください。

未完了案件 | 完了案件

自案件 | 代理先 | 他者案件 | 代理元

引戻	優先度	案件番号	案件名	申請/開始	申請/処理	申請/処理	フロー名	最終処理日	フロー	履歴
		000000004	問い合わせ対応フロー	2014/11/20	2014/11/20	酒井政尚	問い合わせ対応フロー	2014/11/20		

3. 現在処理中の対象者が赤で表示されます。

下の一覧に青字で表示されている「開発部」をクリックすると、実際の対象者となるユーザを確認することができました。

フロー参照

画像出力

案件番号: 000000004
案件名: 問い合わせ対応フロー
申請/処理開始者: 酒井政尚

開始 → お問い合わせ入力 → サポート受付 → 分岐開始 → 製品開発回答 → サポートへの回答

問い合わせ内容に基づいて、開発部へ連携するかを判断する

処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当組
2014/11/20 13:58	サポート受付	承認/処理	斎藤龍興		サポートサービス部
▽処理中	製品開発回答		開発部		
	サポートへの回答		前処理者の所属組		

処理対象者状況確認

ノード名: 製品開発回答

氏名 ↑

- 後藤基次
- 牧村利直
- 竹中重治

a. 処理対象のユーザ（開発部）

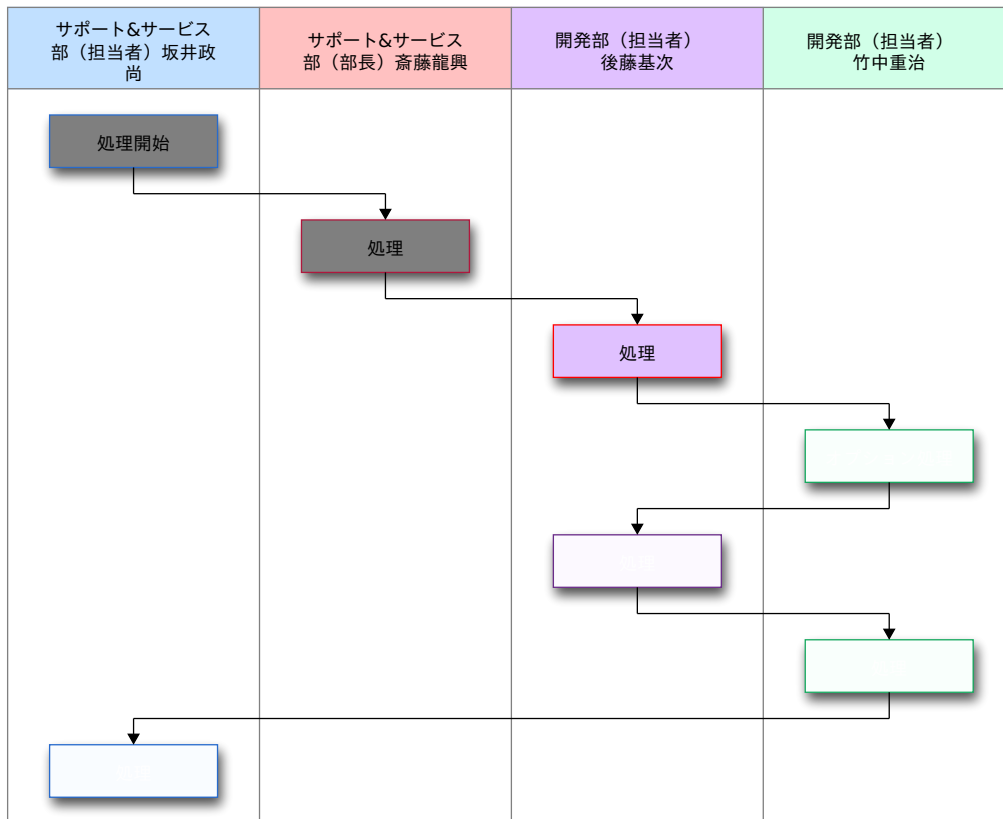
フロー上のノードには「組織：開発部」が設定されているため、開発部に所属するユーザが表示されています。

開発部の担当者が問い合わせ対応の回答を追記し、処理を進める

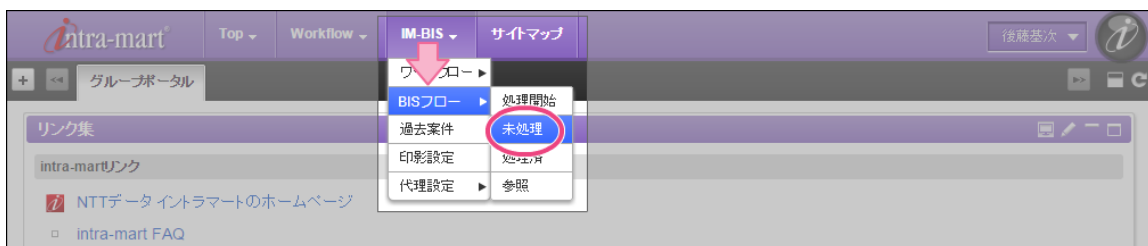
先の処理で選択された分岐先の「製品開発担当」で処理対象者になっているユーザでログインし、問い合わせ対応のフローを処理しましょう。

問い合わせ内容の回答を追記し、次の処理に進める

追加の回答を記載し、次の処理者に進めましょう。



1. 製品開発担当の業務を行う担当でログインします。
(この例では、開発部の担当者「後藤基次」でログインします。)
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。



3. 未処理の一覧には、先ほど処理されたフローが表示されていますので、「処理」をクリックしてください。



4. この時点での画面の状態は以下の通りです。

intra-mart
Top ▾ Workflow ▾ IM-BIS ▾ サイトマップ
後藤基次 ▾

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 担当者

対象製品

タイトル

問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
mojibake.png	エラー画面のキャプチャです。	2014/11/20

A

お問い合わせ回答

回答

回答者

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発)

回答内容

対応方法 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

B

項目	値
A 前の処理者の入力内容	前の処理者が入力した内容が表示されています。 変更することはできません。
B 現時点の処理者の氏名	この時点の処理者として画面を表示しているユーザの名前を表示しています。

5. 以下の通りに入力後、「処理」をクリックしてください。

Intra-mart
Top ▾ Workflow ▾ IM-BIS ▾ サイトマップ
後藤基次 ▾

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 担当者

対象製品

タイトル

問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
mojibake.png	エラー画面のキャプチャです。	2014/11/20

お問い合わせ回答

回答

回答者

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発)

回答内容

対応方法 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

処理

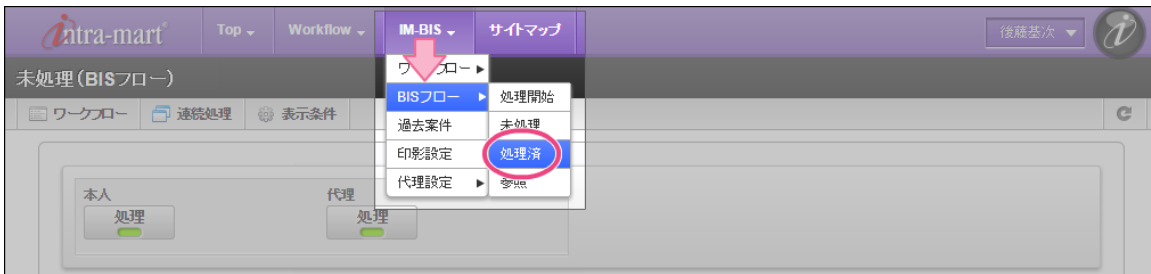
項目	値
a 回答内容	前の処理者のコメントに基づいて回答を入力してください。
b 対応方法	対応方法を選択してください。


6. これで、処理を実行することができました。

処理を実行した業務プロセスの状態を確認する

処理を実行した業務プロセスの状態や、次の処理者を確認してみましょう。

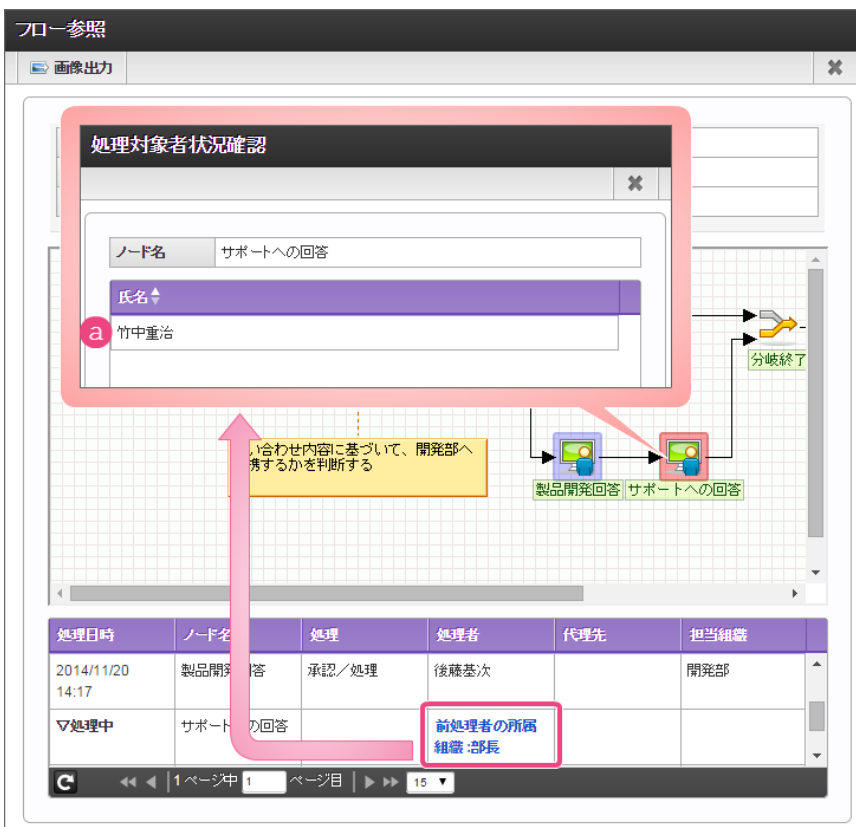
1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。



2. 処理を実行した業務プロセスが表示されますので、 をクリックしてください。



3. 現在処理中の対象者が赤で表示されます。
下の一覧に青字で表示されている「前処理者の所属組織：部長」をクリックすると、実際の対象者となるユーザを確認することができました。



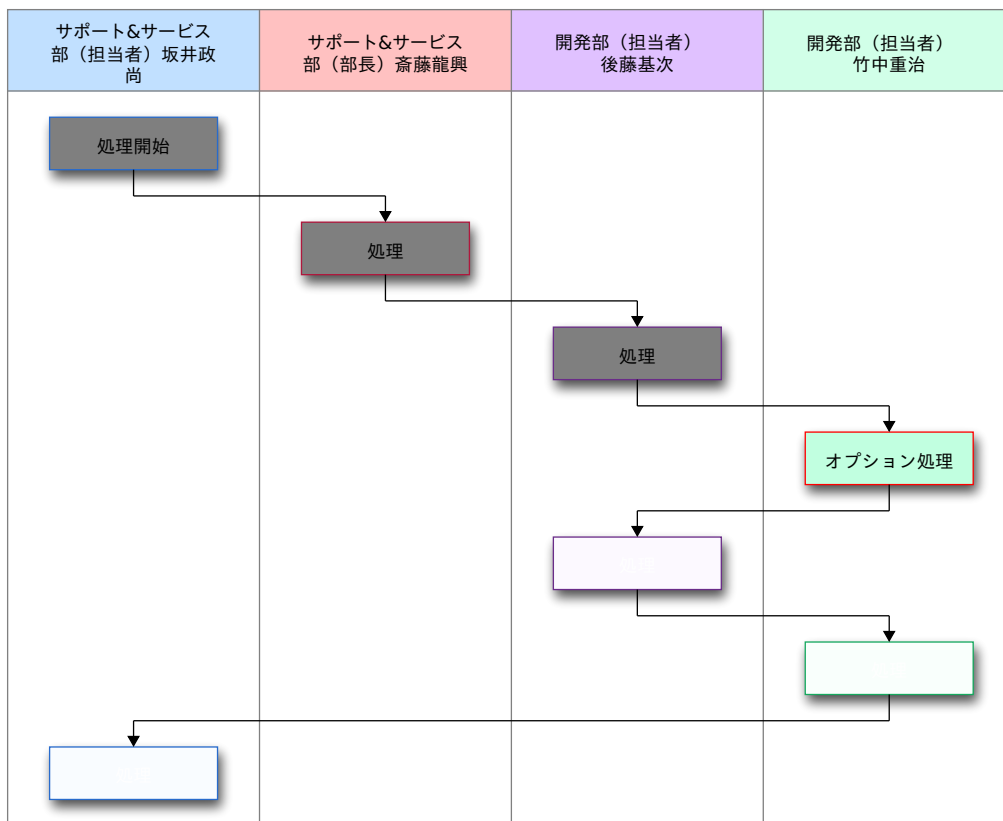
- a. 処理対象のユーザ（前処理者の所属組織：部長）
フロー上のノードには「前処理者の所属組織：部長」が設定されているため、以下の条件をすべて満たすユーザのみが表示されています。
- 前処理者の所属組織と同じ組織に所属している
 - 役職「部長」が設定されている

開発部の担当者の処理結果を確認し、処理を差し戻す

「サポートへの回答」で処理対象者になっているユーザでログインし、問い合わせ対応のフローを処理しましょう。

問い合わせ内容を確認し、前の処理に差し戻す

ここでは、問い合わせ内容と回答を確認し、前の処理者に差し戻してみましよう。



1. 問い合わせ対応の最初の業務を行う担当でログインしましょう。
(この例では、開発部の部長「竹中重治」でログインします。)
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。



3. 未処理の一覧には、先ほど処理されたフローが表示されていますので、「処理」をクリックしてください。



4. この時点での画面の状態は以下の通りです。
この時点では「オプション処理ボタン」が表示されているため、「差し戻し」を含む「処理」以外の特殊な処理も実行可能です。

Intra-mart
竹中重治

Top
Workflow
IM-BIS
サイトマップ

お問い合わせ内容

受付日: 2014/11/20 担当者: 蜂屋 頼隆 様

対象製品: 一寸法師のプレゼンテーション

タイトル: エラーが出て操作できない

お問い合わせ詳細: 新規にプレゼンテーション資料を作成しようとしたところ、添付ファイルのようなエラーが発生して操作できませんでした。原因と対応方法を教えてください。

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
mojibake.png	エラー画面のキャプチャです。	2014/11/20

お問い合わせ回答

回答

回答者: 齋藤龍興

回答内容: 画像を確認しましたが、詳細調査が必要と判断。開発での調査を依頼します。

処理種別

処理: サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発): 後藤基次

回答内容: 調査の結果、製品不具合と判断しました。次期バージョンでリリースする方向で検討中ですので、その旨お客さまへ回答ください。

対応方法: 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

開発での再調査が必要な場合は、オプション処理で開発部に差

A

オプション処理ボタン
(Option process Button)

コメント

項目

値

A 前の処理者の入力内容 前の処理者が入力した内容が表示されています。
変更することはできません。

5. 「オプション処理」をクリックしてください。

intra-mart
竹中重治

Top
Workflow
IM-BIS
サイトマップ

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 担当者

対象製品

タイトル

問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
mojibake.png	エラー画面のキャプチャです。	2014/11/20

お問い合わせ回答

回答

回答者

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発)

回答内容

対応方法 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

開発での再調査が必要な場合には、オプション処理で開発部に差し戻す

コメント

6. 処理画面が表示されますので、「処理種別」を差戻しに変更してください。

処理 [サポートへの回答]

処理種別* 承認/処理 ▼

承認/処理
否認/取止め
差戻し

案件番号

案件名

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	酒井政尚
申請/開始基準日	2014/11/20
申請/処理開始日	2014/11/20

処理者* 竹中重治 ▼

担当組織* 開発部 ▼

+ コメント

+ 根回し

承認/処理

7. 差戻し先として「製品開発回答」のチェックボックスをオンにしてから、「差戻し」をクリックしましょう。

処理 [サポートへの回答]

処理種別* 差戻し ▼

案件番号 0000000004

案件名 お問い合わせ対応フロー

申請/処理開始情報

申請/処理開始者	酒井政尚
申請/開始基準日	2014/11/20
申請/処理開始日	2014/11/20

処理者* 竹中重治 ▼

担当組織* 開発部 ▼

+ コメント

差戻し先*

選択	ノード名	処理	処理者
<input type="checkbox"/>	お問い合わせ入力	申請/処理開始	酒井政尚
<input type="checkbox"/>	サポート受付	承認/処理	斎藤龍興
<input checked="" type="checkbox"/>	製品開発回答	承認/処理	後藤基次

+ 根回し

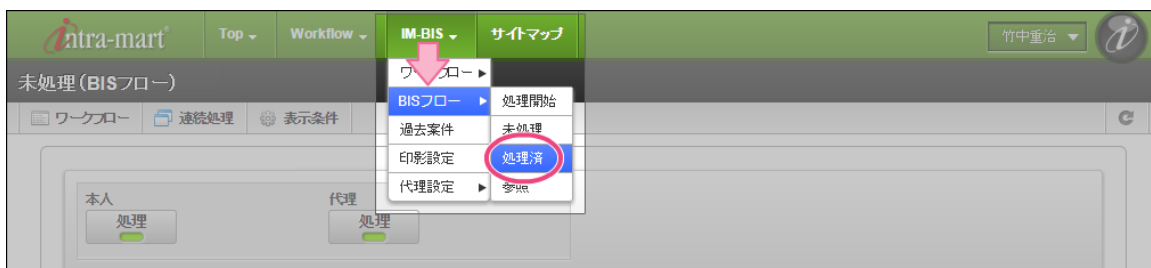
差戻し


8. これで、処理を差戻すことができました。

処理を実行した業務プロセスの状態を確認する

処理を実行した業務プロセスの状態や、次の処理者を確認してみましょう。

1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。

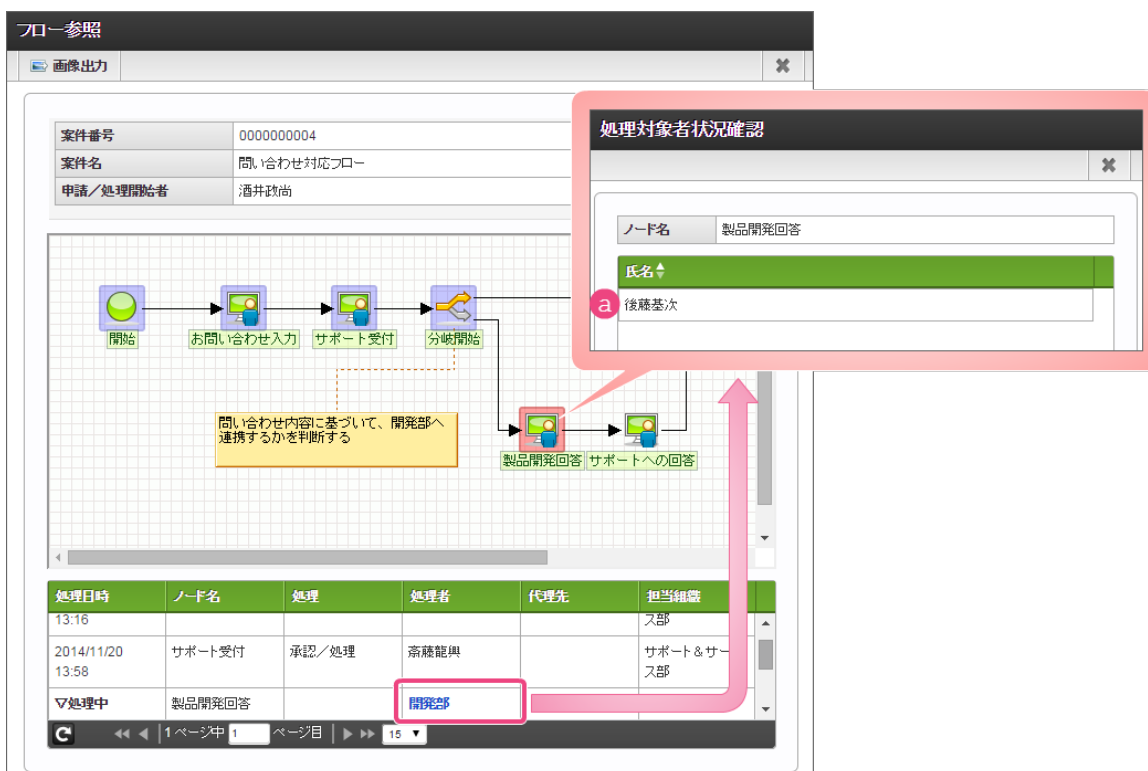


2. 処理を実行したフローが表示されますので、 をクリックしてください。



3. 現在処理中の対象者が赤で表示されます。

下の一覧に青字で表示されている「開発部」をクリックすると、実際の対象者となるユーザを確認することができました。差戻しが行われる前と比較し、実際に処理を行ったユーザのみ処理可能な状態です。



a. 処理対象のユーザ

差戻しを行った場合、再処理が必要なノードは既処理者のみが処理できます。

対象のノードに組織などを設定している場合であっても、既処理者でないユーザは処理できません。

i コラム

差戻しを含む複数回同じノードの処理が行われた履歴の確認

この手順で確認している「フロー参照」の画面では、各ノードの処理情報が1行ずつ表示されるため、繰り返し同じノードの処理が行われたことを確認できません。

(差戻された状態、または処理が終わっている状態などで表示されます。)

「履歴参照」では、差戻しなど同じノードの複数回の処理もすべて表示されるため、繰り返し行われた処理等を確認する場合には、履歴参照を利用して確認します。

履歴参照

引戻	優先度	案件番号	案件名	申請/開始日	申請/処理日	申請/処理期	フロー名	最終処理日	フロー	履歴
		0000000004	問い合わせ対応フロー	2014/11/20	2014/11/20	酒井政尚	問い合わせ対応フロー	2014/11/20		

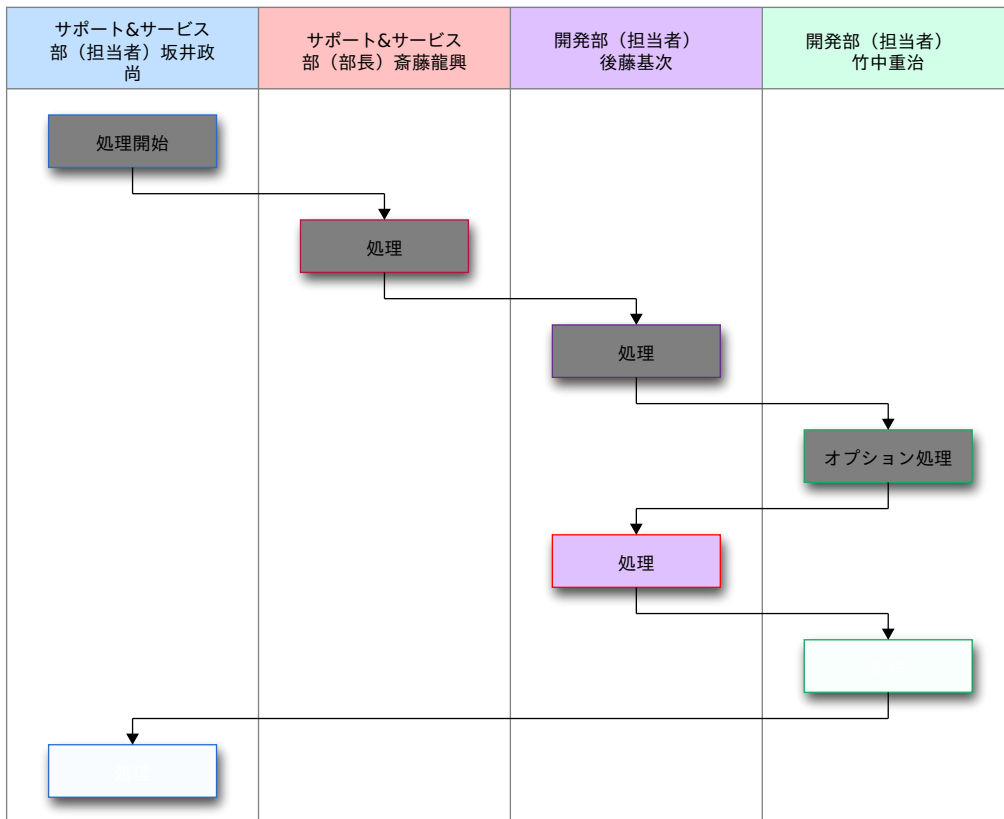
処理履歴	処理日時	ノード名	処理	処理者	代理先	担当職種	コメント	履歴	B/M
	2014/11/20 18:18	お問い合わせ入力	申請/処理開始	酒井政尚			サポート&サービス部		
	2014/11/20 18:58	サポート受付	承認/処理	斎藤雄樹			サポート&サービス部		
	2014/11/20 14:17	製品開発回答	承認/処理	後藤基次			開発部		
	2014/11/20 14:38	サポートへの回答	差戻し	竹中重治			開発部		
	2014/11/20 14:44	製品開発回答	承認/処理	後藤基次			開発部		
	2014/11/20 14:48	サポートへの回答	承認/処理	竹中重治			開発部		

差戻された処理を再度実行する

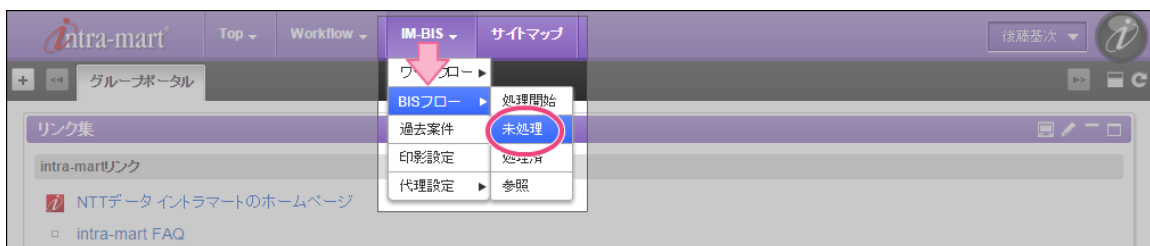
差戻し後の「製品開発回答」の処理を再度実行しましょう。

先に処理したときの内容を変更し、処理を実行する

先に処理したときのコメントに追記し、選択した対応方法を変更して処理を行いましょう。



1. 問い合わせ対応の最初の業務を行う担当でログインしましょう。
(この例では、開発部の担当者「後藤基次」でログインします。)
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。



3. 未処理の一覧には、先ほど処理されたフローが表示されていますので、「処理」をクリックしてください。



4. 再度表示した画面には、前の処理時に入力した内容がそのまま保持されています。

intra-mart
Top ▾ Workflow ▾ IM-BIS ▾ サイトマップ
後藤基次 ▾

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 担当者

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
mojibake.png	エラー画面のキャプチャです。	2014/11/20

お問い合わせ回答

回答

回答者

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発)

回答内容

対応方法 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

5. 以下の通りに各項目の内容に追記・変更を行ってから「処理」をクリックしてください。

Intra-mart
Top ▾ Workflow ▾ IM-BIS ▾ サイトマップ
後藤基次 ▾

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 担当者

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
mojibake.png	エラー画面のキャプチャです。	2014/11/20

お問い合わせ回答

回答

回答者

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部
 開発部

製品開発回答

回答者(開発)

回答内容

対応方法 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

項目	値
a 回答内容	前の処理時に入力した内容を変更、または追記してください。
b 対応方法	前の処理時に選択したものから変更する場合には、選択内容を変更してください。


6. これで、処理を実行することができました。

処理を実行した業務プロセスの状態を確認する

処理を実行した業務プロセスの状態や、次の処理者を確認してみましょう。

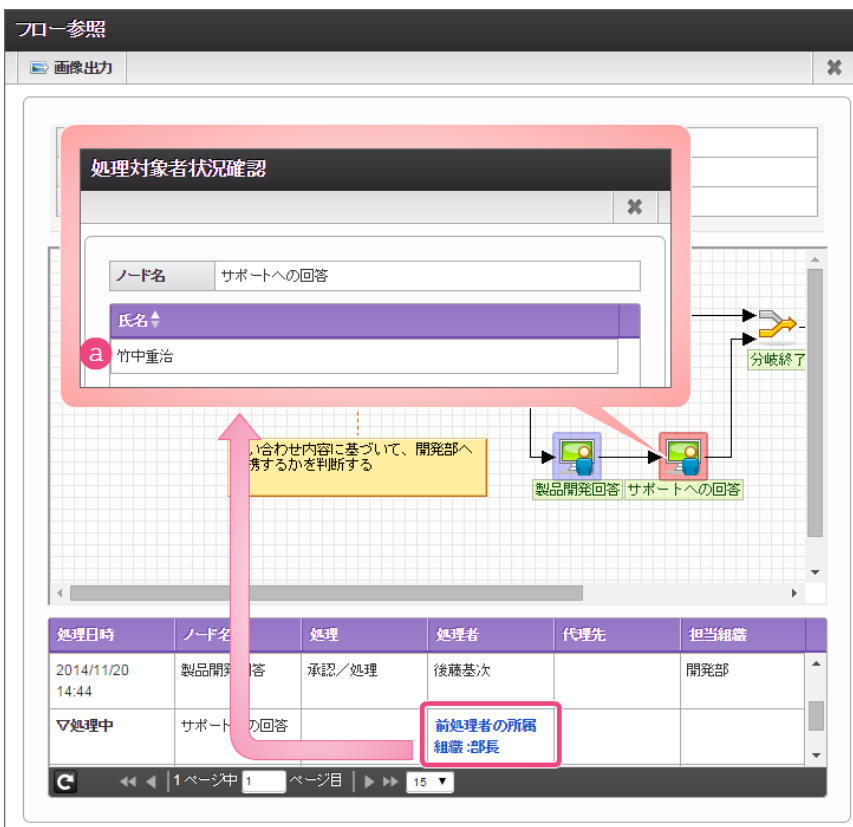
1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。



2. 処理を実行した業務プロセスが表示されますので、 をクリックしてください。



3. 現在処理中の対象者が赤で表示されます。
下の一覧に青字で表示されている「前処理者の所属組織：部長」をクリックすると、実際の対象者となるユーザを確認することができました。



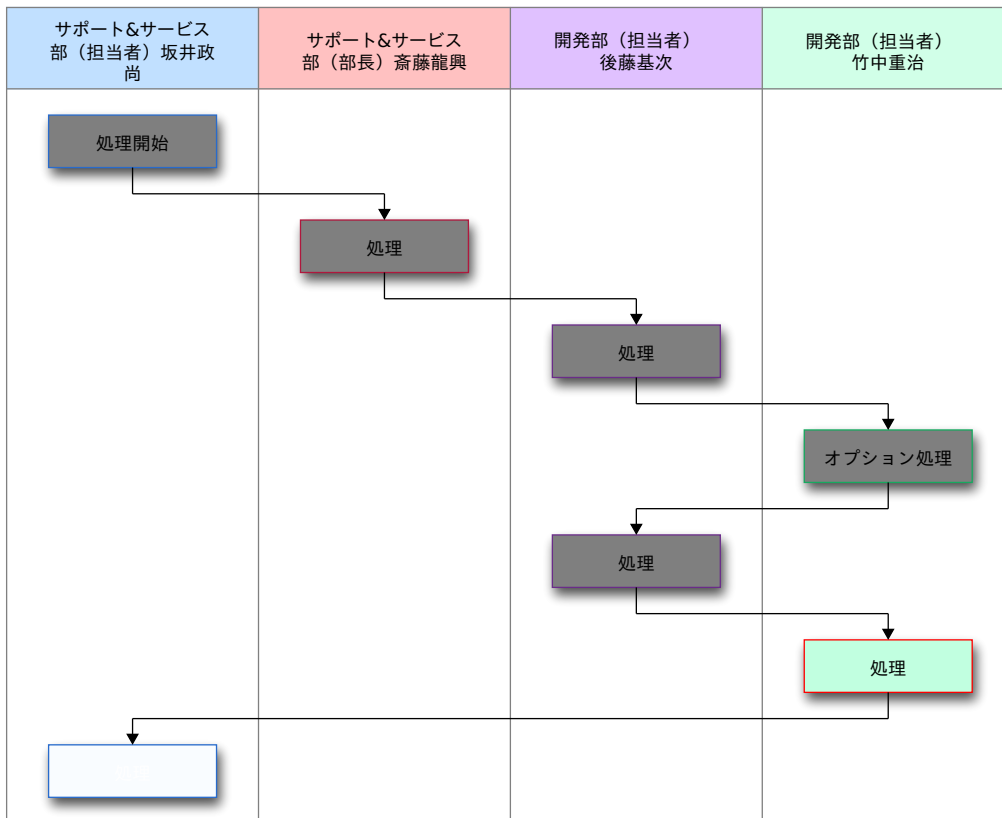
- a. 処理対象のユーザ（前処理者の所属組織：部長）
フロー上のノードには「前処理者の所属組織：部長」が設定されているため、以下の条件をすべて満たすユーザのみが表示されています。
- 前処理者の所属組織と同じ組織に所属している
 - 役職「部長」が設定されている

差戻しを行った処理を再度処理する

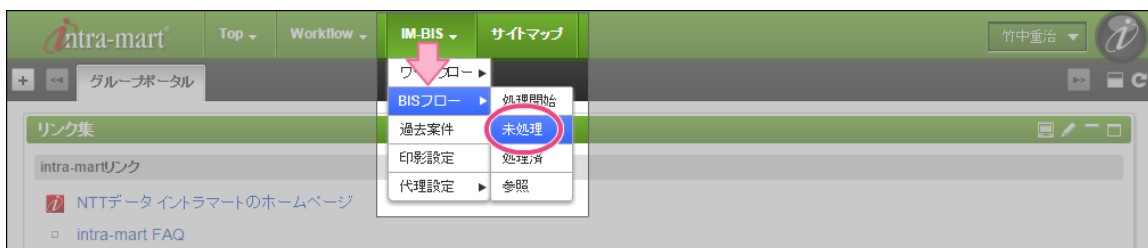
先の処理で差戻しを行った処理の再処理を行い、最後の処理に進めましょう。

問い合わせ内容の回答を再度確認し、次の処理に進める

差戻し後に変更された内容を確認し、次の処理に進めていきましょう。



1. 問い合わせ対応の最初の業務を行う担当でログインしましょう。
(この例では、開発部の部長「竹中重治」でログインします。)
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。



3. 未処理の一覧には、先ほど処理されたフローが表示されていますので、「処理」をクリックしてください。



4. 以下の手順で処理を実行してください。

Intra-mart
Top ▾ Workflow ▾ IM-BIS ▾ サイトマップ
竹中重治 ▾

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 担当者

対象製品

タイトル

問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
mojibake.png	エラー画面のキャプチャです。	2014/11/20

お問い合わせ回答

回答

回答者

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発)

回答内容

対応方法 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

開発での再調査が必要な場合には、オプション処理で開発部に差し戻す

処理

オプション処理

1 再調査結果を確認しました。

コメント


1. コメントを入力してください。
2. 「処理」をクリックしてください。
5. これで、処理を実行することができました。

処理を実行した業務プロセスの状態を確認する

処理を実行した業務プロセスの状態や、次の処理者を確認してみましょう。

1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。



2. 処理を実行した業務プロセスが表示されますので、 をクリックしてください。



3. 現在処理中の対象者が赤で表示されます。
 下の一覧に青字で表示されている「サポート&サービス部」をクリックすると、実際の対象者となるユーザを確認することができました。



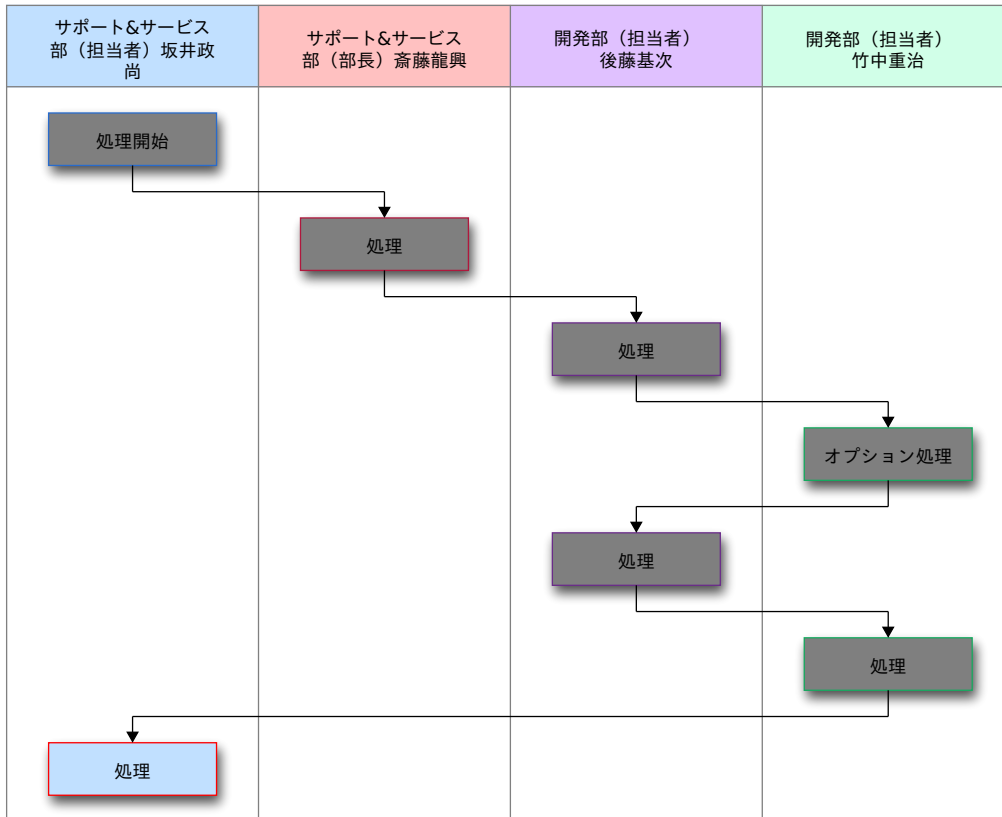
a. 処理対象のユーザ（サポート&サービス部）
 フロー上のノードには「組織：サポート&サービス部」が設定されているため、サポート&サービス部に所属するユーザが表示されています。

最後の処理を実行し、フローを終了する

「サポート受付」で処理対象者になっているユーザでログインし、問い合わせ対応のフローの最後の処理を実行して完了させましょう。

処理を実行して、フローを完了する

最後のノード（サポートからの回答）の処理を実行し、フローを完了しましょう。



1. 問い合わせ対応の最後の業務を行う担当でログインします。
(この例では、サポート&サービス部の担当者「坂井政尚」でログインします。)
2. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「未処理」をクリックしましょう。



3. 未処理の一覧には、処理されたフローが表示されていますので、「処理」をクリックしてください。



4. この時点での画面の状態は以下の通りです。
上部には、担当者が最初に記録した内容、下部にはこれまでの回答の内容が表示されています。

Intra-mart
酒井政尚

Top
IM-BIS
サイトマップ

お問合わせ内容の入力

問合わせ内容

受付日

担当者

対象製品

タイトル

問合わせ詳細
 新規にプレゼンテーション資料を作成しようとしたところ、添付ファイルのようなエラーが発生して操作できませんでした。
 原因と対応方法を教えてください。

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
mojibake.png	エラー画面のキャプチャです。	2014/11/20

お問合わせ回答(確定)

回答

回答者

回答内容

お問合わせ回答

回答

回答者

画像を確認しましたが、詳細調査が必要と判断。
 開発での調査を依頼します。

処理種別

処理 サポート&サービス部

開発部

製品開発回答

回答者(開発)

調査の結果、製品不具合と判断しました。
 次期バージョンでリリースする方向で検討中ですので、その旨お客さまへ回答ください。

 個別の場合には、12月中旬頃提供可能と回答ください。

対応方法 対応なし

個別プログラム提供

製品対応

項目

値

A 前の処理者の入力内容 前の処理者が入力した内容が表示されています。
変更することはできません。

5. 以下の通りに入力し、「処理」をクリックしてください。

401

Intra-mart®
酒井政尚

Top
IM-BIS
サイトマップ

お問い合わせ内容の入力

お問い合わせ内容

受付日 担当者

対象製品

タイトル

お問い合わせ詳細

添付ファイル

ファイル名	備考	更新日
mojibake.png	エラー画面のキャプチャです。	2014/11/20

お問い合わせ回答(確定)

回答

回答者

a 回答内容

お問い合わせ回答

回答

回答者

回答内容

処理種別

処理 サポート&サービス部 開発部

製品開発回答

回答者(開発)

回答内容

対応方法 対応なし 個別プログラム提供 製品対応

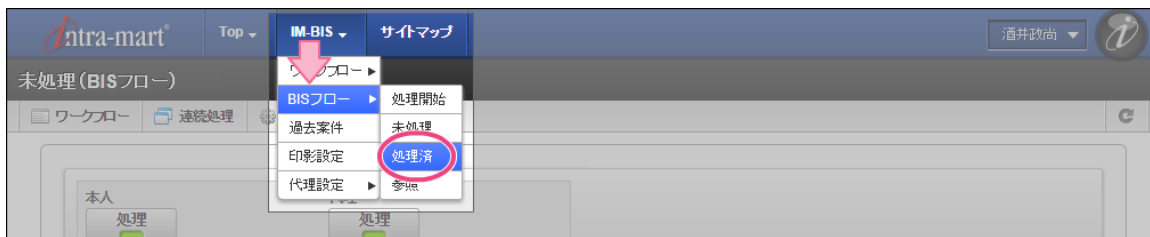
項目	値
a 回答内容	最終回答の内容を入力してください。

6. これで、処理を実行することができました。
最後の処理が完了しましたので、フローは完了状態に変わります。

処理が完了した業務プロセスの状態を確認する

処理が完了した業務プロセスの状態を確認してみましょう。

1. 上部のメニュー（グローバルナビ）の「IM-BIS」→「BISフロー」の順にマウスを重ねてから「処理済」をクリックしましょう。



2. 業務プロセス（案件）が完了しているため、未完了案件には表示されません。以下の手順で、完了した業務プロセスを確認してください。



1. 一覧を切り替えるために「完了案件」をクリックしてください。
2. 「フロー」の 📄 をクリックしてください。
3. すべてのノードが薄紫で表示され、業務プロセスがすべて完了していることが確認できました。

